

【Sports Watch】秋山成勲、メールで吉田に対戦迫った!?

今月 8 日、都内ホテルでは、総合格闘家・吉田秀彦の引退試合興行「ASTRA」の開催が発表された。

バルセロナ五輪柔道金メダリストとしての実績を引っさげ、2002 年にプロ総合格闘家に転向。以後、数々の死闘を繰り広げてきた吉田。昨年大晦日の Dynamite!! では、石井慧との金メダリスト対決を制し、4 月に迎える引退試合の相手には、桜庭和志やまさかの朝青龍といった報道が駆け巡る中、“反骨の柔道王”秋山成勲が吉田にメールで対戦を迫っていたというのだ。

会見翌日の 9 日に更新された秋山成勲オフィシャルブログでは、「吉田秀彦対秋山成勲」と題し、「常に憧れ目標にしてきた吉田先輩が引退。正直寂しい気持ちはありますが、ほんまにお疲れ様でした！引退試合はもちろん自分とやるでしょ！？」とストレートに書き綴りながらも、「さっき吉田先輩にメールで自分とやるでしょ？的なメールを打って、軽く流されましたが」と、実際に吉田へ対戦を打診をしていたことを明かした。

もちろん、階級が違う上、秋山は米 UFC を主戦場に行っている現状、対戦することはまずない。それでも、我が道を行き、空気を一切読まない秋山だけに、案外本気に考えていた可能性もなきにしもあらず——。そんなブログの最後には、「ほんまに柔道から格闘技の道を作って頂いたパイオニアだと自分は思い尊敬してます！引退試合頑張ってください！」と吉田にエールを送る秋山であった。

【Sports Watch／競馬】 皇成以上の“大物”!? ついに騎手デビューへ

競馬界にひと足早い“春”が到来した。10 日、J R A が 2010 年度の新規調教師 9 名、騎手免許試験合格者 6 名を発表したが、一番の注目はやはり角田晃一騎手の合格だったに違いない。01 年にジャングルポケットでダービーを制覇。大舞台での強さを発揮する“仕事人”で、他にもフジキセキ（朝日杯 F S）やヒシミラクル（菊花賞、天皇賞・春、宝塚記念）などとのコンビでこれまで G 1・10 勝を挙げている。受験は今回で 4 回目。晴れて調教師の扉を開くことに成功した。他にも、菊沢隆徳騎手をはじめ、田中剛助手、千田輝彦助手、日吉正和助手、牧田和弥助手など、今回は元ジョッキーの合格が多かったのが印象的だ。

一方、騎手免許合格者で新聞をにぎわせているのが菅原隆一くん。父が元ジョッキーの菅原隆明助手というサラブレッドなのだが、もうひとつの顔がなんと子役。幼少時代には「釣りバカ日誌」で西田敏行ふんするハマちゃんの息子・鯉太郎を熱演していた。「中学へ進むときに迷わず騎手の道を選びました。ファンに信頼される騎手になりたい」と、抱負を語っている。

しかし、"鯉太郎くん"以上に注目の新人騎手がいる。競馬学校時代、三浦皇成以上の注目を集めていたといっても過言ではないその新人とは、平野優くん。実は彼、競馬学校入学は05年のことで、三浦騎手や伊藤工騎手と同期入学なのだ。2年間、留年した彼が、"皇成以上の大物"たる所以——それは、4年前に放送されたあるバラエティー番組にあった。ジャニーズの人気グループV6がメインを務めた番組『学校へ行こう！ MAX』（04年4月～08年9月、TBS系）に当時2年生だった三浦騎手と伊藤工騎手、平野くんらが登場。ここでの扱われ方が"皇成以上"だったのである。

食堂でのワンシーン。V6メンバーと昼食中に、話題は恋愛の話に…。そして、その話の中心が三浦と平野だったのだが、放送されたコメント、そして存在感では三浦を圧倒していたのだ。純粋な言動と愛嬌のある笑顔。人気番組の敏腕ディレクターをもってしても、"大物感"を感じる存在だったのだろう。その2年後、三浦らがデビューした際に彼の姿がなく、どこか淋しさを感じたファンもいたのではないだろうか。競馬学校には2年間、長くいたが、丸田恭介など留年した騎手でも実力次第で結果を残せるのが競馬界だ。

「多くの人を支えられる人になっていきたい。また、騎手として、そして一社会人として素晴らしいと思われる人になりたい」と話す平野くん。デビュー予定は3月6日。"全レース全力"を掲げる新人騎手が、名実ともに"皇成以上"になれる日を楽しみに待ちたい。

■関連リンク

- ・競馬学校騎手課程26期生 卒業式が行われる - (集合写真、右から2番目が平野優くん)
【Sports Watch】国母の服装問題に、山本 KID「くだらん」

スノーボード男子ハーフパイプの国母和宏（東海大）が、バンクーバーへの移動中に空港で服装の乱れを指摘されたことから、その謝罪会見や開会式出席の自粛等に発展した問題は現在も賛否が分かれている。

だが、そんな問題を「くだらん」と一蹴したのが、総合格闘家・山本“KID”徳郁だった。

14日に更新した公式ブログでは、「テレビ来たんだけど。オリンピック観るためつけたけど。くだらんニュースばっかこのスノボの子はかわいそうだな」と国母の服装問題に触れると、「試合前にこんなバッシングしてどうすんだよ。すんなら後にしろって感じだな」と気遣った。

また、ブログの後半には「本当にニュースに出てくる自称評論家は気持ちのちっけえヤツらばっかだな」、「まだ朝青龍の事やってるよ暇なフニャチンばっかだな」と綴り、国母や朝青龍を問題視するテレビのコメンテーターらを総じて非難した。

【Sports Watch】美女スノーボーダー藤森、無念の棄権。ブログで状況明かす
バンクーバー五輪女子スノーボードクロス日本代表の藤森由香が公式練習中に風にあおられて転倒。頭を強打したことにより、本戦出場を棄権することになった。

14日に更新した自身のブログでは、「昨日の公開練習中にジャンプ台から跳んだときに風にあおられて転倒したそうなのですが、気づいたら病院にいました。全く記憶がありません」と綴りながらも「体はちょこちょこ痛みはありますが、大丈夫そうなので頑張ってきます」と語っており、日本で応援するファンや関係者は胸を撫でおろしていた。

だが、正式に棄権が伝えられた後、17日に更新された同ブログでは、その辛い状況を告白。「ありがとうございました」というタイトルで投稿されたブログでは、「今日、お腹にテーピングしてもらい、滑れるくらいにまでなったのですが、公開練習で、怪我の恐怖心からか脚の動きが悪くて、細かい動きができず、イメージ通りの滑りができなくなってしまいました。滑っていても視界がふらふらしたし、気を張り詰めてもしっかり考えられなくなって、ポジションがキープできない」と語り、転倒後の状態を説明した。

また、「そんななか練習で転倒してしまい、ドクターに診てもらったら目の焦点があってなく、瞳がしっかりとまらないといわれ、これ以上転んだら脳に障害が残る危険性が高くなるといわれ、ドクターストップがかかりました」という過酷な状況であったことを明かした藤森。ブログの後半には「幸運だったのは何一つ覚えてないこと」と綴りつつ、何度も詫びたが、そんな藤森のブログには早くも多数の激励コメントが寄せられている。

■関連リンク

・藤森由香フォトギャラリー

【Sports Watch】日本にメダルをもたらした“噂の競技スーツ”とは？
バンクーバー五輪で日本勢初のメダル獲得となったスピードスケート男子 500 メートルの長島圭一郎（銀）&加藤条治（銅）。4年前にトリノ五輪で味わった屈辱を見事に乗り越え、日本列島に歓喜の渦をもたらした。

また、そんな二人の活躍とともに大きく報じられているのが、日本代表選手が着用するレーシングスーツだろう。一部のネット上では「下着が透けているようにも見える」と話題になったりもしたが、実はこれ、選手の動きを極限まで解析することによって生み出された、各素材の配置選定における繋ぎ目がそう見えたというだけのこと。

ゴールドをメインカラーとした「日本代表スピードスケートレーシングスーツ」は、スポーツメーカー・ミズノが競技中選手の皮膚の伸縮量、方向などを解析することで、最適なスー

ツのカッティングや素材を導き出し、独自のウェア設計手法『ヴァーチャルボディデザイン』を採用して作られた。

まず、空気の流れが最初にあたる前頭部や胸上部には、低抵抗のウレタンラミネート素材を配置し、前モデルと比較し約5%の空気抵抗を削減することに成功した。

さらには、ハイパワーストレッチ性のウレタンラミネート素材が、伸ばした状態から素早く縮める動作が必要な腕、臀部、そして、スケート中に行う腰を深く折り曲げた前傾姿勢の保持といった選手の動作をサポート。その他にも、熱気の溜まりやすい頭部や肩甲骨周辺に通気性に優れた新素材を使用し、スーツ内に溜まった熱気や蒸れを放出するといった機能も兼ね備えている優れたものだ。

競技用コスチュームといえば、北京五輪におけるスピード社「レーザー・レーサー」がその使用の可否も含めて話題となったが、選手の競技力向上の影にはメーカーによるたゆまぬ努力があることも忘れてはならない。

【Sports Watch】15歳の高木美帆、初五輪は“会社員という研修期間”
バンクーバー冬季五輪スピードスケート日本代表の仲間入りを果たし、一躍世間の注目を集めた15歳の高木美帆は、女子1500メートルで23位という結果に終わった。

そんな彼女の滑りを、4度の冬季五輪に出場、98年の長野五輪では500mで金メダルを獲得した清水宏保はどのように評価したのか。

22日に更新された清水宏保のオフィシャルブログ「神速」では、「高木美帆選手。」と題し、「中長距離種目において、日本は諸外国に比べ後進国的立場にいます」と前置きした清水だったが、こと高木に関しては「会社員という研修期間に過ぎません」と綴り、先輩の優しさを垣間見せた。

また、「まして、彼女の短いスケート人生において、彼女より速い選手と滑ったことがないと思います」という清水は、「今回のレース、相手選手に大きくリードされた状況の中、冷静な判断でレースが出来たのでしょうか？」といった疑問を投げかけると、「次のソチオリンピックを想定し色々な経験をし吸収してもらいたいですよね^^」と早くも4年後を見据えるのだった。

【Sports Watch】浅田真央の逆転優勝、荒川キッパリ“可能です”
「やっと、キム・ヨナ選手にSPで少し追いつけたかなという感じがします」。バンクーバー五輪女子フィギュアスケートSPを終え、こう語った浅田真央。1位のヨナに4.72ポイントの差で2位につける彼女はフリーの演技に全てを懸ける。

だが、金メダルの本命＝ヨナを制し、逆転するのはこの上なく難しい。それでも、浅田の逆転勝利を「可能です」と言い切るのは、トリノ五輪金メダリストの荒川静香だ。

24日に放送された日本テレビ「NEWS ZERO」番組内で解説を務めた荒川は、「キム・ヨナ選手は、SPで得点を稼いで貯金するタイプなんですけど、浅田選手というのはフリーが得意でさらには、今調子がいいということもありますので、以前（2007年3月の世界選手権で浅田はフリーでヨナとの10.63差を逆転）、10ポイント差を逆転して勝ったという経緯を考えると、浅田選手の4.72というポイント差は大きな差ではなくて、フリーでまだまだ逆転できるというふうに思っているんじゃないかなと思う」と見解を述べ、期待を寄せるのだった。

また、SPで4位につけた安藤美姫については、「フリープログラムではミスなく滑り終えれば、メダルは見えてくる」と、やや普通のコメントを残した荒川。運命のフリー、その結末は――？

【Sports Watch】ダルビッシュに第二子が誕生

北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と女優・サエコ夫人の間に第二子が誕生した。

26日、自身のオフィシャルブログでは、「報告。」と題し、「本日、午前10時56分に第2子となる3432グラムの男の子が生まれました。母子共に健康です」とファンに伝えたダルビッシュは、「これからも夫婦で力を合わせて子供が生活、成長しやすいような環境を作っていきたいと思いますので温かい目で見てもらえると幸いです」と綴った。

【Sports Watch／競馬】あの名物珍名馬主・今年は役職シリーズ？

「珍名馬主」と聞いて競馬ファンの方が一番初めに思いつくのは、間違いなく「オレハマッテルゼ」「エガオヲミセテ」「ワナ」などでお馴染みの小田切有一氏だが、今年はどう一人、小田切氏とともに「珍名」で話題をさらうような馬主が現れた。

それが、「シゲル〇〇〇〇〇〇」でお馴染みの森中蕃氏だ。森中氏といえ、毎年「〇〇シリーズ」とでも言うべきか、何かにちなんだ馬名を付けている。

例えば、現3歳世代だとシゲルモトナリ、シゲルタカウジ、シゲルアツヒメ、シゲルイエヤスなど「歴史上の人物シリーズ」。

現4歳世代だとシゲルカサギヤマ、シゲルキリガミネ、シゲルアサマヤマ、シゲルトカチダケなど「山シリーズ」。

現5歳世代だとシゲルエスペレ、シゲルキボウ、シゲルハスラット、シゲルフセルトなど「希望・願い・望みといった言葉を他国の言語に置き換えたシリーズ」といった具合にだ。

そして今年の2歳世代は、何と「役職シリーズ」になるというのだから驚いた。これだけではよくわからない方がほとんどだろうから、以下に予定されている主な馬名を並べてみた。

シゲルシャチョウ（社長）、シゲルセンム（専務）、シゲルリジチョウ（理事長）、シゲルリジ（理事）、シゲルブチョウ（部長）、シゲルフクブチョウ（副部長）、シゲルカチョウホサ（課長補佐）、シゲルカカリチョウ（係長）、シゲルシュニン（主任）、シゲルフクシュニン（副主任）、シゲルシテンチョウ（支店長）・・・・・・などなど。

その他に、

シゲルヒラシャイン（平社員）

シゲルマドギワゾク（窓際族）

シゲルペイペイ（ペーペー？）などといった、少々悲しくなるような馬名まで予定されている。

シゲルヒシヨ（秘書）は、牝馬なのかと思いきや牡馬だったり、狙っているのか狙っていないのかはわからないが「チーフ」ベアハート、コマンダーイン「チーフ」産駒が多かったり、気になる事は多々あるが、予定通りの馬名でデビューする事があれば、ファンの間で話題になりそうだ。

世の中のサラリーマンの「いつかはきっと這い上がってやる！」という夢と希望を乗せて「ヒラシャイン」や「マドギワゾク」、そして「ペーペー」がGIの舞台で走る日が来るかもしれない。

【Sports Watch】決戦から一夜、真央「3回飛ぶって決めてました」

27日に生放送された日本テレビ「バンクーバー2010」には、女子フィギュアスケートで銀メダルを獲得した浅田真央が出演した。

メダルを獲得しながらも、自身の演技に満足できず悔し涙を流した運命の日から一夜明け、プレッシャーから解放された安堵感からか、いつもの笑顔がみられるようになった浅田。五輪史上初となる3度のトリプルアクセル（3回転半）を成功させたことには、「今シーズンから3回飛ぶって決めてましたし、それをやりたいっていう思いがあったのでオリンピックで挑戦というよりは、やってきたことを出したいという思いが強かったです」と語った。

また、五輪という舞台については、「予想していたよりも、すごい大きな舞台だったんだなって、終わってから改めて感じました」と振り返る浅田は、同番組が生放送されることで出演前から緊張していた点に話が及ぶと、「生なんだと。流れてるんだと、日本で・・・」と苦笑いを浮かべた。

【Sports Watch】進むフィギュアの高得点化、荒川のトリノ五輪時得点は――

日本時間 26 日、バンクーバー五輪で開催された注目の女子フィギュアスケートでは、金メダルを獲得したキム・ヨナが歴代最高得点を記録。銀メダルの浅田真央も五輪史上初となる 3 度のトリプルアクセル（3 回転半）を成功させるなど、世界最高峰の舞台に相応しいハイレベルな争いを繰り広げた。

今回の得点を確認すると、1 位のヨナが 228.56 点、2 位の浅田が 205.50 点、3 位のジョーニー・ロシェットが 202.64 点、4 位の長洲未来が 190.15 点、5 位の安藤美姫が 188.86 点となり、フィギュアスケートの高得点化が進む現状を如実に表す結果となった。

日本テレビ五輪キャスターを務めるトリノ五輪金メダリスト・荒川静香でさえ、トリノ時の得点は 191.34 点。ルールの改正等により、ジャンプ回転数の認定が以前に比べるとやや緩くなっており、エレメンツの出来栄え評価やプログラム構成点が高目となるなど、一概に比較はできないものの、今大会では 4 位に相当することになる。

今後も採点基準には度々変化が加えられていくことになるだろう。高得点化のみならず、こうした採点の傾向に沿った演技を求められる選手にとっては、適合性の高さも勝利を得る大きな要素になりそうだ。

【Sports Watch】安藤美姫“日本の人の声は気になったり、今でも怖い”

日本テレビ「バンクーバー2010」（27 日放送）には女子フィギュアスケートで活躍した安藤美姫＆鈴木明子が出演、大舞台での演技から一夜明け、その心境を語った。

「トリノと比べると、落ち着いて一日一日を過ごせて、メダルが目標だったので、残念だったんですけど、演技自体はオリンピックの舞台でミスなく終われて幸せでした。スケートやっててよかったな。初めて心から幸せだなと思えた」という安藤に、パーソナルベストを出し 8 位入賞を果たした鈴木明子は「無事に終わってホッとしています。想像していた通り、緊張するだろうなと思って入ってきていたので、予想通りすごい緊張感があったんですけど、会場の空気感を目で見て、耳で感じて、肌でも感じられるようにしたいなと思って、そこから滑り出したいと思っていた」と振り返った。

また、日本女子フィギュア勢で唯一トリノ五輪を経験している安藤は、前大会と比較したプレッシャーの差を訊かれると、「日本の人の声は気になったり、今でも怖い。どうやって言

われるだろうとか。でも、そういうものを全日本で出してしまっただけでジャンプの失敗に繋がったので、今回は一つの作品として、とにかく難易度を下げてでも一つの作品として滑りたかった」と明かし、そのプレッシャーの重さを感じさせた。

【Sports Watch】浅田真央が演技後に見せた涙、もう一つの理由とは？

バンクーバー五輪で最も注目を集めた女子フィギュアスケートを終え、日本テレビ「SUPERうるぐす」(27日放送)では「浅田真央 突然の涙のワケは!?SP」と題し、決戦から一夜明けた浅田真央にインタビューを行った。

「今はすごく嬉しいです」と語る浅田は、前夜「美味しいものが食べたい」と話していたことに触れると、「昨日はお寿司を食べました。(バンクーバーで人気の真央ロールは)持ち帰りをして貰って食べました」と笑顔を見せた。

また、番組が用意した「〇〇へ〇〇と伝えたい」というフリップには、「ママへありがとうと伝えたい」と綴った浅田。「たくさんの人に感謝しているんですけど、中でも一人、ママにありがとう」と答えた。

演技後には、「(母から)とりあえず、お疲れ様って言ってもらって、金メダルじゃなくても嬉しいよって」という言葉をかけられたと明かした浅田。だが、最愛の母に金メダルをプレゼントしたいという思いは強く、インタビュアーから「お母さんへの思いがいっぱいこもっていた？」と訊かれると「はい」と答え、さっきまでの笑顔が一変、静かに涙を流した。

【Sports Watch】菊池雄星、定まらない投球フォームに頭抱える

埼玉西部ライオンズに入団した菊池雄星が、28日放送のTBS「S1J スポ」に出演、野球解説者の榎原寛己氏と対談した。

先月末、「開幕二軍が決定的」という報道もあった注目度ナンバー・ルーキー＝菊池だが、当の本人は「定まらない投球フォーム」に頭を抱えていた。榎原氏との対談でも、「まずフォーム、まずフォームって細かく考えすぎて。キャッチボールでもずれたらダメだって思いますし。几帳面過ぎるって言われるんですけど」と悩める心境を吐露した。

だが、「理想は中間、スリークォーターよりちょっと上くらいの感じですね」と話しながらも、焦りはないようで、「周りからは開幕一軍とか、10勝、新人王とか、たくさん言われていますけど、別にその一年にこだわる必要はなくて、10年、20年やるなかのたった一年」と前を向き、理想の投手には「コンスタントに負けないピッチャーですかね。涌井さんとか、ダルビッシュさんとか、田中さんとかですかね。気迫を出すところは出して、真っ直ぐ一球だけでも球場が雰囲気が変わるような選手が理想です」と明かした。

【Sports Watch】恐れを知らない松村アナ、武藤&蝶野に無礼連発

フジテレビ・アナウンサーの松村未央が司会を務める「ミオパン」、4 日深夜放送分には、プロレスラーの蝶野正洋&武藤敬司、そして蝶野のモノマネをした原口あきまさゲストで出演した。

番組冒頭から「プライベートでも仲良しなんですか？」という松村アナに、「全然」とそっけなく答える武藤。この日は、二人の“絶対 NG”を松村アナが当てるという企画が行われたが、武藤の「〇〇と言われるのが NG」という問題に松村アナは、「筋肉バカ？プロレスバカ？ヒゲオヤジ？」と思ったままに失礼な発言を連発する。

この答えに対し、「(プロレスバカは) 逆に嬉しいことだよね」と語る武藤だったが、恐れを知らない松村アナは、なんと「動きが遅い」と驚くべき発言。すかさず原口が「お前、失礼だよ」と激怒し、「試合で膝がボロボロなんだぞ」とフォローを入れた。

また、「〇〇な自分が絶対 NG」という蝶野の問題にも、平然とした表情で「筋トレが苦手」と答える松村アナ。もはや KY を乗り越えた松村アナに、蝶野は「まるで練習嫌いみたいじゃねーかよ」と苦笑いを浮かべるのだった（ちなみに、両者の答えは武藤が「ハゲ」で蝶野が「時間にルーズ」）。

【Sports Watch／競馬】 配当上乗せの「JRA プレミアムレース」ではこの馬券を買え！
2 月 21 日、フェブラリーS が行われた後の東京最終レースは「東京ウインタープレミアム」と題された JRA プレミアムの対象レースだった。2008 年からスタートした JRA プレミアムは、指定されたレースの配当に売り上げの約 5%を上乗せするというもので、私達ファンは馬券を的中させればいつもより高い配当を手にすることができるわけだが、このレースは 7→9→1 番人気で決まり、馬連 3 万馬券、3 連単 36 万馬券という波乱の結果となった。このレースでプレミアムの恩恵を受けられた人は、果たしてどれほどいただろうか。せっかくのプレミアムレースも、的中させなければ何の意味もない。そして、馬券の種類や人気によって配当の上乗せ率は上下してくるため、私達はそのあたりも考慮しつつ馬券を購入する必要があるのだ。

単勝：5.22%	複勝：4.75%	枠連：6.31%	ワイド：6.26%
馬連：6.62%	馬単：6.69%	3 連複：6.71%	3 連単：6.79%

上記の数値は 2008 年から 2010 年までの JRA プレミアム対象全レースにおける、馬券ごとの配当上乗せ率平均値である。上乗せ率を算出する厳密な計算式の説明は省くが、この数値を基にプレミアムレースの恩恵を確実に受けるための馬券戦略を探っていきたい。

・ワイド、枠連で確実に配当ゲット

他の馬券に比べて的中率の高いワイドだが、配当上乗せ率は他の券種とほとんど変わらない6%台。レースごとに生じる上乗せ率の上下幅もそれほどないことから、確実に的中させていつもより多い払い戻しを受けたい人には一番オススメの馬券だ。枠連も、ワイドとそれほど変わらない上乗せ率。狙い馬が同枠に入った際などには積極的に買いたい。

・複勝は人気薄を狙え

上乗せ率平均では4.75%と低めだが、その上下幅が0%~11.9%と、レースごとの上乗せ率にもっともバラつきが見られるのが複勝馬券で、上乗せ率は人気下がれば下がるほど高くなる傾向にある。例えばウインタープレミアムで2着に入った9番人気ヤマニンリュバンの複勝が80円アップの980円となっているように、複勝を買う際には極力人気薄を意識して買うといいだろう。逆に、人気馬の複勝は10円の上積みさえ期待できないこともあるので注意が必要だ。

・穴党ならいつもどおり3連単！

3連単での配当上乗せ率は、どんなに堅かろうが荒れようが、ほぼ全てのレースにおいて6.7~6.8%で推移している。つまり5,000円前後の配当でも10万馬券でも、確実に上記パーセンテージの上乗せが期待できる。ちなみにウインタープレミアムの3連単配当は、366,690円のうち23,260円がプレミアムの上乗せ分だが、もし100万馬券でも当てようものなら更に凄まじい金額がプラスされることは言うまでもなく、穴党の方には従来どおり3連単で攻めることをおすすめしたい。もちろん当てるのが一番難しい馬券ではあるが…。

繰り返しになるが、せっかくJRAが設けてくれたボーナスステージも、払い戻しを受けられなければ何の意味もない。「JRA銀行」からいつもより余計に預金を引き出す絶好のチャンス。慎重かつ大胆に馬券検討を行いたいものである。なお、今後のプレミアムレースは、GIが開催される競馬場で当日の最終レースに行われる予定だ。

【Sports Watch】キム・ヨナに質問、“恋の方はどうですか？”

バンクーバー五輪が閉幕したが、日本を沸かせた女子フィギュアスケートのライバル対決（＝キム・ヨナ×浅田真央）は、ヨナに軍配があがるという結果になった。

「もし（ヨナが）引退するとしても、キム・ヨナ選手が出した記録というのは残るものなので、自分が塗り替えられるように頑張りたい」と語る浅田真央に対し、当のヨナは五輪後、どのようなコメントを残したのか――。

日本テレビ「SUPER うるぐす」（6日放送分）では、ヨナが韓国で出演したテレビ番組の様

子を伝えた。ある報道番組では「ショートプログラムで直前に演技をした浅田真央選手の得点を見て、どうしてニヤリとしたのですか？」という問いに、「自分のほうがいい演技をする自信があったし、もっと点を取れると思いました」（同番組の翻訳より）と言い切ったヨナ。浅田については、「オリンピックでは想像以上に強くなっていて驚きました」と振り返った。

また、これとは別に放送されたヨナの特別番組、「ヨナのトリプルラブ」では、司会者から「恋の方はどうですか？」と尋ねられると、ヨナは「ないですね。私は顔を知られているので恋愛は難しいと思います。でも、理想は平凡な恋がしたいです。素朴な感じの」と語るのだった。

【Sports Watch】J 復帰の稲本語る“日本とヨーロッパサッカーの違い”

アーセナルやフランクフルトといった名門チームを渡り歩き、今季から川崎フロンターレの所属となった稲本潤一。開幕戦では新潟を相手にアシストを記録し、勝利に貢献した。

そんな9年ぶりのJリーグ復帰を果たした稲本に対し、フジテレビ「すぽると！」（6日放送分）では、土曜編集長・国分太一がインタビューを行った。

「すごく早い時間に点が取れたところで、こっちのペースになりましたし、前半素晴らしいサッカーをして、追加点を取れたところが勝因だと思います」と新潟戦を早口で振り返った稲本。国分から「久しぶりの日本でのリーグ、いかがでしたか？」と訊かれると「そうですね。緊張とかはあまりしなかったんですけど、90分終わってすごく疲れた感じです」と答えた。

また、日本とヨーロッパサッカーの違いを訊かれた稲本は、「んー、多少激しさだとか、球際の強さだとかは違うと思いますけど、その分、日本人選手の方がスピードなり、一瞬の速さだとかテクニックの部分は持っていると思います」と語るのだった。

【Sports Watch】2010年プロ野球界のキーマンは？

今月20日にはパ・リーグ、26日にはセ・リーグの開幕を控え、現在はオープン戦の真っ只中。選手にとってはレギュラー入りを懸けたアピール合戦が続く一方、ファンにとってもキーマンとなる主力選手達の仕上がりや、新戦力の实力を見極め、応援するチームの展望を占なう大事な時期だ。

では、各球団のキーマンは一体誰なのだろうか――。大手プロバイダ＝ソネットが運営するプロ野球情報サイト「ベースボールマニアックス」では、「2010年のキーマンは誰だ！」と題し、全12球団における投手、野手、新入団選手、新人選手の4項目で緊急アンケートを実施した。

例えば、野手の人材が豊富で、そのレギュラー争いが注目を集めている巨人は 1 位が高橋由伸、2 位が坂本勇人、3 位が亀井義行、4 位が伊・スノヨプ、5 位が阿部慎之助という結果が出ており、同サイトに寄せられるファンのコメントも「ポジションにおける競争の状況を考えると、坂本が打つ打たないの差は大きい」といった本格的な意見が数多く寄せられる。事実「新人選手」のランキングでは、阿部の後継者といわれている鬼屋敷正人が、ドラフト 1 位の長野久義をおさえて 1 位になるなど（3 月 9 日現在の中間発表）、ファンの高い目利き振りがうかがい知れる結果となっているのも見逃せない。

だが、キャンプ情報やオープン戦の仕上がり具合を見て、「俺なら〇〇を起用する」「〇〇に注目だ」と、いまや専門家顔負けの持論を展開する野球ファン達も、悲しいかなこれらをブログやツイッターで語ったところで、結局はファンの居酒屋トークに落ちてしまうのが現状だろう。

そんな折、ファンの想いをリアルな数値に換算して競うことのできる興味深い野球コンテンツが登場した。好きな選手でチームを構成、選手のリアルな成績に連動してポイントが付与される“ファンタジー・シリーズ”の流れを汲んだオンラインプロ野球ゲーム＝「ASJ ドリームベースボール」がそれだ。

ユーザが選手カードでチームを編成すると、ドリームベースボールが設定する独自の選手評価指数に基づきポイントが算出される。ファンなら誰しも、夢のベストオーダーを考えたことがあるだろう。今後はそんなベストオーダーが決して妄想で終わることなく明確に数値化されるというわけだ。プロ野球ファンにとっては一つの勲章ともなるべき“目利き指数”の登場で、今年のペナントレースの楽しみ方は、また一つグレードアップしたといっている。

また、今月 13 日には、ドリームベースボールのリアルイベントとして、東京・恵比寿 SPAZIO2 で「プロ野球開幕直前スペシャルクロストーク」が行われる。観客参加型のイベントとなっているだけに、大塚光二（元西武ライオンズ外野手）、デニー友利（元横浜ベイスターズ）ら野球解説者陣を相手に、ファンが持論や自ら入手した生情報をぶつけることも可能なんだとか——。ネットとリアルを組み合わせ、自身の野球偏差値を世に知らしめる絶好の機会になりそうだ。

■関連リンク

- ・ ASJ ドリームベースボール公式サイト
- ・ プロ野球開幕直前スペシャルクロストーク 公式サイト

【Sports Watch】東原亜希“デスブログ”、スポーツ界を超越

柔道家・井上康生の妻でタレント・東原亜希のブログ『ひがしはらですが?』は、そのブログに書かれたスポーツ選手や著名人に災いが起こることから、通称「デスブログ」と呼ばれている。

過去には、東京ヤクルトスワローズのエース・由規が負傷で登録抹消となり、マンチェスター・ユナイテッドは東原が観戦日記を更新した次戦のホームで格下相手にまさかの敗戦。その他にも、東京五輪の招致失敗など、いくつもの伝説を残していたが、本人も気を遣っているのか、最近のブログにスポーツ選手をはじめとした個人の登場は限りなく減っていた。

そんな折、久々のデスブログ効果発動かと思われる出来事が起こった。

10日、鎌倉市の鶴岡八幡宮にある樹齢800年以上のご神木として知られる大銀杏が倒壊していたのだ。今年1月16日に鶴岡八幡宮を訪れていた東原は、同日のブログに「でもぎんなんやさん 気になる気になる んなん食べたかった～」と綴っている。

もはやスポーツ界を超越し、ご神木にまで及ぶデスブログの効果に、ネット掲示板では「神様すら逆らえぬ法則」、「ご神木でさえ耐えられないのか」、「偶然とは思えぬ」という書き込みが相次いだ。

もちろん、デスブログはネットを中心に盛り上がっている“ネタ”であり、その根拠は全くないのだが、その更新内容は今後も注目を集めそうだ。

【Sports Watch／競馬】 心ない野次に騎手が激怒“「死ね」だけは許せない”

今年1月、地方競馬通算1000勝を達成した騎手・坂井英光が、心ないファンの野次に激怒した。

10日、この日のレースで坂井が乗っていたトーアローリエがゴールを目前に前脚を骨折し、レースは中止となった。

馬の骨折は死を意味するが、それを競馬ファンが知らないはずはなく、同日に更新された坂井のオフィシャルブログ「英光の架橋」では「怒り」と題し、まさに野次への怒りをぶちまけた。

同ブログで、「心無いファンから『死ねー』『切腹しろー』とヤジがあった」と振り返る坂井は「マジで怒りを感じた」と綴り、「生死を懸けて走っている馬、そして騎手に『死ね』だけは許せない。現実にはレース中、命を落とした騎手もいる。馬や騎手達は命を張って戦って

いる。それだけはわかってほしい」と訴えるのだった。

【Sports Watch】“美人すぎる市議”、ジェイロックと契約を締結
何かと話題を集めている“美人すぎる市議”こと藤川優里（八戸市市議会 市議会議員）がジェイロックとマネジメント契約を締結した。

10日、同社が発表したリリースによると、「今後、八戸市のPR活動などのお手伝いを始め、政治以外の活動を幅広くサポートしていきます」とのことだ。

このジェイロックは、最近でこそ大勢のアスリートを抱えているが、もともとはバルセロナ五輪金メダリストで現在はプロ格闘家として活躍する吉田秀彦のマネジメントを行う会社として知られていた。

昨年には、ジェイロックの代表・國保尊弘氏が、格闘技イベント「戦極（現SRC）」を運営する興行会社ワールドビクトリーロードの取締役役に名を連ねていたが、内部の軋轢から突然解任されるという騒動もあった。

だが、ただでは終わらない國保氏は、吉田秀彦の引退試合を自社で主催することを決意。4月25日、日本武道館では吉田道場勢が総出で出場する「ASTRA」の開催を控えている。

そういう意味でも、極めて格闘技色の強いジェイロックと藤川市議のマネジメント契約には、若干の違和感を感じ得るのだが、ジェイロックには「VIVA JUDO!」という子供達を対象にした柔道の普及＋親子のコミュニケーション促進を目指した柔道セミナーを定期開催している。

吉田秀彦・瀧本誠・中村和裕・小見川道大といった人気選手が師範を務める柔道セミナーもあり、今後は藤川市議を基点に青森県八戸市での開催も考えられ、これが実現すれば、地域の活性化はもちろん、柔道を通じた子供達への教育など同市にもたらす影響は大きなものとなりそうだ。

【Sports Watch／競馬】 迷走中!? 『うまプロ!』は何がしたいのか—
今年から始まったフジテレビ系列（東日本地区）の深夜競馬番組『うまプロ!』の評判があまりよろしくない。

土曜深夜に放送されるこの時間帯は、98年に始まった『うまなりクン』から続く競馬バラエティ番組の系譜を継ぐもので、競馬番組とはいえバラエティ色の濃い構成で制作されている。

昨年までは、土曜のレースのダイジェスト放送があり、競馬記者や評論家を交えた日曜の予想コーナーがあったりと、コアな競馬ファンでも十分に楽しめる作りになっていた。

しかし今年は、それらの競馬情報が基本的に排除され（番組後半で少しだけ予想コーナーはあるが）、競馬の発展に繋がるあらゆるものをプロデュースしていくという命題のもと、MCのおぎやはぎと篠田麻里子が、そのプロデュースする企画を進行していく、よりバラエティ指向の強い番組になった。

このプロデュースする企画、つまりバラエティー部分がはっきり言って面白くない。競馬場で販売するジュースを作る企画では、何週にもわたり同じような内容で、笑いの要素も乏しく、先日始まった「U-1 グランプリ」は、単なるお笑い芸人のネタ見せ。競馬に引っ掛けたネタではあるが、競馬番組でやる企画としては弱すぎる印象がある。

MCについても、おぎやはぎは、それほど競馬に精通しているわけではなく、彼らの笑いのスタイルからも少しズレた印象。AKB48 人気にあやかって起用された篠田麻里子も、真剣に競馬を覚えようとする姿勢は窺えず（その要素は必要ないかもしれないが）、今のところただのマスコットでしかない。

『うまプロ!』は画面の向こう側、どのような視聴者をターゲットにしているのか理解に苦しむ。新規開拓を図れるほど競馬とバラエティが上手く融合されておらず、コアな競馬ファンにアピールできる情報も乏しい。すでに不満の声もあちこちから聞こえてきているようだ。

とはいえ、前身の『みんなのウマ倶楽部』も、開始当初はかなり評判は良くなかったが、競馬バラエティというカテゴリーで考えれば、最終的には良くできていたほうだと思う。そう考えると、『うまプロ!』もまだ始まって2カ月半、温かく見守っていくべきということか。

【Sports Watch】俊輔“いいプレーがなかったら代表も危ない”

13日、約7年半ぶりにJリーグ復帰を果たした横浜F・マリノス所属・中村俊輔。試合では、湘南を相手に前半22分にコーナーキックでアシストを決めるなど、その存在感を見せ付ける活躍だった。

さっそく、日本テレビ系「SUPER うるぐす」（13日放送分）では、試合後の俊輔にサッカー解説者の武田修宏氏がインタビューを敢行、復帰直後の心境を尋ねた。

まず武田氏が「プレッシャーは？」と尋ねると、俊輔は「代表選手なんで、Jリーグでいいプレーして当たり前というプレッシャーはありますね。これで全くいいプレーがなかった

ら代表も危ないですし。Jリーグ復帰、マリノス復帰って色々ありますけど、ワールドカップに出る、その一心でやっているのだから色々考えると緊張とか出てきますね」と語る。

また、今後の課題については、「チームで勝つためのプレーもそうなんですけど、今日も2ステップで抜いてシュートを打ったんですけど、ああいうの枠に飛んでいかせたりしないと厳しいかな。そこらへんの1対1ですね」と振り返った俊輔は、「ワンフェイントで抜いてすぐシュートとか、海外の選手とかは、もう持っているのだから、(三浦)カズさんもおっしゃってましたけど、最後は1対1」と、その重要性を説いたのだった。

【Sports Watch】人気女子ゴルファー、苦難の時代を語る

歴代3位のスピードで生涯獲得賞金3億円を超えた諸見里しのぶに、昨年1億4千万円もの賞金を獲得した有村智恵——。莫大な賞金を稼ぎ、今や日本でも屈指の実力派プロゴルファーへと成長した彼女達だが、その下積み時代は涙なしでは語れない幾つもの苦難があったようだ。

フジテレビのスポーツバラエティ番組「ジャンク SPORTS」(14日放送分)では、「サクセス」をテーマに諸見里&有村が出演、過去の同番組内でも語った“貧乏トーク”に更なるエピソードを追加した。

「友達をおうちに呼ぶことができない」というほどの狭い自宅で、中学3年まで6畳一間に3人寝ていたという諸見里は、プロゴルファーを目指していた学生時代を振り返り、「遠征行くにも一回20万、30万って親に負担をかけていたので、高速も一回1000円っていう話なんですけど、それを我慢して朝早く出て、その浮いた(往復)2000円で家族で食事をしようっていったり」、「父が“クラブハウスで食べると高いから、お父さんはいいから食べてきなさい”って言ってくれたり」といった家族愛を披露した。

また、高校時代にはお金がなく、ゴルフ場でご飯を食べることができなかったという有村は、コンビニで買ったパンをカラスに取られて、クラブを持って追いかけたというエピソードを語っていたが、この日の放送では「本当にいつもお金の話ばかりしているんですけど」と前置きしつつ、「大会も田舎であるから、宿泊先に行くときは、2、3回乗り継がなきゃいけないし、キャリーバックを背負って、スーツケースと自分のバックを持って、電車に乗って、乗り継ぎの階段とかも上がって、今ツアーでも(荷物は)次の会場には宅急便で送って自分の身一つで新幹線だったり、最近はグリーン車に乗るようにしているので本当に幸せで楽しくてしょうがない」と語った。

そんな二人の下積み時代のエピソードには、司会のダウンタウン・浜田雅功も「カラスにパンを取られたんやから」、「よく頑張りましたよ」と、その苦勞を労うのだった。

【Sports Watch】ダルビッシュが衝撃の告白、新球種を生み出した
日本プロ野球の歴史で、これ以上は出てこないと言われていた新たな球種がダルビッシュ
有の手によって生まれた——。

テレビ朝日「報道ステーション」（19日放送分）では、野球解説者の栗山英樹氏が開幕戦直
前となる北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュを直撃した。

ダルビッシュのオープン戦における投球を見て、「2 シームの変化が変わってない？」と切り出す栗山氏。2 シームとは、ストレートと同じ腕の振りながら、バッターの手元で微妙に変化をするストレート系の変化球だ。

この指摘に対し、「はい。ふふ、変わってますね」と不気味に笑ったダルビッシュは「2 シームじゃないんですよ、あれは。まあ、あの、違いますね。似てるような球ですけど呼び方も違う」と衝撃的な事実を明かした。

オープン戦での映像を見ながら、「シーム（ボールの縫い目）を見て下さい。一本線になっているのわかります？」と説明するダルビッシュは、ボールの回転数が上がると縫い目が一本の線のように見えることから、「全然違う球になってると思います。1 シームとも 0 シームともいえるんですけど。なんだろう。1 シームでいいんじゃないですか」と新球種を名付けた。

また、ダルビッシュは「僕的には、この 1 シームのほうが（2 シームより）変化すると思ってるんです。真っ直ぐに近いスピードで。色んな使い方がありますよ」と語ったが、「もともとは、カーライルからメジャーのピッチャーが 1 シームを投げてるって言ってて、こんな感じの投げ方だって教えて貰ったんですよ。楽天で投げる二日前くらいに。一回投げてみようと思って投げ始めた」と語り、なんとダルビッシュのオープン戦初戦となる 2 月 27 日——、その二日前に知った投げ方を実践して生まれたというのだ。

その後は、投げ方や握り方を模索したというダルビッシュだが、「1 週間経てば落としたり、伸ばしたりっていうのはできましたね」という仰天発言も。事実、さらに 1 週間後のロッテ戦では、バッターを投げる直前に予告したサードゴロに打ち取るなど、3 週間ですでに思い通りの使い方を身につけていた。

インタビューの最後には、「楽しみです。どんどん投げると思います。これ、いつ放送？（明日と聞いて）ソフトバンクの人たち見るかな」とおどけるダルビッシュ。今シーズンも日本ハムの——、いや球界のエースから目が離せない。

【Sports Watch】高橋尚 “（カットは）ピッチャーだけで9人。明日は我が身”

TBSのスポーツ番組「S1J スポ」(21日放送分)では、野球解説者の榎原寛己氏が、ニューヨーク・メッツとマイナー契約を結んだ元巨人の高橋尚成のもとを訪れた。

オープン戦では3試合無失点の登板を続け、好調をキープしている高橋は、「自分のパフォーマンスを出せれば、結果は出るだろうと信じてやってたんで楽しいですね、今は」と充実した様子をうかがわせる。

だが、現在はあくまでもマイナー契約の高橋。榎原氏が「メジャー選手との扱いは違う？」と尋ねると、「あんまり変わらないですね。大エースのヨハン・サンタナとは一緒に練習もしてますし」と答えた。

それでも、「昨日くらいからカットが始まっているんで。ピッチャーだけで9人。明日は我が身なんでドキドキしながら。自分の立場がやっぱりそういう立場。100%大丈夫だという気持ちはない」と気を引き締めた。

また、インタビューの最後には、榎原氏が用意した某大物選手からの激励メッセージにも、「どうせ松井さんとかでしょ？」と鋭い指摘をみせた高橋。事実、VTRで登場した松井からは、「もし対戦する時があれば、また打ってあげるから。それまで頑張って」というエールが送られた。

【Sports Watch】巨人の開幕オーダーは？ 高橋「出れないのであればしょうがない」
今月26日には、いよいよセ・リーグが開幕する。

他のチームにはない圧倒的な戦力からチーム内でのレギュラー争いが白熱している巨人は、外野手だけでも、ラミレス、松本哲也、亀井義行といった昨年の固定メンバーに加え、鈴木尚広、谷佳知、ルーキー・長野久義、WBCでも活躍したエドガー・ゴンザレス、さらには、ケガから復帰を果たす高橋由伸に至るまで、何人ものスター選手が少ない枠を争う。

実際、高橋やラミレスには一塁を守るという選択肢もあるが、こちらはこちらで、“アジアの大砲”イ・スンヨプがおり、開幕戦で発表されるスターティングオーダーは今シーズン最初の目玉といっても過言ではない。

そんな開幕を目前に、日本テレビ「NEWS ZERO」(23日放送分)では、キーマンの一人＝高橋に行ったインタビューの模様を放送した。

「(立てた目標は) 最低限とはいえないですけどやってこれたので、今のところはよかった

かなと思いますね」とケガからの復帰～オープン戦までを振り返った高橋。だが、厳しいレギュラー争いについては「(外野を) やりたいっていても、出れないのであればしょうがないし。まずはどうのこうのいってられる立場じゃないし。出れるところがあれば挑戦するだけです(中略) まずは一年間ずっと戦える状態にいるというのが一番ですよ」と語るに留めた。

【Sports Watch】人気ジョッキー・三浦に起こった“ショッキングな出来事”

最近ではグラビアアイドル・ほしのあきとの交際が話題になった競馬界の超新星・三浦皇成に「ショッキングな出来事」が起こったようだ。

24日に更新された三浦皇成オフィシャルブログ「皇成 aim at the top」では、「強烈～」と題し、その様子を綴っている。

「実は朝からショッキングな出来事が……」と切り出した三浦は、先輩から「お前の車のタイヤタイヤから空気漏れてる音がするぞ」と指摘されるや、車を修理に持ち込むとタイヤにはトゲのようなものでパンクをさせられた後があったという。

原因こそ断定できないものの、乗車中であれば大事故にも繋がりがかねない。同ブログでは、「『普通に走ってる分には刺さるとは考えづらいですね～』と車屋さんの方……って、それって誰かの仕業ってコト いやいや、たまたまミラクルにミラクルが重なっただけでしょこんなときユッティーならどうするんだろう」とおどけてみせたが――。

【Sports Watch】モデル高垣、スピードスケート清水との交際を語る

日本テレビ「メレンゲの気持ち」27日放送分には、スピードスケート・清水宏保と交際する、カリスマモデル・高垣麗子が出演、その現状を語った。

「たまたま共通の知り合いがいて、みんなで食事した時に知り合った」という高垣は、過去にフィギュアスケートをしていたが、「昔、やりました。(清水と氷上の話は?) あ、そんな話はないです」とキッパリ。

また、清水の存在を「一緒にいて、同じ空気感というか、落ち着く人だったので」という高垣は、自身の交際を「お互い目標があって頑張っているんで、いい意味で刺激し合って、じゃあ私も頑張るねって感じ」と明かした。

しかし、普段は清水が北海道にいるため、遠距離恋愛となる二人。それでも高垣は、「誕生日もクリスマスも離れていた。サプライズである時、玄関にお花が置いてあったことがあって、繋がってるなって思って」とのろけつつ、すでに“今春”という報道もあった結婚については、「できたらいいですね。タイミングがあるので・・・」というに留めた。

【Sports Watch】興毅のプロ初黒星、史郎氏「本当に申し訳ない」

27日、有明コロシアムで行われた WBC 世界フライ級王座統一戦で、暫定王者ポンサクレック・ウォンジョンカムに判定で敗れた亀田興毅。王座陥落となるプロ初黒星を喫した。

試合から一夜明け、興毅の父・史郎氏は、自身のオフィシャルブログ「亀田三兄弟の親父」に「2010/03/28」と題し、「本当に申し訳ない、きたいにこたえられなくて」とファンに詫びた。

また、「誰もが一度は負ける時が来る」と前置きしながらも、「興毅の気持はたまらんと、思う。一杯苦しんで、一杯泣いて、またこれ以上強くなって、皆の前に帰って来ます」と前を向いた史郎氏。一部の報道では、ウォンジョンカムのバッティングに関する採点を不服とした亀田陣営が、はやくも再戦を要求、史郎氏も「俺は絶対に許さん」といったコメントも残していたが、ブログの中では触れられていなかった。

【Sports Watch】キム・ヨナの失速、韓国記者「引退の可能性は 50%」

イタリア・トリノで開催されたフィギュアスケート世界選手権では、浅田真央が合計 197.58 点を獲得し、2 年ぶり 2 度目の優勝。バンクーバー五輪金メダリストのキム・ヨナは合計 190.79 点の 2 位に終わった。

特に、初日の演技でジャンプとは関係ないところでもミスを連発して、7 位と出遅れたキム・ヨナ。女王に一体何があったのか——、27 日放送の日本テレビ「SUPER うるぐす」は、キム・ヨナの失速について、韓国の記者達にインタビューを行った。

同番組にコメントを寄せた韓国の東亜日報新聞記者のキム・ドンウック氏は、「五輪が終わってから時間がなかったので、キム・ヨナは精神的にも肉体的にも準備ができていなかった」と語ったが、韓国 SBS スポーツでヨナの番記者といわれているイ・フンソン氏は、「私がキム・ヨナ選手にインタビューをすると『練習する時間が一週間しかなかった』と話していました。調整する時間が足りなかったのでしょうか。引退の可能性は 50%だと思います。たとえ、現役を引退するとしても、プロとしてスケートを続けるでしょう」と、さらに具体的な私見を語った。

【Sports Watch】興毅の敗戦にジョージ&テリーは「勉強になったと思う」

WBC 世界フライ級王座統一戦では、暫定王者ポンサクレック・ウォンジョンカムに判定で敗れ、プロ初黒星を喫した亀田興毅。周囲の評価はその敗戦を“経験”“勉強”と語り、よしとした。

TBS「サンデー・ジャポン」（28 日放送分）では、番組コメンテーターの高橋ジョージ、テリー伊藤らが試合の感想を述べた。

「スピードは全然興毅が上だった。引っ掛かりのないまま終わっちゃったっていう感じ。だから、結論だけ最初に言っちゃえば、俺はよかったと思う。変な話ですけど、いずれはどんなビッグなファイターでも一敗はしますよ。だから、この時に負けておいて、すぐ立ち直ってやってほしい。で、いろんな勉強になったと思うんですよ。サウスポーとやるっていうのも、対策を練っていたけど、ポンサクレックは、興毅がワンツーってやってくると、ワンツースリーってやってくるわけ。それがポイントが上がるんだよね。ガードされても、ガードの上からパンチを入れてくるから、そういう勉強になったと思う。ポイントを稼ぐという意味では。(バッティングは) あれもいい経験で、バッティングを気にしていたけど、天晴れで12R最後まで全然気にせずにやったっていうのは褒めるべき」。

こう語るジョージに同調したテリーも、「内藤選手の際は正面から戦ってくれたけど、新チャンピオンは興毅選手の力を押さえ込む、そういう才能を持ってましたよね。これから世界にいくと、力だけじゃなくて、テクニックのいい選手がいっぱいいるから、いい勉強になりましたよね」と話すのだった。

【Sports Watch】石川遼、2度目のマスターズへ “(去年は) ヤベェ、ヤベェ言ってた”
TBSの新報道番組「NEWS23 X」では、今月8日から開幕する男子ゴルフ＝マスターズ・トーナメントに出場するため、オーガスタに到着したプロゴルファー・石川遼にインタビューを行った。

昨年と同トーナメントでは、プロゴルファーとして史上最年少での出場を果たしながらも、73位で予選落ちという結果に終わっている石川。あれから一年、再び迎えた大舞台での戦いについても、「去年よりは全く落ち着いていましたね。(去年は) ヤベェ、ヤベェ言ってたんですけど、今年は全くそういう会話はなかったです」と、コメントにも余裕を感じさせた。

また、その根拠として、「色んな選手ともプレーしましたし、そういうのを見てきて、自分もこういう風な攻めができなければいけないんだっていうようなことを自分なりに感じたんで、一年間経つと、かなり考え方も変わるんだなと思いました」と語り、経験を積むことで得た自信を垣間見せたのだった。

【Sports Watch】新大関・把瑠都、突っ張り開眼も「申し訳ない」
史上初のエストニア出身力士にして、この春場所で大関昇進を果たした把瑠都凱斗。2日放送のフジテレビのスポーツ番組「すぽると！」では、三宅正治アナウンサーによる把瑠都へのインタビューが放送された。

優勝こそなかったが、春場所で猛威を奮った突っ張り――。だが、これまでの相撲ではあまり突っ張りを見せてこなかった把瑠都は、「場所前の親指のケガがあったので、ちょっ

と力が入らなかった」と、その理由を語った。

ここで三宅アナが、「今まで、そんだけのパワーがあるんだから、もっと（突っ張りで）いけばよかったじゃないですか？」と尋ねるも、「お客さんもゆっくり相撲を見たいじゃないですか？」という把瑠都。突っ張りだとすぐに決着がついてしまうのでお客さんが楽しめないと話し、今回の突っ張りについては「申し訳ない」と笑顔で頭を下げた。

また、「朝稽古だけでなく、夜も筋トレやってみました」と肉体強化を明かした把瑠都だが、「場所に向けてだけじゃなくて、そろそろ夏なのでビーチにいけなきゃいけない」と、やっぱりおどけてみせたのだった。

【Sports Watch】TBS の新スポーツ番組はどうだった？（1） 野村前監督、岩隈不調に「大変心配」

4月3日（土）より、TBS では新スポーツ番組「S1」の放送が始まった。

“硬派スポーツニュース大型新番組”（番組ホームページより）として、昨年末に現役を引退した元 K-1 ファイター・魔裟斗をメインキャスターに抜擢、ゲスト解説には野村克也、ラモス瑠偉、村主章枝らを起用したのだが、その内容はどうだったのか——。初回放送を終え、さっそく気になったシーンや場面を挙げてみよう。

昨シーズン・リーグ 2 位の大躍進を遂げた楽天だが、今シーズンはスタートダッシュに遅れをとり、頼みのエース・岩隈も 3 戦に登板しながら、いまだ勝ち星がない不穏な幕開けとなった。

そんな岩隈について、感想を求められた野村前監督は「（岩隈は）大変心配です。エースで落とすっていうのは、内容が悪すぎますからね。かなり今の投げ方を見ていると焦ってます」と語る。

また、具体的には「要するに小手先で、ひょいひょいって放っているような気がしません？ピッチャーはバランス。全体の身体をうまく使って投げていくっていうフォームが一番大事ですから」と説明を加えると、3 日のゲームで審判に抗議し退場処分となったブラウン監督についても、「いやいや（退場は）よくないでしょ。あれは一つのパフォーマンス。計算は入っていると思いますよ」と言い切った。

【Sports Watch】TBS の新スポーツ番組はどうだった？（2） 野村×ラモスが言い合いに TBS でスタートした新スポーツ番組「S1」。3 日に行われた初回放送では、まだ馴染めないのか、控え目な印象を残したメインキャスター＝魔裟斗をよそに、野村克也とラモス瑠偉が一時言い合いとなる場面があった。

それは、ロシアリーグ・CSKA モスクワで活躍する本田圭佑に話題が移った際——、本田のフリーキックを野村が「ナックルだ」と例え、ラモスも「今のボールは蹴りやすいようにできている。だから、キーパーが一番辛い」と解説を加えるなど、コーナーは順調に進行していた。

だが、誰もが本田を絶賛し、コーナーも終わろうとしていた矢先、突然、野村が「その頭、なんとかならんかね」と本田のパネルを指差した。

ここで、ラモスは「ピッチの中でやるべきことをやれば、ある程度、こういうことをやってもいいんじゃないかな」とフォローを入れたが、引きさがらない野村は「サッカー界では、こういうことは平気なの？」と、その範囲を業界全体に広げる。

この質問に、「いやー、残念ながら平気です」と返したラモスに、止まらなくなった野村は「日本で一番欠けているのは“らしさ”なんですよ。政治家らしさ。スポーツマンらしさ。サッカー選手らしさはこれでいいの？」と言い放つ。

なにかとサッカー界全体に言及しようとする野村に、（カメラは本田のパネルを映していたため、表情は分からなかったが）ラモスは一転「いいんじゃないですか」と素っ気ない返答に。野村が「どうして自然体で、こういう・・・」と言いかけると、「ファッション、ファッション」と話を終結しようとするのだった。

■関連リンク

- ・TBS の新スポーツ番組はどうだった？（1）ノムさん、岩隈不調に「大変心配」
- ・TBS の新スポーツ番組はどうだった？（3）不安定な初回放送を露呈

【Sports Watch】TBS の新スポーツ番組はどうだった？（3）不安定な初回放送を露呈

3 日に TBS でスタートしたスポーツ番組「S1」では、“初回放送”とはいえ、番組中にぎこちない場面が幾つも見られた。

野村克也、ラモス瑠偉、杉山愛といった各スポーツ競技の選手＆OB をゲスト解説に迎えた同番組。次のコーナーへと移る際には、司会の初田啓介アナが「さあ、東尾理子さん、次は何にいきますか？」といった振りをみせ、言われた当人が「はい、この後は女子ゴルフ。頑張る宮里藍ちゃん」と発し、CM 等に入っていく流れだ。

だが、J リーグ・コーナーの前には、本田圭佑の髪（金髪）を巡って野村とラモスが軽い口論となった影響もあってか、カメラワークが混乱、スタッフがラモスに指示を出すカンペが

思い切りフレームに入ってしまった。

それでも、しらじらしく「それではラモスさん、次どうしますか？」という振りを見せる初田アナに、テレビの前の視聴者は、ため息をついたことだろう。

また、死闘の末、春の甲子園で初優勝を果たした興南の話題になると、メインキャスター・魔裟斗は、野球解説者・野村をスルーして、「どうですか、杉山さん」と突然のご指名。杉山は「(エース・島袋は) 打って、打線もとって。すごい活躍でしたね」と返答。魔裟斗も「いいですね。フレッシュというか、頑張るぞという感じが」と語り、とりわけ試合内容を深掘りすることなく、あっさりとコーナーを終えた。

その他にも、番組の最後には、魔裟斗が「この後は野村監督、最後のボヤキです」と言いながらも、当の本人は「え？」と言い、困惑した表情を浮かべたまま CM へ。

その後、政治のニュースを挟んで、改めて番組のエンディングとなったが、ここで改めて初田アナが「野村監督、最後に一言お願いします」と言い直すと、そのコメントはボヤキどころか、野村は「楽天、何やってる。今が一番大事な時」と活を入れたのだった。

【Sports Watch】岡田監督が胸中を告白「3 試合ともキツイ」

日本テレビ「NEWS ZERO」(6 日放送分) では、W 杯開幕まで後 2 カ月となった日本代表・岡田武史監督に、元日本代表選手で 12 年前には岡田監督の口から代表落選を言い渡され、三浦知良とともに W 杯出場の夢が断たれた現サッカー解説者・北澤豪氏がインタビューを行った。

「岡田さん、NEWS ZERO ってしてます？」という北澤氏に、岡田監督は「俺、テレビほとんど見ないからダメなんだよ。テレビの話しないで」と苦笑いを浮かべるも、W 杯開幕に向け、チームの仕上がりを訊かれれば、「あとは、僕がどういうシュミレーションでもってくかっていうこと。これが思い通り進んでいるかどうかっていうのは、毎日のたうちまわるくらい苦しんでいる」と語った。

また、残された期間には、「去年の 10 月、11 月のシリーズが終わった時点で、勝負は 5 月のキャンプだなって思っていましたから。こっからが一番大変なところ」といい、具体的な対戦相手＝カメルーン (6 月 14 日)、オランダ (6 月 18 日)、デンマーク (6 月 24 日) については「こっからは対戦相手も決まっている。戦い方も分かる。メンバーも決まっている。力の差を冷静に分析したら、真正面からいったらやっぱり 3 試合ともキツイよね。じゃあ、自分達の良さを消さないようにしながら、相手の良さを消すことも考えなきゃいけない」と、その胸中を明かした。

その他にも、北澤氏から「岡田さんにとっての W 杯とは？」と尋ねられると、「若造みたい
に夢の舞台とかいえないしな。別に俺にとって夢の舞台ではないし、リアルな現実である意
味めっちゃ怖いところ。チャレンジする修行道場。僕らの仕事は結果を出して、初めてモノ
がいえるところがあるんだよね。結果っていうのは今回が特に、4 回目の W 杯で大事だと思
ってるし、この仕事を引き受けた時から、何が大事かっていったら、チャレンジすること
だと思ってんだよ」と熱く語る岡田監督だった。

【Sports Watch】城島の決意「プロ野球を楽しくやろうとは思わない」

今シーズンより日本球界復帰を果たした阪神タイガース・城島健司。開幕から攻守に活躍
し、大阪のファンにもすっかり認められた。

そんな逆輸入メジャーリーガーが、日本テレビ「NEWS ZERO」(5 日放送分) でインタビ
ューに答えた。「ピッチャーがどうこうしたい、ああしたいという色んなシチュエーション
に対して、やっぱり全ての状況にに応じてあげたいと思いますよね」と語る城島。

復帰とはいえ、ゼロからの再出発には、「ピッチャーが投げたいように。ピッチャーが気分
がいいように。少しでも自分ができることがあれば、あわせたいと思う」と投手陣やチーム
への献身を強調した。

また、勝負の年に並々ならぬ決意を見せる城島は、「決して仕事なんで。野球なんて楽しく
やろう……。野球なんていったら。プロ野球を楽しくやろうとは思わないですが、プロだ
からこそ、どんなに苦しくても嫌だろうと、自分がグラウンドに立つための、やらなきゃい
けないフローをキチッとやって、準備は怠らずにやらなきゃいけない。それがプロなんで」
と熱く語った。

【Sports Watch】ノリノリ秋山、五味の試合にダメだし連発

3 月 31 日(水・現地時間)、アメリカはノースカロライナ州シャーロットで行われた「UFC
FIGHT NIGHT」では、五味隆典、宇野薫、岡見勇信といった日本を代表するトップファイ
ターが出場した。

しかし、その結果は、岡見がルッシオ・リニャレスから勝利を挙げたものの、五味、宇野は
ケニー・フロリアン、グレイソン・チバウを相手に、それぞれ完敗を喫した。

試合の様子は、今月 8 日にテレビ東京で放送、ゲスト解説には秋山成勲が登場した。大会日
より約 1 週間のデイレイ中継となった今回の中継だが、ファンの注目を惹いたのは、終始
ハイテンションで解説を行うノリノリの秋山だった。

自分と同階級の試合となった岡見×リニャレス戦では、序盤から「そう、ナイス」「ジャブ、ジャブ、ジャブ、ジャブ」「そうだ、そうだ、ナイスや」と、あたかもセコンドについているかの如く叫び続けた秋山。

テレビ東京・島田アナウンサーから「(秋山の) 声が(選手に) 聞こえている?」と言われれば、「なんでやろうな」とおどけてみせたが、その後、試合に敗れた五味の放送になると「ちょっともらいすぎや。呼吸しろ、呼吸しろ。頭下がりにすぎ。大きい狙いすぎ。ダメだ、ダメだ」と一変、今度はダメだしを連発するのだった。

【Sports Watch】ノムさんが挙げる4番バッター・ベスト5とは？

フジテレビ「すぽると！」(9日放送分)では、野球解説者の江本孟紀氏、そして、同じく野村克也氏が、歴代最高の4番バッター・ベスト5をそれぞれ選んだ。

まず、江本が選んだベスト5は以下の通り。

- 5位・江藤慎一
- 4位・土井正博
- 3位・野村克也
- 2位・田淵幸一
- 1位・王貞治

野村氏が3位に入っていることで、当の本人は「大分、お世辞入ってるね」と皮肉ったが、江本氏は「僕の選んだ基準は、ナンバー1は(野村)監督だと思うんですけど。王さんは5年間対戦して(江本氏が)一番打たれていない4番バッター。田淵さんの場合は、飛距離ですね。ホームランバッターであれだけ飛距離を伸ばした人はそうはいない。右の4番はインコースを打つ人が4番バッター。監督はどちらかという怖がりだったんだけど、インコース打つのがうまかった」と個人的な対戦経験を織り交ぜて説明した。

だが、野村氏は「監督の立場からすると中心選手ですから、鏡になる打者、これが4番だと思う」と持論を述べ、以下の通りに挙げると、「他の選手に“王を見習え”、“落合を見習え”って言えるじゃないですか」と、その理由を述べる野村氏だった。

- 5位・松中信彦
- 4位・松井秀喜
- 3位・スペンサー
- 2位・落合博満
- 1位・王貞治

【Sports Watch】浅田真央「恋したい」発言に上田&江川がツッコミ

バンクーバー五輪で行われた浅田真央の演技が、女子フィギュアスケート初となる 3 度のトリプルアクセルを決めたとしてギネス世界記録に認定された。

その浅田が、日本テレビの新スポーツ番組「Going！Sports&News」（10 日放送分）にゲストで出演、フィギュアのこと以外にも、気になる“あの噂”について語った。

バンクーバー五輪を改めて振り返って、「悔しさもあったんですけど、表彰式が終わって、ずっと時間が経ってからは嬉しさが出てきた」という浅田は、銀メダル獲得した翌朝の気持ちを訊かれると、「複雑でしたね。ミックスみたいな感じです。メダルも獲れて嬉しいんですけど、金メダルがよかった」と答えた。

また、今年 9 月で 20 歳になる浅田が「恋したい」と発言したことについては、「タチアナ先生からよくいわれていることなんですけど、“真央も恋をしないと”っていわれます」と切り出す。だが、上田晋也から「恋をすると、表現力に変化があったりするんですか？」と尋ねられても、「あるんですかねえ、と思うんですけど」と半信半疑のご様子。「あまり恋とかしたことないのですが、偉大なタチアナ先生からよくいわれるので、20 歳になるので少しはしてみてもいいのかなと思って」と語った。

しかし、江川卓から「お言葉ですけど、(恋は) してみてもいいかなっていうものじゃないですよ？」という真っ当な指摘を受けた浅田。好きなタイプについても「かっこよくて、面白くて、優しい人」と返答したため、上田からも、「日本には今のところ見当たらない」とツッコまれたのだった。

【Sports Watch】史郎氏がライセンス返上“子どもたちの足を引っ張った”

先月 27 日に行われた亀田興毅×ポンサクレック・ウォンジョンカムによる王座統一戦後、判定を巡って試合役員に暴言を吐き、抗議をしたとされる亀田史郎氏。その言動には、日本ボクシングコミッションも怒り心頭でライセンスの取り消し処分を科す方針を固めていたが、13 日に予定をしていた正式発表を前に、なんと史郎氏自らライセンスの返上を申し出た。

12 日に更新された亀田史郎オフィシャルブログ「亀田三兄弟の親父」では、「感謝と決断」と題し、その冒頭では、「今回の件は自分でも、熱くなりすぎてしまい、行きすぎた行動をとってしまいました。亀田ファンのみなさん、関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしました」と謝罪を行った史郎氏。

さらに、「現在停止中のライセンスを自ら返上することを決めました」と明かし、「この決断

で、みなさまに謝罪できたとは思いませんが、この決断をすることが、一番良いと考えました」と、その理由を述べた。

また、ブログの後半では、「今回の件では、自分の行動で子どもたちの足も引っ張ってしまいました（中略）自分は身を引く決意をしましたが、今後とも、子どもたちを応援していたければ幸いです」と述べた史郎氏は、一人の父親に戻っていた。

【Sports Watch】朝青龍の協会批判は誤解、通訳者のミスだった!?

18日、宮根誠司と滝川クリステルによるフジテレビの情報番組「Mr.サンデー」がスタート。この日の特集として、衝撃の引退から2ヵ月が経った元横綱・朝青龍への密着が放送された。

密着中、現在の気持ちを訊かれた朝青龍は、「そうですね。とにかく、あんまり相撲のことは考えたくないですね。朝方起きると、シコ踏む時間があるじゃないですか。稽古場の。そうするとソワソワするんですよ。まだ、マゲがあるからね。びんつけの油のにおいとかもついているんでね」と複雑な胸中を明かす。

さらに、朝青龍が起こしたとされる暴行事件について言及すると、「本気で怒ってキレたら、相撲とりですよ。大変なことになりますよ。それが、なぜ殴って鼻折ったとか、そんなもんじゃないですよ。こっちは現役バリバリの横綱ですよ。場所中ですよ。本気で殴るなんてことがあったら大変なことになります」とキッパリ否定しながら、証言の矛盾と問われると、「世界の言葉全部で伝えたかった。こっちからくる力、立ち向かう力、差がありますよ。それに対して自分一人ですよ。勝てないですよ」と弱音を漏らした。

また、先月、朝青龍がモンゴルで行った会見中、「気に入らない要求がたくさんあった」と相撲協会を批判したことにも、「モンゴルの通訳が悪いのか。しゃべったのは僕だからね。まず、そういうことはありえない」と全面否定。

実際に、同番組が二人のモンゴル人通訳によって、会見のコメントを再翻訳したところ、そんな朝青龍の言葉を裏付けるかの様に、「多くの言葉はニュアンスがかなり違います」と証言、“気に入らない要求たくさんあった”という発言は（二人の通訳によると）言っていないという。

【Sports Watch】“恋したい”浅田真央が苦笑い「残念ですね」

18日より、宮根誠司と滝川クリステルによるフジテレビの新情報番組「Mr.サンデー」の放送がスタート。初回は、司会の宮根がフィギュアスケート・浅田真央と一緒に台場でショッピング&食事を楽しむ特集が放送された。

食事をしながら、浅田に質問を投げかけていく宮根。「(バンクーバー五輪) 前の日は寝れるもん？」と尋ねると、浅田は「思ったより寝れます。起きる時には“今日、ショートの日なんだ”って思います」と、さしたる緊張もなかった様子をうかがわせた。

そして、五輪におけるフリー演技時のミスについては「最初のジャンプの失敗の前に、トリプルアクセルの次くらいの大技があったんですね。それを決めたら、9点入ると思ったところで、集中がきれたし、動きもすごい硬くなってしまった」と語る浅田は、演技後の涙についても、「もう、演技が終わって、1分とかですぐインタビューだったので、何も考えないまま、ただ悔しいだけの気持ちでいったんです。何ていえばいいのか分からないまま、長かったけど、今はもうここに立っててアッという間だった」と振り返った。

また、浅田がもうすぐ二十歳になることに話題が及ぶと、「恋人とか？」とストレートに質問する宮根に対し、浅田は「いいですね。二十歳になったら(恋)してもいいかな。でも相手がいないので」と苦笑い。

これには宮根も「相手は十分いると思うけど、真央ちゃんに声かけていいのか分からへん」とフォローを入れたが、当の本人は「残念ですね」と呟いた。

【Sports Watch】日本人以上に世界で知られるメジャーリーガーが退団

日本人以上に、世界中の人が知る著名な日本人選手として高い知名度を誇るのが、世界130カ国で放送されている、世界最大のプロレス団体WWEで活躍するフナキ(カン・フォー・ナキ)だろう。

フナキは、プロレス界のメジャーリーガーとして、13年にも渡る長い時間をWWEのリングで過ごしたが、23日、自身のブログ「FUNAKI'S #1 REPORT」では、突然の団体退団をファンに報告した。

「話し合いの結果、退団を決意しました」というフナキは、「でも、まだ自分は動けます！これからはもっともっと動いていきます」とも綴っており、どうやら次の目的も定まっている様子。果たして日本マット界へのカムバックはあるのか——、その動向が気になるところだ。

【Sports Watch】闘莉王、ドイツW杯時は「自分にイライラしてた」

日本テレビ「NEWS ZERO」(23日放送分)では、日本代表＝田中マルクス闘莉王のインタビューが放送された。

W杯開幕を約2ヵ月後に控え、「本当に手の届かないところだと、ずっと思ってたんですけど、こうやって近づいてくると、できるだけ早くきてほしいなっていう心で待ちきれないで

すね」と語る闘莉王。

2006年のドイツW杯では、代表落選という屈辱を味わったが、「W杯期間中、ブラジルに帰って観ていたんですけど、自分にイライラしてたっていうのと、本当に情けない気持ちでずっといたことは今でも覚えていますし、なにより非常に悔しかった」と振り返った。

それでも、「W杯は人生で一回出れるかどうかの大会、無駄にできないし本当に楽しみ」という闘莉王は、「もしかしたら、これが最後かもしれないっていう気持ちで、思い切ってピッチの上で出せるようにやるだけだと思います」と意気込みを語った。

【Sports Watch】内藤にズバリ質問 「試合に負けて、生活は苦しくないですか？」
TBSのバラエティ番組「さんまのスーパーからくりTV」（25日放送分）では、ボクシング元WBC世界フライ級王者・内藤大助がゲストで出演した。

「からくり熱中少年物語」というコーナーでボクシングに打ち込む13歳の少年アンディ君が、内藤と触れ合うことで自信を深めていく——、という内容の放送が流れたが、この日は、そのアンディ君がスタジオに登場。内藤に際どい質問をぶつけていった。

「試合（亀田戦）に負けて、今生活は苦しくないですか？」と尋ねるアンディ君に、スタジオは大爆笑となったが、内藤は「今のところは大丈夫。ファイトマネーとか、テレビにも出させて頂いて、大丈夫よ」と苦笑い。

また、「（ポンサクレック戦で）亀田選手が負けた時、内藤選手はどう思いましたか？」と続けるアンディ君に、「ねえ、あの、ねえ」としどろもどろの内藤。「正直、いまだにどうしようっていう、か、か、か」と話したところで、司会のさんまから、「裸の大將か」とツッコミを入れられた。

【Sports Watch】巨人・星野の壮絶野球人生“ひどいことするなって”
2009年の育成選手として巨人軍に入団すると、今年、遂に支配下登録された星野真澄は、既に一軍公式戦での登板も経験、貴重な左のサイドスローとしてファン・関係者の期待も高い。

しかし、その野球生活は波乱万丈に満ちていた。誰よりも星野を応援していた母親を高校1年の時に亡くすと、ベンチ入りすることすらできなかった高校時代に、重度の腰痛に悩まされた大学野球時代。その後、社会人野球のバイタルネットに入団すると、徐々に結果を残しはじめ、いよいよマスコミの目に留まり、北信越大会決勝を迎えたが、そのマウンド上では気胸となり、ベンチで気を失ってしまった。

それでも、独立リーグのBCリーグの信濃グランセローズでプレーした星野は、昨年育成選手枠で巨人入り。そんな星野の特集が、27日のテレビ朝日「報道ステーション」で放送された。

「高校、大学と変化球が投げれない状態。ストレートしかストライクが入らない。すぐフォアボールを出してっていう自滅型のタイプだった」という星野。

「自分は母親を高校で亡くしているんですけど、その時からずっと父親が支えてくれてまして、どうせだったらプロ野球に行って、親父にいい想いをさせてやりたいっていうのは心の底で、どんなにダメな時も思っていた」と語ると、突然肺に穴があく気胸に見舞われた苦い思い出には、「神様がいるんだったら、“今日こういう風にするのか”みたいな感じでしたね。結構、ひどいことするなって」と、夢の舞台に辿り着いたその陰しい道のりを振り返った。

【Sports Watch】鬼嫁・新山千春“ゴミが私の手にやってくるって考えられない”
TBSのバラエティ番組「イチハチ」(28日放送分)では、「隠れ鬼嫁芸能人 No.1 決定戦」として、埼玉西武ライオンズ一軍打撃コーチ補佐を務める黒田哲史の妻でタレントの新山千春、元巨人軍の元木大介の妻でフリーアナウンサー・大神いずみらがゲストで出演した。

男性視点で見れば、非常に気の毒なエピソードが次々に寄せられる同放送だったが、中には(例え誇張されていたとしても)些か腹立たしい鬼嫁達の横暴ぶりも明かされた。

元プロ野球選手の妻、新山は「ゴミの臭いが好きじゃないんですよ。ゴミが私の手にやってくるって考えられなくて、野球選手は汗もかくので、どうせ汗をかくなら旦那さんがやれば。どうせ汗かくなら汚れた人がやれば。旦那さんにとっても、ゴミの臭いがする嫁がいるのと、いい匂いがする嫁とどっちがいるのがいいですか?」と、さも当たり前のように語る。

また、天然の旦那を持つ大神は、他の出演者と異なるエピソードを披露。ケンカをした際、「向こうがおバカさんだから、こっちが普通のことをいってても、向こうにとってはすごい大変なことをいっているように聞こえるんですよ。だから、ちょっと難しい言葉を織り交ぜてみるんです。それって因果応報だよとか、四字熟語とかを織り交ぜていくと、(元木は)“ううう”ってなる」と、ケンカ必勝法を明かした。

その他、もはやスポーツと関係ないところでは、舞台俳優・草野徹と結婚したタレントの山田まりやが、自身の風呂上がり、草野にドライヤーで自分の髪を乾かすよう強要しているなど、酷い有り様だった。

【Sports Watch】子供がなりたい職業とは？

28 日、第一生命保険は、昨年 7 月～8 月にかけて、全国の幼児・児童（保育園・幼稚園児及び小学校 1～6 年生）を対象に行ったアンケート＝「大人になったらなりたいもの」の集計結果を発表した。

971 票が有効回答となった同アンケートにおいて、男子が大人になったらなりたい職業では、1 位が「野球選手」（16.3%）で、2 位「サッカー選手」（12.2%）、3 位「食べ物屋さん」（5.5%）に——。また、1 位の野球選手は、2004 年以来 6 年連続トップで、サッカーとの 1、2 フィニッシュは 3 年連続という結果になった。

だが、その一方で、女子の“大人になったらなりたい職業”は、1 位が「食べ物屋さん」（20.0%）、2 位が「保育園・幼稚園の先生」（6.9%）、3 位が「看護師さん」となり、スポーツ系は、9 位のダンスの先生・ダンサー・バレリーナ（2.6%）が最高となった。

やはり日本を代表するスポーツは野球ということになるのだろう。ただ、今回の調査＝学年別では、低学年の集計で 1 位がサッカー、2 位が野球になっている結果もあり、今年の W 杯の内容次第では、93 年の J リーグ・ブーム（※）を思い出させるサッカー復権も考えられるが、現状では極めて難しそうだ。

（※）93 年の同アンケートでは、1 位がサッカーとなり、野球は 8 位に落ち込むという結果になった

【Sports Watch】阪神と広島にみる、1 勝＝5 億円の差とは？

フジテレビ「すぽると！」（30 日放送分）では、「スポーツを楽しむ！金曜日」として、チュートリアル・徳井義実がゲストで出演、自らプレゼンターとなり、プロ野球 12 球団における、外国人選手を除いた球団別年俸ランキングを発表した。

ランキングの結果、1 位は当然巨人かと思いきや——、なんと巨人は総額 26 億 6506 万円で 5 位に（外国人選手を含めれば 1 位）。1 位は阪神（35 億 3410 万）、2 位は福岡ソフトバンク（32 億 6940 万）、3 位は中日（27 億 1610 万）、4 位は千葉ロッテ（26 億 8170 万）という順位（同番組調べ）だった。

ちなみに最下位は広島の 14 億 2460 万円という結果になったが、広島ファンの徳井は、「（1 位の阪神と）21 億円の差があるんですけど、現時点で阪神 16 勝、カープが 12 勝なんですよ。21 億の差があるのに 4 勝しか差がない。1 勝 5 億円の差なんですよ。それを思うと、だいぶエコ」と力説した。

【Sports Watch】浅田姉妹が徹子の洗礼!?

「祝 35 年突入記念『徹子の部屋』スペシャル」（1 日放送）では、フィギュアスケートの浅

田真央&舞が姉妹で出演した。

収録は、真央が世界選手権から帰国した直後の3月31日に行われたことから、「ちょっと休みたいんだけど、みたいな時はないですか？」と尋ねる黒柳。これに真央が「今日はすごい楽しみです」と答えるや、「ホントに一」と一気にテンションが上がりだし、「今日は、ちょっと滑って頂けるって。うっふっふ」と実際のリンクで真央に演技をねだると「普通に滑ってね。あの、もう、そんな、トリプルアクセルとかいいですから」と続け、徹子節を全開にした。

また、3人で食事をしながら行われたフリートークでは、真央が舞から貰ったという熱田神宮の勝守を常に携帯していることに話しが及ぶ。すると、徹子は「なんか、すごく真央ちゃんが落ち込んで、スケート辞めたいって」と言いかけ、話を核心に進めようとした瞬間、運ばれてきた料理に「これ何ですか？」と突然話題を転換。徹子の洗礼を受けた浅田姉妹は、ただ笑うしかなかった。

【Sports Watch】ラモスが絶賛「岡ちゃんに電話しよ」

W杯日本代表メンバー23名の発表を間近に控え、元日本代表・ラモス瑠偉が、ジュビロ磐田・前田遼一を絶賛した。

TBS「S1」（2日放送分）で、横浜F・マリノスがジュビロ磐田に勝利した一戦を観戦したラモス。前田のよさを「僕はね、ポストプレーが天下一品。ボディーバランスも抜群」と説明するや、その試合中、前田が放ったスルーパスには「素晴らしい、いやあ、素晴らしかったですね。鳥肌立ちましたね」と興奮した様子で褒めちぎった。

また、前田の代名詞＝ポストプレーが飛び出すと、「これですよ。世界に通用するトラップですよ。岡ちゃんに電話しよ」とご満悦のラモス。試合後、前田を直撃し、「(W杯選出に)何が足りない？」と尋ねると、「もっとFWの位置、厳しいところでボールを受けて、点に絡む仕事、ボールを引き出すFWっぽい動きが全然できなかった」と語る前田に、「万が一選ばれなかったら、次のW杯、僕監督やるから必ず連れていきます」と断言するラモスであった。

【Sports Watch】諸見里しのぶ「1打でこんなにも違うんだって」

日本テレビ「NEWS ZERO」（4日放送分）では、女子プロゴルファー・諸見里しのぶのインタビューが放送された。

「(宮里藍が米ツアーで)今年3勝していて、そのうちの2試合を間近で見ることができたんですけど、やっぱり、私もそこに行きたいという強い気持ちにさせて貰えて、勇気とかパワーとか、すごくいいエネルギーを頂いています」と、宮里の活躍に刺激を受けたと話す諸

見里。

昨年5月、ワールドカップレディス・チャンピオンシップサロンパスカップを制し、自己最多の年間6勝を挙げ、賞金ランキングトップを独走しながらも、シーズン終盤に失速。その最終戦では、僅か1打の差で優勝を逃し、結果横峯さくらに賞金ランキングで逆転を許した。

昨シーズンについて、「後半戦の緊張感であったり、重みであったり、そういうのを本当に感じてしまった」と振り返る諸見里は、「最後の1打でバーディが取れなくて、優勝できなくて、賞金女王にもなれなくて。人生で初めて、1打でこんなにも違うんだっていう悔しい思いをした」と悔みながらも、今月開幕する同カップには「まだ人生で2連覇をしたことがないので、2連覇にこだわって戦っていきたい」と意気込んだ。

【Sports Watch】W杯ツアー業者が音信不通、被害額は1500万円超!?

「『ToerAfrika』は南アフリカ共和国を拠点に、各種媒体を通じてアフリカ旅行全般を日本の皆様に提供・提案する旅行ポータル事業者」（ツールアフリカ・サイトより）

サッカーのW杯南アフリカ大会のツアー業者を名乗る「ツールアフリカ」が、利用者から入金を受けた後、先月から音信不通となっている問題で、テレビ朝日「報道ステーション」（6日放送）は、すでに申し込みを済ませた利用者の振込額は1500万円超と伝えた。

同番組の調べによると、観光庁に「ツールアフリカ」という業者の登録はなく、また、在南アフリカ日本大使館・新保剛領事は、「私どもが南アフリカの観光協会から聞いた話では、旅行協会には登録されていない。責任者の方が労働許可はとっていないので、日本にいて出張で南アフリカにきていますという話を聞いています」と同番組に説明、日本と南アの双方で業者登録はないとした。

また、番組キャスター・古舘伊知郎氏は、「災難ですけども、インターネット取引の便利さの中で、こちら側が見分ける力を持っていない時代になりましたね」と語った。

【Sports Watch】レスラー西村、参院選出馬で武藤とコンビネーションツイート

今夏の参議院選挙出馬を表明した全日本プロレス・西村修は、国民新党の公認候補として、亀井静香と活動をともにしている。

ここ最近では、街頭演説や政治資金パーティーを催し、すっかり政治家らしくなっている様子の西村。26歳で癌を患い、プロレス界に衝撃を与えたが、体質を根底から改善し、病を克服した経験から、命の尊さや癌の撲滅、食生活の正食化（粗食）を訴え続けている。

そんな西村だが、先月からはツイッターも利用し、熱心に呟き続けるようになった。

街頭演説の場所、粗食のススメ、プロレスネタを織り交ぜていく西村のツイッター。7日には、「政策の内容もさることながら、わが国の問題点として情報公開が十分でないのです。大政党は、しがらみが多く国民に十分な情報公開が出来ていません。政治不信を招く原因がここにもある。これを改革できるのは、少数政党と国民しかないと考えています。国民に情報公開を政治の義務であります」と熱く語りつつも、「サポーターは、広く全国から募集します。よろしくお願いします。勿論、無料」と呼びかけた。

すると、このツイートに武藤敬司がリツイート。「そういえば西村がサポーターの募集を始めるらしいぞ。第一号は俺に決まりだな！みんなも俺に続いてくれ」と、自らサポーター第1号を名乗り出る呟きで見事にアシスト。数時間で10人近くのファンがサポーターに名乗り出たのだった。

プロレス界で提唱した無我の精神を、政治&社会に持ち込む西村。全国に深く根強く残るプロレスファンのサポートを受け、その活動は実を結ぶか――。

【Sports Watch】日本代表メンバー選考、トルシエ氏の懸念は？

南アフリカW杯の開催が迫り、今月10日には、いよいよ日本代表メンバー23人を発表する記者会見が行われる。

7日放送の日本テレビ「NEWS ZERO」では、元日本代表監督＝フィリップ・トルシエ氏にインタビュー、選考の裏側を尋ねた。

「私と岡田監督は哲学が違います。岡田監督は23人のベストな選手を選ぶと思います。肉体的、技術的、コンディションで同じ能力の選手を選ぶという意味です」（同番組の翻訳より）と語るトルシエ氏は、身体能力重視の選考に懸念を示す。

「心配なのは、チームを団結させるための選手を考えずにバランスの欠いた最強のチームを作ろうとすることです」と続ける同氏は、2002年の日韓W杯で、中山雅史、秋田豊をまとめ役として起用したことを例に挙げると、「私が中山や秋田に対して持っているイメージはお寺の番人です。チームに心理的な安心感、連帯感を与えることのできる選手を選ぶことが非常に大切なです」と説明した。

【Sports Watch】サッチーvs ミッチー実現なるか？ プロレス団体名は「SMAP」に??

今月3日、新宿FACEで行われたプロレス団体「MAP」のイベントに、女優・浅香光代が参戦、プロレスラー・高山善廣と対戦した。

試合は浅香の影武者が、高山のバックドロップに沈んだが、浅香は 82 歳にも関わらず、元気な姿を見せた。

すると、TBS「サンデー・ジャポン」(9 日放送分)では、「MAP」をプロデュースしたサンジャポ・ファミリー＝一宮章一氏を直撃した。「元気な 82 歳だったと思います。あそこまでやってくれるとは思ってもいなかったです」と浅香を絶賛した一宮氏は、今後の展開について「実は、サッチーvs ミッチー。この対戦カードを考えております」と爆弾発言。

「まだ、オファーしてないんですけども。サッチーが試合に出てくれて、朝青龍が来場してくれるのであれば、団体の名前を変えます。サッチー、ミッチー、朝青龍、プロレス。略して SMAP」と語る一宮氏であった。

【Sports Watch】テリー伊藤「相当、谷さんは図々しい」

10 日、国民的アスリートとして知られる柔道家・谷亮子が、民主党から参院選比例代表に立候補することを発表した。

柔道家、2 児の母、政治家——、3 役を担うという決意を語る谷にはさっそく賛否が集まっている中、日本テレビ朝の情報番組「スッキリ!!」(11 日放送分)では、テリー伊藤がコメントした。

「柔ちゃんは、日本スポーツ界のアイドルじゃないですか。(谷に賛否が集まることで)彼女自身が戸惑いを感じると思うんだよね。世間の冷静な目を。でも、会見を聞いていると、相当、谷さんは図々しいよね。そういうためらいを全然見せないでしょ。この図々しさは、政治家に一番必要な部分。鈍感力はあるような気はするんですよ」と、谷の適性に触れたテリーだったが、兼務については、「基本的に 30 歳過ぎて、問題意識のある人は、誰でも選挙に出ていいと思っている。ただ、もし僕が出るとしたら、他の仕事を辞めてでも全力投球する」と否定的な見方を示した。

【Sports Watch】元大関・千代大海、M-1 王者にガン飛ばした

日本テレビ系列「メレンゲの気持ち」(8 日放送分)では、元大関・千代大海の佐ノ山親方が出演。中学時代の相撲大会で、M-1 王者・パンクブーブーの佐藤哲夫と戦っていたことが明らかにされた。

VTR で登場したパンクブーブー・佐藤は「龍二、久しぶり」と馴れ馴れしく挨拶したが、中学時代の佐ノ山親方は手のつけられない不良だったこともあり、その顔は強張っている。

そんな佐藤に、相方の黒瀬純は「中学校の時に相撲大会で戦ったんでしょ？佐ノ山親方と。

よく僕らにはいい試合だって（いうけど）、どうも信じられないんですよ」と尋ねるや、「最初に龍二君（佐ノ山親方）がガン飛ばしてきて、“お前、どこ中か”って。でもね、相撲強かったですね。試合時間 2 秒。瞬殺でしたよ。土俵の外までピューンって飛んでいきました」と明かした。

この VTR には、当の佐ノ山親方も驚いた様子だったが、「覚えてます。彼のネタの見てて。テレビで（相撲大会で戦ったことを）思い出しました。試合前、しゃべりかけてくるんですよ。心理作戦をしてくるんです。面白いことをいってくる、それが印象的でしたね」と語った。

【Sports Watch】石川遼人気でホクホクの芸能人とは？

13 日より、長崎のパサージュ琴海では、ディフェンディングチャンピオンの池田勇太をはじめ、石川遼＆矢野東ら人気選手が参加する日本プロゴルフ選手権が開幕する。

今や国民的人気アスリートとなった石川遼——、TBS のバラエティ番組「アッコにおまかせ！」（9 日放送分）では、ゴルフ・石川遼人気で“ホクホクの芸能人”として、あるお笑い芸人が紹介された。

それは“石川不遼”というピン芸人で、同番組によると、不遼は一人二役「優等生の遼君と不良の遼君」というネタを持っているという。

不良の遼君に「遼君はどんな子が好きですか？」と振れば、「夜の 19 番ホールが大好きな方です」という答えが返ってくるネタがあるようだが、これにはアッコも「だって、あんまり表に出てやれないでしょ。笑っちゃったらマズイでしょ。相手 18 歳だし。微妙なんじゃない。まして 35 歳でしょ。そりゃつらいと思う」と、否定を通り越し、不遼に同情的ですらあった。

【Sports Watch】ラモス氏“監督は鉄になるしかない”

サッカー W 杯南アフリカ大会まで残すところ約一ヵ月となり、先日、出場登録 23 名の日本代表選手も決定したが、「大会ベスト 4」を目標に掲げる岡田武史監督には、戦前より否定的な見方や批判のほうが先行している印象は否めない。

そんな折、元日本代表でサッカー解説者のラモス瑠偉氏は、自身のブログ「CARIOCA」で「監督というもの」と題し、その重圧を説いた。

「ブラジルなどメディアだけでなく国民の数だけ評論家がいて それぞれが勝手に無責任に批判を繰り返す それは日本の比ではない」というラモス氏は、「日本には今現在代表候補は 35 人くらい それを 23 人にしぼるだけでこの騒ぎ ブラジルには代表候補だけでも

100 人前後 今日ブラジルでもメンバー発表がおこなわれ 今現在国中の批判の嵐となっている」と語る。

しかし、「だからこそ監督はそれをいちいち気にしていたら 心身ともにおかしくなってしまう 監督は打たれてもびくともしない様な 鉄になるしかない」と訴える同氏は、岡田監督に対し、「俺を含め 言いたい事がある奴には勝手に言わせ 彼には 雑音はシャットアウトして W 杯に集中してもらおう」と綴っており、“自分は言いたいことは言うけど、雑音はシャットアウトして”という、なんとも複雑なメッセージを送るのであった。

【Sports Watch】アイドルレスラー・風香が病気を告白

3 年前、痴漢を撃退して一躍有名となったアイドルレスラー・風香。今年 3 月、6 年間のプロレス生活にピリオドを打ったばかりの彼女だが、12 日に更新したオフィシャルブログ「風香日記」では、病気を患ったことを告白、具体的には、子宮頸部異形成（同ブログより）であると明かした。

子宮頸部異形成とは、癌ではなく、一部の患者が子宮頸癌へと進行する、いわゆる前癌病変と呼ばれるもの。その前日には、「もしかしたら最後になるかもしれない」と意味深な書き込みを行い、ファンをやきもきさせた風香だったが、そもそものきっかけは、実家で子宮に関するテレビ番組を見た際、自分でも思い当たる節があり、病院で検査を受けたことにあったようだ。

結果、病院から連絡を受けた風香は、「確か電話をもらえるのはガンの時だけ・・・」と考え、動揺。それでも、癌ではなく「良かったとは言えないけど、電話がかかってくる事態の中では一番良かったのかな!？」と綴る。

また、同ブログによれば、「その中でも軽度、中度、高度があって、高度になると限りなく癌に近いのですがそこまでは分からないから東京に戻って精密検査を受けるように言われました」ということで、安心できない状態だが、「東京に戻ったらすぐ病院に行って敵を撃退したいと思います」と、前向きなコメントを残す風香だった。

■関連リンク

・風香フォトギャラリー

【Sports Watch】マエケンが好調の理由 “試合の中で自然とそうなった”

15 日、日本ハムのエース・ダルビッシュ有と投げ合い、見事完封勝利で 6 勝目を飾った広島カープの若きエース“マエケン”こと前田健太。開幕から防御率 1 点台を誇るその秘密に、テレビ朝日「報道ステーション」（14 日放送）が迫った。

「真っ直ぐが自分の中でしっくりくる」という前田は、なんと「試合の中で感覚を掴んだ」という。「指先だけ。できるだけ最後まで抜いて、最後に 0 から 100。試合の中で投げている、自然とそうなったんですよ。一球が。(4月8日：ヤクルト戦) 田中浩康さんに投げた見逃し三振のストレート」と明かした。

また、強打者としても知られる前田は、「バッティングほど楽しいものはないと思います」と語る。すると、“バッター前田と、ピッチャー前田が対戦したら?”と訊かれた前田は「とりあえず、初球は真っ直ぐ。あとは全部スライダーです。(バッター前田は) 打てないですね」と笑顔を見せると、今後の目標については「エースになります。(すでにエースと呼ばれているが) まだです」と力強く語った。

【Sports Watch】俊輔、W 杯で“もし初戦を落とした時——”

TBS のサッカー番組「SUPER SOCCER」(14 日放送分) では、番組 MC の加藤浩次が、日本代表・中村俊輔に独占インタビューを行った。

現在の心境を訊かれ、「今回は嬉しいっていうよりも気が引き締まる。W 杯が近づいてきたんだなって、そんな気持ちです」という俊輔は、「色んな経験をした最後じゃないですけど、何か残したい」と続ける。

また、「もし最初の初戦を落とした時、それでも“(代表チームが) 大丈夫、全然行こうよ”っていう風になるかどうかが不安ですね。その辺をどうもって行くか」と話すと、前回の W 杯でオーストラリアに敗れた後の代表チームを振り返り、「静かでしたよね。次の日も静かでした。ミーティングしたかも覚えてないですけど、バラバラになる」と明かした。

だが、「余計かもしれないですけど、ボンバーとか、櫛さんとか、能活さんもそうですけど、“選手だけのミーティング、夜やんない?”とか提案してみたり」と前向きに語る俊輔。加藤が「チームの状況をよくするために、ここから一ヵ月の合宿でハグしていく?」といえば、「長友イヤっすね。気持ち悪いじゃないですか?」と笑いつつも、「でも、そういうことじゃないですかね」と語る俊輔だった。

【Sports Watch】小川、谷亮子の出馬に「絶対に無理」

バルセロナ五輪メダリストで、現在はプロレスラーとして活躍する暴走王・小川直也が参院選を表明した谷亮子を一刀両断した。

16 日に更新した「東スポ Web」の連載コラム「暴走☆レッドゾーン」では、「柔道と政治の両立は絶対に無理、オレは断ったよ」という見出しで、その思いをぶちまけた小川。

「谷亮子氏が民主党から出馬! びっくりしたわ～。しかも引退すんのかって思ってたら、現

役もやるんだってさ」と語ると、「政治に参加して柔道もトップレベルでやるのは、はっきり言って無理だよ」とバッサリ。「彼女も柔道の強化選手なんだから、強化選手の強化費として体協からも補助金頂いて柔道させてもらっている…って意識はないのかな。誰か周りでそれを教えてやればいいのに」と苦言を呈すのだった。

【Sports Watch】高所得者が考える「理想の部下」に有名アスリートが軒並みランクイン
年収 1000 万円以上のハイクラス転職サイトとして知られる「ビズリーチ 年収 1000 万円研究所」では、高所得者のビジネスパーソンに対し、アンケートを実施。今年のはじめに行った「理想の部下」を尋ねるアンケートの上位ベスト 10 を発表したところ、男女共、理想の部下には有名アスリートが名を連ねる結果となった。

年収 1000 万円以上のビジネスマンが選んだ「理想の部下」と、その理由とは——？

・1 位：イチロー

自己管理能力、ストイックなまでの自己研鑽力、向上心、徹底したプロフェッショナリズムに秀でている。目標を達成するために徹底的に追求・遂行し、結果を継続して出しているから。

・2 位：石川遼

素直で前向き、謙虚で礼儀正しい。目標意識が高く、自分で吸収して自分を成長させるメカニズムを持っている努力家だから。

・3 位：松井秀喜

自律性・柔軟性を持ち、組織における役割を常に意識し、結果を出している。芯がブレず、実直に物事に対してストイックに取り組む姿勢が素晴らしいから。

・4 位：高橋大輔

挫折を経験するも、そこから這い上がってきた不屈の精神力を持っている。前向きで明るい姿勢が、周りに良い影響を与えられるから。

・5 位：中田英寿

セルフコントロールが卓越している上に、自分のビジョンやそれに対する行動力が申し分ない。目標に向けて自分の置かれている状況を把握し、チームをリードできる人材だから。

・1 位：浅田真央

プライド、責任感、負けず嫌い、チャレンジ精神、前向きという全てを兼ね備えた人材。どんな厳しい状況下でも立ち直る努力ができる。強い精神力と成長を諦めない向上心を持っているから。

・2位：宮里藍

誠実、実直、おごらない姿勢。良い時も悪い時も経験しているから、気持ちの切り替えが早い。信念・目標をしっかり持った上で、指導を素直に受け入れ結果を出しているから。

・3位：上村愛子

強い信念を持ち、壁にぶつかってもベストを尽くすことができる。くじけない心を持ち、素直に挑戦することのできる人材だから。

・4位：ベッキー

明るく、はきはきとしており、円滑な人間関係を構築できそう。コミュニケーションの高さは周りにポジティブな影響を与え、チームの一体感を築いてくれそうだから。

・5位：高橋尚子

常に明るく振る舞いながらも、自分で決めたゴールに向かって努力し続ける人材。成長し学ぶことを自らの目標にしているから。

（同社リサーチ結果より）

理想の部下の男女ベスト5では、女性の4位（ベッキー）意外は全てアスリートというランキングとなったが、同社によるベスト10の結果を見ると、意外なところで、女子の6位にキム・ヨナが、男子の10位には松岡修造の名前もあった。

【Sports Watch／競馬】 JRA に貢献した競走馬——、2年連続で選定なし
1984年に制定された、JRAの発展に貢献した競走馬の功績を讃える顕彰馬（けんしょうば）制度。

21日には、平成22年度の顕彰馬選定記者投票の結果が発表されたが、選定基準の投票者数は4分の3以上。今回の投票であれば、191名に対し、4分の3以上となる144票の獲得が基準となった。

だが、昨年に続き、今年も顕彰馬は生まれず、最高は126票を獲得したエルコンドルパサーで、2位は63票のスペシャルウィークだった。過去に28頭が選定されている顕彰馬だが、最後に選ばれたのは、平成20年度のディープインパクトとなり、スター選手ならぬ、スター馬不在の現状が露呈された。

【Sports Watch】女優・片瀬那奈、CL決勝戦よりも——
日本時間23日には、いよいよサッカー欧州チャンピオンズリーグ決勝が行われ、インテル・

ミラノとバイエルン・ミュンヘンが激突する。

決戦前夜となった22日には、フジテレビ「すぽると！」にサッカーファンとして知られる女優の片瀬那奈が出演。「片瀬那奈イチオシ！チャンピオンズリーグ決勝 注目選手 BEST3」を発表した。

片瀬のベスト3は、3位がオランダ代表でもあるアリエン・ロッベン（バイエルン・ミュンヘン）、2位がカメルーン代表のサミュエル・エトー（インテル）、そして、1位がオランダ代表のヴェスレイ・スナイデル（インテル）だった。

「(W杯で対戦する)日本にとっては、警戒しなくちゃいけない3人なので、これを観て、また日本代表戦が楽しくなると思いますし、いかに凄い選手だってことが見れると思う」と説明した片瀬。

だが、ベスト3番外編には、かねてからファンと公言するスティーブ・ジェラードの名を挙げると、「リーグも、チャンピオンズリーグもダメだったんですけども、やっぱり、リヴァプールをこよなく愛しているっていう愛情が伝わる。ミドルの豪快な音。ボールを蹴った時の音がたまらないんですね。是非イングランド戦でも十分活躍してくれるんじゃないかな。ワールドカップに期待します」と熱く語ったが、もはやチャンピオンズリーグ決勝とは全く関係なかった――。

【Sports Watch】K-1王者となって今でもアルバイト生活変わらず

4月、今年で40歳を迎えるものの、かつては“20世紀最強の暴君”として恐れられたピーター・アーツを退け、K-1ヘビー級タイトルの初防衛に成功した京太郎。武蔵が引退した後のK-1ヘビー級日本人ファイターの代表格として、昨年王座を獲得した。

京太郎といえば、K-1ジャパン・トライアウトからの生え抜きファイターとして知られているが、なんと、K-1王者となった今でもアルバイト生活は変わっていないようだ。

20日、神奈川県全域・東京都町田市の地域情報紙「タウンニュース」町田版では、「K-1チャンプ 生ビール運びも一流」と題し、京太郎が町田市の居酒屋でバイトをしている様子を報じた。同ニュースによると、地元大阪からの上京以来、同店でバイトを続けているという京太郎は、「客席の間を軽い動きで生ビールをテーブルに運ぶ」と伝えている。

【Sports Watch】女性が観戦したいスポーツ、1位はフィギュアスケートに――

21日、日本経済新聞WEB版は、「女性、フィギュア人気高く プロ野球・Jリーグ陰り」と題し、スポーツ競技の観戦人気ランキングを調査、その結果を発表した。

リサーチ会社に依頼し「20～60代の男女1000人」（同紙より）から得た回答をまとめたという同紙。1位はプロ野球で、2位にはフィギュアスケートが入ったが、女性が選ぶ、観たい競技では、フィギュアが突出した。

ちなみに、3位以降は、サッカー、F1（モータースポーツ）、相撲、プロレス、テニス、バレーボールと続き、また、1年間でスポーツ観戦に使う料金の平均は、10659円で、トップは50代の男性で、20697円だったという。

【Sports Watch】高田監督辞任は、少年ファンの暴言が決め手に!?

27日現在、13勝32敗と大きく負け越しているプロ野球、東京ヤクルトスワローズ。26日には、高田繁監督が成績不振の責任を取り、辞任。小川淳司ヘッドコーチが監督代行として指揮を執ることになった。

ファンにとっては残念な一報となったが、それ以上にショッキングといえたのが、朝日新聞が掲載した「響いたファンの一言」という記事だ。

「最後の一押しは、少年ファンのひと言だった」。こう伝えている同紙によると、ホーム・神宮球場での試合前には必ずファンにサインをする時間を設けているという高田監督に対して、少年ファンが「高田、やめちまえ」という暴言を吐いたことで、「この声が（高田監督の）戦意を失わせた」という。

【Sports Watch】日本代表再建のキーマンは？

24日、埼玉スタジアムで開催された国際親善試合キリン・チャレンジカップで、宿敵・韓国を相手に0-2の完敗を喫した日本代表。来月、いよいよ迎える南アフリカW杯を目前に不安材料しか見当たらない現状——、日本代表に希望の光は見えるのか？

28日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では、元日本代表・澤登正朗氏が「日本代表再建のキーマン」として、24日の韓国戦を負傷で欠場している田中マルクス闘莉王の名を挙げた。

現在、日本代表が行うスイス合宿の練習を取材すると、「（闘莉王の）ケガの具合はよくなってるんじゃないですかね？危険な場面でも足を出しながら、守備をしていますので、完治したくらいだと思いますよ」と語る澤登氏。闘莉王加入の必要性を、「韓国戦では、なかなか後ろからの長いボール、これが出なかった。闘莉王が入ることによって、最終ラインから決定的なパスが出せるということは、シンプルに攻撃できるということ」と説明した。

また、もう一つ大事なこととして、練習中、一人大きな声を出す闘莉王の姿を挙げ、「闘莉王一人が大きな声を出して、もっと頑張ろうぜみたいな感じで言ってますんで、それに応え

て、みんなが元気を出してやってほしい」と願う澤登氏であった。

【Sports Watch】プロレスラー坂田が、民主党議員に激怒

民主党衆議院議員・山岡けんじ氏が、28日の日本経済新聞に寄せた「寸言」において、「プロレスの八百長試合のような時代があったのは事実かもしれない。だが、我々が与党になってからはガチンコ国会だ」と発したことに、タレント・小池栄子を妻に持つプロレスラー・坂田“ハッスル”亘が激怒。「あなたの言う『プロレスの八百長試合』がどういった定義なのか、有権者の一人として問わせて頂きたい」と、以下のコメントをマスコミ各社に送った。

「プロレスラー・坂田“ハッスル”亘として＜民主党・山岡賢次国会対策委員長＞に申し上げます。5月28日・日本経済新聞に掲載されたあなたのプロレスへの侮辱発言（二面『寸言』）を見過ごす事は出来ません。明日、午後12時から2時までの間、いつでもかまいませんので後楽園ホールへお越しください。あなたの言う『プロレスの八百長試合』がどういった定義なのか、有権者の一人として問わせて頂きたいと思います。プロレスとは八百長か八百長でないか二元論で語られる底の浅いジャンルではございません。もしご希望であれば山岡議員の提示する内容に沿って、私、坂田“ハッスル”亘が議論、もしくはプロレスの試合で相手申し上げます。紙面で拝見いたしましたので、私もWEB等にて公開質問とさせていただきます。5月29日 坂田“ハッスル”亘」

山岡氏の発言に対し、なぜかプロレスでの対戦を選択肢に含ませた坂田。山岡氏が応える可能性は限りなく低いと言わざるを得ない、話題作りを狙ったハッスル的パフォーマンスという印象を残した。

【Sports Watch】トルシエ氏「岡田監督の発言は趣味の悪い冗談」

日本テレビ「Going！」（29日放送分）では、元日本代表監督フィリップ・トルシエ氏を直撃、岡田監督の進退伺騒動について話を訊いた。

2002年のW杯で日本代表をベスト16に導いた名將は、「岡田監督の発言は趣味の悪い冗談です。なぜなら、私たちをガッカリさせたからです。そして、選手たちに影響があるかと訊かれればイエスでしょう。ただ、私の経験からいって、今は非常に難しい時期です」と語り、岡田監督の言動を非難しながらも、同じ監督として置かれた立場には理解を示した。

「代表監督として仕事をするときには、正直いうと私はあまり眠れなくなります。今の岡田監督も間違いなく眠れないはずです。人は責任を負っているときは、熟睡できなくなってしまうのです」というトルシエ氏。日本代表に「自信」というメッセージを送ると、「日本代表に自信を持たせる重要な役割を担うのが岡田監督です。岡田監督がキーマンです」と言い切った。

さらに、「選手が自信を持つための言葉を見つけるのが監督です。選手にコンプレックスを持たせないことが大切です。選手は自分の価値を信じて、ベストな成績を出せるのです」と、トルシエ氏はアドバイスを送った。

【Sports Watch】岡田監督の進退伺発言、その深い意味とは？

今月 24 日、国際親善試合キリン・チャレンジカップで、韓国を相手に 0-2 の完敗を喫した日本代表。試合後には岡田監督が進退伺を切り出しながらも、その翌日には撤回するなど、来月の W 杯を目前に迷走を続けている。

だが、岡田監督の進退伺には深い意味があったというのだ。日本テレビのスポーツ番組「Going！」(29 日放送分)では、元日本代表コーチの小野剛氏を直撃、本騒動について話を聞いた。

小野氏は、「この世界というのは、勝敗というのは重要ですし、負けたら当然、それなりの風当たりを受ける。選手には、それを浴びさせたくない。だから俺が全部受けるんだと。自分が間近で見ている中で、常にまず矢面に立って。その代わり、チームが前に進んでいると。今までも、ずっとそういう姿を見ていたんで、真意は本人にしか分からないですけど、近くで見ていた私には、恐らく、そういうことが働いたんじゃないかなと思います」と語り、本騒動の背景を分析した。

【Sports Watch】W 杯で日本はどうしたら勝てますか？

テレビ朝日「やべっち F.C.」(30 日放送分)では、「日本代表緊急討論会」として、セルジオ越後、釜本邦茂、松木安太郎、名波浩、森島寛晃（敬称略）ら、名立たるサッカー解説者が議論を交わした。

視聴者から多く寄せられた「どうしたら日本は W 杯で勝てますか？」という質問が読みあげられると、解説者達は下記のような論調に。本題の最後には、名波は背後をとる動きが増えたところを挙げ、松木は「ヨーロッパのチームとやると日本って結構いい試合をする」とフォローはしたが、当然のことながら具体的な策が挙がることはなかった——。どうなる W 杯、どうなる日本代表!?

■やりとりの一部を抜粋

セルジオ「もう一回開催すればいいと思います」

矢部浩之「どうやったら、勝てるか、皆さん絞り出して下さい」

森島「失点をしない。あれ？ そんな感じでもなさそうな感じですかね（苦笑）」

名波「僕は、組織力、緻密さって先ほどいいましたが、それはストロングポイントだと思うんですよ。今日の一点目の場面、長友が左サイドの守備で追いかけている時に、闘莉王が出ていこうとしたんですね。それを制して、長友は“俺がいくぞ”というゼスチャーをしながらいったんですけど、最終的にスライディングをしていないんですよ。そこでね、体を投げ出して、最後の 1cm、10cm、なんでもいいからボールが変化して、どこかにいってくれば。そういう気持ちじゃないといけない。日韓戦に比べれば、ボールの執着心は強かったが」

釜本「それはよかったと思いますね。球際は、よく頑張ってた。でも、やっぱりミスが多い。マイボールになってから最後のところで、だんだん落ちてくる。入る入らないは別にしてフィニッシュで終わればね」

セルジオ「4 年前のドイツと日本の試合とダブって見えるんだけど、日本は 100%で向こうは 60%くらいで流して。それで、よかった、手応えがあったってポジティブなことばかり考えて、実際本番になったら、メチャメチャ（当たりが）激しくなって、あれ以上にきて、体がビクビクして勝てなくなるっていう」

矢部「そもそも“どうやったら勝てますか”っていう質問なんですけど・・・」

セルジオ「あと 5 人くらい帰化すればいいんじゃないですか？」

矢部「今からだと無理でしょ」

セルジオ「どの相手に、どうすればいいか。世界との差はまだ開いたまんまじゃないですか。そう簡単には縮まらないですよ」

【Sports Watch】桑田の講義に、魔裟斗とラモスが真っ向から反論

TBS のスポーツ番組「S☆1」（30 日放送分）では、元プロ野球選手で今年 3 月、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科を修了した桑田真澄が講師として登場。「野球を学問する」というテーマで野球のルーツを解説しながらも、この日は“勝利至上主義”について熱く語った。

「勝利至上主義もいいと思うんです。勝つことは大事なんだけど、もっと大事なことがある。それはスポーツマン精神であり、フェアプレー精神であり、そして、プロセスを大事にすること。そういったものが勝つこと以上に大事だと思う。それ以上に $+\alpha$ が必要だと思っている」と話す桑田だったが、ゲスト解説陣の意見は真っ二つに分かれた。

番組 MC の魔裟斗は「僕はそういう精神は大事ですけど、負けてはプロとして意味がないんじゃないかと思います」と反論、ラモス瑠偉も「決勝戦、日の丸を背負って戦うなら（勝つためには）何やってもいいと思いますよ。ルールの中で」と同調する。

これに対し、「反則で勝ったその勝利に意味があるかなんですよ」と返す桑田だが、魔裟斗も「反則では意味ないです。真っ向勝負して勝たなきゃ意味がないですけど、勝つってことは大事」と一歩も譲らない。

また、ラモスが「僕が言いたかったのは、何でもいいっていうのは、昔はケガしても痛み止め打っちゃいけないとか色々あったじゃないですか。そういうことは言っていないですよ。僕がこの試合で最後だと思ったら、何をしても出たいから」と説明を加えたが、マラソンの高橋尚子は「私は桑田先生に賛成です」といい、増田明美も「私も」と賛同。高橋はレースで負けたことによって、周囲の支えに気付かされたエピソードを語るのだった。

【Sports Watch】上田桃子「この度、結婚致します」

今年のはじめから痛めていたヒザ痛が円板状半月板損傷と診断されたことで、先月末、手術に踏み切る可能性があると報じられていたプロゴルファー・上田桃子が、突然の結婚を発表した——!?

5 日、自身のオフィシャルブログ「桃尻桃子の待ってろ世界!!」では、「23 歳、上田桃子私、この度、結婚致します」という書き出しで、ファンをドキッとさせつつも、気になるお相手は「皆さんもご存知の、有名な・・・半月盤クン」と語り、手術を回避し、ヒザと付き合いながらのプレー続行を宣言した。

複数の医者に診て貰い、悩んだ末に決断したという上田。「とりあえず、今年はやりません」とのことだが、選手生命にも関わる大きな分岐点にもなり得る一年、その選択が吉と出ることを祈るばかりだ。

【Sports Watch】岡田監督、W 杯ベスト 4 の目標設定した意図

TBS「バースデイ」（5 日放送分）では、「W 杯開幕直前 1 時間スペシャル 岡田監督緊急独占激白」と題し、文字通り、W 杯に挑む岡田監督に、TBS でスポーツ実況を務めた松下賢次アナウンサーが独占インタビューを行った。

ここまでの戦いでは結果を残せず、自身の采配にも批判が集まっていることについて、「セルビア戦なんか、あんな試合したらしいがないって思っています。批判は甘んじて受けなきゃいけない。本当に申し訳ないと思いますけど、だから、ここで立ち止まるわけにはいかないし、立ち止まらせるかどうかを決めるのは僕じゃないですし、僕は前に進んでいく。ただそれだけ」と意気込む岡田監督。代表メンバー発表時には、選手をハエに例えたことで、更

なる批判を浴びたが、これには「それまではアリっていったのに（言い間違えた）」と苦笑いを浮かべながらも、「本当に粘り強い守備であり攻撃をしていかなきゃいけない」と補足した。

また、2度目の代表監督就任には、「やることは絶対ないと自分の中では思っていたんですけど、ああいう状況でオシムさんが倒れられて、年明けすぐが予選だと。恐らく、これを引き受ける人はそう沢山はいないだろうなと。頭で考えたら割に合わないから引き受けないなと。十分生活もしているし、今のほうが気楽じゃないかというような。でも、なんかわかんないけど、逃げちゃダメだと。本能的な闘争心というか、こういうものが沸いてきちゃった」と語り、「うちの家族も絶対引きうけないと思っていたみたいで、かなり驚かれて、本気ののっていわれて。なんてわがままなお父さんだと思われてますね」と続けた。

さらに、日本のみならず、今や世界中から冷ややかな目で見られている、W杯ベスト4という目標には、「一年前くらいかな。要するに、日本だとミドルシュートに対して詰めなくても、入らないですよ。逆に、詰めにいかないほうがスペースが空かないのでいい。でも、世界はそこでいかないと（ミドルシュートが）入っちゃうわけですよ。（選手も）ワールドカップにいったら、やろうとするんですよ。でも、その時には遅いんです。で、どうしたら、選手たちの意思作りができるのかと思った時に、やっぱり高い目標、志の目標を本気でやってみないとダメ。やってみるんだったら、Jリーグでもやってみないとダメだぞと。犠牲も払わないといけな。酒かっくらってカラオケ歌ってて、ベスト4行けると思うか？そういう問い掛け。そのためにやった」とその真意を明かした。

【Sports Watch】中村俊輔と本田圭佑、チームの軸はどちらか？ 其の一

中村俊輔と本田圭佑、日本代表においてチームの軸となるのは果たしてどちらか？

テレビ朝日「やべっち F.C.」（6日放送分）では、前回放送分に引き続き、「緊急生討論 SP」として、セルジオ越後、名波浩、秋田豊、藤田俊哉（敬称略）ら、著名サッカー解説者が議論を交わした。

視聴者から多く寄せられたという質問から読み上げられた生討論だが、最初のお題は、さっそく代表の核心に迫る“中村俊輔と本田圭佑、チームの軸はどちらか？”というものだった。

その見解と説明は下記の通りだ。

・セルジオ：どちらでもない

「どっちが先発しても、途中交代でも、90分もたないという感じ。チームが低迷しているのは、まさにこれがうまくいってない。俊輔はコンディションが上がらない。本田は点を獲

りにいくといっていながら、あまりいってないのね。僕は本当に二人が調子よかったら、一緒に出なくちゃいけないと思っている」

・名波：共存できる

「その具体例として、ポジションを書いてみたんです。(ワントップの下に俊輔、2.5 列目的な感じで本田、と説明すると) 本田はストライカーとして役割ができる。ゴール前に飛び込む仕事も、調子が悪いなりにやっている。ゴール前に飛び込んでいくと、空いたスペースを俊輔が配球の時に使える」

・秋田：本田

「僕は、俊輔のコンディションが悪すぎるんじゃないかと。本当にいい選手なんですよ。試合を決めることができる。だけど、フィジカル面やメンタリティがあるのは本田なんですよ」

・藤田：共存

「俊輔はこれまで中心でやってきたんだから、ここで外す必要がない。俊輔にゲームを作らせて、本田が一発を狙う」

その他にも、「だから僕は(中村) 憲剛」といい出す秋田に、「今いない。だからチームが苦勞している。守っているけど、点を獲りにいけない」と語るセルジオなど、初っ端から白熱した議論となったが、本番のピッチに立っているのは、俊輔か、本田か、それとも二人になるのか――。

・其の二へ

【Sports Watch】中村俊輔と本田圭佑、チームの軸はどちらか？ 其の二

中村俊輔と本田圭佑、日本代表においてチームの軸となるのは果たしてどちらか？

日韓 W 杯で日本代表をベスト 16 に導いた、元代表監督・フィリップ・トルシエ氏が、日本テレビ「Going! Sports & News」のインタビューに答えた。

「(ここまでの) 結果は関係ありません。W 杯前に戦術は明かせませんから。強化試合の目的は、多くの選手をプレーさせることで、コンディションのよい選手、戦う準備のできている選手を知ること」と切り出したトルシエ氏。

“中村俊輔と本田圭佑、スタメンはどちらか？”という問いには、なんと、ホワイトボードに

予想されるスタメンを書き出したのだった。

GK：檜崎

DF：中澤、鬨莉王、長友、今野

MF：稲本、長谷部、大久保

FW：森本

と、列挙したトルシエ氏は、その最後にトップ下で本田、右サイドで中村の名前を書いた。

「本田と中村はタイプが違うので共存が可能です。中村は空いたスペースをうまく使うことができる。局面を変える力と決定的なパスを出せる力。本田は、攻撃の突破口を開く選手。どんどんシュートを打つ。プレイエリアも能力も違うので共存は可能」と説明した。

ナイナイ矢部の“裏やべっち F.C.” 「松井大輔を使え！」

日本時間 14 日、日本代表の W 杯初戦＝カメルーン戦を目前に、11 日にはベースキャンプ地であるジョージでジンバブエとの練習試合が行われたが、0-0 のスコアレスドローという結果に終わった。

そんな中、テレビ朝日では「やべっち F.C.」というサッカー冠番組を持つナインティナインの矢部浩之は、ラジオ番組「ナインティナインのオールナイトニッポン」（10 日深夜放送）で迷走続ける岡田ジャパンに物申した。

カメルーン戦で、松井大輔の起用を熱望した矢部は、松井がアフリカ系選手が多数所属するフランスリーグ（グルノーブルフット 38）に在籍していることから、アフリカ系選手との対戦経験が豊富であると、その理由を説明する。

また、松井とはプライベートで親交もあるという矢部。「松井はアイツら（アフリカ系選手）はこんな感じで対応したほうがいい」と慣れた口調で話していたことを明かし、コートジボワール戦最初の 90 分で松井を起用しなかった岡田監督の采配に苦言を述べる。すると、そんな矢部に対し、相方の岡村隆史は「裏やべっち F.C.やな」と苦笑いを浮かべるのだった。

【Sports Watch】元代表二人によるカメルーン戦の予想は？

TBS の報道番組「NEWS23 X（クロス）」（10 日放送分）では、元日本代表メンバー、宮本恒靖と中田浩二が、14 日に迎える W 杯・日本代表×カメルーン戦の予想を行った。

「スタミナ自体はそんなにきれないけど、集中力はすぐきれる」と語る中田は、「90 分集中してゲームをすることに慣れていない。ペナルティエリアの中も人数はいるんですけど、ボールばかり見てて、マークについてないので、サイドから、2 列目から飛び出したり、セカンドボールを狙っていけば意外とノーマークでシュートが打てる」と予想。スコアを訊か

れると「期待を込めて、2-0 くらいで（日本が）勝つ」とした。

また、宮本は「身体能力や球際の強さっていうものはあるんですけど、90 分間を通して安定した戦いをしていたかといわれればそうではない」と代表時代を振り返り、「ディフェンスラインをかく乱するようなオトリの動き。本田選手にボールが入ると相手 DF が寄ってきますよね。その時に相手 DF の裏に飛び出せば」と期待を込めたが、スコアの予想を訊かれると、「（日本の）1-0 です。期待願望を込めて」と語り、中田と同様に“期待を込めて”という前提で日本の勝利とした。

【Sports Watch】野村監督から重大発表!? 視聴者欺く TBS

TBS のスポーツ報道番組「S1」（12 日深夜放送分）では、相も変わらず視聴者を欺く同局の姿勢が露呈された。

TBS のスポーツ番組といえば、放送する試合順を容易に入れ替えることができる格闘技で顕著に見られることだが、「この後、〇〇が登場」と引っ張るだけ引っ張り、その間、何試合もの放送や CM を挟む。

かつては、大晦日の格闘技イベント「Dynamite!!」において、魔裟斗が戦った過去の試合を何のテロップも出さずに放送することで、“今、リアルタイムに行われている”ものと視聴者を錯覚させたこともある。

この日、新聞のラテ欄では、「野村克也の重大発表」と記されていた「S1」だが、番組の後半には、柊田絵理奈アナから「S1 ファミリーの野村監督から重大発表です」というアナウンスがあり、CM に突入――。

CM 明けには、いよいよ野村氏から何らかの発表がなされるのかと思いきや、その後は、「与野党トップ舌戦 いよいよ選挙モード」と、政治ニュースが流れ、お次は天気予報に。その後も、社会のニュースは続くと、カメラは「S1」スタジオに戻ったが、番組のエンディングとなり、初田啓介アナが「いよいよ明日はですね、野村監督がこの S1 に帰ってこられるわけですね」と明日の番組宣伝を行い、番組は終了した。

野村氏が番組に復帰をするということが重大発表だというのなら、「野村監督から重大発表」と表現するのは適切ではない。先月、解離性大動脈瘤のため都内の病院に緊急入院した野村氏の状態が気かりで、当人より何らかの発表があるものと番組の視聴を決めたファンにとっては、騙されたに等しい放送であった。

【Sports Watch】セルジオ越後氏「試合そのもののレベルも高くなかった。それでも・・・」
日本時間 14 日、2010 年南アフリカ W 杯で初戦を迎えた日本代表は、前半 39 分、松井大

輔のクロスを受けた本田圭佑がゴールを奪って先制すると、後半にはカメルーン代表の波状攻撃を受けるも、なんとか逃げ切り、価値ある勝利を手にした。

日本代表の勝利に対し、サッカー解説者のセルジオ越後氏は、さっそく自身のツイッター上で、「よかった。勝った。少ないチャンスを生かして、最後まで必死に守る。これしかないサッカーで勝った。内容は別にしても、勝ったことが大きい。この後、どこまで行けるのか。楽しみができたね」と呟くと、その2分後には、「カメルーンの展開力のなさに助けられたのも確か。試合そのもののレベルも高くなかった。それでも、本田が頑張った。みんなが耐えて、耐えて、耐えた。久しぶりに明るい気持ちになったよ」と続け、試合を冷静に振り返りながらも、日本の勝利を喜んだ。

【Sports Watch】喜びの声続々、奥寺氏「カメルーンはバラバラ」

日本時間14日深夜、W杯初戦（対カメルーン）に臨んだ日本代表は、本田圭佑のゴールを選手一丸となって守りきる格好で逃げ切り、尊い一勝を手にした。

この勝利に対し、現役時代はドイツブンデスリーガで活躍、現在は横浜FCのGMを務める奥寺康彦氏は、自身のツイッターで「チーム一丸となって勝ち取った試合だった、おめでとう。カメルーンはバラバラだったね」と呟き、日本の勝利を喜ぶ半面、カメルーンに苦言を呈した。

また、サッカー解説者の中西哲生氏は、「4年前の経験が生きた」「ただ、まだこのあとがある。冷静にいきたい」と自らに言い聞かせるようなツイートをすると、最後は「皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの力が、日本を勝利に導いたと思います。絶大なる声援、本当にありがとうございます」と後輩達に代わってファンに御礼を述べた。

【Sports Watch】ノムさん復活、W杯には「日本は弱いんですか？」

TBSのスポーツ報道番組「S1」（13日深夜放送分）では、先月、解離性大動脈瘤のため都内の病院に緊急入院した野村克也氏が同番組に復帰を果たした。

「風邪って舐めちゃいかんわ。健康には自信過剰なところがあって。所詮風邪だと思ってたら、風邪がこじれたら大変」と語る野村氏。同じくゲスト解説の高橋尚子から「少し痩せられました？」と声をかけられると、「ありがとうございます。ダイエットしたくて、したくて。5キロ痩せました」と明かした。

また、W杯の話題になると、試合に臨む日本代表について、『正攻法』と『奇策』と掲げるや、「これは基本だと思うんですよ。セオリーに基づきながら、どこに奇策を入れていくか。サッカーはよく分かりませんが、日本は弱いんですか？（ラモスが「自信をなくしているだけです」と答えると）自分のところが弱いと認めちゃったほうがいいんですよ。そこ

から戦法が生まれてきます。つまり強いチームと同じことをやっていては勝てないという自覚から、色んな奇策を考えてね、奇襲を使ったり、相手を混乱していく。心理的な部分がかなり左右しますから。私は弱いチームばかりやってきましたから、そんなことばかり考えてました」と持論を展開した。

【Sports Watch】みのもんた上機嫌「オランダ戦は4-0で日本」

日本がカメルーンを撃破。日本時間14日深夜、W杯初戦を迎えた日本代表は、松井大輔のクロスを受けた本田圭佑がゴールを奪い、勝利を挙げた。

決戦から一夜、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」の放送が始まると、「僕は4-0で勝つっていったんですけど、1-0でしたね」と番組の冒頭から上機嫌のみの。VTR明けには、ゲスト解説のラモス瑠偉とガッチリ握手をかわした。

「もし、ラモスさんが苦言を呈するとしたら？」というみのに対し、「95点、もう一点が欲しかったですね。今日くらい100点あげてもいいな」というラモス。オランダ戦に向けては、「批判じゃないけど、厳しく言葉をいったのは、本人達、その気になれば勝てるチャンス出てくる。(中略)オランダは最悪引き分けでもいいじゃないですか。デンマークに勝つから」と語るや、番組の後半には、みのも「オランダ戦は4-0で日本だと思うよ」とキッパリ、最後まで上機嫌の二人だった。

【Sports Watch】ゴン中山、退屈なゲームに「日本戦じゃなきゃ、寝てますね」

W杯南アフリカ大会初戦で、嬉しい勝ち点3をゲットした日本代表。決戦から一夜明け、15日放送のフジテレビ「とくダネ！」では、スポーツ大好きMC小倉智昭と、元日本代表・中山雅史が喜びの声を挙げた。

番組の冒頭から「勝ちました。素晴らしい」と一際高い声を発した小倉。ゲストの中山には、「案外冷静に見てたよね？」と尋ねると、中山も「本当にどう戦うんだろうって見てました」と答える。

だが、「海外のワールドカップで日本が勝ったのははじめてよ」と嬉しそうに続ける小倉。また、田中アナが「日本が本田選手のゴールで9得点目。日本人ではじめてW杯でゴールを奪ったのが中山選手。その時のユニフォームを持ってるのが小倉さん」と紹介すると、中山は「代表入りする前からプッシュしてくれて、もし(ゴールが)入って帰ってきたらユニフォームを小倉さんにとって約束してましたので、しぶしぶ渡しました」と笑顔で答えた。

また、高地で行われたカメルーン戦を振り返り、「今の選手はフィジカル面で、体力は日韓(W杯)の頃より強くなってるの？」という質問には、「フィジカル的には変わらないと思いますよ。僕以下だと思います」とゴン節も披露。その後には、「そんなことないですけど」

と苦笑いを浮かべつつ、「それに対して順応するための合宿もはってますし、うまく準備ができて臨めた」とフォローを入れたが、序盤から、おとなしいゲーム展開になったことについては「おとなし過ぎますね。日本戦じゃなきゃ、寝てますね。日本じゃなかったら、非常に退屈なゲーム」と語った。

【Sports Watch】テリー、岡田監督に「僕らもボロクソいってましたから」

14 日深夜（日本時間）、2010 年南アフリカ W 杯でカメルーンを相手に初戦を迎えた日本代表は、前半 39 分、松井大輔のクロスを受けた本田圭佑がゴールを奪取、後半は必死の守備で相手の攻撃を凌ぎ、アウエーの W 杯で初となる貴重な勝ち点 3 を獲得した。

決戦から一夜、日本テレビ「スッカリ!!」では、番組のオープニングから「やりました」という加藤浩次の声をうけ、テリー伊藤が「万歳、万歳」と用意されたくす玉を割った。

ゲストには、サッカー解説者として活躍する城彰二を迎えたが、カメルーン戦を振り返り、試合のキーマンを挙げると、そのフリップに書かれていたのは、岡田監督の名前――。

城は「選手も頑張りましたが、岡田監督の戦術が見事にはまりました」と選出した意図を説明したが、テリーは「僕らもボロクソいってましたからね」、「岡田監督、昨日までボロクソにいわれてたんだけど、掌返したように。平気ですか?」と苦笑いを浮かべるのだった。

【Sports Watch】元プロレス雑誌編集長が告白「馬場から裏金をもらっていた」

現在、低迷を続けるプロレス界にも、かつては黄金時代があった。

その黄金時代を作ったともいえるのが、当時「週刊プロレス」を公称 50 万部といわれるまでの怪物雑誌に作り上げた「週プロ」元編集長・山本隆司氏だ。

だが、その山本氏は、新刊「金権編集長 ザングレ録」（宝島社）において、衝撃的な告白をした。1990 年、ジャイアント馬場率いる全日本プロレスは、エースの天龍源一郎をメガネスーパーが作った新団体 SWS に引抜かれ、ジリ貧状態であった。

そこで山本氏が、週プロ紙面で、天龍&SWS を金権プロレスと大バッシングを展開することでジャイアント馬場を援護。週プロの大ブッシュもあり、全日本プロレスは人気を取り戻し、その一方でネガティブキャンペーンを延々と続けられた SWS は 2 年ほどで崩壊してしまった。

しかし、当時の SWS を金権プロレスとバッシングをしていた山本氏は、自分自身がジャイアント馬場から裏金をもらっていた事を明かし、また、全日本プロレスのアンクル（ストーリー）作りにも深く関わってた。

それだけではない。週プロの表紙にすることで、大仁田厚からも 30 万円の裏金をもらっていたと告白する同氏。現在のプロレス界からは考えられないほど、バブリーな接待を受けていたようだが、これらの行為は決して許されることではない。

【Sports Watch】日本惜敗、セルジオ氏「オランダとの力の差は 1 点以上ある」

日本時間 19 日、2010 年南アフリカ W 杯における第 2 戦を迎えた日本代表は、オランダを相手に善戦するも、後半スナイデルにゴールを許し惜敗した。

日本の敗戦に対し、サッカー解説者のセルジオ越後氏は、試合後、自身のツイッター上で「日本の守備は前半頑張っていたけれど、ボールを奪ってからの攻撃はなかなかできなかった。もっとチャレンジしてほしいけど」と呟くと、「それにしても、オランダは強い。1 点とってからは、明らかにペースダウンして、決勝トーナメントをみていたね。1 点差とはいっても、オランダとの力の差は 1 点以上にあるよ」と振り返った。

また、その一方、スポーツジャーナリスト・中西哲生氏は「0-1 なら、上出来」と短く感想を述べた後、「走行距離トップは、この試合も遠藤保仁 (11.005km)」「シュートは、オランダ 9 本 (枠内 5 本) - 日本 10 本 (枠内 3 本)」など、FIFA のデータを紹介した。

【Sports Watch】中田英、日本惜敗も「勝ちにいく姿勢が見えたっていうのは大きい」

19 日 (土・日本時間) 南アフリカ W 杯・日本×オランダ戦は、日本代表の健闘空しく、後半にはスナイデルのゴールでリードを許すと、ばん回できないまま 0-1 で敗れた。

試合後、テレビ朝日の中継で解説を担当した元日本代表の司令塔・中田英寿氏は、「まあ、0-1 で負けたとはいえ、一戦目に比べるとチームも格段にいい戦いになって、特に後半なんかは日本もいい攻めをしていましたし、次に繋がる一戦になったのではないかと思います」と感想を述べた。

また、「(ズルズルと失点するケースもあるが) そこをきちんと守りきった上で自分達の攻撃を繋げていく。特に最後は岡田監督も攻撃の選手を早いうちから使い、その姿勢というのは次の試合に繋がっていく。この試合は負けてもいいわけじゃなく、勝ちにいく姿勢が見えたっていうのは大きい」と語った。

【Sports Watch】ゴン中山 「岡崎は 42 歳まで現役をやるでしょう」

日本時間 19 日、W 杯第 2 戦となるオランダ戦に臨んだ日本代表は、後半にスナイデルのゴールでリードを許すと、反撃届かず 0-1 で敗れた。

同夜、フジテレビ「すぽると！」には、元日本代表・中山雅史が出演、試合の感想を語った。

「頑張ったと思いますよ。オランダが自分達のプレーをさせて貰えなかった印象を前半は

受けましたから、その部分は日本がしっかりとしたブロックを作って対処できていたと思います」と高評価を付けた中山は、「後半決められてからは、リスクをおかして前にいった分、相手にも突かれた部分がありますけど、前半に関してはオランダに決定的な場面を作らせていない印象」と語った。

また、1点差という結果については、「どうでしょうね。シュートが枠にいくかどうかってということと、シュートの意識がどれだけ高いか。そこにリスクマネジメントができていくかどうかってところだと思うんですよ」と解説する中山は、岡崎が決定的な場面でシュートを外したことに言及し、「僕にもそういう経験がありますから。だからこそ、ここまで現役を続けているわけで、今、岡崎選手のシュートシーンが映りましたけども、これで岡崎は42歳まで現役をやるでしょう。これがきっかけで、どんどん成長するし、彼のためにはよかったのかもしれない。これからもっと大きな選手に育っていくんじゃないかな」とエールを送った。

【Sports Watch】日本代表の快勝にセルジオ氏「日本サッカーにとっても明るい」

日本時間25日、南アフリカW杯で第3戦を迎えた日本代表は、強豪デンマーク代表を相手に3-1と快勝、見事決勝トーナメント進出を決めた。

この結果には、辛口サッカー解説者として知られるセルジオ越後氏も、自身のツイッター上で「やっぱり先取点が大きかったね。相手が前がかりになるところをうまく守って、3点目をとった。大事な試合に勝って、日本サッカーにとっても明るいことになる」とツイートし、喜びを露わにした。

また、次戦のパラグアイ戦については、「今度の相手のパラグアイは、これまで3チームとは違うタイプ。ドリブルを主体にするチームに対してどう戦うかが大事だよ」と気を引き締めるのだった。

【Sports Watch】みの、日本勝利に「4-0で日本っていったのは僕だけ」

日本代表が下馬評を覆し、歓喜のW杯ベスト16入りを決めた。デンマーク代表を相手に3-1という完勝劇を演出した25日の早朝、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」では、みのもんたら出演陣が大はしゃぎをみせた。

みのの「やってしまいましたよ」の声で始まった同番組、ゲストの釜本邦茂氏が「(予想と大きく異なり)今日はここで謝らなきゃいけない」と語るや、「4-0で日本っていったのは僕だけでしたよ」と大喜び。同じくゲスト解説のラモス瑠偉氏も「4-0になってもおかしくはなかった」と同調した。

その後も、「3点目が素晴らしかったね。あり得ない」というラモス氏に、「私はこれから祝

勝会の会場に行かなきゃいけないから」「(パラグアイ戦は) 3-0 で日本」というみのは、終始ハイテンションだった。

【Sports Watch】日本代表勝利に「日本人として誇りを感じる」

25 日、南アフリカ W 杯で第 3 戦を迎えた日本代表は、強豪デンマーク代表に 3-1 で勝利し、決勝トーナメント進出を決めた。

同日、日本テレビ「ズームイン!!SUPER」では、サッカー解説者のセルジオ越後氏、北澤豪氏、城彰二氏らが試合の感想を述べた。

「一戦目から世界のレベルを分かって、守り重視のサッカーが成功している。やはり、先行した試合は勝ってる、先行された試合は勝ってない。やっぱり、基本は守って守って点を与えないこと」と語るセルジオ氏。

また、北澤氏は「試合を重ねるごとにチーム力。言葉では簡単なんですけど、一人一人の努力。予選突破というのは難しいことだとは思うんですけど、力を合わせてよくやった。選手たちの頑張りは、日本人として誇りを感じる」と述べ、城氏は「選手の頑張りは感動しましたし、岡田監督の采配といった部分も非常に素晴らしい部分がありました」と語った。

【Sports Watch】日本惜敗も、セルジオ氏「サッカーは守りだけじゃないからね」

日本時間 30 日、W 杯決勝リーグでは、日本代表がパラグアイ代表を相手に堅守で五分の戦いを繰り広げたものの、最後は PK 戦の末に敗れた。

この結果を受け、サッカー解説者のセルジオ越後氏は、自身のツイッター上で「残念だったけれど、これが日本の力。守ることはできるけど、攻めはだめ。120 分間守りきったという感じだった。明らかに力はパラグアイの方が上だった。川島のファインプレーがなければ、負けてたよ」と厳しく言い放つと、「攻撃のバリエーションはないし、破壊力のある選手もいない。FW 不在という中で戦い、最後にその課題だけが残った。守りは世界のレベルに達していたかもしれないが、サッカーは守りだけじゃないからね」と感想をツイートした。

また、その 3 分後には、「ベスト 16 になって良かった、歴史ができた、惜しかった、というだけでは先がない。足りないところは何だったか、これからどうすればいいか、それを考えていかないと進歩はない」と日本サッカー界に提言を述べた。

【Sports Watch】パラグアイ戦終了、中西氏「マン・オブ・ザ・マッチは、本田」

W 杯決勝リーグ（日本時間 30 日）では、日本代表が強豪パラグアイ代表を相手に接戦を繰り広げるも、最後は PK3-5 で惜しくも敗れた。

この結果を受け、サッカー解説者の中西哲生氏は、自身のツイッターで「マン・オブ・ザ・マッチは、本田」と呟くと、「皆さん、このワールドカップ、本当にありがとうございました。いつかまた、日本代表の試合でお会いしましょう。日本代表に大きな拍手を送って頂ければ、うれしいです。そして是非、Jリーグに足を運んで下さい。よろしくお願いします。中西哲生」と続け、後輩達の健闘を称えた。

また、横浜FCのGMを務める奥寺康彦氏も、試合後には「悔しいな、悔しく思えるのは、あと一步のところまで来たからだと思う。これを忘れずに、次に担うものが受けずいて行かなければ成らないと思う。本当に良くやったよ。ありがとう」といったツイートをを行い、善戦した選手に感謝の言葉を残した。

【Sports Watch】岡田監督、初戦で掴んだ自信“お前らできんだろ？”

1日、W杯ベスト16という結果を残して帰国した日本代表。同日、日本テレビ「NEWS ZERO」では、帰国会見を終えたばかりの岡田監督に、サッカー解説者・北澤豪氏がインタビューを行った。

「本当にいいチームでしたよ。妙にいいチームでしたね」と笑顔で語る岡田監督。戦前には苦戦が予想される中、「苦しかったよ。でも、コーチにひょっとしたらチャンスだよという話はしてました。その後、ジンバブエと練習試合をやって、その頃から、あら何か変わってきたなど。選手の危機感、強い相手とやって、コートジボワール戦なんて、ボールも触れなかったからね。それから練習も変わってきましたし、勝ってないというのもあった。色んなことが混ざり合って、チームが変わってきましたよね」とチーム復調のきっかけを明かした。

また、決勝トーナメント進出を決めた要因については、「カメルーン戦に勝ったこと。なんだかんだ疑心暗鬼。カメルーン戦なんて、おっかなびっくりですよ。結果が出た、勝てたと。あんときは守備のことしか言わなかったから。“お前らできんだろ？”、“できると思います”、“じゃあ、もっと攻撃にいこうぜ”って。勝ったからできた。デンマークならこれぐらいいいけるなどか、どんどん掴んできて成長していった。カメルーンに勝ってなかったら、(ベスト16は)なかった」と語った。

【Sports Watch】岡崎語る本田の自信、“マイケル・ジャクソン超えるから”

W杯の大舞台から凱旋帰国を果たした日本代表。1日、日本テレビ「NEWS ZERO」は、帰国会見を終えたばかりの岡崎慎司、大久保嘉人にインタビューを行った。

パラグアイ戦後、多くの選手が悔し涙を流した中、大久保は「悔しかったのもありますが、このチームがこれで終わりかっていう寂しさもありましたね」といい、岡崎は「無力感があって泣けなかった」と語った。

また、本田圭佑のことを訊かれた岡崎は、「試合前のホテルで喋ると、アイツは、点獲れそうみたいな感じで言ったときは、本当に点を獲るんで。その有言実行はすごいかな。“俺ボールもっと触りたい”“今日、俺暴れるから”みたいな感じで言ってたんですよ。カメルーンとかデンマーク戦の前に。でも、オランダ戦の前は、会わなかったんですよ、ホテルで。有言実行するところや、普段は普通に勝ちたいとか言うんですけど、自信を持ってプレーするあたり、意思の強さはすごい」と明かした。

さらに、パラグアイ戦のあと、ホテルで同室だったという岡崎は、「4 時くらいまで寝れなくて、悔しくて。部屋暗くして寝る感じで、(本田が) “すべらない話”をしようって言ってきて、(自然とパラグアイ戦の話に) なったし。今後のこととか、冗談なのか本気なのか分からないこととか言うんですよ。“マイケル・ジャクソン超えるから”とか。アイツだったらできそうって思っちゃうくらい強めに言うんで」と笑った。

【Sports Watch】長谷部に対し、松井“キャプテンぶってる”

3 日放送の日本テレビ「Going! Sports & News」では、1 日に W 杯の大舞台から帰国した日本代表の阿部勇樹(浦和レッドダイヤモンズ)、長谷部誠(ヴォルフスブルク)、長友佑都(FC 東京)が生出演を果たした。

冒頭、長友の大ファンだというマツコ・デラックスから「理想を 100 とすれば、限りなく 90 代後半。なぜ、この人がサッカー選手、それも日本代表に選ばれるような。そんな人がどうなるわけじゃないじゃない。もしかしたら、日本を離れるかもしれないなんて話もあるから。話し相手に行くわよ」といった VTR が届く。これに対し、「どうなりたいんすかね？ きっちいっすね」と苦笑いを浮かべた長友に、長谷部は「ホント、うらやましいですね」と他人ごとのように話す。

また、松井大輔が VTR で登場し、3 人の素顔を明かすと、長谷部には「キャプテンぶってる!!」とフリップに書き、「アイツは、ぶってるね。この一言しかいわない」とニヤリ。阿部には「本当は駒ちゃんと○○」と書き、「仲いいからね。友情を超えたものがあるんじゃないか」と意味深な発言、長友には「マツコ・デラックスと (ハートのマーク)」と書いた。

思わぬところで、駒野との仲を指摘された阿部は、「そんなんじゃないですよ。でも、中学から知ってるんで。松井は小学校から知ってる」と反論、“キャプテンぶってる”といわれた長谷部は、「自分でも名ばかりのキャプテンだったと思いますけど、松井さんに言われるとムカつきますね」と語り、長友も「いや、もうぶってますし。ただ“俺についてこい”ばりの背中をみせてくれました」と長谷部をフォローした。

【Sports Watch】岡田監督、松井に“グルノーブルでは、サボっているように見えた”

フジテレビ「すぽると！」(3日深夜放送分)では、1日にW杯開催地＝南アフリカから帰国した日本代表・松井大輔が出演した。

試合を振り返って、印象に残った点を訊かれると、「カメルーン戦のアシストだったり、ドリブルですかね。抜いていく楽しくなります」と振り返った松井。

VTRに登場した岡田監督から、「松井はね、中盤でチャランポランなプレーをするから、シンプルにやれって何度も怒鳴るんですけど、他の選手にないひらめき、トリッキーなプレー。そして、何よりもやっぱり、あれだけディフェンスで追いまわしてくれて、攻撃にも走る。彼の運動量がこのチームのダイナモというか、エンジンになってたと思う。これからまたどっか海外に行くんだろうけど、あの姿を。グルノーブルでやってたときは、なんかサボっているように見えたので、あの姿を忘れずに頑張ってください」というメッセージが寄せられると、「僕はポジティブに感じているんですけど、そういうのもないと、日本が面白くない」と苦笑いを浮かべた。

【Sports Watch】岡田監督、高校時代は女性用パンティーを着用!?

W杯ベスト16に入り、いまや国民のヒーローとなったサッカー日本代表・岡田武史監督。4日放送のTBS系情報バラエティー「アッコにおまかせ！」では、恒例のパネルトークで、そんな岡田監督の高校時代を紹介した。

若き日は、ややロン毛だった岡田監督の写真が披露されると、“芸能界のご意見番”和田アキ子も「こんな写真出していいの？」と恐縮気味に驚いた。

また、当時は多くの選手が試合用のアンダーパンツに海パンを着用していたところ、岡田監督だけは“フィット感が違う”と女性用のパンティーをはいていたというエピソードも紹介された。

揺るぎない信念は、高校時代からのものなのか――、さすがのアッコも岡田監督の武勇伝には、驚きを隠せなかった。

【Sports Watch】琴光喜の退職金、「満額なら5500万円」!?

現在、日本中に大きな驚きと怒りをもたらしてる大相撲の野球賭博問題。旧態依然とした体質に加え、暴力団との繋がりも根が深く、4日、大関・琴光喜と大嶽親方には解雇処分が下された。

TBS系「サンデー・ジャポン」(4日放送)では、テリー伊藤が本問題について言及、「博打ってこの程度の罪で済むのかと素人の人が思ってしまうのが危険」と警笛を鳴らすと、「本来ならば相撲協会がNHKに今回の名古屋場所は放送しないで下さいと言わなくてはいいけ

ないし、協会が体制を維持しようとする姿勢に違和感を感じる」と苦言を呈したばかりだった。

そんな言葉を象徴するかのように、琴光喜は最も重い処分＝除名ではないため、退職金が支給され、5日には一部のメディアが「満額なら5500万円」と伝えている。どこまでも、ぬるま湯体質が抜けきらず、進歩のない角界には、今度も多くの批判が寄せられそうだ。

【Sports Watch】カズ、松井にエール「僕に言わせれば赤ん坊」
5日放送、日本テレビ系「NEWS ZERO」では、日本代表・松井大輔がゲストで出演した。

W杯の日本戦を振り返るVTRの中では、決勝リーグ進出を決め、父・一雄さんが胴上げされるというシーンが流れると、「僕、まだされてないんですけど」と苦笑いを浮かべた松井。

初戦のカメルーン戦を「チームが一丸となれた試合」と表現するも、“先制点をアシストした本田圭佑から、お礼はあったか”という問いには、「もちろん、ないですね」とキッパリ。「大体フォワードの選手って“ありがとう”とか、そういう言葉を頂くことはあるんですけど、本田は“うん”っていうぐらい」と明かした。

また、VTRで長谷部誠、長友佑都、阿部勇樹が登場し、松井にメッセージを送ったが、中でも長友は「パソコン打ってる時の顔、かわいくないですか？いつも悪い顔してるじゃないですか？めっちゃ可愛いですよ。ペコちゃんみたい」と突然切り出して笑いを誘った。

さらに、VTRでは元チームメイトの三浦知良も登場。「本人は納得していないと思いますから。僕がいうのもなんですけど、もっと伸びると思うし、日本の中心として頑張ってもらいたい。29歳ということに関しては、まだまだ僕に言わせれば赤ん坊」とカズ流のエールを送った。

【Sports Watch】GK川島「“どや顔ってなに？”っていう感じだった」
5日放送、フジテレビ「すぽると！」には、日本代表GK・川島永嗣がゲスト出演。番組内では、今春、同番組に出演した川島に、フローラン・ダバディや三宅正治が「自分が正ゴールキーパーを取るという気持ちもある訳でしょ？」と上から目線で言い放つなど、完全に“控え扱い”していたことを詫びた。

これに対し、「もうちょっと考えます」と笑顔で答えた川島は、「それが反骨心になった」と付け加えると、トレードマークにもなった“どや顔”については、「全く意識してないですよ。今回言われて“どや顔ってなに？”っていう感じだった」と明かした。

その他にも、世界との差を縮めることには「日本だけじゃなくて、世界のどの国にとっても難しいことだと思いますし、今回大会通して自分達にできることも確実に証明できた。もっ

とできるんだっていう自信を持ってチャレンジしていくこと」と真面目に語ったが、番組後半では、長谷部誠、長友佑都、阿部勇樹がVTRで登場すると、川島への質問として「ベルギーのチームに移籍が決まりましたが、契約金いくらですか？」（長友）、「永嗣、どうやったらその筋肉、永嗣（維持）できるのかな？」とグダグダなコメント。これには、川島も苦笑いを浮かべるしかなかった。

【Sports Watch】花田勝氏、貴乃花親方と「お互い連絡先はわからない」

元横綱・花田勝氏が、テレビ朝日系情報番組「ワイド！スクランブル」に生出演（7日放送）、渦中の相撲協会、そして、弟・貴乃花親方についてコメントを出した。

「お互い連絡先はわからない」と語る花田氏。貴乃花親方が提出したという退職届については「ビックリした」と驚きの様子。「大関が辞めさせられた事に責任を感じているのか、あのタイミングで退職届を出すのは何を考えているのかさっぱりわからない」と語った。

また、元同門で兄弟子でもある大嶽親方については「責任を取るしかない」と厳しい見解。自身の賭博については「一切やったことはない」と断言するも、「支度部屋で他の力士が花札などをしていたのは見たことがある」と大相撲に深く根付く賭博の影を明かした。

【Sports Watch】テリー伊藤“大嶽親方、出世して琴光喜を雇え”

野球賭博問題により、幕内優勝力士に贈られる天皇賜杯や内閣総理大臣杯といった表彰を辞退し、NHKの生中継もない中で開催した大相撲名古屋場所について、11日放送、TBS系情報番組「サンデージャポン」では、ご意見番のテリー伊藤が持論を展開した。

「名古屋場所を開催するために、大嶽親方と琴光喜を処分したのではないか」と指摘したテリーは、「相撲のいい部分の伝統っていうのは自分達の都合のいい部分」と語り、協会のごっちゃん体質を批判、「財団法人を止めるべきだ」とキッパリ言い放つ。

また、涙の謝罪会見を行った大嶽親方については、「大嶽親方はたくましい。これから出世して琴光喜閣を社員として雇うくらいのパワーが欲しい」と、再起を期待した。

【Sports Watch】毎日jpがK-1記事で誤報“年内の活動を休止”

16日、毎日新聞社の総合情報サイト「毎日jp」では、そのトップページ上段に『「K-1」の記事でおわび』という見出しを載せ、同日、中国系投資銀行PUJI CAPITALとの業務提携を発表したFEG（K-1運営会社）に対し、「年内の活動を休止」といった誤報を掲載したことを詫言した。

同サイトには、

『K-1：年内の活動を休止 運営会社FEGが発表？

格闘技の「K-1」を運営する興業会社FEG（谷川貞治代表取締役）は、16日午後4時から東京都内で会見し、年内の大会開催を休止すると発表した。FEGは打撃系格闘技のK-1と総合格闘技の「DREAM」を運営。K-1には中量 ...

*

この記事は完全な誤りで、事実無根です。株式会社FEGと格闘技大会「K-1」に関するすべての方々に多大のご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。【毎日jp編集部】。（原文ママ）という記載がなされている。

これは、K-1の業務提携記者会見前に、“会見内容がK-1の活動休止である”といった内容の誤った情報を得た同新聞社の記者が、会見前に記事の内容を想定し、その骨格を作成していたものが誤ってアップされたようだ。

K-1は、今月10日にもオーストラリアでワールドGPのオーストラリア予選を開催したばかりだったが、選手や関係者へのファイトマネーの未払いや遅配が続き、ファンや関係者の間でも経営難を危惧する声が絶えなかった。

■関連リンク

・【K-1 AUS】 ティシェイラ覚醒!! エドワーズも台風の目に
【Sports Watch】 ナイナイ矢部、「優勝はスペインって言ったでしょ？」
サッカーW杯・南アフリカ大会は、スペインの初優勝で幕を閉じた。

W杯開催中は、モデルの小森純が日本代表の予選リーグ結果を、そして、タコのパウル君が8試合の勝敗を全体的中させるなど、試合予想を的中させた人やタコがクローズアップされるほど、アップセットの続く大荒れの大会でもあった。

そんな折、ナインティナインの矢部浩之がラジオ「ナイナイのANN」（15日深夜放送）の中で、自身の予想も当たっていたと豪語。冒頭、「スペインって言ったでしょ？」という第一声を挙げた矢部は、「後から言うのはいやらしい」と謙遜しつつも、「アメトーク」や「やべっちFC」でスペイン優勝を予想していたことを強調、決勝ゴールを決めたスペイン代表・イニエスタの活躍も予想通りと誇らしげに語った。

しかし、戦前、お笑いコンビ・DonDokoDonの平嶋啓史が、W杯MVPのウルグアイ代表ディエゴ・フォルランを注目選手に挙げていたことには、「小森純とかより平畑さんの方

が凄い」と素直に認める矢部だった。

【Sports Watch】引退した仁志がテレビに出演、“徹底解説”の筈が——

巨人から横浜ベイスターズへと移り、今年4月には、アメリカ独立リーグのランカスター・バーンストーマーズ移籍を果たすも、ケガにより先月引退を表明したばかりの仁志敏久が、16日放送、TBS系「NEWS23 X（クロス）」に出演した。

「責任がございました。毎日のんびり暮らしています」と近況を語る仁志、米独立リーグ挑戦については、「アメリカの文化の中で野球をやりたいということが一つの目標でもあり、夢でもあったので、その気持ちの穴を埋めて、どこでもいいからやりたかった」と明かした。

その後も、同番組内で野球の解説を行った仁志だが、「横浜－巨人戦を徹底解説」というアナウンスをされるも、長野久義の盗塁を取り上げ、「本人にとってもプレーの幅を広げるとい意味では大きな財産。チームにとっても、攻撃の幅が広がる」と述べ、試合後もまた「走攻守を期待されていると思いますけど、僕なんかよりも大きな期待をされると思う。生え抜きの一人として、もっともっと成長してほしい」と長野に対するコメントに終始したのだった。

【Sports Watch】駒野、“あの瞬間”を語る 「皆と目を合わすことができなかった」

17日、日本テレビ「Going！ Sports&News」では、サッカー・日本代表メンバーとしてW杯決勝リーグ進出に大きく貢献した駒野友一のインタビューが放送された。

“堅守の日本”、その立役者でありながらも、パラグライ戦では、PKを外したことで一際クローズアップさせることになってしまった駒野が振り返るW杯とは——？ 同放送内における駒野の言葉を箇条書きで以下に抜粋した。

「迷うことなく、自信を持って蹴ろうと思った。（PKは）中学生で外したくらいで、それからずっと決めていたので自信はありました」

「自分の出番がきて、（PKに）歩いていった時に自分の得意なコースに蹴ろうと思って歩いていた」

「あの瞬間はやってしまったなってことしか頭の中になかったです。（キーパーの動きが目に入った？）いや、ないです。蹴る時はキーパーの動きは見ないので。いつも通り蹴れたと思います」

「“終わりじゃない”と言われたし、“永嗣が止めてくれる”という声もかけてくれたんですけど、やっぱり、皆と目を合わすことができなかったです」

「本当に申し訳ないというか、本当に自分の責任だなんて思いました。ずっと泣いていたんですけど、あまり周りの声というのは入ってこなくて、自分の世界というか、周りは気にできなかったですね。松井がずっと肩を組んでいてくれたのは分かったんですけど、色んな人に声をかけて貰って、ずっと下を向いていたので、その時は誰がきてくれたのか分からなかったです」

「(ロッカールームでは) 自分はずっと下向いていたんですけど、阿部ちゃんにずっと励まして貰って。闘莉王も“自分が蹴ったら外していた”とか。そういう言葉を貰った」

「このチームは、本当にチームワークがよくて、終わるのは本当に辛かった。次の日に日本に帰ることになったので、荷物をまとめてやるんですけど、やっぱり自分としては、部屋の外に出るのが嫌だったし、みんなと会うのも怖かったというか、自分の責任だったので、本当に申し訳ない気持ちで、あんまり部屋を出ることはできなかったですね」

「PK の失敗のことも頭から離れられなかったし、すれ違う人との目線というのも怖くて、合わすこともできなかったし、少しずつ映像を見るんですけど、あの時の悔しさがこみあげてきて、日経つにつれ、少しずつ (テレビで) 流れても見ようようにして、自分から逃げ出さないようにはしようと思って見てました」

「全てを忘れてはいけないですけど、頭の中に刻み込んで、チームに合流しました。(次、PK 蹴れと言われたら?) 言われれば断ることなく蹴りたいと思います」

【Sports Watch】魔裟斗、川島永嗣に「彼女いないんですか？」

TBS 系列「S1」(17 日放送分) では、ベルギーのリールセ SK に移籍が決まった日本代表 GK・川島永嗣に、番組 MC の魔裟斗がインタビューを行った。

「試合の印象は顔ですね。何回もいわれていると思うんですけど、気合いの入った表情が僕とラモスさんで大絶賛しています」と切り出す魔裟斗に対し、「スイッチが入るんですかね。W 杯終わってから“ドヤ顔して”っていわれるんですけど、自分でも意識していないから分からないですね」と答える川島。

また、ベルギー行きについて、川島が「基本的には年末まで帰ってこれないですね」というと、なんと魔裟斗は「彼女とかは？お見送りとかは？」とストレートに質問。一旦は「一番の大ファンである両親がきてます」と濁した川島だったが、「彼女いないんですか？」と食い下がる魔裟斗に、川島は「ストレートですね。まあ、その辺は次回お会いした時に」と苦笑いするしかなかった。

さらに、「大袈裟なことになってしまっていますが、ある程度、英語とかイタリア語とか日常会話くらいは」といい、以前から語学の準備も行っていたという川島。ベルギー移籍には「ポルトガルのチームとか、レベルも少し上の国もありましたけど、やっぱり自分が試合に出て、その先もステップアップしていけるところっていうのを考えるといい環境」と語った。

【Sports Watch】長谷部がカズ一家と会食、「理想の家族像」

W 杯サッカー日本代表のゲームキャプテンとして活躍した長谷部誠（VfL ヴォルフスブルク）が、自身の日記を投稿する GUAPO オフィシャルブログにおいて、“キングカズ”三浦知良（横浜 FC）一家と会食した様子を綴った。

21 日に更新された同ブログで、「今からドイツに戻ります。オーストリア合宿に直行します。また新しいシーズン、気持ち新たに頑張ってきます」と意気込む長谷部は、カズ一家との会食について「僕の理想の家族像がそこにはありました」と語っている。

また、一部のメディアには「カズさんはデザートも食べない」と話し、そのストイックな姿勢に刺激をもらったと明かしている長谷部。22 日には「とんねるずのみなさんのおかげでした」の人気コーナー「食わず嫌い」で、長友佑都と対戦する内容が放送されるのだが、番組サイトには「長谷部が本田の意外な素顔を暴露」と書かれており、どんなエピソードを語っているのか——、ファン必見の内容となっているようだ。

【Sports Watch】“左のおかわり君”坂田「去年は全く歯が立たなかった」

埼玉西武ライオンズの主砲、“おかわり君”こと中村剛也が右肘の痛みで登録抹消となる窮地にあっても、その穴を埋める活躍を見せているのが、“左のおかわり君”こと坂田遼だ。

23 日「すぽると！」では、野球解説者の高木豊氏が、坂田を直撃。初々しい 23 歳は緊張しながらも、ここまでの活躍を振り返った。

「去年、一軍いかせてもらった時は緊張しっぱなしで、周りも何も見えなかったですけど、今はキャンプも一軍で経験させてもらって、気持ちに余裕が出来たかなっていうのは、すごい大きいと思います」と語る坂田。一軍での手ごたえについては「去年は全く歯が立たなかった。今年になって、たまたま結果が出ているので、少しはやっていけるのかなって自信が出ました」という。

また、自分のセールスポイントには、「やっぱりバッティングは見てほしいです。入った頃は、中村さんを目指せて言われたんですけど、自分でそんな飛ばせるバッターって思ってたんですけど、中距離バッターくらいだと思ってたんですけど、ここ 2 年、だんだん打球も飛ぶよ

うになって、“あれ、ホームラン打てるのかな”って思って」と心の変化を明かすと、その最後には「中村さんと争えるくらいの打順で」と意気込み、笑顔を見せた。

【Sports Watch】興毅が魔裟斗に「結婚してから、何か変わりました？」

25 日、一階級上のスーパーフライ級で 3 階級制覇を狙う亀田興毅は、メキシコのセシリオ・サントスと対戦する。前日となる 24 日深夜、TBS「S1」番組内では、MC の魔裟斗が興毅の取材&インタビューを行った様子が放送された。

「連敗っていうのは絶対したくない？」と尋ねる魔裟斗に、興毅は「周りは楽勝だという人もおるけど、今回は初めて負けてからの復帰戦やから、もしここで万が一負けるようなことがあれば、もう引退かとか、亀田あかんとか。だから、今までの中でも一番大事な試合やし」と語る。

また、「ボディ打ちをちょっと多く。俺の場合サウスポーやから、(相手の)中は入りやすい」と語る興毅だったが、魔裟斗が「神は超えられない人には試練を与えない」という言葉を紹介すると、「もう一回、再出発。KO で仕留めたい」と意気込んだ。

しかし、その収録後には興毅が魔裟斗に逆質問。「結婚してから、何か変わりました？」と尋ねると、魔裟斗は「全然変わりましたよ。俺はした方がいいと思っています」と笑顔を見せる。と、興毅が「子供の予定は？」と質問を重ねるや、「今はないですね。(性別は?) うーん、どっちでもいいですね。(男の子のほうがいい?) そうかな。俺にこの質問をバシバシしてくるのはアナタしかいませんからね」と苦笑いを浮かべる魔裟斗だった。

【Sports Watch】ロッセ西岡がモデルと結婚「ボクのワガママで誕生日に入籍する」

24 日、千葉ロッテマリーンズの西岡剛が、自身のブログ上で、モデル・徳澤直子との結婚を発表した。

かつては、プロゴルファー・古閑美保と噂になったこともある西岡だったが、同ブログ上では「徳澤直子さんと入籍することになりました。オールスター又シーズン中の一番大事な時期なのに私事で野球以外の報道でお騒がせすることを球団、ファンの方々にこの場を借りて、お詫びしたいと思います。ただ人生において大切なことなのでボクのワガママで誕生日に入籍することはしっかりとご報告させていただきます」と綴った。

また、同日、徳澤も自身のブログで「千葉ロッテマリーンズの西岡剛さんと彼の誕生日にあたる 7 月 27 日に入籍することになりました。(中略)そして今はチームにも、彼にとっても大切な時期だと思います。彼がしっかり野球に集中出来るよう妻として支えになればと思います」と語っている。

【Sports Watch】“満塁男”駒田氏が、最近の虐待事件に怒り露わ

元プロ野球選手で、現在は野球解説者の駒田徳広氏。「満塁男」の異名を持った往年の名プレイヤーが、自身の公式ブログ「駒田徳広の一言いわせて」(26日更新分)において、最近報道が続く幼児の虐待事件に怒りをぶつけた。

「また、幼児虐待の事件が。」というタイトルでブログ綴った駒田氏は、同事件を「90年以降、どんどん増える傾向にある」とし、「90年と言うと、僕らが親になった世代。親や先生にビンタを食らった最後の世代だ。それから、どんどん大人が子供に手を上げる事がなくなり、今の幼児の親達は全くそんな経験がない人がほとんどだ」と述べると、「それなのに、なぜ虐待が減らないのか。自分がされた事がない、一番嫌な事をなぜ子供に出来るのか、全く理解出来ない」と持論を展開する。

また、その持論に賛否こそあるだろうが、ブログの最後では「原因は何であれ、甘やかされた子供が大人になって虐待事件を起こしているのは間違いない。綺麗事の教育では、今後もこのような事件が減らないと思うのは僕だけか」と語る駒田氏だった。

【Sports Watch】 亀田大-坂田決定、“負けたら坊主”に「私がなります」
ボクシング・WBA 世界フライ級王者の亀田大毅(亀田)と元同級王者の坂田健史(協栄)による運命のタイトルマッチが、9月25日、東京ビッグサイトで行われることが正式に決定。TBS「サンデー・ジャポン」(1日放送)では、坂田に加え、亀田兄弟がかつて所属をしていた協栄ジム・金平桂一郎会長にインタビューした様子を放送した。

対戦する大毅の印象について、「ちょっと大人になった」という坂田に続き、「チャンピオンの風格が出てきたと思いますね」と語る金平会長だが、サンジャボのキャスターが、「あの頃、あれくらい大人だったらなあって思いますか?」と尋ねるや、「いや、あれはあれでよかったと思います。それがあって今があるんです」と苦笑い。

また、同キャスターが「負けたら坊主」と、坂田に無茶振りをすると、すぐさま「分かりました。じゃあ、私がなります」とキッパリ言い放つ金平会長だった。

【Sports Watch】 片岡安祐美のハプニング“ノーブラで練習に行ってた”
TBS「S1」(1日放送分)には、野球クラブチーム・茨城ゴールデンゴールズの片岡安祐美が出演。同番組で行われた甲子園のハプニング特集の中で、MC 魔裟斗から自分のハプニングを訊かれると、ノーブラで練習に行っていたエピソードを明かした。

「これ言っているのか分からないですけど」と前置きした片岡は、「練習前にグラウンド整備をしていたんですね。そしたら、選手達がみんな、グラビアアイドルの誰が可愛い、誰が胸が大きいっていう話をしていた時に、自分の胸の解放感に気付いて、“えっ”って思ったらノーブラで練習に行っていたんです」と振り返る。

さらに、「ビックリして、誰にも言えないんで。車も持ってなかったんで、先輩に“申し訳ないです、何も訊かずに家に連れて帰って下さい”って言って、連れて帰って貰い（ブラを）付けて練習行きました」と、その顛末を語った片岡。このエピソードには、隣の席の槇原寛己も「なかなかのハプニングですね」と感心しきりだった。

【Sports Watch】秋山成勲、ファイトマネーを横領された!?

世界最高峰の格闘技イベント UFC に戦場を移して活躍を続けるプロ格闘家＝秋山成勲が、自身の公式ブログ上で「横領。。」（更新日は 8 月 3 日）と題し、「約三年前に柔道時代から兄貴と慕っていた人から格闘技デビューしてからのファイトマネー全部を横領されてしまいました」という衝撃の告白を行った。

「金額はウン千万!!」と綴る秋山は、「その人はまだ、普通に生活を送っています!! 悔しい!!」、「今までどうにかしようと、いろいろ相談していたのですが、新しい弁護士に相談にきました!」と明かしている。秋山に一体何が起こったのか。本ブログを読む限り、不可解な点も多く続報を待ちたい。

【Sports Watch】遠藤語るフリーキック「一つの駆け引き」

フジテレビ「すぽると!」（6 日放送分）では、選手が自らのベストプレーを 3 つ選出する「自画自 3」のコーナーを放送、ガンバ大阪の遠藤保仁が登場し、J リーグで決めた自身のフリーキック・ベスト 3 を発表した。

3 位は、2009 年 12 月 5 日の千葉戦におけるクロスと見せかけて直接蹴り込んだシュートだ。「キーパーが結構前の方に出ていたんで、ちょっと狙ってみようかなと」という遠藤は、2 位に「一つのチームプレー」として、味方の選手が相手キーパーの死角となる位置に立たせて決めた 2007 年 5 月 26 日の千葉戦を挙げた。

そして、1 位は「完璧にイメージ通りに蹴れたのは、あれだけかな。あれを超えるフリーキックは蹴れるのかなっていう感じですよ」という 2006 年 3 月 25 日の広島戦だ。「多少距離があったので、まずは速いボールを蹴ろうと。曲がって落ちる、それをイメージして蹴りましたし、ポストに当たった後、（ボールが）ネットに当たる音も聞こえていたので」と語った遠藤は、その最後に、「ただ蹴ってるって思われるかもしれませんが、一つの駆け引きなのでね、フリーキックは。タイミングをずらすかということも大事なので極力自分がイメージしたゴールというか、ボールの軌道をフリーキックで蹴っていければいいかな」と持論を述べた。

【Sports Watch】ヴェルディ財政難に、ラモスが悲痛の訴え

昨年 9 月に読売グループがチームの経営撤退を表明、今年 6 月には、遂に J リーグ主導によるクラブ運営へと切り替わることになった東京ヴェルディ。現在も財政難は続き、クラブ

消滅の危機にあることに変わりはない。

そんな折、黄金時代のヴェルディ（ヴェルディ川崎）を支えた一人＝ラモス瑠偉が自身のブログ「CARIOCA」（5日更新）でチームのスポンサーを呼びかけた。

「古巣」と題した同ブログで、「上位を争ってる甲府にヴェルディは素晴らしい試合を展開していた いってもたってもいられなくて今日午前中みんなに会いに行った」と綴るラモスは、「勝ってもボーナスもなし 怪我人が多く 紅白ゲームもまともに出来ない 怪我をしても直ぐにドクターに診てもらふ事も出来ない」というチームの状況を明かすのだった。

それでもラモスは、「川勝監督のもと選手は一つにまとまって 本当によくやってる」と語り、「こんな素晴らしい原石がゴロゴロ転がってる こんないいチームが本当になくなって もいいのか 日本のサッカー界の宝を失う様なものだ」と悲痛の訴え。「どこかに一社でも面倒を観てくれるところはないのだろうか 一人じゃ無理でも仲間と集まって助けてくれる心あるお金持ちの人いないのかなあ」とスポンサーを募った。

【Sports Watch】楽天次期監督は桑田真澄氏？ 週刊大衆報じる

昨シーズンは、野村克也監督指揮のもと、クライマックスシリーズ進出を果たす大躍進を遂げた東北楽天ゴールデンイーグルス。

しかし、今期は監督解任を言い渡された野村氏が各メディアで恨み節とともに予言を繰り返した通り、8月7日現在ダントツの最下位に位置している。

そんな折、楽天の次期監督候補には、はやくもある人物が浮上しているようだ。

これは、9日に発売した週刊誌「週刊大衆」（8月23・30日合併号）によるもの。同誌によると、楽天次期監督候補には、元巨人・桑田真澄氏の名前が挙がっているという。現役引退後は、早大の大学院に入学し、同大学院を首席で卒業した桑田氏は、昨年、楽天のオーナー・三木谷浩史氏が早大で講義を行った際、会談をもったといわれ、二人には接点ができたと言われる。

最近ではスポーツ番組で独自のスポーツ理論を語る機会が増えてきた桑田氏。低迷する楽天の救世主となるのか――。

【Sports Watch】ダルビッシュが不可解なリツイート「しゅ、しゅごいいいっ」

時に熱い言葉を発し、時に野球に関する議論を交わしながらも、時にはファンにしっかりと反論する。

最近では、9日に「僕に文句言うためにアカウント作る人が最近いる。あのさ、『もっと自分のために時間使えよ』って言いたい。余りに時間が無駄やし、他に出来る事があるはず。本当に自分のために時間使って欲しい」(11:33 PM Aug 9th) といったツイートをを行い、真正面からファンに苦言を呈すなど、実直な性格が滲み出ていることでもファンの注目を集め、話題の絶えない北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有のツイッター。

しかし、あのダルビッシュが、不可解なリツイートを行った。その内容とは、なんと「アへ顔 bot」の「しゅ、しゅごいいいいっ」というボットの返事をリツイートしているのだ。

これにはすぐさま「羽田空港なう。飛行機乗ってる間かわかんけど、見た事もないアカウントのツイートをリツイートしてました(笑) なぜだ?? にしてもヒドいのリツイートしてるな〜」(5:40 PM Aug 8th) という釈明のツイートを行ったダルビッシュは、(飛行機に搭乗中で携帯は)「当たり前前に切ってました。だから不可解なんですよ」とも語っており、リツイートの原因は不明としている。ファンからの「削除してもよいのでは?」という問いにも、「あえて削除しない、みたいなの。」(5:43 PM Aug 8th) とおどけてみせるダルビッシュだが、依然真相は分からぬままだ。

【Sports Watch】宮里藍、今シーズン好調の理由を語る

今シーズン米ツアーで早くも 4 勝目を挙げる大活躍を遂げている宮里藍。昨シーズンは思うような成績を残すことができずに、悔しい思いをした彼女が、好調の理由をフジテレビ「すぽると!」(12 日深夜放送) に語った。

「予想もしてなかった 4 勝もして、よいシーズンを送っているがまだ途中」と気を引き締める宮里は、「今シーズンは一打一打に集中できている」といいながらも、「歩いている時はリラックスできてる」ようで、メンタル面のコントロールがショットの正確性を向上させた理由であるとした。

また、宮里は平均スコア、パーオン率など個別の成績だけみれば平凡だが、数字には表れない強さを持っているという森口祐子プロは、同番組で「明確に自分の強さを見つけた。技術的にも精神的にも強くなった」と分析した。

一時は世界ランキング 1 位にもなり、全米メディアの変化に戸惑った宮里だが、今となつては、「周りの変化にも対応できるようになった。こんな小さい子が世界ランク 1 位になったら、みんな喜ぶと思う」と語り、揺るがない精神力を身に付けた様子を垣間見せつつ、今期の最終目標は、年間を通してトータルで成績をみる「プレイヤーオブザイヤー」獲得であると意気込んだ。

【Sports Watch】ダルビッシュと川崎宗、試合後にツイッターで激励

北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と、福岡ソフトバンクホークスのキープレーヤー・川崎宗則。仲がよいことでも知られる二人がツイッター上で興味深いやり取りを続けている。

13日（金）ソフトバンク戦で6敗目を喫したダル。その夜には「8回5失点で負けました。ムネリンにも3安打。調子はかなり良かったけど、甘い所を確実に打たれました。要するに力負け。まだまだ練習が足りないって事。1流への道は険しいが、絶対辿り着くよ」と呟くや、これに答えるかのように「ダルリーナの高速チェンジアップ。あれを取得されたらかなりやっかい。しかし、ダルリーナとの対戦は楽しい。仕合を忘れて打席立つのも悪くない」（川崎のツイートのまま）と、川崎はツイートを行う。

ダルへの激励メッセージといってもいい川崎の発言に、ダルが「くっそムネリンめっ。悔しい。次こそは抑えますから！！」と返信するや、「悔しかったらもっと凄い球を投げてみる。いつでも勝負受けるばい」と返す川崎。ダルも「もっと努力するばい。もう負けん」と一歩も引かない。

しかし、その翌日には、一緒に食事をし、ツーショットの写真を公開しているダル&川崎。その後、ダルは「ムネメシ、楽しかったです。宗リンは僕の心が活気づいたのを気づいてました。さすがやね。さあ、明日も楽しみやー。野球やり足りない。練習も足りない。好きな事出来る事に感謝しつつ、寝ます！おやすみなさい」とコメントを残し、川崎もまた「楽しかった。ダルリーナまた行こうな。おやすみ」と、まるで私信のメールをファンに公開するような、やりとりを続ける二人であった。

【Sports Watch】今井メロ、自身のブログで結婚&出産を報告

スノーボードハーフパイプの選手として活躍した今井メロが自身のブログで結婚&出産を報告した。

6月以来、約2ヵ月ぶりの更新となったブログでは、「久しぶりの日記更新で突然なんですけど、皆さんに御報告があります」として、「私は今日までの間に色々と人生が変わったかも知れませんが…1番は結婚したこと そしてママになった事 子供を出産したこと どれもが私にとって大きな決断と人生を変える出来事でした」と告白した。

ブログには、子供の写真を掲載しているメロ。「まだ産後間もないので、回復次第また雪上に立つ予定です」と、選手の継続も宣言している。

【Sports Watch】チームに溶け込む長友「ここまで下ネタに助けられるとは」

20シーズンぶりにセリエA昇格を実現したACチェゼーナへレンタル移籍中の日本代表・長友佑都。世界最高のサイドバックを目指して異国の地で奮闘する“エースキラー”は、14日、

自身のブログを掲載する「GUAPO オフィシャルブログ」で現地&チームに溶け込んでいる様子を伝えている。

「ボンジョルノ」という書き出しではじめった、この日のブログでは、「みんな元気してるかな。僕は合宿も無事終わり、チームメイトとも仲良くなり楽しくやってます」と語っている長友。「やっぱり最初は溶け込むために下ネタは大事やね（笑）ここまで下ネタに助けられるとは思わなかったわ。下ネタブラボー」と世界共通のコミュニケーションツールとして、“下ネタ”の大切さを再認識したようだ。

また、同ブログ内では、現地の IKEA で生活用品を買い揃える様子も伝えつつ、「いろんなもん買ったけど、一番がつついたのはやっぱり抱き枕よね これがないといい夢みれんのよ（笑）」とおどける長友だった。

【Sports Watch】ダルビッシュ、今季だけで3つの魔球体得へ

今月13日のソフトバンク戦では自己ワーストとなる6敗目を喫した北海道日本ハムファイターズ・ダルビッシュ有。だが、すでに5年連続二桁勝利を挙げている今シーズンは、彼が投じた幾つかの新球種にも注目が集まっている。

テレビ朝日「Get Sports」（15日深夜放送）では、魔球とも呼ばれる3つの新球種を検証する内容が放送された。

その新球種とは、今年の開幕直前、テレビ朝日「報道ステーション」において、野球解説者・栗山英樹氏がダルにインタビューを行ったことで明らかとなり、オープン戦初戦の二日前に投げ方を知るや、なんと一週間で投げれるようになったというワンシームと、今年のオールスター戦で試した、サイドスロー投手のような軌道で浮きながらカットをしてくる浮くカットボール――。

そして、ソフトバンク・川崎宗則が13日に自身のツイッターで「ダルリーナの高速チェンジアップ。あれを取得されたらかなりやっかい」と呟いた高速チェンジアップだ。

140キロ台のスピードがあり、通常なら普通のストレートとなりそうな球種だが、ダルのストレートが好調なこともあり、140キロ台でも十分に打者のタイミングを外し、チェンジアップとして通用する。元々チェンジアップは苦手だったというダルは、リンゴを持った際、高速チェンジアップのヒントを掴み、実行したというのだ。

今シーズンだけで、3つもの新球種開発に取り組み、徐々にカタチになりつつあるダル。その潜在能力には驚かされるばかりだ。

【Sports Watch】興南出身の具志堅氏「野球部入ったら、お前ダメだって」

21 日、阪神甲子園球場で開催された第 92 回全国高校野球選手権大会決勝戦は、沖縄・興南が、神奈川・東海大相模を 13-1 で下し、史上 6 校目の春夏連覇を達成した。

同日深夜放送、TBS「S1」では、興南高校出身の元ボクシング WBA 世界ジュニアフライ級王者・具志堅用高氏がゲストで出演、喜びの声を挙げた。

「ありがとうございます。本当にありがとう。ご苦労さん」と満面の笑みを浮かべる具志堅氏。高校時代の興南野球部について訊かれると、「私、野球部入ったら、お前ダメだって言われたもん。小さいから。いらないって言われたもん。個人競技っていうの？ 身体小さいから（ボクシングで）モスキート級でやれって」と語り、当時一度は野球部への入部を希望していたエピソードを明かした。

その後も、「今日は本当に良かった。今日はこっちくるまでずっと電話ですよ」、「甲子園で 13-1 っていうのはあるんですか？ 13 っていうのは、俺も 13 回防衛だから。それ、いいかったです」と上機嫌の具志堅氏、野球解説者・楨原寛己氏も、島袋洋奨投手について「甲子園の決勝で力を出せる。松坂投手もそうだったじゃないですか。決勝でノーヒットノーラン。気持ちの強さ。本当に疲れていたと思うんですけど、そういうのが出せる。性格的にもプロ向きじゃないですか」と絶賛した。

【Sports Watch】驚愕のスーパープレー、その裏側に球場の秘密

今月 4 日に行われた広島×横浜の一戦で、横浜・村田修一が放ったセンターへのホームランを、広島・赤松真人がフェンスを駆け上がって捕球をするという驚愕のスーパープレーを見せた。

日本テレビのスポーツ番組「Going! Sports&News」（21 日放送分）では、「シンヤの裏話 全米が絶賛したスーパープレー」として、本プレーを紹介。米 ESPN でも絶賛されたプレーについて、赤松本人を直撃した。

「いつもだったら、自分の中では 2 歩か 3 歩しか目を切らない（打球から目をそらさない）。（フェンスに）登る時は、5 歩か 6 歩くらいの間、目を切っている。すぐ打球はきますから、30 センチずれたら捕れないんで」とキャッチした時の様子を語った赤松だが、その秘密は球場にもあるという。

「他の球場はスパイクの刃が（フェンスに）刺さらないようになっている。あとは、（マツダスタジアムのフェンスは）柔らかいっていうのもあるので、スピードを殺さずに向かっていけるんで。だから、結構登りやすい球場ですね」と、マツダスタジアムのフェンスが持つ意外な秘密を明かした。

【Sports Watch】新潟×川崎で2年連続のハプニング、レインガンが観客席へ

8月21日、東北電力ビッグスワンスタジアムでは、Jリーグ・ディビジョン1第20節＝アルビレックス新潟×川崎フロンターレの一戦が行われ、試合は曹永哲の2ゴールで新潟が2-1と勝利した。

しかし、その試合前には、大型スプリンクラー（レインガン）が川崎サポーターの集うスタンドへと向けられ、大量の水が放水されるというハプニングがあり、東北電力ビッグスワンスタジアムは、公式サイト上で「本日、8月21日に開催されましたアルビレックス新潟 対川崎フロンターレ戦の試合開始前に、施設管理者側のタイマー設定変更の失念という不注意によりまして川崎フロンターレサポーター様の席へレインガン（芝生散水設備）により水をかけてしまい、サポーターの方々をはじめ、大切な横断幕や荷物を濡らし大変ご迷惑をおかけしました」と謝罪をしている。

また、「昨年も同じ事態があり、同じ不始末で大変不快な思いをおかけしましたことを心より深くお詫び申し上げます」としている同スタジアム。昨年7月11日（土）に開催された同一カードでも同じ事態が起きていたのだ。

これには、大手掲示板でも「2年連続とかわざとと思われても仕方ないw」「来年もやるんだろ？むしろ、来年もやれよw」「クソ暑い応援席に、放水のサービスしてやったんだよ」「来年も同じ季節に日程を組んだら期待しちゃうだろうが」といったコメントが寄せられたのだった。

【Sports Watch】スエマエの五輪後、前田は「人間不信になった感じ」

2008年、北京五輪の舞台で世界ランキング一位のペアから金星を挙げ、一躍その名を知らしめた女子バドミントン・ダブルスの末綱聡子&前田美順、通称“スエマエ”。

あれから2年――。26日放送、フジテレビ「すぽると！」は、現在進行形の“スエマエ”に迫った。北京から帰国後「びっくりして、どんな感じでいいのかわからなかった」という末綱以上に、前田は「人間不信になった感じがありました。知らない人とかでも、前から応援してたんだって感じで近付いてこられたりとか、（マスコミから）同じこととかいっぱい聞かれて、取材とかにも慣れてなかったのも、それがストレスに感じてた部分があった。2年経ってみて、また改めて質問をされてみると、違った目線で冷静に思い出している自分がいるので、ちょっと大人になったのかなと」と語る。

ここ2年間は苦戦が続くものの、地道にレベルアップを目指し奮闘している二人。末綱は「試合に行く時間とか、ご飯食べる時間とか全部合わせます。それをしないと気が済まない。ダブルスなのでパートナーに合わせないといけないかな」と言い放つや、前田は「ご飯

は何時間前に食べてとか、消化の関係もある」とマイペースを崩さないものの、「自分の時間に引き寄せてしまっているんで、申し訳ないなっていうのは少しだけ思います」という。

また、2年後に迫るロンドン五輪については、末綱が「あまりロンドンを意識せずに、今は一つ一つの海外遠征でしっかり力を出して結果を残すことしか考えてない」と語り、前田も「ロンドンを視界には入れていなくて、まずは世界選手権、それが終わったら国内の試合もありますし、一つ一つをしっかりと戦っていく上で見えてくるものだと思うので、先を見過ぎず。周りの人は早く見てほしいのかなって思うんですけど、自分達のペースを保って流されず」と静かに意気込んだ。

【Sports Watch】監督不在の代表に怒り“日本サッカー協会ってどうなんだ”

27日、W杯南アフリカ大会後初の公式戦となる「キリンチャレンジカップ2010」の日本代表メンバー23名が発表されたが、岡田武史監督の後任となる新代表監督不在の中で行われた異例の会見だった。

TBS「スーパーサッカー」（27日放送分）では番組MCの加藤浩次がさっそく怒りをぶちまけている。

「日本代表の監督は決まってませんが、日本代表のメンバーは発表されました」と切り出した加藤は、続けて「今回の一連の騒動なんですけど、W杯ですごいよかったじゃないですか。サッカー人気もすごい上がったと思うんですよ。ここのキリンチャレンジカップで新しい監督をお披露目して、ちゃんとやんなきゃいけないじゃないですか。それがまだ決まっていない日本サッカー協会って僕はどうなんだって思うんです」と語気荒く言い放つ。

この加藤の剣幕に、「本当に申し訳ないと思います」と思わず謝ってしまったのが、サッカー解説者の小倉隆史だったが、止まらない加藤は「ここはちゃんとやんなきゃいけないでしょう。キリンチャレンジカップやることは決まってるわけだから、そこに合わせて監督を決めるっていうのは当たり前なこと。選手自身もどうモチベーション作っていいかわからないでしょ？」と続けると、同コーナーの最後にも、「会長が代わるとか我々サッカーファンにしてみたら関係ないですからね」と締まらないサッカー協会に釘を刺すかの如く訴えた。

【Sports Watch】長谷川監督、岡崎に“右サイドバックに転向しないか”

TBS「スーパーサッカー」（27日放送分）では、TBS 柘田絵理奈アナが、Jリーグの監督にインタビューを行うシリーズ「監 talk」を放送、今回は清水エスパルスの長谷川健太監督に迫った。

「いつも黒い服を着ていらっしゃるイメージがある」と柘田アナが尋ねると、「太ってるんで、少しでも痩せてみせたい」とおどけた長谷川監督。目指すチーム作りについては、「自

分のやりたいことを押しつけるのではなく、選手を信頼して、選手が納得するようなサッカーを、また、そのチーム作りをしていく」と答えた。

また、チームの岡崎慎司が、「“右サイドバックに転向しないか”って言われて、“そこはフォワードでお願いします”って言ったのを覚えている」と明かし、長谷川監督との思い出を語ると、「本当にストライカーじゃ通用しないだろうなと思ったんで。スピードもなかったですし、キレもなかったですし、もちろん、身長もない中で“サイドバックでもやってみるか”っていうくらいのつもりで、半分以上本気で言ってたんですが、お母さんがいい人でね。なんとか岡崎、頑張って貰えないかなっていう思いで」と笑顔で振り返った。

だが、その後の岡崎については、「でも、凄い運のよい選手で、そう言ってるフォワードの選手がケガして、“しゃーねーか、岡ちゃん”って。岡崎が一年目から天皇杯の決勝に出たりとか、本当に大事な試合で使わざる得ない。本当によく練習はしましたからね。自分が少しでも速くなるためにとか、キレを出すためにっていうトレーニングとか、コツコツとよくやった。伸び率や成長度合は、僕らの予想を遥かに超えた」と語った。

【Sports Watch】闘莉王、今野のモノマネに「ナメられたもんすね」

29日深夜放送、TBSのスポーツ番組「S1」では、名古屋グランパスエイト所属で日本代表・田中マルクス闘莉王に魔裟斗がインタビュー。W杯後に報じられた引退報道や、代表監督不在の現状について話を訊いた。

「燃え尽きた感が出ちゃうんですか？」と尋ねる魔裟斗に、闘莉王は「自分の中では、辞めようかなっていう。あの舞台のために全てのサッカー人生を懸けてきたので、あれ以上の舞台はないんですよ。あそこに立った人くらいしか分からないんで。鳥肌が立ったり、あれだけ人が周りにいるのに何も感じなかったり。お父さんがちょっと健康じゃなかったっていうのもあって、やることはやったんだっていう事で、辞めようかなと思った」と明かす。

だが、「お父さんと面と向かって話した時に、頑張ってこいって言ってくれた。お父さんの一言でがらっとやる気が出た」と話す闘莉王は、最近の活躍にも、「(ゴールが) 唯一の楽しみなんで。守ってるだけじゃ、楽しんでないんで。点は取りたいですよ。そのためにサッカーやってるようなもんですよ」とゴールへのこだわりを強調した。

また、W杯の帰国会見で、今野泰幸が行った自身のモノマネについては、「ナメられたもんすね。本当に。初めて見たんですよ」と大笑い。代表監督不在の現状には、「厳しいですね。これからの方向性がどうなるかって考えた上で、誰になるか。日本人の心を掴んでいる人、分かっている人。日本の文化がどれだけ大切かっていうこと。(ラモスは?) あの熱さっていうのは魅力あると思います」と語った。

【Sports Watch】代表監督不在に、ラモス「やりたいですよ。それは間違いない」

29 日深夜放送、TBS のスポーツ番組「S1」では、ゲスト解説のラモス瑠偉が、日本代表監督が決まらぬ現状に怒りを露わにした。

W 杯出場国で代表監督が決まっていない国が、日本と北朝鮮のみという現状、「いや、情けなさすぎるよ。特に選ばれた選手達のモチベーションは下がります。今回のメンバーを見てみると、稲本と玉田、どういう理由で選ばれていないのか」と露骨にムツとした表情で話し始めるラモス。

「ラモスさん、やっちゃえばいいじゃないですか？」という声がかかると、「いや、やりたいですよ。それは間違いないです」とキッパリ言い放ち、また、「僕だったら、選ばれてもいけない。現役の時だったら。遅すぎる。本当に情けない。寂しい」と続けるのだった。

【Sports Watch】ショック、“鬼軍曹”山本小鉄氏が急逝

現役時代は、星野勘太郎氏とのタッグ「ヤマハブラザーズ」で活躍し、引退後は、新日本プロレスの鬼軍曹として選手育成に。また、解説者やレフェリーとしてファンから愛された山本小鉄氏が、29 日急逝した。

これは、大日本プロレス社長・グレート小鹿や新日本プロレス中継の解説を務める安田拓巳氏など、いくつかのブログで明らかになったもの。享年 68 歳だった。

【Sports Watch】北島康介、これまでとは正反対の練習方針に

08 年北京五輪以来となる大舞台＝今月カリフォルニア州アーバインで開催された競泳パンパシフィック選手権において、平泳ぎ 100M、200M 共に絶対的な強さをみせつけて優勝した北島康介。いまだ進化を続ける日本競泳界のエースに、テレビ朝日「Get Sports」（29 日深夜放送）が迫った。

現在、北島はロサンゼルスに拠点を移し、デイブ・サロコーチの指導を受けている。サロコーチは、北島がこれまで指導を受けてきた平井伯昌コーチの指導とは全く異なり、平井コーチ時代はストローク数を減らして効率の良いフォームを追求してきたことに対し、現在はストローク数を増やし、スピード重視のフォームになっているという。

同番組の取材に「ストローク数を意識しなくなった」と語る北島は、「新しいフォームは楽しい。（フォームの変化に）怖さはなかった」と心境を打ち明けつつも、「やっぱり水泳はやめられない」と言い切り、前人未到の五輪 3 連覇を視野に入れている様子をうかがわせた。

【Sports Watch】村主千香が疾患を告白も、「元気いっぱいです」

女子フィギュアスケート・村主章枝の妹で、プロフィギュアスケーターの村主千香が、自身のブログ「今日のツボ」で卵巣嚢胞（らんそうのうほう）を患い、手術を行うことを告白し

た。

「実は、この度入院することになりました。突然、すみません…でも、5月には決まっていたことなんです」と切り出した村主は、「3月に子宮頸癌の検診をした際、卵巣嚢胞がみつかりました」明かす。

卵巣嚢胞とは、卵巣に生ずる嚢胞性腫瘍のこと。嚢胞とは分泌液がたまり、袋状になったものを指す。同ブログによると、一週間の入院と手術を要するという村主は、「私の場合、腹痛など何も症状がなかったので、もし検診に行っていなかったら、見つかっていなかったと思います」と語り、「定期的に検診を受けて下さいね」と訴えつつも、「ちなみに、私、足首と首以外は(笑)、元気いっぱいです」とファンに元気な様子をアピールした。

【Sports Watch】寺島しのぶが衝撃の告白「私は女子プロを目指していた」

日本テレビ「心ゆさぶれ!先輩 ROCK YOU」(4日放送)には、今年のベルリン国際映画祭で最優秀女優賞を獲得した女優・寺島しのぶがゲストで登場。人気漫画“キン肉マン”愛、そして、女子プロレス愛を語った。

番組の冒頭から、心をゆさぶるものとして“キン肉マン”を真っ先に挙げた寺島は、自ら「誰が一番好きですか?」と加藤浩次に尋ねる。

この質問に対し、「僕ね、バッファローマンになっちゃいますね。あの造形が好きですね」と答える加藤に続き、大東俊介は「僕はジェロニモっす」と話すや、寺島は「知ってるんだ? 私はラーメンマンかウォーズマン。ベアークロー。今日もちょっとベアークロー」といって、手にしていたアクセサリーを見せ、笑いを誘った。

また、キン肉マン好きの理由については、「ロマン。負けたことによって、仲間が仲間になっていく。そして、また新たに敵と戦っていく。それがなんかすごい。みんな、(最初は)敵。それがいつの間にかキン肉マンのためにつて」と熱く語った寺島。その他にも、「私の憧れです」とジャガー横田の写真を見せ、「本当にこれで、私は女子プロを目指していた」と衝撃の告白。

「しょっちゅうお母さん連れて、後楽園ホールに行ってた」と明かし、同じく往年の女子プロレスラー＝クラッシュギャルズに至っては、JOYが「今の子は、これ(写真)見ても全く響かない」と感想を述べると、「響かない? 本当に強かった。話にならない」と怒り気味に呆れるのだった。

■関連リンク

・「キン肉マン」一ヵ月限定特設サイト - マッスルアパレル 10 周年企画

【Sports Watch】ザッケローニ新監督、イタリア記者の評価は？

4 日、日産スタジアムでは、W 杯後日本代表の初戦となるサッカー・キリンチャレンジカップ＝パラグアイ戦が行われ、日本が香川真司（ドルトムント）のゴールで勝利を挙げた。

この勝利には、遠くからゲームを見守ったアルベルト・ザッケローニ新監督も絶賛の声を寄せたが、初のイタリア人監督となるザッケローニ氏は、日本代表をどのように導いていくのか——。同夜、日本テレビで放送された「Going! Sports&News」では、現地イタリア人記者がアルベルト・ザッケローニ氏の評価を語った。

これまでザッケローニ氏を 15 年にも渡って取材をしてきたというゴラミート記者は、同番組の取材に対し、「ザッケローニのウディネーゼでの最大の功績は、新しい考え方をもたらしたことです。システムを 3-4-3 に変え、素晴らしい成果を生みました」と評価、また、「彼の特徴はコミュニケーション能力に優れているところ。教え方は筋が通っていて明快なので選手は理解しやすいでしょう」と太鼓判を押したのだった。

【Sports Watch】アッコ、イチロー夫人・弓子さんに感激

TBS「アッコにおまかせ」（5 日放送分）、そのオープニングでは、和田アキ子が夏休みにアメリカでボイストレーニングを行った際、シアトルマリナーズ・イチローの応援に駆け付けた様子を明かした。

「イチローのセーフコ・フィールド行って、その後、イチロー宅にお邪魔しました」というアッコは、「もう弓子さんの料理のうまいこと、うまいこと。私はオーバーだけど、もうこんだけ生きてきて、今まで色んなところでレストランとか、色んな人にお招きされて。おいしいの 3 本の指に入る」と大絶賛。

出されたメニューは、「お肉もお魚も全部。最後はご飯とラーメン」とのことだが、「球場行った時に練習は見れなかったけど、本番始まったらオーナーの席で見させて貰った。そしたら、大型ビジョンに、日本のものすごい有名な、R&B を専門とする歌手、アキコワダって映った」と嬉しそうに語るアッコだった。

【Sports Watch】山本小鉄さん急逝も、死去直前も“豪傑ぶり”変わらず

先月 29 日、プロレスラーで、その引退後は、選手育成や解説者、レフェリーとしてファンに愛された山本小鉄さんが低酸素脳症で急逝、ファン＆関係者に深い悲しみを与えた。

そんな折、今週 7 日発売の「週刊アサヒ芸能」は、「NEWS SHOT!」のコーナーにおいて、山本さんの“死去直前”の豪傑ぶりをうかがわせる驚くべき行動を報じた。

同誌にコメントを寄せた、元週刊プロレス編集長・ターザン山本氏は、「身長 170 センチに体重 113 キロの体は、いまだに現役時代を彷彿とさせる筋肉を維持していました。若手同様の過酷なトレーニングをし、68 歳とは思えぬ食欲でしたが、実は山本さんは糖尿病だったんです」と明かし、また、先月行われた新日本プロレスのビッグマッチの打ち上げでも、生ビールを 10 杯飲んで氣勢を上げていたというのだ。

さらに、同氏は「山本さんって、何かあるとすぐに焼き肉に行こうと言うんです。焼き肉を食べてビールを飲み、御飯を食べる。いくら体を鍛えても、内臓にはかなりの負担だったでしょう」という。この点について、「事故と糖尿病の因果関係ははっきりしないが、抵抗力が落ちていたのは間違いないだろう」としている同誌は、その他にも、山本さんの豪傑ぶりや人望の厚さを紹介している。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】北斗キッパリ「風俗は浮気」に賛否

プロレスラー・佐々木健介の妻で、“鬼嫁”のキャッチフレーズでもすっかりお馴染みとなったタレント・北斗晶が、自身のブログ「北斗晶オフィシャルブログ そこのけそこのけ鬼嫁が通る」において「風俗は浮気」とキッパリ言い放った。

「風俗は浮気か！？浮気じゃないか！？今日のテレビ生放送で、アンケートをやったらさあたしの予想とは違う結果だったよ」と綴った北斗。「浮気じゃないって思う人も多いんだな」と言いながらも、その最後には、「やる事やってりゃ 浮気 だべ」と断言した。

そんなコメント欄には、女性と思われる書き込みが多く寄せられ、「これ以上男の人に対して幻滅したくない」「同じくその意見です！」など、概ね迎合する意見が見られたが、中には「風俗がなかったらレイプや痴漢が増える」と聞いた事があります」「素人に手を出すよりぜんぜんOK(^_-)です プロ相手だし浮気に入らないと思う(ゝ-ゝ)」などの反対意見も見れた。さて、あなたの見解は——？

【Sports Watch】“KK コンビ”に再び亀裂、週刊文春報じる

再び「KK コンビ」の友情に亀裂が入った——？

現在は現役を退いたものの、長年野球界を引っ張った「KK コンビ」こと、清原和博と桑田真澄。甲子園で苦楽をともにした戦友から、プロ入り後はライバルとして常に注目を集めてきた二人だが、9 日発売「週刊文春」(9 月 16 日号)によると、そんな両者に“和解”をモチーフとした CM が企画されるも、清原が断っていたというのだ。同誌によると、桑田がテレビ番組で、「あのドラフトは僕も被害者」と発言したことが清原の怒りを持ったというの

だが——。

1985年のドラフトでは、巨人入団を熱烈にアピールした清原に対し、巨人が1位指名をしたのは、当時、早稲田大学進学を表明した桑田だったことから、両者の関係は一瞬にして悪化。あれから二人は、巨人で共に戦う時期を過ごし、現役の晩年は清原がオリックス入り、桑田がメジャー挑戦を果たし、長い呪縛が解け、和解したものと思われていた。

【Sports Watch】北島康介、試合前のヘッドホン姿に、ある理由が——

11日深夜、日本テレビ「Going! Sports&News」では、先の競泳パンパシフィック選手権において、平泳ぎ100M、200M共に絶対的な強さをみせつけて優勝した北島康介が生出演した。

番組の冒頭から、MCの上田普也に「おしゃれですね。ファッションにこだわり、おありなんですよ？」と振られると、「いつも裸ですからね」と笑いを誘った北島。そのインタビューでは、拠点をアメリカに移したことを「そんなに大きな決断ではないですね。ただ、向こうに行ってみたいなって。海外で生活してみたいなと思ってました」とアッサリ答えた。

また、4月の日本選手権では本領発揮とならなかったが、現在の状態は、「その頃に比べたら」といいつつ、「万全で臨んだつもりはなかったです」と強気に回答。「(日本選手権で敗れた時も)今の力はこんなもんだらうなっていう感じで、周りが騒ぐだけで、自分の中では、まだこれから」と言い放つ。

事実、その4カ月後には結果を残した北島に、江川卓が気持ちの作り方を尋ねると、「僕の場合は自然体でいきました。全部結果を受け入れる余裕と。目標は高く、追い込めるときは追い込む」と語り、また、試合前のヘッドホン姿がお馴染みとなったことについては、「聴いている時と、聴いていない時があるんですよ。流していない時がある。話しかけられないように。集中しているんです。(聴く時は)洋楽多いですね」と明かしたのだった。

【Sports Watch】ドラフトの目玉・斎藤佑樹の苦悩

11日深夜、TBS「S1」では、10月に迫ったドラフトの目玉になるであろう早稲田大学・斎藤佑樹のインタビューを放送した。

ここ1年半、六大学野球のリーグ戦で優勝から遠ざかっている斎藤。「焦りは多少あります。優勝したいと思うよりも、自分のプレースタイルを貫くことが大事だと思います」と語るも、「3年生の時は、スピードを求めてしまったので、ちょっと足踏みしてしまった」と明かす。

また、去年のプロアマ交流戦では、スピードを気にするあまり、1回1失点という不本意な

成績に終わり、「プロで活躍できるかどうか。そういう声が多かった。しょうがないとは思いました」と振り返るのだった。

しかし、今夏の世界大学選手権では、全日本代表の優勝こそならなかったが、目指すべきピッチングの感触を得たようで、「スピードは全然出ていなかったんですけど、真っ直ぐで三振が取れた。やっぱりスピードじゃない。コントロールかなと思いました。変えようとしたのは、よりバッターの近くに投げる意識で。ボール一個分くらい」と語る斎藤であった。

【Sports Watch】泉浩と熱愛報道、末永遥「マスコミって恐ろしい」

12日、アテネ五輪柔道銀メダリストで、現在は総合格闘技イベント SRC を主戦場に活躍する泉浩が、女優・末永遥と交際していると一部メディアが報じた。

だが、翌13日、末永は自身のオフィシャルブログにおいて、「皆様へ…」と題し、「この度は、、"お騒がせ"してしまった事を深く反省しております。本当にすみませんでした m(__)m」と謝罪しながらも、「私自身、何故こんな感じになってしまったのか… 記事になるなんて意味不明。マスコミって恐ろしいです」とマスコミ批判を展開した。

その他にも、「皆様にはご心配・ご迷惑をおかけしてしまいましたが、とにかく私は今もこれからも好きな事・大好きな仕事を楽しんで一生懸命やっていくのみでございます ただそれだけ」と語り、泉の名前を含め、これ以上、具体的な記述はなく、肝心の熱愛報道については否定も肯定もせず——、ただ腑に落ちない謝罪投稿に終始した。

【Sports Watch】東原亜希、夫の金メダル「見たことない」

2008年、柔道家でシドニー五輪金メダリスト・井上康生と結婚したタレントの東原亜希。現在は第二子を妊娠中で、井上の海外研修の関係上、スコットランドに滞在しているが、日本に帰国中だ。

そんな東原が自身の公式ブログ『ひがしはらですが？』で意外な事実を明かした。それは、なんと、夫・井上の金メダルを見たことがないというものだった。

「うなぎ～」と題した16日更新のブログでは、「そういえばさ この前誰かに 金メダル見たことある？ って聞かれたんだけど… 聞かれて初めて気付いたんだけど……」と綴った東原は、「ない。よ。見たことないし 見たって思ったことなかった～」と語り、「どこにあるのか知らないし～ 本人も知らないだろうな～」とも——。

シドニー五輪が行われたのが10年前とはいえ、井上家では、メダルの所在すら不明のようだ。

【Sports Watch】興毅が成長アピール「10段階で言うたらまだ3か3,5」

プロボクサー・亀田興毅が、かねてから語っていた“30 歳で引退”という目指すべき現役のゴールを改めて宣言しながらも、18 日に更新した公式ブログ「今」の中では、「進化」と題し、自らの成長を高らかにアピールした。

「今現在、俺の体改造中。スパーリングも調子良いし、まだまだ進化の余地あり」と語る興毅は、「世界 2 階級制覇したけど、俺の体は 10 段階で言うたらまだ 3 か 3,5 ぐらい」と恐るべき自信をうかがわせる。

また、「俺は 30 歳まで現役でやるつもりやけど、普通の選手で終わるつもりない。俺はボクシングの歴史に偉大な選手として残るような選手に絶対になる」と宣言した興毅は、「3 月に初めて負けたけど、あれも俺の実力やろうけど、あの時の俺と今の俺やったら段違いの差がある。正直そんなにこだわりはないけど、あの選手ともう 1 回出来るんやったら、間違いなく勝てる」と続け、23 戦目で初黒星を喫したポンサクレック・ウォンジョンカムへのリベンジを誓った。

【Sports Watch】ゴール後のパフォーマンスで話題の日本代表・槇野、新ネタ明かす
先月、サンフレッチェ広島・槇野智章がゴール後に行ったパフォーマンスが大きな話題になっている。

ゴールを決めるや、槇野が魚釣りをするように釣り竿を持ち、餌を投げ入れるゼスチャーをすると、食い付いた魚（他の選手）が、リールを巻く動作に合わせ、グラウンドに寝転んだ状態から飛び跳ねるように近付いてくるというもの。

今月 7 日の代表戦でも、森本のゴール後、忍者パフォーマンスを試みたが、こちらは若干空回りした槇野に対し、日本テレビ「Going! Sports&News」（18 日深夜放送）が話を訊いた。

「まあ、でも最初ですし。これから沢山、僕も代表に呼ばれて、パフォーマンスができていければ」と前を向いた槇野。アイスランドのストヤルナン FC がネタ元だという“釣り”パフォーマンスに続く新作パフォーマンスについては、「オーケストラ」と明かした。

【Sports Watch】江川断言、阪神・平野のひたむきプレーに「優勝は阪神」
18 日現在、首位こそ中日ドラゴンズだが、阪神タイガース、読売ジャイアンツが 2.5 ゲーム差でひしめき合うプロ野球・セリーグ。優勝のチャンスはどのチームにもあり、その行方は予測不能だ。

そんな野球解説者泣かせの“混セ”について、18 日深夜放送の日本テレビ系スポーツ番組「Going!Sports&News」では、野球解説者の江川卓が「優勝は阪神」と断言したのだ。

だが、毎週変わる江川の予想に、MC の上田晋也も「総理大臣だったら支持率 2%くらい」と呆れ顔。それでも、江川は同日の巨人－阪神戦において、平野恵一内野手が犠打を 3 度失敗しながらも、最後はファインプレーで巨人の逆転を拒み勝利をもぎ取ったことから、「平野の集中がチームの集中力と思ってよい」と絶賛。それ以外にも、「阪神優勝」を予想した理由に「阪神は中日より残り試合が 7 試合多い」と述べた。

しかし、またしても、上田から「阪神は名古屋ドームに弱い」といったツッコミを受けると、「そこはちょっと心配」と、阪神優勝を断言したわりには弱腰に。19 日のデーゲーム（巨人－阪神）では、すでに巨人が 6－4 で勝利を挙げているわけだが、今夜の放送で江川は何と語るのか――。

【Sports Watch】日本代表・香川の小学校時代“他の子と比べたらずば抜けていた”

ドイツ・ブンデスリーガ 1 部の名門チーム＝ドルトムントの所属で、持ち味のドリブルを武器に、日本代表の未来を背負う一人、香川真司。11 日には、ブンデスリーガで初ゴールを決め、前日本代表監督・岡田武史氏も「香川に関しては、はじめて見て（見た時は）ビックリした」と語るほど。

18 日深夜放送の TBS「S1」では、平成生まれで小学生から本格的にサッカーを始めたという香川のルーツに迫った。

香川が小学生当時の監督で、現在はセンアーノ神戸 U-12 監督の大木氏は、「はじめて見たのは、小 4 の時の選抜の練習会やったんですけど、まあ、急にストップするときに体がずれなかったりとか、バランスですね。それは他の子と比べたらずば抜けていたと思います」と振り返る。

また、中学からは親元を離れ、宮城の学校へと通った香川は、1 対 1 の練習に一際力を入れる FC みやぎバルセロナに入り、その才能を一気に向上させたが、番組にコメントした当時のチームメイトは、「世間一般だと天才とか言われていますけど、自分達からみたら、チーム一の努力家で、コイツ以上に練習している奴はいないんじゃないかなっていう選手だった」と香川について語った。

【Sports Watch】桑田氏語る“イチロー君のヘッドスライディング見たことないでしょ？”

19 日、TBS のスポーツ番組「S1」では、恒例となっている桑田真澄氏の野球理論を紹介。これまでいわれてきた野球指導の定説を覆し、「無理にゴロの正面に入るな」「横を向いても体の正面で捕れば OK」「片手で捕れる球は片手で捕れ」といった守備面での注意や、走塁面に関しては、ヘッドスライディングはしない方がいいと強調した。

だが、番組が走塁を検証したところ、ベースを駆け抜けるより、ヘッドスライディングをし

た方が、4人中3人が一塁へと早く到達している。それでも、桑田氏は「昔はビデオやテレビを超スローとかで見れなかったのが、イメージだけで伝えてこられたんですよ」と前置きしつつ、「身体ができあがったプロ野球選手はやってもいいし、好きにすればいいんです。ビジネスですからね。でも、成長期にある子供達は毎年骨や関節が伸びてますよね。その段階でヘッドスライディングをすると、脱臼や骨折や突き指をするんです。なぜなら、世界の盗塁王・福本さん、今でいうイチロー君。ヘッドスライディング見たことないでしょ？」と訴えた。

また、これを裏付けるように VTR で登場した西武・片岡易之は、「ヘッドスライディングをして、ケガをした記憶もあるので、それからはあまりしていないですね。肩を脱臼したりとか、大きなケガが多くなってしまうので、僕はなるべく足でスライディングをした方がいいと思います」と答えている。

【Sports Watch】キム・ヨナにストーカー問題!? 練習拠点変更の理由とは？

持ちあがっては消えていく引退説や、コーチ&練習拠点の変更など、バンクーバー五輪で金メダリストを獲得した韓国フィギュア界の女王＝キム・ヨナの動向が慌ただしい。

そんな折、21日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（9.30号）では、『キム・ヨナ「引退報道」の裏にあったストーカー被害 練習場に押しかけ「会わせろ」と迫り…』という見出しで、ヨナのゴタゴタの裏にストーカー問題があったと伝えている。

オーサー元コーチとの決別騒動後、米ロサンゼルスに拠点を移したことが引退の憶測を呼んだとされるヨナだが、同誌にコメントを寄せる韓国スポーツ記者は、「それまで練習の拠点としていたカナダのトロント時代は、ストーカーに悩まされていたんです。『彼女に会うためなら何でもする』なんてメールが届き、たびたび練習場にも押しかけていた。そのストーカーと思しき 10 代のカナダ人少年の写真が練習場リンクの入り口に貼られるほどでした。さらにこのストーカーは、自分がストーカー扱いされていると知ると今度は、偽名で手紙を送りつけてきたとか。とにかく何をしでかすかわからないと、関係者もピリピリしていた。しかし、09 年の世界選手権で優勝し、名誉市民賞を贈られているロサンゼルスであれば、ストーカーに対する処罰が厳しく、法的処置も期待できるので、より安全という判断も働いたと見られます」というのだ。

また、同記事では、「ここ（ロス）はフィギュアが盛んで、夏場でもアイスショーが開催されます」と紹介しており、引退後の収入源にも申し分なく、その他にも、「一部では、ロスに恋人もいるという話も流れていますね」といった噂もあるとか。ヨナの去就はいかに――？

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】ファンが選ぶキャッチャー・ベスト5とは？

24日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、「伝説のキャッチャーランキング」として、ファン100名が選んだキャッチャーベスト5が紹介された。

結果、5位には長きに渡って巨人を支えた山倉和博氏、4位にはホームランバッターとしてファンを魅了しつつ、阪神時代には江夏豊と黄金バッテリーを組んだ田淵幸一氏、3位には常勝西武時代の主力メンバーで、捕手としては歴代3位となる2327試合に出場した伊東勤氏がそれぞれライクインを果たした。

また、2位には「今のキャッチャーの配球を明確にしたのは彼」とファンがコメントを寄せる、戦後初の三冠王・野村克也が入り、1位には「コンスタントに3割打って、打撃力もある」「キャッチャーとしてのセンス」「ヤクルトの黄金時代を作った一番の立役者」として、古田敦也氏が選ばれた。

その一方、スタジオでは、ゲスト解説のチュートリアル・徳井義実が、元広島カープ・達川光男氏を挙げ、「3枚目な感じなんですけど、たまにカッコいいな達川さんっていう時があるんですよ。それがたまらない。人間味溢れるキャッチャー」と紹介した。

【Sports Watch】大毅防衛成功も、内藤は「僕はWBCだしな」

25日、東京ビッグサイトで行われたWBAフライ級王座12回戦は、王者・亀田大毅が挑戦者の坂田健史を判定3-0で下し、王座初防衛に成功した。

同日、TBSでは「秋の2大格闘技祭り!!」として、日本人同士の世界戦を中継、そのゲスト解説には元WBC世界フライ級王者・内藤大助が務めた。

試合後、コメントを求められた内藤は、「う〜ん、いい試合でしたね。大毅選手、すごい、すごいテクニックすごくなったなと思いました。いい試合でした」と独特の口調で感想を述べると、アナウンサーからは「タイトルマッチを見て、心にも火がついたんじゃないですか？」と訊かれる。

すると「ははは。どうかしら？」と濁した内藤は、「もしかしたら、大毅選手との再戦もあるのかもしれませんが」とアナウンサーが続けるや、無言になってしまう。それでも、アナウンサーが「その辺は、ノーコメントでしょうか？」と食い下がると、「あ、僕、そうね、今のところ。だって、WBAだしさ。うふふ、またちょっと違うからね。僕はWBCだしな」と苦笑いをする内藤だった。

【Sports Watch】魔裟斗“視聴者の人達も、大毅君変わったなって思ってる”

WBA フライ級王座 12 回戦＝王者・亀田大毅×挑戦者・坂田健史の一戦が、25 日に東京ビッグサイトで行われた。試合は大毅が判定 3-0 で勝利し、初防衛に成功した。

その夜、TBS「S1」には、亀田大毅がゲストで出演。「12 ラウンド戦った割には元気な方かな」という大毅は、「でも、強くなってますね。進化してますね」と感心する魔裟斗に「いやいやいや」と謙遜してみせた。

また、魔裟斗が「視聴者の人達も、大毅君変わったなって思ってると思いますよ」といえば、大毅は「どうなんすかね」と照れ笑い。

試合を振り返ると、「これが普通のジャブじゃないんですよ。（拳を縦にして）俺の手、こうなんですよ。縦拳。空手に似ているんですよ。（左フックは）得意パンチですから、有効に使っていかなあかんし、そこから右って繋げたかったんですけど」と説明しつつも、「（パンチは）手ごたえありましたけど、倒れないですからね。やっぱり、マジで倒れるんじゃないかなって思ったけど、倒れへんな。執念あるなって」と、坂田を称えたのだった。

【Sports Watch】宮崎大輔に、妻は“朝まで遊んで。スポーツ選手ですよ”

26 日放送、日本テレビ「行列のできる法律相談所」では、人気コーナー「気の毒な夫決定戦」が行われ、ハンドボールの宮崎大輔が出演した。

飲み会で出会ったという宮崎の妻＝いづみさんは、結婚当初、料理もできず、酔うと性格が変わり、また、女性からのメールを見つけようものなら、3 時間以上も冷静かつ淡々と問い詰められるという。その他にも、宮崎が女性と飲む時に限って、電話を掛けてくる恐るべき嗅覚を持ち、その翌日は、朝食&昼食抜き、夕食は御飯と味噌汁とキムチだけだという。

宮崎は「もう 6 年です。キツイっすね。付き合いで行くこともあるじゃないですか？嫁の言い分は“そういうのに行って何故電話番号教えなきゃいけないの？”って。事情聴取みたいのがあるんですよ」と愚痴をこぼしたが、番組の後半、本人にはサプライズでいづみさんがスタジオに登場すると、「自分のことを棚に上げ過ぎ。付き合いって言ってるじゃないですか。でも、3 割付き合いで 7 割遊びなんです」と言い返す。

これに対し、「まあ、キャバクラとかあるけど、お付き合いだと思うんで。そういう付き合いも、ちょっとあるし。悪いことは悪いで置いておいて」と、しどろもどろになってしまった宮崎だが、なんとか「信頼して下さい、僕を。愛してるなら」とカッコよく決めてみせた。

しかし、いづみさんはこれをよしとせず、「朝まで遊んで。スポーツ選手ですよ。月に一回

じゃない。週に3回とか。(でも、自分が遊びに行くのは)ダメなんですよ」と、ここでも冷静に反論。宮崎は「僕らは何があっても戦えるんですけど、女性は戦えない部分があるので、そこが心配」とフォローを入れたが、島田紳助からは「週3回、4回、家を空けて心配ちゃうの?」と真っ当なツッコミが入る。すると、宮崎は「(自宅の)セキュリティ、ちゃんとして……」と、まさに自分のことを棚に上げ、爆笑を誘った。

【Sports Watch】石井慧、女子大生との電撃婚も新婚の実態は?

25日、名古屋で開催されたDREAMに出場し、総合格闘家として国内2戦目に臨んだ元柔道家・石井慧。試合はベテランのミノワマンを相手に落ち着いた試合運びで判定勝ちを収めた。

今春には、4歳年下の現役女子大学生、美香さんと入籍したことで話題になった石井。だが、その新婚生活は戦々恐々とするものであることが分かった。26日放送、日本テレビ「行列のできる法律相談所」の人気コーナー、「気の毒な夫決定戦」に出演した石井は、その恐妻家ぶりを語った。

トレーニングでロサンゼルスに行った際、石井が浮気をしていると勘違いした美香さんは、食器を壁に叩きつけ続けるという暴挙に――。また、車内でケンカになるとホットの缶コーヒーをかけたり、石井の愛車にジャムの瓶を投げつけるなど(これは石井が身を呈して防いだという)、石井も「言ったら物が飛んでくるから、それが怖くて、最近言えない」と語るほど。

さらに、石井は「グラビアアイドルと写真撮って貰った。それを何気なく見ていたら、後から見られたんです。その時もたいがいヤバかった。暴れ出しました。クーラーが3台あるんですけど、リモコンは1台しかない。2台壊しちゃったんですよ。投げて」と明かした。

だが、電話のインタビューに登場した美香さんは、「彼が現地での生活を全然教えてくれないので、それが不安の原因。メールは結構毎日寝る前にしてくれるんですけど、しょうもない内容ばかり。彼からも一切(電話は)かかってこない。多分練習に一生懸命な方なので、私の存在っていうのはない。(食器を投げたのは)彼の方が口が上手なので、手で投げるこゝとしかできない。彼自身は基本いつも嘘ばかり、あんまり信用できない」と反論。とても新婚とは思えない石井夫妻の実態が明らかになった。

【Sports Watch】浅草ペアの解散報道、“草野の不満はこの日に始まった話ではない”

19日、ビーチバレーの浅尾美和&草野歩の“浅草ペア”に亀裂が入った。

敗者復活2回戦に登場するも、無名の中村&岩名組にストレート負け。草野は解散をチラつかせる発言を行い、周囲に緊張が走った。その後は、話し合いが行われ、25日の5位決

定戦（同じく敗者復活戦から進出）で敗れはしたものの、関係修復には成功したとされるが、実際のところはどうだろうか――。

28日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（10.7号）では、『解散危機報道で漏れたコンビ選手「呆れ肉声」』と題し、その内幕を伝えた。

同誌にコメントを寄せたスポーツ紙記者は「ストレートな言動の草野に対し、浅尾はいつも一線引いてしまう。今回は特に浅尾のミスが多かったことで、草野のフラストレーションが爆発したようです」というのだが、あるスポーツライターは「実は、草野の不満はこの日に始まった話ではない」として、「以前、草野は浅尾について『彼女はスターだから、ホメ殺すしかない』という意味のことを話していました。が、草野のほうが技術力が高い分、浅尾のミスが目についてイライラしてしまう。そのピリピリ感に浅尾はよけい委縮してしまう。さらに草野も『こんなはずじゃない』と、みずからの調子まで落としている状況です」と語っている。

同誌のレポートでは、「人気がありすぎて、実力が追いつかないというのが実情でしょう」という前出・スポーツライターのコメントにもある通り、すぐに解決する問題でもないため、“浅草ペア”の関係には今後も注視する必要があるようだ。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】中日・落合監督「下手なヤツは練習しなきゃ」

2日、広島×阪神戦において、阪神の敗戦が決定した瞬間、中日が4年ぶりのリーグ優勝を果たした。

同夜、日本テレビ「NEWS ZERO」には、落合博満監督が生出演。野球評論家・長嶋一茂氏がインタビューを行った。

「(ライバルは) 5 チームですよ。結局、ヤクルトには負け越した。でも、最終的に(ゲームが) 残ったのはヤクルトでしょ。一番難しい戦いだった。今日決まってくれて、よかった。明日恐らく負けるよ」とおどけてみせた落合監督。

ビールかけでは、一年間禁酒していたことを明かしたが、その理由を「去年の負けがよっぽど悔しかった。12 ゲームでしょ。でも、去年と今年勝ってる数が一緒なんだよ。79 勝で。何かしなきゃ勝てないだろうって、一番いいのは酒やめる」と語った。

また、長嶋氏から名古屋ドームで 51 勝を挙げていることに触れられると、「狭い球場ってバッティング雑になるでしょ。広い球場って、しっかり打たなきゃ入らない。でも、その感覚でここ（名古屋ドーム）にきちゃうから。“あっ、いった”ってヤツはここは入らない。恐らく雑になるでしょ。どっちみち、うちはホームラン打てないんだから。だから鉄板野球になっちゃう。“なんだ面白くねえな。初回から送りバントかよ”と。でも、そういうゲーム運びをしないとここでは勝てない」と持論を展開した落合監督は、「野手で今年一年間で休んだの、オールスター休み二日間だけだから。あとは休ませてないから。下手なチーム、野球休んだら、もっと置いていかれる。下手なヤツは練習しなきゃ」と続けるのだった。

【Sports Watch】ノムさん、楽天監督復帰は「まずないですな」

3 日、TBS のスポーツ番組「S1」では、昨シーズン、東北楽天ゴールデンイーグルスで監督を務めた野村克也氏が出演。「ノムさんのボヤキ部屋」というコーナーで代名詞となった“ボヤキ”を復活させた。

コーナーの冒頭、MC の魔裟斗から「監督復帰ってことはあるんですか？」と訊かれるや、「あるよ」と即答した野村監督は「どこだろうね。リトルリーグじゃない」とおどけてみせる。

だが、「楽天というお話は？」との質問が飛ぶと「まずないですな」と答え、楽天の監督に桑田氏の名前が挙がったことについては、「ないことはないでしょう。彼にとっては 100% 即答で OK 出します」と言い切った。

また、現時点でのオファーには「全然（ない）。（オファーの電話は）それくらいの度胸があるならきてみろ」と語りつつ、監督の資質を訊かれれば、「まあ、それは一言では難しいけど、『信は万物の基を成す』というくらいだから、信頼・信用っていうのが一番になる。一言でいえば、そうなるでしょうね。選手と監督の信頼関係。それがなけりゃ何をやっても」と語った。

そして、コーナーの最後、武田修宏から「今、現時点のオファーは？」と改めて尋ねられると、「ない」とキッパリ否定する野村監督であった。

【Sports Watch】ドルトムント・香川、カズからのメッセージに興奮

3 日、TBS「S1」番組内では、ドイツ・ブンデスリーガー一部のドルトムントで活躍する香川真司に密着した様子を放送した。

遠く離れた地で孤独な戦いを続ける香川。「運転は好きですね。ドライブとか、リフレッシュになるというか、音楽を聴きながら」と語る移動中の車内では、B'z の『いつかのメリークリスマス』を流し、「冬だったら、『いつかのメリークリスマス』とか季節を実感します。

歌を聴きながら。ああもう秋なんかな、とか」と明かす。

また、番組は香川が憧れる三浦知良のメッセージをプレゼント。VTR で登場したカズは、「香川選手のプレーは笑顔の出るようなプレーが多いんで特に変える必要ない。自分のプレーが出来ていると思いますので。大きな壁っていうのは常にあると思いますけど、今の気持ちを忘れずに、充実感を持って楽しんで、サッカーをエンジョイしてほしい」とエールを送る。

これには、「ビックリした。本当にビックリした。予想外ですよ」と興奮する香川だったが、置かれている現実には、「(地元の新聞等も) 読めないですからね。特にこっちにきて、(一喜一憂) してる暇がない。試合もすぐくるし、結果残さないと代えられるんで。若い、いい選手いっぱいいるんで。いかに自分を保てるか」と引き締める。

それでも、「自分の色んな刺激、色んなことにチャレンジしていく人生だと思っているんで、色んな壁だったり、刺激っていうのは、自分を成長させてくれる」と貪欲な香川は、「(メンタルは) 強いのか、弱いのか分からないですけど、ここで生活して、自分を高めるって決めた以上は、言葉だったり、色んな壁がありますけど、そこを乗り越えて強くなると思っているんで。それは自分が決めたことなんで。楽しくやってます」と前を向いた。

【Sports Watch】吉田、シウバ戦振り返り「殴られたらプチンとキレた」

日本テレビ「心ゆさぶれ! 先輩 ROCK YOU」(2 日放送) には、バルセロナ五輪柔道金メダリストで、今年 4 月に総合格闘家を引退した吉田秀彦が出演した。

「みんな、そうだと思うんだけど、(金メダルを) 獲った瞬間って、実感ってないんですよ。それが成田空港を降りた途端にぶわーって報道陣がいて、カメラがくるの。“すげー”って思いましたね」と、バルセロナ五輪時を振り返った吉田。加藤浩次が「でもね、柔道って金メダル獲って当たり前の空気って、日本にあるじゃないですか? それ、めちゃめちゃプレッシャーじゃないですか?」と尋ねるや、「みんな、金メダルしか頭にない。(獲得したら) ホッとします。当時は古賀さんと柔道金メダル獲って、同じ部屋だったんだけど、“これで日本に帰れるな”って」と明かした。

その後は、愛娘にデレデレの父親ぶりを披露した吉田だったが、格闘技に話題になると、「(柔道とは) 全く違います。使う筋肉も違うんで。柔道は引くじゃないですか。打撃は打つじゃないですか。背中が筋肉痛になっちゃって」と語りつつ、「負けず嫌い。だから、シウバとやった時も、とりあえず一発殴られてみようと思って殴られたらプチンとキレて、みんな、セコンドも“組め”とか“タックルいけ”とかいうんですけど、僕は殴られてプチンときるから、“この野郎”と思っていつちゃうから、それがあまりよくなかったですね」と苦笑い

を浮かべた。

・海外格闘技情報サイト「MMAPLANET」

・日本格闘技列島「FIGHTISLANDS」

【Sports Watch】石川遼のガッツポーズ 「誰にも話していないんですけど」

日本テレビ「Going! Sports & News」(2日深夜放送分)番組内、「everyone Going!」のコーナーには、プロゴルファー・石川遼が登場した。

先のパナソニックオープンでホールインワンを決めた石川。「打った瞬間に砂埃がすごくて、目に入っちゃったんですよ。うわ、よく見えないと思ったら入ってて、全部あれ自分の素だったんで恥ずかしかったんですけど、あれから(サムアップのガッツポーズが)クセになっちゃった」と苦笑い。

さらには、自ら「忘れられないガッツポーズ」というクイズを出題、その回答を、2009年8月のサン・クロレクラシックで決めた、一回転式ガッツポーズとするや、その理由を「(カップに)入った瞬間に頭が真っ白になっちゃいまして、見た景色がスコアボードじゃなくて、ギャラリーもいなかったんですね。気付いたら(ギャラリーの方に)回転してました。これ、本当の話で誰にも話していないんですけど。だから、すごい(ガッツポーズが)振じれてる」と明かしつつ、「ガッツポーズをするということは、それだけ自分自身が燃えている証明なので、一回でも多くガッツポーズができればいい」と語った。

【Sports Watch】フジのK-1中継時、アダルトグッズの名称が画面に!?

7月10日、豪州のキャンベラ・ナショナルコンベンションセンターで開催されたK-1オセアニアGPにおいて、3試合を全て1ラウンドのKOで勝利し、K-1のトーナメント戦最短記録を樹立して優勝したオーストラリアの新鋭、26歳のベン・エドワーズ。

今月2日に行われた「K-1 WORLD GP FINAL16」ベスト8入りをかけた戦いでは、アリスト・オーフレイムを相手に3度のダウンを喫して敗れたが、同日フジテレビで放送された試合では、そんなエドワーズのトランクスにプリントされた、あるアダルトグッズの名称が目立った。

同グッズを取り扱うメーカーの公式サイトでも、「K-1開幕戦でベン・エドワーズ選手に協賛いたします」というニュースが記載され、「試合はスカパーで生放送され、その日の夜のフジテレビの番組でも放送されます」と告知されている。

あくまでも選手個人への協賛とのことだが、例えば、米総合格闘技イベント＝UFCでは、選手のトランクスにプリントされるロゴやネームは、事前にチェックされることでも知ら

れている。K-1 ではそのような検閲機能はなかったのか——、エドワーズのトランクスを通じ、地上波のプライムタイムで「〇〇〇〇〇」の文字が躍る珍事となった（アリスターに敗れたエドワーズの試合写真はコチラ）。

■関連リンク

・【K-1 WGP】アリスターは強かった!!

【Sports Watch】大手飲料メーカーが繰り広げる“遼君争奪戦”とは？

先月 25 日、パナソニックオープン二日目でホールインワンを決め、2 年連続の賞金王 & 3 年連続の獲得賞金 1 億円超えを狙う石川遼だが、その人気を巡って、“ある”攻防戦が繰り広げられているという。

5 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（10.14 号）、「NEWS SHOT!」のコーナーでは、「石川遼『ビール CM 争奪戦』が激化！『契約料+冠大会開催で年間 5 億が動く』」と題し、現在 19 歳の石川が来年のアルコール解禁を見据え、大手飲料メーカーがアプローチをかけている様子を伝えた。

キリン、アサヒ、サントリー、サッポロと主要 4 社が“遼君争奪戦”をはじめているという同誌にコメントするゴルフ誌編集者は、「各社とも上層部が『契約を取れ!』と厳命し、担当者が父・勝美氏にアポ取りをして口説いています」と語っている。

だが、日本プロゴルフ協会関係者は、「いわゆる札束攻勢、接待などはありませんし、勝美さんもそういうものには応じない。希望は、試合をやってほしいということ」と話しており、「1 試合開催するのに 3 億~4 億円はかかる。CM 出演料込みのスポンサー契約料は恐らく、年間 1 億円程度。それプラス、各社とも資金が苦しい中、試合を開催できるかどうか」と続ける。

それでも、前出・ゴルフ担当記者は、「遼君は『20 歳になっても酒は飲まない』と言っていますし、酒もタバコも興味がないようです」と語っており、そのハードルはなかなか高い様子だ。来年 9 月に迎える誕生日までに、遼君をゲットできるのは、一体どのメーカーなのか。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】ドラフト最注目・斎藤佑樹、苦悩の日々とは？

今年のドラフト最大の目玉となる早大・斎藤佑樹。今月 4 日には、リーグ史上 6 人目の 30

勝&300 奪三振を達成して話題になったが、その快挙の裏には、自身が「もうダメ」と語るほどの苦悩があった。

3 日深夜放送、テレビ朝日のスポーツ番組「Get Sports」では、野球解説者の栗山英樹が聞き手となり、斎藤のインタビューが放送された。

「4 年生になって、すごい野球が楽しい。すごい投げて楽しい感覚がある」と語る斎藤だが、大学進学以降は、速い球を投げたいという思いから、ウエイトトレーニングを重点的にを行い、結果、バランスを崩して一時は成績も低迷した。

当時を振り返り、「腕の角度とか、すごい苦しんで。(腕が) 上がってこない。身体が斜めになった。(中略) スライダーで苦しみました。(ボールが) 抜けたり、横曲がりになったりして、真っ直ぐが生きてこない。プラス、スライダーでも三振が取れない」と苦悩した様子を吐露した。

しかし、今年 8 月に行われた世界大学野球選手権大会のアメリカ戦で、初回到満塁ホームランを打たれ、敗戦投手にはなったものの、後続をしっかり抑えたことで手応えを感じていたという斎藤。その後は、スピードへのこだわり捨て、コントロールを重視、投球フォームもスリークォーターに変更した。

「(違う一步を) もう踏み出していますね。基本的には、自分の納得いくところにボールがいつてる。楽しいです」と笑顔をみせた元“ハンカチ王子”は、「プロになってその選択が正しかったか分かる」と自信を漲らせた。

【Sports Watch】大沢親分死去、星野氏「win-win の関係のトレードをして貰った」
7 日、“親分”の愛称でプロ野球界のご意見番的存在だった大沢啓二さんが、胆のうがんのため、78 歳で亡くなった。

当日夜、日本テレビ「NEWS ZERO」では、楽天の新監督候補に挙がっている星野仙一氏が、大沢さんについて、以下のようにコメントを寄せたのだった。

「一言でいえば、もの凄い義理人情に厚いといえますかね、鶴岡監督のもとで育ったもんですから、そういう教育をされていまして。それをずっと貰った人。私が監督時代にトレードをしたことがあるんですけど、とにかく国益じゃないんですが、チーム益。プロ野球界の利益になる、win-win の関係のトレードをして貰ったことがあるんですけど。長い間、監督やりましたよね。長い間、監督やられた人は、プロ野球界のことを本当に考えてまして、勉強もしてました。表面のことばかり、皆さん、勇ましいとかありましたけど、本当に浪花節的

な日本人が失ったものもずっと持ち続けた人ですね」

【Sports Watch】楽天新監督候補・星野氏、現在の心境は？

7日夜、日本テレビ「NEWS ZERO」では、楽天の新監督候補に挙がっている星野仙一氏が生出演。気になる自身の去就を語った。

オファーについて、「まだきてないです。これはもう本当に間違いないです。報道みると、皆きているようにいいますが、まだ正式にはきてないです」という星野氏。「この世界はオファーがくれば、一度は席につかなければいけないというルールがあるんですよ。マナーです」と続け、交渉の席にはつくことを明言した。

さらに、「条件が合えば、監督を受ける気持ちはあるか？」と訊かれれば、「それは難しい質問だね。やっぱり、仮にというところが引っ掛かるんですけど、今は阪神がクライマックスシリーズがありますからね。そういうことは、まだまだ答えるべきじゃないというのが私の考え」と阪神への義理を通したが、鈴木崇司キャスターが「まずは阪神のシニアディレクターとしての仕事を・・・」と言いかけると、「まあ、何もやってませんが。一応は」と苦笑いを浮かべつつ、監督を受ける決め手は「自分にやる気があるかないか。(中略)チャンスがあったらユニフォームを、というのは野球人としての習性ですよ」とまんざらでもない様子をうかがわせた。

【Sports Watch】ノムさん、楽天新監督に「なんで星野なの」

9日深夜、TBSのスポーツ番組「S1」では、元東北楽天ゴールデンイーグルス監督・野村克也氏が出演。「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーで、楽天新監督に噂される星野仙一氏を一刀両断した。

「今日はボヤくよ」と前置きした野村氏は、「来年から楽天監督を賑わしている、なんで星野なの。代表の談話を聞くと、ほぼ決まりだね」とボヤいた。

「星野さんになったら、楽天を立て直せると思いますか？」という質問には、一瞬黙ってしまった野村氏だが、「監督のタイプが私とは正反対だから。まあ、(星野は)ピッチャーだし、私はキャッチャーだし。彼は優勝候補のチームをやると力を発揮するでしょうけど、チーム作りとなるとどうかな。まだ、チーム作りの過程にあるから」という見解。

さらには、「まず選手が戸惑うでしょうね。怖くて。僕の怖さとは違う。まあ、どうですかね。鉄拳制裁で引っ張っていく監督ですから、一番の被害になるのは、キャッチャーの嶋でしょう」と持論を展開する野村氏であった。

【Sports Watch】ザック・ジャパンは「ニュータイプのような世代」

8日、埼玉スタジアムでは、ザッケローニ日本代表監督の初陣となる、対アルゼンチン戦が

行われ、大方の予想に反し、日本が 1-0 で勝利。強豪国を相手に大金星をゲットした。

9 日放送、TBS「情報 7days ニュースキャスター」でも、その様子を伝え、W 杯時の岡田ジャパンの平均年齢=27.8 歳に対し、今回のザック・ジャパンが 25 歳であることを紹介した。

この事実について、サッカー解説者の小倉隆史氏は、「ニュータイプというような世代」と表現すると、「平成生まれという部分では、当たり前のように小さい頃から J リーグがあった。そして、J リーグから海外で活躍している選手も、目の前で見れる。プレーも、格段にレベルアップしていることは間違いないですね」と新世代の台頭著しい日本サッカー界の背景を分析した。

【Sports Watch】ザック・ジャパン、対韓国戦に「一人一人が判断を間違えていない」その初陣では、強豪アルゼンチン代表を下して、上々のスタートを切ったサッカー日本代表=ザック・ジャパン。12 日に行われた韓国代表とのライバル対決ではスコアレスドローとなるも、完全アウェーのゲームでも気遅れすることなく、確かな成長を見せた。

フジテレビ「すぽると！」(12 日深夜放送)では、そんなザック・ジャパン第 2 戦のポイントを、サッカー解説者・風間八宏氏が解説した。

「集中力と判断の早さ」と「バランス」。この 2 点をポイントに挙げた風間氏は、「コンパクトサッカーを出来ている証。一人一人が判断を間違えていない。素晴らしい」と絶賛する。

また、「韓国に押し込まれる時間帯もあったものの、一人一人の迷いがなく連動出来て、ぶれなかった」と続け、後半序盤に韓国の猛攻を受けながらも、無失点で切り抜けたチームを評価。「バランス」については、「攻守が切り離されているのではなく、チームが一緒になって大きな波を起こす事」と説明した。

これで、年内の代表戦は終了し、来年 1 月には初の公式戦となるアジア杯を迎えるザック・ジャパン。それぞれワントップで起用された前田や森本が無得点で終わるなど、決定力不足等の課題が改善されるには、時間もかかるだろう。それでも、かつてない期待感に満ち溢れた代表チームであることは間違いなさそうだ。

【Sports Watch】負傷退場の川島「やっぱり代表は特別な場所」8 日、強豪アルゼンチン代表を 1-0 で破り、幸先よいスタートを切ったサッカー日本代表=ザック・ジャパン。だが、残り試合タイムも 10 分を切ったところで、ここまで好セーブを連発してきた川島永嗣が負傷により、途中交代するアクシデントが発生した。

しかし、その翌日、川島は自身の公式ブログ「Life is beautiful」において、症状を明かしている。「新監督の下、いいスタートを切れてホントに良かったです!!」と切り出した川島は、自身の負傷について、「試合の最後にボールを蹴った時に、右足の内転筋を少し痛めてしまって、終了のホイッスルを聞くことができなかったのも、最後は何だか中途半端な気持ちになってしまいましたが…（笑）」と説明した。

さらに、「症状は軽いながらさすがに韓国戦には間に合わなそう」という川島は、「昨日の勝利や今日チームを離れることが決まった時の気持ち。やっぱり代表は自分にとって特別な場所なんだと改めて実感させられます」と語り、早期復活を誓っている。

【Sports Watch】ノムさん、日本人選手のメジャー挑戦に「本当はお金ですよ」

16日深夜、TBSのスポーツ番組「S1」に元東北楽天ゴールデンイーグルス監督・野村克也氏が出演。恒例となった「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーでは、メジャー挑戦をぶちあげる日本選手に苦言を呈した。

開口一番、「どいつもこいつもメジャー、メジャーってアメリカ行っちゃうけど、日本のプロ野球はどうなんなんだ」という野村氏は、「一流選手って簡単には出ないでしょ。それが行っちゃうから。日本の野球レベルは下がるし、一流が一流を育てるので、一流の選手は育たなくなるし、コミッショナーなにやってるの?」と怒り心頭の様だ。

また、「ある程度、(本人の)わがままで行くわけだから。帰ってきて、堂々と日本で野球やってるじゃないですか?なんなんだ、お金ですかね」と嫌味を述べた野村氏。番組MCの魔裟斗が、「もし、野村監督にヤンキースから10億円できてくれって言われたら?」と尋ねると、野村氏は「いかない」とキッパリ。「僕はね、いずれは、真のワールドシリーズをやってほしい。メジャーのチャンピオンと日本のチャンピオンが戦う、そういう時代がきていいと思うんですよ。そうすると、あんまり選手はメジャーに憧れはしないだろうと思うんだけど」と持論を展開しつつも、その最後は、「“自分の腕を一番高いレベルで試したい”なんて、カッコいいこと言ってるけど、本当はお金ですよ」と言い放った。

【Sports Watch】遠藤、ザッケローニ監督は「イタリアにも勝てるって言ってました」

今月、強豪アルゼンチン代表を下して、その初陣を飾ったサッカー日本代表＝ザック・ジャパン。12日には、完全アウェーの韓国戦でも、押し気味に試合を進め、スコアレスドローながらも上々の内容で終えた。

そんな日本代表の成長について、16日深夜放送、TBS「S-1」は、帰国後の日本代表・遠藤保仁を直撃。ショートインタビューの模様を放送した。

「(ザッケローニ監督は) イタリアにも勝てるって言ってましたし、アルゼンチンにも勝て

るって言うてましたし、韓国くらいの相手なら、みんな平気でやってますし。そこが成長したところかなと思いますし」と、独特の語り口調で話す遠藤、その最後には「見てて、ワクワクするようなね。よりいいチームに成長していきたいなとは思いますが」と言葉少なげに意気込んだ。

【Sports Watch】谷亮子氏の柔道引退に、テリー伊藤“彼女は逃げた”

今月 15 日、柔道女子 48 キロ級で 2 度金メダルを獲得し、現在は参院議員の谷亮子氏が、議員活動専念を理由に現役引退を発表した。

17 日、TBS「サンデー・ジャポン」では、賛否を呼ぶ谷氏の柔道現役引退に、番組コメンテーターのテリー伊藤氏が苦言を呈した。

「中途半端な記者会見だったね。何かダメだったかっていうと、苦しくて辞めた訳じゃないですか、最後はね。あそこまで実績のある方だったら、例えば、王さんだったら、“王貞治のバッティングができなかった”っていう、ちゃんとしたことを言わないで、“次は国政です”って。大切なことを彼女はしゃべらなかったですよ」と言い放ったテリー氏。

その後も、「スポーツ選手が体力なくなってきた時に、どういう生き様を見せるか。どういうものの考え方をするかってことが一番大切なのを、彼女はそこを逃げたんだよね。なんで、あんな中途半端な会見すんのかなって」と怒り心頭の様子だった。

【Sports Watch】ザック・ジャパン好発進の裏側で、本田の“ヒデ化”が火種に!?

今月 8 日、強豪アルゼンチン代表を下した、サッカー日本代表＝ザック・ジャパン。12 日には、完全アウェーの韓国戦でも、押し気味に試合を進め、スコアレスドローながらも、日本中のサッカーファンに期待を抱かせる上々の初陣となった。

だが、その裏には、ザック・ジャパンを揺るがす、新たな火種があるという。19 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（10.28 号）の『NEWS SHOT!』のコーナーでは、『ザックジャパン「好発進」の裏に新火種 本田圭佑「ヒデ化」に大ブーイング!』なるレポートが掲載された。

同誌には、サッカージャーナリスト・後藤健生氏による、「ザッケローニ監督は南アW杯 16 強の土台をもとにチームを作っている。トルシエもジーコもオシムもそうですが、過去の代表監督は独自色を押し出し、前任者からの継続性がなかった。やっと世界基準になった」というコメントが寄せられているものの、その一方では、対極の意見もあるようだ。

W杯・デンマーク戦の FK 以降、17 日のテレク戦で今季リーグ戦 3 点目を決めるまで、実に公式戦 17 試合で無得点だった本田圭佑に対し、同じく同誌にコメントするスポーツ氏記

者は、「最近の本田はほとんど報道陣にしゃべりません。南アの時は『大会に集中したい』という説明がありましたが、今回の代表 2 戦ではテレビ局のインタビューに 2 回答ただけで、それ以外は記者たちの前を素通りでしたよ。香川の台頭や移籍のことでナーバスになっているうえ、所属事務所の意向が影響していると言われますが、今の行動パターンはまるで以前の（中田）ヒデのようです」と語っている。

本田の“ヒデ化”は吉と出るか、凶と出るか——、心配の種は尽きない。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】ダルビッシュ残留表明も、ロッテファンに「申し訳ない」

来季はポストイングシステムを利用したメジャー挑戦が噂されていた、北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有が、19 日に自身のブログで去就を名言。「来年は… 北海道日本ハムファイターズのユニフォーム着ていますよ(^^)」と書くや、翌日のスポーツ紙には大きく取り上げられ、同ブログにも、20 日現在 4000 件を超えるコメントが寄せられている。

また、自身のツイッターでもファンのコメントに返信するダルビッシュ。「自身の発言の影響度を考えて」という記述には、「残留って普通やから影響もなにもないと思うけど」と述べ、ダルビッシュが残留を発表したことで、ロッテの CS 制覇を差し置き、自らがスポーツメディアのトップを飾ってしまったことには、(ロッテファンに)「申し訳ない」とリツイートしている。

【Sports Watch】星野氏、楽天監督は“大筋合意”「早ければ明日以降」

21 日、日本テレビ「NEWS ZERO」には、東北楽天ゴールデンイーグルスの新監督として就任間近の星野仙一氏が生出演を果たした。

「(燃えるものは) 退団会見もしましたし、きっちりと身の処し方を決めましたら、テンション上がってきたかなっていう気はしますね」という星野氏。「(監督になるという気持ちは) やっぱり、そういう気持ちになりつつありますし、なってますね。正直いいまして」と興奮を隠し切れない様子で嬉しそうに語った。

楽天との交渉については、「まだ、顔と顔を合わしてないんですけど、電話で退団後に宜しく願いますと。一時間くらい代表と話したかな」と話し、「まだ正式には契約してないもんですから、大筋ではだいたい合意しているんですけど、コンセプトやビジョンをどう理想的にもっていけるか」と“大筋で合意”していることを明かす。

さらに、星野氏は、「要望はいっぱいあるんですけど、その中で、やっぱり一番突っ走っていくためには、一人、田淵だけは入れてくれと。これはお願いしました」と続け、「ヘッド兼打撃（コーチ）でしょうけどね」と、盟友・田淵幸一氏を招集するという。

「一年で、このチームを建て直すのは非常に難しいし、まあ、数年かかるでしょうけど、一年一年勝負のつもりで、選手ともファンとも勝負のつもりで。そのくらいの覚悟がないとチーム作りはできないでしょう」と意気込む星野氏、気になる正式発表については、「（正式発表は）クライマックスのジャマをしちゃいけない。早ければ明日以降じゃないですか。ドラフトはすんなりいけば出るかもしれない」と伝えた。

【Sports Watch】長谷川穂積、最愛の母が死去 “もし一つだけ願いが叶うなら・・・”

24日、前 WBC 世界バンタム級王者・長谷川穂積の最愛の母、裕美子さんが兵庫県内の病院で亡くなった。ガンにより闘病生活を続けていた裕美子さん。長谷川は、そんな裕美子さんを元気付けることをモチベーションの一つに、リングへ上がっていた。

同日、公式ブログで「今朝、おかんが天国に旅立ちました」と切り出した長谷川は、「今年6月、医師にあと三ヶ月は厳しいと言われ、今日まで頑張ってきました。母親には言わず毎日会ってたくさん話しをした」と明かす。

また、長谷川は「亡くなってすぐ書いてた日記を見つけて涙がとまらず、全部見るができなかった」と綴り、「代われるなら代わってあげたかった」「もっと生きてほしかった」「もし一つだけ願いが叶うなら生まれかわってもまた、おれのおかんで生まれてきてほしい」と、その胸のうちを語った。

【Sports Watch】ノムさんがドラフトにボヤク “僕が楽天の監督に復帰すれば・・・”

23日深夜、TBSのスポーツ番組「S1」土曜日恒例となった、元東北楽天ゴールデンイーグルス監督・野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナー、この日はドラフトについてボヤいた。

「ドラフトが近いね。ドラフトにモノ申す。今年が目玉は、当然、早稲田の斎藤（佑樹）君」と切り出した野村氏。番組 MC の魔裟斗が「プロで通用しますか？」と尋ねると、「どうなんでしょうね。なんか、出来あがってるみたいなピッチャーでね。伸び率がないような気がするんだよ。それよりも、リリーフに出ている大石（達也）君のほうが魅力あるね。みんなそう言ってる。プロ野球関係者」と明かす。

また、楽天の名誉監督という肩書についても、「名前は名誉監督ですけど、何の役にも立ってません。相談にも乗って頂けません。全く無視」と愚痴をいう野村氏だが、「マー君と斎藤で一つが目玉ができちゃったね。是非、楽天が獲ったらいいね」とチームを思いやる発言

も。

それでも、その最後には「僕が楽天の監督に復帰すれば、斎藤もうまく育てられますけどね」と、やっぱり野村節で締めたのだった。

【Sports Watch】長谷部と本田アナの電撃破局、スクープしたのは？

20 日、交際中だったヴォルフスブルク・長谷部誠と、フジテレビの人気アナウンサー・本田朋子の破局が伝えられたが、26 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（11.4 号）でも、『フジ本田朋子 サッカー日本代表・長谷部と破局の真相「再三の逆プロポーズも実らず・・・」』と題し、その背景を伝えている。

「フジテレビきっての美女アナとサッカー日本代表主将のビッグカップルが破局。その第一報を“スクープ”したのは意外な人物だった」と切り出している同誌。

破局の原因こそ、フジテレビ関係者の談話を紹介し、「本田アナは何度も、結婚したい気持ちを伝えたのですが、長谷部は『まだその気はない』と。結局、先の見えない関係にしびれを切らし、8 月末に別れることになったようです」と伝えているのだが、このスクープを明かしたのは誰だったのか――。

ネット上では、その人物こそ、日本代表前監督・岡田武史氏であるという噂が持ちあがり、そのきっかけは、岡田氏が退任後に行った長野での講演会で、来場者の一人がツイッターで講義の内容をく大会後、岡田監督は長谷部とその彼女と飲んだらしい。そして、長谷部はその彼女と別れたらしい>とツイートしたことにあるという。

しかし、同誌が岡田氏の事務所に行った取材によると、担当者は「確かに長谷部選手から誘われて食事をしたことは話していました。でも、そんなことまで話すわけじゃないですよ」と否定をしている。この破局は一体どこから漏れたものなのか、疑問が残る。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】亀田姫月がブログ開始。史郎氏は「中身は男」

ボクシング・亀田三兄弟の妹で、最近ではタレントとしてメディアにも度々露出するようになった亀田姫月が、28 日より自身のブログをスタートさせた。

「ひめの毎日」と名付けられた公式ブログでは、「始めました。」と題し、「姫の好きな事や毎日の出来事を更新していきたいと思います 今は、学校から帰って来ました 雨でビショビショになりました」と綴りつつ、当日内だけで早くも 6 本もの投稿を行った。

だが、亀田家の父・史郎氏は、今年5月に自身のブログ上で、「皆は姫の事可愛いって言うてるけど 確かに可愛いけど、正確はガチ悪い。仕方ないわな 男ばかりの中で育ったからな。中身は男。顔は、AKB！49！皆とはブログだけやから 性格までは分らん その方がええ。しつたら嫌われる。ハハハ。」と語っていたことがあった。（文中の“正確”は“性格”の間違いか・・・）

もちろん、これは史郎氏独特の言い回しであり、愛情の裏返しだが、姫月が男勝りであることは間違いないだろう。その性格、そして全貌が、いよいよブログで明かされるか――。

【Sports Watch】元阪神・今岡「よかったです。ロッテきて」

28日、テレビ朝日「報道ステーション」では、千葉ロッテマリーンズに所属し、CSでも活躍した今岡誠を特集し、そのインタビューを放送した。

1996年のドラフトで阪神タイガースから1位指名を受けると、長きに渡り、中心選手としてチームを支えた今岡だが、昨年に戦力外通告を受け、トライアウトからロッテのテスト生に――。その後、正式契約を交わし、開幕一軍を勝ち取っている。

今年36歳になった今岡。阪神で引退したかったのでは、と訊かれれば「もちろん、ありました」と答えつつ、「引退した方がいいんじゃないかっていわれたときは、正直そう思いましたが、ここでトライアウトを、わけのわからないプライドを持って受けずに、野球を辞めないといけないってなったら、本当に後悔すると思ったので」と振り返る。

また、ロッテについては「本当に形として、ロッテの球団に恩返しをしたいという気持ちでいっぱいでしたね。もう一回活躍したいなと思いながら、純粹に取り組めていたので、あとはチャンスを待つだけ」と話した今岡、「今は本当に野球をやっているのがスゴイ楽しい。こんな歳になって、楽しいいうてたら、あかんのですけどね。でも、実際、ほんまそうなんですよ」と充実した様子をうかがわせると、最後には「最高ですよ。よかったです。ロッテきて」と笑顔を見せた。

【Sports Watch】阪神選手「“何週間後にナゴヤドームがある”って皆思ってます」

31日、プロ野球・日本シリーズ第2戦がナゴヤドームで行われ、中日が千葉ロッテを相手に12-1で快勝。対戦成績を1勝1敗の五分とした。

1日放送「Going! Sports&News」では、阪神タイガース・新井貴浩がゲスト出演。シリーズ初戦こそ落としたが、シーズンを通して圧倒的な強さを誇った中日のホーム＝ナゴヤドームでの試合の裏側を語った。

ナゴヤドームでは、中日に大きく負け越した阪神。新井は「何か、球場に入った瞬間どんよりしているというか。周りが雰囲気飲まれてしまうというか」と切り出し、「しばらく前から“何週間後にナゴヤドームがある”って皆思ってますから」と、選手の心境を明かした。

具体的には、「ピッチャー有利なグラウンドだと思います。マウンドが普通の球場より少し高いので、マウンドが硬い」と答えた新井。江川卓氏から、「阪神の4番ですから。プロ野球で一番素晴らしいと思うピッチャーは？」という別の質問を訊かれると、「今はダルビッシュですかね。球も違いますし、技術的にも。気持ちが球にのってる」と答えた。

【Sports Watch】アントニオ猪木、幻の試合映像が公開

今年、世界最大のプロレス団体＝WWE の殿堂入りを果たし、67 歳の年齢を感じさせることなくプロレス界、芸能界で活躍する“燃える闘魂”アントニオ猪木。最近では、過去に行われた猪木の試合の中でも、謎に包まれていた真剣勝負の動画が YouTube に公開され、ファンの間で話題を呼んでいる。

その試合とは、よみこ・濱口優の無人島生活で決め台詞となった「とったどー」のネタ元としても知られる、「折ったぞー！」で有名なアクラム・ペールワン戦——、その後に行われたジャラ・ペールワンとの一戦だ。

そもそもアクラム戦とは、76 年 12 月 12 日に、パキスタンのカラチ・ナショナルスタジアムに 5 万人以上の大観衆を集めて行われた戦いだが、結果が決められたプロレス・ルールのもりでいた猪木に対し、ペールワン一族が真剣勝負をゴリ押し。猪木も受けて立ち、アクラムの腕をアームロックで折るという猪木ファンには伝説の試合である。

しかし、その物語にはあまり知られていない続編があった。それが今回発見されたジャラ・ペールワン戦である。ホーム＝パキスタンで猪木に敗れ、名門一家の名声に地に落ちたペールワン一族は復讐を近い、3 年後にジャラと猪木の対戦に漕ぎ着けたのだ。

それでも、当の猪木は日本のテレビや記者もきていない状況だったこともあり、やる気もなく、のらりくらのファイトを展開。ペールワン一族の怨念も空しく試合はドローとなった。

【Sports Watch】高田延彦の衝撃プロポーズ 「テレビを観てて好きになった」

2 日深夜、フジテレビのバラエティ番組「ピカルの定理」には、元格闘家・高田延彦が出演した。

「プロポーズは会ったその日に」という定理を発表した高田は、妻でタレントの向井亜紀について、「会ったその日というか、テレビを観てて好きになったもんですから、結婚を決め

たんです」とキッパリ言い放った。

「でも、それができるようにもっていけるかどうかでしょ」とドヤ顔で続ける高田は、「たまたま共通の知り合いがいたんです。ご飯でも食べようかって言い出してから、数ヶ月、(妻に) 後から聞いたら、なんとか会わなくて済むようにならないかって」と振り返った。

しかし、結果的には、向井と一緒に食事をすることに成功したという高田は、「私は飲むしからないから、酔っ払って。タクシーで近くまで送って帰ったんです。で、しばらくしてから週刊誌見たら、二人のことが載ってて、その時に乗ったタクシーの運転手さんの談話があったんです。“高田さんは大きな声で何回も何回もプロポーズしていた”と。それで知ったんです」と、自身が行ったプロポーズを後に雑誌で知ったと明かしたのだった。

【Sports Watch】ダルビッシュが不満げ「何で俺だけ悪いみたいになってんねん」
ネット系メディアのみならず、スポーツ紙や週刊誌、テレビの情報番組でも、一斉に報道が成されるようになった北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と紗栄子夫妻の離婚問題。

4日には、こうした報道を受け、ダルビッシュが自身のツイッター上で「何で俺だけ悪いみたいになってんねん。アホちゃう。」と不満げに呟くと、「そう言うあんたの性格があかんのやろうね」というコメントには、「僕の性格知らないですよ(笑)」と反論。その他にも、「皆さんが思う何十倍も温厚ですよ。ムネリンに聞いたらわかりますよ(^^)」とツイートしてみたり、「テレビでは『浮気が嫌やったら離婚や』っていうことになってるよね」というコメントには、「なにそれ(笑)」とスルーをすることなく、しっかりリツイートしている。

夫婦とも、離婚については肯定も否定もせず。11日で3度目の結婚記念日を迎える大物夫婦の周辺が騒がしくなってきた。

【Sports Watch】岩隈の大リーグ移籍に、ノムさん「困ったもんですね」
ポスティング・システムにより、大リーグ移籍を目指す、東北楽天ゴールデンイーグルス・岩隈久志。実際に入札に興味を示す球団が出てきたとの発表もあり、移籍交渉は具体化しているという。

7日放送、TBS「S1」では、かつての恩師・野村克也氏が出演。そんな岩隈の大リーグ移籍に苦言を呈した。

「まあ、困ったもんですね。一つは日本で育って、いい選手になると、みんなアメリカ行っちゃって、将来の日本の野球はどうなっちゃうんだろう」と切り出した野村氏は、「新監督である星野監督が本当に許したのかどうかね。たった二人しかいないピッチャーなのに一

人離して大丈夫なのか。そういう心配があります」と語るのだった。

【Sports Watch】斎藤を悩ませたストーカー問題とは？

今年のドラフト会議で、1位指名選手を複数輩出した早稲田大学。JFE 東日本で、同じく早稲田出身の横浜ベイ 1 位・須田幸太を含めると、実に 4 選手にものぼる。

そんな早稲田を指揮した名将・應武篤良監督が、7 日放送の TBS「S1」に出演。すでに勇退が決まっている應武監督は、「オレだけが知っている斎藤佑樹」と題し、斎藤にまつわるエピソードや、当時の悩みを紹介した。

その一つが、斎藤を悩ませたストーカー問題だったという應武監督。「見てる人から発信されるインターネットで、全世界に（行動が）明かされてました。（斎藤は）人間不信にもなったと思いますし、誰が打ってるのかも分からない。落ち着かない日々が続いていたようです。盗撮があったり、部屋をのぞかれてたり。それによって、日光を遮断するフィルムであったり。どんどん性格も暗くなってきました。ストレスですね」と明かした。

【Sports Watch】ロッテの歴史的死闘、試合中の選手の心境は？

9 日深夜、フジテレビ「すぽると！」では、リーグ 3 位からクライマックスシリーズを勝ち上がり、日本シリーズを制した千葉ロッテマリーンズをフューチャーした。

二試合連続で延長までもつれたシリーズ第 6 戦、第 7 戦より「10 時間 39 分の死闘の分岐点」と題し、ロッテ主力メンバーが試合を振り返った同特集。センターを守り、決勝打を放った岡田幸文は、「今日の 9 回ですね。9 回表、何かあるなと思いました、正直。1 点勝ち越して、9 回守りにいくぞと。このままじゃ終われないなというのは、センターを守っていたときに、和田さん（中日のトップバッター）のタイミングの取り方で気づきました」という。

事実、その和田にスリーベースを許し、延長戦へ突入することになったが、レフトを守る清田育宏は、「最終回、和田さんの打球を僕と岡田さん、二人で追ってしまって、ツーベースで止めないといけないところをスリーベースにしてしまったので、（小林）宏之さんにはすいません」と語った。

そして、延長 12 回、トップバッターとして出塁した今江敏晃は、「その前の打席で 4 本ヒットを打っているの、やっぱりバッテリーは警戒してくる。同点なので、バッテリーとしたら長打は狙われたくない。絶対ボールから入ってくると思ったので、とりあえず見ていこうと思いました」と振り返り、（規定打席以上で）パ・リーグで 2 番目にフォアボールの少ない今江が、大事な場面で、そのフォアボールで出塁した背景を説明した。

【Sports Watch】巨人 1 位の澤村、涙の理由

中央大学のエースとして活躍し、2010年のドラフト会議では巨人から単独一位指名を受け、涙を流して喜んだ澤村拓一。10日、テレビ朝日「報道ステーション」では、最速157キロを誇る巨人期待の右腕に行ったインタビューの様子が放送された。

「電車降りるときに頭がぶつかるくらいですかね」。自身の身長について訊かれた澤村は、そうおどけてみせたが、巨人の話題になると「初めてプロ野球を母と観に行ったのも、東京ドームのジャイアンツ戦でしたし、高橋由伸さんとか上原さんが、ものすごく好きでした。実際、上原さんも高橋さんも自分と誕生日が一緒なので。運命かどうかは分からないですけど」と語り、巨人愛を全面的にアピールする。

また、「4年間、一生懸命やって芽が出なかったら、普通に就職して野球から離れようと思っていた」という覚悟を明かした澤村。ドラフトで涙したシーンは「何もないゼロの状態からはじまって、真っ白のキャンバスに何かを描くようにやってきたので、指名して頂ける選手になったっていうのは、色んなことがフラッシュバックして、ものすごく、こみ上げてくるものがありましたね」といい、「僕の場合は、大学4年間で、彼ら（楽天・田中ら同年代）と同じような時間を過ごしたと思っているので、下を向かずに諦めないでずっとやってきた。この4年間の思い出して、無駄にしないためにも負けないように頑張っていきたい」と意気込んだ。

【Sports Watch】“三束のわらじ”谷亮子に不名誉な記録が・・・

11日発売「週刊文春」（11月18日号）では、全国の女性1000人に対して行われる恒例企画「女が嫌いな女」2010秋が掲載された。

その結果、5位・蓮舫、4位・久本雅美、3位・和田アキ子、2位・沢尻エリカと、蓮舫以外は常連メンバーとあっていいタレント陣が名を連ねたが、その1位は、なんと圏外から谷亮子が一気に躍り出る格好となった。

妻、柔道家、政治家として、二束ならぬ三束のわらじを履いて活動した今年。結果的には、両立が難しく、中途半場なかたちで柔道を引退することとなった。同誌に寄せられたコメントでは、「すべてが中途半端」、「小沢の隣でおべっかつかつてる姿は虫酸がはしる」「切羽詰まった世の中を理解されていない」といったものが見受けられた。

【Sports Watch】ノムさん、日本人メジャー流出に「屁理屈だよ。俺に言わせりゃ」

13日深夜、TBSのスポーツ番組「S1」では、土曜日恒例となった元東北楽天ゴールデンイーグルス監督・野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

「今日は何をボヤいてもいいんだね」と前置きした野村氏。「今一番腹立ってるのは、猫も杓子もメジャー、メジャーって、日本のプロ野球はメチャメチャ（メジャーメジャー）にな

っちゃうよ」とダジャレをいいつつ、相次ぐ日本人選手のメジャー流出に怒りを露にした。

その後も、「メジャー行くのも、止めるのも五分五分なんだけど、自分の人生一回しかないからね。夢を果たすっていうのは結構な志なんだけど。僕らは日本のプロ野球で厄介になって、お世話になって、ここまでこれたわけで、日本のプロ野球どうなるんだって、そっちが心配。一流選手って簡単には生まれないじゃない。10年に一人出るか、出ないか。分かりやすいいえば、イチローとか松井が行っちゃったでしょ。それくらいに匹敵する選手出た？出ないでしょ」と捲くし立てる野村氏。ロッテ・西岡剛が、チームを日本一に導いたことで、今度は自分の夢を目指したいというメジャー挑戦理由を語ったことについては、「屁理屈だよ。俺に言わせりゃ。勝手なことすんなくて。僕としては正直行ってほしくない。日本のプロ野球の発展のために尽力してほしい」と訴えた。

【Sports Watch】石川遼、フォームの悩みを桑田に相談!?

三井住友 VISA 太平洋マスターズで今季3勝目を飾った石川遼。その4日前となる10日(水)には、太平洋クラブ御殿場コースでプロ・アマチャリティトーナメントが行われ、TBSのスポーツ番組「S1」が密着取材を行った。

13日深夜に放送された同取材の中では、「ゴルフは緊張しないかもしれないですけど、桑田(真澄)さんが横にいと緊張しますね」と語る巨人ファンの石川が、賞金王争いが大詰めを迎えた現在もスイングフォームの改造に着手する迷いを、同イベントに参加した桑田氏に相談する場面があった。

「桑田さんもシーズン通しながら、ピッチングのフォームを変えていくっていうのは」と切り出す石川に、桑田氏は「これはスポーツ選手みんな一緒だと思うんだけど、毎年ね、さらに上を目指すから、そういう気持ちがない人はダメだね。これでいいと思って同じようにやっている人は進化しないね」と、その背中を押した。

さらに、「海外の試合に出たときに、すごく調子がよかったんですけど、ショットにも不満はなかったんですけど、自分のスイングを変えようって」と決意を述べた石川に対し、「そういう時はやるべきなの。色んなことやって、それでまた気付くことってあるので、フォームとか、自分のやりたいことやるべきなんだよ。やりながらも、結果を出していかないといけないからね。それが真のスーパースター」というアドバイスを送る桑田氏だった。

【Sports Watch】三浦皇成、ほしのあきとの交際認める

グラビアアイドル・ほしのあきとの真剣交際、結婚が報じられていた騎手・三浦皇成が、自身のオフィシャルブログ「皇成 aim at the top」において、ほしのとの交際を正式に認めた。

「先日の報道について」というエントリーで、15日に掲載された同ブログにおいて、「報道

にあったように、僕は今、ほしのあきさんと真剣に交際させていただいております」と、交際を認めた三浦。

さらには、「ほしのさんはいつも騎手としての自分を応援し、支えてくれている存在でもあります」と綴ったものの、ブログの後半では「ただ、僕もまだ 20 歳。そして僕は、あくまでも騎手です。まだまだ人間として、もちろん騎手としても未熟者ですし、学ぶべきことは山ほどあります」、「一部で報じられた今後のことについて、今は具体的にお話できるようなことは決まっていません」とも明かしており、結婚報道自体は否定した。

【Sports Watch】田中将大&里田まい、揃って交際認める

15 日、東北楽天ゴールデンイーグルスのエース・田中将大と、タレント・里田まいの交際がスポーツに報じられて話題となった。

同日、田中将大は自身の公式ブログで、「既に報道等でご存知の方もいらっしゃると思いますが、タレントの里田まいさんとはいいお付き合いをさせて頂いています」と交際を認め、その 30 分後、里田まいも同様に、公式ブログ「里田米」で「一部報道にもありましたがわたしは、楽天ゴールデンイーグルスの田中将大投手と良いお付き合いをさせて頂いております。温かく見守って頂けると嬉しいです」と綴っている。

また、この日は、JRA 騎手・三浦皇成と、タレント・ほしのあきも、それぞれのブログ上で交際を認めるブログを投稿している。

【Sports Watch】ダル、紗栄子とのあまりの違いに愕然とした!?

離婚が取り沙汰されている、北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と妻・紗栄子。16 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（11.25 号）では、「紗栄子 子連れ離婚騒動でも『同情の声なし』の理由 『食事も作らず年下男と夜遊び三昧』」との見出しで、関係者の証言を紹介した。

同誌にコメントを寄せる芸能ライターは、「以前からダルは、ほとんど紗栄子の扱いに困っていた。体調管理を任せようにも、とても知識が追いつかない。子育てについても子煩悩なダルに対し、ノイローゼ気味になった紗栄子は両親を頼り、実家のある宮崎に帰ることが多くなっていった。しかし、それと反比例するように『ダルの嫁』という知名度を生かして事業活動を本格化。みずからプロデュースするファッションブランド販売には熱心で、子供を親に預けては、頻繁に上京していました」と語っている。

その他にも、日ハム関係者は、「ふだんは子供にも会えず、選手と飲みに行くのにも文句を言われ、会えば携帯電話もチェックさせる状況に、ダルもチームメイトに『たまらない』と漏らしたこともあったと聞きます。また、人と比較することはしないダルですが、石井一久

(37) =西武=から、元フジテレビアナの木佐彩子夫人(39)の、健康管理、家事、育児の姿勢を聞いた時は、紗栄子とのあまりの違いに愕然としたそうです」と証言している。

ここ数日は鳴りを潜めている離婚騒動・・・、同誌では、「ダルビッシュ ススキノ女との浮気報道の深層」と題し、ダルビッシュ・サイドの内幕も伝えている。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】巨人期待の右腕=澤村、チームメイトが意外な一面を明かす

2010年ドラフト会議において、巨人から単独一位指名を受けた中央大学のエース・澤村拓一。巨人期待の右腕が、16日放送の日本テレビ「NEWS ZERO」に生出演すると、VTRで登場した中央大学のチームメイトから意外な素顔が明かされた。

「だんだんとプロのスタートラインに立ってきたなっていう感じで、やってやるぞという強い気持ちを持つようになりました」と現在の心境を語る澤村は、「ただプロ野球に行けばいいという問題ではないので、行って活躍してなんぼの世界。まだ、どれだけ通用するかは分かりませんが、自分の器量を試してみたい」と、プロ入り後の先を見据えて意気込んだ。

だが、ここで中大のチームメイトがVTRで登場。誠実で真面目な印象が強い澤村の素顔について、「部屋がメッチャ綺麗。くさい人は絶対入れない。においフェチなんで」、「みんな大盛りを頼んで食べているんですけど、澤村さんは一人でもう一回大盛りを注文して食べてました」というコメントが寄せられつつ、中には「澤村さんがウェイトする時は、ガンガンウェイト場に洋楽かAKBが流れています。AKB聴きながら、テンション上げてスクワットしている」という発言もあった。

【Sports Watch】元浦和レッズFWが酒気帯び運転で解雇に

2004年、静岡学園高から浦和レッドダイヤモンズに入団すると、モンテディオ山形(レンタル移籍)、愛媛FC、藤枝MYFCを渡り歩いたFW・横山拓也が、今月17日、藤枝市内で酒気帯び運転をしていたことからチームを解雇された。

19日、藤枝MYFCの公式サイトでは、「当然ながら本行為は、決して許される行為ではありません。当クラブは、地域の皆さまに夢を与えることとスポーツマンシップの遂行を目標としておるにも関わらず、理念・目標と反し、多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びを申し上げます。また、本件の事態を重大に受け止め、再発防止に向け全力で取り組んでいく所存です。なお所属選手である横山拓也を本日付で解雇いたしました」と公式発表。チームは、21日よりJFL昇格戦に臨む予定となっている。

【Sports Watch】グランパス主力メンバー、ストイコビッチ監督を絶賛

20日、Jリーグ開幕から18年目にして初の優勝を遂げた名古屋グランパス。同夜、TBSのスポーツ番組「S1」には、祝勝会後の玉田圭司、田中マルクス闘莉王、檜崎正剛が生出演、喜びの声を述べた。

我慢の展開となった湘南ベルマーレ戦で決勝ゴールを挙げた玉田は、「やっちゃいましたね」とおどけつつも、「決めれば優勝するって訳ではなかったので、可能性があるっていう試合だったんですけど、そういう試合に出て、点が取れてよかったです」と冷静に話す。

また、試合当日は故障によりスタンドで観戦していた闘莉王。試合途中からピッチに降りてきた理由を「まあ、上で見てられなかったですね。内容が悪かったの」と率直に話し、檜崎は「(勝利の美酒は) いやー、味はそんなに美味しくないですけど、身体中に浴びれて本当によかったです」とクールに語った。

さらに、監督のストイコビッチについては、闘莉王が「リスペクトできる、素晴らしい人。だからこそ、信頼関係ができる」と話し、玉田は「凄い自分を持っていて、ぶれることがない。試合を楽しめといわれます」、檜崎は「いや、まあ、厳しさもあるけど、選手のこともよくわかって、チームのマネジメントがすごい。監督として素晴らしい」と絶賛したのだった。

【Sports Watch】ノムさん、星野楽天に“チクショー”

20日深夜、TBSのスポーツ番組「S1」では、東北楽天ゴールデンイーグルス監督・野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

岩村明憲の他にも、松井稼頭央、イ・スンヨプといった大物選手獲得の噂が絶えない新生・星野楽天について、野村氏は「毎週毎週、ボヤク材料に事欠かないね。特に楽天。チクショーと思って。俺の時には一銭も金使わないで。こないだ言ったでしょ？星野監督になるとお金がかかるよって。もうすでにボンボン使ってるじゃないですか」と不満を口にする。

続いて、「私の場合は球団から与えられた戦力でやりくりするのが監督の仕事だと思ってる。彼の場合は私と正反対で、編成までやっているでしょ。ああいうのは、昔の野球界でやめてほしい。フロントがちゃんとあるんだから。フロントの仕事をなんで星野がやるの」と非難しつつも、「私の場合は利益追求型の経営方針だった。星野がきて、やっと勝利優先に変わってきているんだろう」と見解を示した。

【Sports Watch】安藤美姫に災難再び、変顔写真に批判の声

モスクワで開催されたフィギュアスケートのGPシリーズ第5戦「ロシア杯」では、安藤美姫がショートプログラム5位から逆転優勝を果たし、見事にGPファイナル進出を決めた。

だが、19日に同大会の記事を掲載した時事ドットコムでは、ショートプログラムを演技をする安藤の写真があまりに酷く、早くもネットを中心に大きな話題になっている。

該当するページは、すでに閲覧できない状態となっているが、ここに使用された安藤の写真とは、ジャンプ中に視点が定まらない状態で、歯をくいしばり、鼻水が飛び出ているというもの。

一体なぜ、このような“変顔写真”がチョイスされたのか——。今回の話題を伝える“まとめ系ブログ”でも「気の毒です」「もう悪意があって載せてるとしか思えんw」「前も全く同じような鼻水写真あったよな？不憫すぎるww」「これは本人に訴えられていいレベル」「フィギュアは回転中の変顔とるのが恒例みたいになってるけどどうなんだろう」といったコメントが寄せられている。

これまでも、産経新聞が、競技中に表情が崩れている安藤や浅田真央の写真をたびたび掲載し、中には写真クレジットが転倒する安藤の股間の上に被せられているようなものもあり、批判の声が集まっていた。

また、今年9月には、「とんねるずのみなさんのおかげでした」の人気コーナー「細かすぎて伝わらないモノマネ選手権」で、増谷キートンが、まさにジャンプ中の浅田の顔マネを披露し、その後、本人のブログのコメント欄にクレームが殺到するという出来事もあったが、華麗に舞うスケート選手にとっては、クローズアップされたくない瞬間。こうした報道機関は掲載する写真を選ぶことはできなかったのだろうか。

【Sports Watch】三浦ファン、ほしのあきを“さげまん”呼ばわり

22日（月）発売の「週刊アサヒ芸能」（12.2号）では、「ほしのあき 三浦皇成結婚を阻む『さげまんボディ』『スランプの責任を押し付けられて…』」との見出しで、騎手・三浦皇成とグラビアタレント・ほしのあきの交際について、その周辺レポートを掲載した。

新人年間最多勝（91勝）に最速100勝を挙げた次世代のスーパージョッキーだが、近年、失速感は否めない戦績に終始している。

同誌にコメントを寄せるスポーツ紙のデスクは、「今の三浦は、もう『武豊2世』じゃない。G1制覇と言っても、そのクラスのお手馬は数頭だけ。代役で一発という寂しい状況です」と語っており、美浦TC関係者も「昨年9月、英国で初騎乗初勝利するも、ほしのとの交際が1年目を迎えて、状況が一変した。恩師の河野通文調教師と袂を分かち、フリー宣言をしてから急降下。今年1月の落馬事故も影響し、東西リーディング29位（11月14日現在）と低迷している。三浦ファンがほしのを“さげまん”と呼ぶ気持ちも納得できます」と話して

いる。

また、二人の来春結婚の噂について、前出のデスクは、「三浦の両親が最後の難関でしょう。父親との絆が深く、通常では考えられないフリー宣言を勧めたのも両親と聞いています。その父親が13歳の年の差婚をすんなりと認めてくれるかどうか…」という見解を示しており、すんなりとはいきそうにない現状をうかがわせた。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】星野監督、すっ呆ける「まあ、そういう風に言われていますね」

24日、日本テレビ「NEWS ZERO」では、東北楽天ゴールデンイーグルス・星野仙一監督が生出演。岩村明憲に続く大物獲得となる、松井稼頭央の楽天入りについて、一部の報道では「早ければ25日に発表」とされている中、「発表しないと信じない」と明言を避けた。

「(松井獲得は) まあ、いいところにいっているんですよ。色々、他の球団も交渉していますしね。せめぎあいをしているところなんですけどね。リードオフマンでもあるし、スイッチヒッターでもあるし、きたら嬉しい選手の一人だね」と絶賛しつつも、“正式決定”については“あと一步”を強調した星野監督。

「ほぼ決定的とみて、いいですか？」と訊かれると、すっ呆けたように「まあ、そういう風に言われていますね」と他人事のように返答するや、「我々はきちっとサインをして、発表しないと信じないんですよ。何が起きるか分からない」と慎重な構えを崩さない。

また、「岩村を上回る条件？」と訊かれれば、「そんなことはないですよ。ほとんど一緒くらい」と答え、日本残留の可能性も出てきたエース・岩隈については「そりゃ、残ってくれたら嬉しいですよ。僕個人としては。岩隈のことを考えたら万歳なんて言えません。夢にチャレンジしましたからね」と気遣いをみせた。

【Sports Watch】川上は星野新監督にトラウマあり。週刊文春報じる

岩村明憲、松井稼頭央ら大型補強により、球界の話題を独占している東北楽天・星野仙一新監督。現在はマイナー落ちをしている明治大学の後輩で、中日時代に面倒をみてきた愛弟子・川上憲伸の獲得についても、含みのあるコメントを残している。

しかし、川上の星野監督に対するトラウマが、両者の距離を遠ざけているようだ。25日発売の「週刊文春」(12.2号)は、『楽天星野「親分気取り」にソッポ川上憲伸の「トラウマ」』と題し、その内幕を伝えている。

北京五輪時、星野監督が川上を慣れない中継ぎに回した上、打たれればベンチ裏で鉄拳制裁を加えたとしており、同誌にコメントした明治大学関係者は、「川上にとってあの経験は根強いトラウマ、星野がいる限り川上は楽天には行かない」と語っている。

その他にも、野球評論家・江本孟紀氏のコメントも紹介している同誌。星野監督のスタイルを不安視する声が消えることはないようだ。

【Sports Watch】K-1 王者シュルト “そのサイズは意外と小さい”

来月 11 日、有明コロシアムでは、世界各国の予選+ベスト 16 による一回戦を勝ち抜いた 8 名による「K-1 WORLD GP 2010 FINAL」が今年も開催される。

10 月に行われた一回戦では、アリスター・オーフレイムが圧倒的な強さで勝利を挙げる一方で、ジェロム・レ・バンナがまさかの試合放棄をするなど、良くも悪くもインパクトの強い大会となった。

いよいよ迎える決勝トーナメントを目前に、25 日深夜放送のフジテレビ「すぽると！」では、アスリートが持つ身体の一部に迫るコーナー＝「THE パーツ」に、優勝候補筆頭のセーム・シュルトが登場。ジャブを繰り出す“左手”にスポットを当てた。

「縦 23cm、横 22cm。そのサイズは意外と小さい。しかし、その左手から生み出される一撃はジャブの次元を遥かに超えている」。VTR では、そう紹介されたシュルトの左手。

どれだけの練習を積んだのかという疑問には、「分かりません。練習の時にカメラで撮って何回打ったか数えて下さい」と答えたシュルトは、自らの左手の意味を問われると「非常に深い質問ですね」と切り出しつつ、「でも、これは私の左手です。生まれながらに私に与えられたもの。この左手のおかげでこれまで戦ってこられました。5 度目の王座獲得にこの左手が力を貸してくれると信じています」と自信を漲らせた。

【Sports Watch】ノムさんの不満爆発「星野になった途端…」

27 日深夜、TBS のスポーツ番組「S1」では、毎週恒例となった東北楽天ゴールデンイーグルス元監督・野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

「野球は終わったというのに、ボヤク材料は次から次へと尽きないです」と切り出した野村氏は、さっそく「岩隈、何をいっとるか。皆、ポストイングでメジャー行きたがるじゃないですか。“何で行きたがるんだ？”っていうと、“僕の小さい時からの夢でした”って。夢っていうのは金で買うの？お金が安いから、合わないから行かないっていう。年俸 100 万でも行けばいいんだよ。夢を叶えるためには、お金は関係ない」と一刀両断した。

さらに、「岩隈の決断っていうのは寂しいね。お金、お金って、金は向こう行って稼げばいいじゃん。せっかくのチャンスをね。というのが、私の見解です」と続けた野村氏だったが、西岡剛については「西岡は、本当に拍手やってもいいんじゃない。岩隈の3分の1。彼の言動みてると、お金は関係ない。とにかく俺はメジャーでやりたい。そういう姿勢は見えてきてますよね。これが本当に夢を叶えるってことじゃないですか？」と賛辞を送った。

しかし、楽天の大型補強には、「楽天に元メジャーリーガーが二人ほど入って、嫌味に思いませんか？私の時には一切金を使わずに、星野になった途端に金は幾らでも出す。オーナー自らそう言ってるんですから」とボヤきを通り越し、不満を爆発させる野村氏だった。

【Sports Watch】田中&里田の交際、アプローチは里田から

グラビアアイドル・ほしのあき&騎手・三浦皇成がお互いのブログで交際を認めた日、東北楽天ゴールデンイーグルスのエース・田中将大とタレント・里田まいの交際もまた公のものとなったが、本日30日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（12.9号）では、「マー君を“ナンパ”した里田」との見出しで、両者の交際にまつわる関係者の証言を紹介した。

同誌にコメントを寄せた芸能デスクによると、「周囲の事情はさておき、当人たちが盛り上がっているのは確か。結婚も完全に視野に入れているようで、すでに新居を探しているとの話まである」という。

また、二人の交際は里田からのアプローチによるものとのことで、前出の芸能デスクは、「2人は昨年末の番組共演時に、里田から猛アタック。『一緒に食事でも』と誘い、春頃にはつきあい始めた。里田は仲のいいスザンヌ（24）、木下優樹菜（22）には、早くから相談していたし、周囲にも浮かれてしゃべりまくっていた。次世代エースをゲットしたわけですから、賞味期限切れ間近の里田にすれば、してやったりでしょう」とも語っている。

ちなみに、同じく同誌にコメントする球団関係者は、「高校時代は同じ高校の女子生徒と在学中の3年間、ずっとつきあっていましたね。基本はオクテ。プロ入り後にキャバクラなども覚えました。まあ、モテるタイプではないし、女あしらいも不慣れ。高校時代はかなりワガママで、元カノは苦勞が絶えなかったと聞いています。同年代の女より、里田のような姉さんタイプのほうが勝負の世界では向いているケースも多いですからね」と明かしており、この交際も田中にとっては“吉”とした。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】ホリエモン、大晦日格闘技参戦はキッパリ否定

10月末、K-1 イベントプロデューサー・谷川貞治氏は、自身のツイッター上で、「なぜかホ

リエモンとイッキなう。年末のダイナマイト出場を快諾！ 参戦決定！」と呟き、ホリエモンこと堀江貴文氏の大晦日格闘技イベント参戦を発表した。

その後もツイッターを介してファンから、「大晦日にホリエモンさんがリングに上がるのは、間違いないですか？」と訊かれれば、「たぶん」と返し、「ホリエモンの相手は決まっていますかー？日本人??」という問いには、「たぶんマイティモー」と返答する谷川氏。冗談と分かってはいながらも、テレビ視聴率のためなら“なんでもあり”状態になっている大晦日格闘技イベントにおいて、一ヶ月以上も話題を引き延ばしたことから、横目で経過を追うファンもいたことだろう。

今月に入って堀江氏自ら「そもそも出る予定なかったから!!」「いや、、だから死にますから。マジで。。。と改めて否定をしても、谷川氏は、「えっ、あれはただの酒の席の話？でも、パンチ力ありますよ、モーみたいに」「いやいや燃えてました」と食い下がるなど、大晦日 Dynamite!!の対戦カードが一向に出揃わない現状もあってか、自ら話題を振りまき続けるのだった。

■関連リンク

- ・ サップ、クルトのヒザ一発でお決まりの戦意喪失
- ・ K-1 甲子園は波乱の連続、晴山翔栄が頂点に立つ
- ・ 72.5 キロのキシエンコ強し、エーベリを圧倒

【Sports Watch】ヤクルト身売り報道、球団広報は「一切の事実無根」

4日、日刊スポーツは、ヤクルトスワローズがアメーバブログの運営でもお馴染み、サイバーエージェント社へ身売りし、“今日電撃発表”と一面で報じた。

だが、こうした身売り報道について、ヤクルト球団広報・加藤謙次郎氏は自身のツイッター上で「当球団が売却されるとの報道が一部でありましたが、一切の事実無根です。オーナーにも確認済みです。ファンの皆さまには朝から心配をおかけして申し訳ございません」とツイートをを行い、キッパリと否定した。

また、サイバーエージェント社長・藤田晋氏も同様、自身のツイッターで「朝起きて、一気に目が覚めました。初耳です(笑)」と驚いた様子をツイートしつつも、「五年前からヤクルトファンになったから嬉しい話だけど」と付け加えた。

【Sports Watch】“鬼嫁”北斗晶、リングネームの由来とは？

プロレスラー・佐々木健介の妻であり、現在はタレントとして大活躍を遂げている北斗晶。女子プロレス界最後にして最大のブームとなった1993年の団体対抗戦時代には、神取忍と

の抗争で一躍カリスマ的存在になったが、そのリングネームの由来とは一体なんだったのか？

今月2日に更新された自身の公式ブログ「そこのけそこのけ鬼嫁が通る」で、「なんで、あたしが北斗晶って名前か知ってるかい」と切り出した北斗は、女子プロレスファンの間では周知となっているリングネームの由来を紹介した。

ウルトラマンの前で撮影した写真をブログにアップした北斗は、「ウルトラマンAってウルトラマンがいてね。そのウルトラマンが変身する前…北斗&みなみって人間の指輪を合体させて変身するんだよ　もちろん、あたしのプロレス時代の相方の名前は…みなみ」と綴り、かつてのパートナー・みなみ鈴香と結成したタッグチームが、ウルトラマンAの北斗と南を真似たものであることを明かしつつ、そのタッグチーム＝海狼組（マリン・ウルフ）については、「が……………うちらは、弱かった　ウルトラマンごめんなさい」とオチを付けた。

【Sports Watch】長谷川穂積、激闘を振り返る「あれ一発で…………」

先月26日、日本人ボクサーで初となる“飛び級”2階級制覇を成し遂げた長谷川穂積。3日のテレビ朝日「報道ステーション」は、WBC世界フェザー級新王者となった長谷川が、試合の5日後に激闘を振り返る模様を放送した。

「負ければ、それなりに批判する人は沢山出てきますし、それみたことかと。二つも上げるからそうなるねんって言われるのは全部自分ですから」という長谷川は、バンタム級から3.6キロ増となるフェザー級での戦いにおいて、相手と距離をおき、パンチを貰わないよう試合に臨んだと語る。

しかし、序盤こそ、フアン・カルロス・ブルゴスに何発かパンチをヒットをさせたが、「(相手との距離が)遠いなって思いました。僕がミット打ちでやっているジャブ、ジャブ、ツっていうパンチがあるんですよ。バンタムの選手とやる時は、大概当たるか、当たらなくても顔面をかすれるくらいなんですけど、全く届かなかったですね」と振り返った。

すると、「届く距離から、打ち合いをしようという考えに変わってましたね。フェザーでも通用するっていうのを見せたかったし、自分自身を知りたかった」と、その胸中を明かした長谷川。

5ラウンドに決まった左フックについては、「ハンマーパンチです。パワーパンチ。あれで結構倒れたんで、バンタムの時は。その感触を持ったままやったから余計狙った」と語り、階級を上げたことで、よりKOを奪うのが難しくなったことを説明しつつも、9ラウンドに決まった左のアップーで、ブルゴスの右目を塞いだことに触れると、「あれ一発で腫れたん

ですよ。手が出なくなったでしょ、相手。一番印象深かったのが、そのアッパーですよ。真剣。スパッと切れる真剣。タイミングよかったですね。軽くてもシュッて切れる」、「相手がいつ飛んできたか分からないタイミングで飛んでくるのが効くパンチ。そういうパンチは軽くても効く。キレとタイミング、それがボクシング」と雄弁に語り、今後の戦いに自信をのぞかせた。

【Sports Watch】紗栄子に急接近する「新たな男」の存在とは？

北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と、女優・紗栄子——。現在は離婚協議中とされる大物夫婦に、今週新たな火種が急浮上した。

本日7日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（12.16号）は、『紗栄子 離婚協議中に漏れてきた巨人・藤井の「猛攻」 「メールを1日20通も送られていた」』として、紗栄子に急接近する「新たな男」の存在を伝えた。

同誌にコメントする日本ハム関係者は、「今年、日ハムから巨人に移籍したバツイチの藤井秀悟(33)が再び、紗栄子に急接近しているんじゃないか、心配なんですよ」といい、最近も写真誌にセレブ美女とのツーショットを撮られた藤井の名を挙げた。

さらに、スポーツ紙のデスクは「07年春、“車チュー”を撮られた元TBSでフリーアナの渡辺真理(43)は、かいがいしく尽くしていたので、オフに結婚か、という話もあったが、翌08年に日ハムに移籍するや、ダル夫妻と、ほしの（あき）と4人で会食し、ヴァレンチノのパーティに出席してました」と語っており、前出の日ハム関係者は「“球界のブログ王”と呼ばれるマメ男の藤井は、一日に10～20通も紗栄子に直メールを送っていたみたいです。さすがにダルも心配し、『やめてくださいよ！』と、球場で直に伝えてました。あんなにムキになるところを見ると、ハートマークでも付いていたんじゃないですか（苦笑）」と、同誌の取材に答えているのだが、その真相はいかに。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】FA上原の選択肢、国内球団は「ないです」

ボルチモア・オリオールズからFAとなった上原浩治の去就に注目が集まっている中、4日放送、TBSのスポーツ番組「S1」では、帰国した上原に独占インタビューを行った。

オファーの有無については、「はい」と元気よく返答した上原。どこの球団を選ぶのかという問いには、手でお金のマークを作りつつも、「叩かれるから（放送では）カットしといて」とおどけてみせた。

また、上原は「正式なちゃんとした条件というのは受けてますけども、そこから競って貰って、最後に残ったところについていう感じなので」と語る一方、「国内は？」と尋ねられると、「ないです」と即答。「それは帰ってお断りの電話を入れるつもりです。一番はきちんとメジャーにいたい」と、そのプライオリティを語った。

【Sports Watch】プロ野球で一番最初に 1 億円プレーヤーになったのは？

4 日深夜、TBS「S1」では、東北楽天監督時代の“ボヤキ”を再現した、野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

この日の同番組でも報じた、J1 サバイバルマッチ＝ヴィッセル神戸の試合について、野村氏は、「サッカーのコーナーでボヤきたいことがあったんだよ。ヴィッセル神戸、三木谷（楽天代表取締役会長兼社長）さんがオーナーだよな？あの情熱をなんで野球に向けてくれないんだ」とさっそく“口撃”。

また、プロ野球契約更改の話題に触れると、「1 億円プレーヤー、大勢いますけど、一番最初に 1 億円の大金に乗ったの誰だと思います？俺なんだよ。意外に知られていないんだ。ところがどっこい、一銭も残ってないんだけど、どこに消えちゃったんだろう。俺は球団から、こう（口に人差し指を当てて、内緒にするポーズをして）されてた。税金の問題もあったから」とドキッとする発言をしつつ、最後は「時効だから」とおどけてみせた。

【Sports Watch】MVP 和田、斎藤佑樹との対戦には「どっちにしてもビジター」

今季リーグ MVP を獲得し、11 日の契約更改では、1 億 2000 万円増の推定年俸 3 億 3000 万円でサインをしたソフトバンク・和田毅が、同夜、日本テレビ「Going! Sports & News」に出演、早稲田大学の後輩・斎藤佑樹についても言及した。

年俸 3 億円超えを果たした和田。番組 MC の上田晋也からは、「ちょっとお金貸して貰えませんか？」と冗談交じりに話を振られながらも、「やっぱり、嬉しかったですね」と素直に喜んだ。

また、北海道日本ハムファイターズに入団した斎藤については、「対決することは、あると思います。（北海道でも福岡でも）どっちにしてもビジターになる気がする」とおどけつつ、「1 年生から投げて、ケガなく 4 年間投げて（大学）30 勝というのは僕もできなかったの凄いです」と評価した。

さらに、学生時代から江川の著書本「マウンドの心理学」をバイブルにしていたという和田。当の江川には、「大学時代、手を抜いて投げてたって聞いた」と質問して笑いを誘った。

【Sports Watch】大健闘・村上佳菜子、「ビックリしてフワフワ」

中国北京で開催されたフィギュア GP ファイナルは、16 歳・村上佳菜子が日本勢ではトッ

プとなる3位に入る大健闘を見せた。

11日、TBS「S1」では、試合後の村上と山田満知子コーチを直撃。山田コーチは、「少しは自信が出て、ちょっと危ない時もありましたけど。でも、今日の小塚君、織田君なんかでも、あんなベテランちゃんたちでも動揺するでしょ。まあ、佳菜子が動揺すんのも当たり前かなっと思いつつ。いい方向になれてきているんで、力が発揮できていると思います」とコメント。

続いて、カメラが向けられた村上は、「ベストは出せなかったですけど、あと一歩だったの。その一歩が悔しいんですけど、でも、アメリカ大会よりは成長できたので、そういう面ではよかったかな。まだなんか、試合終わったばかりで実感はないんですけど、ビックリしてフワフワしています」と笑顔を見せると、「(手ごたえは) すごい感じてて、NHK杯はすごい悔しい思いをしたので、ばん回しようってすごい頑張って、アメリカ大会からファイナルまでは課題が見つかったの、それを直すっていう風にして、今回はフリーで一個失敗しちゃったんで、全日本に向けて頑張るっていう風に、全部の大会毎に課題とかが見つかる。そのおかげで少しずつ成長できているのかな」と語った。

【Sports Watch】ノムさん、佑ちゃんには「ボヤク材料がない」

11日深夜、TBS「S1」では、東北楽天監督時代の名物となった野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

「今日はあんまり元気ないですよ。ボヤク材料がないですよ」と切り出した野村氏は、「ゆうもあ大賞」受賞式で対面したという斎藤佑樹について、「佑ちゃんのことですよ。今日は褒めるしかない。こないだ会ったんですよ。本当に改めて、大人というか、出来あがった人間みて、悪くいや若者らしくない」と絶賛する。

さらに、「向こうから挨拶きて、こっちは返す言葉がなくて、プッと出たのが、“楽天あんまりいじめんなよ”って、そんな言葉しか出なくてね。今時珍しい本当に優秀な青年ですね。(沙知代夫人は) まあ、抱きついてましたよね」と続けた野村氏は、プロ野球界の新スター候補に対し、「欠点がないのが、欠点」とまで言い切った。

【Sports Watch】ダルビッシュに平野ファン激怒、その異性交遊事情とは

今月1日、自身のツイッター上で、「声優の平野綾さんの声が綺麗。どの世界もそうやけど、プロは違うね。」と突然呟き、周囲を驚かせたのは、北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有だ。

その後も、「ありがとうございます。光栄です(^-^)^ もっと頑張らなきゃ！って気持ちになりました。そして、とっても元気をいただきました！」と返す平野に対し、「色々辛い事もあ

と思いますがお互い頑張りましょう。辛さは皆平等にあると思います。素晴らしい才能をさらに伸ばしてください。自分もさらに精進します。」と続けるダルビッシュ。

さらに、「ご丁寧にどうもありがとうございます。ひとつひとつの言葉にパワーと重みを感じました。ダルビッシュさんに突き動かされる人はとても多いはず。私もその一人として、精一杯前向きに努力しようと思います。ありがとうございます。」と平野がツイートをする
と、ダルビッシュはここぞとばかりに「フォローさせて頂きました。 良ければフォローしてください(^^)」と返し、これまで誰もフォローをしてこなかった平野から初フォローをゲットしたのだ。

挙句の果てには、「DM 送りました。」というメッセージを送り、平野ファンの神経を逆撫でしたダルビッシュ。ネット上でも大きな話題となった一連の騒動について、本日 14 日(火)発売の「週刊アサヒ芸能」(12.23 号)では、『平野綾に「声が綺麗」ラブコールで大混乱「これは公開ナンパだ！」ファンが激怒した』との見出しで関係者の談話を伝えた。

同誌にコメントを寄せるアイドルライターは、「平野はコアなファンから“処女視”され、バラエティ番組で彼氏の浮気話や年上男性との交際を告白する恋愛トークをただけで、『死ぬ』『嫌いになった』とブログに書き込まれるほど。しかも、これまで一度もツイッターで特定の男性のフォローをしてこなかったことから、今回の騒動になった」と語り、平野ファン激怒の背景を説明しつつも、同じくコメントを寄せたワイドショーのデスクは、「すでに紗栄子夫人との離婚は確実な状態で、海老蔵騒動が起きた夜も、同じく六本木でモデルとの合コンを目撃されています。モデル以外にも、札幌ススキノのキャバクラ嬢、本命と言われる民放局女子アナ・M など、交遊は幅広い」とダルビッシュの異性交遊事情を明かすのだった。

その他にも、スポンサー&芸能プロによる“斎藤祐樹争奪戦”の模様など、独自の視点で伝える「週刊アサヒ芸能」は、全国の書店、コンビニ、ネットでも絶賛発売中。

- ・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)
- ・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】宮里藍、太極拳スイングを語る

2010 年、日本人最多の 5 勝を挙げ、9 週に渡って世界ランク 1 位にも輝く大活躍を遂げたプロゴルファー・宮里藍が、12 日放送、フジテレビ「Mr.サンデー」に出演した。

今年の躍進に勢いをつけた、44 年振りの開幕 2 週連続優勝について、「いいオフシーズンを過ごせていたので、準備が出来ている感じはしたけど、2 週連続は考えてなかった」という

宮里。今年の変化については、「やっぱりメンタルですね。去年1勝して、自分のスタイルに自信がついて、自分はこれでいいんだって思えたので」と語った。

また、3年間で1勝もできなかった時期を、「辞めなきゃいけないんじゃないかって感じました。自分のキャリアが終わったんじゃないか。不安からくる」と振り返り、それでも辛抱強くプレーを続けたことには、「一人では乗り越えられないので、応援してくれるファンの方だったり家族だったり。特に私の父は、ほぼ毎日電話をかけてくれた」と明かした。

さらに、宮里が1分以上かけて行うという太極拳スイングにも触れ、「呼吸だったり、苦手だなと思う場で、スイングのスピードが早くなる。力が入ると、筋肉が反応して（スイングの）スピードが上がってしまうので、それを身体に覚えさせる」と説明。コーナーの最後に司会の宮根誠司から、「アマチュアはどうやったらうまくなる？」と訊かれると、「練習じゃなくて自分を知ること」と説いた。

【Sports Watch】巨人・坂本、今季を振り返る「なんなんでしょうかね」

14日深夜、フジテレビ「すぽると！」では、巨人・坂本勇人のインタビューを放送、不本意な一年となった今シーズンを振り返った。

「自分では変えながらやったんですけど、うまくはまってくれなかった。たまにはまっと思ったら、ホームランだったり」という坂本。ホームラン数こそ伸びたが、反比例するように打率は下がり、シーズン終盤にはリズムを崩したのか、凡ミスも連発、1番の定位置から外されることもあった。

「打率が下がって、ホームランが上がっても、僕は嬉しくなかった。なんなんでしょうかね。ホームランが増えてたから長打って意識がどっかにあった」という坂本。10月のCSでは、「センター返しを意識してもホームランも打てたし、センターから逆方向狙っていったら結果が良かった」と振り返るほど、打撃の課題を修正して調子は上向いていた。

しかし、中日とのCSは腰痛により欠場。この時のことを「突然です。守備練習している時に腰にガツときたので。ここにきてやっちゃったかなっていう、最初はそんな感じでしたね。一番大事な戦いの時にチームの力になれないっていうのは、すごい何やってんだろうなって試合を観てた」と複雑な胸中を吐露した。

それでも坂本は、「プレッシャーというのはありますけど、それがあってこそ、野球をやっていて良かったと思う瞬間だと思うので、それはそれでいい経験でした。今年は」と前を向き、今シーズンを締め括った。

【Sports Watch】プロレスの場外乱闘に巻き込まれた女性が起こした訴訟の行方は？

2006 年 9 月 27 日、福岡県北九州市立小倉北体育館で開催された全日本プロレス「2006 FLASHUING TOUR」大会中、場外乱闘に巻き込まれ、足を骨折。後遺症が残ったとして、福岡県の女性が全日本プロ・レスリング株式会社と、代表取締役・武藤敬司を相手に約 4400 万円の損害賠償を求める訴訟を起こしたが、今月 16 日に福岡地裁で行われた第 1 回口頭弁論において、全日本プロレスサイドは請求棄却を求めている。

試合中、体育館の二階席に移動、そのまま場外乱闘を繰り広げていたレスラーが二階席から落下。下にいた女性に直撃し、負傷を負った。全日本プロレスは、女性の治療費の大部分を負担し、骨折は治ったものの、足首が曲がりにくくなるなど後遺症が残ったとされている。

プロレスの場外乱闘が会場の屋外や二階席にまで及ぶ、もしくは、場内にある高台から対戦相手を落としたり、そこからボディプレスなどの攻撃を加えるといった光景は珍しいことではなく、むしろ、プロレスというエンターテインメントショーの中では、見せ場の一つとなっている。

プロレス人気の低迷がさげばれ、決して経営が安泰とはいえない全日本プロレスにとっては、裁判費用もさることながら、判決の結果如何によっては存続の危機となる一大事でもあり、裁判の行方には大きな注目が集まりはじめている。

また、大手掲示板でも激しく議論が交わされている同問題。

「入場券に怪我しても責任取らねー云々とかないのか？」

「せいぜい 4、50 万じゃなかろうか」

「後遺症が事実でも 4400 万はちょっと欲張りすぎだな。」

「今まで誠意尽くしてきたんだから、200 万程度だろ。」

「これは妥当な金額だろ 一生ものの障害負っちゃったんだから 安いくらいだよ」

といった損害賠償額に関する投稿から、

「スポーツ観戦の怪我って保証外じゃなかったっけ？ぴあとかローソンチケットとかで券を買って、後ろにそんなことが書いてあったような気がする。」

「野球でボールが当たって文句言うのと同じレベル。」

「あれは、ショーだから、スポーツと違う。2 階席からの落下も、想定内だから管理不十分だったとしかいいようがない」

「乱闘じゃなくてショーだろ、記事おかしい」など、プロレスという特異なジャンルが故の考察も含め、実に多くの書き込みが今も続いている。

【Sports Watch】ROOKIES 俳優も不信感、進歩なき大晦日格闘技イベント
大晦日の格闘技イベント「Dynamite!!」開催が近づいてきた。

対戦カードも徐々に揃いはじめてはきているが、今も出場の当確線上にいる選手達は、あるかどうか分からない試合のために過酷な練習や減量に苦しんでいることを忘れてはならない。

それでも、テレビ局の意向が優先の「Dynamite!!」。K-1 イベントプロデューサー・谷川貞治氏は、嘘か真かホリエモンこと堀江貴文氏に参戦のオファーをかけたり、14日には、ROOKIES でブレイクした俳優・中尾明慶が、自身のブログ上で試合出場のオファーがあったことを明かし、「出演じゃなくて出場って！俺は噛ませ犬か。ボコボコにされるだけだわ。プロの方に失礼だよ」と不信感を露わにしている。

さらには「それに命をかけて、練習してるのに。確かに憧れはあるけど。やるなら、ちゃんと練習して勝たなきゃ意味がないでしょ。勝つには、時間が50万年くらいいるね」と綴っている中尾。

こうした意見は、極めて当然の感性と思えるのだが、それすらも無視して視聴率獲得に奔走するイベント。とくに「Dynamite!!」を中継するTBSは、毎年、さも当然のように魔裟斗や山本“KID”徳郁が出場した試合を延々と流し、過去には明確なテロップを入れず、一見リアルタイムに行われているような錯覚を与えて放送することもあった。

努力が報われず、テレビの食い物となるのはいつだって選手達だ。その主流が日本から米国に完全移行して久しく経つが、日本の総合格闘技界にとって最高峰イベントであるはずの「Dynamite!!」に今年も進歩は見られないようだ。

【Sports Watch】投手三冠王、広島・前田「一球だけで掴みました」

今シーズンは、最多勝、最優秀防御率、最多奪三振と22歳の史上最年少で投手三冠を達成し、沢村賞を獲得した広島東洋カープ・前田健太が、17日深夜放送のフジテレビ「すぽると！」に生出演を果たした。

契約更改には、「そうですね。楽しみです。いい成績だったので、気持ちよく一発でいきたいなと思います」と笑顔を見せた前田。「あんまり自分では実感がなくて、周りの人が喜んでくれて、やっと実感できるかな」と今シーズンの活躍を振り返った。

また、大きく成績を向上させた要因については、「ピッチングのレベルも上がったんですけど、(昨シーズンの)14敗も本当に悔しかったし、何か変えたいなと思って。あと、ストレートが今年よくなったので、勝てるようになりました」と語る。

そのストレートについては、「投げるコツみたいなものを掴んで、はやい球を投げられるよう

になって、投球に幅が出るようになりました。投げ方のコツですね。(3 回目の先発でコツを掴んだと言われているが?) 本当にその試合の一球だけで掴みました」と断言するのだった。

【Sports Watch】海老蔵殴打事件、元祖夜遊び J リーガーも“絡まれることはある”
歌舞伎俳優、市川海老蔵殴打事件で、傷害の疑いで逮捕された伊藤リオン容疑者。サッカーでは、J リーグのジュニアユースに所属するほどの腕前だったことから「元 J リーガー候補」などと伝えられていた。

19 日放送、TBS「サンデー・ジャポン」には、サッカー解説者の武田修宏氏がゲスト出演。リオン容疑者について、中学時代の監督のコメントを紹介しつつも、自ら行っていた麻布周辺での夜遊びにも言及した。

リオン容疑者について、「丁度昨日、当時の監督に電話したんですよ。“どうでした?”って話を聞いたら、中学校時代は真面目で素直。仲間を大事にすると。スピードがあって、ジャンプ力もあって、当時は本当に順調にサッカーをやっていたら、今プロで活躍するくらいの実力はあった。ただ、高校に行った時に、定時制の高校にいて、練習を沢山休むようになって、チームも辞めてしまった。色々な報道がされていますけど、当時の監督は、当時リオン君は非常に仲間を大切にする真面目でいい奴だったってことを言ってくれてって言われた」と明かす武田氏。

だが、殴打事件があった麻布周辺は、「あの辺はいけなくなりますし、避けますよね。昔は行ってましたけど。若い時は毎週行ってましたけど、今は月 1 くらいですね。(絡まれることは) ありますよ。写メールとかでカシャってやられて、“何撮ってた”って言ったら、“こんなところ来てるからだろ”って」と、元祖夜遊び J リーガーならではのエピソードを語りながら、「女性同伴ですか?」と聞かれれば、「女性といると、帰りのタクシー代とかいろいろ面倒くさいので」と答え、周囲のゲストを呆れさせた。

【Sports Watch】里田まい、マー君との結婚を機に独立か!?
先月、東北楽天ゴールデンイーグルス・田中将大と人気タレント、里田まいの熱愛報道が世間を騒がせたが、その後も二人は、バリ島に極秘旅行をするなど、交際は順調の様子だ。

そんな折、21 日(火) 発売の「週刊アサヒ芸能」(12.30/1.6 号) では、『里田まい 「マー君と結婚」で独立を画策! 「ポスト紗栄子を狙っています」』との見出しで、熱愛報道の裏側を伝えた。

「実は、マー君のほう完全に里田にメロメロ。シーズンの最後のほうでは、毎試合後に、都内にいる里田に『帰るメール』までしていました。マー君自身、周囲に『いつ結婚しても

いい』と話しており、1人暮らしのマンションの一角はすでに『里田コーナー』ができていて、私物も搬入済みだとか。里田も仕事がない時には頻繁にお泊まりもしているようです。同誌に掲載された楽天関係者の談話である。

だが、同じく同誌にコメントを寄せる芸能関係者は、「実は結婚を機に、所属事務所から里田を独立させようとしている芸能関係者がいるんです。里田も信頼を寄せている人物で、これには、周囲もかなり困惑しているようです」と明かし、「これは、里田に近い関係者が漏らしていたようなんですが、現在、ダルビッシュと離婚協議中の紗栄子がかつて持っていたイメージの“よき人妻”キャラとして売り出そうというのです。結婚を機に、芸能活動をセーブ、そして、結婚生活をブログなどで小出しにしていく作戦のようですね」とも語っている。

ヘキサゴンブームにより、人気に陰りがみえていたといわれる里田。マー君との交際は事務所にとっても吉報だったと言われているのだが、結婚を機に独立をされてはたまったものではないだろう。詳細は同誌をチェックしてほしい。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】斎藤、大石、福井。三者三様のドラフト会議

25日放送のTBS「情報7days ニュースキャスター」では、同番組が斎藤佑樹に密着したという1442日の模様が放送され、プロ野球ドラフト会議直前の本音や、テレビでドラフト会議の行方を見守る斎藤、大石達也、福井優也の映像を公開した。

ドラフト直前、車中でのインタビューに「すごい楽しみっていう気持ちと、不安な気持ちと、色んな気持ちが混ざっています。ヤクルトとロッテの人が一年くらい前からずっと言ってきてくれているじゃないですか。ドラフト1位で斎藤、高く評価している、それは本当に有り難いです」と語った斎藤だが、窓の外を見ながら、「あ、カレラ、ポルシェ。カイエン乗りてえ。青山って、すげえオシャレだと思うんですけど、結構緑があるじゃないですか。青山に土地買っちゃババいですか？ビッグになろう」と無邪気な一面ものぞかせた。

また、早稲田大学野球部寮でドラフト中継を見る斎藤ら。西武がくじを引き当てた瞬間、野球部の仲間達とハイタッチをして喜ぶ大石に対し、斎藤は日本ハムと決まった瞬間、腕を組み笑みを浮かべて大きく頷いた。

しかし、一巡目で指名のなかった福井は、外れ一位で広島となるも、チームメイトが多くの指名を集めたこともあり、本人は「(広島以外には) もう無いじゃん」と呟き、番組には「ヤクルトとロッテが外れ一位を結構前からいってくれてたんで、自分も外れ一位でくじにな

るかなと変な期待を持っていた。複雑な心境でした」と本音を吐露した。

【Sports Watch】松井秀が言いたい放題「もし対戦したら、笑っちゃう」

25 日深夜放送、TBS「S1」では、今月オークランド・アスレックスと一年契約を結んだ松井秀喜を、野球解説者・榎原寛己氏が訪問。ニューヨークでインタビューした模様を放送した。

「嬉しかったですよ。一番最初に声をかけてくれましたし、絶対必要なんだって強い気持ちで誘って頂いたんで」という松井。オファーについては、「幾つかお話は頂いていましたけどね。日本のチームは何もなかったと思いますけど」と明かしつつ、“もともとアスレックスファンだった？”と訊かれれば、「そうなんです。80 年代後半、アスレックスがすごい強かった時期があったんですけど。カンセコ、マクガイア」と嬉しそうに語った。

来シーズンに向け、「まあ、ちょっと（アスレックスの球場は）広いですけどね。ちゃんと当たれば、（ホームランは）何本か打ってますから。そんなに悲観はしてないですけど。最低でも 20～30 本の間は打ちたいですね」と意気込むも、ビデオレターで登場した上原浩治のもみあげを見ると、「これはダメですね。長すぎですね。気がついたらクローザーやってましたね。その辺の帳尻合わせは天下一品ですね。あいつ来年いないと思ってましたからね。僕より先に契約してましたよ。もし対戦したら、笑っちゃうと思うんですよ」と言いたい放題だった。

また、自身の現役生活についても言及し、「身体は 10 年前と一緒にいけば、一緒じゃない。打つことは、そんなに違いを感じていない。まだ技術を色々追求していけるかなって気持ちはあるんですけど、身体がついてこなくなってくると厳しいですよ。全く考えないっていったら嘘になる。かといって、現実的にユニフォーム脱ごうかなとは思えない」と語った。

【Sports Watch】野村氏が“今年一番気に入らないこと”とは？

25 日深夜、TBS のスポーツ番組「S1」では、野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

「一週間が早い。刻々とあの世に近づいております。本当に一年が早い」と切り出した野村氏は、「今年の（ボヤキ）ベスト 1 いいましょうか。用意してきました」と話すや、“憤”と書かれた色紙を掲げる。

「まあ、色々あるなかで、一番自分が気に入らないことは、140 試合 3 位のチームが日本一という言葉を使っている。ただ、日本シリーズで勝っただけ。ペナントレースは 3 位。ソフトバンクの立場がないよ。たった 5 試合かなんかで負けただけでね」と語り、「とりあえず、

このシステム。3位のチームが日本一なんてことにならないように、なんとか根本からルールを変えて貰いたい。まだアメリカの方が許せるよ」とCS制に怒りのボヤきを披露した。

【Sports Watch】岩隈 “7年105億報道”に「一切ないです」

ポスティングシステムで大リーグ移籍を目指していた東北楽天・岩隈久志とアスレチックスの交渉は破談となり、岩隈は楽天残留が決定した。TBSのスポーツ番組「S1」（26日深夜放送分）では、スポーツジャーナリストの二宮清純氏が聞き手となり、その胸中を語った。

「向こう側の僕に対しての誠意とといいますか、必要としているか、必要とされていないかを僕の中で判断したとといいますか。今回の交渉の一回目の段階でこちら側から交渉する余地なく終わってしまった部分もあったので、そういうところ（誠意）が伝わってこなかったですし、僕の中では、どれだけお金を積まれても今回はいかなかったと思いますね」と振り返った岩隈。

二宮氏が「岩隈選手サイドがかなりふっかけてきたと。7年105億なんていう報道もあったりしたわけですが」と尋ねるも、「一切ないです。僕らと代理人とオークランド側のほうでは、こういう話がないとか分かっているけど、それが報道に出ていけば、“岩隈、すごい要求したな”みたいな、そうなるわけじゃないですか。苦しかったっちゃあ、苦しかった。本当にこちら側から要求を出すことなく終わってしまった」と語った。

【Sports Watch】斎藤佑、5年後にテレ東アナと結婚!?

27日深夜放送、テレビ朝日「いいトコ突くねえ！データ朗」では、お笑い芸人・柳原可奈子がプレゼンターとなり、「斎藤佑樹は2015年にテレビ東京のアナウンサーと結婚する」という分析結果を紹介した。

プロ野球選手の「直近5年の結婚例75組のデータ」から、3位タレント・女優（9%）、2位モデル（11%）、1位アナウンサー（29%）という順位を紹介。局別データでは、2005年までの東京民放5局で、日本テレビ（2人）、テレビ朝日（1人）、TBS（3人）、テレビ東京（2人）、フジテレビ（4人）という結果であることを伝えた。

だが、ここ5年では、テレビ東京のアナウンサーが3人増え計5人となり、フジテレビと並んだため、このペースで増え続けることを前提に、10年後には女子アナウンサーがプロ野球選手をゲットするうちの87.5%がテレビ東京になるとした。

また、「野球選手が結婚する平均年数は、プロ入りから4.5年後」（条件：同上）というデータも紹介し、前述した通りに「斎藤は2015年にテレ東アナと結婚」と考察したわけだが、30人中13人の賛同を得るに留まった。

【Sports Watch】香川に続く日本人選手のドイツ・ブンデスリーガ移籍が決定

ドルトムントに所属する香川真司が活躍し、日本でもこれまで以上に注目を集めることになったドイツ・ブンデスリーガに、新たな日本人選手の移籍が決まった。

30 日、サンフレッチェ広島の公式サイトでは、「槇野智章選手、1.FC ケルンへの完全移籍合意のお知らせ」というニュースを掲載。かつては、奥寺康彦が在籍したこともある、ドイツ・ヴェストファーレン州ケルンに本拠地を置く 1.FC ケルンへ、槇野の移籍が決定したことを発表した。

【Sports Watch】元プロ野球選手の大晦日格闘技参戦に、松坂と上原がコメント
横浜ベイスターズ、オリックス・バファローズに所属した元プロ野球選手・古木克明が大晦日の格闘技イベント「Dynamite!!」において、格闘家デビューを果たすことになった。

30 日深夜、TBS で「大晦日はダイナマイト 決戦まであと 20 時間 SP」が放送されると、番組のインタビューに対して、「正直、野球にも実力の限界を感じていた。僕にとっては厳しいかもしれないですけど、いい選択。自分の持ち味を活かせるところでやってみたい」と古木は語った。

また、同番組内では、松坂大輔や上原浩治らも、古木にコメントを寄せる。「カッチャンのこと知ってる野球ファンも楽しみにしていますし、その期待を背負って戦うのは簡単なことではない、難しいことだと思いますけど、カッチャンならやれると思います」という松坂に、上原は「そういう舞台に立てる人って少ないと思うので、思い切ってやってほしいな。野球選手がどこまで通用するか、すごい期待しています」と語った。

・海外格闘技情報へ - MMAPLANET

・国内格闘技情報 - FIGHTISLANDS

【Sports Watch】サップ、試合直前でまさかのドタキャン
大晦日恒例イベントとして、12 月 31 日にさいたまスーパーアリーナで開催された「Dynamite!!」では、総合格闘技（DREAM）ルール、K-1 ルールなど、計 14 試合が行われた。

しかし、その大会前には、大相撲元幕内・若麒麟の鈴川真一と「IGF 特別ルール」で対戦する予定で、前日の記者会見にも登場していたボブ・サップが、戦意喪失により、まさかのドタキャン。昨年 11 月にも、スウェーデンで行われた K-1 の試合時、1 ラウンド約 90 秒を経過したところで戦意喪失により（詳細はコチラ）、アッサリと試合を諦めたばかりだったが、遂には試合直前のドタキャン劇となった。

K-1 イベントプロデューサーの谷川氏は、当日、自身のツイッター上で「ボブがドタキャン

の情報が…もう、笹原君に任せよう」「まだもめてる。僕はボブ説得する気力が出ません」と呟きつつ、ファンから寄せられた「そもそもボブ・サップの試合を見たいと思ってる人がいるのかという問題がw 誰がオファー出したのか・・・」という問いには、「ズバリ猪木さんです!」と返答した。

また、DREAM 公式サイトでは、「アントニオ猪木プロデュースによる IGF 特別ルールとして行われる予定だったボブ・サップ VS 鈴川真一は、サップの戦意喪失により、鈴川の不戦勝が発表された」と掲載され、試合は鈴川の不戦勝とされている。

・雪のストックホルムにキシエンコ、サップが登場、結果は…

【Sports Watch】魔裟斗、解説中にも怒り心頭「すげー頭にきてた」

12 月 31 日、さいたまスーパーアリーナで開催された「Dynamite!!～勇気のチカラ 2010」において、大会 MVP 級の活躍を遂げた一人は、いわずもがな、DREAM ライト級王者・青木真也に 2 ラウンド開始 4 秒で膝蹴りを叩き込み、KO 勝利を挙げた長島☆自演乙☆雄一郎だろう。

この試合は、DREAM 特別ルールと銘打たれ、1 ラウンドは長島の専門分野である立ち技ルールで、2 ラウンドは青木の専門分野である総合ルールで行われたが、1 ラウンド時の青木は故意にクリンチやドロップキックを繰り返して時間を稼ぐ王者とは思えない手法を用い、会場にはブーイングが起こっていた。

しかし、2 ラウンド。自分の得意分野となり慢心したのか、開始早々に不用意にタックルに入ったところで長島の膝蹴りが炸裂、なんと、自らのフィールドである総合ルールで敗れる屈辱の KO 負けを喫した。

現在もネットを中心に批判的なコメントが集まっている青木の戦い方だが、この試合では勝利を挙げた長島並みに興奮を隠しきれない男がいた。それは、解説を務めていた魔裟斗だ。

青木の戦法に不快感を感じていたという魔裟斗は、自らが所属するシルバーウルフで練習を積んでいる長島の勝利と、青木が KO 負けした瞬間に喜びを爆発させた。解説にも関わらず、立って拍手を送ると、「1 ラウンド、すげー頭にきてたもん」、「K-1 舐めんな」など興奮気味に言い放つ。

また、冷静になった数分後に改めてコメントを述べると、青木の戦い方に、「人生逃げてちゃ勝てないんですよ。1 ラウンドは逃げてたじゃないですか。やっぱり、逃げてちゃいけない

い。人生一歩前へ出ろ」と元 K-1 世界王者として、DREAM 王者に苦言を呈すのだった。

・海外格闘技情報へ

・国内格闘技情報

【Sports Watch】カズぶっちゃけ「息子が不二子ちゃんの服脱がして……」

日本テレビ「心ゆさぶれ！先輩 ROCK YOU」（2 日放送分）には、横浜 FC・三浦知良がゲストで出演した。

「カズって言われるのは慣れているので、（呼び捨ては）全然 OK です」と笑顔を見せたカズ。あしたのジョーがあまりに好き過ぎて、「子供の時、こういう帽子（ハンティング）被って、ずた袋持って町を歩いていたんですよ。カッコよかったですね、ビジュアルが。でも、不思議なことに、今、中一の息子が同じ格好しているんですよ。この前の誕生日に“何が欲しい？”と思ったら“帽子とずた袋欲しい”って急に」という意外なエピソードも明かした。

また、もう一つ、ルパン三世のファンでもあるカズは、「（あしたの）ジョーの部分が自分のサッカー選手、ルパンの部分が私生活」と話すと、「これまた息子も好きなんです。下は今 8 歳なんですけど、ルパンのフィギュアがあるんですよ。あげたんですよ。そしたら、下の息子が不二子ちゃんの服脱がして、おっぱい出さしちゃった。DNA ですね」とぶっちゃけた。

さらに、カラオケ好きを訊かれたカズは、「ライブですね。（“カラオケ行こう”ではなく）“ライブ行こうか、俺の”って。（周囲の人は）10 曲に 1 曲くらい。コーラスだったら、入ってきてもいい。あと、ダンサーとかエアギターとか」、「皆さん、カラオケ行った時、帰る時、なんていいます？お勘定して下さいですね。（カズの場合は）“ギャラの清算して下さい”っていう」と語ったが、MC の加藤浩次からは「カズさんが（お店に）ギャラ払ってる」と突っ込まれた。

【Sports Watch】香川、ドイツで活躍する要因語る

4 日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では、ドイツ・ブンデスリーガのドルトムントに所属する香川真司が出演。172cm と小柄で、体格では後れをとりながらも、ドイツの地でゴールを量産する、その要因を語った。

8 月 22 日、ドイツリーグの開幕戦（vs レバークーゼン）で開始 9 分、最初のシュートをねらった場면을挙げた香川は、そのファーストタッチで相手 DF を一瞬にして抜き去ったことに触れると、「自分の中ではイメージ通り、ファーストタッチで相手を抜けました。ファーストタッチでいかに前を向いて、どこにボールを置くか。常に動きながら、ボールを蹴るように意識していますね。いかにスペースにボールを運んでトップスピードになれるか。止

まらず、入りこんでいく姿勢が今ゴールに繋がっているのかなと思います」と明かした。

また、今月行われる AFC アジアカップについては、“仕掛ける”とフリップに書き込み、香川は「常にゴールに向かって仕掛ける。自分の真価が問われるので楽しみ」と意気込むのだった。

【Sports Watch】“飛ばないボール”で野球人気が回復か？

4 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（1.13 号）では、「2011 年ニッポンを大予測する！」と題した特集を展開。中でも、プロ野球については、公式球の中心部を従来のものより低反発の素材に変更した、通称“飛ばないボール”に統一することもあり、『「飛ばないボール」で試合が 10 倍おもしろくなる！』との見出しで、2011 年シーズの展望を伝えている。

同誌にコメントを寄せる、元プロ野球選手・大道典嘉氏は「もはや、小笠原（道大）やラミレスがホームランを量産するという展開は難しくなる。重量打線の巨人ですら、つなぎの野球が求められるでしょう。それこそ、（阿部）慎之助にも（高橋）由伸にもバントのサインがでます」、「ちょっとしたミスをしたほうが負け。堅実に守り勝つ野球をしたチームが優勝に近いでしょうね。2 対 1 といった緊迫ゲームが増えるから、野球人気は回復するチャンスにもなるでしょう。もちろん、セ・パともに。特にセは、5 球団が最後まで手に汗握るデッドヒートを繰り広げるでしょうね」と語りつつ、横浜については、内川や寺原が抜けたこともあり、「4 年連続の 90 敗以上は十分にありうるでしょう」とした。

また、記事の後半では、在米スポーツジャーナリスト・梅田香子氏が松坂大輔の復活を断言、その理由を力説しており、今年は日米ともに野球から目が離せなくなりそうだ。「週刊アサヒ芸能」は、全国の書店、コンビニ、ネットでも絶賛発売中。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】應武監督、斎藤らに最後の教え。“プロはとんでもない世界”

斎藤佑樹、大石達也、福井優也と、3 人のドラフト 1 位指名選手を輩出した早稲田大学野球部の監督を務め、すでに勇退が決まっている應武篤良氏。8 日深夜放送、TBS「S1」では、昨年末に実現した應武氏と、斎藤、大石、福井による食事会の模様を放送した。プロの舞台に立つ教え子 3 人に、應武氏が送った最後の教えとは――？

「一番寂しいなと思ったのは、新聞で斎藤はやや大きめに。下に大石が写っているわけよ。広島カープは福井。一枚に 3 人載ってるんだけど、全然違うのよ。今までは、同じユニフォームで同じ話題で 1 つのものでいたじゃない。それが、一人は北海道で、テレビを見ると“さぶっ”とか言ってるし、帰ってこいよなんていう気になったな」と明かす應武氏。

プロ入りする 3 人に向けて、「オープン戦は一軍確定の選手は、あえて球を見にくる。“斎藤ってどんな球投げるんだろう”って。例えば、ヤクルトの青木なんて、わざと三振すると思う。でも、三振したからって、青木を二軍に落とす監督はいない。逆を言ったら、松本啓二朗（横浜／早稲田卒）が引っ掛かった」と切り出すと、「オープン戦はバカバカ打った。松本啓二朗、横浜のトップバッターで当確、合格みたいな。（公式戦）プレイボール、全く打てない。ピッチャーは、（オープン戦では）どこが打つかって投げてた。松本啓二朗は外に変化球落としたら打てないっていうのが分かって、1 ヶ月足らずで二軍だよ。一軍のピッチャーはどこが打つかって投げてる。斎藤がオープン戦で抑えました。絶対開幕一軍。（だが、公式戦がはじまれば）ガーっていかれる。だから、6 割くらいでスタートしないと。オープン戦で 10 割投げ切ったら、ペナントレースはもたん。俺が最後に送る言葉はそれだ。これで 1 億円っていうものを稼ぎ出そうとする選手の集まりだから、とんでもない世界だということを知っておかないといけない」と語ったのだった。

【Sports Watch】巨人の助っ人補強に、ノムさん「外人担当スカウト、しっかり見ろよ」
8 日深夜、TBS のスポーツ番組「S1」では、今年最初となる野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

今回のぼやきは“外国人助っ人選手”について。年明け、巨人がロイヤルズに在籍したブライアン・バニスターと契約し、他球団を遥かに凌ぐ 12 人目の外国人登録選手が誕生したが、野村氏は「今日は敬意を表して、日本で一番人気チームの巨人の補強策について。ちょっとクレームでもないんですけど、巨人の球団、原監督の気持ちはものすごく分かるんですよ。つまり、外人選手の補強が 12 人かな。ちょっと多いんじゃないかっていう」と切り出した。

また、「裏を返せば、アメリカもいい選手がいらないんですよ。スカウトもこの選手なら絶対働いてくれるって、自信を持って球団に差し向ける選手がいらないから。補強っていうのは、いいピッチャーはトレードで取れない。アマチュアでも、今年は 3 人出ましたけど、だいたい 1 人いればいい方。なかなか思うように投手の補強はできない現状ですから、気持ちは分かるんですけど」と続ける野村氏は、「ボヤくとすれば、外人担当スカウト、しっかり見ろよと。無駄なお金を使うな」と苦言を呈した。

【Sports Watch】日本代表引き分け、セルジオ氏“一番惨めだったのは…”
カタールで開催中のアジアカップで 2 大会ぶり 4 度目の優勝を狙う日本代表は、9 日に 1 次リーグ初戦でヨルダンと対戦するも、1-1 という不本意な結末に。同夜、テレビ朝日「やべっち F.C.」では、サッカー解説者・セルジオ越後氏が「30 点」という厳しい評価を付けた。

「相手が引いてくるのは、誰でも予想しただろうし、日本がボールを支配するのも、その通りの試合になったんですけど、点を獲りにいく貪欲さが全然感じなかったんですね」という

セルジオ氏。

対戦相手のヨルダンについては、「うまいチームだとは思わないですね。激しいチームですね。引いてやるというのは予測してたんですけど、日本も技術は持ってるけど、気持ちがね。ロスタイムにだけ、（食欲な）サッカーやっても追い込まれてるから、もっと最初からやるべき」と苦言を呈し、「個人的に一番惨めつつーのは、最後に日本が引き分けて喜ばなければいけないという試合だったこと。勝たなくてはいけない試合だった」と悔やんだ。

【Sports Watch】雄星との間に何があった!? デーブ大久保氏「これが暴行って言えますか」
昨年 7 月、二軍選手への暴力行為などが問題視され、コーチを務める埼玉西武ライオンズを解雇されたデーブ大久保（大久保博元）氏。同氏は、地位保全と報酬支払いの仮処分を求めたが、昨年 12 月、東京高裁は即時抗告を却下している。

現在は、「デーブ・ベースボールアカデミー」という野球塾を主宰するなど、精力的に活動しているデーブ氏が、11 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」(1.20 号) の人気コーナー『テリー伊藤対談 「オフレコ厳禁」』に登場、その本音をぶちまけた。

対談の中では、「これでコーチをクビになったら、誰もコーチなんかできないですよ」と切り出すや、暴力行為の対象となったとされる菊池雄星については、「簡単に言えば、雄星の持っている純粋なイメージとは違う一面を見せられたということですかね。田舎の高校を出て、野球しかやらず、トイレ掃除をして、みたいなイメージがあるじゃないですか。でも、話していると、だんだんそんな様子じゃないなのというのがわかってくるんです。周りの噂もそうですね」と語り、「夜、街を出歩いてるとかですね。それは僕らもやってましたけど、ケガしてる時は寮にいなきゃいけないルールがあるんです。それを今回、球団は外出禁止なんかないって。じゃあ、俺たちが外禁食らってたのは何だったのって、みんな思ってるわけですよ」と続けた。

また、「ルール破って遊びまくってるから、お前ダメだよって。俺は球団に迷惑をかけたけど、お前もかけるよ、お前だけの問題じゃなくなるんだよって言ったんですけど、だんだん挨拶もしなくなってきた」と明かしたデーブ氏は、「これはもう限界だなと思って、朝の練習前に『座れ』って言ったんです。そしたら、こっちをにらみつけて『何で僕が座るんだ』って顔を間近まで近づけてきたんで、僕は引き離そうと思って、雄星の頭を平手でパチンって一発ひっぱたきました。これが暴行って言えますか」と主張した。

その他にも、同誌におけるテリー氏との対談では、工藤公康ら他のコーチが目撃していたことや、早朝練習で遅刻者から罰金を取ったとされる一件に対する誤解、渡辺久信監督の言葉など、デーブ氏は存分に語り尽してた。詳細については、是非同誌を確認してほしい。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】カズ×ヒデが日テレで対談、代表戦言及も“ヒデに怒られた”

13日深夜、日本テレビ「NEWS ZERO」では、サッカー元日本代表・中田英寿と、横浜FC・三浦知良が対談した様子を放送。元代表メンバーが集まって観戦したというアジアカップ＝日本×ヨルダン戦について語った（以下に対談を要約）。

中田（以下、ヒデ）：代表の試合観てたじゃないですか、ヨルダンの試合。観てて非常にうまいし、個人個人の能力がすごい上がって、海外でやる人も沢山増えてきてるけども、一生懸命きてる相手に、一生懸命だけやってたら難しい部分があんじゃないかな。当然、最終的には自分達の力で押し切れる部分があるんですけど、ただ、なんか一生懸命やり過ぎちゃって苦勞している部分が見える。

三浦（以下、カズ）：もうちょっと余裕をね。やっている人達は大変なんだろうけど。

ヒデ：向こうが引いて守って、カウンターできて。だったら、それをイヤらしいプレーしながら引き出して、個人能力というところではなく、いかにチームでやる。省エネじゃないけど、より苦勞しないやり方ってあるんじゃないかなって観てて思ったところですね。

カズ：日本がボールまわしてね。相手が消耗する筈なんだけど、日本も消耗してっちゃうってことなんだよね。

ヒデ：観てて、もどかしいというか。もう少し余裕をもってやると昨日（ヨルダン戦を指す）もそこまで苦勞しなかった気がするし。

カズ：ヒデなんか、そういう目で代表を見てんだなって。秋田（豊）なんかは、監督の目で。監督経験ある人もいるから。で、ヒデはヒデの目線で、こういう立場で観て。僕なんかサポーターみたいに騒いで。

ヒデ：試合前から「おっしゃー、いくぞー」って言いながら入ってきて、「カズさん、うるさいから」って。

カズ：ヒデに怒られて。サポーターじゃないんだからって。色んな見方があって、いいプレーがあると盛り上がっちゃって、みんなは冷静に分析して。秋田なんか、仁王立ちになっちゃった。ディフェンスのこと言ったり、それぞれ見方があって、撮って貰いたかった。

ヒデ：この状況をカメラで撮って、YouTube に載せたら面白いんじゃないかって。

<続く>

【Sports Watch】カズ×ヒデ対談、“サッカーのうまいやつが少なくなってる”

日本テレビ「NEWS ZERO」（13 日放送）番組内で行われたサッカー元日本代表・中田英寿と横浜 FC・三浦知良による対談。日本×ヨルダン戦の感想に続き、その中盤では、二人が共通して持つサッカー観に触れた。

カズ：この前の W 杯も含め、その財産でやってる部分がまだまだ多い。ザッケローニ監督の色が出ているかって言ったら、まだまだ出てない。もちろん、代表っていうのは、勝ちながら成長していかなきゃいけないチームだと思うんでね。それを両立してやるっていうのは大変なことなんで。いい結果出してほしいですけど、準優勝したからダメとか、優勝したからいいとかではなく、チームとして全体としてサッカーができたか、そういうことが大事じゃないかな。

ヒデ：最近、他の選手より走れるっていうのは大事だし、90 分走り続けていいプレーするっていうのは大事だけど、実際にボールを触っている場面なんて少ないじゃないですか。1 分、2 分。

カズ：90 分で 1 分か、2 分なんだよね。やっぱりクオリティの部分で、どれだけ高いプレーができるか。ある意味、走るとか当たり前の部分があるし、それはみんなやれることだけど、テクニカルな部分で魅せられるとか、自分の特徴出すっていうのは、なかなかできないから。

ヒデ：サッカーを知って、サッカーがうまい。ただ、走れる、身体能力が高いではなく、サッカーの中でうまいプレーができるのか。すごい少なくなってるなあっていう気がしますね。

カズ：それすごい大事なことだと思うんだよね。サッカーなんだから、そこまで走らなくてもいいよっていうのもあるんだよね。本当に。うん。

ヒデ：サッカーのうまさって何かっていうと、相手との駆け引きであったり、自分が必ずしも全力で頑張ることが必ずいい結果になるかというところではなく、いかに周りを使えるか。自分が生きるために、最後は他の選手を使えるか。ずる賢さ。技術がうまいヤツは沢山いるし、だけど、サッカーのうまいやつっていうのは、駆け引きも含めて何となく少なくなってるかな。

カズ：このニュアンスって、ちょっと伝わり辛い部分もあるんだよね。ヒデが言ったのも、その通りだなんて。サッカーがうまいっていう。ボール扱いのがうまいというのも違うし、シュートがうまいとか、そういうことじゃない。サッカーがうまい。

【Sports Watch】松井秀が語る「お荷物的な存在にはなりたくない」

フジテレビ「すぽると！」(11日深夜放送)では、今シーズンより、オークランド・アスレチックスの所属となった松井秀喜に、三宅正治アナがインタビューを行った様子を伝えた(収録は2010年)。

アスレチックス入りについて、「どこかの線では決まるだろうなと思ってましたけど、決して不安というわけではなく、ゆっくり構えてたんですけど。自分の中では意外と早く決まったなという感じはしました」と語る松井。日本球界カムバックには、「今年に関しては、考えてなかったですね」と答えたが、三宅アナが「先々は…」と尋ねるや、「さすが、そういうところはツッコみますね。まだ考えてないです」と笑顔を見せた。

また、「簡単にいえば、毎日打線の中に入って点を入れること。こちらにきてからは、しっかり打点を稼いで、今ここまできたと思ってる。その辺を出せていけたらいい」と意気込んだ松井は、好不調の差が大きかった昨シーズンを振り返って、「正直、分からないんですよ。自分でも。もちろん、波はあって当然なんですけど、ハッキリ出てしまった。(膝とは)違うところにあると思います。膝に関しては今年はよかった。去年よりは体調もよかった。ただ、一番がっくりくるのは、打率なんですよ」と明かしたが、「野球辞めるまで捨てたくない。ホームランは打ち続けたい。そういうところを変えてまで、やりたくないなっていう気持ちはあります。そう思った頃には先が見えてくるところ」と、改めてホームランへの強いこだわりを見せた。

さらに、引退については、「(意識を)する時もありますね。具体的ではないですけど。いつきてもおかしくないなと思っているだけであって。言い方が悪いですけど、お荷物的な存在にはなりたくないですよ。ベテランは気を遣われますから、そういうことを感じながらしたくない」と語った。

【Sports Watch】武田氏キッパリ 「チャンスを100%決めてたんです、僕らの時って」

日本時間17日、アジアカップ・グループリーグにおいて、サウジアラビアと対戦する日本代表。ここまでは、ヨルダンと引き分け、シリアに勝利を挙げているが、専門家はどうのような評価をしているのか。15日深夜放送、TBS「S1」では、元日本代表の武田修宏氏と柱谷哲二氏が行った対談の様子を伝えた。

「W杯の時、確かに岡田ジャパンは成績を伸ばしたと思うんだけど、守りっぱなしのサッ

カー見たい？確かに優勝とかベスト 4 に入ってほしいんだけど、どれだけ攻めて勝てるんだろう。そこを注目してるんだよね」と切り出す柱谷氏は、日本代表が挙げたシリア戦のゴールを絶賛したものの、「前半で 2 点、3 点取って決めてなきゃいけないよね。あれだけ力の差が見えてたらね」と続けた。

また、武田氏は、「例えば、香川の第一戦（ヨルダン戦）、決定的な場面があったでしょ。あれ、カズだったら決めてますよね。ああいうチャンスを 100% 決めてたんです、僕らの時って。10 本打ってたら、10 本決めてましたよ、カズさん」と見得を切る場面もあったが、GK・川島のレッドカードなど、不可解な判定が連続したシリアには、「（判定で）色んなことってますけど、アウェイではありますよね。あの、岡崎君のも（PK を獲得した）ファール取らなくないですか。あれ、普通（アウェイなら）取らないですよ」とキッパリ。アウェイで戦う厳しさを説いた。

【Sports Watch】ノムさんボヤク「佑ちゃん、ちょっと騒ぎ過ぎ」

15 日深夜、TBS のスポーツ番組「S1」では、毎週恒例となった野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

「一週間も経ちますとボヤク材料には事欠かないですね」と話し始めた野村氏は、「世間で騒がれているタイガーマスクって何だありゃ。まあ、いいことやってるからね。伊達直人、うちに渡辺直人（現・横浜）って、あいつとは違うんだろうね」と軽くボケを披露した。

そんな今週のボヤキネタは、ずばり斎藤佑樹だ。「斎藤佑樹。佑ちゃん、ちょっと騒ぎ過ぎ。長い間、野球界にいて、キャンプ始まる前から騒がれた選手って、いないことはないんですけど、太田幸司から始まってって、ちょっと古いな。定岡とか松坂、松井とか荒木大輔とか。この時期にこれだけ騒がれたことはないと思う。一番聞きたいのは、彼がこんだけ騒がれて不安じゃないのかな。期待に応えなきゃいけない責任感。結果が全ての世界だから、その辺はちょっと心配している。彼はしっかりしているから、大丈夫だとは思いますが」と新旧スター選手の名前を出しつつ、ファン＆マスコミが過熱気味に集まる斎藤に対し、気遣いを見せた。

【Sports Watch】佑ちゃんフィーバーも、地元商店「テレビの取材はもう受けたくない」

今月 11 日、北海道日本ハムファイターズの千葉県鎌ケ谷の「勇翔寮」に斎藤佑樹が入寮するや、多くのマスコミ＆ファンが殺到。以降、連日に渡って佑ちゃんフィーバーが伝えられている。

その一方で、加熱する取材合戦は、プロ一年目という大事なスタートラインに立つ斎藤にとって妨げにもなる行為だ。18 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（1.27 号）では、『斎藤佑樹が「狂乱テレビ取材」に潰される』と題し、その周辺情報を伝えている。

自主トレ初日には、テレビカメラ 40 台、報道陣 230 人が詰めかけ、その一挙手一投足を追ったが、同誌にコメントを寄せた地元商店関係者は、「テレビの取材はもう受けたくない。次から次へ入れ代わり立ち代わりでやって来るんだけど、事前に練ったシナリオどおりに映像を撮ろうとするあまり、街のフィーバーぶりをあおるような質問しかしてこない。野球ファンばかりが暮らしているわけじゃないから、大騒ぎに違和感を感じている人だっているんですよ」と語り、報道の実態を明かす。

また、球場から寮へと引き揚げる斎藤に対し、カメラマンが押し寄せ、球団広報が注意を促す一幕もあったというマスコミ各社の取材合戦だが、同誌は「一步間違えれば、斎藤がケガをするという不測の事態だって起こりえる」と警笛を鳴らす。

レポートの後半では、球団関係者が「斎藤のバブルはいつまでもつかわからないよ。というのも、ドラフト後に斎藤自身も『通用するか不安』と周囲にこぼしていた。実力の部分は本当に未知数。正直、同じ新人でも 150 キロのストレートに落差のあるフォークを投げる榎下陽大（22）、大学 4 年生時に調子が悪かったが昨年まではドラ 1 候補で、しかも左腕の乾真大（22）のほうが期待度は高いとの声もある。斎藤は MAX150 キロといっても 1 度出したことがあるだけで、通常は 130 キロ台中盤の速球だからね」と語っている通り、斎藤は決して一軍当確をしているわけではない。自主トレの成果や今後の成否は、周囲の雑音に邪魔されず、どれだけ野球に集中できるのかにかかっているといえそうだ。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】“ハマの番長”語る、「横浜をいいチームにしたい、強くしたい」

昨シーズンで通算 6 度目、3 年連続の 90 敗を喫した横浜ベイスターズ。その要因の一つといえるが、“ハマの番長”として知られるエース・三浦大輔の不振だった。

2009 年の 11 勝から、3 勝にまで落ち込んだ 37 歳のエース。テレビ東京「neo sports」（19 日深夜放送）では、そんな三浦が再起を懸ける意気込みを伝えた。

「2011 年の誓いは“やるだけ”です」と語った三浦は、不本意な昨シーズンを「責任も感じていますし、悔しさもずっと持っていますよ」、「悔しさともどかしさがありましたけど、シーズン中は常になんとかしたい、なんとかしたいという気持ちで、そのことだけを考えてやってきましたけど。2010 年は全く結果出せなかったシーズンだった」と振り返った。

また、「要因は一杯ありますよ」という三浦は、「コントロールはもちろんそうですし、ボー

ルのキレ、そういうのもなかったし、配球的なものもあるし、全てですよね。全てが悪いシーズンだった」と分析しつつも、「周りがどうのこうのよりも本人が一番分かってますから。早く1軍に上がって戦力になる。そのことだけ考えて練習してましたから。結果残したい。そのことしか考えてない」と諦めない気持ちを垣間見せ、その最後には「自分の夢は今横浜をいいチームにしたい、強くしたいっていう気持ちは人一倍持っているつもり。大変なことだと思いますよ、そう簡単には、すぐにはなれないかもしれないけど、自分がそうしたいですから」と意気込んだ。

【Sports Watch】サップが語るドタキャンのワケ、K-1 代表は否定も

昨年 12 月 31 日にさいたまスーパーアリーナで開催された格闘技イベント「Dynamite!!」において、大相撲元幕内・若麒麟の鈴川真一と「IGF 特別ルール」で対戦する予定ながらも、試合当日にまさかのドタキャンをしたボブ・サップ。

当初は戦意喪失と伝えられたが、その後、海外の格闘技メディアに出場を取りやめた理由を説明、その内容は、専門ブログやまとめブログ等でも翻訳され、日本のファンにも伝えられた。

その中で、当初 3 万ドルのファイトマネーを予定していながらも、日本に到着するや、K-1 イベントプロデューサー・谷川貞治氏から、1 万 5000 ドルへの減額を求められたことを主な理由に挙げたサップは、その他にも、選手に対するファイトマネーの未払いが相次いでいることを指摘するなど、昨今経営難が伝えられている K-1 (FEG) の実情にも言及している。

だが、20 日には谷川氏がツイッター上で反論。フォロワーからの質問に「なんという嘘を。訴えてやる」、「サップの件は今更どうだっていいけど、ファイトマネーの問題ではありません。それは IGF に聞いてもらえば分かります。本当にダメなヤツだなあ。寂しい男だ」と答え、サップの発言を否定したものの、いまだ今年の K-1 開催スケジュールも発表はなく、その運営は多難であることには変わりはない様子が垣間見える。

- ・サップ、クルトのヒザ一発でお決まりの戦意喪失
- ・ラシュリーが戦意なきサップを撃破

【Sports Watch】元代表選手が討論、日韓戦勝利のポイントとは？

カタールに劇的な逆転勝利を挙げた 21 日から 4 日――。

25 日には、サッカーアジアカップの準決勝戦が予定されているが、その対戦相手が永遠のライバル＝韓国に決定したことで、試合当日は W 杯時を彷彿とさせる爆発的な盛り上がりとなることは間違いない。

23 日深夜には、テレビ朝日「やべっち F.C.」にて、韓国戦直前討論会が行われ、サッカー解説者達が激論を交わした。MC 矢部浩之と元日本代表勢の福田正博、秋田豊、名良橋晃が参加し、「日韓戦、勝利のポイントは」というテーマのもと、討論会はスタート。

ボールや選手に激しく当たってくる韓国 DF 陣に対し、「ギャップを突け」という福田は、コンビネーションで韓国 DF の勢いを逆手にとる戦術をプッシュ。秋田も「韓国 DF の裏を突くことは大事」と同調した。

だが、「車ドゥリがポイント」と語る秋田は、豊富な運動量と積極的な攻撃参加に強みを持つ韓国 DF を警戒、岡崎を左サイドに配置し、車ドゥリと競り合いをさせてはどうかと提案するも、福田は左サイドに配置している香川をそのまま使い、ポジショニングに難があるという車ドゥリを混乱させたほうがいいと反論。名良橋に至っては、「車ドゥリが攻め上がってきた時に、中盤がディフェンスをサボってスペースを突く」と主張、遠藤、今野のサポートを前提に車ドゥリが攻めあがってきたスペースへ香川が飛び込んでどうかと語るなど、韓国右サイドのキーマン＝車ドゥリ攻略を一つのポイントとして、熱い議論となった。

【Sports Watch】ダルと古閑、その親密関係は離婚問題前から!?

今月 21 日、写真週刊誌「フライデー」にて、北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と、プロゴルファー・古閑美保（28）の熱愛報道が掲載されると、ダルビッシュは自身のツイッター上で真っ先に否定し、怒りを露にした。

だが、その親密過ぎる関係は、ダルビッシュの離婚問題が浮上する前からあったという。25 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（2.3 号）では、プロ野球選手好きで知られる古閑の周辺レポートを伝えた。

同誌の取材によると、昨夏、千葉県船橋市の飲食店では、ダルの後輩、ダース・ローマシュ匡がセッティングをした合コンに古閑の姿があったという。同店の店長は、「古閑さんは『私、お酒が入るとチューしたくなるの!』と言いだし、周囲から『チュー! チュー!』と、はやしたてる声が上がりました。その雰囲気の中、王様ゲームをやった勢いで、舌を絡ませたベロチューをしていましたね」と明かしているが、その相手がダルかどうかは定かではない。

しかし、古閑のプロ野球選手好きは本物で、かつては、ツイنزの西岡剛と熱愛報道もあった。この時は、テレビ上で「この人の子供が欲しいと思うようになった」と語り、調子に乗りすぎたことで西岡をドン引きさせ、去られた過去を持つものの、同誌にコメントを寄せるゴルフ担当記者は、「野球少女だったこともあり、プロ野球選手を凄く尊敬しています。とにかく熱い野球トークをしたいと思っていて、球界に顔も広い。かなりマニアックな話もできるし、そこを突破口にして心を開かせ、恋愛に発展すれば…という感じでしょう。実際、

選手たちと合コンもしていますよ」と語っており、メーカー関係者も「彼女は以前から、『もし男の子が生まれたら、絶対にプロ野球の選手にする』と断言している。今年初めにもそんなことを言っていました。ただ、結婚にはそんなに焦っていないですね。それより『先に子供が欲しい』と言っています」とコメントするほど。その他にも、同誌では、西岡騒動の裏側や合コンに励む様子が、関係者のコメントで伝えられている古閑。その努力は実を結ぶのか――。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】最強ミランのサポート施設「ミランラボ」とは？

25 日現在、イタリアサッカーリーグ「セリエ A」で首位を走り、欧州チャンピオンズリーグでも 4 シーズンぶりの優勝を目指す AC ミランだが、その強さの秘密とは果たして……？

24 日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、ミラン練習場の地下にあり、練習からコンディショニング、動きの研究や解析まで、幅広く選手をサポートする施設「ミランラボ」に番組カメラが潜入した。

フィジカル重視で、20 代前半の選手がチームの主力となっている欧州サッカー界において、トップチーム 27 人中 12 人が 30 歳以上で、平均年齢も 30 歳を超えるベテラン選手の多いチームがミランである。

「ミランラボ」のドアは指紋認証でしか施錠できないほど厳重なセキュリティーが施されており、同施設内では、選手にプレーの映像を見せながら、その脳波をモニタリング、プレッシャーの中でもリラックス状態を保てるようなメンタルトレーニングができたり、9 個の赤外線カメラの 3D 映像再現機能を使い、選手の体の動きを正確に把握できる「生体力学ルーム」と呼ばれる部屋が用意されているなど、最先端のトレーニングによって選手の故障率を下げ、選手寿命を延ばしている。

同施設のプロジェクトリーダー・ドニャチーニ氏は「ミランラボが設立された 2002 以降選手の平均年齢はぐっと上がった」、「ミランラボの目的は選手達の健康を常に最高にし、選手寿命を延ばすこと」と自信を漲らせ、また、クラレンス・セードルフは「フェラーリと同じでベテラン選手の体はチューニングが必要。だからミランラボで、何百回もテストを受け、自分の状態をデータ収集している」と語るのだった。

【Sports Watch】ノムさん、斎藤佑樹のニックネームを考案!?

22 日深夜、TBS のスポーツ番組「S1」では、毎週恒例、野村克也氏による「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーが放送された。

ミスター（長嶋茂雄）、ワンちゃん（王貞治）ら一流選手が持つニックネーム。この日の野村氏は、なんと斎藤佑樹のニックネームを考案した。

「この番組に出るようになってね、無知無学を自覚するようになったんですよ。先だって本屋に行って、素晴らしい本を探してきました」といいながらも、自らの著書本『野村の実践「論語」』を宣伝した野村氏。

本題になると「マー君にはね、“マー君、神の子、不思議な子”ってちょっと長いからね。ちょっと考えて、“佑君、ハムの子、みんなの子”と。これは二番煎じであんまりおもしろくないから」と前置きしつつ、そのニックネームは「“ハムスター”にした。これはみんな親しみがあっていいんじゃないの。ピッタリだ。彼もちっちゃいピッチャーだし」と発表した。

また、「みんな大体ニックネームってあるんですよ。俺のニックネーム知ってます？“ムース”と申します。アメリカの山の中にね、のっそのっそして歩いている鹿。ごっつい体でね。これ、日米野球の時に、サンフランシスコ・ジャイアンツのベンチから僕がバッターボックスにいと“ムース、ムース”って野次が飛んだ。終わって通訳の人に訊いて貰ったら、ムースそっくりなんですって。動作が」と自身のニックネームについても言及した野村氏だった。

【Sports Watch】カズ、日本代表に「どっかで呼ばれんじやないかって」

26 日、テレビ朝日「報道ステーション」では、43 歳になる“キングカズ”こと三浦知良に、松岡修造がインタビューした様子を伝えた。

「40 歳過ぎてから、本当の意味で“サッカーってこうやってやるんだな”っていう。ただ単にサッカーってドリブルがうまいとか、足が速いとか、ヘディングが強いとかって以外に、味方のことを分かっている選手がいい選手」というカズは、「30 歳の頃に“周りを活かして”なんて言ってたんですけど、本当はあんまよく分かってないんですよ。新しい発見があれば、まだ成長できる」と現在こそ円熟期といわんばかりにアピールした。

昨シーズンは、188 分の出場に留まり、「最短ですね。25 年間で。僕が思うに、僕自身がまだ足りないと思う。出ない時も増えてきて、出ない時に何ができるか考えるようになって、練習試合でも、どんな試合でも、本番のつもりでやろう。公式戦と一緒に準備をしようって」と語るカズに、松岡が「プライドを捨てない限りは、そこにいけないと思うんですよ」と尋ねるも、「プライドは捨ててない。188 分のためにやってることは、2000 分出た時と変わらない」とキッパリ言い放った。

また、昨年 12 月の最終戦にスタメンで出場、43 歳と 9 カ月で最年長ゴール記録を更新し

たカズだが、「久しぶりの先発出場で、それもＪリーグの公式戦最終戦。なんかこう恥ずかしいんですけど、プロ生活 25 年、それだけサッカーの試合やってて、日本代表の舞台とか色んな舞台に立ってても、自然と高ぶってきちゃうんです。ゾクゾクしてきて、いてもたってもいられないみたいな」と抑えきれない興奮状態にあったことを明かすと、「辞め方は考えてません。せまいかもしれませんが、自分は 3 月の開幕でどういうプレーができるしか考えていません」と意気込んだ。

これには、松岡が「カズさんの場合には、日本代表もいけるんじゃないかって」と話を振るや、カズは「少しは思ってるかもしれないですね。どっかで呼ばれんじゃないかって。今でも国歌の練習、一人でしちゃったりしますからね。トイレで歌ってたりしますから」と明かすのだった。

【Sports Watch】福田氏、長谷部の成長喜ぶ 「あんなコメントをするような選手じゃなかった」

30 日、サッカー・アジアカップ決勝戦では、日本代表が準決勝の韓国戦に続く延長戦を戦い、長友佑都の正確なクロスから放たれた李忠成の劇的なボレーで 1 点をもぎ取り、古豪オーストラリアを破って 4 度目の優勝を飾った。

同日、テレビ朝日「サンデー・フロンタライン」には、元日本代表でサッカー解説者の福田正博氏が出演。浦和レッズ時代のラストイヤー、2002 年に一年だけチームメイトになった長谷部誠についてコメントした。

「藤本選手に替えて、岩政選手を投入したことによって、サイドバックであった長友選手が前に出たんですね。これによって、より長友選手のスタミナとスピード、技術とかが活きた」など、主力選手の活躍を解説した福田氏は、小宮悦子アナから「長谷部選手のキャプテンシーがずっと光ってましたね」と言われるや、「長谷部と一緒にプレーして、18 歳の時から知っているんですが、入ってきた当時はちょっとオドオドした感じがあったのです。今見る限りでは、本当に堂々とした対応ですか、また、キャプテンになって一段と冷静に言動がしっかりしてきた。頼もしいですね」と語る。

これに、小宮アナが「コメントも堂々としてきたような気がする」と続けると、「あんなコメントをするような選手じゃなかったんですけど。サッカーっていうのは、もともと大人にしていくと言われていたんですが、まさにそういう感じですよ。18 歳の時から知ってますけど、子供だった彼が今や本当に大人になってきた。頼もしいですね」と述べ、後輩の活躍を喜ぶ福田氏であった。

【Sports Watch】戦線離脱の香川がコメント

30 日放送、TBS「情熱大陸」では、ドイツ・ブンデスリーガのボルシア・ドルトムントで

活躍する日本代表・香川真司に密着した様子を伝えた。

しかし、放送前夜にアジアカップを制した日本代表ではあるものの、香川は準決勝の韓国戦で右第 5 中足骨骨折する負傷を負い、戦線離脱を余儀なくされたばかり。非常に残念なタイミングでの放送となったが、番組の最後には、治療のために緊急帰国をした香川のコメントを放送した。

カメラに向かって、「色んな可能性を失ったのは事実なので」と語る香川。この期間を“成長のため”と切りかえ、「それで自分を励まして」と自らを鼓舞したが、その直後に「カズさんからメールを頂きました。（内容は）言えないですね。ビックリした」と明かした。

【Sports Watch】本田圭佑「個人的には不本意なプレーだった」

サッカー・アジアカップ決勝戦は、延長後半に挙げた李忠成のゴールにより 1-0 で勝利、通算 4 度目の優勝を飾った日本代表。激闘から一夜明け、TBS「S1」（30 日深夜放送）では、大会 MVP となった本田圭佑が大会を振り返った様子を伝えた。

「完全にパサーみたいな感じのプレーを今大会やってしまったので、個人的には不本意なプレーだったんですけど。でも、やっぱりその部分が評価されて」と複雑な表情をみせた本田は、続けて「チームのためっていうか、僕自身のために。優勝したかったから、ある程度エゴを捨てないといけない試合も出てきた。正直、それくらいギリギリの試合だった。またこれで僕も大きくなれるかなと」と語った。

【Sports Watch】劇的ボレーも、なぜ李は完全フリーだったのか

サッカー・アジアカップ決勝戦で、日本代表を優勝に導いたのが、長友佑都のクロスから放たれた李忠成の劇的なボレーシュートであることは周知の通り。だが、なぜあの場面で李は完全フリーの状態でボールを待っていたのだろうか――。

31 日、テレビ朝日「報道ステーション」では、元日本代表でサッカー解説者の澤登正朗氏が李、長友を直撃。同氏が着目したのは、長友がクロスを蹴ろうとした際、李がニアに大きく踏み出すようなフェイントを入れたことにより、その行く手を阻もうとした相手 DF がつられてしまった点だった。

改めて映像を観た李は、「ニアに行こうと思ったんですけど、ニアに“クッ”って身体を前にした時に、（相手 DF が）喰いついてきたんで、あの一瞬の動きでうまく外せた」と振り返り、長友もまた「李とも話し合ってた」と語った。

【Sports Watch】引退を表明した坂田、亀田一家に“もういいかげんにしてくれ”

先月 13 日、元 WBA 世界フライ級王者・坂田健史が現役引退を表明。昨年 9 月に、WBA 世界フライ級王者・亀田大毅に挑戦した一戦が、そのラストファイトになった。

2日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（2.10号）の人気コーナー『テリー伊藤対談 「オフレコ厳禁」』に登場した坂田は、亀田戦から引退を決意した気持ち、そして、引退後のことまで語り尽くした。

「うーん、ふだんと感覚は同じだったんですけど、ビデオを見て思ったのは、やっぱりパンチを被弾する割合が多かったのと、そういう意味で体が反応しきれてない部分があったということです。自分の持ち味である回転力とか、爆発的にガーッと上がっていく感覚というのは、この試合はなかったと思いましたね」と振り返る坂田。

かつては亀田兄弟も所属した協栄ボクシングジムの看板選手でもある坂田は、以後、（亀田の）所属ジムの移籍など、亀田一家の騒動に巻き込まれることにもなるが、「うーん、『もういいかげんにしてくれ』とは思いましたね。自分はそんなつもりはないのに、何でこんなふうに巻き込まれなきゃいけないんだって」と振り返る。

また、テリー伊藤氏から、調印式のことや「プライベートで話したことはあるんですか」と訊かれると、「もうあの家族が一体になってるじゃないですか。そういう威圧感みたいなものはありますよね（笑）」といい、「（プライベートで話したことは）ないですね。試合後に、リング上で僕がひと言声をかけましたけど」「『強かったよ。これから先も頑張ってるね』って」と明かした。

気になる今後については、専修大学の夜間に通いながら、昼間は仕事をするという坂田。その他にも、芸能界への興味や先代会長の支えになった言葉、協栄ジムを継ぐことにも言及している注目インタビュー詳細は、同誌をチェックしてほしい。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】日本代表戦士に訊く、岡田監督とザッケローニ監督の違いとは？

フジテレビ「とくダネ！」（1日放送分）には、アジアカップを制した日本代表の岩政大樹、伊野波雅彦（共に鹿島アントラーズ）が凱旋生出演を果たした。

番組司会の小倉智昭アナから、帰りの飛行機内での様子を訊かれた伊野波は、「疲れて寝てましたね」といいながらも、「試合会場からホテルに帰るまでの間に、現地の人達が、すごい日本の旗を振ってくれたり、ずっとクラクションを鳴らしながら走ってくれたり、それがホテルまで続いた」と明かす。

また、試合後の夜について、「そのまま帰ってしまった選手もいたんですけど、残った選手だけで祝杯交わして、ちょうど僕誕生日だったので」と語った岩政は、番組内でその経歴（東京学芸大学出身で数学の教員免許を持つ）が紹介されると「体育で行ける大学がなかったので、仕方なくて」と苦笑いを浮かべた。

さらに、岡田監督とザッケローニ監督の違いを訊かれた岩政は、「基本的には、世界のトップと渡り合おうというところでは同じだと思うんですけど、ただ、その中でそこに対するアプローチ。日本人とイタリア人ってところで、岡田さんは日本人ってものをよく知っていますし、それをどうトップに引き上げていくかってところからアプローチされている方だと思うんですけど、ザッケローニさんは既に世界のトップを経験されてきた方で、そこに日本代表を引き上げてこようという捉え方だと思う。どっちかというところ、二人とも選手とのコミュニケーションは嫌がらない監督」と答えた。

【Sports Watch】大相撲八百長メールに「八百長なら解散せよ」

2日、野球賭博事件で警視庁が押収した現役力士の携帯電話に、八百長をしていたことをうかがわせるメールが残っていたことが分かった。同日、東京・両国国技館では臨時理事会が開かれ、日本相撲協会・放駒理事長が緊急記者会見を行い、「これから調査する」と繰り返した。

これまでも八百長をめぐる噂は絶えずあった角界だが、今回の報道が伝えられると、公式ブログ上で意見を述べる政治家が多く、みんなの党・井上よしゆき議員は「それにしても相撲界の疑惑とまらないね…… 真実だとすれば教訓が生かされず残念！…… 今年、政治、相撲界、歌舞伎と本業ではないところにスポットがあてられた年でしたね！……「特別の世界」と言う言葉は今は通用しないだろう……」と綴る。

また、公明党・かね国よしすけ議員は、「相撲協会大ピンチ！八百長なら解散せよ」と痛烈なタイトルでブログを更新。「私はかねてより日本相撲協会に対して厳しい見方をしていますが、今回、野球賭博に関連して八百長の疑惑まで浮上していることは、協会がこうした構造的な問題に対処してこなかったことの証左です。このような団体に天皇賜杯を与えることに反対です」、「国技としての相撲を伝承する団体と、興行としての相撲を行う団体を分離することを提案します」と批判した。

その他にも、自民党・小田原きよし議員は、「以前から八百長問題は週刊紙をにぎわせる記事になっていました。そのたびに告発した元力士を断罪したり、横綱自身が裁判に出たり、何とかシロだと言ってきました。何とも空しい。今度も否定するのでしょうか。何人かのせいにして終わりにするのでしょうか。技術的には、八百長をしたとしても賭博などに関連していなければ法律を犯したことはないそうです。法律に触れていなければ私たちは

見逃せるでしょうか。『まじめにやれ、観客をばかにするな。』と言いたくなるのが人情でしょう」と嘆くのだった。

【Sports Watch】 楽天・星野新監督、キャンプ初日に「イライラしてたよ」

2003 年の阪神タイガース監督退任以来、8 年ぶりに日本プロ野球界の第一線へと戻ってきた東北楽天ゴールデンイーグルス新監督・星野仙一。1 日には、沖縄・久米島から生中継でフジテレビ「すぽると！」に出演、現在の心境を語った。

「久しぶりだったから、ブルペンが楽しかったねえ」と振り返る星野監督は、「(ユニフォームを着て) 照れくさかったね。久しぶりだったから」と笑顔を見せる。

この日はキャンプ初日を終え、「秋季練習の時に、今以上のコンディションできてくれよ、今日という日に。キチッと皆守ってくれて、それ以上のものできてくれたから。いや、俺との約束守ってくれたなという。それで今日は合格点かな」という感想を述べた。

だが、インタビュアーの高木豊氏が、その練習内容を、「アップからキャッチボールまで、2 時間じっくり地に足をおろしたような練習風景に見えた」といえば、「あのスケジュールは私が組んだんじゃないんだけど、ちょっとイライラしたね。こんなストレッチだけど、もっと早くやってくれよっていう思いは強かったけどね。イライラしてたよ。なんでこんなにストレッチ、ストレッチなんて思ったけど、今の選手はそれくらいのことはやんなきゃいけないんでしょな」と語る場面も。

それでも、ブルペンで練習する選手には、「もうゲームができるんじゃないかって。バアーン、バアーンってきてるしね。特に青山なんて、もう明日先発できるよって感じだった」と絶賛し、「若いチームだといいながら、やっぱり、きつくたってたから。最下位のチームにオフはないってメッセージを送ってたから」と明かした。

【Sports Watch】 楽天・星野監督「鉄拳はないだろ、今の時代に」

東北楽天ゴールデンイーグルス新監督・星野仙一が、キャンプを行う沖縄・久米島から、フジテレビ「すぽると！」(1 日放送分) に生出演を果たした。

野球解説者・高木豊氏が聞き手となったインタビュー。その前半は主に投手陣に触れたが、後半では岩村明憲&松井稼頭央の元メジャー組が合流して注目を集める野手陣に言及した。

この両名に対し、「順調でしょうね。昨年からかなり二人でやってましたからね。彼ら二人は心配してない」と太鼓判を押した星野監督。若手選手への影響には、「久しぶりに日本の球界に帰ってきたから、そんな余裕はないと思うんだよね。だから、自分のコンディション、うまくバットがスムーズに自分のスイングができるようになって、若手(への指導)でしよ

うな」と続けながらも、「でもね、若手が後ろでジーっと、岩村が打ってる、松井が打ってるのを見てるんだよね。やっぱり、彼らから何かを盗みとろうと、そういうものが欲しかったのよ」と嬉しそうに語った。

さらに、打順の構想には、「ここで勝手にいうと、田淵に叱られそうだから、彼と相談して決めなきゃなと思う。稼頭央は1、2番をずっとやっていたからね。岩村はクリーンナップを打っていたから。でも、彼らはどこを打たしても自分の仕事をこなしてくれますから」といい、新楽天打線のイメージについては「スーパーカートリオ、あれに負けられないようなグラウンドを走り回る、ああいうチームになりそうだな」と語った。

また、高木氏が「今日ビックリしたんですけど、取材を選手にしたら、昨日のミーティングで監督が柔らかくなったんじゃないかと。ちょっと優しくなったと訊きましたけど」と言い出すと、「昔から優しくかったんだよ、俺は。時代に順応していかなきゃ、監督務まらないよ。まあ、今の若者も変化しているし、僕も変化してきているし、でも、ユニフォーム着てゲームになった時には基本というものは戦いだから。それはキチッとやりますよ」と答えた星野監督に、高木氏はすかさず「鉄拳もある？」と質問。これには星野監督も「鉄拳はないだろ、今の時代には」と大笑いした。

【Sports Watch】横峯さくらの合鍵を持つ芸人“勝手にパンツはいたり、ブラあてがってる”5日放送、日本テレビ「メレンゲの気持ち」には、女子プロゴルファー・横峯さくらが出演した。

2009年には賞金女王になった横峯は、金銭感覚が狂わないようアルバイトをしていたという。「コンビニとか。でも、全然お客さんがこないようなところだったので。ホテルのコーターの隣になるような。あと、うなぎ屋さんとか。時給650円くらい。宮崎でやったんですよ、コンビニの方は」と驚きの告白。

また、仲が良いという女性お笑いトリオ「キャラメルクラッチ」の上地春奈がゲストとして登場すると、「(横峯の)家の合鍵を持って、横峯一家がいない間も、私の家が遠いので家に帰るのがタクシー代とかかかるから、いない時に勝手にベッドで寝て、私も賞金女王になった気持ちで。勝手にこの子のパンツはいたり、ブラジャーあてがったりしてます」と明かす。

さらには、横峯の素性について、「たいがい酒飲むんですよ。酒強くて、酒癖も悪いんですけど。帰れなくなって、私がおんぶして帰ったりとか」、「(新宿二丁目に行くという横峯に対し)元気ちゃんっていう共通の友達がいるんですけど、ゲイボーイのはじけてしまって、裸足になって色んなお店からお店に移動したりとか」と言いたい放題の上地だった。

<写真で追う！ 女性アスリート>

livedoor スポーツでは、注目の女子選手や噂の美女アスリートをフォトギャラリーで絶賛掲載中！膨大なフォトから、お気に入りの女子アスリートを見つけてみて下さい。

【Sports Watch】八百長調査委員に、たけし「役に立たねーじゃねーか」

5 日、大相撲八百長問題の調査を行う日本相撲協会の特別調査委員会が記者会見を行うと、早稲田大学教授の伊藤滋座長は、「今のところ、明確に断定できておりません」、「今のところ、特定するのが難しい」など、不得要領な印象ばかりを残した。

同日放送した TBS「情報 7days ニュースキャスター」でこの模様を取り上げると、番組コメンテーターのビートたけしは、「前になんか親方が“八百長は絶対にしてない”でも、“星の貸し借りはあった”つつって、訳が分かんないこと言ってた人がいましたよ」と笑いをとりつつも、「なんとか委員会って、この人たちは一体なんなんですか。伊藤さんは“あー”とか“しらねー”とか言って、役に立たねーじゃねーか。誰が有識者って言って、この人呼んできたの？」と言い放った。

【Sports Watch】斎藤佑樹が“イチロー化しつつある”

プロ野球キャンプで一際注目を集めているのが、いわずもがな、北海道日本ハムファイターズの名護キャンプだ。ファンやマスコミのお目当ては、当然、ダルビッシュ有と斎藤佑樹の揃い踏みである。

だが、8 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（2.17 号）では、『「それ、何か関係あるんですか？」 斎藤佑樹が「イチロー化」し始めた！』と題したレポートを掲載している。

イチローの個人事務所「バウ企画」と契約したことで斎藤にはある変化が生まれたようだ。同誌にコメントするスポーツライターは、「最近、佑ちゃんがイチロー化しつつあると言う記者もいるんです。誠実で穏やかな対応は以前と変わらないのですが、取材でははっきりと自己主張するようになった。イチローの個人事務所『バウ企画』と契約して、マスコミ対応について指示をもらっているのでしょう。1 月 30 日にイチローと一緒にトレーニングをしているので、個人的に何らかのアドバイスをもらったのかもしれない」と語る。

実際、キャンプイン目の鎌ヶ谷スタジアムで髪の毛を切った斎藤に「どこで切ったの？」と尋ねた記者に、「それ、関係あるんですか」と答えたとされる斎藤。同じく同誌に語るベテラン記者は、『「朝御飯は何を食べましたか」などと、トンチンカンな質問をするレポーターがいて、イチローが『それと野球と関係あるんですか』と声を荒げたことがあった。以後、球団広報はマスコミに、野球と無関係のプライベートな質問を自粛してほしい旨を申し入れしましたが、その時のオリックスの広報担当が、他でもない現在のバウ企画の社長なんで

す」と明かす。

人気故、マスコミから見当違いの質問を受けることも多い斎藤。今後は、斎藤に強引な取材をしようものなら、イチローの取材ができなくなるという無言の圧力もあるというから、斎藤にとっては野球に専念できる環境を掴んだということになるのか。その他にも、同誌は斎藤の個人事務所設立にも言及している。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】 佑ちゃんの弱点「真っ直ぐと変化球のフォームが違い過ぎる」

5日深夜放送、TBS「S1」では、プロ野球解説者・榎原寛己氏が北海道日本ハムファイターズの名護キャンプを訪問、斎藤佑樹の投球練習をチェックした。

だが、斎藤の投球フォームについて、榎原氏は「真っ直ぐと変化球のフォームが違い過ぎる」と指摘、番組スタジオでは、野村克也氏が「彼の場合は、ほとんど完成というか、出来あがっちゃってるから。実戦で投げながら、自分でどう修正していくとか、そこだけだと思いますよ。徐々に肩のスタミナを作っていかなきゃいけないんでね。ブルペンよりは試合で投げ込んでいった方が仕上がりは早いですよ」と解説をするも、番組MCの魔裟斗が「榎原さんがストレートとカーブ、変化球の投げ方が違うと…」と質問するや、「これは大問題だね。各球団ビデオで研究しますから。あらゆる角度から。それをミーティングの研究材料にしますから。そういう癖があるなら、早く直した方がいい」と語った。

【Sports Watch】 浅尾美和、新パートナーとはやくもちぐはぐ!?

2012年のロンドン五輪出場を目指し、ビーチバレー・浅尾美和が松山紘子と新ペアを結成した。

9日放送、フジテレビ「すぽると!」のコーナー「REAL VENUS」では、本田朋子アナが、始動をしたばかりの浅尾&松山ペアを直撃、○×形式で質問を投げかけていった。

「今年のツアー出場を諦めたことがある」の問いには、松山が「○」を、浅尾が「×」を挙げ、松山は「最終的にペアが決まらなかったら、国内大会には出ずに海外に行ってみたりとか、そういう経験も人生の中では大事かなって思った」とその理由を語る。

また、「他のペアに負けないものがある」の問いには、二人とも「○」を挙げたが、「二人の間で決めたルールがある」には、浅尾が「○」を挙げる一方で、松山は「×」を挙げ、互いに「あれ?」と見合ってしまった、はやくもちぐはぐなところを露呈。「ルールとかこだわらない。ルールがない自分なんで」とサラリと語る松山に対し、浅尾は「(ルールは) ネガテ

ィブをやめようって」と苦笑いを浮かべる。

その他にも、「絶対に負けたくないペアがいる」の問いにも、答えはバラバラとなったが、「○」を挙げた浅尾は、「もう負けたくないですね。悔しかったんで。どのチームとかじゃなくて。去年のことも自分の人生の中で本当に大切なことだと思うし、学んだことも多かった。それも含めてももちゃん（松山の愛称）と組んだ」と意気込んだ。

・浅尾美和フォトギャラリー

・浅尾&松山紘子フォト

【Sports Watch】香川、アジア杯は「優勝した大会ではなくてケガをして終わった大会」

11日深夜、日本テレビ「NEWS ZERO」では、アジアカップ準決勝で右第5中足骨を骨折し、先月30日に手術を行ったばかりの日本代表・香川真司にインタビューを行った模様を放送した。

「入院している時は部屋での生活が基本ですから、いろんなことを考えたり。アジアカップのことを振り返ったり、ケガしたことを振り返ったり、一人になるとマイナスなことを考えたりしました」と語る香川は、同大会を「正直なところ、優勝した大会ではなくてケガをして終わった大会になってしまったので。また、それによってドルトムントでのプレーもできなくなり、やっぱ、色んなことを悩みましたし、感じました。自分自身にとっては悔しい大会」と表現した。

また、香川は「日本代表で戦うということはすごい覚悟が必要なんだと改めて感じたし、ドルトムントでは全てが恵まれた、支えられた環境でサッカーに集中できていたんですけど、日本では本当にいきなり集まってのチームですから、その中で色んなプレッシャーがあったり。日本代表で戦う難しさっていうのを改めて感じたし、自分の未熟さを感じた」と振り返ったが、アジアカップ優勝後のフィールドで長友佑都が香川のユニフォームを掲げたことは、「佑都とは代表も同じ時期に入って、海外も同じタイミングで行って、日頃から連絡を取り合う仲だったので、今回も同じサイドでお互いいい試合して、いいコンビで戦おうっていうのを言っていたので、ああいう姿を見ると嬉しかったし、ユニフォームを掲げてくれる姿を見ると本当に感動しました」といい、その長友については、「日本人が到達したことのないビッグクラブに行ったので、そういう意味では僕達に夢や刺激を与えてくれた存在ではある。お互いリスpektしながら、今後も戦っていきたい」と語った。

【Sports Watch】ザッケローニ 「長友はたまたまインテルに入ったわけではありません」

12日深夜放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、監督就任から5カ月で日本代表をアジア No.1 に導き、イタリアのチェゼナーティコ市から表彰を受けたアルベルト・ザッケローニ監督を現地で取材、その様子を伝えた。

会見中、インテルに移籍した長友佑都について質問をした同番組に対し、ザッケローニ監督は、「長友には電話で“落ち着いて冒険に立ちむかえ”と伝えました。きっと彼ならやってくれるでしょう。移籍が決まる何日か前に、インテルのレオナルド監督から電話があったので、インテルが長友を獲ろうとしていることは獲得前から知っていました」と明かすと、「長友はたまたまインテルに入ったわけではありません。レオナルド監督の希望でインテルに呼ばれたのです」と語る。

また、名門クラブにおける長友の成功について、「長友は頭の回転がはやく、聡明で理解がはやい。彼はイタリアに基礎としっかりした技術を備えた日本のサッカーを持ってきました。だから、必ず活躍できると思っています」と断言するザッケローニ監督だった。（ザッケローニ監督のコメントは、同番組の翻訳より）

【Sports Watch】原監督の仰天プラン“佑ちゃんには澤村をぶつけます”

12日深夜放送、TBS「S1」では、番組MCの魔裟斗とプロ野球解説者で巨人軍OBの槇原寛己氏が巨人軍の宮崎キャンプを訪問、原辰徳監督にインタビューを行った様子を伝えた。

「チームそのものが若返りました。新戦力がいかに加わり、現有戦力が力をさらに上げていくか」とここまでの手応えを語る原監督は、リリーフ候補と目されているアルバラデホにも言及。槇原氏の「K-1の選手だったら凄い試合をしそう」という冗談に、「大きければ強いってのもんでもないからね」と笑顔を見せつつ、「（セールスポイントは）はやい球と、変化球と低めの角度ですかね」と期待を寄せた。

また、最近の斎藤佑樹ブームには、「プロである以上、ファンの人がドキドキするような環境、これは大事だと思いますね」と切り出した原監督は、なんと「梨田監督と話をして、『佑ちゃんは投げる予定ありますか？』と。そしたら、澤村を我々はぶつけますと。そういうものは大事だと思うんですね。オープン戦とはいえね、我々はベストオーダーでいきますよ」と仰天プランを明かした。

さらに、その澤村については、「いまのところ、開幕ピッチャーというのは白紙で。しかし、一番近い存在かもしれません。チーム内の競争があるはずですから、それを見ながら」と名言を避けた原監督だったが、「これだけここで約束しておく、五分と思ったら若武者を投げさせます」とも語るのだった。

【Sports Watch】高め合う三人、岡崎&本田「長友の悪いところを言っていこう」

12日深夜放送、日本テレビ「Going! Sports&News」では、ドイツ・ブンデスリーガのシュトゥットガルトに移籍予定の岡崎慎司を現地でキャッチ。2008年の北京五輪代表でチームメイトになった本田圭佑と長友佑都の存在が海外移籍の後押しになったという岡崎は、二

人とのエピソードを明かした。

同番組のカメラに、「いつも3人で集まると熱い話になるんですけど、基本俺は聞いているだけなんですよ」と切り出した岡崎。「熱いなと思いながら。結局、『俺らは、このままじゃダメだよ。アジアカップでもっと圧倒できないとアカンやろ』みたいな。戦術だったり、チームワークだったりっていうのはあるけど、結局は個人の能力が上がらないと世界と対等にできないし。世界を圧倒したいんですよね、俺らは。ヨーロッパの国が相手でも、世界を圧倒できるくらいの実力を身に付けたいから」と続ける。

また、個々のレベル向上を目指し、互いに欠点を指摘をし合ったという三人は、「長友の悪いところを言っていこうって話になるんですよ。『お前は走ることばかりで周りに気をつかっていない』みたいな話になったり、(本田には)『お前は2、3人かわして一人でシュートいけるくらいの実力持って。例えば、2、3人かわしてパスくれたら、俺が決めるから』とか。(岡崎本人には)『裏ばかり狙っているけど、チームのこと考えて、引いてきたりもしろよ』みたいな話になったり。無理な注文をして3人で高め合う。試合後だったので、2時とか3時まで話しました」というエピソードを明かしたのだった。

【Sports Watch】新パートナー選びが難航した浅尾の舞台裏とは？

ビーチバレー・浅尾美和が、2012年のロンドン五輪出場を目指し、松山紘子と新ペアを結成。今月より始動を開始した。

だが、西堀健実と袂を分かった後も、草野歩とは一期限りでペアを解消したことで、その後も新パートナー選びが難航したという浅尾。15日(火)発売の「週刊アサヒ芸能」(2.24号)は『引退選手や女子高生にも辞退されて…浅尾美和「新コンビ結成」までのドタバタ裏舞台』と題し、その周辺レポートを伝えている。

同誌にコメントを寄せる夕刊紙記者は、「結局、実力不足というのが全て。カップ麺のCMで共演するなど、浅尾人気でいい思いをした西堀でさえ、一度もツアー優勝を果たせず『浅尾と組んでいたら勝てない』と逃げ出した。でも、それは正しかった。浦田聖子(30)と組んだとたん、ツアー開幕戦で優勝したんですから」と指摘。

また、前出の記者は、「(浅尾は)実力もないのにビーチバレー人気は自分が引っ張ってきたという自負が強い。今回、菅山かおる(32)とのペア結成を業界が望んだが『人気者は2人もいない』と嫌がった。最終的にしぶしぶ承諾したが、菅山も同じことを考えていたようで、大山加奈(26)の妹でビーチに転向したばかりの大山未希(25)とペアを結成してしまった」とも語っている。

記事の最後には、「困った浅尾陣営は昨年、女子ジュニア選手権を制した、まだ高校3年生の山本成美（18）や、昨季限りで引退を表明した元五輪代表・楠原千秋（35）にまで声をかけたが、2人とも“辞退”。結局、国内ツアーの登録締め切りの2月8日までにパートナーを決定しなければならず、一緒に練習し、プライベートでも仲がよかった松山に決めたのだった」と結んでいる同誌。即席ペアの印象が拭えない浅尾、五輪出場の夢は叶うのか――。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】大相撲八百長問題、4人に1人が「即刻解散をするべき」

大相撲の八百長問題では、特別調査委員会が設置され調査するとしながらも、80人近くに行ったはずの聞き取り調査では、八百長メールに記載があった14名以外で関与を疑われる力士は出ていないという中間報告をするなど、ファンにとっては釈然としない日々が続いている。

そんな折、マーケティングリサーチを行うメディアインタラクティブは、今月8～9日の二日間でスポーツに興味を持つ男女500名を対象にした「スポーツに関する意識調査」を実施。

「八百長問題でゆれる相撲界ですが、今後どうするべきだと思いますか」という設問には、約半数となる46.6%が「調査完了するまで興行はやめるべき」と回答している一方で、4人に1人となる23%が「即刻解散をするべき」と答えている。

その他には、「ファンがまっているので興行はすべきだが、調査はするべき」という回答が22%、「調査も必要ない、はやく再開するべき」が2%、「その他」6.4%と続いており、同社は「税制面で優遇される公益法人の返上や、徹底した調査を実施して関与した力士全員の解雇や幕下降格など、厳しい意見も多い」と伝えている。

【Sports Watch】猪木が振り返る「最悪の試合」とは？

8日、フジテレビ『僕らの音楽』では、ゆずとアントニオ猪木が対談した様子が放送された。

青山のマンションでライオンを飼っていたことや、ケニアでマサイ族に襲われたこと、スカイダイビングで試合会場に降りたこと、闘魂注入ビンタ誕生のことなど、余すことなく型破りな闘魂エピソードを披露した猪木。

中でも、1976年に行われたモハメド・アリ戦について、猪木は「まあ、アリ戦が一番印象というか、これによって世界に名前が売れた」と語ったが、ゆずから“九死に一生を得た試合”を訊かれると、同年末に敵地パキスタンで行われたアクラム・ペールワン戦を挙げた。

「一番やばかったのはパキスタンだよね。アクラム・ペールワンというのは、アリ戦が終わった後に挑戦してきたんだよね。行ったらなんと（観客が）10万人以上。（試合ではペールワンの）腕を極めて取ったんだよね。当然痛いから参ったって感じにとるわけじゃない。折るわけにいかないから。したら、参ったしない。で、バックをとってね。（猪木がチョークを狙うと）今でも（手首に）歯型の傷があるけど、噛まれてね。絞めたら苦しくて噛んだんだよね。噛ませたまま、こっちの手（左手）が空いてるから後ろから左の目に突っ込んで“グゥ”で。そうでもしなきゃ終わらないんだよ。最悪の試合というか。よくプロレスの八百長論を言う人が昔はいたけど、そういう話をするとか“へえ”って終わりになっちゃう」と明かした猪木は、そのファイティングロードの中でも特別な一戦を振り返った。

【Sports Watch】中日・落合監督「記者連中、野球を理解しようとしなないもん」

19日深夜放送、TBS「S1」では、野球解説者・野村克也氏と、中日ドラゴンズ・落合博満監督による対談の様子が放送された。

「考えたら、あれだね。安物の三冠王とメジャーの三冠王。三冠王対談じゃない。俺はまぐれで三冠王、彼は実力で三冠王、三回も獲って」と切り出した野村氏に、「あと二回（三冠王を）獲る予定だったんですよ。獲れたと思う」と言い切った落合監督。そんな両者の対談内容は以下の通りだ。（要約）

野村：試合終わってから、記者にしゃべらないっていうんで、記者困ってんだよ。

落合：記者連中、野球を理解しようとしなないもん。

野村：しゃべってあげなさいよ。野球を教えてやるんだよ。

落合：ノムさん、この年になったから。理解してくれりゃいいけど。野球界で一番マスコミの紙面の作り方で嫌いなのが、監督が先にくるでしょ。例えば、野村・楽天だとか。選手いけよって。

野村：その論理は、おかしいんじゃない。監督はリーダーやん。今日の先発決めんのは監督やん。

落合：うち、ピッチングコーチだよ。

野村：ピッチャーだけだろ、そりゃ。最終的には確認するでしょ。

落合：監督ばかり毎日一面にいるようじゃダメだって。

野村：いや、いいんだよ。あなたは黙って、マスコミにサービスしなさい。

－場面が変わる－

野村：斎藤（佑樹）は通用するの？

落合：するかしないかは分からないけど、大学4年のときの投げ方よりは今の方がいい。あの時は酷かった。（どの辺が？）投げてる格好見りゃ分かるじゃん。俺らはそれが仕事だから。

野村：本題に入りたいんだけど。

落合：今の本題じゃないの？

野村：今はウォーミングアップ。今年の中日を教えてほしいんだけど。

落合：やっと監督の考えてることを、選手が分かり始めたかなっていう第一歩目じゃないかな。

野村：8年で？あっそう。石の上にも3年。

落合：3年じゃ、とてもじゃないけどできない。

野村：だから俺、失敗したのかな。

落合：3年じゃ出ないです。自分が悪いっていう責任があるってことを自覚しない年代。監督が好き嫌いがあって、正当な評価をされてないんじゃないか。だからゲームに出れないっていう、ここ何年か選手の中にモヤモヤしたものがあると思う。ところが、キャンプにきて、“この子、動きが変わったな”って。今年の子が一番見てて、一番成長してきてるなってよくわかる年。

[続きはコチラ]

【Sports Watch】野球界が練習しなくなった原因を作ったのがノムさん!?

野球解説者・野村克也氏と、中日ドラゴンズ・落合博満監督による注目の対談が、19日深夜にTBS「S1」番組内で放送された。

対談の前半では、普段はマスコミに口を開かない落合監督のポリシーや斎藤佑樹について語った両者。その後半では、練習量 12 球団一の中日・落合監督の“ある指摘”に、野村氏が大きく驚いたのだった。

野村：さて、本題に入りたいんだけど。

落合：まだ入ってないの？

野村：今年のライバルチームは？

落合：ある程度、よその 12 球団は補強してるでしょ？うちはほとんど補強していないでしょ。（マークするチームは巨人？）いや、全部です。

野村：まあ、そうだけど。その中で。

落合：いや、そこで 24 敗しても、どっかで 24 勝すれば五分だろうと。

野村：落合は本音言わないからな。

落合：これが本音。最低線、このくらいまではいってもらわなきゃ困るっていう計算は立てるけど。

野村：それはそうと、あんた凄い練習するね。

落合：やらなきゃ、このへたっぴうまくなんないじゃん。

野村：俺ね、ある専門家に聞いたことあるんだけど、人間の集中力って 40 分だそうだよ。夕方までやってる、その根拠なによ？

落合：これが普通なんだと思う。練習のしかた、やりかたを知らない子にそれを教えてやらないっていうのは指導者の怠慢だと思う。

野村：しかし、凄いわ。昔の野球だよ。

落合：俺は昔の野球を、今の野球界に絶対取り入れなきゃいけないと思っていた方だから。

でも、この原因を作ったのはノムさん（の ID 野球）だからね。この練習しなくなった原因を。

野村：（驚いた様子で）ええっ、ええっ。

落合：自分なりに考えたのは、ノムさんの場合は狩猟民族の考え方なんだと思う。

野村：はじめてきいたわ。

落合：どっちかといえば戦略家でしょ。

野村：まあ、色々考えるのは好き。

落合：でしょ。そういう風に教育していったでしょ。で、相手もそうせざる得ない状況を作ったでしょ？狩りってそうでしょ？頭で勉強させて、戦略を考えて、誘いこんで、相手を討ってく。教えたのは、そういうことじゃないですか？

野村：俺は、野球とは頭のスポーツやって言ってる。

落合：それは否定しません。ただ、キャンプなんかのやりかたを見ているとね、先にそっちを教えているんだろうな。

野村：ミーティングやんないの？

落合：やんないです。

野村：俺は毎晩ミーティングだよ。

落合：ミーティング嫌いなんですよ。

野村：嫌いとか好きとかじゃなくて。人間って思考と感情っていう二大要素を持ってるのが人間じゃない。存分に活かして生きていくのが当たり前じゃない。

落合：その当たり前のことが考えられないっていう人がいっぱいいるから。だから、うちの場合は頭使うよりも、まずはやらせて身体で覚えさせて、それができるのかできないのか。そうじゃなくても、練習をしない球団だったから。俺、本当に楽天の練習って、この内容で

足りてるのかなって感じたことあったもん。毎日報告書くるから。

野村：そうだよ。落合監督、全部情報取りにきてるんだよね。

落合：だから、2月1日キャンプインってなれば、1月30日くらいから全部（スコアラーが）張り付いていますから。

野村：何人もいるの？

落合：十何人かな。

野村：凄い発想だね。十何人もいるの？楽天は3人だったわ。

落合：ある種、情報戦だと思ってるし。やらしててダメなヤツは何人か替えてるから。

野村：連覇の手応え？

落合：充分あります。

【Sports Watch】巨人が“澤村を指名した理由”に、斎藤父が怒りの反論
「週刊ベースボール」(2.7号)に掲載された巨人・清武英利球団代表(60)のコラム「斎藤佑樹を蹴って澤村拓一を指名した理由」が、斎藤の父・寿孝氏の怒りを買ったようだ。

22日(火)発売の「週刊アサヒ芸能」(3.3号)は『「息子に期待できるのは人気だけですか」日ハム 斎藤・父が巨人 清武代表「実力不足」発言に猛反論!』と題し、一連の経緯を伝えている。

「その文面からは、巨人が斎藤を蹴ったのは人気より実力を重視した結果だった、と読み取れるのだ」と同誌が綴っている清武代表のコラムだが、「週刊ベースボール」が発売されると、これに反論する投稿が「夕刊フジ」に寄せられた。

「夕刊フジ」に掲載されたのは、『斎藤に期待できるのは人気と伸びしろだけで、実力は大したことがないということか。さも人気目当てで取ったみたいな言い方は日本ハムにも失礼だ』という投稿とされるが、その送り主「斎藤の地元・群馬県太田市の支援者」の正体は、なんと寿孝氏のようなのだ。

だが、同誌にコメントを寄せるスポーツ紙記者は、「ドラフトから今日まで、野球報道は斎

藤一色。4月22日からの楽天対日本ハム3連戦が、テレビ中継される可能性もあります。田中将大と斎藤佑樹の一騎討ちが実現しそうだからです。テレビ中継数が激減している巨人にすれば、斎藤を獲得していたら事態は一転していたかもしれません。日本テレビ内にも『斎藤を獲得していれば…』の声は現場レベルで出ています」と語っており、清武代表からすれば、周囲の声より先に弁明しておく必要があったことがうかがえるものの、同じく同誌にコメントする球団関係者は、「寿孝さんは早大進学時に熱心に誘ってくれた巨人には好印象を抱いていたんです。でも、昨秋のドラフト直前の面談で、『澤村で行く』とはっきり言われ、ショックを受けていました」とも話している。

寿孝氏にしてみれば、巨人から2度に渡って手の平を返すように態度を変えられた分、怒りもひとしおだったのかもしれない。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

・週刊アサヒ芸能 (モバイル版)

【Sports Watch】星野監督は“プレイボールっていった瞬間に人が変わる”

TBS「S1」(20日深夜放送)では、プロ野球解説者・広澤克実氏が、東北楽天ゴールデンイーグルスの松井稼頭央&岩村明憲に独占インタビューを行った。

楽天入りを決めた理由として、「星野監督がお電話で“新しい歴史を作っていこう”というお言葉を頂いた」(松井)、「お前と一緒に野球がしたかったんや」(岩村)といった星野仙一監督の口説き文句を明かした両者だったが、その後、「本当にユニフォームじゃない時ってね、本当に優しい、穏やかな…」と二人が星野監督の印象を語ると、阪神時代にその下でプレーをしていた広澤氏がその豹変ぶりを力説した。

「ユニフォーム着て、本当にプレイボールっていった瞬間に人が変わる。楽天も18時開始かな。17時半くらいのノックが終わって、ミーティング終わって、20~30分時間あるじゃない？ あの時間の顔と、5分前に選手がバァーっと出ていった時の表情が全く変わる。まあ、百聞は一見に如かずだよ。

丁度、17時半くらいから相撲観てんだよ、相撲。後ろで。ひいきの力士がいて、応援してんだよ。俺も一緒におうおうってやってるのが、55分になった瞬間にガーって変わるから。ああ、広澤が言ってた通りだって。もうバカって変わるよ。スイッチが入った瞬間」と、一気に話し続けた広澤氏。

プロ野球パ・リーグ開幕戦では、試合開始とともに“戦闘モード”のスイッチが入る星野監督の豹変ぶりにも注目が集まりそうだ。

【Sports Watch】田中と岩隈、ノムさんが考える楽天開幕投手は？

26 日深夜放送、TBS「S1」では、オープン戦における北海道日本ハムファイターズ・斎藤佑樹と、東北楽天ゴールデンイーグルス・田中将大の仕上がり具合を野村克也氏が解説した。

「4 年間、高いレベルの中でもまれた選手（田中）と、アマチュアでやってきた（斎藤）のと差がだいぶ出ましたね。（斎藤は）躍動感。大人しい。バッターが一番幻惑されるのが、最後の手の伸びなんですよ。ステップする方の足が突っ張るのが気になる。リリースのところで、ちょっと腰をのせる体重移動、この辺に物足りなさを感じる」と指摘する野村氏。

ストレートに拘りをみせる斎藤には、「そのためには、バランスというかフォーム作りですよ。速い球を課題にすると、どうしても力みが出ちゃうんで、僕はコントロールをテーマにしてやったほうが、バランスもよくなるし、球の精度もよくなる」と助言した。

また、この時期から早くも 150 キロのボールを投げている田中については、「今見る限りは開幕すぐ OK っていう感じですね。（開幕投手は岩隈久志と）迷うでしょうね。開幕からスケジュールに合わせて、ローテーションの回り方で逆算して決めますけど、ピッチャーって今の子は開幕投手に拘りますから、その辺が星野監督は贅沢な悩みで困るでしょうね。どっちにするか」といいつつ、“野村氏だったら？”と訊かれると、「岩隈にやってもらわなきゃいかんから、マー君を呼んで、しっかり説得してちょっと我慢せよと、お前は来年があるじゃないかと」と答えた。

【Sports Watch】里田まい、マー君との交際には“おばかキャラは一切なし”

本日 1 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（3.10）では、『美女リークス』なる見出しで、小林麻央や綾瀬はるか、平井理央といった旬な女優やアナウンサー、美女アスリートの近況を伝えている。スポーツ系でいえば、昨年 11 月末、東北楽天ゴールデンイーグルスのエース・田中将大とタレント・里田まいの交際が公のものとなったが、その後も順調に続いているという二人の様子を里田側からフューチャーした。

同誌にコメントを寄せるスポーツ紙のデスクは、「里田は、マー君の話になると、ふだんのおばかキャラは一切なし。しっかりとした“姉さん女房”なんです。その姿に楽天関係者からの評価も上がりっぱなしですね」と語っており、マー君をリードしているのだとか。

また、結婚は時間の問題と言われている二人について、楽天の番記者は「2 月のキャンプ中は会えないので電話やメールで連絡を取り合っていた。特にメールは練習が終わるや、速攻で返信しているそうです。そのメール打ちの速度たるや、女子高校生のように巧みで、物凄く速さだとか（笑）。里田にそこまで成長させられたか、と先輩や同僚選手にからかわれると、生真面目な顔を真っ赤にして『スイマセン』と謝っていたそうです」と語り、前出のデ

スクは「これまでリップサービスをしてくれなかった田中が、エース岩隈の前で、あの『開幕投手宣言』でしたからね。結果を出して、オフに結婚なんて約束をしているのかもしれない」と続けている。

並々ならぬ意気込みで臨むマー君の今シーズン。斎藤佑樹ら黄金世代とのライバル対決も、愛の力で乗り越えてしまうのか――。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】長谷部が明かす。ザッケローニ監督が怒った

1日、日本テレビ「NEWS ZERO」は、ブンデスリーガ・ヴォルフスブルク所属する日本代表・長谷部誠に密着した様子を放送した。

その中で、同番組の質問に答えた長谷部は、日本人選手がブンデスリーガに急増している現状について、「今回、たくさん選手が移籍してきたのは、(香川) 真司があれだけ活躍して。そんなにフィジカルが強いわけじゃないですけど、身体が当たる前に早い判断でプレーできているので、50-50の身体で当たったら真司の方が負けちゃうことが多いと思うんですけど、当たる前に簡単にプレーしたりとか、そういうところで彼は成功している」と香川のプレーに成功の糸口があると語った。

また、「考える力とかね、そういうのが日本人はあるんじゃないかな。勤勉さの部分でいったら、日本人選手は本当によく練習するし、真面目だしっていうイメージはあると思う。まあ、僕の前監督で、ウッチー(内田篤人)の今の監督のマガトさんなんかは、そういうところを好んでましたね」と付け加えた長谷部。

先日、アジア杯を制した日本代表については、「W杯を経験してなかった若い選手は、まだちょっと、厳しい言葉でいったらお客様感覚な部分があって、一試合目終わった後に(ザッケローニ)監督が試合前のロッカールームの雰囲気だとか、『本当に(試合に)臨む準備が出来ていたのか?』って怒ったし、確かにそれは僕らも感じてた。若い選手達には『なんとかなる』、『誰かがやってくれる』じゃなくて『自分がやるんだ。自分のチームだ』っていう気持ちをもってやってほしい。自覚を持ってほしいというところを若い選手に問いかけた」と、その裏側を明かす場面も。

9月からは2014年W杯の予選がスタート。インタビューの最後、日本代表のキャプテンは「課題はまあ、正直色々あると思いますが、フィジカル的に負けているところが多かったですし、そういうところはもっと伸ばしていかないとけないと思う。9月のW杯予選もすぐ始まるので、そこに照準を合わせる」と意気込んだ。

【Sports Watch】ダルビッシュが明かす最終目標とは？

TBS「S1」（27 日深夜）では、北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と、プロ野球解説者・桑田真澄氏が対談した様子を放送した。

「(体重は) 去年のこの時期から 10 キロくらい違いますね」と、肉体改造によるパワーアップに成功している今シーズンのダルビッシュ。同じ投手でもある桑田氏が「見ている限りでは、僕なんかは 10 キロ増えたら動けないと思うんですけど、鈍いとか身体が切れてないとか全くないですよ」と尋ねると、「ないですね」とキッパリ。「投げるのもそうですし、細かい動きをするのにも重さを感じていない」と続けた。

また、増量の裏側を語ったダルビッシュ。「強度を上げて、食事を変えて、サプリメントも変えて、しっかり身体を大きくしよう、強くしようっていう気持ちでやりましたね。足も速くないですし、ジャンプ力もそんなあるわけではない。アスリートとして身体能力が高い方ではないですけど、野球選手である前にアスリートなので、そこをしっかりと整備して高いレベルに持っていきたい。野球の技術云々の前に、そこをしっかりとやりたい」と高い向上心を覗かせつつ、「身体を大きくするには、食事を摂らなきゃいけない。一日 6 食とか 7 食、その間にプロテインとかも一日 5、6 回摂って常に吐きそうな状態で毎日過ごしてました」と恐るべき食生活も明かす。

さらには、「まだ 10 キロ増えても大丈夫だと思います。105、106 くらいまでは最終的にはいきたいかなと思う」というダルビッシュは、その他にも、変化球の秘密や「本当に仲が良い」と語る斎藤佑樹との関係について答え、対談の最後に自身の最終目標を「目指しているところは誰も見たことのないピッチャー。だから（自分にも）分からないですよ。人間の中で一番」と壮大なゴールを口にした。

【Sports Watch】工作中、サッチーから“もうやめて帰ってこい”と言われるノムさん

4 日深夜放送、フジテレビ「ザ・トラブルシューター〜笑う裁判所」では、高須クリニック・高須克弥氏が、プロ野球解説者・野村克也氏の妻でサッチーの愛称を持つ野村沙知代氏が“すぐにブチ切れる”と訴え、さっそく両者が番組内で言い争った。

「すごく僕のトラウマになっているのは、(サッチーと一緒に料亭に)行ったら“まずいわね、この味噌汁は。誰だこれ作ったのはって。馬の小便のようなものを出すこの店は”って」とサッチーが激怒したエピソードを紹介したが、サッチーも「その店をよく知ってるし、経営者もよく知ってる」と反論する。

だが、ここで夫のノムさんが電話出演でサッチーの短気ぶりを証言する。「ええ、まあ短気ですよ。40 年一緒にいますから慣れましたけど、基本的には“触らぬ神に祟りなし”」と答

えると、「その日の気分じゃないですか。昨日も仕事に出てまして、十何回電話が掛かってきて、“もうやめて帰ってこい”っていうんですよ。（理由は）わかんない」と続ける。

その他にも、「高須さんに限らず、皆に苦勞かけてますけど」というノムさんだが、そんなサッチーが高須氏の美容手術を受けたことについては、「何もいじらんでも綺麗なのにね」とフォローするのだった。

【Sports Watch】ノムさん、松井の練習法に苦言「あんまり好きじゃない」
5 日深夜放送、TBS のスポーツ番組「S1」で、オークランド・アスレチックス所属・松井秀喜の練習法が紹介されるや、スタジオで映像を見ていたプロ野球解説者・野村克也氏が苦言を呈する場面があった。

これはオープン戦で本調子とならない松井が、左手一本で短いバットを持ち、バットコントロールの練習に勤しんでいる様子が伝えられた後だった。

野村氏は「僕、こっち（左手）でやっている練習はあんまり好きじゃないですね」と切り出すと、「やっぱりバッティングって両手が大事で、右は右、左は左の役目があるんですよ。こっち（左打席の場合の右）はコースとボールをリードして、こっち（左）は当たる時にバーンって、パワーですよ。リードとパワー。これをうまく使う。これを（片手で）やると、神経ってこう（交差して）はしってるらしいけど（身体が開きやすくなる）。こっち（右側）で壁を作って、こっち（右手でリード）でやるのが正しいと思いますよ」と見解を述べた。

【Sports Watch】プロアマ問題に怒り心頭のノムさん、都知事選には「俺でもいいけそう」
今月 1 日、日本学生野球憲章の改正後初となる、プロ野球チーム（巨人・二軍）と大学単独チームによる交流戦が宮崎市内で実現した。

1961 年、柳川福三の中日ドラゴンズ入団をめぐり、プロ野球界と社会人野球界に大きな亀裂がはした、いわゆる柳川事件から 50 年――。

TBS「S1」（5 日深夜放送）で番組恒例コーナー「ノムさんのボヤキ部屋」に登場した野村克也氏は、「柳川事件があって、あれが 50 年前だよ。まだやってんのよ」と切り出すと、「俺はプロ入って、野球を教えて貰って、専門知識を得て、我が母国の高校野球の監督をやると思ってプロ入ったのよ。できないのよ。なんとかしてよ。なんでプロを嫌うの。アマチュア野球。さっぱりわからない。嫌われる理由が。なんか我々犯罪者みたい。完全な差別でしょ。プロアマの問題はとにかく怒り」と、貴重な前進となった今回のプロアマ交流戦を経て尚、アマ側に対する恨み節を披露した。

ちなみに、コーナーの冒頭では「一番ホットなニュースは最近東京都の知事選でしょ。ダ

メかな、俺？ 顔ぶれ見たら俺でもいけそうな顔ぶれじゃない？ 怒られちゃうね。まあ、出ても転落、楽天」とギャグをかまし、笑いを誘ったノムさんだった。

【Sports Watch】武豊が引退ほのめかす？ 関係者も「明らかに気力が失われた」
本日 8 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（3.17）では、『「僕もそろそろ調教師の道を…」
天才が「引退」をほのめかした痛恨の理由』と題し、天才ジョッキーとして名を馳せた武豊
の近況を伝えている。

03～05 年には 3 年連続で 200 勝超えを達成していた武も、徐々に勝ち鞍が減ってくると、
昨年は 69 勝に落ち込み、今年も 2 月末までの成績は僅か 9 勝にとどまっている。

同誌にコメントを寄せるスポーツ紙競馬担当デスクは、「今、豊はエージェント（馬の手配
師）任せでなく、自分でも馬の確保に動いています。こんなことは 4、5 年前には考えられ
なかった。危機感を感じているんでしょうね。それでも有力馬の騎乗依頼が外国人騎手に行
ってしまい、簡単に流れは向かないと思いますが」と述べている。

同誌によると、武自身も、競馬サークルが外国人騎手重視の姿勢になっていることを承知し
ているとはいうものの、それでも、09 年のジャパンカップでウオッカ騎乗をフランスのル
メール騎手に変えられた際には大きなショックを受けたという。これには競馬サークル関
係者も「あれ以降、明らかに気力が失われた。熊沢重文騎手（43）も『このところレースを
楽しそうに走っていない』と言っています。後手に回る騎乗が多く、調教師の間では『タメ
殺しをしている』との不満も出ている」と明かす。

また、昨年 69 勝に終わった要因にもある落馬事故（昨年 10 月／毎日杯）後、回復はした
ものの、激しい腰痛を抱えるようになったという武。前出・競馬サークル関係者は、「昨年
2 月に、1 歳半下のダービー騎手・角田晃一（40）が調教師試験に合格した時のこと。豊は
親しい記者に『僕もそろそろ調教師の道を考える時が来ているのかな』と、しんみりこぼし
たといいます。近年の成績不振や落馬後遺症の他、ちょうど父親の武邦彦が調教師を引退し
たことも関係しているんでしょう」と語っており、天才・武の今後に注目する必要があるそ
うだ。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

【Sports Watch】世界で一番かわいい力持ち

6 日、重量挙げ全日本ジュニア選手権が行われ、女子 53 キロ級のアイドル選手、八木かな
えが、自身の高校記録を更新するスナッチ 83 キロをクリア、さらにジャークは 103 キロを
成功して初優勝を遂げた。

兵庫県・須磨友が丘高3年で18歳の八木は、アイドル顔負けのその愛くるしいルックスから、かわいすぎる女子高生アスリートとして注目を集め、ネットを中心に人気が沸騰。優勝後のコメントでは「取り上げられることで競技を広めたかった。(注目されることに)戸惑いもあったけど、今はそれを力に変えたいと思っています」と語り、爽やかなスマイルを振りまいた。

たしかに、かわいい顔をして巨大なバーベルを持ち上げる様には違和感があるが、こんなにかわいくてこれほどの力持ちは世界中をどこを探してもそうはいない。ロンドン五輪まであと1年弱。夢の舞台を目指し、これからどんな記録と笑顔を振りまいてくれるのか要注目だ。

【Sports Watch】斎藤佑樹はプロで通用するのか？

6日深夜放送、テレビ朝日「Get Sports」では、「プロで通用するのか？斎藤佑樹の実力を解明」と題し、プロ野球解説者・栗山英樹氏が斎藤佑樹にインタビューを行った様子を放送した。

ここまでの仕上がり具合を「順調にきてると思います。体調も含めて、いい流れできているんじゃないのかなと思います」という斎藤は、先月末から幕を開けたオープン戦を「練習というよりは、開幕一軍に向けてっていう感じ。点をやらない。見えてくるものはあった」と語る。

さっそく、3月2日に登板したヤクルト戦を振り返った斎藤。6回には、1アウト2塁という場面で、青木宣親を迎えたが、「とにかく青木さんはゴロを打たせようと。(三振は?)絶対無理です。やっぱり、初球だけじゃないですけど、全部外れるように。全部(ストライクゾーンから)逃げていくようにっていう感じですね。真ん中にはもっていけないですね」と振り返った。

実際、青木と対戦した場面では、スライダー、ツーシーム、スライダーでワンツールのカウントになったが、「フォアボールでもいいかなという感じでしたね。一塁も空いてるので。それで(次のバッターで)ゲッツーを取ったほうが楽かなと」といい、気持ちに余裕を持っていたことをうかがわせつつ、4球目のツーシームでショートゴロにきつてとると「このボール、すごいよかったです」と笑顔を見せた。

さらに、「怖い感じもあったんです。青木さんなので。それをレフトにもっていくかもしれないという怖さもありましたけど。でも、大学で通用したのを試したいというのもあったので、すごいいい経験ができたと思います。トップレベルじゃないですか。そういうバッターを内野ゴロに打ち取れたっていう、一つの引き出しを開けた」と続けた斎藤。続く田中浩康

に対しては、4 球目と 5 球目のスライダーで、ボールを変化させる位置を変えるという試みをしていたことを明かすと、6 球目は「困ったら真っ直ぐしかないですね」と語った通り、ストレートで仕留めたのだった。

「内野ゴロを打てるボール、それをしっかり投げ切れば、これからも“ある程度は”って思いましたね」と自信を口にした斎藤。開幕一軍入りに向け、手応えを掴んでいるようだった。

【Sports Watch】日本代表・細貝、人気モデルと結婚を発表

アジアカップ・韓国戦では、本田圭佑が外した PK のこぼれ球をゴールに叩き込み、勝利の立役者となったサッカー日本代表・細貝萌。イケメン選手としても知られる細貝は、前橋育英高校卒業後から約 6 年間所属した浦和レッズを離れ、ドイツのブンデスリーガで新たな挑戦をはじめた。

そんな折、今月 10 日、細貝は人生のパートナーとして、人気モデル・中村明花さんとの結婚を自身のブログで発表した。

「これまでの間、お互いの仕事を支え合いながらお付き合いさせて頂いていました」と綴る細貝。「僕はサッカー選手として自分のリズムで生活を送っている中、明花さんは、時間がある限り美味しい手料理を作ってくれるなど、僕をサポートしてくれました。サポーターの皆様の温かい応援と共に、浦和レッズ在籍時には本当に有り難い存在でした」と明かし、ドイツ挑戦についても「明花さんも一番近くで僕の背中を押してくれました」と語っている。

また、中村さんの公式ブログでは「私も日本で仕事があった為、今は別々に暮らしていますが、時期を見て私もドイツに向かおうと思っています」と綴り、ドイツでの新生活をスタートする旨が報告されつつ、「海外に住むなんて考えた事なかったけど…彼を好きになっちゃんだからしょうがない!!! 笑」とも。

新たなパートナーを得た細貝、今後の躍進に益々期待が持てそうだ。

【Sports Watch】巨大地震、サッカー、プロ野球、格闘技など試合が中止（延期）に
11 日、三陸沖を震源とするマグニチュード 8.8 の巨大地震により、J リーグは 12 日&13 日に予定されていた J1、J2 第 2 節の開催延期を決定。これを対象とする第 489 回分の toto も不成立となり、払い戻しが行われる。

プロ野球でも、11 日行われていたオープン戦がコールドゲームになったばかりか、球場ではグラウンドを避難所としてファンや近隣住民が避難、12 日に予定されていたオープン戦 6 試合も全て中止になることが決まった。

また、プロレス・格闘界では、11 日夜に宮城県石巻市総合体育館で予定されていた全日本プロレス、東京・新宿で行われる予定だった女子格闘技ジュエルズが中止となったばかりか、翌日 12 日に後樂園ホールで開催予定だった修斗は、会場が大きなダメージを受け、使用できる状態ではないということから大会は延期になった。

【Sports Watch】 亀田興毅が被災地に物資「子供達がちょっとでも元気になってくれたら」3 月 11 日に発生した三陸沖を震源とする東日本巨大地震。地震による倒壊や火災、津波により、多くの命が奪われている上、福島第 1 原子力発電所から大量の放射性物質が出ているなど、予断を許さない状況が続いている。

そんな中、プロボクシング・WBA 世界バンタム級王者・亀田興毅は、自身のブログ上で「今日関係者を通じて、飲料水とお菓子を被災地へ輸送」したことを明かした。

「まずは自分がすぐに用意出来る物を集めました。やっぱりどんな時も水は必要やし、お菓子は俺が好きやから子供達がちょっとでも元気になってくれたらなあと思って俺が好きなグミを送りました」と綴っている興毅。同ブログにアップされた写真によると、トラックにダンボールが（撮影している時点で）推定 200 箱以上積まれている。

【Sports Watch】 “すぽると！”番組中、平井アナに大きな違和感 15 日深夜放送のフジテレビ「すぽると！」では、静岡県富士宮市で発生した震度 6 の地震により、予定時間が変更となり、約 7 分程度の放送となった。

番組中は、「東日本大震災の影響は——今日のスポーツ界の動き」という見出しが付けられ、第 83 回選抜高校野球大会の組み合わせ抽選会や、開幕日程を協議するプロ野球緊急理事会の様子を足早に伝えた。

だが、VTR が流れる中、大きな違和感を感じさせたのが、フジテレビ平井理央アナウンサーの声だ。かすれるような声によるアナウンスに終始し、それは「泣いているのか？」と感じてしまうほど。それでも、VTR が終了してスタジオにカメラが戻っても、彼女に泣いていたような気配は一切感じられなかった。

また、この放送を視聴した人たちも、それぞれのツイッター上にて

「数ヶ月くらい前から、たまに見るとかならずおかしいんです」

「平井アナはどうしたんだろうかと心配になるような声」

「すぽると東北高校の甲子園の読みながら平井アナ絶対泣いてた」

「平井さんはときどきこうなります w」

「もう平井理央の喉が限界やん」

「甲子園のニュース読んでる平井理央アナ泣いてましたね」

「すぽると、久々。平井アナの声がおかしい。」

「平井の声がないようにしか聞こえないw」

「平井アナ泣いてる？」

「こんなときですけど平井アナって原稿読むとき声かすれすぎじゃない？喉になんか絡んでる絶対!!!!スポーツみてていつも思ってた....僕だけでしょうか？」

「平井アナって最近声のかすれ具合ひどい気がする 調子悪いんか？」といった呟きが短時間のうちに寄せられた。

昨年から度々指摘を受けている平井アナの声。それは喉の不調によるものなのか、あるいは別に原因があるのか——。この日のアナウンスを聴く限り、決して楽観できる状態ではないと感じるだけに、その今度が気になるところだ。

【Sports Watch】話題の美人姉妹が直接対決

3月6日から13日まで、第47回島津全日本室内テニス選手権大会が京都で行われた。東北関東大震災が起きて以降は、選手たちにとってメンタルコントロールの難しい中での試合となったが、熱戦の末男子シングルスはドミニク・ミフェルト、女子シングルスは秋田史帆が優勝。大会終了後には、東北関東大震災の被災者に向けてチャリティダブルスも行われた。

そんな大会の中で一際輝きを放ったのは、テニス界で美人と大評判の、瀬間友里加と詠里花の姉妹。下着メーカーのピーチジョンと契約し、モデルも務めるほどの美貌を持つ2人の直接対決が準々決勝で実現し、妹の詠里花に軍配が上がった。美人姉妹が繰り広げた華麗なラリーの応酬に、観客も思わずうっとり。あなたはどっち派？

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】野村氏、プロ野球開幕問題に“セとパはいつもいがみ合う”

19日、プロ野球のセ・リーグは、都内で臨時理事会を開催、文部科学省からナイター自粛を要請されたことを受け、その開幕を今月29日に延期するとした。

その他にも、4月3日までは東京・東北電力管内のナイトゲーム取りやめデーゲームとする。レギュラーシーズンは、延長戦を行わず9回で打ち切りとするなど、節電に配慮した項目が追加されたものの、最後までセ・パ両リーグの足並みが揃うことはなかった。

同日深夜放送のTBS「S1」では、プロ野球解説者・野村克也氏が見解を述べた。

「やむを得んとは思いますが、もっともっと根本というか、私らが現役時代からそうですけど、セとパがいつもいがみ合って、なんで手を繋いで協力し合って、頑張っていこうって、

こういう時こそ団結するとき。プロ野球機構でしょ。一緒になってやっていかなきゃ。昔からセとパは意地をはる。セはこう、パはこうって、どうしてそうなるんだろうね」とまくし立てた野村氏。

その後も、「どうしても 144 試合やんなきゃいけないのかなって思うんですよ。10 試合でも減らせばいい。我々の場合は 130 試合だったんですから。そう考えたら、144 試合にこだわることはないんじゃないか」と続けると、その後半には「あと気に入らないのが、コミッショナーが人ごとみたいなこと言ってるでしょ。こういう時こそリーダーシップを発揮して先頭に立ってやるべき」と苦言を述べた。

【Sports Watch】広澤氏、プロ野球開幕問題に「野球ファンじゃない人もいる」

20 日深夜放送、TBS「S1」では、プロ野球開幕について、プロ野球解説者・広澤克実氏、榎原寛己氏がコメントをした。

「基本的に東北、東京電力の供給地内でやるというのは反対です」と切り出した広澤氏は、「野球ファンもいるし、野球ファンじゃない人もいる。野球で元気が出る人がいるなら、サッカーでもでしょ。バレーも格闘技も、歌手の人はコンサートやりましょう、イベントやりましょう。みんながやってったら、こんなに一生懸命節電や停電に協力しているのに、そういう人たちの気持ちを逆なでするし、僕は野球だけが認められるわけじゃなくて、東京電力の供給地内の人たちは、やっぱり節電、停電に協力していくべきだから、そのエリア外でやるには結構」と正論を述べると、榎原氏も「時期尚早」と同調した。

また、「ナイターやるんだったら、電車の一本でも多く走らせる。また、冷凍、冷蔵庫を使っている企業も一生懸命節電に協力している。このエリアでやるのはちょっと問題がある。減灯もそうですし、延長戦をなくすって、野球の醍醐味を削除してまで野球やる必要はない」と続けた広澤氏は、「野球は延長戦があるから、色んな策略、戦術を立てて、面白さが出てくるんですよ。減灯して危ないですね。パフォーマンスが落ちるんだったら、無理してやる必要はないんじゃないか」と訴えた。

同問題では、セ・リーグが開幕戦を 4 日だけ延期し、29 日開幕としたが、疑問の声が減ることはなく、22 日には、蓮舫節電啓発担当相、高木義明文部科学相から再考を求められていると、巨人の滝鼻卓雄オーナーが一部メディアに不快感を示すコメントを残し、ネットを中心に更なる批判を集めている。

【Sports Watch】気丈に振舞うゴルフ界の AYU

東北関東大震災の影響を受け、国内ゴルフの中止が続々と決まっている。大会中に震災となり、第 1 ラウンド終了時で競技不成立となった「ヨコハマタイヤゴルフトーナメント PRGR レディースカップ」に加え、「T ポイントレディース」、「ヤマハレディースオープン葛城」、さら

に4月8日から開催予定だった「スタジオアリス女子オープン」も、23日に中止が発表された。これで中止となったのは4大会連続となる。

震災翌日には、東北高校出身の有村智恵が被災地への思いを語り、テレビカメラの前で涙を流す場面が映された。気丈に振舞う彼女を中心として、女子プロゴルファーたちは率先して各地で募金活動を行っている。

有村は“ゴルフ界の浜崎あゆみ”とも呼ばれるルックスで、ゴルフファンのみならずスポーツファンの心を癒してきた。本家AYUにも負けないその笑顔とともに、一日でも早く復活してもらいたいものだ。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】野村氏「コミッショナーはもっと権限を」

26日深夜放送、TBS「S1」では、紆余曲折を経て、4月12日のセ・パ同時開幕が決まったプロ野球界について、野球解説者・野村克也氏がコメントを述べた。

「我々が現役の時から、セとパがいがみ合うといたら言い方が悪いんですけど、そんな感じがしてたんですよ。日本シリーズとかオールスターとか、リーグを代表しているものはむき出しにしてやればいいので、試合を離れたら両リーグとも手を取り合っていい方向に進むという、そういう風にプロ野球はあって貰いたい」と語る野村氏。

また、「組織というのは、ピラミッドっていうのが理想なんですから、トップがしっかりしてれば、少年野球、高校野球は始まってますけど、そういう底辺まで意思が通っているという、そういう組織を作り上げて貰いたい。特にプロ野球のコミッショナーはもっと権限を持ってほしい。足りない気がしますよ。選手の意見を聞いてとかなんとかって、コミッショナーなんだから、自分で“こうせいああせい”でいいと思うんですけどね」と訴える野村氏だった。

【Sports Watch】キム・ヨナ、泥沼の訴訟合戦で人気にかげり

今月21日、女子フィギュアスケート金メダリスト・キム・ヨナ（韓国）が前所属事務所となるIBスポーツに対し、収益配分をめぐる訴訟を起こしていたことが分かった。

ヨナの代理人を務める法務法人ジアンは、スポンサー各社がIBスポーツに支払ったヨナの広告料から、8億9400万ウォン（約6400万）がヨナ側に支払われていないとしているが、対するIB側もヨナの母親が自ら設立した会社に、同社の社員2名を引き抜かれたとして損害賠償を求めるなど、泥沼の訴訟合戦になっている模様だ。

そんな折、29日発売の「週刊アサヒ芸能」(4.7号)は、『キム・ヨナが前所属事務所を「金ゲバ訴訟」！人気凋落で「CM女王」の座も奪われ…』という見出しで、関係者の証言を伝えている。

09年には年間CM契約料が10億ウォンにまで跳ね上がり、10社と契約。自身の年収も120億ウォンにもなったと言われたヨナだが、昨年8月、ブライアンオーサーコーチとの決別から、その人気にかげりが見え始めたようだ。

同誌にコメントを寄せる韓国スポーツ紙記者は、「ヨナとコーチの確執は、母親が練習やマネジメントに口を出すようになったから。結局、喧嘩別れになってしまったが、スポンサー側は金メダルをもたらしたコーチに対する恩義に反すると反発したのです」と話す。

さらに、韓国情勢に詳しいジャーナリスト＝李信恵氏も同誌にコメント。「昨年10月に発表されたCM好感度ランキングでは、女王の座を若手女優のシン・ミナ(26)に奪われました。五輪以後、ヨナが試合に出ないこともあり、フィギュア人気も下降。“キム・ヨナ、韓国より日本で人気”と皮肉られたほどです(笑)」と明かし、「韓国では一族の誰かが大金を手にとると、親戚一同が寄ってきて親や親戚がお金の管理をしたがるのです」と語っている。すっかり、お騒がせアスリートとなってしまった感のあるヨナ。人気回復は、本業の結果如何に懸かっている。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】3月29日開幕にこだわった巨人、2つの誤算とは？

三陸沖を震源とする東日本大震災の影響から、その開幕日を4月12日としたプロ野球界。だが、当初、セ・リーグは巨人が主導する格好で“4日ずらしただけ”の3月29日開幕を断行しようとしたことで、ファンの反感を買い、阪神タイガース・新井貴浩を会長とする選手会や、文部科学省からは苦言が述べられていた。

それにしても、巨人はなぜ3月開幕にこだわったのか——。29日発売の「週刊アサヒ芸能」(4.7号)では、『巨人が「3月開幕」に固執したゴーマン理由！』と題し、その周辺レポートを掲載した。

渡辺恒雄球団会長、滝鼻卓雄オーナーら球団首脳陣が強気の姿勢を見せていた今回の開幕問題。同誌は「2つの誤算があった。一つは当初は3・25開幕に積極的だった中日、阪神、広島がパの延期案に同調し始めたこと。そして、もう一つが政界工作の不備である」と指摘する。

同誌にコメントを寄せる球団関係者は、「3月25日の巨人の開幕カードはテレビ中継される予定だったんです。それが4月12日までズレ込んだ場合、春の番組改編期に当たるため、プロ野球中継を入れることがきわめて難しくなる。さらに、チケットの払い戻し、地方球場の確保、交通宿泊施設のキャンセルと再予約などを考えると、ぎりぎり妥協できるのが29日だった」と説明する。

また、連盟関係者は、「加藤コミッショナーと昵懇であるソフトバンク・王会長が、コミッショナーと巨人サイド双方に連絡を取って、打開策を探っていたんです。24日の緊急理事会で1球団だけ4月9日の週末開幕を希望しましたが、結局、折れたのは王会長の後押しがあったからとも言われています」と語り、その内幕を明かした。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】石井慧が電撃離婚か？「女性自身」が報じる

3月29日発売の「女性自身」(4月12日号)では、「スクープ！石井慧－電撃離婚の真相を独占直撃！」と題し、柔道五輪金メダリストで現在は総合格闘家・石井慧の離婚スクープ記事が掲載されることが分かった。

昨年春、4歳年下の現役女子大学生、美香さんと入籍したことで話題となった石井だったが、同9月に放送された日本テレビ「行列のできる法律相談所」の「気の毒な夫決定戦」に出演した際には、ケンカ時における妻の粗暴な様子を語るなど、早くも前途多難な夫婦生活を明かしていたばかりだった。

尚、石井は4月1日(現地時間)にカリフォルニア州ストックトン・アリーナで開催される米格闘技イベント＝ストライクフォースに出場する予定となっていたが、震災の影響により、変更となる可能性も取り沙汰されていた。

■関連リンク

・ストライクフォースに石井慧出場 - MMAPLANET 2011.3.11

・石井慧、女子大生との電撃婚も新婚の実態は？ - Sports Watch 2010.9.27

【Sports Watch】原発事故で危機に立たされた女子アスリート

東日本大震災の余波を受け、東京電力女子サッカー部マリーゼがチーム存続の危機に立たされている。

マリーゼの選手たちは全員が東京電力の社員で、放射能漏れの大事故を起こしている福島原発の総務などで働いていた。ホームグラウンドである福島県楡葉町のJヴィレッジは、現在自衛隊の前線基地として使用中。マリーゼの選手、スタッフは震災以来自宅待機してお

り、活動再開の目処はまったく立っていない。

マリーゼには昨年 11 月のアジア大会で金メダルを獲得した鮫島彩、長船加奈ら 3 人の日本代表選手が所属しており、笑顔がかわいいと評判の鮫島は美女アスリートとしても人気。彼女の母校は仙台にある常盤木学園高校で、知り合いで被災した方も多数いる可能性もあり、一刻も早い原発の正常化、被災地の復興を、彼女たちは祈っている。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】西岡のホロ苦 MLB デビュー、ノムさんは“弁解無用”

日本時間 2 日、米大リーグが開幕戦を迎え、ツインズの西岡剛がブルージェイズ戦に先発出場を果たした。

その結果、1 安打を放ったが、セカンドゴロで初失策を記録。また、一二塁間でランナーを挟んだものの送球が遅れるなど期待された守備面ではホロ苦いメジャーデビューとなった。

同日深夜、TBS「S1」では開幕戦の西岡に密着した様子を放送。試合後のコメントを伝えた。

「別にホロ苦とは思ってないですけど。人生長いんで、そういう時もあるでしょ。そうやって、最初のメジャーの舞台に立てたことを幸せに感じないといけないし」と前向きに語る西岡は、「緊張は全試合すると思うし、その中でやるのがプロだし、その中でエラーもする。それが今日出たっていう感じだと思うし。自分の中でしっかりとね、自分自身が反省しているし、分かっている。シーズン通していい成績を残せるよう頑張るしかない」と続けた。

しかし、VTR が終わりスタジオに戻ると、野球解説者の野村克也氏は、「あのエラーは頂けない。正面のボールをわざわざ逆シングルでいってる。あれは基本から外れたプレー」とダメ出し。送球ミスについては「あれは弁解無用でしょ。あんな簡単なプレー。子供でもしないようなミスですから」と厳しく言い放った。

【Sports Watch】自粛ムードの中、カズダンスを披露したわけ

東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーマッチ、日本代表 vs J リーグ選抜の一戦では、ファンの大歓声を背に途中出場を果たした三浦知良が、後半 37 分に劇的なゴールを決めた。

TBS「S1」（2 日放送）では、チャリティーマッチから二日後のカズにインタビューを行った様子を伝えた。

「そこまでの大きな意味を持つゴールっていうのがあるんだなって」、「この現状で伝えることってあんのかなって。言葉では見つけれられないですね」と語るカズは、岩手県出身・

小笠原満男のことにも触れ、「小笠原が結構悲壮感っていうか、悲しみを持って大阪入りして、“カズさんお願いします。助けて下さい”って」というメッセージを受け取っていたことを明かす。

また、自らが決めたゴールは、「よく難しかったんじゃないですかとか、コースを狙ったんですとか、色んなことを言われるんですけど、全部本当になんというか本能というか」と説明、ゴール後に披露したカズダンスについては、「今だから、やる価値はあるのかな。まだまだ自粛ムードのある中で何かスコーンと抜けるものが自分の中でも欲しかったのか。まだ自分でも分からないんですけど、前向きになりたかったんでしょうね。（カズダンスの最後で見せた）最後の一本が指の指すところが違いましたね」といいつつ、「僕はサッカー選手なんで、サッカーで一番協力できたらいいなと思ってたんで」と語った。

【Sports Watch】潮田玲子が“別人のようだ”!?

バドミントン・潮田玲子が単独出演を果たしたケンタッキーフライドチキンの新 CM が放映されているが、その評判は芳しくないようだ。

5 日発売の「週刊アサヒ芸能」（4.14 号）、「NEWS SHOT！」のコーナーでは、『潮田玲子「初単独 CM」にブーイング！「ポッチャリ顔が別人のようだ」』と題し、関係者の談話を伝えている。

『茶髪で、ふっくらとした顔のせいか一瞬、「誰？」と戸惑ったほどの別人ぶり。これにはファンの間から「もっとかわいく撮ってほしかった・・・」とブーイングが起きているという』（同誌より）。

そんな潮田について、同誌にコメントしたスポーツ紙デスクは、「担当記者でさえ、いつものユニホーム姿と違う彼女を見て驚いたぐらいです。初の単独 CM 出演ですから、通常ならリリースがあるものの、今回の大惨事で控えたようです。撮影がオフの 2 月に行われたため、体がしぼられておらず、あんなにポッチャリ映ってしまったんでしょう」と語っている。

一方、本業のほうでもロンドン五輪出場を目指す池田信太郎との混合ダブルスは苦戦が続いており、まさに正念場の年となっている潮田。そんな中での CM 出演には、大手広告代理店関係者の潮田評も辛口で、「大震災で CM 自粛ムードが流れる中、私たちがさえオンエアに驚かされました。わざわざ、潮田玲子だというテロップを入れた映像から見ても、今がギリギリの『売り時』という判断なのかも。昨年まで潮田の CM 契約料は 1200 万円で、フィギュアスケートの安藤美姫や女子ゴルファーの横峯さくらと同じランクでした。しかし、今季は 700 万円ほどまで下落してます。彼女はあくまでアスリートであり、成績しだい

大きく変動します」という見解を示す。

芸能事務所と契約し、キャスターやタレントとしての活動も増えている潮田。まずは何より本業での巻き返しが必要か。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】星野監督、開幕投手を決めた経緯を告白「今バラしますが……」

いよいよ来週12日に開幕するプロ野球。見所の一つは、田中将大、岩隈久志の二大エースを擁し、メジャー帰りの岩村明憲、松井稼頭央が新戦力として加わった東北楽天ゴールデンイーグルスの戦いだろう。

とくに田中は岩隈から開幕投手の座を奪うと宣言していた。しかし、東北震災により、その開幕が延期になると、千葉（QVC マリン）での開幕戦は岩隈が投げ、田中は甲子園が舞台となるホーム開幕、15日の対オリックス戦に登場することになった。

5日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、星野仙一監督の独占インタビューを放送。その裏側に迫った。

「これはね、正直いって田中が開幕だったんですよ。25日であれば。今バラしますが……。二転三転しましたでしょ。なかなか日程が決まらない。それともう一つ。我々主催の開幕が甲子園で行われると。甲子園ということで田中と思ったわけ。名古屋だったかな。田中を呼んで“お前に決めてた”と。“決めてた”って言ってんの。ボールに“3月25日、対ロッテ戦”って書いて渡したの。田中が投げようとするから“ボールをよく見ろ”って。ハッとしてポケットに入れてましたね」と語り、当初の開幕戦は田中が投げる予定になっていたことを明かした星野監督。

だが、開幕戦の延期が決まると、星野監督は「“実は田中。お前が生まれ育った甲子園がイーグルスの開幕なんだよ”と。俺はこれにお前をいかせたい。これがうちの開幕なんだ。千葉は岩隈でいかせてくれと。お前がどうしても千葉でいきたいのであればいいよと。優先するよと。したら、“甲子園でいきます”って言ってくれたのよ。あの子は性格いいからね」と、開幕＝岩隈、ホーム開幕＝田中に決定した経緯を説明した。

さらに、岩隈に対するフォローとして、「“ボールを渡して、もう田中に言ったからな”ってコーチに言ったら、岩隈にコーチが言って、その後、岩隈のところにいって、“ちゃんと切り替えてくれよ”って言ったら、“ハイ、分かってます”って。そういう会話はあったのよ」と話した星野監督。

もう一つの目玉である田中×斎藤佑樹については、「これはね、僕はマニフェストじゃないけど、うちの田中はローテーションを中心に回ってくれますから、斎藤君が頑張ってローテーションに加わってくるか。一日や二日ずらしても対戦を作りますよ。まあ、早めるってことはないけど、後ろにずらせるなら、相手に合わせる。梨田監督にもそれはお願いしている。ファンが観たい、望んでいるものに近付けるのが我々の仕事」と力強く語った。

【Sports Watch】長谷部、チャリティーマッチは「自分達が行動を起こすことに意味がある」
3日深夜放送、テレビ朝日「やべっち F.C.」では、「絆でつかんだアジアカップ～キャプテン長谷部が名波に真実を語る」と題し、先の東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーマッチで帰国した日本代表キャプテン・長谷部誠に、サッカー解説者・名波浩がインタビューを実施、その様子が放送された。

チャリティーマッチの開催に対し、「もちろん、こういうことを行うのに 10 賛成っていうのは絶対ないと思う。色々な考え方があると思うんですけど、ただ、自分達が何かをやめてしまっては、先に進めないし、自分達が行動を起こすことに意味があると思ったので、一つのチームとしてやっていった」と説明した長谷部。

1 月のアジアカップ優勝、一丸となって闘った日本代表について、「最初、若い選手が（日本代表で）お客さん感覚でやっているというのはひしひし皆に伝わってきて、一つの目標、優勝するっていう目標を得るためには、チーム全員が“自分がやんなきゃいけない”っていう気持ちにならなきゃいけないと話をミーティングとかでもして、若い選手が練習でも雰囲気変わって、意識変わって取り組んでくれた。チームとして一つになって、ひとつの目標に向かってできたから、それで優勝できたっていうのはある。全員が必要なんですよ」と振り返った。

また、震災によって多くの困難が降りかかる日本の現状にも、長谷部は「少しでも、自分も日本のために何かしなきゃっていう、そういう気持ちが必要だと思うから、今本当に日本が一つになる時だし、だから、そういった意味で皆で手と手を取り合って、一つのチームとしてやっていったら、絶対この苦難は乗り越えられると僕は信じている」と語った。

【Sports Watch】艶かしすぎるツイッターアカウント

元東京電力マリーゼで、元なでしこジャパンの丸山桂里奈が、2011 年 4 月 3 日に東京電力を擁護する主旨のブログをアップし、インターネット上で物議をかもし、翌日に謝罪コメントを掲載するという一騒動があった。

ブログがきっかけで叩かれてしまった彼女だが、男勝りな豪快なドリブルを武器に 2008 年の北京五輪ではスーパーサブとして活躍、そのプレーもさることながら、整った

顔立ちでルックス面でも人気を集めている。

美女アスリートらしく、ツイッターアカウント（4月6日現在）もなんだかとっても艶かしい。マリーゼの活動再開の目処は立っていないが、炎上にめげず、また新たなプレイグラウンドを見つけてもらいたいものだ。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】ベラルーシは世界一の美女揃い

テニスのソニー・エリクソン・オープン 2011 の決勝が4月2日に行われ、女子シングルスは、ビクトリア・アザレンカ（ベラルーシ）がマリア・シャラポワ（ロシア）を破って優勝した。

栄冠を勝ち取ったアザレンカは、ロシアの妖精と言われるシャラポワに勝るとも劣らない美貌の持ち主。

もともと、ベラルーシは大統領が自ら「美女はわが国の財産」と公言するほど美人が多いことで有名で、実はシャラポワもベラルーシ人の両親の間に生まれている。1986年のチェルノブイリ原発事故を受けてロシアに移り住んだそうだ。

アザレンカとシャラポワ、女子テニス界は二人のベラルーシ美人の時代がしばらく続きそうだ。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】節電中も夜桜をライトアップ!? 格闘家・秋山が仰天プロジェクト

モデル・SHIHOの夫としても知られている、総合格闘家・秋山成勲が電力を使用せずに目黒川の夜桜をライトアップする“格闘家らしい”仰天プロジェクトを明かした。

先月19日（現地時間）に出場予定となっていた米総合格闘技イベント「UFC」の試合は東北震災の影響から取りやめることとなった秋山。その後は、著名格闘技選手を集めて募金を募るなど、復興支援の活動を積極的に行ってきた。

そんな折、秋山は8日に更新した自身のブログで、「目黒川の夜桜を自転車による人力発電でライトアップ！チームエジソン発足致します」（同ブログより）と発表している。

「震災を忘れないためにも、今年の桜を記憶に残していただき、被災者の方にも、光と桜と

ともに元気をお届けしたい」と綴る秋山。同ブログでは、「目黒川沿いに人力発電の自転車4台を設置し、来場していただいた方に自転車を漕いでいただき、電気を蓄電することで、中目黒の桜並木に設置した8台のLED照明を人力発電でライトアップします」、「バッテリー畜電型で1台30分漕ぐごとに300Wの発電が可能。4台で二時間漕ぐ事によって、蓄電できます」と説明し、各界著名人も参加するという。

開催日は4月9日（土）19時から。雨天決行となっている。

■関連リンク

- ・【UFC120】秋山がビスピンに惜敗、ハザウェイは初黒星
- ・【UFC116】秋山2度目のオクタゴンはレーベンに一本負け
- ・【UFC100】秋山成勲、合格点のUFCデビュー

【Sports Watch】デートしたい男子アスリート・トップ10とは
グラビアアイドルがMCを務め、CGキャラクターのラルフと掛け合いをしながら進行するランキング紹介番組、TBS「ランク王国」（4月9日放送）では、渋谷の女性300人を対象に「デートしたいスポーツ選手TOP10」をアンケートした。

その結果、上位10名のアスリートは下記の通りになった。サッカー界から4名、野球界から3名、ゴルフ界から1名、フィギュア界から2名の男子アスリートの名前が挙がった。

- 1位：本田圭佑（44人）
- 2位：ダルビッシュ有（39人）
- 3位：斎藤佑樹（33人）
- 4位：川島永嗣（30人）
- 5位：石川 遼（20人）
- 6位：内田篤人（19人）
- 7位：坂本勇人（15人）
- 8位：長友佑都（11人）
- 9位：小塚崇彦（10人）
- 10位：高橋大輔（8人）

また、同ランキングの結果を取り上げた大手掲示板などでは、

「長谷部無いの意外だな」

「長谷部がカッコいいのは顔だけじゃないからな 普段サッカー見てるヤツにしか分からない」

「イチロー… 松井… この二人がいないのは信じられん」

「川島の方が内田より人気wwwwww」

「ハンカチはシーズン終わったら下がる ウッチーはACのCMがあってCLベスト4行けば上がる」

「川島がなんかエライ上だな。長友もイケメンじゃないのに、てか香川はいないのか」

「高橋大輔より小塚の方が上なのが意外」

「あれだけゴリ押ししていた亀田三兄弟がいないとは、いくら何でもあっさりと見捨てるなよTBS」

といったコメントが寄せられ、サッカー日本代表・長谷部のランク外や、4位にランクした川島の健闘に驚く声が見られた。

【Sports Watch】楽天・田中、「僕達の被害なんて微々たるもの」

10日深夜放送、TBSのスポーツ番組「S1」では、東北楽天ゴールデンイーグルス・田中将大のインタビューを放送。9日に収録を行ったという田中は、復興を目指す東北への想いを語った。

「震災が起こってから、テレビを通してでしか見ていない状況で、こういったインタビューだとか、取材などで“どういうお気持ちですか？”とか“今シーズン、どういうプレーをしたいですか？””っていう風に訊かれても、現地に行ってどういう状況かを自分の目で確かめていなかったんで軽々しい発言は出来ないなって思っていた」と切り出した田中。

その前日には、楽天選手達が被災地を訪れたが、「たくさんの家が流されて、瓦礫の山になっていましたし、陸の方になんでこんなところにこんな大きな船があるんだっていう状況がありましたし、なんといっていいのか」と言葉に詰まる。

また、被災者の方々を訪問した田中は、「避難所に行くにあたって、快く迎えてくれるのかなっていうのがあったんですけど、皆さん笑顔で迎えてくれましたし、歓声とかも頂けたので、そういう点で、最初の部分はホッとしましたね。“今シーズンも頑張ってる”って、ものすごく言って頂けたんですけど、僕達より大変な状況で、僕達の被害なんて、そういう人達に比べると微々たるものなので、僕はそこで“ありがとうございます”だけではダメだなって思ったんで“一緒に頑張りましょう”って言ったんですけど」と続ける。

また、4月15日に甲子園で開催されるホームゲームで先発する予定の田中は、「思い出の詰まった甲子園で初戦を、ホームゲームとして迎えるにあたって、そういうゲームは何が何でも勝たないといけない」と意気込み、毎年ケガに悩まされているシーズンについても、「1年間投げれば、数字は絶対に付いてくるものだとは思っているので、投げられない時期というのは、その苦しみも味わってますし、どれだけ投げられていることが幸せなことかって、十分過ぎるくらい分かったので、何としてもローテーションを守りたい」と決意を述べた。

【Sports Watch】ナベツネの強行にストップをかけた阪神・新井の影に古田敦也

東北震災ならびに節電問題の影響から、開幕日が二転三転するなど揉めに揉めたプロ野球界。

とりわけ、巨人は渡辺恒雄球団会長、滝鼻卓雄オーナーら球団首脳陣が強気の姿勢で、3月開幕を主張。「開幕を延期しろとか、プロ野球はしばらくやめろとかいう俗説があるが、太平洋戦争に負けたあとに、3ヶ月で始めた歴史がある」（渡辺会長）、「節電してくれってのは政府が言うことだろうけどさ、開幕を何日にしろってのはお上が決めることかよ。日程はわれわれが決める」（滝鼻オーナー）という傲慢な発言もあり、大きな批判を受けていた。

それにしても、巨人はなぜ開幕延期を嫌がったのか。プロ野球開幕と同じ、本日12日発売の「週刊アサヒ芸能」(4.21号)では、『4・12開幕決定で「こんちきしょう!」「反節電派」ナベツネが吐き捨てた』と題し、その裏側を伝えている。

同誌にコメントする巨人担当記者は、「東京ドームの年間シートを購入した客への補償問題が起こるからです。最も高額なエキサイトシートが2席で230万円、スターシートは1席105万5000円。他にも85万8000円、54万3900円など、多種類の席がある。今季分は売り切れており、総額は億単位になります。中止になった試合分だけ返金するとしても、相当な損害になるでしょう」と語っている。

また、4・12開幕決定から沈黙を守っていたという渡辺会長。読売グループ関係者によると、「しばらく表に出てこなかったのは、周囲が公の場でしゃべらないよう、必死に抑えていたから。相当アタマにきていて、マスコミに何をブチまけるかわからない状態だった」、「もうしゃあない。電力の問題とかいろいろ・・・。文部科学大臣の何とかっていう・・・副大臣か、こんちきしょうって怒ったけど」と明かしている。

ちなみに、この“こんちきしょう発言”については、「この発言を報じたスポーツ紙各紙に、読売新聞広報部から『こんちきしょう、とは言っていない。訂正記事を載せよ』という抗議の電話がかかってきました。でも、ナベツネ自身は『言ったんだからしょうがない』と漏らしているし、記者も発言を録音している。結局、『こんちきしょう、ではなく、ふざけんな、です』という言い分だった」（スポーツ紙デスク）という、訂正を促す意味が理解し難い後日談もあったのだとか。

その他にも、選手会長としてセ・パ同時開催に奔走した阪神・新井には、ヤクルト・宮本慎也や古田敦也氏のサポートがあり、渡辺会長が罵倒した鈴木寛文部科学副大臣と古田氏が交遊グループのメンバーであることを伝えている同誌。古田氏といえば、プロ野球再編問題

時に渡辺会長から「たかが選手が」という暴言を浴びせられた因縁があり、今回もまた巨人ないし渡辺会長の強行にストップをかける格好となった。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】プロ野球の開幕戦視聴率、去年を下回る結果に
東北地方太平洋沖地震により、延期となっていたプロ野球ペナントレースが、12日、遂に開幕した。

球団サイドと選手会、さらには節電を訴える政府を巻き込み、その開幕日が二転三転する事態となったが、最終的には、東北電力・東京電力管内における4月のナイターを自粛するなど、幾つかの条件下でセ・パ同時開催が実現する運びとなった。

それでも、13日に発表された視聴率（ビデオリサーチ調べ）によると、日本テレビで放送された巨人×ヤクルト戦・19時以降の平均世帯視聴率は11.8%となり、昨年3月26日の巨人開幕戦＝12.3%を下回る結果に。同じ日本テレビで先月29日に放送されたサッカー・チャリティーマッチ「日本代表×Jリーグ選抜」の平均視聴率22.5%（関東地区）と比べれば、遠く及ばない数字となった。

テレビ離れが叫ばれている昨今ではあれ、注目のイベントであれば、それなりの視聴率が出ている。世間はまだ“プロ野球”を求めてはいなかったのか——、このニュースを取り上げた大手掲示板では、

「そこそこだと思ったら去年より低かったのか」

「まあ今季の最高視聴率だろう」

「二桁行くと高いと思ってしまう」

「震災で大変な状況の中この数字はまあまあだな」

「ちなみに加重平均すると開幕戦過去最低視聴率になります」

「それでも結構取ったと思える不思議w」

「一応時間帯トップみたいだね」

「ファンならCS契約してるでしょ」

「テレビの視聴率自体下がってるんだし上出来でしょ。その証拠に他局と比べて一番良かったみたいだし」

「もうプロ野球はゴールデンで流すべきコンテンツじゃないな」

「マスコミが球団を持ってるからマジで何とかやってもらってるだけだわ」

「みんな震災報道の毎日で渴望してたんだからそりゃ見るでしょう」

「昔は開幕戦って一大イベントだったよなあ」

「本当に人気落ちてきてるんだね」といったようなコメントが寄せられ、その評価は分か

れている印象を残した。

【Sports Watch】横浜ベイ 1328 日ぶりの貯金に“解説陣全員謝罪しろ”

プロ野球開幕戦（12 日）では、優勝候補の一角・中日ドラゴンズを相手に、同点で迎えた 9 回裏、代打・内藤が涙のサヨナラヒットを放つ劇的な幕切れで、実に 8 年ぶりの開幕戦勝利を飾った横浜ベイスターズ。

開幕戦での勝利もさることながら、1328 日ぶりというチームの“貯金”には、主要掲示板でも大きな盛り上がりを見せた。

「優勝キタ——（°▽°）——!!!!」

「やったあああああああああ!!!」

「きたあああああああああああ」

「優勝きたあああああああああああ」

「久々に明るいニュース w w w w w w w w w w」

「やべえええええええええ 優勝したみたい w」

「歴史が変わる！」

「歴史的快挙や！今夜は祭りやで！」

「最初良ければ終わりよし もう優勝でいいよ」

「勝率 10 割で酒がうまい」など、早くも“横浜優勝”とする歓喜の投稿が寄せられたが、中には横浜を最下位と予想した 28 名の野球解説者の名を列挙し、「解説陣全員謝罪しろ!!!」といったコメントもあった。

しかし、翌 13 日、接戦を落とした横浜は、中日に 8-7 で敗北、勝率 5 割に逆戻りとなり、本日 14 日、再び勝ち越しを懸けた同カード第 3 戦へ。はやくも真価を問われる一戦に臨む。

【Sports Watch】モデル業を捨てた卓球美少女

有望なジュニア選手を寄宿制で育成する日本オリンピック委員会（JOC）のエリートアカデミーが、今春、4 期生を迎え、中学生男女 12 人（レスリング 3、卓球 4、フェンシング 5）が加入した。

彼らはアスリートとしてエリート教育を受けながら、2016 年のリオデジャネイロ五輪を目指す。

将来を嘱望される中学生が全国から集められた中、特に卓球の浜本由惟（12 歳）は注目だ。

卓球選手として「20、30 年に一人の逸材」といわれるほどの能力を持つ一方、172cm のスレンダー長身で、芸能事務所に所属し、モデルとしても活動してきた美少女だ。5 歳からイ

ンターナショナルスクールに通い、日本語、中国語、英語を操るマルチリンガルでもある。

アカデミー入校とともに、モデルの道は一旦閉ざし、卓球一本で五輪を目指す模様。ちょっともったいない気もするが、天が二物も三物も与えたスーパー美少女の、アスリートとしてのさらなる成長に期待だ。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】野村氏、横浜ベイの好調に「これが野球なんですよ」

開幕から6戦で3勝2敗1分と、3年連続の最下位球団だった横浜ベイスターズが勝ち越しに成功している。森本稀哲、渡辺直人らの加入に、村田、吉村、スレッジ、ハーパーの活躍で、日増しに注目度を増している横浜について、16日深夜、TBS「S1」では、プロ野球解説者・野村克也氏が語った。

「意外性の野球の本質が出ているね。割合、弱そうなチームが勝ってる。これが野球なんですよ。続くかどうかは問題だけど」と切り出した野村氏は、横浜好調の要因を「ベンチのムードが物凄いい。ひちょり一人入っただけで、あんな変わっちゃうとは。ベンチのムードってのは、凄い大事だから。ベンチってのは見学するところじゃない。試合やるための準備をする場所だから。いいムードの中で出ていくっていうのは大事なことですよ」と話す。

また、楽天監督時代のチームメイト・渡辺については、「トレードされた人は“見返してやろう”っていう気持ちを、“解雇された”っていう思いをうまく利用するんですよ。それをくすぐる。簡単にいえば“見返してやれ”ってもっていく」と選手掌握術を明かした。

【Sports Watch】シャルケ・内田、「勘違いしちゃいけない」

欧州チャンピオンズリーグ初の日本人対決を制した、シャルケ・内田篤人。歴史的勝利から17時間後、TBS「S1」が単独インタビューを行い、16日深夜の番組内で放送した。

「多分、他の人がベスト4にいったら、すげえなって思いますし、あんまり自分のことになると、大したことないだろうって思いますけど。他の人が評価するものだと思ってますから、あんまり自分でどうっていうのはないですし、(日本人は)どんどん次から出てきますし」と素っ気無く答える内田。

その後も「あんまり喋るのが苦手というか、人前に出るのが嫌なので、別にどう思われようが気にしないですし、自分が納得できればいいかなっていうのはすごいあります」とマイペースを強調しつつ、地元のファンから(ドイツ語でウチダは発音し辛いため)“ウシダ”、“ウッシー”と呼ばれていることについては、「ウッシーは嫌いじゃないですよ。日本人に言われたらイラッとするけど。なんかドイツっぽくていいかなっていう気はします」と話した。

また、世界最高峰の舞台を経験しながらも、日本サッカーの現状には、「CL 見ると、日本のレベルも捨てたもんじゃないって思うけど、世界のレベルもすげえなって思います。エトーさんみたいな日本人いないし、スナイデルみたいな日本人いないので、勘違いしちゃいけないのは、日本が全然トップまできたなんて思っただけじゃないと思います。僕が言うのも変ですけど、それが正直に思ったこと」と語った。

【Sports Watch】澤村の交際は“異例中の異例”、森アナは番組降板へ
今月 12 日、週刊誌の報道により、巨人のドラフト 1 位ルーキー・澤村拓一と日本テレビ・森麻季アナウンサーの交際が発覚した。

本日 19 日発売の「週刊アサヒ芸能」(4.28 号)では、『巨人澤村が女子アナに食われた！「彼女は野球選手フェチなんです」』と題し、その周辺レポートを伝えている。

同誌にコメントを寄せる日本テレビ関係者は、「森アナは昨年 4 月から深夜スポーツ番組『Going!』(日テレ系)を担当しているんですが、出演者の亀梨和也が澤村とスポーツ紙で対談してから 3 人で連絡を取り合う仲になったようです。その後、2 人だけの食事デートを重ねていたといいます」と、また、スポーツ紙記者は、「交際相手は“家庭的で控えめな人”と、澤村は決めているようでした。テレビ東京の秋元玲奈アナと相内優香アナと鍋を囲んでのトーク番組に出演した時、『料理しますか?』と質問。『結婚したら家庭的になりますッ』という返事に『アッ、そういうのダメっすね』とバツサリでした」と語っている。

さらに、「独身の巨人選手についていちばん詳しい女子アナ」なる声もあったという森アナ。同じく同誌にコメントする情報番組スタッフは、「彼女は学生時代から大の巨人ファン。入社直前の 03 年、巨人キャンプ地の宮崎に、現在は高橋由伸夫人の小野寺麻衣アナと一緒にいき、巨人の選手たちと『親交会』という名の合コンに参加した逸話は有名です。野球選手との席には積極的に出ていたようですね」と明かす。

また、気になる今後について、スポーツ紙デスクは、「澤村が女性誌の直撃取材に対して完全否定してから 1 カ月以上も経過していたとはいえ、日テレ広報部が 2 人の交際を認めたことに驚きました。これは異例中の異例ですよ。当然、公私のけじめをつけ、森アナは担当のスポーツ番組を降りることになるでしょう。三十路の女子アナと交際する、澤村の“覚悟”にも受け取れます」と語っており、森アナのスポーツ番組降板を予想した。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

【Sports Watch】“電池で動いてる”バルサが狙う 7 歳の天才サッカー少年とは？
未来の翼くん(キャプテン翼)は日本に存在した！！

1月にAFCアジアカップで優勝し、FIFAランクも13位となった日本サッカー界。オランダで大活躍の18歳、フェイエノールト宮市亮、昨年の欧州王者インテル所属の長友佑都、日本人初のCLベスト4に進出したシャルケ・内田篤人など、欧州でプレーする選手も増え、その目覚ましい活躍が連日に渡って伝えられている。

しかし、将来有望な日本人選手は他にもいた。17日放送のテレビ朝日「やべっちF.C.」では、世界最高峰のクラブチーム＝FCバルセロナが、日本の“あるサッカー少年”の身元を調査し、接触を図っていると伝えたのだ。

動画サイトによって、その超絶テクニックが紹介された7歳の少年は、スペイン・スポルト紙が「日本に新しいメッシがいた」と報じたほど。

動画は、番組内でも紹介されると、少年は7歳とは思えない技術で、柔軟な股関節でボールをコントロールし、何人に囲まれようと一人で抜きさりゴールを量産したばかりか、マルセイユルーレットやヒールリフトなど、まさにキャプテン翼ばりのプレーも披露。これには番組MCの矢部浩之も「日本の宝ですよ」、「あの動きは信じられない。電池で動いているのでは」と驚きを隠せなかった。

ちなみに、翼くんもFCバルセロナに所属し、奮闘している（「キャプテン翼 海外激闘編 EN LA LIGA」より）。当時、ストーリーの中で、翼くんがバルセロナ所属となった際には、レアル・マドリードの会長から、「なぜツバサをうちのチームに入れてくれなかったんだ？」というコメントが出るほど話題になったこともあった。

海外から注目を集めている日本人サッカー少年といえば、バルセロナスクール選抜の一員としてベルギーで開催された国際大会でMVPを獲得した久保建英くん（川崎フロンターレU-10）もあり、夢のバルセロナ入りを果たす日本人プレーヤー候補がまた一人現れた格好だ。

【Sports Watch】武田が前園に「逆恨みというか、本当に大嫌いでした」

日本テレビ「行列のできる法律相談所」（17日放送分）では、「本気でケンカした&口説いた芸能人を実名で発表！」と題し、ゲストのタレントが過去にケンカをしたという相手や、そのエピソードを紹介した。

現在は、サッカー解説者でバラエティ番組などでも活躍する武田修宏は、ヴェルディ川崎時代、移籍をしてきた前園真聖と大きな確執があったという。口をきくことも、試合中にパスを貰う機会も少なく、また、前園の加入により2軍落ちしたことからも、「逆恨みというか、

当時は本当に今思うと大嫌いでしたね」と告白した。

だが、スタジオに前園が登場すると、武田に反論。「挨拶しなかったというか、はじめて行った時、その時のヴェルディって、カズさん、ラモスさん、色んな選手いて緊張していたんですよ。カズさんとかは、自分から来てくれて、“前園頑張れよ”って言ってくれたんですけど、武チンだけは全然僕の方に来てくれなかった」と明かしつつ、当時の試合中、武田にパスを出さなかったことについては、「最初の出会いがそうだったので、カズさんと武田さんいたら、自然とカズさんにパス出しますよね。そうなるじゃないですか」と振り返った。

また、番組司会の島田紳助から「(カズと武田の)信頼性もあるんでしょ？」と訊かれるや、「もちろんそうです。決定率の高い方に出しますよ」とキッパリ。「2軍に落ちたことを前園君のせいやと逆恨みしてた」とふられると、「新しいポジションに入ると、自然と誰か一人抜けるじゃないですか。色々ポジション見ていって、実力で一番劣る人が外れる」とキツイ一言も。

その後も、「武チンよりは絶対まともだと思います。昔からクルクルパーだった」と言いたい放題の前園だったが、武田のことを“武チン”と愛称で呼んだり、番組中、武田の胸元についていた糸くずを取ってあげるなど、仲のよさをうかがわせた。

【Sports Watch】巨人・脇谷の暴言でツイッターが炎上“お前を一生許さん”

20日、甲子園で行われた巨人×阪神の一戦で、7回にブラゼルの飛球を脇谷亮太がお手玉をして落球するも、判定はアウト。信じられない誤審に、真弓監督も抗議を続けたが、判定が覆ることはなく、加点のチャンスを潰された阪神は5-4で敗戦を喫した。

さらに、火に油を注ぐように、試合後、脇谷が「捕りましたよ」「テレビの映りが悪いんじゃないですか」などと暴言を吐いたことが、ファンの大きな怒りをかい、脇谷が更新するツイッター（@wakkiii23）が大炎上したのだ。

「嘘をついてもいずれあなたにかえってくるよ。情けないね。これでは子どもに夢を与えられないよ」

「テレビの映りが悪いんじゃないですか？やと、コラ。もう許せんぞ。昨日納得して終わったつもりやったがもうお前を一生許さん。野球をつまらんものにしやがって。挑発してんのか。顔が汚い思ってたが、心まで汚いな。存在価値ないぞ。そもそもあんなん捕らんお前が諸悪の根源」

「10年巨人応援してきたけど、あなたがいるだけで、巨人ファンって名乗るのが苦痛」

「昨日の試合を AQUOS で見ていて確かに落球したように見えたんですが、脇谷さんが言うようにテレビの映りが悪いんでしょうか？メーカーに問い合わせたほうがいいでしょうか？」

「なにが巨人軍は紳士たれだよ、嘘つき詐欺師が。二度と野球やるな」

「おい！早くテレビの修理来いや 映り悪いんよ！テレビの映りがのお！」

「アピールプレイだから脇谷選手は間違っていないです。ただ発言と態度が不味かった。非常に残念です。あの場合は『審判のジャッジですから』と、『後はノーコメントで』と大人の対応が良かったのでは。アンチ巨人のファンからも、愛された方がカッコいいですよ」

「謝罪ツイートまだー？」

「せっかく盛り上がってるプロ野球に水を差す最低な奴だ。叩かれて当然。昨日球場に行ってた観客に土山と二人で入場料全額返してやれ」

「って云うか完璧に落してんじゃん 野球選手である前にお前人として最低だな 卑屈な野郎だ！」

「脇谷亮太さん あなたにききたいです。あなたは将来、子供達に野球を教える時に落とした ボールを捕球したようにみせるようにと指導するんですか？」

掲示板とは異なり、基本的には脇谷本人へ直接伝わるにも関わらず、上記のような厳しいツイートが続出。本日もまた同所で開催される巨人×阪神戦だが、脇谷がグラウンドに姿を現した時、球場ではどのような反応が起こるのだろうか――。

【Sports Watch】波紋呼ぶ脇谷のコメント。ダルビッシュは「間違っていないと思います」20日に甲子園で行われた巨人×阪神戦で、脇谷亮太が二飛を落球するも、判定はアウトに。誤審によって加点のチャンスを逸した阪神は、一点差で敗れる結果となった。

試合後には一部のマスコミに、「捕りましたよ。テレビの映りが悪いんじゃないですか」などとコメントした脇谷。その発言はファンの怒りをかい、脇谷のツイッターには厳しいメッセージが多く寄せられたが、中にはツイッターを介してダルビッシュに見解を求めるファンも現れた。

「昨日の巨人－阪神戦でのジャッジですが。審判も人間ですしミスはあります。昨日のジャッジは仕方ないんじゃないかと。あの角度はほぼ見えないし。だからといってビデオ判定してたら一般の人でも審判出来ちゃうわけやから。昨日はそのジャッジによって得した人も損した人もいるけど仕方ないよ」と呟いたダルビッシュ。

その後も、「勝負事ですからね。まず、落としましたと言う人はいません」と呟いたが、ファンから「脇谷選手のコメントについてはどう思われますか？個人的にはああいう発言するぐらいならノーコメント貫けば良かったのにと怒りを感じるわけですが」と訊かれても、「記録は『二飛』です。よって脇谷さんは取っていたことになるんで間違っていないと思います」と語った。

その他にも、「勝負事なんで、そこをスポーツマンシップと結びつけるのはどうかと」、「審判で負けたと思う日があるなら、審判で勝ったと思う日もあるという事」と呟いた球界のエースは、「ダルビッシュさんでもあれば、取ったとコメントしますか？」と訊かれると、『『甲子園の魔物が取ってくれた』かな』と綴ったのだった。

【Sports Watch】“美人アスリート”八木かなえが大学へ「本当にすごいな、大学にきた”っていう感じ」

ウエイトリフティングで全国高校女子選手権 3 連覇やアジアユース優勝を果たし、その愛くるしいルックスから、ロンドン五輪も視野に一躍注目アスリートの一人となった“女子高生美人アスリート”八木かなえ。

21 日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、今春より金沢学院大学に進学した彼女に迫った。

同大学のウエイトリフティング部やその施設について、「初めて入った印象っていうのは、“広”みたいな感じでしたね。一つ一つの面、リングがあるっていうのもすごいところだし、筋トレの器具も沢山あったりだとか、“本当にすごいな、大学にきた”っていう感じでした」と語った八木。

三宅宏実が持つ 194 キロのジュニア記録更新の期待もかかる新たなステージに入ったことで、「限界近くになると、なかなか記録が伸びないので、ここで新しく気持ちを入れ替えて強くなっていくなら」と意気込みをみせた。

【Sports Watch】野村氏、楽天選手に苦言「許せないプレー」

23 日（土）の楽天－日本ハム戦では、同点で迎えた 8 回に山崎武司が左中間に大きな当たりを放つも、三塁打を目指して疾走してアウトになる場面があった。このプレーに苦言を述べたのが、元楽天監督の野村克也氏だ。

同日深夜放送された TBS「S1」番組内「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーにおいて、「あれは、凡プレー。許せないプレー。8 回同点、先頭バッター、二塁打でお釣りがくるくらい。まして自分の足、センター守っている糸井の肩、アウトカウント、全て考えて完璧な暴走です。あれは、自分で走ってる時に判断する打球なんです。サードコーチは、ランナー二塁でヒット打って、ホームへ帰るか帰らないか。それしかないんですよ、仕事は。気持ちは分かるけど、武司には申し訳ないけど、あれは凡プレー。暴走です。星野監督も言ってるから、そうだと思います」とキッパリ言い放った野村氏。

それでも、「まあ、今年はなんか俺がやってた時とは違うみたい。緊張ムードがあるよね。監督さんが怖いから。怖い人がデーンとベンチに座ってるから、選手はピリピリするでしょ。いつボカーンと鉄拳が飛んでくるか分からないしね。そういう雰囲気監督さんだから」と、相変わらずの野村節ながらも、楽天の健闘は評価している様子だった。

【Sports Watch】親友でもありライバルでもある 2 人の美人スイマー

4 月 9 日から 11 日にかけて水泳の代表選手選考会が行われ、水泳界が誇る 2 人の美人スイマーが、ともに 7 月の世界選手権に臨む代表に選ばれている。

背泳ぎの寺川綾（ミズノ）は 50m、100m で優勝、200m で 2 位に入り、文句なしの成績で代表入り。一方、伊藤華英（セントラルスポーツ）は、200m 自由形で 2 位、100m 自由形で 3 位、100m 背泳ぎで 3 位となり、こちらもなんとか代表メンバーに滑り込んだ。

ともに 26 歳の寺川綾と伊藤華英は、高校生当時から「美人女子高生スイマー」として注目を集め、女子水泳界を牽引。甲乙つけがたい美貌、そしてどちらも背泳ぎをメインとしてきたため、親友であるとともに、ライバル関係にあることでも知られる。

近年、一時不調だった寺川が復活してきたこともあり、伊藤は背泳ぎでの代表入りを事実上諦め、メインを自由形に置くようになっていた。

水泳選手として円熟期を迎えている 2 人の美人スイマーが世界大会でどんな泳ぎを見せてくれるか。大会は 7 月 16 日から 31 日まで。中国・上海で開催される。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】中畑氏「今回ほど頭にきたことはありません」

26 日発売の「週刊アサヒ芸能」(5.5-12 号)では、『中畑清が故郷・福島に熱血エール！「野球を通じて子供たちの笑顔を取り戻したい』と題し、福島出身で東北地方太平洋沖地震の被災地を訪れた元巨人軍でプロ野球解説者・中畑清氏のコメントを掲載した。

『まず私は、今回ほど頭にきたことはありません。被災者の代表としてではなく、国民の声を代弁して“ふざけるな”と言いたい！』と誌面上からも、その怒りが伝わってくる中畑氏。

その後も、『文字どおり、緊急を要する事態ですから、スピードが命ですよ。それなのに、官邸内に「何とか本部」をいっぱい作って「指揮を執っている」という。いったい何の指揮を執って、何の結果を出しているのか？』と述べるや、『私の実家も、福島で酪農をしていますが、原発事故の影響で、一時は出荷停止になり、本当に苦しんでいました。今は解除されましたが、事故処理が収束に向かわなければ、農家や酪農家の不安は取り除かれませんか』と語り、酪農を営む実家の実情を明かす。

さらに、『きっと、菅総理は、被災地に行っても、しっかりと被災地と住民を見てないんじゃないでしょうか？言葉には力がなく、目力もありません。プロ野球の世界も、目力を見れば、その選手の本気度がわかります』といい、菅総理の“本気度”に疑問を投げかけると、最後には『今、私個人ができることは、どんなことがあっても、「がんばっぺ!」と励ますことだと思っています。そして、仲間と相談し、被災地の将来を担う子供たちに、野球用具、マンガ本、Tシャツに加え、斎藤佑樹君やダルビッシュ有君や城島健司君らから提供してもらったグッズを届けることをしています』と、現在実践している支援活動を伝えた。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】斎藤佑との関係を暴露した元恋人に冷やかな声

今週発売の週刊誌「女性セブン」(5月12・19日号)には、衝撃的な見出しが躍った。

なんと、「『私を抱いた佑ちゃんへ』年上恋人からの“戒め”」と題し、22歳の斎藤佑樹より一回り近く年上で、元恋人を名乗る女性の告白を掲載したのだ。

同誌に対し、「実は私、結婚が決まりまして。彼との関係に区切りをつけたいという気持ちから、すべてをお話ししたいと思ったんです」と語り、「一時期キャバクラで働いたこともある彼女は、4か月で500万円稼いだ」(同誌より)という斎藤の元恋人。記事の中では、斎藤にファンレターを送り、メールの返信があったことから関係が始まったことや、ラブホテルで密会をしていたことなどが明かされているものの、ネット上では、斎藤のスカンダル以上に、女性に対する冷やかな意見が大半を締めた。

実際、この話題を取り上げたまとめ系ブログ上では、

「どういう気持ちだよwww 誰かコイツ全部素性を暴いて欲しいわ。こういうことするとどうなるのか」

「まあ金めあてのカス女かよ」

「この女が存在自体が嘘 この女の脳内妄想 どっち？」

「クズ女に嵌められたなw w」

「キャババアが稼げなくなったから週刊誌にネタ売って結婚前に最後の一稼ぎか 3年前の男に区切りをつけたいとか・・・誰が見ても金目当て」

「ちょっと待て、女叩きする前に捏造記事ってことに頭は回らないのかお前ら」

「性格ブスって最悪だよね」といった元恋人を名乗る女性を批判するコメントが多く寄せられている。記事の信憑性にも疑問は残るところだが、ここまで2連勝と波に乗っている斎藤のプレーの方にも、何かしら影響を与えることになりそうだ。

【Sports Watch】ヨナのミスジャンプに加点、集まる疑問視する声

3月に東京で開催が予定されていたが、東日本大震災の影響により、ロシアに場所を変えて行われたフィギュアスケート世界選手権。29日の女子シングル初日、ショートプログラムは、約1年ぶりの公式戦出場となった韓国のキム・ヨナがトップに。日本勢は、安藤美姫が2位、浅田真央が7位、村上佳菜子が10位という結果に終わった。

だが、最初のジャンプ着氷時にバランスを崩したヨナに対し、全てのジャンプを決め、ミスのない演技をした安藤が得点で下回るという結果には、ネット上でも疑問視する声が多く寄せられた。

実際の公式スコアでも、ヨナが見せた最初のトリプルルッツで、8人のジャッジがマイナス採点であることに対し、1人は+1点を付けている。これには、掲示板まとめサイト「アルファモザイク」でも、「さすがキムヨナ！ミスったジャンプにも加点がついて首位！フィギュアはほんま奥ゆかしいスポーツやで！」というタイトルで同問題を紹介、「ジャンプミス加点とか新しいよな」「新しくもないだろ。オリンピックの時もキムはミスっても加点されてたし」「オリンピックでは尻で滑って加点だったんだからジャンプミスは当然加点に決まってるだろ」など、ヨナに対する採点を批判したコメントを伝えている。

また、同サイトに寄せられたコメントも

「もう嘲うしかないw w w」

「素直に楽しめない競技に先があるとも思えないんだが」

「完璧安藤が2位でキムチが1位とかねーよ 浅田と村上の点も低すぎる あの程度のミスで点引かれすぎ」

「そろそろ順位決めないスポーツにしてもいいよね」

「キムチさんがいると、フィギュアがダークサイドに飲み込まれちゃうんだよねー」

「チョンが何かに絡むといつもこんな感じだよなw w w w w」

「勝ち負けをとにかく言うつもりは一切ないが、失敗して加点はどうみても異常」

「村上も低すぎない？こけてないのに 54 こけた上にジャンプが一つ少ない選手より下」浅田真央は 3A やってミスしても減点は緩和されてるはずなのに 2A 判定と両足着氷とか見なされる始末 これは緩和とは言えないような…？」といった辛辣なものが多く寄せられた。

【Sports Watch】美貌だけで金メダルと言われるフィギュアスケーター

東日本大震災の影響で日本開催が延期となり、モスクワで開催されたフィギュアスケート世界選手権は、安藤美姫の 4 年ぶりの金メダル獲得で幕を閉じた。安藤はショートプログラムでキム・ヨナに次ぐ 2 位となるも、「(前回金メダルを獲得した) 4 年前より強いスケーターになった。それが大きな違い」と本人も語るように、成長して円熟味が増した演技を見せ、フリーで逆転。被災者にも勇気を与える素晴らしい優勝だった。

その陰で、「美貌だけで金メダル」と言われる美しすぎるフィギュアスケーターもいた。フィンランド人のキーラ・コルピ (22 歳) だ。今大会は総合 9 位で終わったものの、その美しさから世界中にファンがおり、欧米のネットユーザーの間でも、「フィギュア選手の中で間違いなく一番美しい」という声が聞かれる。

確かにその美貌は圧倒的。加えて 4 ヶ国語を操る才女でもあるという。日本人スケーターだけでなく、美人度ナンバーワンスケーター、キーラ・コルピの今後にも注目だ。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】ノムさん「巨人の悪口を言わないでくれと釘を刺されている」

30 日深夜放送、TBS「S1」番組内「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーに登場したプロ野球解説者・野村克也氏。

「今日はボヤきづらいことをボヤきます」、「我が息子、巨人にお世話になっておりまして、巨人のことはあまり言わないでくれ、悪口を言わないでくれと釘を刺されているのですが、今日は黙っておりますので、克則君ごめんよ」と切り出し、息子・克則が二軍コーチを務める巨人軍の低迷についてメスを入れた。

「どうしたのかね、巨人がこんな滑り出しで、色々原因はあるでしょう。一つは本拠地で開幕できなかったのは多少どっかに影響あるでしょう」と前置きした野村氏は、「言い尽くされてますけど、野球の勝負は 8 割前後はピッチャーですから。投手陣が安定しないということで、それが一番の原因。それをどう立て直すか。今日の試合も観てまして、勝たせて貰ってますよね。私も一緒にやった尾花監督、なにを教えてんだって言いたくなるような」と語り、いつしかボヤきの対象は、この日ラミレスなど 3 本のホームランを浴びた横浜へと変わっていた。

「ホームランって、僕に言わせれば、打たれちゃいけないカウントってあるんですよ。ワンストライクを取ったら、常識的にストライクゾーンを広げる。ラミレスなんて、選球眼はいい方じゃないんで、誘う。そういうところから、ホームランって防げるものなんです。キャッチャーから言うと、ホームランは防げる。ピッチャーはホームランは防げない(と言う)。防げない方が正しいんでしょうけどね」など、持論を展開し、配球のセオリーを説いた。

●野球の新メディア～ベースボールジャーナル

【Sports Watch】内田、背水のセカンドレグへ「こんなところで投げたくない」
フジテレビ「すぽると！」(2日深夜放送)では、チャンピオンズリーグ準決勝セカンドレグで、マンチェスター・ユナイテッドと対戦するシャルケ・内田篤人のインタビューを放送した。

ファーストレグでは2-0と後れをとり、崖っぷちの一戦に臨むことになった内田。その試合について、「いつか点取られるなっていう気はしてたし、やっぱり強いなっていうのはありました。自分達がボールを回せないで走らされている分、後ろに負担がかかるので、まあ、しょうがないっすね。インテルはちょっと個人寄りな部分があったんで、こちらがしっかり準備できていれば、そんなに怖くないっていうのはあった」と振り返ると、「マンチェはかなり組織もしっかりしていて、成熟しているなというか、監督も長い時間やってるし、歴史を感じました」という感想を述べた。

また、「ビビってるわけではないですけど、ノイアーが言ってたんですけど、(マン U を)尊重し過ぎた。日本語が適しているか分からないですけど」という内田は、大きなディスアドバンテージがあるセカンドレグに向け、「やってる自分達がそんなこと言ってたら、始まらないですから。嘘でも(攻略法は)あると言っておきます。というか、まあ、いるじゃないですか、一人。ラウールが何とかしてくれるかな。僕はシャルケでプレーしてなかったら、無理だなんて思いますし、僕がマン U でプレーしてたら“早く諦めてくれ”って思いますし、でも、僕はシャルケでプレーしているんで、諦めないですし、こんなところで投げたくない。どんな厳しい状況であろうが、どういう大会だろうが関係なく、試合をやるからには負けたくない」と意気込んだ。

【Sports Watch】真央への暴言で炎上したラサール石井、麻生総理批判の教訓なく
ロシアで開催されたフィギュアスケート世界選手権では、安藤美姫がショートプログラム1位のキム・ヨナをおさえ、逆転の優勝。昨年優勝している浅田真央は6位という結果に終わった。

しかし、大会終了後、持てる力を尽くした浅田に対し、タレントのラサール石井氏が自身の

ツイッター上で、「くだらん呟きばかりだとフォロワーさんに言われたばかりでなんだが。ちょっと暴言吐きます。浅田真央ちゃんは早く彼氏を作るべき。エッチしなきゃミキティやキムヨナには勝てないよ。棒っ切れが滑ってるみたい。女になって表現力を身に付けて欲しい。オリンピックまでにガッツリとことん！これは大事。」と呟き、大きな反感を買ってしまった。

その後、ラサール氏のツイッターが炎上したこともあってか、2日には謝罪のコメントを掲載。「全女性の皆様、お名前を出してしまった各選手の方々、関係者各位、何より浅田選手ご本人とファンの皆様に心より謝罪いたします。なお、皆様のご意見を鑑み、前言を撤回。呟きは削除させていただきます。」と詫びている。

当初は、「削除や訂正をすることは逃げることになるのでしたくありませんでした」と語っていたラサール氏。結果的には、この姿勢が対応の遅れを招き、問題のツイートを広げる一因にもなってしまった。

それにしても、著名人という立場を顧みず、浅はかで無礼な発言を行ったラサール氏のツイートは一体何だったのか？

大手掲示板でも、以下の様なコメントが相次ぎ投稿された。

「バカにインターネットを使わせるなという典型」

「ラサールに泥を塗り続ける男」

「ホント Twitter は馬鹿炙り出し機だな」

「知性と学力は別物」

「こんな事、書く時点で不適切だって分からなかったのかね？」

「おもしろくない芸人に限って安易な毒舌に走るけど毒舌ってバカには無理だよね」

「謝るなら最初から言うな言ったら謝るな」

「暴言ですと前置きしといて消すなよ ww 書きたかった事なんだから批判されても別にいいだろ」

「なんでわざわざ書いて謝ってんだ？」

「偉そうな発言して結局最後に謝るアホのなんと多い事」

「名前の出た選手だけでなくすべての女子フィギュアスケート選手に謝罪しろよ。」

「安藤とヨナにも失礼だろ」

「一番かわいそうなのはラサール高校の生徒達だろw」

08年には、自身のブログ上で、麻生総理（当時）に無視されたことから、「なんかヘンだよこの人。ていうか、馬鹿だなあ」などと筋違いの麻生批判を綴って炎上、ブログのエントリ

ーを削除したこともあるラサール氏。この時の教訓は生きていなかったようだ。

【Sports Watch】武田修宏が大物女優に下ネタ連発!?

5日、日本テレビで放送された「ダウNTOWN DXDX 700 回直前 2 時間スペシャル」には、元日本代表で現在はサッカー解説のみならず、三枚目キャラでバラエティやトーク番組でもすっかりお馴染みとなった武田修宏が出演。大物女優・森光子に対し、同じく芸能界の大御所・和田アキ子の制止を振り切って、下ネタを連発したという仰天エピソードを明かした。

一昨年、森の国民栄誉賞を記念して行われたアッコ宅でのパーティーにおいて、武田は森をもてなすホスト役として呼ばれた。その際、「夜の元気がないんですよ」など空気を読まずに話しかけ、テーブルの下からアッコに足を蹴られても、下ネタを続けたという。

番組ゲストの勝俣州和曰く、一週間前からアッコに呼ばれていたという武田。その他にも、「試合中は0点ですけど、夜はハットトリック」といった下ネタを続けたようだが、本人は「森さんとアッコさんと同じテーブルに座ったら、何しゃべっていいか分からないじゃないですか」と言い訳し、周囲を呆れさせると、コロッケからは、「森光子さんに下着の色、聞いてなかったっけ?」と暴露されてしまった。

【Sports Watch】安藤美姫のコーチ・モロゾフ氏が語る「それは日本だけ」

フィギュアスケート世界選手権では、初日のSPこそ韓国のキム・ヨナが1位にたったが、翌日のフリーでは安藤美姫が逆転に成功、見事優勝を飾った。

2月の四大陸、昨年末の全日本と圧倒的な強さを見せる安藤だが、その影には、トリノ五輪金メダリスト・荒川静香らをコーチしたニコライ・モロゾフ氏の指導がある。6日(金)深夜放送、フジテレビ「すぽると!」では、そんなモロゾフ氏に単独インタビューした様子を放送した。

「フィギュアスケートには、いまや特別なエレメントというものはなく、大事なのはプログラム全体の構成だと思います」と語るモロゾフ氏は、安藤のかつての代名詞=4回転ジャンプではなく、ショートプログラムで7個、フリーで12個からなるエレメントを組み合わせた全体の構成を重視。番組から4回転について訊かれると、「それは日本だけで、他ではそういう考え方はしません」とキッパリ言い切った。

また、「私がコーチになってすぐに彼女は変わり始めましたよ」と明かすモロゾフ氏は、今大会の安藤を「全てのテクニカルエレメントを簡単にとれるのは、出場選手の中で彼女だけだったと思います。今大会、クリーンにジャンプを跳べない選手やジャンプで得点を稼げない選手もいました。それに比べ、美姫は非常にしっかりしていた。そして、とてもクリーン

でプログラムの中で何をやっても、彼女にとっては簡単で難しいエレメントは一つもなかったもので、滑りやすかったのです。ですから、どのエレメントが特別だったとはいえない」と振り返った。

さらに、演技の後半に組み込んだ5連続ジャンプについても、「彼女にはとても簡単でした。きちんと練習を積んだ選手には簡単ですから。彼女は6連続でも、7連続でも跳びますよ」と自信をみせ、SPではヨナが1位になったことにも、「彼女（安藤）がメダルを獲るのは確信していました。得点を気にしても意味はありませんから気にしません。もう終わったことは翌日には切り替えないといけないんです。得点を気にしても時間の無駄だと思いますし、そんな暇があったら、美味しいワインでも飲みますよ」と笑顔を見せた。（※モロゾフ氏のコメントは同番組の翻訳から）

【Sports Watch】大相撲再開も、取組に変化が・・・

8日放送「Mr.サンデー」では、八百長問題により、初場所以来約4カ月ぶりの開催となった大相撲技量審査場所の様子を放送。決まり手や、取組の時間など、初場所の平均と比較し、その変化を伝えている。

番組司会の宮根誠司は、「意地悪に見ようと思えば、いくらでも意地悪に見れるんだけど」と前置きしつつ、以下のように取組の内容を紹介した。

■決まり手（幕内・十両）

- ・技量審査場所初日：8種類
- ・初場所平均：12種類

■取組時間

- ・技量審査場所初日：平均10秒（3秒以下9回）
- ・初場所（15日間）：平均8.2秒（3秒以下1回）

特に、技量審査場所の取組時間については、初日だけで“3秒以下”で勝負が決するものが9回もあったことに、宮根は「瞬時に勝負がつくのが多くなっているということは、意地悪な言い方をすると“流れで”がなくなったのかもしれない」と所感を述べた。

【Sports Watch】斎藤佑のスキャンダルに“ヤバイ写真だけは食い止めた”

先月末、女性週刊誌に掲載された、北海道日本ハムファイターズ・斎藤佑樹初のスキャンダルは、『私を抱いた佑ちゃんへ』年上恋人からの“戒め”と題し、斎藤より一回り年上の元恋人を名乗る女性の告白を掲載、大きな話題となった。

そんな折、10日発売の「週刊アサヒ芸能」（5.19号）では、『斎藤佑樹プロ入団後初スキャ

ンダル発覚！「グルーピーの毒牙に引っ掛かった」』との見出しで、その裏側を追っている。

同誌によると、斎藤との会話やラブホテルでくつろぐ写真を掲載した女性誌に対し、斎藤のマネジメント会社・バウ企画は「記事差し止めに奔走した」といい、同誌にコメントしたスポーツ記者によると、「ヤバイ写真だけは食い止めたとも聞きました。この女とは別の“本命”とのツーショットではないかと噂されています」と語っているほどだ。

また、斎藤の両親も、女性誌と同じ出版社から育児本などを出しているため、『「裏切られた」という言い方をしている』（同誌より）とのこと。これには、出版関係者も、「バウ企画はイチローの個人事務所でもあり、これまで、イチロー絡みのゴシップをもみ消してきたと言われています。斎藤家と版元と板挟みになり、苦労したみたいです」と、版元と斎藤の両親の間で、記事差し止めに奔走したマネジメント会社の様子も明かしている。

ちなみに、この元恋人。同誌は、『記事によれば、他の有名大学選手にも積極的にアプローチしていたようで、「グルーピー（追っかけ）の毒牙に引っ掛かった、との見方もできますね』（前出・スポーツ誌記者）』と綴っている。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】安藤美姫が近親者にモロゾフコーチを紹介“私、この人と結婚する”

昨年末の全日本選手権、今年2月の四大陸選手権に続き、フィギュアスケート世界選手権でも優勝を果たした安藤美姫。一時の不調も、コーチ＝ニコライ・モロゾフ氏の手によって見事な復調を遂げ、いまや世界ナンバー1の座を不動のものとしつつある。

しかし、コーチと教え子という関係を超越し、すでに特別な仲でもあるという報道も多い二人。10日発売の「週刊アサヒ芸能」(5.19号)では、『安藤美姫 感動金メダルが証明したモロゾフとの「愛抱レッスン」5年』と題し、その周辺レポートを行っている。

本来なら3月に東京で開催されるはずだった世界選手権も、震災の影響によりロシアに場所を移して行われた。日本人選手にとっては、特別な大会となったが、演技後も、その想いを何度も発していたのが他ならぬ安藤だった。

同誌にコメントしたスポーツライターは「彼女は8歳でスケートを始めた直後に、事故で父親を亡くしています。しかしトリノ五輪本番前の会見で、記者にその過去を触れられて号泣した。以来、マスコミがその話題を彼女に振るのはタブー視されてきたんです。ところが今回は、被災者と境遇を重ねたゆえにみずから解禁したのでしょう。翌日のエキシビションでは、まさに死者を追悼する鎮魂歌＝レクイエムを曲に選んだ。そのコスチュームも白でし

た。黒の印象が強い彼女ですが、追悼に関して一点の曇りもないという気持ちを表現したのではないか」という見解を述べている。

さらにフィギュア担当記者は「フィギュアはとにかく、精神状態がリンクの上に反映されやすい競技だと言われます。安藤は感受性が強く、特にその傾向が強かった。今回の震災でも彼女はかなり心的影響を受けたと思います。とはいえ、動揺するのではなく逆にそれを力に換えて金メダルを獲った。モロゾフと歩んだ 5 年間で、精神的にも大きな成長を遂げていたようですね」と語っている。

そんなモロゾフ氏とは、すでに特別な関係にあるとされる安藤の今後だが——、スケート連盟関係者は、同誌に対し、「去年でしたか、大会の会場で安藤が近親者にモロゾフを紹介していたというんです。何でも『私、この人と結婚する』と笑顔を浮かべていたという。その近親者は『美姫がいいと思う人だったらいいんじゃない』と交際を容認していたと聞きました」と明かす。

それでも、バツ 3 で子持ち。過去 3 回の結婚相手が教え子だったモロゾフ氏が相手だけに、懸念は拭えないのだが、安藤のお母さんも容認しているという話もあり、今後の安藤から益々目が離せなくなりそうだ。その詳細については、同誌をチェックしてほしい。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

【Sports Watch】美女リレーチームが世界へ挑む

8 日に陸上のゴールデングラプリ川崎が行われ、女子 400 メートルリレーで日本 A が 43 秒 39 の日本新記録で優勝した。これで 8 月 27 日開幕のテグ世界陸上の派遣標準記録 (44 秒 00) をクリアし、見事出場切符をつかんだ。

この快記録を達成したのは、北風沙織、高橋萌木子、福島千里、市川華菜の 4 人。女子陸上界のアイドル的存在とされる北風、ダイナミックな走りを見せる高橋、スレンダー美女として人気急上昇中の福島ら名だたる先輩選手たちに囲まれ、アンカーとしてゴールを駆け抜けたのは弱冠 20 歳の新星・市川華菜だ。

「緊張しましたが、先輩方が支えてくれて、安心して走ることができました」と、アイドル顔負けのさわやかスマイルを見せる市川に、詰め掛けた観衆も盛大な拍手を送った。

美女が揃いも揃ったリレーチームが、世界の舞台でどんな走りを見せてくれるのか、今から期待感が高まる。

●写真で追う！ 女性アスリート

【Sports Watch】星野監督「お前たちは言い訳するな」

13日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、東北楽天ゴールデンイーグルス・星野仙一監督に密着した様子を伝えた。

今年1月、「強い者に勝たなきゃ意味がない。それに立ち向かっていくのが男のロマン、人間のロマン」と意気込んでいた星野監督だったが、キャンプ、オープン戦も順調に行ってきた矢先に起こった東北地方太平洋沖地震。以来、チームは約1ヵ月もの間、地元仙台には戻れずにいた。

その後、4月29日の本拠地開幕戦を前に、同番組のカメラに心境を明かした星野監督は、「えらいときに仙台の監督になったなってよく言われるけど、これはもう運命だね。お前にしか、こういう状況は立ち直らせることができないというような。与えられたというか。やります、私は。逃げない」と力強くコメント。

だが、12日現在4位という順位については、「子供たちにも夢を与える、強さを伝える、勝利を伝える。言ったはずじゃないかと。こんな野球していたら子供たちには伝わらないよ。どんな環境下でも我々は魅せて勝つ。我々はプロなんだから、言い訳しちやいかん。言い訳は俺がしてやると。お前たちは言い訳するなっていうふうにしていこうと思う」と巻き返しを誓う星野監督だった。

【Sports Watch】今年のドラフト注目の三名“完成度としては自分達が上”

斎藤佑樹、澤村拓一、大石達也、福井優也ら目玉選手により、大きな話題となった昨年度のプロ野球ドラフト会議だが、今年はその上をいく人材が揃っているようだ。13日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、2011年度のドラフトで注目の的となるであろう3選手をピックアップした。

まずは、巨人・原監督の甥として知られる東海大学・菅野智之だ。千葉ロッテ・永野スカウトは、「タレントとしては昨年以上のものがあるような気がしています」といい、巨人・山下スカウトは、「去年、早々の1位表明をした時から即戦力の評価をしていた。（今年の新人より）菅野君の方が完投能力は高いと思います」と太鼓判を押す。

一方、「原監督の甥って呼ばれるのが、嫌だった時期があった」と明かす菅野だが、「一人のピッチャーとして認めて貰おうって、ずっと思ってやってきたので、それが自分を厳しい方向、厳しい方向に導いてくれた。原監督の甥ということに関していえば、すごいそのことがここまで成長させてくれた」と語っている。

続いては、東洋大学・藤岡貴裕。「自分は“キレ”にこだわりを持っていて、バッターが速いと思ってくれるような球を目指している。その試合を任された以上、誰にもマウンドを譲りたくないなっていうものはあります」と語る藤岡には、東京ヤクルト・鳥原スカウトも「球も速いですし、キレのあるボールを放りますし、即戦力。左ですぐ使えると。もうローテーションに入るような逸材」と絶賛する。

最後は、明治大学・野村祐輔だ。千葉ロッテ・永野スカウトは「どのボールでも全てストライクを取れますし、どのボールでも全て空振りを取れる。ゲームを作るという意味では、去年の斎藤君同様、もしくはそれ以上のものがある」と評価、自身も「よりコントロールに繊細というか、細くなりました。まずは日本一になって、プロに入ることが自分の目標です」と語る。

そして、昨年の黄金世代と比べた印象を訊かれた三名は、それぞれ「色々できる投手が揃っている学年だとは思っています」（野村）、「1 試合任されたら、しっかり投げることは負けていない」（藤岡）、「完成度としては自分達が上だと思っている」（菅野）と自信を漲らせた。

■野球を語る特化型メディア「Baseball Journal (ベースボールジャーナル)」はコチラ

【Sports Watch】広島-巨人戦の幕切れに 「どう見たってプロの試合じゃない」

14日(土)に行われた、広島-巨人戦では、巨人のストッパー・ロメロが大乱調。3四球の末、最後は押し出しデッドボールという幕切れだった。

15日には、広島・石原の「石原サヨナラデッドボールTシャツ」が発売されるなど、明暗がはっきりと分かれた一戦となったが、プロ野球界のご意見番・野村克也氏は、呆れた様子をうかがわせた。

TBS「S1」番組内「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーでこの試合に触れると、「こういうの何ていうか分かる？ こういうの草野球っていうんだ。どう見たってプロの試合じゃないでしょ。しかもさ、野球って団体競技でしょ。これ個人競技だもん。一人で野球野球やってる。考えられないよ」と言い放ったノムさん。

番組MCの魔裟斗が、ロメロの“連投→疲労”について尋ねると「リリーフはそんなの弁解にならない。毎日投げなきゃいけない。気持ちの上でも本人は分かっているはずだから。逃げ切りのエース、監督としてはエースに任せるしかないんですよ。僕もそういう経験何回かしましたが、守護神が9回投げて、ピッチングコーチもピンチ迎えて、“ブルペン誰か用意してるか？”っていっても、“誰もしてません”って言って、さよなら満塁ホームラン打たれたこともあるし。野球は難しいですよ」と語り、“言い訳無用”とばかりに糾弾した。

■野球を語る特化型メディア「Baseball Journal (ベースボールジャーナル)」はコチラ

【Sports Watch】18歳・八木かなえに、松岡修造「ウエイトリフティングをする人には思えない」

ウエイトリフティングという競技の力強いイメージとは正反対のキュートな笑顔をチャームポイントに持ち、それでいて、全国高校女子選手権 3 連覇やアジアユース優勝を果たしたことから一躍ロンドン五輪注目の美女アスリートとなった 18 歳・八木かなえ。16 日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では、三宅宏実が持つ高校記録を 8 年振りに破り、先週末には、自己ベストを更新して早くも大会新記録&大学日本一に輝いた彼女に、松岡修造が迫った。

「ウエイトリフティングをする人には思えない」と驚く松岡に、「嬉しいのか、嬉しくないのか」と苦笑いする八木。4 年前までは体操選手だったが、「結構しんどかった。遊ぶ時も少なくて、もう高校は女子高生をエンジョイしようと思って、部活動でも女の子らしいようなダンスか、茶華道か、演劇がしたくて」と振り返るも、初めて見たウエイトリフティングに「ビビッときた。カッコいい」と一目惚れ。

八木を指導する元日本代表監督・横山氏が「最初から、この（スクワット）姿勢が取れとった」と語る通り、胸を張ったまま、しゃがみ込む、スクワットがいきなり出来たという八木は、体操をしていたことで、柔軟性とバーベルを一気に上げるために必要な脚力がすでに養われてたのだ。

さらに、ウエイトリフティングは「生活の一部」と答える八木。松岡から「自分の身体が変わってきたでしょ？」と訊かれると、「最初は（筋肉が）付いたな。腕出すのも恥ずかしいかなって思ってたんですけど、今はもう全然、付くことや強くなるのが嬉しいことや楽しいことなので、友達と鏡を一緒に見ながらポーズをとって、ヤバイ、ヤバいって」、「（バーベルを上げた時に出る笑顔は）嬉し過ぎて勝手に顔がニヤけてる時です。上げて、ずっと持っておきたいくらいの」と嬉しそうに語った。

■八木かなえ フォトギャラリー

【Sports Watch】マツコが暴露した“女子アナウンサーと球団”とは？

5 月 3 日放送、テレビ朝日「マツコ & 有吉の怒り新党」番組内では、有吉弘行が元日本テレビ・夏目三久に対し、女子アナウンサーの男性事情を聞いた際、マツコ・デラックスが「記者から聞いてるから、確実情報だけど。ある一時期のココのスタメン、全員。で、誰も本気で見なくなってコッチ（の球団）諦めて矛先変えたのがアッチ（の球団）だったのよ」と割って入り、スケッチブックに、その女子アナの名前と球団名を書き込んだことから、ネット

上では女子アナの予想がはじまった。

17日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（5.26号）では、関係者の談話から、その周辺情報を掲載。同誌にコメントを寄せたスポーツ紙記者は、「ネット上はいわゆる“犯人捜し”状態でしたよ。いずれも在京キー局の女子アナ名が浮かんでは消えて・・・」と語り、在京キー局のスタッフは、「オンエアを見て、まさかとスポーツ局に確認しましたよ。そしたら A という名前が浮上してきたんです。ベンチ全員というのは大げさだけど、4～5 人ならあるんじゃないかって」と、女子アナ A の存在を挙げた。

また、その他にも、前出のスポーツ紙記者は、「ある在京球団の選手が、『(女子アナ B に) 遊ばれちゃった』と話していたのを聞いたことがある。もしかしたら・・・」と明かしており、別の女子アナにも心当たりがあることを伝えている。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

【Sports Watch】店員女性がハーフナー・マイクにツイッターで悪口雑言、炎上騒ぎに
ヴァンフォーレ甲府の長身 FW=ハーフナー・マイク。オランダ出身で、94 年に家族で日本国籍を取得した父=デイド・ハーフナー（GK／名古屋グランパスエイト、ジュビロ磐田などで活躍）の息子であり、日本初の親子 J リーガーとして複数のクラブを渡り歩いたが、昨シーズンは、J2 得点王にも輝き、甲府の J1 昇格に大きく貢献する目覚ましい活躍を遂げた。

今シーズンが楽しみな 23 歳のマイクは、すでに 6 試合で 3 得点。18 日には一般女性と入籍を発表したばかり（入籍日は 5 月 16 日）と順風満帆だったが、そんなマイクが、入籍したお相手とみられる女性と共にアディダス銀座店を訪れた際、ある問題が起こり、ネット上は大騒ぎとなっている。

なんと、店員の女性が自身のツイッターでマイクに悪口雑言の限りを尽くしたのだ。掲示板では、店員の女性も特定され、すでにその女性はツイッターも mixi も退会しているが、該当するツイッターでは、来店したマイクに、「そいえば今日マイクハーフナーが来た。ビッチを具現化したような女と一緒に来てて、何かお腹大っきい気がしたけど結婚してんの(^ω^)??」、「帰化したからハーフナーマイクか w アシュトンカッチャー劣化版みたいな男が沢尻劣化版みたいな女連れてきたよ w とりあえずデカイね、ホントに www」などと、とても店員とは思えないツイートを行っていた。

現在、マイクはアディダスのスパイクを使っており、掲示板上では「絶対に許さない」「社会をなめてるなあ・・・こういう子にはちっとばかしお灸が必要じゃないかね?」「やっちゃまったな w」などの書き込みが見られた。

サッカー選手とツイッターにまつわる問題といえば、今年のはじめに、都内ホテルの飲食店アルバイトが、稲本潤一と田中美保のデート現場を得意気にツイートし、ホテル側が公式に謝罪をする騒ぎもあった。

【Sports Watch】女性店員の契約選手侮辱ツイートでアディダスが謝罪

ヴァンフォーレ甲府のFWで、アディダス契約選手の一人＝ハーフナー・マイクが、18日に入籍を発表したお相手とみられる女性と共に、アディダス・パフォーマンスセンター銀座店を訪れた際、店員の女性が自身のツイッターで、マイクを侮辱するようなツイートを行い、19日に大炎上を起こした問題で、同夜アディダスが公式サイト上に謝罪を掲載した。

公式サイトでは、「本日、弊社社員が、アディダス パフォーマンスセンター 銀座店へご来店された弊社契約選手の情報を Twitter（ツイッター）に書き込み、流出させていたことが判明いたしました。この件で、同選手、同選手のご家族をはじめ関係者の皆様及びお客様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。スポーツブランドとしてあるまじき事であり、この事態を厳粛に受け止め、このようなことが繰り返されないよう、社を挙げて再発防止を徹底してまいります」（冒頭部分を引用）といった謝罪を掲載、問題の女性社員については「処分については、調査結果に基づき、会社規定に従い厳正なる処分を検討いたします」としている。

・店員女性がハーフナー・マイクにツイッターで悪口雑言、炎上騒ぎに

【Sports Watch】シンクロ美人姉妹の驚くべき特技とは？

朝日放送「Oh！どや顔サミット」には、元シンクロナイズドスイミング日本代表で、世界選手権にも出場した双子の美人姉妹・木村真野、紗野姉妹が出演。番組内では「私たちは、水中で会話をすることができるんです」と姉妹の特殊能力を発表した。

「コーチに聞かれたくないこととか、怖い先輩に聞かれたくないことってあるじゃないですか。そういうのを、水の中で二人で言い合ってるうちに日常会話として“夜ごはん何にする”とか“今日練習何時に終わるんだろうね”とか、（会話が）できるようになったんですよ」という木村姉妹。

実施のVTRでは、4m潜った水中で「（テーマは）男の趣味？」、「てゆうか、紗野は全部男を選ぶセンスがない」、「そんなことないよ」、「いつもダメ男ばかりじゃん」、「ていうか、今、そんなこと言わなくていい」という会話を本当に行い、他の出演者を驚かせた。

【Sports Watch】落合監督が、ゲームを壊した投手を代えなかったワケ

21日、西武ドームで行われた埼玉西武ライオンズ vs 中日ドラゴンズの一戦は、中島の満塁本塁打などにより、13-4で西武が大差の勝利を挙げた。

中でも、中日の右腕・小熊は打者 18 人に対し、3 本の本塁打を打たれ、7 失点。その間、落合監督から途中交代を命じられることもなく、火ダルマになりながら 3 回を投げた。

この落合采配に同調したのが、プロ野球解説者・野村克也氏だった。同夜放送された、TBS「S1」番組内「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーでこの試合に触れると、「俺と同じことやってんの、落合。代えないでしょ？ 僕は 11 点取られても代えなかった」と切り出した。

その理由について、「いや、もうゲームを壊しているから。自分で責任を取れっていう。ゲームが決まっちゃっているのに、次出てくるピッチャーの気持ちを考えたら、最後まで責任を取って貰わないと。こんな後に出される方が大変ですよ」と明かした野村氏。

番組 MC の魔裟斗から「愛のムチ？」と訊かれるや、「そういうね、恥をかかせるっていう一つの育成法なんです。恥をかかなきゃ、本物になっていかない。いい薬ですよ。その辺は落合もちゃんと計算に入っているよね」と答えたのだった。

【Sports Watch】低迷する阪神・金本にツイッター上では応援ボイコット運動！?

22 日、4 連敗中で現在は 5 位と低迷している阪神タイガース。中でも、打率が 2 割をきり、めっきりバットから快音が聞かれなくなった鉄人・金本知憲の起用については、ファンの間でも意見が分かれるところ。

そんな折、21 日にはツイッター上で「金本さん辞めてください」(@kanesanyamete) というアカウントが出現。大手掲示板等でも、さっそく取り上げられた。

「阪神が大好きです、だからこそ金本さんに勇気ある決断を。みなさん本当のファンなら本当の応援をしましょう。応援ボイコットから始めませんか？みなさんのフォローが大きな声になるはずです。支持してくれるかたはフォローお願いします」というプロフィールを掲げる同アカウント。「本当の応援をしましょう」と綴りながら、「応援ボイコットから始めませんか？」という穏やかならぬ呼びかけを行うなど、怒り心頭の様子がうかがえる。

また、掲示板上では「使い続ける監督を批判すべきなんじゃないの？」「阪神は選手層が薄いからしゃーない」「だから引き際はキレイに飾ってほしいんだよ…。今の醜態は金本の功績に自分で泥を塗ってるようなもん」「ツイッターで呼びかけてもどうにもならへんやろ」「金本下げても、あの打線じゃあ大して変わらないだろ」「そもそもなんで外野手補強しなかったの？」など、様々なコメントが寄せられているものの、既に上位 4 球団と水をあけられた感もあるだけに、真弓明信監督も何らかのテコ入れは必至か。本日 23 日、5 連敗は避けたい背水の西武戦を迎える。

■阪神関連オピニオンは「Baseball Journal」をチェック!!

- ・【併殺祭り!】 どや! 4 3 イニング連続タイムリーなし! 【v s 埼玉西武】
- ・【5/22 観戦レポ】 練習だけでもうお腹いっぱい編
- ・ホームでも沈黙 哀れな黒虎
- ・【狙え新記録】 真弓阪神 3 2 イニング連続無得点 【v s 福岡ソフトバンク】
- ・能見また見殺し 何かを変えろ!

【Sports Watch】プロレスのオールスター戦開催も、猪木は呼ばれず激怒

先月、東京スポーツ新聞社の主催で、新日本プロレス、全日本プロレス、プロレスリング・ノアの 3 団体が中心となって行われる東北地方太平洋沖地震の復興支援イベント＝「ALL TOGETER」の開催が発表された。

8 月 27 日（土）日本武道館を舞台に行われる同大会は、79 年に同所で行われた夢のオールスター戦を彷彿とさせるもの。当時は、ジャイアント馬場とアントニオ猪木の BI 砲がタッグを結成し、アブドーラ・ザ・ブッチャー&タイガー・ジェット・シンの極悪コンビと夢の対戦を行っている。

まさに 32 年ぶりの大会開催と相成るわけだが、プロレス界のアイコン＝アントニオ猪木がなんと同イベントからお呼びが掛からず激怒しているというのだ。

これは、24 日発売の「週刊アサヒ芸能」（6.2 号）記事によるもので、同誌は『A 猪木が「復興支援大会」に呼ばれず激怒 主催東スポと大ゲンカしている!』との見出しで、関係者の談話を掲載している。

記事でコメントしているスポーツ紙記者は、「主催する東京スポーツと猪木との間に、距離ができているからでしょう。東スポ内は今、旧全日であるノアの担当記者らが幅を利かせているんですよ」と語り、東スポ内での体制変化を理由に、猪木－ノア間の溝を伝える。

また、このオールスター戦に対抗するといわんばかりに、今月 2 日、別のチャリティイベント開催を発表した猪木。スポーツ記者は、「猪木なら他団体の選手はもちろん、海外団体とも太いパイプを持っています。サプライズゲストとして有名レスラーや、格闘家をキャスティングすることも十分可能でしょう。しかも開催日時は『ALL TOGETER』と同日の 8 月 27 日が候補にあがっているというからタダごとではない。この猪木の行動に対し、東スポ側も対抗措置を画策。『ウチの紙面で猪木のイベント記事は取り上げるな!』と“禁止令”が出たとも聞きました」と明かしている。

ただでさえ、人気が低迷するプロレス界において、これ以上、シェアの取り合いは避けたいところだが、震災があっても尚、業界が一枚岩となることはなさそうだ。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】ツイッターで選手を侮辱したアディダス女性社員退職か。ネット上では「自業自得」の声

アディダス契約選手のJリーガー＝ハーフナー・マイク（ヴァンフォーレ甲府）は晴天の霹靂とっていい信じ難いトラブルに見舞われた。

今月18日に入籍を発表したマイクは、そのお相手とみられる女性と一緒に、アディダス・パフォーマンスセンター銀座店を訪れたが、その後、店員の女性から一方的な侮辱ツイートを連発された。

その内容は、「そいえば今日マイクハーフナーが来た。ビッチを具現化したような女と一緒に来てて、何かお腹大っきい気がしたけど結婚してんの(^ω^)??」、「帰化したからハーフナーマイクかw アシュトンカッチャー劣化版みたいな男が沢尻劣化版みたいな女連れてきたよw とりあえずデカイね、ホントにwww」など、とても店員（社員）とは思えない類のもので、ネット上では、その女性をすぐさま特定、大炎上する騒ぎとなり、19日の夜にはアディダスが公式サイト上に謝罪を掲載するに至った。

なんとも耳を疑いたくなるような女性店員の奇行は、採用したアディダス側にとっても、信頼を損なう痛手となったわけだが、25日には、スポーツ紙が女性店員のアディダス退職を伝えている。

さっそく掲示板には、「自業自得」「そのまま銀座店で働いてくれれば、おもしろかったのに」「私はこれ（ツイッター）で、会社を辞めました」「解雇じゃなくて、退職?」「ツイッターがなくても、いずれ問題を起こしていただろう。表現方法がツイッターになっただけで、人間性は変わらない」「こんだけ有名になると後の人生どうやって生きるんだろうな」「twitterで退職とかアホすぎるwww」「なんかまるでツイッターが悪いみたいな記事だけど、どう考えてもこの女性社員本人の資質の問題だよね」といったコメントが書き込まれ、ネットの論調は大多数が“自業自得”というものに。

既に、名前や写真も知れ渡り、ネット上には永遠に消えないであろう汚名を残した問題の女性店員。退職が事実なら、再就職は極めて厳しいものとなるだろう。軽率な行動で一生を棒に振ることとなってしまった。

【Sports Watch】“真央に暴言”ラサール石井が改めて謝罪するも「ほとぼりを冷ます」に

疑問の声

先月末にロシアで開催されたフィギュアスケート世界選手権において、浅田真央の成績が6位と振るわなかったことを受け、タレントのラサール石井氏が自身のツイッター上で、「ちょっと暴言吐きます。浅田真央ちゃんは早く彼氏を作るべき。エッチしなきゃミキティやキムヨナには勝てないよ。棒っ切れが滑ってるみたい。女になって表現力を身に付けて欲しい。オリンピックまでにガッツリとことん！これは大事」と呟き、大ひんしゅくを買うことになった。

ラサール氏のツイッターが炎上したため、その二日後には、「全女性の皆様、お名前を出してしまった各選手の方々、関係者各位、何より浅田選手ご本人とファンの皆様に心より謝罪いたします。なお、皆様のご意見を鑑み、前言を撤回。呟きは削除させていただきます」と謝罪のコメントを掲載したが、ラサール氏は今月26日にも、舞台『こんにちは 赤ちゃん』の舞台稽古の場で改めて謝罪、「ほとぼりを冷ますために、今年あと半分は静かにさせていただきます」と述べた。

今回、ラサール氏は改めて謝罪をしたものの、ネット上の反応は冷ややかなもの。大手掲示板では、『ほとぼりを冷ますために』って反省している人間が使う言葉かなあ…」「アディダス石井に改名しろ」「誰に怒られたから謝ってんの？」「ほとぼりを冷ますまでって…こいつほんとに頭悪いんだな」「今年半分静かにしようが、人間性変わらないのわかってるし」「なんて言うか、軽い男なんだなあ…」「ほとぼりを冷ます為って、要はみんなが忘れるまでって事だろ。多分、忘れる人少ないぞ。残念でしたw」といったコメントが投稿された。

リテラシーの欠如により、一般人のツイッターによる騒動が後を絶たない昨今、インテリ芸能人として知られるラサール氏の暴言ツイートには、怒りを通り越し、呆れ果てた人も多かったことだろう。一方的に暴言を吐かれ、一方的に謝られ、改めて謝罪をして問題が再び蒸し返され——、先のアディダス女性店員がJリーガーに侮辱した発言を行った一件もそうだが、名誉を傷つけられたほうにとってはたまったものではない。

【Sports Watch】川島、複雑なチーム事情に「正直意味が分からない」

帰国後、28日には長谷部誠ら欧州組が中心となって実施した東日本大震災の被災地支援活動に参加したベルギー1部リーグのリールセに所属する川島永嗣。現在はイングランド・プレミアリーグのウェストブロミッジへの移籍話もある日本の守護神、その胸中は——。

フジテレビ「すぽると！」(24日深夜)では、リールセで1部残留を決め、チームMVPにも選ばれた川島が番組に心境を語った様子を放送した。

「今を振り返ってみると色々あったし、いっぱいすごいことが起きたと思います」と話す

や、川島は開幕5連敗や一試合7失点、小さいスタジアムではボールボーイも居ないため、自分でボールを取りにいかねばならない試合もあった昨シーズンを振り返った。

残留争いでは、「もう葬式みたいなんです。ロッカールームが。みんな、今日も勝てないんじゃないかって。それこそ1点取られていたら誰も喋らないし、ロッカールームで。そういう中でも、チームメイトとコミュニケーションをとりながら、自分達なりに残留に向けて、こうしようっていう風にやっていたのが、僕にとってはすごい有意義だった。こっちって数字だけで評価しないで、ちゃんとプレーを見てくれる。その辺は多少救いでした」と語り、その一方では、複雑なチーム事情にも言及した。

ベルギーリーグでは、1部の16チームが3つのプレーオフに分けられる。1～6位はリーグ優勝やCL出場権を懸けたもの。7～14位はヨーロッパリーグ出場権を懸けたもの。15～16位は残留争いだ。しかし、ヨーロッパリーグ参加に必要なUEFAクラブライセンス（収容人数や財務面等）が最低基準に達していないチームに加え、ヨーロッパリーグに出場すると休みがなくなる選手には出場を望んでいない者もいる。

「正直意味が分からない。このシステムが」という川島は、「プレーオフ期間はかなり難しかった。ヨーロッパリーグはうちのクラブにとって重要ではないみたいなことを言ったりとか、味方が点決めた時も、“バカヤロー、またバカンスが遠くなるじゃないか”とか、そういう感じで言ったりしますから」と困惑した様子で明かす。

また気になるウエストブロミッチからのオファーについては、「(ベルギーは) 気に入ってますね。街中でもスタジアムでも、サポーターに残ってくれ、残ってくれって言われると、選手としてはすごい嬉しいし、自分としても、こういうサポーターのためにプレーできたら幸せ」と語るも、「ヨーロッパという舞台で活躍すればするほど、例えば、自分が移籍しても、僕自身、ここでプレーしたことが誇りになるし、サポーターにとっても応援した甲斐があったと思う。そういう風に感じられるように、自分が活躍できるようにやっていければ。(次は) どこですかね。これから色々決まるとは思いますけど、まだ分からないです。確実に、また違う国でやれたらいいかなと思っている」を述べた。

【Sports Watch】取材お断りの天才美少女スイマー

大阪で行われた競泳のジャパンオープン（22日）で彗星のように現れた中学3年生の渡部香生子（14歳）に大きな注目が集まっている。

渡部は100m平泳ぎ日本歴代2位、日本記録にあと0秒38と迫る1分7秒10をマークし優勝。50m平泳ぎでも日本歴代4位の31秒83（中学生記録）で優勝すると、200m平泳ぎでは2分23秒90でまたまた優勝し、女子平泳ぎ3冠を達成した。驚異の14歳登場に水泳

界のみならず、賞賛の声があがり、「ロンドンオリンピックの星」として期待されている。

渡部はアスリートとしての能力だけでなく、その愛くるしいルックスもスター性十分だ。ネット内や巷では「かわいい」「美人」という声が相次ぎ、ニューヒロイン誕生を予感させる。現在は練習に集中するため、取材は全部お断りだそう。外野に惑わされず、ロンドンまで順調に成長していつてもらいたいものだ。

●写真で追う！女性アスリート

【Sports Watch】長谷部の“破局Tシャツ”にズバリ 「何か意味あんの？」

28 日深夜、TBS「S1」では、サッカー解説者・福田正博氏が聞き手となって行われた、ブンデスリーガ 1 部・ヴォルフスブルグ所属で日本代表キャプテン、長谷部誠インタビューの模様を放送した。

今月、ドイツから帰国を果たした長谷部は、胸に大きく「THE END OF LOVE」と書かれたTシャツを着用、昨年 10 月に破局したと伝えられているフジテレビ・本田朋子アナウンサーとの関係について、何らかのメッセージを発したのではないかと一部ネット上でも話題を集めていた。

そんな折、浦和レッズ時代の大先輩・福田氏は、インタビューの冒頭から、「あのTシャツは何か意味あんの？」とストレートに質問をぶつけていったのだった。

これには、長谷部も「あれは完全ね。ここに何かが書いてるか気にせず買って、気にせず着てましたからね」と苦笑いを浮かべたが、福田氏はこの返答をよしとせず、「気になるんだよ。長谷部だから。何か意図があるんじゃないかって、みんな思っちゃうよ。そういう風に見られてるんだよ」と追及。長谷部も「気をつけなきゃなと思いました」と呟くように語った。

また、インタビューでは、ザッケローニ監督にも言及した長谷部。「怒る感情をあんまり表に出す人じゃない気がしますね。基本ホメ上手。こっちが照れるくらいホメてくる時もある」、「非常に細かいですね。戦術練習に関しては、ボールを止める位置とか。前の選手がボールを止めたら、この選手はこう動けとか、そこまで言います」と明かしつつ、3 月 29 日に行われた復興支援チャリティーマッチでは、これまで戦ってきた『4-5-1』ではなく『3-4-3』というフォーメーションを採用したことにも触れると、「普通アジアカップで優勝して、ああいうカタチでやって、それでまたフォーメーションを変えようとか、普通の監督は思わないでしょ。（ザッケローニ監督が）一番やりたいフォーメーションは多分あれだと思う」と語った。

■関連リンク

- ・長谷部誠さんの「THE END OF LOVE」T シャツについて整理して考えるの巻。
- ・キングカズ主催の晩餐会で何を食べるべきか長谷部幹事とともに考えるの巻。

【Sports Watch】“来シーズンの出来次第” 香川真司が描く夢の移籍先とは？

今シーズンのブンデスリーガで優勝を飾ったドルトムント。香川真司はケガによりシーズン後半を棒に振ったが、来シーズンは自身初の CL 出場が待っているなど、その注目度は増すばかり。そんな折、29 日深夜にフジテレビ「すぽると！」に出演した香川は、番組内で様々な質問に答えている。

ドルトムントの優勝を「さすがに優勝はちょっと想像してなかったんで、想像以上です」と話し、苦しいシーズン後半を「サポーターの存在が一番の心の支えになりましたよ。日本、ドルトムント問わず、本当に沢山人から支えられているというのを改めて感じました」と語った香川。サッカー解説者・風間八宏から、日本とドルトムントのサポーターの違いを訊かれると、「ドルトムントのサポーターのほうが距離感はフランクな感じで接してくれます」と話した。

また、番組では、CL ファイナル＝バルセロナ×マンチェスター・ユナイテッドの模様を放送。香川は「中盤でシャビ、イニエスタのパスワークで相手を惹きつけてメッシが前線でフリーになるっていう。シャビとイニエスタの存在はバルサにとって欠かせないのかなと」と感想を述べた。

さらに、来シーズンでは初の CL に臨む香川。「ビッグクラブと試合ができるというのはすごい楽しみです。やっぱりバルセロナとはやってみたい」と意気込みつつ、今後活発になるであろうビッグクラブからの引き抜きや、チームの移籍について、番組ナビゲーターのマギー（奈月マーガレット）から「真ちゃん、心配だね？」と話を振られると、「そうですね、真ちゃん、心配ですね」とおどけてみせる場面も。

しかし、すぐさま真顔に戻った香川は、ドルトムントの補強に、「ヌリが抜けた穴、ハードワークをするポジションなので、そういう人がきてほしい」と希望を述べ、自身のビッグクラブ移籍の展望については、インテル・長友の存在も引き合いに出されたが、「（インテル以上に）バルセロナがビッグクラブだと思っているので。（目標は）やっぱり、そこが一番。来シーズンの出来次第、CL でどれだけ結果残せるかで未来が開けると思うので、そこがチャンスかな」と語り、夢のバルサ移籍へ、その胸中を明かした。

- ・今季大活躍の香川しんちゃんが、「すぽると！」で超モテモテ祭状態だった件。
- ・ドルトムントが香川と契約延長へ「シンジを守らないクラブなどない」

・ドルトムント VS 日本人&爺選抜の慈善試合に大いに元気と勇気をもらった件。

【Sports Watch】日本代表、無得点ドローも「うまくいかなかった前半にポイントがある」
1日、東北電力ビッグスワンススタジアムで開催されたサッカー・国際親善試合、キリンカップでは、日本代表がペルー代表と対戦するも、日本代表のシュートは相手ゴールの枠からことごとく外れ、スコアレスドローに。同夜、日本テレビ「NEWS ZERO」では、サッカー解説者で元日本代表の北澤豪氏が試合を振り返った。

アジアカップを制した『4-2-3-1』のシステムではなく、前半は新システムとなる『3-4-3』を採用した日本代表。なぜ、優勝を遂げた従来のシステムではなく、新たな戦略を用いたのか――。

「後半に入ってから20分くらい。本田が入ってパスがスムーズに回って、今までの日本代表らしさが出ましたよね。そういった意味ではよかったと思うんですけど、この時間帯でいうと、日本代表がアジアカップで優勝したシステムで戦っている」と前置きした北澤氏は、「今日の試合のポイントは、うまくいった後半ではなくて、うまくいかなかった前半にポイントがあるんですね」と説明する。

「アジアカップで優勝したことで全てがうまくいった印象があるんですが、あの大会は苦しまれた大会でもある。なぜなら、日本代表が研究されてきた。ただ、W杯を勝ち抜くためには新しいオプションが必要」と語った北澤氏は、「海外で経験している選手もいますし、人材も新しく増えてきている。そういった意味では進化するためには絶対に必要なチャレンジ。7日のチェコ戦はベストメンバーでこのシステムでチャレンジして貰いたい」と期待を寄せたのだった。

・日本、ペルー相手に連携が噛み合わずゴールレスドロー！！

・ペルー戦のドローを悔やむ本田「一人でどれだけ変えられるかと思ったけど、共通理解が低かった」

・ペルー戦は国内組の底上げに期待

【Sports Watch】セルジオ越後氏、日本代表戦にチクリ 「川島さまさまのゲーム」

1日、東北電力ビッグスワンススタジアムで行われたサッカーの国際親善試合・日本代表×ペルー代表の一戦は0-0の引き分けに終わった。前半戦では「3-4-3」の新システムを採用するなど、今後を見据えた試みもあり、マスコミの報道も概ね“よし”とする評価が多い。

そんな中、サッカー界のご意見番として知られる解説者・セルジオ越後氏は、自身のツイッター上で、「なんか国内組が時差ぼけしているような感じだな。若い選手がシステムにしばられすぎて、ロボットみたい。もっとリラックスして思い切ったプレーを見てみたいね。全

体的にぎごちない感じで、エネルギーが感じられなかったな」とツイートし、チクリ。

その後も、「最後は川島さまのゲームになった。ゴールキーパーが目立つというのは、決してほめられた試合とはいえないな。次のチェコ戦までに立て直して欲しいね」と続けたのだった。

- ・日本代表、無得点ドローも「うまくいかなかった前半にポイントがある」
- ・日本、ペルー相手に連携が噛み合わずゴールレスドロー！！
- ・ペルー戦のドローを悔やむ本田「一人でどれだけ変えられるかと思ったけど、共通理解が低かった」

【Sports Watch】日本代表、格下相手に引き分けも「収穫はあった」とキッパリ

日本代表は、格下ペルー代表を相手に臨んだ親善試合で得点には至らず引き分けた。

1日、東北電力ビッグスワンスタジアムで行われたサッカー・キリンカップの翌日、テレビ朝日、朝の情報番組「やじうまテレビ！」には、元日本代表でサッカー解説者の福田正博氏がVTRで出演。「収穫はあったんです」とキッパリ断言した。

「3-4-3というシステムを試すことができたこと。新しい選手を試すことができたこと。サッカーの世界では、やってみなければ分からないこと、チャレンジしてみなければ分からないことってというのは沢山ありますが、それが今日のチャレンジでした。それが大きな収穫だったと思います」と語る福田氏。

その他にも、本田&長友のプレーを例に挙げた福田氏は、本田について、「相手のディフェンダーに押されるのですが、少し倒れて立ち上がると同時にワンステップでシュートを打ったんですね。枠は捉えませんでしたけど、非常に可能性を感じるようなシュートで、本田のシュート力を十分に証明するようなプレー」といい、長友が相手攻撃陣からボールを奪ったシーンでは「自分の間合いにして、しっかりと止まって、相手の自由を奪って、相手のプレーをコントロールしてボールを奪うあたりは、厳しいイタリアリーグでやっているところのプレーを見せてくれた。出場時間は長くなかったですが、彼らの存在をアピールするプレーを見せて貰った」と絶賛した。

- ・日本、ペルー相手に連携が噛み合わずゴールレスドロー！！
- ・ペルー戦のドローを悔やむ本田「一人でどれだけ変えられるかと思ったけど、共通理解が低かった」
- ・ペルー戦は国内組の底上げに期待

【Sports Watch】宇佐美、バイエルンミュンヘン移籍が決定的!? 「レギュラーとれなきゃ

地獄」の声も

1 日、東北電力ビッグスワンススタジアムで行われたキリンカップサッカー2011＝日本代表×ペルー代表の一戦は、0－0 の引き分けに終わり、注目を集めた 19 歳・宇佐美貴史（ガンバ大阪）の出場も見送られた。

だが、試合翌日の 2 日、宇佐美に関するビッグニュースが飛び込んできた。スポーツ報知が一面で宇佐美のドイツ・バイエルンミュンヘンへの移籍が決定的になったと伝えたのだ。

「来月移籍 8 月デビュー」という見出しが躍った同紙のニュースによると、宇佐美は期限付きの移籍となる見込みのようだ。

また、このニュースにさっそく反応した掲示板では、「ガンバ終了」「J リーグますますつまらなくなるな」と国内リーグの盛り上がりを憂う声とともに、「レギュラーとれなきゃ地獄だぞ」「バイエルンだと試合出れないだろ・・・」「うわぁレンタルか 試合出れないしどうすんだよ、へたしたら劣化するぞ」といったコメントも見られた。

・ザッケローニ「宇佐美にはとても期待しているが成長は彼次第」／記者会見 Part3

・立場が正反対の宇佐美と宮市

【Sports Watch】みの、日本代表には「これからですからね」と期待。高畑アナは冷静に一言

6 月 1 日（水）、東北電力ビッグスワンススタジアムで行われたキリンカップサッカー2011 において、日本代表はペルー代表と対戦するも、そのシュートがペルーゴールのネットを揺らすことはなく、結果はスコアレスドローに終わった。

翌朝、試合の様様を伝えた TBS「みのもんたの朝ズバッ！」において、番組司会のみのもんたは、「でも、無得点でもいいと思うけど。これからですからね」と期待を込めて語ったものの、すぐさま「“ためしてガッテン”ですよ」と軽いギャグをかまし、笑いに走ってしまった。

すると、その隣にいた高畑百合子アナは、「ガッテン（合点）したのでしょうか？昨日の試合」と極めて冷静に切り返してみせたが、みのも「問題点がハッキリ分かって良かったんじゃないですか」と言葉を続けつつ、4 連敗で借金 10 となった横浜ベイスターズに「ザック監督ってあり得ないかな。ベイスターズの」と、何もなかったかのように次の話題へと移った。

【Sports Watch】シャワボワを追いつめた 17 歳美女とは？

フランスのパリで全仏オープンテニス 2011 が開催されている。女子シングルスは 6 月 2 日

までにベスト4が出揃い、準決勝戦では、第7シードのマリア・シャラポワ、第6シードの李娜が、フランチェスカ・スキアボーネとマリオン・バルトリが、それぞれ対戦する。

2年ぶりにベスト8以上に進出した妖精シャラポワだが、2回戦では思わぬ伏兵に足下をすくわれそうになった。追いつめたのは17歳のフランス人、キャロライン・ガルシアである。

ガルシアは第一セットを6-3で取り、結局逆転負けを喫したが、若さあふれる果敢なテニスでシャラポワに冷や汗をかかせた。

その実力もさることながら、ルックス的にも将来性十分な若手の活躍に、地元フランスの観客は熱狂。新たなスター誕生だとメディアも大盛り上がりだ。

今回はシャラポワの意地とプライドにより金星とはならなかったが、これから先、女子テニス界に旋風を巻き起こす可能性は十分。1993年生まれの新ヒロインの今後の成長に注目したい。

●写真で追う！女性アスリート

【Sports Watch】ザッケローニ監督、チェコ戦に向け宣言「4-3-3も試してみるつもり」
今月1日、東北電力ビッグスワンスタジアムで開催されたキリンカップサッカー2011、日本代表×ペルー代表の一戦は0-0の引き分けに終わった。前半は、アジアカップを制した『4-2-3-1』ではなく、新システムとなる『3-4-3』を採用した日本代表だが、その真意とは――？

4日深夜、TBS『S1』では、ザッケローニ監督へ単独インタビューをした様子を放送した。

インタビューでは、「W杯予選前に新しいポジショニングを試す事ができました。そして、自分達はどういうプレーをすればよいか考えることができました。もちろん、サッカーは勝つためにするものですが、あのメッシも負けることがあるでしょう。試合の組み立て方はちゃんと私の頭の中にありますよ」と落ち着いて話すザッケローニ監督。

「勝てば嬉しいが、親善試合は試すことが大事です。いつも同じことをしていたら、相手に弱点がばれてしまうでしょう。イタリアではこう言います。“間違いながら学ぶ”」と言葉を続けると、カメレオン戦術という言葉を挙げ、「試合状況に応じてシステムを変化させるサッカーです。状況に応じてシステムを変えられるカメレオンの様なチームを見てみたいんですよ」と口にした。

同戦術について、「それはグローバルなサッカーです」「11 人全員で攻撃も守備もこなすサッカーです」「どこの国もこんなことはしないでしょう」「相手を上回るアドバンテージになるはずですよ」と期待を込めるザッケローニ監督だが、新システム以外にも、ペルー戦では、存在感を見せた海外組に対し、国内組に目立った活躍はなかった。この辺りについては、「長友や本田、そして、ドイツやスペインでプレーする選手達は、厳しいリーグを戦い抜いてきました。だから、継続的に磨かれたのです。技術レベルや戦術レベル、精神面が強くなりました。その経験を J リーグしか知らない選手達に伝えてくれるはず」と語りつつ、7 日のチェコ戦では、「何かを変えます。なぜなら、もっと可能性を見たいからです。ペルー戦で使った二つのシステム以外にも、4-3-3 も試してみるつもりです」と宣言した。

(※ザッケローニ監督のコメントは、同番組の翻訳のまま)

・「3-4-3」が機能しなかった理由。バルサを参照。サイド起用が多い日本人選手だが・・・。
ペルー戦後のザックのコメントから。

- ・日本代表、格下相手に引き分けも「収穫はあった」とキッパリ
- ・セルジオ越後氏、日本代表戦にチクリ 「川島さまさまのゲーム」
- ・日本、ペルー相手に連携が噛み合わずゴールレスドロー！！

【Sports Watch】松坂に突然の“日本球界復帰”を提言!?

右肘の靱帯再建手術（トミー・ジョン手術）に踏み切ることを決意した、ボストン・レッドソックスの松坂大輔。いまや成功率 90%とも言われる手術だが、術後は一年以上に及ぶリハビリが待っている。

5 日深夜、TBS「S1」番組内では、そんな松坂に対し、プロ野球解説者・榎原寛己氏が「緊急提言」を行った。

「トミー・ジョン手術を受けることを決定したんですけど、リハビリ期間が一年ちょっとかかるんですよ」と切り出した榎原氏は「復帰時期は 6 月か 7 月になるので、来年ですよ。そうすると、ローテーションをレッドソックスでも組まれていますから、復帰したところで大してアピールになんないんじゃないの。でも、松坂の契約も来年までしかないから、僕、緊急提言。日本復帰もあるんじゃないのっていう感じはしますけどね」と、突然の“日本球界復帰”を促した。

また、松坂の年齢も鑑み、提言を続ける同氏は「力でズンズンいくよりも、打たせて取るピッチングも覚えながら、年齢とともに変えていくのかなっていう気がしないでもない。（100%回復は難しい？）過去の症例では結構（球速が）出ているんですよ。元よりも速くなったって人はいっぱいいるんです。僕の提言を、松坂が笑うようなことになってくれることを望みますよ。それくらい順調にリハビリしてほしい」と語った。

尚、同番組では、当初松坂の会見の様子を放送する予定だったが、延期となったため、急遽槇原氏の“提言”に差し替えられたようだが、これから手術とリハビリに臨む松坂に対し、この段階で“日本球界復帰”を勧めるとは、唐突かつ空疎な提言という印象を残した。

- ・松坂 手術報道後初めて会見 静かな終幕と地元紙
- ・松坂どうして謝る？
- ・身から出た錆び？松坂を苦しめる故障とコミュニケーション不足
- ・胸も心も痛かった松坂大輔 | 2011 年 MLB ペナントレース

【Sports Watch】長友の人生を変えた転機とは？

セリエ A・インテルのサイドバックとして、5 月にはコッパ・イタリア優勝に大きく貢献した長友佑都。名門インテル初の日本人選手となった今年、長友は周囲の期待を上回る活躍をみせ、はやくもタイトルを獲得した。

だが、長友がミッドフィールダーからディフェンダーにコンバートされたのは、明治大学時代の 2006 年。実質 4 年強で世界トップレベルのディフェンダーへと成長していることになる。

5 日深夜、TBS「S1」番組内「ターニングポイント」のコーナーでは、そんな長友の“ターニングポイント”を紹介。明治大学の入学直後に椎間板ヘルニアとなり、スタンドからチームを応援する日々が続いていた長友は、大学二年の秋に大学サッカー部、神川明彦監督の一言により、まさに人生を変えることになったサイドバック転向を果たす。

「ディフェンスするのが嫌で、小学校の時はフォワードだったんですよ。中学校、高校とどんどん下がって行って、大学でディフェンスになった。やっぱ、攻撃したいじゃないですか？ だから、サイドバックは嫌だったんですけどね」。番組のカメラにそう語った長友だが、J リーグ・デビューから僅か二ヶ月での A 代表入り、その後、僅か二年でセリエ A 移籍を果たすなど、今後もスピード出世を続けてくれそうだ。

【Sports Watch】坂本の夜遊びに原監督が激怒、美人記者と夜の街へ

今月に入り、3 位に浮上はしたものの、故障者も多く、いまひとつ波に乗り切れない原・巨人だが、本日 7 日発売の「週刊アサヒ芸能」(6.16 号)では、本来ならチームの牽引役となるべき坂本勇人の不調にまつわる衝撃的な見出しが躍った。

『巨人原監督が激怒した 坂本の「美人記者お持ち帰り」事件』と題した特集記事がそれだ。同誌にコメントする球団関係者は、坂本の不調について「古傷の腰痛もあるので、周囲はオフから坂本がちゃんと体調管理をしているか心配していた。ところが本人に自覚が見えな

いばかりか、シーズン前から夜遊びが激しくなったんです。『こんなことでシーズンを乗り切る体力や古傷をカバーする筋力が作れるのか?』と不安視する声が上がっていましたが、案の定、最近の坂本は疲労が抜けにくい体になっているといいます」と指摘をする。

また、震災直後の3月13日、巨人が甲子園で合同練習を行った際、坂本が欠場し、原監督からペナルティーを課されたことがあった。この時、原監督はマスコミに対し、「体調維持というものを怠った」と説明したが、その原因は坂本の前夜の行動にあったというのだ。

練習前夜、マスコミとの親睦を深める飲み会に出席したという坂本について、スポーツ紙のデスクは「なんとその場で、プロ野球担当の美人女性記者と意気投合し、夜の街にお持ち帰りして消えたそうです。そのまま翌日は宿舎に朝帰りする門限破りだったといいます。翌日の試合後に坂本は欠場理由について、『それはちょっと・・・』と言葉を濁していた」と明かしている。

これなら原監督が怒るのも当然か。前出の球団関係者は、「遠征先はもちろん、都内でも六本木や西麻布で頻繁に目撃されている。しかも『紳士たれ』がモットーである巨人の選手とは思えない遊び方のようで、接客するホステスたちからの評判もよろしくないといいます。息抜きは当然必要ですが、試合に影響するほど遊んでいるようではいただけない」とも語っている。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】不振続く松井秀に「マイナーでのプレーを余儀なくされる」

日本時間6日のレッドソックス戦では、アスレックス・松井秀喜に22打席ぶりのヒットが飛び出した。しかし、すでに自己ワーストの19打席無安打を超えるなど、打率は.213と低迷、苦しい日々が続いていることに変わりはない。

そんな折、7日発売の「週刊アサヒ芸能」(6.16号)では、在米のスポーツジャーナリストが同誌に対し、“背水”松井の周辺情報を伝えている。

「キャンプ時から近年になく、膝の状態はよかったです。松井のスロースターターぶりは例年どおりでした。夏場には打撃が復調することも見込まれ、慌てることもないでしょうが、5月に入ってチームが低迷するや、期待が高かっただけに他の選手に増して、DHに入る松井への風当たりが厳しくなってしまった」という在米ジャーナリスト。

今後の展望については、「地元紙記者は『ビリー (GM) がシーズン終了まで松井を置いておくことはありえない』と断言していました。トレード期限の7月30日までに、松井で商

売するためにトレードを画策するでしょうね。でも、今の成績では高年俸の松井をプレーオフの切り札として獲得する球団も見当たらない。『日本ではやらない』と語っていた松井ですから、このままでは元レッドソックス・岡島秀樹(35)同様にマイナーでのプレーを余儀なくされるでしょう」と述べている。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】格下相手に2試合連続スコアレスドローも、新システムは「やめる必要は全くない」

7日、日産スタジアムで国際親善試合＝チェコ戦を戦った日本代表は、1日のペルー戦前半と同じ3-4-3の新システムで臨むと、前回の試合以上にスムーズな試合運びをみせたが、決定機をものにできず、2試合連続のスコアレスドローに終わった。

同夜、日本テレビ「NEWS ZERO」では、サッカー解説者で元日本代表の北澤豪氏が試合を振り返った。

「結果だけを見ると、勝っていませんし、どっちかというと日本より格下の相手ですから、いいとはいえないですね」と切り出した北澤氏は「ただ、個人的にはこの新しいシステム、3-4-3、やめる必要は全くないと思いますね。ペルー戦よりも今日のチェコ戦の方が格段にシステムを理解していたし、いいシーンが幾つかありました」と語り、概ねよしとした。

具体的には、「内田と長友の位置ですね。スタートポジションがいつもより20～30m前であることですね。その分によって、本田とかが高い位置でボールをキープできる」、「攻撃にかける人数が増えていることを考えると、相手も読み辛いし攻めのバリエーションが幾つも作れた」と評価した。

それでも、ゴールが生まれなかったことに、北澤氏は「そこを言われてしまうと難しい。3-4-3を試して2試合ですからね。今日も選手は連携って言ってましたけど、3-4-3をやる意思と形は表れていたんですが、連携だったりコンビネーションミス。自分は前で欲しいんだけど、後ろにボールが出てしまったという行き違いは何度かあったので、攻撃の回数が減ってしまったことはありましたけど、一回攻撃した後に人数をかけている分、前へ前へ行く形がとれている」と説明、気になる今後については、「8月に対戦する韓国や、W杯予選で当たるアジアのチームというのは、今日の試合を観て、日本がどのシステムでくるのか、今日の時点で迷っているんじゃないかな。そういった意味では収穫はあった」と期待を込めた。

・【日本×チェコ】 生きないMF内田篤人とMF長友佑都

・ザッケローニの3-4-3は本田圭佑のポジション放棄で機能せず、チェコともゴールレスド

ロー！！

・日本対チェコ 3-4-3 で見えた 2 つのポイント

【Sports Watch】セルジオ氏がバツサリ「全く収穫がない」

7 日、横浜・日産スタジアムでは、キリンカップサッカー2011＝日本代表×チェコ代表の一戦が行われたが、試合は、前回のペルー戦同様、決定機をものにできず、2 試合連続の 0-0 で引き分けとなった。

試合後、ザッケローニ監督や主力選手からは、新システム「3-4-3」に対し、手ごたえを掴んだコメントも聞かれたが、サッカー界のご意見番・セルジオ越後氏の評価は厳しいものであった。

試合を観戦しながらツイッターをチェックすることができる、ソニー・ブラビアのインターネットテレビ機能のプロモーションに参加していたこともあり、自らのツイッターで、いつも以上に呟いたセルジオ氏。

試合序盤は、「入り方はホームらしく、悪くないね」「本田久しぶりに決めて欲しいな」「内田が真ん中から出てきたのはシステムにこだわってなくていいね」と期待感や上々の評価であることをうかがわせたが、試合の経過とともに「李と岡崎のポジション変化にバリエーションが無いのが気になる」「本田がボールに触るプレーはしてるけど、背中を向けたプレーが多くて相手を脅かすプレーにはなってないね」「サイドの展開が無いね」と呟き、徐々にプレーに対する指摘が増えていく。

後半になると、「サイドでもっとタメを作って、飛び込んでくるような動きが無いから、相手からすると怖くないよ」「アジアカップもセットプレーで結構取られてるから、要注意だよ。川島が活躍するようじゃだめだよ」「3 チーム優勝なんてあり得ないよ」と呟き、挙句の果てには「システムも機能してないし、コンディションも悪い。強化の試合としては全く収穫がないね」とバツサリ言い放った。

・【日本×チェコ】 生きない MF 内田篤人と MF 長友佑都

・ザッケローニの 3-4-3 は本田圭佑のポジション放棄で機能せず、チェコともゴールレスドロー！！

・日本対チェコ 3-4-3 で見えた 2 つのポイント

【Sports Watch】美女レスラーが前代未聞の“敗者おっぱい丸出しマッチ”を逆提案

6 月 9 日（木）、東京・後樂園ホールで開催されるプロレスイベント『SMASH.18』では、初代 SMASH ディーバ王座決定トーナメント 1 回戦として、巨乳美女レスラー・華名と、香港出身のリン・バイロンが対戦する。

かつてはハッスルのリングにおいて、インリン様が——、最近も元グラビアアイドルの愛川ゆず季が女子プロレスラーに本格転身したことが話題になっているが、華名は生粋のアイドル・レスラーとして活躍してきた一人である。

大会前日 8 日に行われた両者の記者会見では、バイロンが華名を罵るように挑発したことから、怒った華名が「ホンマに次元の低いことはやめてもらいますかね」、「試合で勝った人が、負けた人の胸をさらけ出す。こんなの、ええんとちゃいます？」などと、前代未聞の“敗者おっぱい丸出しマッチ”を逆提案したことから、試合の注目度は一気に上昇。華名自身も、報道陣からスリーサイズを訊かれると、95・73・94 の F カップと、そのダイナマイトボディを公表し、ノリノリで会見を終えたとされる。

しかし、どちらかといえば、ファンが見たいのは華名のバストになるのだろう。そんな空気を読んだ華名は、同日更新した自身の公式ブログで、「明日のスマッシュ後楽園！リンを応援しよう」と題し、「リン・ビッチ・バイロンの胸元をさらけ出して、淫靡な生態実験しますわぁ みんな、見たい？」としながらも、「リンより、私の方を見たいよね(笑)リンがんばれっ みんな応援してるよ～」と綴っている。

そんなブログには、「それならリン頑張れ～」といったコメントも寄せられたが、中には「でも本当に胸をさらけ出したら 18 歳以下は観戦出来ないですね(汗)」といった冷静な意見も。

話題や因縁を作って、ファンを煽り、集客へと繋げていくのが、プロレスというエンターテインメントだが、男性ファンの期待を極限まで煽った今回の“敗者おっぱい丸出しマッチ”では、一体どんな結末を用意するのか。肩透かしは、イベントの信頼を損なうことにもなるため、華名のウルトラ C に期待が集まりそうだ。

・インリン様 フォトギャラリー

・愛川ゆず季 フォトギャラリー

【Sports Watch】“敗者おっぱい丸出しマッチ”その顛末は??

9 日（木）、東京・後楽園ホールでは、プロレスイベント『SMASH.18』が開催された。今大会では、初代 SMASH ディーバ王座決定トーナメント 1 回戦として、巨乳美女レスラー・華名と香港出身のリン・バイロンが対戦している。

試合前の記者会見で、バイロンが華名を挑発したことから、怒った華名が「試合で勝った人が、負けた人の胸をさらけ出す」と前代未聞の“敗者おっぱい丸出しマッチ”を逆提案して話題となった一戦、実際の試合は華名が胴絞めスリーパーで勝利を挙げている。

では、気になる試合後の様子はどうだったのか——？

SMASH 公式サイトレポートでは、「華名は失神するリンを起こすと、リンのコスチュームの胸元にあるチャックを開き、公約どおりに敗者であるリンの胸を観客にさらしたのだった」と書かれているが、実際には、失神したリンのおっぱいを丸出しにしようとしたところで、意識を取り戻したリンが、リング上から逃亡するという予想通りの顛末となった。

当然、イベント中に胸を露呈するのはご法度だが、“あと一步のところまで未遂に終わる”というのは、ファンにとっても想定内のところ。それでも、リンのブラの上から胸を鷲掴みにし、さらにはその耳に舌を這わせるなど、華名は想定域を超えようと官能的なシーンを連想し盛り上げてみせた。[写真はコチラ]

【Sports Watch】中田翔が告白「“そんなくらい別にええやんけ”って思ってた」

北海道日本ハムファイターズの4番打者として、すっかり定着した中田翔。2007年、4球団がドラフト1位に指名した“平成の怪物”が、ようやく目を覚ました格好だ。

かつてはビッグマウスや無愛想な態度から、ネガティブな報道も先行したが、現在は野球に打ち込む姿勢が一変。中田の何が変わったのか。7日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では、その変化について、開幕前に収録したという中田のインタビューが放送された。

「変わりましたかね？変わりましたね。野球に対する姿勢もそうですけど、考え方が変わったというのが凄い大きい」と語る中田は、謙虚になり、インタビューでも敬語を使うようになった。

番組が事前に収録したダルビッシュ有によると、「あいつももう4年目ですから、プロ1年目と同じだったら問題だし、報道陣に対してもタメ語だったり、それはずっと言ってきましたし、だいぶなくなってきましたね」という。

「今だから言えるんですけど、聞く耳を持っていなかったんですよ。 “そんなくらい別にええやんけ”って思ってたんですけど、今冷静になって、周りが普通に当たり前のことを俺に言ってくれているんだなっていうふうにとれるようになりましたね」と振り返る中田。「昔はお休みの日は何をされていたんですか？」と訊かれると、「練習なんかしてないですよ。朝から遊びに行っていましたね」と明かす。

さらに、昨年からは斎藤佑樹にマスコミ、ファンの目が集まる現状にも、中田は「自分も一から取り組んで、マスコミ、ファンを寄せ付ける。やってやろうと思いましたね。(きっかけ

は?) ふと思ったんですよね。過去のビッグマウス。結果残している人がビッグマウスだとか言っても全然カッコいいと思うんですけど、結果も残してないプロ何年目かのヤツがどうやこうや言ったところで何もカッコよくないし、それに気付いた。考え方も受け答えも全て変えていこうと思いましたね」と意気込むと、インタビューの最後には、「別に“真面目ちゃん”になったわけでもないの、思っていることも行動も結果を残してから好き放題やりたいと思います」と“らしさ”も垣間見せた。

・野球メディアの新しい形〜Baseball Journal (ベースボールジャーナル)

【Sports Watch】女子サッカー界の最高傑作

8 日、ドイツで行われる女子W杯 (6 月 26 日開幕) に出場する女子代表メンバーが発表され、18 歳の岩渕真奈 (日テレ・ベレーザ) が選出された。

類まれなサッカーセンスとテクニックで、女子サッカー界の最高傑作とも呼ばれる岩渕は、若くして頭角を現し、2008 年にはU17 W杯の大会MVPを受賞。同年のAFC最優秀女子ユース選手にも選出されるなど、澤穂稀が長らく牽引してきた日本女子サッカー界の未来を担う逸材だ。

「まるでメッシのよう」と言われるほど、ひとたび試合になると男子も驚愕する華麗なプレーを見せる一方、大きな瞳とはじけるような笑顔でルックス面でも大人気。女子サッカーファン、美女アスリートファンを虜にしている。

なでしこジャパンは本大会でグループBに入っており、現地時間 27 日にニュージーランド、7 月 1 日にメキシコ、5 日にイングランドと対戦する。

●写真で追う！女性アスリート

【Sports Watch】パの圧勝となった交流戦 “パとセの投手レベルは、一軍と二軍ぐらいの差がある”

日本生命セ・パ交流戦は、10 日現在、パ・リーグ 59 勝、セ・リーグ 41 勝 (7 引き分け) とパの圧勝状態となっている。昨年の交流戦も、パが 81 勝 59 敗 (4 引き分け) と大きく勝ち越しているわけだが、一体なぜ両リーグにはこれほどの“実力差”が生まれてしまったのか。

14 日発売の「週刊アサヒ芸能」(6.23 号) では、『パ・リーグが浴びせる「セは二軍レベル」嘲笑肉声!』と題し、関係者の談話を掲載している。

「今は耐えるしかない」というセリフを吐いた阪神・真弓監督について、同誌にコメントをした阪神担当記者は、「正直、パには完全に力負け。嵐が過ぎ去るのをじっと待っている感

じですね。関西の新聞でありとあらゆる評論家が、『打席を外して相手投手のタイミングをズラセ』『バントの構えを』などと、あれこれ提案していますが、何もしないのが阪神なんです。真弓監督は、バントなんてする打線じゃないと思ってますし」と語っている。

また、35 イニング連続無失点の球団記録を塗り替えたダルビッシュ有らバ投手陣にも、いのようにやられているセ球団。在阪マスコミ関係者は、「阪神を4 安打完封した6 月1 日の試合後、ダルビッシュは大勢の阪神担当記者に囲まれ、『阪神打線は怖かった。一発もあるんで』と殊勝なコメントをしましたが、日ハム担当は、『あれは大ウソ。ふだん言っていることと全然違う』と笑っていました。いつもは『阪神？ 大したことはない。いつでも抑えられる』っていう感じですからね。実際、6、7 割の力で、ちょっとナメてカーブを投げて打たれたぐらいで、本気を出して勝負に出ると、アッという間に終わらせてしまった」という。

さらに、交流戦優勝確定状態のソフトバンク担当記者は、「ある球団幹部が『セ・リーグと戦って名前を売る時代はとっくに終わった。セ相手だとウチの選手もくみしやすくて、リラックスしてやっている』と本音を漏らしたんです。完全にセを見下した発言ですよ」といい、あるパ主軸打者に至っては「パとセの投手レベルは、一軍と二軍ぐらいの差がありますよ」と言っているようだ。

その他にも、同誌では、DH 制の有無、ストライクゾーンの違い、球場の広さによる野球の質の違いなど、セ・パ投手の実力差が生まれた原因をプロ野球解説者の分析を交えて伝えているが、総じてセにとっては屈辱的な状態のまま、今年の交流戦も幕を閉じようとしている。一矢を報いるとすれば、オールスター戦になりそうだが、球宴とはいえ、ここにダルビッシュ、ソフトバンク・杉内、楽天・田中らが並ぶようなら、返り討ちに遭うことも十分に考えられる。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

【Sports Watch】日本代表・吉田麻也 「なんで生でそんなこと言うんですか？」

12 日深夜放送、テレビ朝日「やべっち F.C.」には、VVV フェンロー・吉田麻也と、フィテッセ・安田理大が生出演。日本代表メンバーが番組ゲストに質問をぶつける「やべっち QB」のコーナーでは、今野泰幸、長谷部誠らの質問に答えた。

まずは、今野から「先輩だと思っていますか？ (6 歳下なのに同学年のように接してくるから)」という質問が寄せられた安田。「こういうこと言ってますけど、いじられて凄い嬉しそうっすよ」と反論すると、その直後には「(今野の) 写真見てもらったら分かるんですけど、エラはってますよね」と言いたい放題。これには、番組 MC の矢部浩之も「ホンマや。舐め

てるわ」と呆れた様子で呟いた。

また、ドイツではシャルケ・内田篤人と一緒に過ごす機会が多く、自身のブログでも度々内田の写真をアップしている吉田に対し、日本代表キャプテン・長谷部から「ブログに内田の写真を載せているようですが、他人任せでいいんですか？」というツッコミのような質問が……。

これには吉田も「他人任せじゃないですよ」と一旦は言い返したが、すぐさま「正直、アクセス数が増えるんで。やらしい話」と本音を漏らし、「(仲が良過ぎて怪しい?) 普通ですよ。ないない」と、仲良いがゆえに周囲から寄せられる“疑惑”を苦笑いで否定、安田が「常に二人で部屋とかで一緒にいますからね」と、火に油を注ぐや、「なんで生でそんなこと言うんですか？」と声を荒げる吉田だった。

【Sports Watch】ドイツ女子 U20 代表がセクシーすぎるヌード披露

昨今、テレビを中心に露出が増えている仲田歩夢をはじめ、田中陽子、岩渕真奈ら、ルックスがよく将来有望な選手の台頭が著しい日本女子サッカー界。

だが、世界に目を向けると、もはやルックス云々といった話の次元を超越し、自らの裸体を晒して世界中の視線を集めた女子サッカー代表チームが大きな話題となった。それは、女子サッカー界でアメリカと双璧をなすドイツ (FIFA ランク 2 位) の U20 代表のメンバーである。

彼女達は、自国開催の FIFA 女子 W 杯 2011 を盛り上げようと、米誌『プレイボーイ』7 月号でヌードを披露し、そのドキドキのメイキング映像もドイツ「Bild.de」上で公開された。

ヴォルフスブルクのセリーナ・ワグネル、バイエルン・ミュンヘンのジュリア・シミッチら、モデル級の超絶美女選手たちが、大事なものが透けているコスチュームをまとい、妖艶なポーズを取ったり、ローションをかけたりと、本場プレイメイトも顔負けのセクシー路線で撮影。それでいて、リフティングをするシーンではさすがのテクニックを披露するのだから、恐れ入ったもの。

ドイツで行われる女子 W 杯は 26 日に開幕。ルックス面でも懐の深さを見せつけるホスト国ドイツは、優勝候補の最右翼なのだ。

●写真で追う！女性アスリート

【Sports Watch】大人気ラウンドガールが CM 出演、セクシーボディを披露!!

FNS の日 26 時間テレビの名物コーナーといえば、その深夜帯に放送する、明石家さんま &

中居正広の「さんま・中居の今夜も眠れない」から、さんまが1年間で気になった女性をランキング形式で紹介する「ラブメイト 10」だろう。

2009年には、米総合格闘技イベント「UFC」のラウンドガール＝ローガン・スタントンを第3位で紹介。芸能界の大御所が名前を挙げただけに、その反響は大きく、直接的な影響がどれほどのものだったかは不明だが、その直後、彼女は日本のブログサービスでブログをスタートするなど（僅か数ヶ月でブログの更新は止まったが）国内での知名度を上げた。

だが、前述した UFC の躍進は留まることを知らず、最近では、米第2位の格闘技イベント＝ストライクフォースを（UFC を運営する米ズッファ社が）買収するなど、世界中の総合格闘技イベントを見渡してみても、ほぼ独占状態で突き抜けた人気を誇っている。

ラウンドガールでいえば、ローガンの姿こそ見られなくなったが、同イベントで長きに渡って絶大な人気を誇っているアリアニー・セレステは健在だ。米プレイボーイ誌の表紙を務めるなど、業界では突出した知名度を持ち、今月には UFC のスポンサーにも名を連ねる Bud Light の CM にも登場、ビキニパンツ一枚で大量のライムの海に浸かり、その豊満なバストをチラリと披露するお色気タップリの映像が公開されている。

実際のオクタゴン上では、世界最高峰の舞台だけあって生存競争は厳しく、日本人選手の苦戦が続く中、ミドル級では岡見勇信が今夏にアンデウソン・シウバが持つ王座に挑戦が決定するなど、嬉しいニュースも飛び込んできている。来春には日本大会開催の噂もあり、これが実現すれば、生アリアニーを見れるチャンスでもあるのだ。

【Sports Watch】俊足すぎる FW＝U-22 日本代表・永井の“スピード伝説”とは？

ロンドン五輪出場を目指すサッカー・U-22 日本代表。二次予選はクウェート・カ国と戦うホーム＆アウェイ戦となっている。

注目を集めるのは、U-22 代表戦 11 試合で 8 ゴールを誇る日本のエース・永井謙佑（名古屋グランパス）だ。18 日深夜放送、TBS「S-1」は、50m を 5.8 秒で駆け抜ける期待の俊足 FW に迫った。

「よーいドンは負けない」という永井は「自分ではよく分かりませんが、速いみたいですね。（足が速くなったのは）高校2年くらいです」と他人事のように語るも、“永井のスピード伝説”として、高校時代を知る友人は、番組のカメラに「車、40 キロくらいを追い付く。あいつ走って」と話し、九州国際大付属高校時代の恩師・杉山公一監督は「自分で出したスループাসに逆サイドの子がオフサイドだったので、そのまま自分で追いかけてドリブルになったりとか、そういうことはよくありました」と明かした。

また、俊足サッカー選手と言え、”野人”岡野雅行があまりにも有名だが、岡野について訊かれた永井は「あんなに速くないですよ」と苦笑い。高校入学時は、小柄で足も速くなかったという永井は、「よく倒れたり、戻したりしてました」、「タイミングが合ったというか、彼の成長が、身体の成長とトレーニングがうまくあったのかも知れませんが」と杉山監督が振り返る同高校の名物＝坂道＆階段を使った地獄のトレーニングによって、その能力が開花したようだ。

【Sports Watch】大活躍の日ハム・中田翔に、野村克也氏「納得できないんだ」

18日の広島カープ戦では、4安打2ホームランで5打点という大暴れを見せたのが、北海道日本ハムファイターズ・中田翔だ。

4番を任されることも多くなり、得点圏打率は（18日現在）3割8分を誇る“大砲”中田だが、プロ野球解説者・野村克也氏は、どうしても納得できない点があるという。

TBS「S1」番組内「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーに登場した野村氏は、「今日、ちょっと言いたいんだけど、キツくは言いたくないんだけど、中田のバットイング」と切り出すや、「いやー、ノンステップで打ってますよね。メジャーリーグでも日本でも、100年あるいは日本では70数年の歴史があってノンステップの強打者っていないのよ。理にかなってないってことだと思うんだけど、どうもあれが気になる」と、その理由を語る。

また、「長くやって貰いたい。本当に大変な逸材だからね。そういう意味では構え。なんだかおかしい構えでしょ？納得できないんだ、俺は」と続ける野村氏。「なんで基本って大事か？基（もと）の本（もと）って書くのよ。基本っていうのをしっかり考えて、自分のものを作っていないと。結果主義の世界だから、結果出すにはどんなプロセスを歩むのも自由だけど、基本に即した構えと打ち方をしてほしいなという、ただ、僕の意見ですけど」と持論を展開しつつ、中田の髪型について訊かれると「（髭を指して）あれは、やれやれと思いますけど」とボヤくのだった。

【Sports Watch】女子卓球選手が入籍を発表、妊娠も……

カラフルで斬新なユニフォームに身を纏い、また、その愛くるしいルックスから人気を博したプロ卓球選手・四元奈生美が、20日、自身の公式ブログ「Final Winner」において、4月8日に入籍したことを発表した。

「ご報告」と題して更新された同ブログの中で、「私事ではありますが、かねてよりお付き合いがありました男性（ビーチバレー選手）と4月8日に入籍した事をご報告させていただきます。突然の発表となつてしまい申し訳ありません」と綴った四元。お相手は“ビーチバレー選手”としており、それ以上明かしてはいないが、「現在小さな命を授かっている事も重

ねてご報告いたします」と妊娠していることを発表した。

また、「大震災で大変な時期とも重なった事もありますが安定期に入るまで発表を控えさせていただきました」とも語っている四元。出産予定日は冬頃と明かし、出産後は競技復帰する意向のようだ。

・四元奈生美フォトギャラリーはコチラ

【Sports Watch】不調のイチローに“電撃引退は十分にあると思う”

今月はじめ、右肘の靱帯再建手術（トミー・ジョン手術）に踏み切ることを発表したボストン・レッドソックスの松坂大輔。術後は一年以上に及ぶリハビリが待っているわけだが、来年はレッドソックスとの6年契約最終年でもあるため、復帰を果たしても契約更新は考えにくい。

だが、松坂に限らず、アスレチックス・松井秀喜、マリナーズ・イチローも成績不振により、窮地に陥っている状況だ。21日発売の「週刊アサヒ芸能」（6.30号）では、『日本人メジャーBIG3「もう使えない」酷評』との見出しで、かつてない危機が訪れている日本人メジャーリーガービッグ3の周辺情報を伝えている。

同誌にコメントを寄せるメジャー担当記者は、「チームやマスコミとの関係は、もはや最悪です。手術をするという会見も、デーゲームの朝にやると通告して報道陣を集めておきながらドタキャン。地元メディアはカンカンに怒りました。結局、試合前のクラブハウス内で取材を受けましたが、テレビカメラが殺到して、今度は選手たちが激怒。配慮が足りないんです。『こんな狭いところで会見をやりやがって！』とあからさまに罵倒する選手もありましたね。地元メディアは『もう（来年までいない）松坂を相手にしなくていいから、よかったよ』と語り、さらに、地元メディア関係者は「普通は手術となれば、ファンから、早くグラウンドに戻ってきて、というメッセージを送られるもの。ところが地元紙のサイトへの書き込みには、<さっさと手術をしていなくなってくれ>ですから」と明かしている。

続いて、メジャー記者が「休養前の時点で打率2割5分2厘という、イチローにしてはかつてない低い数字。不調の原因は目と足でしょう。まず、動体視力の低下。引き付けて打つタイプなのに差し込まれる打球が増えたのは、その証左です。走力も明らかに落ちました。内野安打の減少です。イチローらしいボテボテのゴロでセーフにできていた当たりが、間一髪アウトになっているケースがある」と話しているのが、先日、連続試合出場記録が255でストップしたイチローだ。同誌にコメントするスポーツ紙デスクも、「イチローはかつて、『3割を打てるかどうか、一流か一流でないかの差』と語ったことがある。3割を切るか、200安打を逃すか…万一、その両方がダメだった場合、美学として、電撃引退というのは十

分にあると思う」と語っているほど、進退きわまる状態であることが窺える。

その一方、松井秀喜については、些か論調が異なる。ゲレン監督時の試合こそ出場機会は少なく、調子が上向くこともなかったが、メルビン監督代行就任後は、連続スタメン出場で調子を上げているだけに、メディア関係者による談話も興味深いものとなっている。詳細は同誌をご確認頂きたいところだが、“日本人メジャーリーガービッグ 3”の来季は一体どうなっているか。イチロー&松井に関しては、オールスター前、前半戦の間にどこまで成績を上げることができるのかが問われそうだ。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

【Sports Watch】横峯さくら、父の恋愛禁止令で婚活は難航!?

来月末、スコットランドのカーヌスティゴルフリンクスで開催される全英リコー女子オープン出場予定の女子プロゴルファー・横峯さくら。25 歳史上最速&最年少で、生涯獲得賞金が 7 億円を突破し、順風満帆といえるゴルフ人生と思われがちだが、プライベートの方は困惑した状態にあるという。

21 日発売の「週刊アサヒ芸能」(6.30 号) 内、『NEWS SHOT!』のコーナーでは、「横峯さくら男解禁で「処女」危機「妊娠したらゴルフを辞める!」というショッキングな見出しで、さくらの周辺情報を伝えた。

かつて、父・良郎氏は、愛娘・さくらについて、「男が欲しいんじゃないか。ガハハハ!」と語ったことがあったようだが、同誌にコメントするスポーツ紙ゴルフ担当記者は「良郎氏の発言が事実であることは間違いない。何しろ良郎氏は、自分是不倫騒動を起こしておきながら、さくらにはずっと恋愛禁止令を出していた。そのせいで、彼女はほとんどゴルフいっちな生活をしてきた。よく織田裕二のようなイケメンが好きだと話していますが、実際の男の噂など聞いたことがない。ゴルフ関係者の間では、良郎氏の言いつけを守っている彼女が処女だというのは定説です」と説明、さくらの恋愛事情を明かす。

また、同誌によると、さくらはかつて「25 歳までに結婚して、ママになったらゴルフを辞めて引退する」と話していたものの、良郎氏の恋愛禁止令により彼氏はできず、「今では婚期を 30 歳にまで延長しているという」とのこと。

しかし、同誌にコメントするゴルフ誌編集者は、「娘の行動にいちいち干渉してくるため、彼氏ができたとしても何かと口を挟むに違いありません。さくら自身は良郎氏からの自立を図っていますが、ファザコンのケもあるせいか、なかなか良郎氏の呪縛から逃れられないようで…」とも語っており、さくらの婚活に障害となっているようだ。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】美しすぎる20歳の女王が初制覇に挑む

テニスの四大大会第3戦のウィンブルドン選手権が20日にロンドンで開幕し、熱戦の火ぶたが切って落とされた。強者ひしめく出場選手の中で、女子シングルスでもっとも注目を集めるのは、20歳の女王キャロライン・ウォズニアッキ（デンマーク）だ。

類いまれなテニスセンスで他の追随を許さず、世界ランキング1位の座につくウォズニアッキだが、これまでウィンブルドンには4度出場して4回戦が最高と、大舞台でタイトルから見放されている。無冠の女王というありがたくない称号を返上するためにも、今大会にかける想いと注目度はダントツだ。

ウォズニアッキといえば、ハリウッド女優かと思ふようなその美しい顔立ちで、ルックスでも女子テニス界トップクラス。全仏オープンのレストランパーティに出席した際には、大胆なスリットが入った妖艶なドレスをまとい、周囲のため息を誘った。まさに「女王」の名にふさわしい20歳のスターの頭上に栄冠は輝くか。大会の動向が注目される。

●写真で追う！女性アスリート

【Sports Watch】噂の美女ゴルファー＝森美穂 “藤本美貴さん、松嶋菜々子さんに申し訳ない”

今月8日から12日まで、神戸・六甲国際ゴルフ倶楽部を舞台に行われた「サントリーレディースオープン 2011」において、ベストアマチュア賞を獲得したのが、“松嶋菜々子似”と言われる噂の美女ゴルファー＝森美穂（18）だ。

22日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」番組内でも取り上げられた森は、番組のカメラにコメントを寄せると「(報道で例えられる) 藤本美貴さんとか、松嶋菜々子さん。ちょっと申し訳ないなと思いましたね。失礼にあたるので、ハードルを上げないで下さい」と控えめに訴えた。

だが、そのゴルフは控えめどころか、緻密に計算されたプレーで、森自身「あんまり飛距離が出る方ではないので、確実にフェアウェイに置いてそこから寄せて、グリーンで勝負だと思っています。すごい堅実な感じだと思います」と自負するほど。来月にはプロテストを控えており、今後の目標を訊かれると「これから力つけて、いつか一番になれるようにという気持ちですね」と意気込んだ。

・森美穂フォトギャラリーへ

【Sports Watch】松井大輔&ローサの結婚。芸能レポーターも「全く知りませんでした」
23日、スポーツ報知は、サッカー日本代表でフランス2部のグルノーブルに所属する松井大輔と、女優の加藤ローサが結婚したことを報道。ローサは妊娠4ヶ月であることも判明している。

日本テレビ・朝の情報番組「スッキリ!!」でも、冒頭からこの報道を伝え、芸能リポーター・井上公造氏が電話を通じて生出演。番組MCの加藤浩次が「どこまで知ってましたか？」と尋ねるも、井上氏は「全く知りませんでした」とキッパリ。

それでも、「松井選手のファンの……、なんか凄いファンは、ちょっと加藤ローサと噂は聞いてみたい」と独自の情報を付け加えると、「W杯の時に、ローサちゃんも仕事で向こうに見に行ってるんですね。活躍ぶりみたいなものは見てて、惹かれるものはあったみたいです。彼女は鹿児島出身。松井選手は京都出身なんですけど、鹿実（鹿児島実業高校）なんですね。こういうところで気になるところはあるワケで」と見解を述べた。

【Sports Watch】MVP内川の嫌味なジョーク「独身だったらよかった」
2011年、日本生命セ・パ交流戦で優勝に輝いた福岡ソフトバンクホークス。22日には、交流戦MVPを獲得した内川聖一が記者会見を行い、喜びの声を発した。

昨年まで、横浜ベイスターズに所属し、優勝とは縁のない境遇に置かれていた内川。会見では「まあ、ビックリしたっていうのが正直なところで。正直言いますと、去年まで交流戦にMVPがあるということを知らなかったんで、そういう賞があるんだなっていうのを知ってから、欲しいなとは思ってましたけど、まさか選んで貰えるというのは、本当に評価されているのが嬉しく思いますね」と語り、なんと交流戦にMVPがあることを知らなかったと明かす。

また、プロ野球人生で初の優勝については、「優勝って名前が付くものは、こんなに嬉しいんだなっていうのを感じさせて貰いましたし、先輩方からも、交流戦の優勝がそれだけ嬉しいんだったら、日本一、リーグ優勝はもっと嬉しいはずだからっていう言葉を頂きましたので、なんとかシーズンで優勝して、もっと大きな喜びを味わいたい」と語り、シーズン後半戦に向け意気込んだ内川。

気になる賞金200万円の使い道を聞かれると、「ちょっとどうしようかなと思ってますけどね。結婚もしてますし、嫁と相談してっていうかね、賞金貰うと独身だったらよかったなって正直思いますけど」と、元フジテレビアナウンサー・長野翼を妻に持ちながら、嫌味なジョークでおどけてみせた。

【Sports Watch】亀田興に、絢香似の彼女がラブレター“ホンマ自慢の彼氏です”

23 日放送、フジテレビ「5LDK」には、ボクシング現 WBA 世界バンタム級王者・亀田興毅が出演。中学 2 年生の時から現在まで 11 年間付き合い、亀田家で同棲中という絢香似の彼女が、興毅に手紙を書くというサプライズがあった。

番組内では、「(告白した?) そうですね。学校です」と明かした興毅。「何て呼ばれている?」と訊かれると「何でもいいんじゃないですか……。興ちゃんですね」と苦笑い。試合会場でも興毅の傍ににいるという彼女について、TOKIO・国分太一からは、「控室の映像になっても全然映りませんよ、彼女」と突っ込まれるが、「映しませんよ」とキッパリ。その後も彼女に関する質問が相次ぐと「この番組、嫌や」と頭を抱えた。

また、興毅に対して書かれた彼女からの手紙は下記の通り。番組で紹介されると、「あつう。変な汗かいてきた。減量中こんだけ汗出てくれよ」と照れっぱなしの興毅であった。

『興ちゃんへ。毎日お疲れさま。13 才の時から付き合って 11 年、いろんな事があったね。今では 3 階級制覇もして、ホンマ自慢の彼氏です。いつも合宿や仕事でいろんな所に行って私の好きそうな物を選んで買って来てくれたり、記念日は絶対に食事に連れていってくれてありがとう。でも、電球の取り替えくらいはやってね。笑 これから私も興ちゃんのために料理とか勉強していくから、興ちゃんもボクシング、夢を頑張ってね。これからも、よろしくね。』

【Sports Watch】内田篤人キッパリ! 「よくないですか? べつに。サッカー選手ですもん」
25 日(土)に放送した日本テレビ「嵐にしやがれ」では、サッカー日本代表・川島永嗣 & 内田篤人のイケメン・コンビがゲスト出演を果たした。

嵐とは初対面と思いきや、松本潤とは面識があったという川島。「ベッドで寝ているところをお邪魔しちゃって」と話し、松本が「お世話になっているトレーナーの方がいて、マッサージを受けている時に隣にいらっしゃった」と補足した。

番組前半では「知られざる日本代表の裏側大暴露」と題し、内田の私服について、「私服はジーパン 1 本とシャツ数枚しかないらしい」という事実が明かされた。すると、櫻井翔が「女性誌とかファッション誌とかに出てて、オシャレ・サッカー選手っていうカテゴリー」と驚いたように尋ねるも、当の内田は「あれは着ろっていわれて着ている」、「全然ですね。買い物も行かないですね」とキッパリ。

さらに、「(唯一持っているというジーパン 1 本は?) 買いにいきました。ドイツから帰ってくる時に空港で待ってるじゃないですか? テレビ。でもあれ、僕、服がないんで困ってしまって、オランダに吉田(麻也)っていう選手がいるんですけど、そいつを連れて服を一緒

に。店も知らないの」と説明、隣にいた川島にも「都内で試合終わった後に“飯でも食おうよ”っていう感じで“都内集合ね”って言ったら、着いた瞬間、こいつジャージでしたからね」と暴露されてしまった。

すると内田も心なしか剥きになったように、「よくないですか？ べつに。サッカー選手ですもん」と語気荒く反論。「テレビに出る方だとちゃんとした方がいいと思うんですけど、本田さんとか凄いじゃないですか？ 服」と続けたが、その本田のファッションについて「憧れはないです」と言い放ち、オシャレだと感じる代表選手には、「僕は長谷部さん。真面目なのでいつもキチッとしている」と答えた。

■Sports Watch 関連リンク

- ・川島、複雑なチーム事情に「正直意味が分からない」
- ・内田と吉田の関係とは？ 吉田麻也「なんで生でそんなこと言うんですか？」
- ・シャルケ・内田、「勘違いしちゃいけない」
- ・魔裟斗、川島永嗣に「彼女いないんですか？」

【Sports Watch】巨人・坂本のエラーに苦言「言い訳できないでしょ、あれ」

25 日、甲子園で開催された阪神－巨人戦は 4－2 で阪神が勝利。巨人は、チームの要＝坂本勇人が送球ミスや併殺のチャンスを潰すなど手痛いエラーを連発し、エース内海の登板ながらも、攻守がかみ合うことなく 4 位に転落した。

TBS「S1」番組内「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーに登場した野村氏は、そんな坂本の守備について、「言い訳無用のエラー」とバッサリ切り捨てると、「セ・リーグで一番エラーが多いチーム、どこだか分かります？ 巨人なんですよ。その中でも、今日の主役・坂本。これが失策王で今のところ。去年も失策王なんだけど。ショート守る人っていうのは、チームで一番守備の上手い人。言い訳できないでしょ、あれ」と苦言を呈した。

また、「解説に困るんだ。最初のエラーなんてスローイングでしょ？ 横に流れていって、そのまま投げたら、ボールもつられてそれるのは野球やった人なら誰でも分かる」と続けた野村氏。番組 MC の魔裟斗から「監督は現役時代、エラーとかありますか？」と訊かれると、「キャッチャーっていうのは、こっち（頭）のエラー。まあ、ボールを扱ってのエラーはまあまあない」とうそぶくのだった。

【Sports Watch】安藤美姫、アイスショー出演も「すごい疲れちゃって」

24 日から、横浜で開催されたアイスショーに出演したフィギュアスケート世界女王＝安藤美姫。25 日深夜には、フジテレビ「すぽると！」でインタビューに答える様子が放送された。

国分太一が聞き手となって行われた安藤のインタビュー。これまでの演技を振り返って、「1年を通して自分らしいスケートができたシーズンになったかなと思いますし、きちんとした演技ができたことは成長を一番感じたところかなと思います」と語った安藤は、今回の「ドリームオンアイス 2011」から新プログラムを採用したことにも触れ、「2曲用意していて、一つは『千の風になって』の英語バージョンなんですけど、“悲しまないで”みたいな。ちょっと元気が出るのではないかなと思って。もう一個はスワンレイク。『ブラックスワン』なんですけど、映画でも上映されていて、それは自分に似たところがストーリーとして共感がすごいあった。主人公のパーソナリティーを出せたらいいかなと思って」と説明した。

しかし、そんな新プログラムも、「映画をショーナンバーにまとめるのがすごい大変で、ナンバー、5分もあるんですね。昨日も滑らせて頂いたんですけど、すごい疲れちゃって」と話すや、国分に「5分走ってみて下さい、全力で」といい、ニヤリ。今後の目標は、「引退するまで日々成長できたらいいなと。毎シーズン毎シーズン見ている人から“ここ成長したね”、“ここ良くなったね”って一つでも言われるように。結果よりも成長が見える方が大きな収穫」と語った。

- ・安藤美姫が近親者にモロゾフコーチを紹介“私、この人と結婚する”
- ・美貌だけで金メダルと言われるフィギュアスケーター
- ・ヨナのミスジャンプに加点、集まる疑問視する声

【Sports Watch】石井慧、スピード離婚に「ホッとしました」

昨年春、4歳年下の現役女子大学生・美香さんと結婚し、大きな話題となった柔道五輪金メダリストで現在は総合格闘家の石井慧。今春には、週刊誌で離婚が報じられるスピード離婚となったが、日本テレビ「行列のできる法律相談所」番組内では、妻の粗暴ぶりを訴えるなど、結婚生活の初期段階でも、すでに離婚の危機は高まっていたようだ。

そんな折、26日放送の同番組に出演した石井。次長課長・河本準一の恐妻家エピソードなどが紹介されると、自身の経験に基づき、「離婚までは走れっていいですからね。離婚までは走ったほうがいい」と達観したように言い出し、周囲をポカーンとさせた。

すかさず、番組司会の島田紳助が、「意味が分かん。そんな誰も分かん言葉をドヤ顔で言われても……」とツッコミを入れると、「結婚までは歩く、離婚までは走る」と説明。それでも、いまいちその意味は伝わらなかったが、自身の離婚については「ホッとしました。（また結婚する？）同じ轍は踏みたくない」と振り返った。

【Sports Watch】長友がインテル移籍の舞台裏語る「何言ってるんだろう、この人」

27日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、嵐・櫻井翔が、サッカー日本代表でインテルに所属する長友佑都にインタビューをした模様を放送した。

1月31日、アジアカップ優勝から二日後にインテル電撃移籍を果たした長友。ここまでの戦いぶりを「もう本当に沢山の経験をさせて貰って、10年分くらいの経験ができたんじゃないかっていうくらい濃かったですね」と振り返る。

インテル移籍の舞台裏については、「本当にギリギリでしたよ。僕もビックリしました。アジアカップが1月29日に決勝があって、30日にカタールからイタリアに帰って、31日にチェゼーナの練習があって、その練習に行っている時に、代理人から電話が掛かってきて、“インテルからオファーきた”と。“今からミラン来てくれて”と。はじめは“何言ってるんだろう、この人”っていう感じですよ」と明かすや、「インテルですよ。去年世界一になって、セリエAでも5連覇してたチームが。嘘でしょって思いましたけど、とりあえず、3時間かけてミラン行きましたね。（その時の気持ちは？）ブレブレでしたよ」と大笑いした。

さらに、インテルのユニフォームに袖を通した瞬間の気持ちを語った長友。「うわ、本当にかけー。これ着れんだって思ったんだけど、着た瞬間スイッチが入りましたね。俺、インテルの一員としてこれから戦わなきゃいけないな。自分がインテルで活躍するっていう強い気持ちっていうか、思っていました」という。

また、チームメイトのスナイデルからVTRでメッセージが届くと、「スナイデル君から来ましたか。いつもふざけ合ってます。一番仲いいですね」と笑顔で説明した長友だったが、自身の活躍の原動力を訊かれると、再び真剣な表情に戻り、「僕、メンタル弱いんですけど、自分の弱さを知ってるから。その弱みを知っていることが僕の強みだと思いますね。プレッシャーのかかった状況で、そういう時に弱い自分が顔を出すんですけど、その時の自分の対応。どれだけ抑えられるか。どれだけ自分の感情をコントロールできて、自分の弱みと戦えるか」と説明した。

【Sports Watch】星野監督が鉄拳八つ当たり。抗議文が出る騒動に!?

28日現在、リーグ最下位に低迷する東北楽天ゴールデンイーグルス。田中将大、岩隈久志の二大エースに、メジャー帰りの岩村明憲、松井稼頭央を新戦力に加え、大きな期待を集めたものの、開幕直後の勢いは今や全く感じられない。

チームの低迷に誰よりも怒りを感じているのは、星野仙一監督だろう。それでも、その怒りを八つ当たりや、自身の拳に宿してはならない。28日発売の「週刊アサヒ芸能」（7.7号）では、『楽天・星野監督「怒号鉄拳」大荒れベンチ裏実況!』と題し、その周辺レポートを行っている。

「先発4本柱のうち、岩隈久志（30）、ラズナー（30）の2本がはやばやと故障で離脱した。

メジャー帰りの岩村明憲（32）が絶不調で二軍落ちするなど、打線も目を覆わんばかりの貧弱ぶり。交流戦を終えた時点で、リーグ単独最下位に沈みました。そりゃ、監督もストレスがたまるでしょう」。楽天担当記者は、同誌にこう語る。

開幕前は穏やかな表情で、スポーツ番組を中心に“丸くなった”と語っていた星野監督。だが、同誌によると、5月8日、西武に敗れた試合後、ベンチを引き揚げた星野監督は、通路でシャッターを切るカメラマンに向かって、「何しとんじゃ！」と声を荒げ、そのカメラを叩き落とそうと、胸にパンチを食らわせたが、それでも怒りは収まらず、ドアを蹴り上げてクラブハウスに戻ったという。スポーツ紙デスク曰く、「カメラマンは診断書を取り、全治一週間。東京写真記者協会が抗議文を出そうかという騒動に発展し、球団が謝罪しました」と明かすほど。

さらに、球団関係者は「試合後の通路で、コーチと選手がたまたま監督の前を歩いていた。それだけで『どけっ、邪魔だ！』と大声でどなりつけたんです。その選手は何かミスをしたわけでもなく、まったくいわれのない理由で怒られたわけですよ」と語っており、星野監督の八つ当たりは、いよいよ歯止めがかからない状態になっているようだ。

その他にも、同誌では、星野監督にまつわる“鉄拳エピソード”を関係者の談話から紹介。今オフには「大量解雇」を断行するという噂もあり、チームは星野監督の恐怖政治に戦々恐々とする日々のようなのだ。詳細は、同誌にて――。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC版)

【Sports Watch】長友、グレてた中学時代を明かす“部活さぼって……”

サッカー日本代表・長友佑都の人生をかえた恩師の言葉とは――？

27日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、嵐・櫻井翔が聞き手となり、長友にインタビューを行った模様を伝えた。

放送前半では、インテル移籍の舞台裏について明かした長友。その後半は、画面に「人生かえた恩師の言葉」というテロップが入り、女手一つで長友を育てた母・りえさん、そして、中学サッカー部時代の恩師・井上博先生にまつわるエピソードが紹介された。

「母さん一人で子供三人産んで、育てて貰ったんで。もうリスペクトの想いが強いですね」と話す長友。現在の彼からは信じられないことだが、中学時代は荒れており、先輩とゲームセンターで遊んでいたところ、その首ねっこを捕まえて部活に引きずり戻したのが井上先生だったという。

「(道は) 逸れてましたね、かなり。もうサッカーするのも嫌でしたし、部活も結構荒れてたんで。だから、学校さぼったり、部活さぼったりして、ゲームセンター行ったりして。グレてたかなと思いますね。(井上先生が引き戻してくれた?) 間違いないですね、それは。あの先生が引っ張ってくれて、僕をもう一回正しい道に戻してくれた。感謝の思いが強いです」と振り返った長友は、「ゲームセンターで、僕が丁度ゲームをしていて、先生がきて、そこで愛のビンタを喰らって。その時に“母さんがこれ見てたらどう思う?”、“母さんのために頑張らないかんやろ”っていうことを言われましたね」と続けた。

また、ここで櫻井が「ちなみに、その時のゲームはサッカーゲームですか?」とおどけて質問をするや、長友は「ポーカーですね」と返答。周囲を笑わせつつ、「吹っ飛んだんですよ。コインを 200 枚くらい貯めてたのに。それがビンタで飛んじやって、最初“ふざけんなよ”って思ったんですけど。いい調子で勝ってたのに……。まあまあ、でも、有り難いですね」としみじみと話した。

インタビューの最後には、自身が夢と掲げる“世界一のサイドバック”について言及した長友。“なにを持って世界一なのか”という質問には、「それが本当に難しいんですよね。というのもチームが世界一になれば、世界一のサイドバックになれるわけでもないし、誰かが投票する訳でもない。だから、本当に未知な夢なんですよね。ただ、未知だからこそチャレンジする価値があるんじゃないかと思って。結局決めるのは自分自身ですよ。ただ、僕、今まで満足したことはないの、なかなか大変な夢だなと思いますね」と意気込むように説明した。

【Sports Watch】日本と激突!? 驚愕テクニックを持つ“女ジダン”

ドイツで開催中の女子 W 杯。なでしこジャパンは、ニュージーランドと対戦したグループリーグの初戦を、FIFA の公式サイトでも絶賛された宮間あやの芸術的なフリーキックを含む 2 得点で勝利すると、2 連勝で 4 大会ぶりのベスト 8 進出、グループ最終戦ではイングランドと 1 位の座を争うことになる。

グループ B の日本が決勝トーナメントで当たるのは、グループ A の 1 位か 2 位のどちらかで、すでにこのグループはドイツとフランスが突破を決めている。5 日の試合では両者が首位通過をかけて戦うが、女子サッカーの超強豪国であるドイツを脅かす存在として注目を集めているのが、美を兼ね備えたフランス代表の攻撃的 MF・ルイザ・ネシブだ。圧倒的な存在感とサッカーセンス、そしてアルジェリア出身というルーツから、ついたあだ名は「女ジダン」。

スケールの大きなプレーでゲームを掌握する、女子サッカー界きってのスターだ。現在 24

歳のネシブが代表デビューしたのは2005年。これまでにAマッチ60試合に出場し、10得点をあげている。所属するリヨンは目下国内リーグ5連覇で、女ジダンはそのうち4つの優勝に大きく貢献している。

日本が1位でフランスが2位抜け、あるいは日本が2位でフランスが1位抜けの場合、なでしこジャパンと女ジダンの対決が実現する。決勝トーナメント迎えるにあたっての大きな見どころの一つとなるとともに、日本にとっては要注意だ。

- ・FIFA公式サイトが宮間のFKを絶賛「魔法の瞬間が違いを生み出した」
- ・写真で追う！女性アスリート

【Sports Watch】関係者が語る本田圭佑の移籍話

2日（土）深夜放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、移籍の噂が絶えないCSKAモスクワ・本田圭佑について、番組がロシア、イタリア、イギリスで周辺取材を行った様子を伝えた。

まず登場したのは、ロシア・CSKAモスクワのスルツキー監督だ。「監督の立場としては、本田にはチームに残ってほしいと願っている。しかし、最近では有能な3選手がイングランドのマンチェスターC、チェルシー。イタリアのユベントスへ移籍していった。本田も有能な選手だから、移籍を希望すればチームは止める手立てはないと私は思っている」と語り、その移籍は“本田の希望次第”とした。

そして、イタリアでは、同番組のカメラにトゥットスポルト紙の記者がコメント。「ユベントスのGMは本田を知っていたし、関心を持っていた。しかし、セリエAでは外国人枠の問題があります。現在は本田以外の外国人選手の獲得を目指しています。本田がユベントスに移籍する確率は10%です」といい、本田のユベントス移籍の可能性は低いとしている。

また、イギリスでは、86年W杯得点王に輝き、現在は英BBCでサッカー番組の司会をしているゲーリー・リネカーにコメントを求めた。「本田圭佑は類まれな才能を持った選手です。フィジカルも強く、ボールコントロールもうまい。次のプレーを読む力もあります。威力あるフリーキックも蹴れるので、相手にとっては恐るべき存在です。さらに本田は現代サッカーで重要な豊富な運動量を武器に動きまわることができる」というリネカー、かつて日本でもプレーしたスーパースターは、「本田だけによいエンジンを積んでいます」というジョークも忘れなかった。

さらに、話が核心に迫ると、「残念ながらアーセナルのベンゲル監督が本田を獲得したいと言ったことはありません。優秀な才能を持った若手を辛抱強く起用する、それがベンゲル監

督の方針です」と語ったリネカー。それでも「本田が移籍をするならば、リバプールかマンチェスターC が有力だと思います。マンチェスターC は選手を獲得するための豊富な資金を持っています」といい、その他にも「マンチェスター・ユナイテッドのファーガソン監督は以前からアジアの選手に興味を示していました」（コメントは番組の翻訳より）という驚きのコメントも。8月末までが期限となる移籍市場、本田の去就はいかに――？

【Sports Watch】ミニスカ姿に苦情？ 山岸舞彩アナに「肩さんもいよいよメジャー」

5月、NHK 有働由美子アナウンサーの脇汗について、朝の情報番組『あさイチ』には、「うどうさんの脇汗は見られません。（中略）テレビ人として見苦しいのは信じられません」といった苦情のFAXが寄せられたことは記憶に新しい。

だが、今月に入って女性週刊誌「週刊ポスト」は、『サタデースポーツ』、『サンデースポーツ』で司会を務める山岸舞彩アナウンサーについても、そのスカートの丈が短すぎるという声がネット上で噴出していると報じ、大きな話題となった。

山岸アナは、セント・フォース所属のフリーアナウンサーで、日本女子大在学時には、東レの2006年キャンペーンガールにも選ばれ、セクシーな水着姿も披露している。

今回の一件について、ネットの掲示板では――

「肩さん出世したなあ」

「フジに居そうな雰囲気だな」

「この人は超ミニスカより肩を丸出しにする方が恥ずかしいと思ってそう」

「肩さんが出世していくのは嬉しくもあり悲しくもある」

「猛暑のニュースやってる男性アナがスーツとネクタイな方がけしからん」

「そういう役割なんだし別にいいだろ」

「スタイルが良いのは水泳やってたから」

「若くて可愛いんだから別にいいだろ 誰だよ苦情出したの」

「肩さんもいよいよメジャーだな」

「肩さんのショルダータックルを受けて、倒されて、失神したい」

「肩さんのアナウンス能力は異常」といったコメントが見られ、山岸アナの“短すぎるミニスカ姿”に対する苦言以上に、今回の話題によって彼女の知名度が上がることを懸念するユーザの書き込みなんかも見られた。

ちなみに、山岸アナの愛称となっている“肩さん”とは、昨年のW杯関連番組に出演した際、水泳経験者で肩幅が広いことから、このように呼ばれるようになった。

もともと、そのアナウンス能力には定評がある山岸アナ。今後は民放人気アナに負けず劣ら

ず、高い支持を得るスポーツキャスターとして定着しそうだ。

【Sports Watch】イチローの米球宴落選に、“過去の活躍とか関係ない”

今月3日、MLBはアリゾナ州フェニックスを舞台に開催される第82回オールスター戦（日本時間13日）に出場するア、ナ両リーグ33選手を発表した。

だが、このメンバーの中には、2001年から10年連続出場を続けてきたイチローの名前はなく、今期前半戦の打撃不振が響いたか、昨年は10年連続200本安打を記録しながらも、先発メンバーを選ぶファン投票では、252万票の7位という結果に。

また、控えメンバーを選ぶ選手間投票ならびに監督推薦にも、さらには、インターネット投票における5名の候補者にも、その名はなかった。

孤高の天才プレイヤーにとっては、試練の11年目となったが、4日現在.272まで打率を戻しているイチロー。大手掲示板では――

「色々記録途絶えそうだし帰ってくるかねえ」

「10年続いたらすごいよ」

「イチロー今までよく頑張った。もうこれからは安心して子づくりに励め。お前の遺伝子を次世代に残しておくんだ」

「もう歳だな、引退か日本に帰ってきたほうがいい」

「イチローが衰えて引退して行くのは当たり前だけど代わりの若いヤツが出て来ないのが寂しいな」

「ここまで、10年よくやったわ 日本時代も入れたら、17-19年だからな」

「まあ今の成績で出たらちょっとねえ・・・楽天の嶋はどう思っているのかしらんが・・・」

「メジャーは本当に成績重視だな 過去の活躍とか関係ない」

「結果だしてないやつがオールスターに出られる訳がない 日本では違うようだが」

「日本のやきうは世界一なんだよね？ で、日本の選手はオールスターに何人出られるの？」

といったコメントが寄せられ、イチローの偉業を労いつつも、“成績重視”の米球宴を“当然”とする声も多く集まった。

【Sports Watch】妻・SHIHOが凄艶ヌード披露も、夫・秋山は「聞いてない」

プロ総合格闘家で、現在は世界最大の格闘技イベント＝UFCに参戦する秋山成勲。これまでの戦いでは、クリス・リーベン、マイケル・ビスピンに連敗を喫しており、連敗＝リリースとなるケースが多いシビアな米マットにおいて、その試合内容が評価をされていることから、ギリギリのところで踏ん張りを見せている状態だ。

今年3月には、背水で迎える強豪ネイト・マーコート戦が決まっていたものの、震災の影響により出場をキャンセル。戦前の予想では秋山不利との見方も強く、命拾いをした格好とい

ってもいいだろう。

それでも、8月にはヴィトー・ベウフォート戦が決まっており、これまた厳しい相手が立ち塞がることで、秋山にとっては格闘技人生の正念場——、まさに剣が峰に立たされる一戦を迎える。

だが、そんな秋山にとって、ケージとは別のところで“寝耳に水”の事態が起こった様子だ。なんと妻・SHIHOが、6日に発売するビューティー本の中でヌードを披露しており、自身の公式ブログ上では「俺こんなヌード聞いてない。。。と綴ったのだ。

同ブログ上では、「SHIHOがビューティーに関する事を全部書いてます」「自分から見て勝手な評価ですが、かなり売れると思います」「自分も読みましたが、とてつもない沢山の情報過ぎてビックリしました」とも書いている秋山。策士であり、老練な一面も持ち合わせているだけに、このブログの投稿すら巧みな話題作りではないかと勘繰ってもしまいそうだが、いずれにせよ、そのヌードは秋山本人が驚くのも無理はない凄艶で美しいものだった。

- ・秋山がビスピンに惜敗、ハザウェイは初黒星
- ・レスナーが大逆転、秋山はレーベンに一本負け

【Sports Watch】資質問われる星野監督 「故障をした選手を批判しても仕方がない」

3日の千葉ロッテマリーンズ戦は5-1と勝利を挙げ、3連戦勝ち越しに成功した東北楽天ゴールデンイーグルス。だが、この試合で先発した永井怜は、右肩違和感を訴え、2回途中で降板する事態となった。

防御率2.35（3日現在）、永井の戦線離脱は、岩隈、ラズナーに続くローテーションの一角を失うことでもある。楽天・星野仙一監督は、一部メディアに「オレが投げるか」とコメントし、チームの尽きない悩みを自嘲気味に話したものの、先日も星野監督による鉄拳八つ当たりの報道が出たばかり。募る怒りとイライラは、チームにどのような影響を与えるのか——。

大手掲示板でも「楽天はどうでもいいがマーくんが潰れるのだけは嫌だ 早く監督変えろ」「朝、プロ野球ニュースで、永井が違和感を訴える場面があったが、それを見て星野が呆れて笑っているのが映っていたよ。故障をした選手を批判しても仕方がないだろうに、星野の頭は昔のままだな」「こんな投手じゃローテーション回らないから来年は川上と黒田と井川を補強してくれとか言い出しそうだな」「岩隈、田中、塩見、永井、で先発けっこう揃ってんのにな どうして勝てないんだか」といった監督の資質を問うコメントが多く見られた。

幸い永井はローテーションを一回回避する程度で済み、岩隈も 5 日にイースタン・リーグで調整登板できる見通しだという。星野監督への批判については、北京五輪敗戦時にまで遡るものが多く見受けられるが、これらを払拭できるのはチームの勝利以外にはない。星野監督の巻き返しは見られるか？

【Sports Watch】安藤の胸中は“浅田真央に敵意ムキ出し”!? その時、モロゾフ・コーチは？ 先月 24 日、横浜で開催されたアイスショーに出演したフィギュアスケート世界女王＝安藤美姫は、フジテレビ「すぽると！」のインタビュー上で、新プログラムとなる『ブラック・スワン』について「映画でも上映されていて、それは自分に似たところがストーリーとして共感がすごいあった」と答えている。

だが、このブラック・スワン発言が波紋を呼んでいるというのだ。5 日発売「週刊アサヒ芸能」(7/14 号) は、『スッパ抜き 4 連弾 セクシー美女 虹色の秘密!』との特集の中で、『ブラック・スワン発言』の波紋「浅田真央に敵意ムキ出し」がバレた!』という周辺情報を伝えている。

同誌にコメントするスポーツ紙デスクは、『ブラック——』のストーリーは、ニューヨークのバレエ団に所属する主人公が『白鳥の湖』の主演に抜擢される。ところが、そこへ新人ダンサーが現れ、彼女がしだいに自分の座を危うくするのではないかという重圧から、主人公が精神の均衡を崩していくというものです。それを『自分と似た』と言うのだから、やはりライバルとの関係にかなり精神的に追い込まれていた、ということを示唆していると思いましたね」と語っている。

さらに、あるフィギュア関係者は、「安藤と浅田は同じマネジメント会社に所属しているのですが、社内は『安藤派』と『浅田派』とに分かれていて、それぞれの取り巻きが 2 人のライバル心をあおっているというんです」と明かすほど。これほどのライバル関係となった二人だが、彼氏兼コーチといわれる安藤のコーチ＝ニコライ・モロゾフ氏はといえば……。

同じく同誌にコメントするスポーツ紙フィギュア担当記者は、「モロゾフ氏は『ブラック・スワン』の主人公を『美姫にぴったりのキャラクターだ!』と絶賛するばかり。安藤のこれまでの苦悩を本当にわかっているのかどうか。実際、世界選手権で優勝が決まった瞬間には、人目もはばからずモロゾフ氏と 1 分間以上抱き合っていました。実はあの 2 人、1 年前くらいに安藤の不振が原因で一度別れたこともあった。バツ 3 でいづれも相手が教え子というモロゾフ氏だけに、まだ結婚へは予断を許しません」と語っており、安藤の今後についても、決して一筋縄ではいかない現状をうかがわせた。

【Sports Watch】長友の仰天エピソード、堀北真希にフラれていた!?

サンケイスポーツは、先月 26 日、日本代表・長友佑都が都内在住の会社員 T・K さんと結婚、すでに親族への挨拶も済ませ、早ければ年内にもイタリアで新婚生活を始めると報じた。

そんな折、5 日発売の「週刊アサヒ芸能」(7.14 号) 内、『NEWS SHOT!』のコーナーでは、『長友佑都「結婚直前」の恥オフサイド「堀北真希にあえなくフラれていた』との見出しで長友の仰天エピソードを伝えている。

かねてから堀北真希のファンを公言していた長友は、昨年 7 月に菓子メーカーのイベントで初対面を果たしている。同誌にコメントする芸能ライターは「堀北がステージに現れると、長友選手は『試合より緊張します』とデレデレに。堀北の印象を聞かれ、『テレビそのままにキレイで…。何言ってるんですかね、オレ。サイコーです』『もう、夢の人っすよ』とウブな男子高校生のようでした (笑)」と当時を振り返った。

だが、あるサッカー関係者によると、「そのイベントで佑都は、ユニホームをプレゼントしましたが、箱の中にこっそり携帯電話番号とメアドを書いたカードを忍ばせたそうです。『これでホマキとメル友だ!』と言っていました、待てど暮らせど音さたなく『連絡が来ない…』と、フラれたことに本気で落ち込んでました」という。

それでも、プロダクション関係者は、「タレントはあちこちから贈り物をもらいます。そのままクローゼットに…なんてこともザラ。最近も、ウチのタレントで、1 年後にプレゼントを明けたら、今ブレイク中の俳優からの手紙と連絡先が入っていて『ショック! 返信しておけばよかった』と言っている子がいました。堀北さんも、長友さんがイタリアで成功したので、今頃慌てて連絡しているのでは (笑)」と語っており、長友のメッセージがそもそも堀北に届いていない可能性も伝えている。

・週刊アサヒ芸能 [ライト版] <デジタル> (PC 版)

【Sports Watch】ギャルファー・金田久美子を励ました“元エース”の言葉

ギャルとゴルファーからなる造語＝ギャルファーを名乗る 21 歳、女子プロゴルファー・金田久美子。3 日深夜放送、TBS「S1」番組内「Turning Point」のコーナーでは、美女アスリートの一人として 19 歳で大手スポンサーと契約を果たし、鳴り物入りでプロ入りするも、その一年目は 30 試合で 14 回の予選落ちという苦しい日々が続いた彼女にスポットを当てた。

「このままダメなんじゃないかとか、このまま一生勝てないんじゃないかとか。ゴルフ場に着くと涙が出てくるんですよって言うくらい辛かったです」と振り返る金田。そのターニ

ングポイントとなったのは、福岡ソフトバンクホークスでリハビリ担当コーチを務める斉藤和巳の助言だった。

球団史上最高のエースと呼ばれながらも、ケガにより現役生活を諦めた斉藤の言葉は、「試合に出られることは幸せなこと。頑張ればまたいい流れがくる」というもの。金田は「凄く重みを感じたというか、試合に出られるだけ自分は幸せだと思って、何で楽しめなかったんだろうなって。悪くても良くても、もう一年間楽しんでゴルフしたい」と考えるようになったという。

すると、今年4月のフジサンケイレディースで、8位からの見事な逆転優勝を飾った金田。最終日のスコアは、斉藤の背番号と同じ「66」。番組のカメラに金田は「(斉藤は)“まさか66なんかで優勝したんじゃないやろな”って長いメールくれました」と笑顔で語った。

・金田久美子の写真ギャラリー

【Sports Watch】松井大輔、妻・ローサに気遣いながらの新居選び!?

フランス1部リーグのディジョンに移籍を果たす、サッカー日本代表・松井大輔。先月23日には、女優・加藤ローサとの結婚ならびに、ローサの妊娠4ヶ月も報じられ、大きな話題となったばかりだ。

9日深夜、日本テレビ「Going! Sports & News」では、フランス中部に位置するディジョンにおいて、松井が新居選びを行うところに密着、その様子を放送した。

「3人になるので、それがすごく楽しみです。僕は」と静かに口を開く松井。ローサと暮らす新居については、「アパートメントがいいとか、そういう話はしましたが、具体的な感じはまだ言ってないんで」と明かしつつ、「多分、天井低かったりとか。(床も)ダメかな。(写真で見た時に)嫌がってたんで。俺は好きだけど。かわいい部屋の造りは一人で住むなら別にいいけど、二人だときついです」と語るなど、妻の意向に気遣いながらの新居選びをうかがわせた。

それでも、サッカーのことを訊かれれば、「もう一回フランス1部に行って、自分らしいプレーを。自分らしさをまた取り返すことが自分のサッカー人生だと思うので。そこをしっかりと踏まえた上でやっていけば、おのずと(代表にも)呼ばれるかもしれないし、それは結果の世界なので」と意気込んだ松井は、「守る人もできたし、子供もできたので、今シーズンははじめてのことも多いし、フランスの1部でまたサッカーができるということで、自分としてもすごくうれしい。うれしさをボールにぶつけながら人生を楽しみたい」と続けた。

【Sports Watch】長谷部、W杯敗戦直後のロッカールームを語る

10 日、テレビ東京のドキュメンタリー番組「ソロモン流」では、サッカー日本代表キャプテン・長谷部誠の特集が放送された。

番組カメラは、レスター・シティ FC に所属する阿部勇樹と夕食を共にする場面にも密着。いつしか二人の会話は、昨年 6 月、南アフリカで開催された W 杯・パラグアイ戦後の話になった。

「W 杯（試合後）の時は、正直俺は泣いてた。観てくれているサポーターの方もいたじゃん。感情出してる人もいたじゃん。長谷（はせ）自身はあの瞬間、どう思っていたのかなっていうのは訊きたかった」という阿部に、長谷部は「僕は実際、あの時は泣いてなかったんですけど、泣けないっていうのは弱さでもあると思うんですよ。泣くっていうのは強さでもあると思うんですよ。だから、僕は泣ける人が本当にうらやましかった。感情を表に出せるっていう」と答えつつ、「ある意味、逆にやりきった感があって、終わったんだみたいな。そういうのがあって、ちょっとホッとした部分も正直あったかもしれない」と本音を吐露した。

さらに、敗戦直後のロッカールームの話題になると、長谷部は「何もできなかったですね。あの時はね。阿部ちゃんとかは、ロッカーでさ、駒ちゃん（駒野）の横にずっと座っててあげたじゃん。俺はそういうのを見て、俺が座るのも全然違うなと思ったし、俺は何も言えなかったですね。まあ、俺がやったのは食事会の幹事くらい。終わって、みんなで集まってね。3 つのテーブルに分かれて、まとまり感なかったけどね」と苦笑い。

それを聞いた阿部は「良かったよ、あれは」とフォローし、「たまには弱さを見せてもいいんじゃないかと思うから。まあ、今までの長谷通り、代表でも頑張っしてほしい」とエールを送った。

■関連リンク

- ・長谷部の“破局 T シャツ”にズバリ 「何か意味あんの？」
- ・長谷部誠さんの「THE END OF LOVE」T シャツについて整理して考えるの巻。
- ・キングカズ主催の晩餐会で何を食べるべきか長谷部幹事とともに考えるの巻。

【Sports Watch】長谷部にスバリ直撃!! 「ぶっちゃけ今、彼女はいますか？」

テレビ東京「ソロモン流」(10 日放送分) では、サッカー日本代表・長谷部誠を、番組案内人の船越英一郎が直撃した。

「日本に戻られた時に、必ずすることっておありですか？」と丁寧に質問をする船越に、「一人温泉に行きます。一人でボーっと温泉につかりながら、ゆったりした時間を過ごすのが大

好きです。一人でいる時間っていうのを凄く大事にしてて、一人になるから考えれることもある」と答えた長谷部。

また、27歳で独身の人気サッカープレイヤーに対し、船越は「ぶっちゃけ今、彼女はいますか？」とストレートに尋ねる。すると、長谷部は「いないですね。(モテる?) いや、あの全然ですね。そんなことしているからダメだと思うんですけど」と苦笑するも、「日本人女性が大好きなんですよ。日本人女性しかお付き合いできないと思うんですよ。それは日本的な以心伝心じゃないですけど、わびさびが分かったりとか。なんていうんだろう。言いすぎかもしれませんが」と補足。彼女には、少なからず高いハードルを設けていることをうかがわせた。

さらに、結婚願望についても、「今は全然ないですね。ダメですね。海外で一人で生活したりすると。自分で何でもできちゃうとか思っちゃって。それが良くないとか思ったりするんですけど。今、一番何が大事かといったら、サッカーと答えるから。優先順位としてはサッカーになっちゃうんですよね」と答える長谷部。その最後に夢を訊かれると「夢は夢を追い続けることですかね、ずっと」と語った。

■関連リンク

- ・長谷部の“破局Tシャツ”にズバリ 「何か意味あんの？」
- ・長谷部誠さんの「THE END OF LOVE」Tシャツについて整理して考えるの巻。
- ・キングカズ主催の晩餐会で何を食べるべきか長谷部幹事とともに考えるの巻。

【Sports Watch】F・マリノス所属選手がツイッターで意味深発言!?

「僕は、横浜とマリノスを愛しています」。

自身のツイッター上で意味深な発言を行ったのは、横浜F・マリノス所属のMF=狩野健太だ。2008年、狩野はJ2降格の危機にあったチームを持ち前の豊富な運動量で支えるなど、J1残留の原動力にもなっている。

だが、昨年10月の神戸戦では、途中交代に納得がいかず、試合中にも関わらずロッカールームへ引き上げたことも。木村和司監督との確執をうかがわせると、同年末の契約更新時には自身のブログ上で「マリノスの歴史を作ってきたみなさん。いろんな事を学ばせてもらい本当にありがとうございました」など、退団のメッセージと取られても仕方のない内容のエントリーをアップした。

だが、ブログの更新日の翌日、狩野はあっさりと契約更新に合意。ネットの掲示板上では、「健太の趣味って釣りだったよね?」「あのブログはなんだったんだ???単なる先輩たち

への感謝とは思えなかったんだが」「狩野よかった。複数年だから移籍はないと思っていたが、あいかわらずの釣りブログもあったから、ホッとしたぜ」といったコメントが見られた。

今回、再び意味深な発言を行った狩野。ネット上では、「突然どうしたんだ、これ」「時はきたか」「狩野は前も意味深な事言って結局残留とかだったな」「フラグか?」「たいした意味はないっしょ 質問に答えたんじゃないの?w」「狩野は以前から思わせぶりの発言が多いから 何ともいえない」といったコメントが寄せられ、ユーザも半信半疑の状態に。狩野のツイートが意味するものは一体何なのか——。当面は、その動きを見守る必要があるようだ。

【Sports Watch】オリックス・岡田監督が好き勝手し放題!? 「気に入らん選手はことごとく二軍行き」

9～11 日、埼玉西武ライオンズを相手に 3 連敗を喫したものの、周囲の予想に反し 3 位と健闘しているのが、オリックス・バファローズだろう。

だが、岡田彰布監督のやりたい放題により、チーム関係者は頭を悩ませているという。12 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（7.21 号）では、『記者出入り禁止、専属広報 3 人クビ…オリックス岡田監督「やりたい放題」が止まらない!』と題し、チームの裏事情を伝えている。

同誌にコメントを寄せる球団関係者も「その手腕が“岡田マジック”などと言われていますけど、ベンチ裏ではマジックどころやない光景が繰り広げられてるんですわ。今年はまだ、最初から好き勝手し放題で、ホトホト困ってまして……」と語るほど。一体何があったのか？

同誌によると、4 月の開幕直後、北海道日本ハムファイターズに敗れ、単独最下位となった際、ある新聞社の記者がそのことに触れるや、興奮状態になった岡田監督は激高。球団の広報担当者にその記者を出入り禁止にするよう通達したというのだ。

これには、別の社の関係者も「球場のベンチ裏の扉を開けて、（出入り禁止社の）記者の姿が見えたら『何でおるんや!』と、どなり散らす。視界に入ってもアカンのです。子供みたいというか、もうアホみたいですよ」と明かし、また、球団の広報担当者も、岡田監督就任後、すでに 4 人目という始末。在阪スポーツ紙デスクは「今年もシーズン後に 1 人、クビになっています。自分の気に入らないことを許さへんのです」と語っている。

さらに、同デスクは「気に入らん選手はことごとく二軍行きでっせ。5 月 11 日には、中軸の 3 番を打つ、キャプテンの後藤光尊（32）の降格を決定。打撃不振とはいえ、コーチの意見なんか全然聞かん。正捕手だった日高剛（33）も、昨年からすでに 3 回も二軍落ちしてい

るうえに、今年はとうとう失格の烙印を押されて、捕手の練習すらまったくさせてもらえない。左の打者扱いになっています」とも――。選手間からは不満が噴出しているという岡田監督の恐怖政治も、現在は好調を維持しているため、表には出てこないのだろう。ならば、ひとたび不調に陥った際、チームにはどのような変化が表れるのか。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

【Sports Watch】スウェーデンも戦々恐々、澤穂希の鉄人すぎる逸話

優勝候補筆頭の開催国ドイツを破り、準決勝で強豪スウェーデンと対戦するなでしこジャパン。日本時間の14日午前3:45にキックオフされる試合は、フジテレビでの緊急生中継が決まるなど、日本国内での注目度も急速に高まっている。スポーツニュースでの扱いも決して大きくなかった女子W杯だが、なでしこジャパンのひたむきな姿勢による快進撃が、世論を突き動かしている。

その中心にるのが、キャプテンの澤穂希だ。驚異的な運動量でピッチを縦横無尽に走り回り、相手のチャンスの芽をことごとく潰し、チャンスと見るや前線へ顔を出し、決定的な仕事をする。グループリーグのメキシコ戦ではセンターハーフながらハットトリックを達成し、ドイツ戦では丸山桂里奈の決勝ゴールをアシストした。

そのプレーのレベルの高さだけでも、すでに女子サッカー界のレジェンド的存在であるが、何よりも特筆すべきはその精神力だ。自著『ほまれ』の中では、その精神力を証明する驚異的な逸話を明かしている。

アテネオリンピック女子最終予選、対北朝鮮戦。大勢の観客で埋まった聖地国立でのこの試合において、澤は右ひざ半月板損傷のケガを負いながらも、痛み止めの注射に加え、座薬を入れて出場。普通の人間であれば立っているのだけでもつらい状況の中、キックオフ直後に相手エースをショルダータックルで吹っ飛ばし、カウンターの好機につなげた。そして、その後のことはまったく覚えていないという。

結局その試合に勝利し、五輪への出場権獲得を成し遂げた澤は、さらに驚くことに、その2日後の中国戦にも出場している。痛みを耐え、プレーでチームを牽引するその姿は、さしずめ日本のジャンヌ・ダルク。ベスト4入りした2008年の北京五輪でも「苦しいときは私の背中を見なさい」と仲間を引っ張り、なでしこジャパンを高みに導いた。

14日の試合でスウェーデンに勝利すれば、日本女子サッカー史上初のメダル確定、そして決勝進出となる。鉄人澤に率いられたなでしこジャパンが新たな歴史を紡ぐ瞬間を、心待ち

にしたい。

【Sports Watch】なでしこジャパン勝利、決勝＝アメリカ戦の攻略ポイントは…

日本時間 14 日、FIFA 女子 W 杯 2011・準決勝の舞台でスウェーデン代表に 3-1 で大勝した日本代表＝なでしこジャパン。決勝戦の相手は、2008 年 8 月の北京五輪準決勝戦でも 2-4 で敗れているアメリカ代表だ。

同日フジテレビ「とくダネ！」でも、スタジオには、サッカー解説者・松木安太郎や、元なでしこジャパン・荒川恵理子を招き、アメリカ戦の攻略ポイントをさっそく紹介した。

すると、番組司会の小倉智昭や松木は、なでしこジャパンの勝利に上機嫌で、いつも以上の饒舌ぶりを披露。両チームの大黒柱として、澤穂希の「メダルを取るまではやめない」というコメントが紹介されると、(既にメダル獲得は確定しているため)「来年ロンドンオリンピックです。絶対続けてほしいですね」というキャスターの言葉には、なぜか小倉が「当然でしょ。辞めさせませんよ」とキッパリ。

さらに、アビー・ワンバックの「W 杯を勝たずに引退はできない」というコメントが紹介されれば、小倉は「かわいそうに。ワンバックって人はずっと引退できない」と語り、松木に至っては「ワンバックつつたってワントップですからね」とオヤジギャグを差し込んでくる。

また、アメリカ戦の攻略ポイントとして「単調な攻撃」「前線でのプレス」という 2 点が挙げられると、松木は「荒川さんなんかは得意だよな。前線からガンガンプレッシャーかけていくの」と得意気に話すも、当の荒川は「いや、そうでもない」とチグハグ。

その後も、小倉は「でかい奴らって、小さいのに一点入れられると慌てるんですよ。先制点をもぎ取ったら間違いない」と持論を展開し、二人の勢いに感化されたのか、タレント・眞鍋かをりも「この勢い見たら、アメリカもビビってる筈ですよ」と断言。小倉も「(アメリカは) おごりが見えますもん」と根拠のないプラス要因を挙げた。

【Sports Watch】「川澄かわいい」彗星のごとく現れたニューヒロイン

スウェーデンを撃破し、メダル確定、初の決勝進出という快挙を成し遂げたなでしこジャパン。超強豪とされたスウェーデンに対し、大黒柱である澤穂希のパスミスから失点する窮地に立たされたものの、川澄奈穂美のゴールですぐに同点に追いつくと、澤が自身のミスを帳消しにするゴールを決めて逆転。さらに川澄のビューティフルゴールで 3 - 1 と快勝した。

ミスを取り返した澤の相変わらずのタフさには恐れ入るばかりだが、この試合、未明の日本をもっとも沸かせたのは、初先発ながら 2 得点をあげた川澄だろう。

これまで一部のサッカーファンにしか知られぬ存在であったが、日本中が注目する大一番での見事な大仕事。はにかみながら試合後のインタビューに答える様に、ツイッターのタイムライン上では「川澄かわいい」の声が溢れ、トレンド・キーワードにも「川澄」の文字が躍った。まさに彗星のごとく現れた、ニューヒロインだ。

川澄は INAC 神戸レオネッサでプレー。さわやかな笑顔で人気を誇り、オフィシャルブログで見せる内面も明るくキュート。スウェーデン戦という大一番を翌日に控えた 13 日に更新されたブログのタイトルは、「ぽよ〜」であった。

さらに、代表のチームメイトにマニキュアを塗ったことや、ジブリ映画が大好きなことなど、実に女の子らしい内容が綴られ、スウェーデン戦のスーパーゴールからは想像もつかない、なんともほんわかした魅力に溢れている。

さわやかで可憐ななでしこたち。世界一の座まであと一つ。その快進撃はまだまだ終わらない。

・川澄奈穂美フォトギャラリー

・なでしこジャパン フォトギャラリー

【Sports Watch】元東電サッカー部所属の鮫島、その苦悩を母が告白

日本時間 18 日午前 3 時 45 分、「FIFA 女子 W 杯ドイツ 2011」の舞台で、いよいよ決勝戦を迎える女子日本代表＝なでしこジャパン。FIFA 女子ランキング 1 位のアメリカを相手に一体どのような戦いを見せるのか――？

14 日放送、TBS「NEWS23 クロス」では、なでしこ主力メンバーの一人・鮫島彩にスポットを当てた。東京電力女子サッカー部マリーゼに所属をしていた鮫島だが、今年 3 月に起こった東北震災の影響により、チームは事実上解散の状態に。自らが働く会社の原発事故に悩んだ鮫島は様々な葛藤を経て、アメリカ女子プロサッカーリーグのボストン・ブレイカーズに移籍することを決めた。

母・佳代子さんは、番組のカメラに対し、「うちらはこのまま合宿してていいのかな??おかしくない??」という鮫島のメール（3 月 15 日のもの）を明かすと「色んな人が彩は続けた方がいいよって、地域の人からも声かけてもらったみたいなんで、彩は W 杯で活躍してほしいって」と振り返り、涙を流した。

■Soccer Journal (サッカージャーナル) 特集!!

・8割以上が“なでしこ優勝”に期待!? 最強アメリカ戦を迎える前に――。

【Sports Watch】逆境の連続、なでしこジャパンの優勝に川澄・父「信じてあげるのが親」先制点、追加点を許しながらも、粘りのサッカーで、その都度同点に追いつき、最後はPK戦で女子世界ランク 1 位のアメリカを下した日本代表＝なでしこジャパン。同日、フジテレビ「とくダネ!」では、準決勝戦のヒロインとなり、愛くるしいルックスから一躍人気に火がついた川澄奈穂美の父・守弘さんが電話で感想を述べた。

「もう、言葉がないですね。感激、感動で」という守弘さん。“川澄に何て声をかける?”と質問されると、「もし目の前にきたら、アイコンタクトで“よくやった”って、それだけだと思います」と控え目に話す。

また、何度も窮地に立たされた試合中の気持ちを訊かれると、「(不安が) 全くないっていったら嘘になりますけど、スウェーデン戦で粘り強く追い付いて、逆転して引き離したチームですから。そして、今までほとんど勝つことができなかったドイツに粘って粘って勝ちましたので。やってくれるっていうふうに信じてあげるのが親ですから」と語り、娘の強さの秘訣については「本当にサッカーが好きだからこそ、強くなったと思います。練習行くのも何するにも、嫌な顔一つせず、練習が辛かったなんて言ったことは一度もない」と言い切った。

・川澄奈穂美 フォトギャラリー

【Sports Watch】なでしこ・佐々木監督「勝てると思わねーで監督やるわけねーだろ」日本時間 18 日、「FIFA 女子 W 杯ドイツ 2011」決勝戦で女子世界ランク 1 位のアメリカを下し、見事優勝を果たした日本代表＝なでしこジャパン。同日、TBS「ひるおび!」には、チームを率いた佐々木則夫監督が電話で出演した。

ドイツでは激闘から一夜、朝の 5 時だという佐々木監督は、すっかり酔いがまわっている様子で、電話越しに「美酒を飲みながら余韻に浸っていますよ」、「5 時、5 時、朝の 5 時。眠いんだよ」とボヤき気味に話す。

すると、番組 MC の恵俊彰が「勝てると思ってました?」と質問するや、「勝てると思わねーで監督やるわけねーだろ」とまくしたてたが、佐々木監督の酔いっぷりには、スタジオからも「こういう方でしたっけ?」というツッコミと共に笑いが起こる。

その後は、「負けると思って観てた? 心配するよな。俺だって心配だよ」、「(PK 戦の前に、チームには笑顔が見られた) 当たり前だよ。お前、澤のミラクルシュートが入ったから儲けたもんや。あの時に勝ったと思った」、「日本人は素晴らしい。頑張れニッポン!」と上機嫌になって話した佐々木監督だったが、電話終了後、番組ゲストのペナルティ・ヒデは「恐ら

く、この電話の内容覚えてないでしょうね」と話した。

【Sports Watch】低迷する巨人の次期監督候補に江川氏!?

19日、エース・内海哲也の力投により、中日を下して4位に浮上した巨人。だが、(同率)2位の中日&阪神とは既に7.5ゲームの差があり、ファンのストレスは溜まるばかり。今月初旬、巨人・渡邊恒雄球団会長もまた、一部メディアに対し「統計的には(優勝は)もう無理」「誰が、どうして、こんなにしたのか。ちゃんと解明する」と発言するなど、低迷するチームに怒り心頭の様子だ。

そんな中、同日(火)発売の「週刊アサヒ芸能」(7.28号)では、『ついに巨人「江川卓監督」が動き出した!』という見出しで、原巨人の舞台裏を伝えている。

同誌にコメントするスポーツ紙デスクは「原監督は今年で3年契約が切れる。岡崎郁ヘッドコーチ(50)など、フロント主導で決めたコーチ人事もありますが、原監督と現役時代と一緒にやっていた後輩たちが中心。『お友達内閣』と揶揄されるゆえんです。球団幹部も、『原は言うことを聞かない』と不満を募らせており、クライマックスシリーズ進出を逃せば、原監督の生き残りはなくなるでしょう」と語っており、原統投の可能性は低いという見解だ。

それでは、その後継者は誰になるのか。日本テレビ関係者は「巨人戦の放送は今やBSやCSが主体。地上波中継は激減し、視聴率も7%前後という低飛行を続けているため、何とか起爆剤が欲しい。そこで日テレ内では今、『ポスト原』候補として数人がリストアップされています。その一番手が、切り札的な存在である、江川卓氏(56)＝現・野球解説者＝なのです。実際、読売グループや日テレには、江川氏登板を信じている人はいますよ」というのだ。

事実、今年になって、取材で球場を訪れた江川氏が積極的に原監督やコーチ陣と話をするなど、これまでになかった動きを見せている。また、球団関係者は「仕事でもないのにナゴヤドームへ行き、監督室に直行したことがありました。江川氏は中日・落合博満監督(57)とは以前から親しく、落合監督も江川氏のことを認めている。実は江川氏は落合監督に、巨人監督就任問題について相談しているんですよ」と明かした。その他にも、過去にも一度あったという江川氏への監督の打診や、高橋由伸と行った食事会のことなどを取り上げている同誌。こちらも是非チェックしてほしい。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

【Sports Watch】なでしこ熊谷が代表批判? 合コン相手がツイッターで暴露

日本時間18日、「FIFA 女子W杯ドイツ2011」決勝戦の舞台でアメリカ代表との死闘を制

し、劇的な優勝を遂げたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。帰国後、一躍英雄となった彼女達は、さっそくテレビを中心としたメディアに引っ張りだことなったが、その一方で、合コンにも勤しんでいたようだ。

20 日、なでしこジャパンメンバーで浦和レッズレディースに所属する熊谷紗希が参加した飲み会において、なんと相手方の法政大に通う男性(haaaaacchi8＝アカウントは既に削除)がその模様を自らのツイッターで実況し、ネット上は瞬く間にお祭り騒ぎとなった。

熊谷とのツーショット写真や、その金メダルを口にする写真をアップするなど、数時間の間に数十件ものツイートを行った haaaaacchi8 氏。ツイート内容も、「じゃあ川澄さんとか鮫島さんとかと次飲めるように、今日盛り上げとくわ!」「熊谷さん、日本サッカーについて熱く語り出したなう。監督このままじゃダメらしい」「熊谷さんのアイホンのフォトアルバム見てたら丸山さんがロッカールームで上裸になってるのできたなう w」「今、記者から取材メールきたんだけど俺と一緒に考えてあげてる w」など言いたい放題。挙句の果てには「なでしこ JAPAN の裏話くそ面白いぞ w 腹黒 JAPAN」といった呟きも行い、20 歳の熊谷が合コンの席で代表批判やチームの愚痴をぶちまけていたことが容易に想像できるものとなった。

これには、ネットの大手掲示板でも、「こうやってチームが崩壊していくんだよね」「法大生で w 大学生と合コンとかなでしこはいい身分すなあ w」「帰国したばかりなのに凄い体力だな」「こんな馬鹿男と合コンとか、なでしこの名が泣くわ」といった批判が集まり、炎上状態に。なでしこジャパンの栄誉に泥を塗る事態となってしまった。

- ・熊谷紗希フォトギャラリー
- ・なでしこジャパン フォトギャラリー

【Sports Watch】なでしこ合コン相手“ピッチ外ではディフェンス甘いぞ”

酒の席でのこととはいえ、あまりにも自覚に欠いた、なでしこジャパンメンバー・熊谷紗希の言動——。20 日に参加した合コンの様子が、なんと相手方の法政大学生の手によりツイッターで実況中継されてしまった。

既に削除されているが、「haaaaaacchi8」のアカウント名で繰り返し呟かれた「なでしこ合コン」は、その開始前から 50 回以上ものツイートが成された。

「今日なでしこ JAPAN の CB 熊谷と飲めるかも!でも明日テストだし眠いからなあ w どうしようかめっちゃ迷う!!」と切り出した haaaaacchi8 氏は、「飲むことにした!4 時半新宿にすれば会えるよ w」と、ご丁寧な時間と場所を明かしたばかりか、「じゃあ川澄さん

とか鮫島さんとかと次飲めるように、今日盛り上げとくわ！」「なんとかワンバック飲みまで繋げられるように頑張るわ！なでしこに受けるギャグとかみんな教えてくれー」と意気揚々。

いざ、合コンが始まれば、「熊谷めっちゃ気さくでフランクなう w シャベくりやばい！」と報告を入れ、17:04 の時点では「でもなでしこ JAPAN の裏話くそ面白いぞ w 腹黒 JAPAN」という見逃せないツイートも――。

仮に haaaaacchi8 氏が語った通り、16 時半に合コンがスタートしていたとすれば、熊谷は初対面の男性に対し、僅か 30 分経過した段階で、なでしこジャパンの裏話やメンバーの素性を明かしていることになる。

その一方で、冗談とはいえ、隙あらば熊谷の貞操を破ろうとするツイートも度々行った haaaaacchi8 氏。合コン前には「やばいよね！泥酔させるわ！w」と宣言し、開始後 1 時間経過して時点では「多分ピッチ外ではディフェンス甘いぞ！」という所感を報告、その後も「いや、酔っぱらってるからやらかすかも w」「いろいろやらかしました w」と意味深な発言もみせた。

ツイッターにより、無知で浅はかな人間の失言や暴言が度々大きな話題として取り上げられている中、今回の一件は、特に劣悪な部類に入るものだろう。軽率な言動をとる熊谷と、これをネット上にアップし続けた法大生。情報教育の在り方以前に、しつけや教育を根底から見つめ直す必要すら感じさせた「なでしこ合コン」だ。

■サッカー×ツイッター 関連ニュース

- ・店員女性がハーフナー・マイクにツイッターで悪口雑言、炎上騒ぎに
- ・F・マリノス所属選手がツイッターで意味深発言!?
- ・稲本潤一がモデルとお泊まり？デート ツイッター中継相次ぐ騒ぎに

【Sports Watch】なでしこ合コン炎上、熊谷の道民栄誉賞にネットの反応は？

20 日、「FIFA 女子 W 杯ドイツ 2011」で優勝した日本代表＝なでしこジャパンから、北海道出身の熊谷紗希＆高瀬愛実に北海道民栄誉賞が贈られることとなった。

だが、この日、熊谷にはとんでもない災難が降り注がれた。20 日に参加した合コンの様子が、相手方の法政大学生の手によりツイッターで実況中継されてしまったのだ。

法大生のツイッターでは、「熊谷さん、日本サッカーについて熱く語り出したなう。監督このままじゃダメらしい」「熊谷さんのアイホンのフォトアルバム見てたら丸山さんがロック

ールームで上裸になってるのでできたなう w」「今、記者から取材メールきたんだけど俺と一緒に考えてあげてる w」「なでしこ JAPAN の裏話くそ面白いぞ w 腹黒 JAPAN」など、チームの内部情報暴露や監督批判といってもおかしくないツイートを連発。ネット上では瞬く間に炎上騒ぎとなった。

21 日 14 時現在、熊谷に関する処分の発表はないものの、自らの栄光に泥を塗った熊谷は、道民栄誉賞を受け取るのか——。ネットの大手掲示板では

「誰か知事に教えてやれよ w」

「監督批判してるのに・・・」

「辞退するんかね」

「金メダルいらない 道民栄誉賞なんてもっといらない」

「熊谷さんは金メダルですら要らないとおしゃってるのに w」

「栄誉賞授与式の後、飲み屋でチャラ男相手に表彰状を渡すなんちゃって授与式か」

「女子サッカーにとって、本当に大事な時期なのに・・・これは猛省して欲しい」

「オフィシャルスーツでそのまま合コンって w バカにも程がある」

「熊谷はしばらく表に出て来ないんじゃないかな」

など、受賞には否定的な意見が寄せられている。

・なでしこ熊谷が代表批判？合コン相手がツイッターで暴露

・なでしこ合コン相手“ピッチ外ではディフェンス甘いぞ”

【Sports Watch】合コン炎上、なでしこ熊谷が謝罪も、監督&チーム批判は否定

英雄となって凱旋帰国を果たした 19 日から一夜、なでしこジャパンメンバー・熊谷紗希が 20 日に参加をした飲み会でとんだ災難に遭った。

相手方となる法政大に通う男性（haaaacchi8＝アカウントは既に削除）が自らのツイッター上で飲み会の実況を行い、「熊谷さん、日本サッカーについて熱く語り出したなう。監督このままじゃダメらしい」、「なでしこ JAPAN の裏話くそ面白いぞ w 腹黒 JAPAN」など、熊谷が監督批判や代表批判を行った様子を相次いで伝え、大きな騒動となったが、21 日 21 時 46 分、熊谷は自身のツイッター上で謝罪を行った。

「お騒がせしている件に関してですが、監督批判をしたということについては、事実ではありませんが、間違いなく私の言葉足らずで、誤解を招いてしまうような発言が原因です。また、チーム事情に関しても、事実とはかけ離れた表現で書かれてあり、内容は事実ではありません」

「私の軽率な行動が、今回のような事態を招くことになってしまい、本当申し訳なく思っ

います。また、誤解を招くような発言があったことも、深く反省しております」

「監督をはじめ、チームメイト、関係者の方々、応援してくださっている全ての方々にご迷惑をおかけしたことを、この場を借りて深くお詫び申し上げます。 今後は、サッカーの面だけでなく、全ての面で意識を高く持って、一からやっていきたいと思います。 熊谷 紗希」

3 回に分けて行われた謝罪ツイートでは、反省の弁を述べるも、監督批判やチームの内情暴露については否定をした熊谷。日本サッカー協会は熊谷に厳重注意を行い、法政大学側も謝罪をしたという報道も出た。しかし、当事者である法政大の haaaaacchi8 氏が何かしらの情報を発信することではなく、3 月で更新が止まっている彼のブログには、40 件近い、彼を糾弾するコメントが書き込まれている。

■関連リンク

- ・ なでしこ合コン炎上、熊谷の道民栄誉賞にネットの反応は？
- ・ なでしこ熊谷が代表批判？合コン相手がツイッターで暴露
- ・ なでしこ合コン相手 “ピッチ外ではディフェンス甘いぞ”

【Sports Watch】なでしこ関連ツイートでまたもや騒動勃発

20 日、なでしこジャパンメンバー・熊谷紗希が、参加した合コンの相手方の大学生により、宴会の様子がツイッター上で実況中継され、大騒動に。翌日の夜になって熊谷が自らのツイッターで謝罪をするに至った。

良くも悪くも、なでしこジャパンに関する話題に日本中が過敏になっているなか、今後は、大手マネジメント会社の社長が、なでしこジャパンに関するツイートを行うと、その発言内容に疑問の声が集まり、ちょっとした騒ぎになった。

スポーツ選手やアーティストのマネジメントを行うサニーサイドアップ・次原悦子社長は、なでしこジャパンの優勝に沸く 18 日、自身のツイッター上で「資生堂には次のツバキの広告には是非ナデシコを起用して欲しい。まさに彼女達こそ日本を代表する女だもの！」と呟き、フォロワーからは「大賛成」「素晴らしい」などと同調する声があがっていた。

しかし、20 日になると様相が一変。「過去なでしこ選手数人からのマネジメント依頼をお断りした嫌な私。今更契約をなんて言わない。だけど今が選手にとって一番大切な時。プロのマネージャー、広報スタッフを五輪終了まで無償で派遣します。支援金は出せないけれど私達にしか出来ない支援。希望されるチーム、選手はご連絡下さい。」と、なぜか上から目線で関係者に呼びかけたのだ。

これには、ツイッター上でも「どう捉えればいいのか」「大変だったのに金にならないから見捨てたんですね。そして今は金になるから近寄るんですね」「これはヒド過ぎだろー。でも、節操なさすぎくらいじゃないとお金持ちになれないよね」「なでしこの人気に当て込むな(笑)」といった批判が噴出。この発言を取り上げた掲示板でも、「投資してないのに回収だけしようとすんなよ」「五輪終了までってのがまたえげつないわwww」「痛い目に合わされたから依頼断って今になって手のひら返したのかw」といった声が寄せられる。

これには、次原社長も「弊社は2006から2年間なでしこリーグのスポンサー代理店でした。契約途中でメインスポンサーの経営が悪化して結局はうちが支払った。あの時代のなでしこがどれだけ大変だったのかはあなたより分かっているつもりよっ」「酔っ払ったついでに言わせて頂くわ。匿名で私をクズと呼ぶあなた。17歳からこの世界で生きてる私を舐めてもらっちゃ困るわ。マジに文句があるなら正々堂々弊社に来られるなり、極真会館恵比寿道場一撃でお会いしましょう。お付き合いいたしますわ。ほほほ」と匿名のユーザに反論。一連のやりとりの最後には、「炎上騒ぎお騒がせしました。文句のある方は沢山いるでしょうが、きっと私の本質は何言われても変わらないと思います」と語った。

確かに、騒動の発端となった次原社長のツイートでは、その“本質といわれる部分”が伝わり難しく、批判対象になった。それでも、日本列島に歓喜をもたらしたなでしこジャパンや同リーグに集まる注目や支援が、ブームの終了とともに、一気に低下する懸念は拭えない。体を張って努力を続ける選手や関係者にとっても、サニーサイドアップ社のサポートは心強いことだろう。次原社長には、是非とも対等な立場から、その手腕を発揮してほしい。

■なでしこジャパンに騒動続々…

- ・なでしこ被害続出 熊谷は“合コン”ツイートされ丸山はストーカー被害
- ・沢、ワイドショーからKY質問…報道陣100人集結
- ・合コン炎上、なでしこ熊谷が謝罪も、監督&チーム批判は否定
- ・なでしこ合コン炎上、熊谷の道民栄誉賞にネットの反応は？
- ・なでしこ熊谷が代表批判？合コン相手がツイッターで暴露
- ・なでしこ合コン相手“ピッチ外ではディフェンス甘いぞ”

【Sports Watch】ダルビッシュ、ベンチ裏説教報道を否定

22日(金)、ナゴヤドームで開催されたマツダオールスターゲームのベンチ裏では、埼玉西武ライオンズのルーキー・牧田和久が、東北楽天ゴールデンイーグルス・山崎武司と、福岡ソフトバンクホークス・小久保裕紀のベテラン二人から説教をされたという報道があった。

その報道によると、今年の5月に牧田のクイックモーションで三振した山崎が、新人離れた緩急自在のピッチングを狡辛く思ったのか、オールスターのベンチ裏で顔を合わせる

と、ここに通りかかった小久保も加わり“ルールに問題なくても、新人は正々堂々と勝負しろ”と叱咤したという。

だが、この記事を読んだファンが、同じくパ・リーグのベンチにいたであろうダルビッシュ有にツイッターから直接尋ねた。「牧田が山崎と小久保に説教されたそう。別に新人だからクイックで投げて怒られるとかおかしいだろ」と投げかけると、ダルビッシュは「説教されてないですよ。冗談っぽく皆の前で話してたんで、皆笑ってました(^)」と回答し、記事を否定したのだ。

ネットの掲示板上でも「三振食らって説教とか恥ずかしい話」「打てずにごちゃごちゃいうんやったら引退せい」「八百長とたいしてかわりないんじゃないの?」「一流の打者なんだったらガタガタ言っていないでクイックだろうが打てよ」といった厳しいコメントが相次いだ今回の報道。もちろん、牧田の投球に一切の非はなく、もし、山崎と小久保が、その投球術に圧力を掛けて抑制しようとしたのなら、これほど寒心に堪えないことはない。球界のためにも、ダルビッシュのツイート通り、誤報であることを信じたい。

【Sports Watch】美少女テクニシャンに天才ドリブラー、次世代なでしこは逸材揃い!!

日本時間 18 日、「FIFA 女子 W 杯ドイツ 2011」を制し、日本に大きな感動をもたらしたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。今回の優勝により、さっそく期待が集まるのは、来年 7 月に開催されるロンドン五輪の舞台だ。

9 月には、早くも五輪予選が行われるが、W 杯優勝国とあって他国のマークが厳しくなることは間違いない。なでしこジャパンに求められるのは、更なるレベルアップということになりそうだ。

しかし、なでしこジャパンの未来は極めて明るい。なぜなら、次世代のなでしこ達は逸材が揃っているからなのだ。

昨年末、全日本女子サッカー選手権で、高校チームとして史上初のベスト 4 に入った常盤木学園高校の仲田歩夢&京川舞は、U-17 女子 W 杯準優勝メンバーでもある。特に仲田は、美少女アスリートとして幾度もテレビに取り上げられている美貌の持ち主であり、左サイドからの突破やクロスを武器とするテクニシャンとしても知られ、マスコミの注目も高い。

また、前述した U-17 女子 W 杯の準決勝戦では、FIFA 年間最優秀ゴールにノミネートされ、サッカーファンにも永遠に語り継がれるであろう驚異のドリブル 5 人抜きでゴールを決めた横山久美も楽しみな存在だ。

既に W 杯優勝経験を持つことになる岩渕真奈や、ツイッター騒動で汚名を着せられたが、20 歳の熊谷紗希もいる。なでしこジャパンのブームは、強い日本代表が君臨する限り、続いていきそうだ。

■リトルなでしこ関連ニュース

- ・夢、潰える…。常盤木学園、決勝進出ならず<全日本女子サッカー選手権>
- ・【U-17 女子 W 杯：日本×北朝鮮】 リトルなでしこが見事に決勝進出!!!
- ・今後の活躍が期待される「美少女アスリート」を発掘！

【Sports Watch】なでしこ達を支えた言葉とは？ 澤は美人解説者に「なんなのこの解説者」ドイツで開催された女子 W 杯で歴史的快挙を成し遂げたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。19 日に凱旋帰国を果たすと、その後はメンバーの組み合わせを替えては、様々なテレビ番組に引っ張りだことなっている。

23 日深夜放送、TBS「S1」では、元サッカー日本代表で、現在は東京国際大女子サッカー部監督、女子 W 杯期間中は選手以上の露出を誇った美人解説者＝大竹七未さんが進行役を務め、澤穂希、川澄奈穂美、大野忍、海堀あゆみ、近賀ゆかりに質問を投げかけ、メンバーが順番に答えていく模様が放送された。

「(大会中) 1 番印象に残っている言葉は？」という問いに、「結果を恐れない」(川澄)、「楽しもう」(近賀) と答えていったなでしこメンバー達だったが、大野は澤からかけられた「しのらしくやればいいよ。」という言葉を紹介。大野は「これがあったから、大会を通じてよくなっていったかなと思います」と補足した。

すると、大竹さんは「澤のね、そういう人間的な部分が凄い大きいよね」と返答したが、当の澤は「でも、皆よりただ経験があるだけだから」と素っ気ない。そんな澤のたたずまいを見た大竹さんは「ほら、カッコいい」と冗談交じりに合いの手を入れると、多少の照れ隠しもあったか、澤は「普通そうでしょ。なんなのこの解説者」と苦笑い。

そんな澤は、アメリカ代表のエース・ワンバックから「I'm proud of you」(貴方を誇りに思う)という言葉を挙げ、「決勝で負けて、本当は悔しいはずなのに、日本のところに一人だけきて、皆に握手してくれて、そういう内面も立派というか、凄い選手にこういう言葉を言われたのは、凄く印象に残っている」と語った。

【Sports Watch】なでしこ以上に露出した美人解説者、臨時収入は「怖い金額」
今月 19 日、女子 W 杯で劇的な優勝を遂げたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパンが凱旋帰国を果たした。

帰国後は、情報番組を中心に、様々なテレビ番組に引っ張りだことなっている彼女達だが、24日放送、TBS「アッコにおまかせ！」では、19日～22日の4日間で最もスタジオ生出演したなでしこメンバーをランキングで紹介した。

すると第3位は、澤穂希、川澄奈穂美、大野忍、近賀ゆかりで、第2位が岩清水梓、第1位が丸山桂里奈であった。

だが、なでしこジャパン以上に多くのメディアに登場したのは、元サッカー日本代表で、現在は東京国際大女子サッカー部監督&美人解説者・大竹七未さんだ。同番組の調べによると、大竹さんは、テレビ出演数にして60番組以上、講演依頼が一月に1～2件だったのが、2週間で30件以上になったという。

このデータが紹介されると、番組ゲストのはるな愛は「60番組ってことは、一本ね、ギャラが・・・」と試算をはじめ、勝俣州和は「講演30回だけでも凄いですね。怖い金額ですよ」と話した。

双子で妹の夕魅さんは三浦淳宏と結婚していることでも知られる大竹さん。今回の臨時収入については「貯金します」とコメントしたそう。

【Sports Watch】なでしこ岩清水、佐々木監督の暴露に「ふざけんなよ。マジムかつく」24日放送、テレビ朝日「やべっち F.C.」初の90分スペシャルには、なでしこジャパンから7選手が生出演。フジテレビの27時間テレビで、100キロマラソンを走ったばかりのナインティナイン・矢部浩之は「二日風呂に入っていない」、「痛むのは分かっていた。足だけ棒みたいですけど」、「俺、めちゃめちゃ痩せたな」と激走の所感を述べ、疲れを色濃く見せながらも、澤穂希、川澄奈穂美、大野忍、海堀あゆみ、近賀ゆかり、岩清水梓、丸山桂里奈を迎えてトークを繰り広げた。

「色んな番組出てたでしょ。ちょっと飽きたでしょ？」と切り出し、なでしこ達の笑いを誘った矢部。「やべっち QB」のコーナーでは、佐々木則夫監督&なでしこジャパンメンバーから出演7選手に対する質問が書かれたカードが用意され、7選手は自分が引いた質問は必ず答えなくてはならない。

最初にカードを引いたのは、澤。阪口夢穂から「恋愛では攻めですか？受け身ですか？」という質問を受けると、「自分はポジションのように守備的です。告白とかしたことない。中学校の時に好きな男の子に好きって言ってフラれてからトラウマで」と明かす。

また、丸山には大学の後輩・川澄から「ぶっちゃけ自分のことかわいいと思ってますか？」

という質問が寄せられると、川澄は「ブログとか自撮りが多いので」と補足。丸山は「そんなことないと思いますけど」と否定したが、前田有紀アナは「今日も丸山選手はメイク時間があるのでと一人早く入られた」という裏情報を明かす。

すると、7 番目にカードを引き、「佐々木則夫監督から」といって、その質問に目を通した岩清水は、眉間にシワを寄せ「ふざけんなよ。いや、マジムカつく」と声を挙げた。佐々木監督から寄せられた質問は「2 年前に彼氏ができて、プレー面でも凄くよくなったように感じました。私生活を充実させる方法は」という暴露を織り交ぜたもの。岩清水は「言うなよ!」と声を荒げ、「この話、止めましょう」と苦笑いするしかなかった。

・なでしこジャパン フォトギャラリー

【Sports Watch】「こんなんじゃ戦えません」澤が乗り越えた最大のピンチとは？

「FIFA 女子 W 杯ドイツ 2011」で見事優勝を果たしたサッカー・なでしこジャパン。決勝戦における奇跡の逆転勝利から 1 週間以上が経過しても尚、彼女達への注目度が衰えることはない。

そんな折、26 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（8.4 号）は、『なでしこジャパン激闘 718 日の真実』と題し、女子 W 杯で劇的な優勝を遂げたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパンにまつわるマル秘話を特集した。

「うまくいけばメダルに手は届くとは思っていましたが、正直、優勝するとは思っていなかった」。同誌にコメントを寄せたスポーツ紙デスクもこのように語っている今回の偉業。その立役者は、いわずもがな、15 歳で代表デビューを果たし、以後 18 年間活躍を続けてきた澤穂希だろう。

同じく、同誌にコメントするサッカー専門誌記者は「考えてみれば、W 杯で優勝、MVP、得点王のトリプル受賞をした選手は、男女合わせても片手で数えるほど。近年の男子で言えばロナウドくらいで、マラドーナもジダンもメッシも、トリプル受賞までは獲得していません。しかし、そんな彼女ですら、天国と地獄が紙一重の瞬間が幾度となくあったんです」と語っており、そんな澤にとっての最大のピンチは、昨年 5 月に中国で開催された W 杯出場を懸けたアジア大会だったという。

前出のサッカー専門誌記者は「今でこそ、冷静沈着な澤のイメージが強いですが、中国でのアジア大会直前の代表合宿では『こんなんじゃ戦えません』と、珍しく記者たちにイラダチを吐露したことがありました。澤を筆頭に当時、アトランタビートに所属していた宮間あや（26）などの海外組と、若手中心の国内組とのコンビネーションがかみ合わず、チームとし

てまとまっていなかった。しかし、ズルズルとそのまま予選に入ってしまう、勝てば W 杯出場が決まる準決勝で、若手のミスで敗戦。残り 1 枠を、開催国・中国と完全アウェーの中で争うことになったのです」と明かす。

しかし、そんな瀬戸際の一戦でも、ダメ押しの得点を決め、チームを勝利に導いたのが澤だった。「宮間からの FK を、倒れるようにバックヘッドで流し込み、最終的に 2-0 で勝利しました。澤は、10 代から代表入りしたせいもあり、日頃は意外にも妹キャラ。そのため後輩には、あれこれと言葉では言わないタイプ。その試合を通じて『苦しくなったら私の背中を見なさい』と檄を飛ばし、プレーで若手中心のチームを牽引しました」と語り、澤の功績を称えた。

その他にも、同誌では、川澄奈穂美、熊谷紗希、海堀あゆみ、丸山桂里奈、鮫島彩ら人気のなでしこメンバーの秘話を掲載している。世間でも大きな話題となった熊谷の合コン・ツイッター騒動の詳細や、CM オファーが舞い込むなでしこの実情など——、詳しくは是非チェックしてほしい。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

【Sports Watch】まだまだいるぞ！ かわいい次世代なでしこ

女子 W 杯優勝から間もなく 2 週間が経とうとしている今も、まだまだ収まる気配の見せないなでしこフィーバー。

28 日放送の『とんねるずのみなさんのおかげでした』（フジテレビ）では、今大会で一躍メジャーとなった川澄奈穂美が澤穂希とともに『食わず嫌い王決定戦』に出演し、そのキュートな仕草で相変わらずのかわいさをアピールした。

世界王者という金字塔を打ち立てながら、どこか親しみやすい彼女たちの人気は、ロンドン五輪という目標を見据えながら、今後ますます高まっていくだろう。

8 月 19 日には、国立競技場でなでしこジャパン対なでしこリーグオールスターの試合が行われる。W 杯前までは西が丘サッカー場ですら埋まらなかった女子の試合だが、日本中を沸かせたヒロインたちの再結集に、メディアも含め大きな注目が集まるのは間違いない。

この試合は凱旋試合という意味合いに加え、9 月 1 日に始まるロンドン五輪予選へ向けた壮行試合も兼ねる。世界王者のなでしこジャパンには、予選突破はもちろんのこと、本大会でのメダル獲得にも大きな期待がかかり、佐々木監督のもと、これから新戦力を試しながらさ

らなるブラッシュアップをはかっていく。

また、なでしこジャパンの妹分に当たる、U-19 世代を見ると、W 杯優勝メンバーとてうかうかしてられない逸材が多数存在する。中でも現役高校生レフティ、仲田歩夢は要注目だ。切れ味鋭いドリブルと、決定機を演出するパスセンス。そしてなんといってもそのルックスが抜群だ。アイドルかと見紛うほどのかわいさは、次世代なでしこのスター筆頭候補と言っても過言ではない。

さらに、ボランチをつとめる美少女、田中陽子も、サッカーセンスに満ち満ちた天才的プレーで観る者の度肝を抜く。9 月から始まる五輪予選。新たな挑戦に向けて動き出すなでしこジャパンに、どんな選手が食い込んでくるか。見どころは満載だ。

・[議論中] なでしこブームは、いつまで続く？ - 新投稿プラットフォーム=ANKER

【Sports Watch】 ロンドン五輪まで一年、潮田“オリンピックの悔しさは、オリンピックでしか晴らせない”

27 日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、来年同日からイギリスのロンドンで開催されるロンドン五輪まで残り一年となり、「ロンドン五輪まで1年 ヴィーナスたちの決意」と題し、主要の人気女子アスリート達のコメントを放送した。

先のサッカー女子 W 杯で優勝し、一躍脚光を浴びるなでしこジャパン・澤穂希や、レスリングの最強女王・吉田沙保里。3 年前の北京五輪では、オグシオブームを巻き起こしたバドミントン・潮田玲子、陸上界からは福島千里と、ウイルス感染症で3 年前の北京五輪を断念し、再起を期す絹川愛らが登場した今回の特集。彼女達の意気込みは下記の通りだ。

・澤穂希（サッカー）

「W 杯のチャンピオンとしてはプライドもありますし、ロンドンオリンピックでは、W 杯のように世界の頂点、オリンピックでの金メダルを目標に頑張りたいと思います」

・吉田沙保里（レスリング）

「ロンドンオリンピックでは、3 つ目の金メダルを絶対に獲ります」

・潮田玲子（バドミントン）

「今日、分かってますよ。ロンドンオリンピックの開幕一年前ですよ。オリンピックの悔しさっていうのは、オリンピックでしか晴らせないと感じていて、『やったー』って言って、笑って終われるオリンピックになったら一番いいのかなと思います」

・福島千里（陸上）

「あっ、知らなかったです。もうちょっとだなというのは、分かっていました」

・石川佳純（卓球）

「オリンピックまであと一年あるので、今、打ち方とか動き方とかも凄く変えているし、この一年で今までやっていなかったことを沢山やって成長していきたいなと思っています。キラキラした舞台で試合できるのが楽しみです」

・絹川愛（陸上）

「まともな生活が送れるのかって悩んだ時期もあったし、あとは、競技者にもう一回復活できるのかって悩んだこともあったし、走れることとか、また世界に挑戦できることが本当に幸せです。花で例えるなら、向日葵のように太陽に向かって明るく元気にロンドン目指して頑張りたいと思います」

・田中理恵（体操）

「去年の世界選手権が終わった時に、ロンドンがしっかり目標に変わりましたね。あとはどう自分で手に入れるか。この一年が勝負だと思います」

・写真で見る女子アスリート特集

・[議論中] なでしこブームは、いつまで続く？ - 新投稿プラットフォーム=ANKER

【Sports Watch】武田が監督志願、紳助は番組内で J2 オーナーに異例の呼びかけ

日本テレビ「行列のできる法律相談所」（7月31日放送分）では、元サッカー日本代表で引退後はタレントとして活躍する武田修宏が、「私の名シーンスペシャル」で、1990年10月28日・読売クラブ×日本鋼管戦で見たオーバーヘッドシュートを紹介した。

三浦知良の日本リーグデビュー戦として、マスコミの注目を集める中、カズへのライバル心から生まれた劇的なシュートについて、「オーバーヘッドキックがやってみたかった。小学校からの憧れのシュートで、最初で最後のオーバーヘッドシュート。カズさんのことは尊敬もしてますし、ライバルでもあるし、今もカズさんが頑張ることが自分の…（励み）」と説明した武田だったが、ここから話は思わぬ方向へ。

最近のサッカー界について、「女子のサッカーは本当に頑張ってますからね。そういう意味ではサッカー界全体が盛り上がっている」とコメントする武田を、番組司会の島田紳助が「サッカー界には戻れない」とからかった。すると、武田はなんと「俺は10年後、絶対監督やりますよ」と断言したのだ。

だが、この言葉に対し、紳助が「絶対やらない。やらないに懸けた。あるとしたら J2 の人気がないチーム」とツッコミを入れるも、武田の気持ちは本物で、「J2 でも今監督のオファーがあったら全部仕事やめて行きますよ。監督は一回やりたい。夢ですから。女性よりもサッカー大好きですから。本気なんです、これは」と真剣な表情で言い返す。

これには、紳助も響くものがあったか、その最後には「テレビをご覧の J2 の社長さん方。武田君が、J2 の監督なら今の仕事全部投げ捨てて、やるといってます。マンションと女の子二人はつけて。我々も乗りかかった船ですから、そのチーム応援しますわ」と番組内で異例の呼びかけを行った。

【Sports Watch】松田直樹の容態、トレーナーがブログで報告

2 日午前 10 時過ぎ、元サッカー日本代表で、現在は JFL・松本山雅 FC に所属する松田直樹が、練習中に突然倒れて、心肺停止状態に。心臓マッサージを受けながら救急車で信大病院の救命救急センターに搬送され、そのニュースはツイッターなどを通じて瞬く間に日本中へと広がった。

その後、チームの公式サイトでは「本日ふるさと公園で練習中の 9 時 57 分頃、松田直樹選手が体調不良を訴えました。ただちに、救急車を呼び 10 時 13 分頃、ふるさと公園から救急救命センターへ搬送いたしました。只今、治療中ですので、詳細が分かり次第お知らせいたします」と発表されたが、松田のパーソナルトレーナーを務める竹田和正氏は、同日 16 時 11 分、自らのブログでその容態を明かした。

同ブログでは、「長野に向かっています 今ある情報はまだかなり良くない状況です オペをしています 心臓はかすかにしか動いていません 自発呼吸も出来ないようです 少しわかる人がここまで読めば状況はわかるでしょう」と綴っている竹田氏。その最後には「ツイッターなどにまどわされないでください」と呼びかけている。

【Sports Watch】ダルビッシュが斎藤佑を遠ざける理由？

2 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（8.11 号）では、『特別扱いルーキー 斎藤佑樹がダルビッシュに超嫌われているッ！』との見出しで、北海道日本ハムファイターズで人気を二分するダルビッシュ有と斎藤佑樹の確執を伝えた。

同誌にコメントを寄せる遊軍記者は、「球宴ではダルビッシュが斎藤と話す場面はほとんど見られず、没交渉。ダルはベンチでも楽天・田中将大（22）らと談笑して試合を見守っていましたが、斎藤は 1 人、離れた端のほうでボツリ状態だった。2 人の関係、距離はふだんからこんな感じです」と語るダルビッシュと斎藤。球宴では、斎藤が「ぼっち」と呼ばれ、孤立した姿がネット上でも話題となったが、同記者は「独りぼっち、の意味です。ベンチでもつまらないのかパ・リーグの選手が打っても無表情。本塁打を放った稲葉篤紀（39）の出迎

えも、ギリギリ最後に出てきてハイタッチしていました」と振り返っている。

キャンプを控えた 1 月中旬時には、ダルビッシュに教えを乞う姿勢を見せていた斎藤だったが、日本ハム担当記者は「左投げのダルと斎藤がキャッチボール。『やってみたらどう?』と勧められた斎藤は『ちょっとやってみようかなと思います』と意欲的なコメントをしましたが、その後、実践した形跡はまったくない。口では言うものの、正直なところ、本当にダルから学ぶ姿勢はあまり感じられない気がします。あくまで社交辞令の範疇でした」と指摘。球団関係者も「斎藤は当初、『ダルさんみたいな投手になりたい』と公言していたにもかかわらず、テレビ番組でアッサリ、『目指すべき投手は武田勝さん (33)』と前言撤回。ダルが見ていたかもしれないのに」と語っている。

また、前出の球団関係者によると、斎藤は左脇腹痛で二軍調整中だった 5 月、寮規則で故障中の選手の外出を禁じているものの、それを破って都内に遊びに出かけたという。「罰則規定があるわけではないですが、斎藤はリハビリのために二軍にいたのだから、遊びに行くなど言語道断。斎藤が出かける際は、早稲田実業の後輩が運転する車を呼ぶパターンが多い。ダルビッシュはその事実を知って、憤慨していたと聞きます」と明かしている。

その他にも、試合後はたいてい観戦にきている両親と食事に出かけるなど、特に親しい選手もいないという斎藤だが、ダルビッシュが斎藤を遠ざける最たる理由については、スポーツ紙デスクが「一番の理由は、ダルビッシュが斎藤の実力をまったく認めていないことでしょう」と断言し、「ある球団幹部も『6 勝ぐらいしてくれりゃいいかな』と漏らしたほどで、潜在能力をあまり評価していない。斎藤の球宴出場が決まった際にマー君の口から思わず、『えっ、選ばれたんですか!?!』と本音が出たのも当然でしょう。日本ハムからは 9 勝のウルフ (30)、8 勝のケッペル (29) を差し置いて、わずか 3 勝の斎藤が出場するわけですから」と語る。球宴後は、最もファンを盛り上げた選手に贈られる賞として、副賞の新車をゲットしている斎藤。同誌によれば、この賞もまた斎藤がよほど打たれない限り、ほぼ受賞が確定的であり、出来レースだったという。こうした周囲の待遇も選手間の不協和音を増長させているのだろう。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

【Sports Watch】ロンドンに期待！ 世界もびっくりのモデル系スイマー

7 月 31 日に幕を下ろした世界水泳 2011 で、日本は銀メダル 4 個、銅メダル 2 個の結果に終わった。メダルの総数は 6 個と目標をクリアしたが、3 大会ぶりに金メダル獲得を逃し、来年のロンドン五輪に向けて一抹の不安を覚える結果となった。

結果を不安視する声も目立つ今大会の日本選手団であったが、地元中国メディアにひととき大きく紹介された日本人選手がいた。女子 200 メートル自由形の上田春佳だ。タイムこそ世界のトップクラスにまだまだ及ばないものの、モデル級とも称されるその美貌が中国メディアの注目を引いたようで、大会のガイドブックではメダル候補との触れ込みで紹介されていた。

上田は東京都出身の 23 歳。身長 177cm の大器で、武蔵野高時代にはインターハイで 200 メートル自由形、400 メートル自由形で二冠達成、千葉すずが保持していた高校日本記録も更新するなど、女子自由形の将来を背負って立つ若手として注目された。

日本大学進学後も着々とステップアップし、2008 年の北京五輪では日本新記録をマークして準決勝に進んだ。現在は北島康介ら有力選手が拠点とする東京スイミングセンターに所属。今大会は 14 位でフィニッシュしたが、日本が誇るモデル系スイマーとして、ロンドン五輪での飛躍が期待される。

ちなみに、同種目で 1 位に輝いたのは北京五輪の金メダリスト、フェデリカ・ペレグリーニ（イタリア）。こちらは有名ファッション誌でモデルをつとめるという、正真正銘のモデル兼スイマーだ。ロンドンの地で、上田がフェデリカ・ペデグリーニとメダル争いをする姿を見たいものだ。

【Sports Watch】中村憲剛が“澤は怪物”発言を真っ向から否定

女子 W 杯で歴史的快挙を成し遂げたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパンを牽引する澤穂希、その小学生時代の後輩にあたるのが、川崎フロンターレの中村憲剛だ。

中村は先月中旬、2 歳上の先輩で今も頭が上がらないという澤に対し、スポーツ紙で「澤さんは僕が最初に会った怪物です」と、中村なりのコメントで賛辞を送っていたとされたが、1 日深夜放送の TBS「スーパーサッカー」に澤が出演した際、VTR で登場するや怪物発言を真っ向から否定したのだ。

なでしこジャパンの快挙について、「凄いです。ただただ、凄いです。本当に素晴らしかったです」と絶賛するも、先輩・澤には「いや、僕は澤さんの連絡先聞いてないので。聞けるアレじゃないんで。今回を機にちょっとメールの一つでも出来たらいいな」と恐縮しきりの中村。

番組スタッフから、人生で最初に出会った怪物が澤だったという発言について訊かれると、「それ、俺、言ってないです。今ここで言います。言ってないです。怪物ではないです。勘弁して下さい。本当。怒られちゃいます。メールアドレス交換してくれなくなっちゃいます

から」と慌てて否定。この VTR を見た澤は「信じます」と笑顔を浮かべた。

【Sports Watch】フジテレビ・スポーツ番組の「韓日戦」表記の理由とは
先月下旬、女優・宮崎あおいの夫で、俳優の高岡蒼甫が自らのツイッター上で「正直、お世話になったことも多々あるけど8は今マジで見ない。韓国のTV局かと思う事もしばしば」などと書き込み、韓流番組や韓国人タレントを多用する同局の姿勢を批判。高岡自身、所属事務所を離れることになるなど、大きな波紋を呼んだが、この騒動を境に、ネット上ではフジテレビに対し、厳しい視線を送るユーザが増えている。

とりわけ、スポーツ系の番組については、「すぽると！」が番組中、サッカーをはじめとした幾つかの競技における「日本対韓国」の試合を「韓日戦」と表記していたことが、改めて疑問視されている。

そんな折、ジャーナリスト・津田大介氏が、6日に「新・週刊フジテレビ批評」の収録で同局を訪れた際、「韓日戦」の表記について質問したことを自身のツイッターで明らかにした。

『せっかくフジテレビに来たので「なんでサッカーで『韓日戦』表記にしてるの？」と素朴な質問を投げてみたら、以前（ある時期）からフジテレビはホームの方を前にするって方針でやってるんだって。韓国での試合の場合は「韓日戦」で日本がホームのときは「日韓戦」とのこと』

こうツイートした津田氏は、

『日韓戦韓日戦問題。最近フジテレビも韓国ホームでも日韓戦と表記することが多くなっていたんだって。問題になってるキャプ画像はたまたまスポーツ局が昔の感覚で韓日戦表記にしてしまったというのが真相みたい。このへんここ10年くらい代表戦録画してるような人にデータ提供してもらいたいね』と、韓日表記の意図や騒動の背景を伝えた。

しかし、中には津田氏のツイートに対し、「擁護」といった声を挙げるユーザーも見られたが、同氏は

『別に擁護じゃないよ。聞いた話に妥当性があると思うから書いてるだけだし、大体テレビのテロップ入れる現場はそんな政治的なこととか考えてやってないよ』

とキッパリ否定するや、

『まあこれを信じるか信じないかは皆さんに任せますよ。このサッカーの表記問題という点だけでいえば、俺は一定の妥当性はあると思うよ』

と見解を述べた。

【Sports Watch】徳光アナ“プロレスは大っ嫌いだった”

6日、日本テレビ「心ゆさぶれ！先輩 ROCK YOU」では、フリーアナウンサーの徳光和夫氏が出演した模様が放送された。

“ガッカリの連続”として、日本テレビアナウンサー時代のエピソードを語った徳光アナは、
「僕がアナウンサーになった一番の目的は、長嶋茂雄さんの一挙手一投足を中継したい。野球中継だけやりたい。しかも、長嶋茂雄さんの中継をやりたくてアナウンサーになったようなもんなんですよ」と語る。

だが、徳光アナが「野球中継やりたいにも関わらず、入社して2年目にですね、“プロレス行け”と言われた時には、本当にアナウンサー辞めたいと思った訳です」と語る通り、待っていたのは全日本プロレス中継の担当だった。

「(プロレスが) 大っ嫌いだったんです」と声を大にした徳光アナは、その他にも、「野球中継かニュースがアナウンサーとしての花形だとしますと、ニュースは全く興味がなかった。あるニュースで、僕が入社した時の国家予算が5兆円だったんですけど、“兆”の字が抜けてたんですよ、原稿に。私はきちんと読まなければいけないと思って、今年度の国家予算は5円ですって読んだんです。その時にも疑問は持たなかった。関心ないわけなんです。ただの文字として読んでたと思う。大ひんしゅく買って“こいつにはニュースを読ませるな”ということで、その後、二十数年間、僕はニュースを読ませて貰えなかった」と明かし、野球以外の全てが無関心だった様子を告白した。

【Sports Watch】古閑不調の背景、ダルとの熱愛報道で“かなりの深手を負った”

今年1月、写真週刊誌「フライデー」が、北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有と、プロゴルファー・古閑美保(28)の熱愛報道を掲載し、ダルビッシュ有が自身のツイッター上で真っ先に否定するという騒動があった。

あれから半年以上が経過したわけだが、最近の古閑といえば、約2ヶ月前の「サントリーレディス」でスタート前に体調不良をうったえ、そのまま欠場に。翌週の「ニチレイレディス」でも予選落ちをするなど不調を脱せず、苦しんでいる。

そんな古閑について、9日(火)発売の「週刊アサヒ芸能」(8.18-25号)では、『古閑美保ダルビッシュ有後遺症で医師合コンも不発「もうお見合いしかない…」の深刻男日照り』との見出しで、その近況を伝えた。

同誌にコメントするLPGAの関係者は、「10年のお正月、師匠の清元さんが倒れ、それ以降はなかなかフォームをチェックしてもらえないこともスランプの理由の一つでしょう。しかし、それ以上にあのプライベート問題が尾を引いていますよ。天才肌のプレーヤーだけに気持ちひとつで変わるタイプ。それだけに、かなりの深手を負ったようです」と語り、不調の影にダルビッシュ有との熱愛報道が関係しているとした。

さらに、ゴルフ専門誌編集者は、「合同自主トレをしていた2人の宿泊先は、高層 condominium で、ダルビッシュが古閑の部屋に連日“お泊まり”している様子を撮られてしまった。2人の事務所は示し合わせたかのように『尊敬するアスリート同士の自主トレ。記事に書いているような関係はない』と、同じような完全否定コメントでした。ただ実は、古閑はノーコメントではなく、『時期が来たらお話しします』と親しい記者たちに話していたんです。2人は10年の夏、古閑の誕生日をきっかけにより親しくなり、ダルビッシュの家庭が冷めていることを聞かされ、より親密になっていった。だからこそ、例年のハワイ合宿をやめて、宮崎で合同自主トレを選び、かつ、日ハムの沖縄キャンプに合わせて、沖縄で2次自主トレを予定していたぐらい」と語る。

その後も、古閑の口からは一切の説明はない様子だが、前出・LPGA関係者は、『『オフは連日、合コンで婚活してます』と笑顔で話していますよ。根っからのアスリート好きらしく、医師と合コンするも『タイプじゃなかった』と空振りに終わったそうです。過去にはツイنزの西岡剛（26）や野球評論家の立浪和義（41）とも浮き名を流してきただけに、野球界はもとより、アスリートからも敬遠気味で、婚活合コンも不発続きのようです』と明かしている。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

【Sports Watch】松田さんの通夜で放送事故、笑顔でおどけるフジ・アナに怒りの声

8日、群馬・桐生市内の斎場では、34歳の若さで急逝したサッカー元日本代表・松田直樹さんの通夜が営まれ、松田さんの家族や友人、共に切磋琢磨を続けてきた戦友やファン、関係者ら約2000人が参列し、故人の早すぎる死を悼んだ。

だが、その模様を中継したフジテレビ「FNNスーパーニュース」では、あろうことか、現地に赴いた梅津弥英子アナウンサーが笑顔でスタッフと談笑するシーンがカメラとマイクに拾われてしまった。

中継では、松田さんの母・正恵さんが、マリノスサポーター＆松本山雅サポーターに向け、それぞれ感謝を込めて作成したというポストカードを紹介した梅津アナ。その後、中村俊輔がマスコミに向けコメントする場面に映像が切り替わり、再びカメラが梅津アナを映し出した瞬間、「入ってないの？うっそーん」と笑顔でスタッフと話している様子が電波に乗ってしまった。

これに気付いた梅津アナは、すぐさま「あっ、大変失礼致しました」と言いかけたが、いい

終わる前には、次の場面に映像が切り替わってしまうというお粗末ぶり。

放送事故により、意図せず現場のやり取りが映ってしまったとはいえ、緊張感なく笑顔でおどける様子を露呈した梅津アナには、ネット上でも、「なぜ人の不幸を笑うのか。通夜で笑ってスタンバイなんて最低」、「しかしフジはわざとなのか社員の質が悪くなってるのかわからんな」、「きっとアナもスタッフも軽口の飛び交う笑い声に溢れた楽しい撮影現場だったんだろうね…若くして亡くなったお通夜の会場で」、「こいつらカメラが回ってないところではこんなもんだろ」、「フジというかこのリポーターはプロ意識も人としての倫理感がないんだね」といった怒りのコメントが次々と寄せられた。

【Sports Watch】香川の先取点、本人は“浮かせた”!?

10日、札幌ドームで開催されたキリンカップ2011では、宿敵・韓国代表を相手に、香川真司の2ゴール&本田圭佑のゴールと3-0で大勝した日本代表。同夜、TBS「NEWS23X」には、守護神・川島永嗣が生出演を果たした。

韓国戦では37年ぶりという3得点を叩きだした日本代表。その強さを、「今日は短い時間の中で選手が集まった中でも、イメージが守備も攻撃も共有できていた」と振り返った川島は、「一人一人が凄い意識を高くやっているの、それがチームの力になっているのかなというのは凄い感じます」と語る。

また、ゴールキーパーの立場として所感を求められると、「攻撃の部分でも本当にストレスなく後ろから見てられるし、守備の面でもかなり組織的に皆の意思が感じられる守備の仕方もできている」と絶賛。「最後の時間帯は攻められた」と課題も口にしつつ、香川の先取点時、相手DFをかわしてゴールを決めた場面について、「(香川は浮かせた)って言ってましたけどね、ロッカールームで。(相手に)当たってるような、あははは」と、ロッカールームでのやり取りを明かし、笑顔を見せた。

【Sports Watch】奇跡の同点ゴール、澤が感じた不思議な感覚とは？

12日深夜、フジテレビ「すぽると!」では、サッカー女子日本代表・澤穂希のインタビューが放送された。

女子W杯で歴史的快挙を成し遂げたなでしこジャパンだが、ドイツ戦、アメリカ戦など“奇跡”とっていい勝利の連続だった。

「今までもサッカーの神様はいたんですけど、今まで以上に感じたのは、あのワールドカップで、もう一生お願い事はしないんで、とにかくこの一試合だけ勝たせて下さいというお願いをして。で、ドイツに勝ったじゃないですか。ヤバイ、一生分使っちゃったって、皆で言ってたんですけど」。そう振り返った澤だが、アメリカ戦では一度は追い付くも、延長戦で

再び勝ち越され、選手は精神的にも肉体的にも限界を超えていた。

それでも、延長後半 12 分に値千金の同点ゴールを叩き込んだ澤は、「不思議とというか。マラソン選手が行き切って、ランナーズハイみたいになるじゃないですか？ああいう感じだったんですよ。自分の中では結構マックスを超えてて、限界とかって自分で決めちゃうものだと思うんですけど、でも、やっぱり限界はないというか、やれるんだなと」と話した。

また、ゴールを決めた場面について、「走り込んだじゃないですか。無心だったんですよ。でも、当たった時に、なんか、あれちょっと“あ”みたいな感じだったんですよ。入ったかどうかとも分からなかったんですけど、歓声でワットとなって、ゴール見たら入ってて。あの一瞬がフワフワって感じで、よく分かりません。なんか降りてきたんですよ。見えないんですけど。言葉で表すのは難しいんですけど」と明かした澤は、「でも、本当だと思いますけど、しんどくて、諦めようと思えば、絶対諦められる場面もあったし、諦めることは簡単ですけど、やり切るとか、最後まで諦めないとか、簡単にできそうで、なかなか難しいんですけど。それをやり切った後にはいい結果が待ってる」とも語った。

【Sports Watch】ガチでかわいい東海の爆走娘

世界陸上の開幕が 8 月 27 日に迫っている。

日本勢の躍進、メダル獲得に期待がかかるが、W 杯優勝で一気に注目度が増したなでしこジャパンに負けず劣らず、陸上日本代表女子にも美人アスリートは存在する。

筆頭は 4×100 メートルリレーに出場する市川華菜（20 歳）。各種メディアでも美女スプリンターとして度々紹介され、ネットユーザーの中でもガチでかわいいと評判だ。まさにアイドル並のルックスで、颯爽とトラックをかける様は、甘く爽やかな風がスッと吹き抜けるようである。

愛知県豊田市出身の市川は、中学時代に陸上を始め、高校時代はそれほど目立った成績を残せていたわけではなかったが、中京大進学後にその才能が爆発。2010 年には世界ジュニア陸上競技選手権大会の日本代表に選ばれ、女子 200m で日本人初となる決勝進出を果たした。

「東海の爆走娘」の異名を取り、能力的にもルックス的にも絶賛成長中のスプリンターが、この夏、日本を熱狂に導く。

【Sports Watch】西岡のエラーにチームメイトがブチキレ状態で大暴れ

クリーブランドで行われた MLB 公式戦、インディアンス×ツインズ（現地時間 12 日）の一戦は、西岡剛が 2 安打 2 打点でチームの全得点を叩き出す活躍を見せたが、如何せん守

備が伴わず――。

6 回には、エラーこそ付かなかったものの、内野ゴロを捌けず安打にすると、続くゴロでも併殺に失敗。挙句の果てには、同点となるエラーを喫し、チーム敗戦の戦犯に挙げられた。

また、西岡の守備には、先発したカール・パバーノも激怒。西岡がエラーをした瞬間には、自らのグローブを拳で殴り、その怒りを露にすると、チェンジになった際には、ベンチに帰る途中でボールをグラウンドに叩き付けた。さらに、ベンチではドリンクが入った大きなボトルを壁に投げつけるなどブチキレ状態で大暴れをしたのだ。

これには、ネット上の掲示板でも「ショートは日本人無理なんじゃ」「ショートはメジャーで花形のポジションだからな」「日本代表にも選ばれない守備力レベル」「擁護できないレベルの下手さ加減」「松井稼といひ日本で守備の名手だった奴が何で劣化するんだ？不思議」といったコメントが寄せられた。

・ Baseball Journal (ベースボールジャーナル)

【Sports Watch】松坂大輔「もう勝ったと思って寝るわ」→大逆転負け

15 日、全国高校野球選手権の 3 回戦において、まさかの逆転劇が起こった。

大会本命・横浜高校が 9 回ツーアウト「あと 1 球」というところまでリードをしていたが、満塁の場面で智弁学園の代打・西村竜治が同点打を放つと、これまで沈黙していた打線が突然火を噴き、大量 8 得点。同校は逆転勝利で 16 年ぶりの 8 強に進出した。

「甲子園には魔物が棲んでいる」と言われている通り、試合終了まで何が起こるか分からないのも高校野球の魅力だろう。だが、そんな甲子園の怖さを誰よりも知りながら、試合の途中でリードをしていた母校の勝利を信じ、就寝してしまった男がいた。

横浜高校で数々の伝説を築き上げた、現ボストン・レッドソックスの松坂大輔である。

横浜の試合前、福岡ソフトバンクホークス・大西宏明とツイッターを介して会話をしていた松坂は「こっちは 0 時を過ぎたんだけど…。寝ても良い？」、「横浜の試合が気になるから 3 時くらいに一回起きるわ。ほなっ！」と呟き、大西も「3 時間後に起こしてあげるねっ(笑)」と返しつつ、試合が始まれば「あれ？始まってんのに…爆睡かいな？一点先制しとんで～」と松坂にメッセージを送っていた。

すると、これにリツイートした松坂は「もう勝ったと思って寝るわ…。限界ですから…。次

に起きた時に勝っている事を願って(●>π<)ノ See you」 と綴り、就寝した様子。

しかし、前述した通り、智弁学園が大逆転に成功すると、大西も「油断して洗濯物干してたら…… スゴい事になってるやないか〜。((((;° π°)))))))」これが高校野球☆ だから、まだ9回裏から目が離せない」とツイート。寝てるであろう松坂には「起きたら、ビックリするやろな…(-。-;“」と呟いた。

その後、起床した松坂は、この結果を知り「昨日の横浜の試合…。柳くんのピッチングを見ていたらそのままイケると思ったんですけどね…。今年のチームは僕たちの時のように二年生が多いようなので、来年に期待ですね。三年生は本当にお疲れ様でした…」とツイート。まさかの逆転劇、そして、敗れた後輩達に気を遣ったのか、多用している絵文字の使用も控え、労うようにメッセージを送ると「最後まで分からない…。確かにそうですね。自分たちの時もそういう試合はありましたからね」と語った。

【Sports Watch】李がなでしこ・丸山をダメ出し 「まだできる余地がある」

今年1月、アジアカップ決勝戦で決めたボレーシュートが代表初ゴールとなった日本代表のシンデレラボーイ＝サンフレッチェ広島・李忠成。13日放送の日本テレビ「Going! Sports & News」では、10日に大勝した韓国戦翌日の李にインタビューを行った模様を伝えた。

香川真司の先制点をアシストするなど、勝利に貢献した李だが、試合の感想を訊かれると、「正直、本当に悔しいですね。もっと自分のプレーを出せたなという気持ちでいっぱい、まだまだ物足りなさっていうのを、すごい感じているし。日本代表として、ベスト8、(ベスト)4、優勝を本気で思っているの、それを考えた時に、まだまだ世界一のチームとしてのFWっていうのに、自分は物足りないって思います」と満足できない様子をうかがわせた。

また、李は9月からスタートするW杯3次予選について、「簡単な試合はないってことは思ってます。初戦勝てれば、プレッシャーもなくなって、自分達の思っているようなサッカーができると思うので一番大事なのは初戦」と意気込んだ。

インタビュー内では、なでしこジャパン・丸山桂里奈に男子代表に関する質問を、李には女子代表に関する質問をぶつけるという企画が行われたが、「丸山のゴールパフォーマンスについて」と訊かれた李は、50点を付け「まだできる余地がある」とダメ出し。「丸山さんがAKB好きなら、皆で“I want you”とかやって貰っちゃっても。そしたら100点あげます」と話した。

さらに、「女子チームの中で話題になっている女子」という問いには、「川澄選手のループシ

ュート」と回答した李。「あれはすごい。川澄選手のループシュートか、名古屋の監督のストイコビッチのループシュートか、どっちか」（2009年10月のマリノス戦では、ピッチの外に出たボールをストイコビッチがダイレクトで蹴り返し、ゴールにたたき込むというシーンがあった）といい、笑った。

・ピクシー芸術弾？に拍手喝采！も退席処分に - 2009年10月19日

【Sports Watch】なでしこ・丸山の母が語る、子育ての秘訣

18日、サッカー女子日本代表の監督、コーチ、選手、スタッフ35名に国民栄誉賞が授与され、その副賞には、日本の伝統工芸品でもある熊野筆（化粧筆）が進呈された。

なでしこジャパン・丸山桂里奈は、報道陣から化粧筆が贈られた理由を訊かれるや、「ど・・・、なんなんですかね？なんだと思いますか？私もちょっと分からないんですけど」と素直に答え、国民栄誉賞の副賞とはいえ、化粧筆が贈られたことには困惑した表情を見せた。

19日放送のTBS「みのもんたの朝ズバッ！」では、そんな丸山の母・慶子さんの談話を紹介。「国民栄誉賞受賞者を育てる秘訣」を訊かれると、「特別こういう育て方をしたというのは、特にないんですけどね」と答えた慶子さんだったが、「やっぱり愛情は注いでました。あと、隠し事はしないで何でも話し合える、そういうあれはありました」と語る。

千葉県民栄誉賞、東京都栄誉賞など、なでしこジャパントップの9つの賞を受賞した丸山は、着うたで歌手デビューをするなど、タレント並みの活動も行うが、VTRの最後には慶子さんも「国民栄誉賞トゥーユー」という歌で娘を祝福した。

【Sports Watch】やっぱり“持ってる”佑ちゃん、「最低の走塁」に助けられた!?

20日、北海道日本ハムファイターズ×オリックスバファローズの一戦では、斎藤佑樹が登板し、5回を無失点におさえて4勝目を挙げた。

1点のリードで後続に後を託すも、6回のオリックスは、荒金久雄の犠牲フライですぐさま同点に追いつき、斎藤の白星を奪ったかに思われた――。しかし、なんとここで三塁ランナー・バルディリスのスタートが早いという裁定によりアウトが宣告され、結果“持ってる男”斎藤が勝利投手となったのだ。

同日、TBS「S1」番組内「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーに登場した野村氏は、「日大三高おめでとうございます。よく打つね、しかし」と切り出すも、斎藤については「佑ちゃん、なんか持ってる。さっきのね」と苦笑い。

「タッチアップが早くてアピールでアウトなんてのは、2年に一回あるかないかのプレーだ

よ。あれはダメだな。あの外人の選手。最低の走塁ですよ。結果的には悠々セーフなんだよ。どうしたんだよ。急いで離れて」とダメ出し。

また、「他に“持ってる選手”はいますか？」と訊かれた野村氏は、「いる。マー君。僕は彼が高校生で入ってきたとき、二軍で育てるか、一軍でいきなりやるかってことで色々迷った末、ピッチャーもいないし、数も足りないし、一軍で育てようってスタートして、出ちゃノックアウトが3試合くらい続いた。ところが不思議に見方の打線が爆発して黒星が付かないんだよ。これは何か持ってるな。『マー君、神の子、不思議な子』は、自分でもビックリするくらいスッと出たんだよ」と答えた。

【Sports Watch】かつての輝きを取り戻した“高橋尚子2世”

世界陸上開幕まで約1週間、テレビを中心に徐々に露出が増え、ちまたでもにわかに盛り上がりを見せてきた。

メダルを狙える粒ぞろいの日本代表女子選手団の中で、今回の注目は5000mに出場する新谷仁美（23歳）。今大会が社会人6年目にして初の世界陸上挑戦となる。

新谷は高校時代から日本女子長距離界の未来を背負って立つ逸材として注目され、全国高校駅伝ではエース区間と言われる第1区で3年連続して区間賞を獲得するなど、驚異的な強さで数々の記録を残してきた。その颯爽たる走りは「高橋尚子の再来」と言われ、高校卒業後は高橋を育てた小出義雄に師事し、佐倉アスリートクラブに入部した。

しかし、その後の5年間は記録が伸び悩み、かつての圧倒的な強さが鳴りを潜めた。「正直心が折れた」と吐露するほど、長くて暗い苦しい時期を過ごした新谷だったが、今年に入ると調子が好転。走りに力強さが戻り、ついに世界陸上への出場権を得るに至った。

世界陸上女子5000mでの日本勢の入賞は、過去に1997年大会8位の弘山晴美しかいない。挫折を経験し、それを乗り越えたことでさらなる強さを身につけた新谷が、その歴史に新たな1ページを刻む可能性は十分だ。

●写真で追う！女性アスリート

【Sports Watch】自らの悪事を堂々とブログに掲載する高校球児達

日大三高の優勝で幕を閉じた、第93回全国高校野球選手権大会だが、球児達の熱戦に泥を塗るあきれするような問題が発覚した。

22日、青森県勢として42年ぶりに決勝へと駒を進めた光星学院の野球部員3名が、昨年末に飲酒をしたとして同校が処分を発表したのだ。

飲酒発覚のきっかけは、なんと本人達が自らのブログに書き込んでいたという軽率極まりないもの。この事実が掲示板上で話題になるや、まとめ系ブログでも相次ぎ紹介され、広まった。

それだけではない。

奇しくも同日、同じく甲子園に出場した名門校のエースが、自身のブログでプロ野球チームから商品の提供を受けたかのような記述をしていたことも明らかとなり、ネットでは「栄養費をもらっていたことをブログで暴露」などと、こちらもまた大きな話題となった。

栄養費とは、プロ野球界用語で、入団前のアマチュア選手に球団側が“栄養費を支援する”という建前で金銭を渡すこと。いわゆる裏金である。2004 年、現ヤクルト・スワローズの一場靖弘が、巨人から総額約 200 万円の現金を与えられていたことが明るみになると、同球団は、関係者 4 人を解任、渡邊恒雄オーナー、堀川吉則会長は引責辞任をするに至る大問題へと発展した。

今回“栄養費授与疑惑”が持ちあがったのは、今年 5 月、前述した球児がアップしたとされるブログにある。

すでに該当するブログは削除されているものの、ネットで世界中に情報を発信できる現代、甲子園出場校の選手達が飲酒した事実を堂々と明かしたり、具体的な球団名とともに商品提供を受けたことを書き込むなど——、（後者が事実であれば、むしろ球団側に非を問うことになるが）高野連は野球以前に球児達の情報リテラシー教育から取り組む必要があるといえよう。

【Sports Watch】ビーチバレーで写メ解禁も「喜ぶファンなんていない」

今月 1 日、日本ビーチバレー連盟は、公式サイト上で「携帯電話による写真撮影解禁」とし、「これまで禁止となっていた大会での写真撮影を、携帯電話に限り解禁」（同サイトより）すると発表した。

ビーチバレーファンには待望の写真撮影解禁となったが、“携帯電話のみ”という制限に首を捻るファンも多いことだろう。そんな折、23 日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（9.1 号）は、『浅尾美和「写メ解禁」までの仁義なき股間攻防戦「食い込み狙いパパラッチが軟禁された！』と題し、その周辺レポートを掲載した。

2007 年からビーチバレーの一般撮影は禁止になったが、浅尾美和をはじめとする人気選手

をあけすけなアングルで狙うのは、何も一般ファンだけではない。同誌にコメントを寄せるスポーツライターは、「数年前には夕刊紙のカメラマンがあおむけに近い形でローアングルから浅尾を撮り続け、掲載された写真も股間の開脚を強調するものでした。その社は以後、大会への出入りを禁止になっています。とはいえ、他のスポーツ紙カメラマンだって、どこも似たような撮影をしていますけどね」と話す。

また、スポーツ紙記者も、「撮影禁止となつてからは、浅尾にガードマンが付くほど嚴重態勢でした。それでも、例えば東京・台場の大会では会場近くのショッピングセンターの上階からカメラ小僧は彼女を盗撮し続けました。すると主催者サイドは、上から撮影できないよう、スタンド席で“目隠し”を作つて防御したんです」と振り返る。

このように、数多の攻防を繰り返し、いよいよ解禁に至つた一般撮影だが、連盟関係者は、「事前許可制のため、約 250 人が登録をしたとの話でしたが、大会 2 日目に浅尾の試合を撮影したファンは 10 人ほどしかいませんでした」という現状を明かす。

さらに、同誌にコメントするカメラ小僧は、「ケータイのカメラなんかじゃ、股間のアップはおろか、動いている試合中の写真なんか撮れるわけないよ。ケータイで撮影して喜ぶファンなんていないしね。正直、もう浅尾の“股間価値”は大暴落してるよ。結局、草野歩 (26)、松山紘子 (25) とパートナーを代えても結果の出せない浅尾の実力不足は明らかで、オリンピックに出場する可能性もなさそう。人気低迷で、苦肉の策として今回の決定なんだろうけど、ほとんどの海外の大会じゃ、そもそも撮影規制なんてないし、日本のように高い入場料だって取らないっていうのにね・・・」と冷ややかに語るのだった。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

世界陸上期待の逸材＝Ｑちゃん似の中里麗美とは？

韓国のテグを舞台に開幕する世界陸上競技選手権大会がいよいよ今週末 27 日に迫ってきた。

日本人選手が登場する競技の中でも、ことさら注目を集めるのは、大会初日の午前中に行われる女子マラソンだろう。

過去 2 大会では、いずれもメダルを獲得しており、今大会に出場する尾崎好美 (第一生命)、赤羽有紀子 (ホクレン)、野尻あずさ (第一生命)、伊藤舞 (大塚製薬)、中里麗美 (ダイハツ) は否応なしに国民の期待を背負うこととなる。

中でも、1988 年生まれで女子マラソン代表最年少＝23 歳の中里麗美は、愛くるしい笑顔で選手団を明るく盛り上げるムードメーカー的存在だ。実力は底知れず、今大会でもシンデレラガールとなり得る逸材である。

群馬県は太田市立商業高校の出身で、ダイハツ陸上部に所属する中里。初のフルマラソンは、なんと昨年開催された名古屋国際女子で、この時はレース前にヒザを痛めながらも、2 時間 34 分 29 秒のタイムで 12 位につけている。

今年 2 月に、第 2 回横浜国際女子マラソンに出場すると、選考基準を上回る 2 時間 24 分 29 秒という好タイムで尾崎に次ぐ 2 位に。その後、見事代表に選出され、世界陸上の大舞台へと一気に駆け上がっていった。

所属するダイハツの CM をもじって、「TNP（とてつもない・中里・パワー）を見せたい」と意気込むこともある中里。高橋尚子に似ているという声も少なくなく、TBS の番組内では、キャスターを務める高橋自身、「(メダルを) 狙える」と太鼓判を押している。

・陸上～注目の女子アスリートフォトはコチラ

【Sports Watch】“五輪の時もずっと彼はいた”高橋尚子の仰天デートとは？

21 日、TBS「ホンネ日和」では、シドニー五輪女子マラソン金メダリスト・高橋尚子と、日本人初となる 400m ハードルの銅メダリスト・為末大が、対談した模様を放送した。

シドニー五輪は共に出場している二人。選手村の話題になると、「私も気になってて、マラソンって、なかなか選手村に入らないんですよ」と切り出した高橋は、「(選手村は) 陸上選手だけじゃないじゃないですか？そういう時に、そこで出会いがあったりとか。谷さんとかも、そこで知り合ってっていうきっかけがあるじゃないですか？そういうの、あるんですか？」と興味津津。

「選手村婚って多いですよ」と同調した為末は、「合コン的なやつはないけど、選手村の食堂に入ってきて、何日間も一緒にいるから、だんだん仲良くなってきて、僕も水泳選手と話したのはその中だったりするし、そういう意味じゃ出会いが多い。それを逸してますね、マラソンの選手は」と語る。

すると、今度は「女子の長距離選手って(恋愛に) タブーのところあるじゃないですか？」と逆質問した為末。「もし付き合ったりしたら、内緒じゃないと怒られちゃう感じですか？」と尋ねると、高橋は「チームによると思いますね」と前置きしつつ、「基本的にずっと内緒でした。オリンピックの時も、その前のアジア大会の時も、ずっと彼はいたんですね」と明

かしたが、そのデートは「私は、休みでも2時間走らないと、どうしても気が済まない人だったんで、会ったら一緒に2時間走る。デートの半分は走っている」という、とんでもない過ごし方だった。

■陸上～注目の美女アスリート関連リンク

- ・世界陸上期待の逸材＝Ｑちゃん似の中里麗美とは？
- ・かつての輝きを取り戻した“高橋尚子2世”新谷仁美
- ・ガチでかわいい東海の爆走娘＝市川華菜

北京五輪断念～どん底から復活を遂げた22歳・絹川愛

27日、韓国・テグを舞台に世界陸上競技選手権大会が開幕する。

注目選手の一人は、女子5000メートルの絹川愛だ。1989年8月生まれの22歳で、ミズノトラッククラブに所属する絹川。中学時代より、中距離走選手として活躍すると、高校時代には名門・仙台育英で駅伝やクロスカントリーに出場。3年生の時には、10000mでジュニア日本記録を更新し、世界陸上・大阪大会にも出場している将来を嘱望されたアスリートであった。

しかし、そんな彼女に過酷な現実が待っていた。

2008年6月、中国・昆明の合宿中にウイルス感染し、日本選手権を欠場。必然的に8月の北京五輪出場も断念することになると、以後、原因不明のめまいにも悩まされ、北京五輪という大舞台出場を棒に振ったことも影響し、身も心もボロボロの、まさにどん底の状態が続いたという。

だが、今年3月、東日本大震災が、仙台育英出身の絹川に変化を齎した。今年6月の日本選手権で女子5000mに出場すると、15分9秒96の自己ベストを叩き出し完全復活。出場標準記録Aをクリアし、晴れて世界選手権出場を内定させたのだ。

先月末に放送された、フジテレビ「すぽると！」のカメラには、「まともな生活が送れるのかって悩んだ時期もあったし、あとは、競技者にもう一回復活できるのかって悩んだこともあったし、走れることとか、また世界に挑戦できることが本当に幸せです」と語った絹川。世界陸上の先には、出場がかなわなかった五輪の舞台が待っている。

■陸上～注目の美女アスリート関連リンク

- ・世界陸上期待の逸材＝Ｑちゃん似の中里麗美とは？
- ・かつての輝きを取り戻した“高橋尚子2世”新谷仁美

・ガチでかわいい東海の爆走娘＝市川華菜

【Sports Watch】W 杯 3 次予選＝日本×北朝鮮戦に向け、代表選手が言い争い!?

日本テレビ「Going! Sports&News」(27 日放送分)では、サッカー北朝鮮代表でボーfum所属のチョン・テセと、VVV フェンローの吉田麻也 & カレン・ロバート、そして、テセと同じくボーfumに所属する乾貴士 の 4 名が行った食事会の模様を放送した。

セレッソ大阪時代、香川真司とはチームメイトだった乾。食事会で昨今の香川の活躍を訊かれると、「悔しさもやっぱりあるんで、タレント豊富な(日本代表の)中に自分も入っていききたいというのはありますし、真司にも負けてられないって気持ちは持っているんで(日本代表に)入っていききたいですね」と意気込み、また、VVV フェンロー加入後、目覚ましい活躍を見せるカレンは、「乾選手を超えないと次のステップにいけないので、乾選手より上の結果を出します。チャンスが少ない中で確実に。半年で 5 点決めたので、狙ってますよ、冬に(移籍を)。プレミアリーグ」と、会の序盤からプレミアリーグ移籍(目標)を宣言するなど、選手の本音が飛び交った。

また、9 月 2 日に行われる W 杯アジア 3 次予選初戦＝日本代表×北朝鮮代表の話題になると、ここでは、テセと吉田が互いの意地を剥きだしに言い争うようなやり取りも見られた。

「僕は北朝鮮代表であることを誇りに思ってるんで、だからこそ生まれた国、日本と対戦するのは大きな意味ある。自分の人生において有意義だし、自分の人生を表現したい」と語るテセは、その後も「左サイドでマッチアップするであろうディフェスが座っている」と吉田を挑発。

これには、吉田も「いや～、見て分かるように(テセが)かなり気合入っているんで」と苦笑いを見せたが、テセが「マジ気合入ってる」と話すと、「僕もテセさんにだけは、絶対やられたくない」と切り返す。

その後も、テセが「麻也は 5 回抜きます」といえば、吉田は「テセさんに(シュート)コース切って外させて、悔しさの雄叫びを叫ばせたいっす」と言い返す。

すぐさまテセが「切り返して抜きます」と被せると、カレンが「ちょっと何ここ」とツッコミ、「試合前みたいになってる」という吉田の言葉に爆笑する一同だったが、北朝鮮代表の若手が成長著しいという話になると、やっぱりテセは「なめちゃいけないね」と真顔で語り、日本戦に向けた並々ならぬ思いを感じさせた。

【Sports Watch】お茶の間騒然、超絶美貌の“バービー人形”アスリート

韓国・テグで開催中の世界陸上 2011。ウサイン・ボルトが 100m 決勝で失格した翌日には、

室伏広治がハンマー投げで金メダルを獲得するなど、連日驚きを伴った熱戦が繰り広げられている。

そんな折、大会2日目となった8月28日には、超絶美貌の女性アスリートがお茶の間の視線を釘付けにした。走り幅跳びのダリヤ・クリシナ（ロシア）だ。

180cm、57kg の完璧なスタイルは“バービー人形”と称され、スーパーモデルかと思間違ふほど。実際、すでに大手マネジメント会社と契約を結び、NIKE も期待の美人アスリートとしてゴリ押ししている。

決勝では自己ベストに届かず7位に終わったが、その実力も折り紙付き。今年チェコで行われたU23ヨーロッパ選手権では金メダルを獲得し、ロシアの走り幅跳びでジュニア記録も持っている。

母国ロシアでは、美人アスリートは大成しないという「アンナ・クルニコワ症候群」なる造語もあるほどだが、クリシナはそのジンクスを破る逸材として期待されている。今夏の挑戦は終わったが、来年のロンドン五輪で、再びその美貌と華麗なジャンプを披露してくれることを心待ちにしたい。

・ダリヤ・クリシナ フォト

【Sports Watch】星野楽天、今オフに再び大型補強の噂

ペナントレースも大詰めを迎えているプロ野球界だが、盛り上がっている様子がいまいち伝わってこないばかりか、その話題は早くも今オフの契約更改や移籍に関する、「いわゆる「ストーブリーグ」へと移っているようだ。

そんな折、30日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（9.8号）では、『プロ野球がつまらなすぎるッ！』という見出しで「ストーブリーグ」の展望を伝えている。

同誌にコメントするスポーツ紙デスクは、FAの目玉を「当然、FA権を取得している選手の調査を開始しています。先発としてはソフトバンクの杉内俊哉(30)、主軸としては横浜の村田修一(30)に興味を示している」とし、同じく球界関係者は、AクラスとBクラスをいたりきたりしている巨人について「わずか1勝（8月27日現在、以下同）と期待を裏切ったグライシンガー(36)のクビはわかりますが、4番としてチームの功労者だったラミレス(36)もチームを去ることになりそうです。みずからパ・リーグ移籍を熱望しているといひます」などと、それぞれ展望を語っている。

また、開幕前は大型補強により期待を集めた反面、思うような結果を残すことができないでいる星野仙一監督率いる東北楽天ゴールデンイーグルスも、今オフには再び大きな補強がありそうだ。

同誌に登場した球界関係者曰く、「いや、星野監督はまだ経験のない日本一達成の野望に固執しています。今年は補強の目玉・岩村明憲(32)が打率1割7分8厘、本塁打0と大誤算。しかし、星野監督は『俺が獲った選手じゃない』というスタンスで気にしていない。それどころか、オフには得意の大型補強をまた敢行する腹づもりです」といい、今オフに星野監督が獲得を狙っている選手は、ズバリ川上憲伸(36)だという。

前出の球界関係者は「ブレーブス時代の過去2年は8勝22敗。年齢を考えれば、川上が野球を続けるには日本球界に戻るのがベストです。星野監督は『まだ2桁勝てる力はある』と豪語しています。他の球団が獲得に名乗りを上げて、明治時代の後輩で、中日時代には師弟関係だった強固な結び付きには対抗できないし、川上自身も断れないと言われます」と語るほど。その他にも、「低レベルな新人王争い」や、やくみつる氏が語る「人気低迷の理由」などプロ野球界にメスを入れている同誌。詳しくはこちらをチェックしてほしい。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

【Sports Watch】澤、今後を語る「指導者は絶対ないですね」

1日、中国で幕を開けるロンドン五輪アジア最終予選に臨むサッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。29日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、番組キャスターを務める嵐・櫻井翔が、澤穂希にインタビューを行った様子を伝えた。

W杯制覇について、改めてコメントした澤。「帰ってきて一カ月経って、やっとというか、随分前のことのような気がしますね。丸一日オフがなくて、どこに行っても“澤だ、澤だ”みたいな感じで」と語る一方で、帰国後にその生活環境が一変した戸惑いも垣間見せ、著名人の先輩＝櫻井に「全然関係ないですが、(変装とか)ばれませんか？」と尋ねる場面も。櫻井は「マスクと帽子が最強のパターンだと思ってたんですけど、それで気付かれてからは、諦めて野面で歩いています」と答え、変装していないことを明かす。

また、国民栄誉賞について、「正直、ビックリして、よく分かんなかったです。みんなもよくわかんなくて」と、再び困惑した様子を見せた澤だったが、W杯優勝で燃焼したのではないかと訊かれれば、「やりきったと思ってたら、サッカーを辞めてると思います。現役でやってる以上は、もっともっとサッカーをうまくなりたいと思いますし、うまくなれると思うので。やってる間はとことん上を目指したい」と意欲を見せた。

だが、櫻井から「現役の今も、次のことをイメージしていますか？」と訊かれるや、「これっていうのがないんですよ。指導者は絶対ないですね。サッカーわかんないんですよ。自分、感覚とタイミング派なんで。子供たちは凄い好きなんですけど、教えたりとかはできないです」と苦笑い。

それでも、アジア最終予選には、「W 杯で優勝したとはいえ、別モノなんです。アジアの大会となると。アジアから 2 枠ですし、W 杯以上にタイトなスケジュールなので、コンディションが本当に大切になってくるなっていうのがありますし、（アジアの）サッカースタイルが似ているっていうのもあるんで、やり辛さもある。中国というアウェーの環境なので、W 杯とは違うプレッシャーがある」と気を引き締め、その最後には「もちろん、金メダルを獲りたいです」と力強く語った。

【Sports Watch】プロ野球でドーピングが発覚？ ダルビッシュは「セ・リーグって話」
『プロ野球でドーピング発覚か。夕方に当該球団が緊急会見の方向。』

1 日の 14 時過ぎ、日刊ゲンダイ・スポーツ担当者が同紙が運営する公式ツイッター上でこのようなツイートをを行うや、掲示板では該当する球団や選手を推測する書き込みが相次ぐなど、その情報は瞬く間に広がった。

すると、16 時過ぎには、北海道日本ハムファイターズ・ダルビッシュ有が自身のツイッターで、「プロ野球でドーピングあったみたいですね(^^;」と呟き、ファンからの質問には「セ・リーグって話。」と答えている。

日本野球機構（NPB）でもアンチ・ドーピングを掲げ、選手には抜き打ちで検査をするなど厳しく取り締まっているドーピング問題。「プロ野球選手はとくに青少年少女たちのあこがれの対象」（NPB 公式サイトより）であり、規律ある行動が求められるだけに社会的責任も大きい。一体どの球団の誰によるものなのか——、数時間後に行われるという“当該球団”の会見を待ちたい。

【17:15 追記】16:59 FNN がドーピング違反者を中日ドラゴンズ・井端弘和であると報じた

【18:15 追記】NPB は井端のドーピング検査で陽性反応が見られた要因を、治療のために使っていた薬にあると発表。井端に過失はなかったとしたが、球団には制裁金 300 万円の支払いを、井端はけん責処分とした

【Sports Watch】井端のドーピング違反問題、フジの報道に疑問の声

1 日、日本野球機構（NPB）は都内で会見を開き、中日ドラゴンズ・井端弘和と内野手に対し、

アンチ・ドーピング規則違反でけん責処分としたことを発表。球団には制裁金 300 万円の支払いを命じた。

だが、井端のドーピング検査で検出されたとされるプレドニゾロンは、井端が慢性的な眼病治療のために使用していたステロイド系抗炎症薬の一つ。2009 年に球団を通じて、薬物の除外措置を申請し、認められていたにも関わらず、再申請手続きを怠ったという顛末だった。

NPB の会見前から、スポーツ紙担当者がツイッター上で「プロ野球でドーピング発覚か」と呟き、北海道日本ハムファイターズ・ダルビッシュ有も「セ・リーグって話」とツイートするなど、ネット上では様々な憶測とともに大きな注目となっていた今回の騒動——、井端の名前が最初に挙がったのは、FNN の報道だった。

この一報を伝えたフジテレビ・FNN スーパーニュースでは、「速報 日本人初 中日・井端選手 ドーピング違反」という見出しで、「日本野球機構と中日ドラゴンズがまもなく会見予定」と大きく報じたのだ。

これには、掲示板でも「ドーピングって選手生命はどう考えても終わり？というか野球界から追放されるレベル？」「井端とはノーマークだったな」「日本人だったなんて予想外だったわ」といったコメントが寄せられるも、球団の申請手続きに不備があったことや、井端に過失はなく、同日のゲームに出場していることが分かるや、今度はフジテレビの報道に疑問の声が溢れ出た。

報道内容自体に間違いはないものの、その取り扱い方が視聴者に過大な印象を与えた感拭えない。同じく掲示板では、「結局フジが大袈裟に騒いだけかよ」「日本人初！ってのがまた」「ほんと犯罪者扱いだなw」「フジwww」といったコメントが寄せられた。

【Sports Watch】体操・田中理恵、兄が学生時代のエピソードを暴露

10 月、東京で行われる世界体操では、兄・田中和仁&弟・田中佑典とともに 3 兄弟で出場を決めた田中理恵。2 日、フジテレビ「すぽると！」では「田中 3 兄弟 SP 対談」と題し、兄弟 3 人によるトークの様子が放送された。

「お兄ちゃんは、形にはまって美しい体操をしている感じがする。教科書に載るような。佑典は綺麗で、かつオシャレやなって一言言いたくなる演技」、その他にも、「ずっと（兄弟を）見ていたから、他の女子の“こういう選手になりたい”というのがない。弟の鉄棒みたいなオシャレ演技したいし、お兄ちゃんみたいな綺麗な線出したいしという気持ちが強い」と語った理恵。

対して、理恵が“美人アスリート”と呼ばれることについて、和仁は「妹が出てるってことで、兄としては嬉しいけど、色んな人に言われても“ふーん”って言って終わり」と素っ気なく、佑典は「美人アスリート。まあ、不細工アスリートよりは、美人アスリートなんじゃないですかね」と語る。

また、理恵の学生時代の様子について、「和歌山の（実家の）時は部屋汚かったです」と明かす和仁。これには理恵も「ここで言う？」と呆れたが、和仁は、お構いなしに「高校の時、髪染めたな。“染めてない”って言ってたけど、染めてたな。で、（父・章二さんから）リモコン飛んできたんだよな。おとんが教師なのに、その生徒でよう染めたなっていうのは、皆思ってたよ」と暴露を続けた。

・田中理恵 写真ギャラリー

【Sports Watch】大先輩・大八木、大畑に「もっかい現役やらなアカンわ」

日本テレビ「心ゆさぶれ！先輩 ROCK YOU」（3日放送分）では、元ラグビー日本代表・大畑大介（99年、03年W杯出場）と、その大先輩・大八木淳史（87年、91年W杯出場）が出演した。

まずは、「代表といえども」というテーマで、今夏、日本を席卷したなでしこジャパンを引き合いに出した大八木。ラグビー日本代表の扱いが、いかに悲慘なものであったかを訴えた。

「W杯行くのも、エコノミーとかね。僕が日本代表でW杯行っても当然でしたもん。FWから行くからデカイ、デカイ、デカイのが続くんです。エコノミーのチケット配るのも、その順番で配られるわけです。5列全部、180cm以上、110kg以上ですわ。エコノミーの席で」と振り返って愚痴をこぼした大八木は「ラグビーやっても、僕らは1円のお金も貰えない時代やった。当時は9時から出社しますよね。18時くらいが退社時間ですよ。そっからグラウンド行って。部費も集められてましたからね」と続ける。

だが、大八木よりも後の代表世代である大畑は「僕は結構古い時から代表入って編成も全部経験してきてるんで。エコノミーだったけど、今はビジネスになったりとか。試合給も出るようになりましたし」と待遇の改善を語るや、大八木は「ビジネスになったの？なにしてんねん、それ」と驚いた様子で嘆いた。

また、現役時代については、「誰もが出来ないことが出来るのに憧れる。そういうことばっか意識していましたね。ずっと」と話す大畑。「ラグビーってなかなか大きくメディアに取り

上げてもらうことがないんですよね。(テストマッチ通算トライ数)世界記録作る時も懇意にしている新聞記者とこの日に記録を作ったら一面に使って貰えるからっていうのを考えながら」と明かし、なんと「僕が世界記録を作った年はサッカーのW杯の年だったんですよね。5月14日っていうのがリミットで、5月14日は母の日で、おかんに観にきて貰って、世界記録作ったら、メチャクチャカッコいいじゃないですか？で、(トライを)三つ取って初めて世界新だったんですよ。三つ取ったんです。その三つ目がそのトライでゲームが終了だったんですよ。残り何秒で。でも、試合終わってから、ヒーローインタビューみたいな感じで“母の日なんで、おかんありがとう”って言ったら、マイクが“ボワーン”ってなっておかんには聞こえてなかったんですよ」という仰天エピソードも披露した。

すると、大八木は突然思い立ったかのように、「大畑はやっぱりもっかい現役やらのアカンわ。まだ走れる。まだ筋肉あんのやから」と進言。しかし、大畑は「やらないです。正直、生まれ変わってラグビーやりたいと思わないですから・・・、ぐらいやり切ったんです、僕は。生まれ変わって、もう一回ラグビーやりたいなっていう気持ちがあるなら、現役まだ続けています」とキッパリ言い放つも、「でも、ラグビー愛してるんやろ？愛してる+現役やろ」と大八木もまた食い下がった。

【Sports Watch】なでしこジャパンにアウェーの洗礼 “練習場にはゴルフボールが——”
ロンドン五輪アジア最終予選に臨むなでしこジャパンは、5日の第3戦で難敵・オーストラリア代表と対戦、1-0でキッチリと勝利を挙げた。

しかし、大会の開催国・中国では、なでしこジャパンに対するアウェーの洗礼が、目に余る酷さで起こっているようだ。6日発売「週刊アサヒ芸能」(9/15号)の『NEWS SHOT!』では、『「記者がバスに乱入」「ゴルフボール地雷」なでしこを襲う中国の非道アウェー洗礼』との見出しで、その周辺情報を伝えている。

中国の嫌がらせについて、同誌にコメントするスポーツライターは、「まずは、8月28日の現地到着早々に、撮影禁止ゾーンに地元中国紙記者が乱入し、専用バスでくつろぐ日本選手たちを激写して問題になりました。日本メディアも取材規制がかかっていますが、それに対しても『写真を拒絶し、全ての取材を取り消すと脅した世界チャンピオン』と地元紙は大見出しを掲載し、『傲慢だ』と大バッシングする逆ギレぶりです」と語る。

また、サッカーライターは「練習場は外からまる見えになってしまう場所ばかりで非公開にしても意味がない。そのうえ、8月29日の練習場はゴルフ場と兼用。ピッチ上にはボールが地雷のように落ちていて、佐々木監督も苦笑しながら『ファ〜』とゴルフボールをコート外に投げていました。さらに驚かされたのは、タイ戦の前日練習(試合会場)で、『芝が傷むからスパイク禁止』という前代未聞の通達を中国サッカー協会が出したのです。私の取材

経験の中でも公式練習で初めてですよ。でも、選手からは『ズルいけど、試合に勝って見返したい』という声が出ていました」というのだ。

開催地の済南市は、日中戦争の影響もあり、地元の年配者を中心に反日感情が高い。同誌は、「選手はオフの時間でも外出を控えています」とも伝えており、プレッシャーとストレスが日々蓄積する状況下において、なでしこ達は厳しい予選を勝ち抜くことができるのか――。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

【Sports Watch】安藤美姫の熱愛報道もモロゾフ・コーチとの関係は？

フィギュアスケート世界女王・安藤美姫に新恋人か――。先週、女性週刊誌上で男子フィギュアのイケメン選手＝南里康晴とのデートが報じられた安藤。二人で原宿近辺のウィンドーショッピングを楽しみ、その最中には、南里の頬にキスをする場面もあったとされる。

だが、安藤のコーチであり、選手－コーチ以上に“親密な関係”といわれる、ニコライ・モロゾフ氏とはどうなってしまったのか。6日発売「週刊アサヒ芸能」(9/15号)では、『美女のスクランダル台風』という特集内で、『「プロ転向」発言の裏で"2回転"男アクセル モロゾフに隠れてイケメン選手とデート』と題し、安藤の熱愛報道の裏側を伝えた。

今回の報道を受け、同誌にコメントするスポーツライターは、「安藤が03年JGPファイナル優勝、南里が翌年のJGPファイナルで準優勝だったように、昔から交遊があり仲もよく、噂になったこともありました。安藤の母親から見れば、自分と年齢が近く、バツ3で子供のいるモロゾフ氏よりも気心知れた南里くんという思いもあるでしょうね」と語る。

では、安藤とモロゾフ氏の関係は――。スケート協会関係者曰く、「今年6月、今季(11-12シーズン)前半のグランプリシリーズ欠場をはやばやと表明している安藤ですが、それはモロゾフ氏と相談したうえでのプランニングと聞いていました。14年のソチ冬季五輪まで十分に時間はありますからね。また、ほぼ毎日、練習もしているし、今季の新プログラム作りのためにロシアに渡るとも聞いています。もしも彼と破局し、傷心帰国したのであれば、ロシアから引き揚げ、新コーチを探すのが普通でしょう」とのことで、破局説については否定的な見方をしている。

さらに、来季以降、アマチュア以外の活動も視野に入れるという安藤について、スケート関係者は、「彼女自身、まだ今後を決めかねているようで、『注目されるのが早かった分、もう疲れちゃった。世界女王にもなれたから最高の時期に終わりたい気持ちが強い反面、まだこの世界で戦い続けたい気持ちもあるし・・・』と話していました。プロ転向するなら同時に結婚もしたいようで、『でも相手にも都合があるしね。モロモロとね』笑っていたくらいで

すから、本命はモロゾフ氏なんでしょう。彼の子供からも懐かれ、ロシアの国籍を取りかねないほどの勢いでしたから」と明かしているが、今季の初戦となる10月1日のジャパン・オープンでは、安藤の言動に益々注目が集まりそうだ。

・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

【Sports Watch】予選で爆発、「やっぱりかわいい」川澄奈穂美

中国でロンドン五輪予選を戦うなでしこジャパンが、快調に勝ち点を積み重ね、出場権獲得まであと一歩と迫っている。

その原動力となっているのは、川澄奈穂美だ。

澤穂希ら一部主力を温存して臨んだ予選初戦のタイ戦では先制ゴールをあげて重苦しい空気を断ち切り、2戦目の韓国戦では決勝点をアシスト、3戦目のオーストラリア戦では苦しい試合で唯一の決勝点をあげ、勝利に大きく貢献している。

ドイツ W 杯での優勝でフィーバー状態となったなでしこジャパンの中でも、澤に負けず劣らず一躍人気者となったのが川澄である。その愛くるしいルックスにお茶の間の男子は熱狂。メディアもこぞって取り上げるようになった。

そして迎えた今回の予選、中継カメラに大写しにされる川澄の姿には、「川澄、やっぱりかわいい」の声が噴出。試合を放送している NHK も、意図的かと思えるほど川澄のアップを抜いている。

そんな彼女の人気の一つに、極めて「女子らしい」一面があげられる。オシャレが大好きで、チームメイトのネイルを塗ったりすることから「オシャレ番長」と呼ばれているのは有名な話だが、加えて料理、菓子作りが得意、食事も朝昼晩としっかり手作りするという、できた女っぷり。それでいて、「彼氏もいない。合コンもしたことない」という健気さを持ち合わせている。

その猛々しいプレーとはアンバランスな、キュートな笑顔、無邪気な仕草、図ったようなアニメ声で、サッカーファンのハートをがっちりつかんでいる川澄。この調子なら、ロンドンの地でも「やっぱりかわいい」川澄の活躍を拝むことができそうだ。

・川澄奈穂美フォトギャラリー

・なでしこ3連勝！余裕・楽勝の展開に終盤は川澄ちゃん鑑賞会となった件。

【Sports Watch】日本代表が敵地で引き分けも、セルジオ氏「質は高まっていない」

日本時間 6 日、ウズベキスタンの首都タシュケントでは、サッカーW 杯アジア 3 次予選第 2 戦＝日本代表×ウズベキスタン代表の一戦が行われた。

試合は、前半 8 分にジェパロフのゴールで先制を許した日本代表が、後半 20 分に岡崎のゴールで追い付き、引き分けによる勝ち点 1 を獲得。アウェーの地で苦戦を強いられる格好となったが、サッカー解説者・セルジオ越後氏はどのような所感を持ったか――。

試合前にスターティングメンバーが発表されると、自身のツイッター上では、「スタメンが出たな。北朝鮮戦のスタメンから柏木が外れて、阿部が入った。おそらく阿部はボランチで、長谷部と遠藤が流動的にトップ下のポジションに入る感じになると思う。ウズベキスタンはホームだし、北朝鮮よりは攻撃的にくるだろう。しっかり勝ち点 3 を取れる相手だと思うよ」と語ったセルジオ氏。サッカーファン恒例となった同氏の代表戦ツイートがこの日もスタートした。

だが、予想外の展開で日本がリードを許して前半を終えると、「1 対 1 は簡単に抜かれる。左サイドはやられすぎ。芝生も深くて暑そうだし、動きは鈍い。ただ、真ん中にシンプルに入れたらチャンスになる。早めに 2 トップにする選択肢もあるな。阿部を外して、清武を右サイド、岡崎と李の 2 トップで、中央を厚めにしたらチャンスは増えると思うよ」と打開策をツイートした。

そんな試合後には、“総評ツイート”も行ったセルジオ氏。「試合後思い返せば、結果的に優勝したけど、アジア杯も薄氷を踏む試合が多かった。あのときから質は高まっていないということだよ。清武はリズムを変えたけど、ハーフナーの入った意味はあまり感じられなかったな。もっとシンプルに彼に放り込む意識を持つべきだった」と語り、苦言を忘れなかった。

- ・【セルジオ越後コラム】劇的な勝利も、内容には不満だ
- ・【セルジオ越後コラム】W 杯予選初戦はメンタルの戦い
- ・【セルジオ越後コラム】日韓戦、ポジティブすぎるゆえの不安

【Sports Watch】元日本代表・北澤氏「負けなくて良かった」

6 日、サッカーW 杯アジア 3 次予選第 2 戦・ウズベキスタン戦を引き分けで終えた日本代表。ザック・ジャパンは、13 戦無敗となったが、6 試合ぶりの失点を喫すなど、アウェーの地で苦戦を強いられた。

そんな試合直後に放送が始まった日本テレビ「NEWS ZERO」では、元日本代表・北澤豪氏が試合を解説。開口一番、「いや、勝てなくて悔しい思いはしましたが、負けなくて良か

ったなと思いますけどね」と切り出した。

「今日の試合はアウェーということで、相手の攻撃力を警戒して守備的な布陣。特に MF のところで阿部を起用したんですね。トップ下に長谷部を置いたということで、MF には、守備力の高い選手を置いて相手に得点をさせない守りに入った。それが早い段階で失点してしまったことで、全体のバランスが崩れて、相手の攻撃を受け止めるようなカタチになってしまった」と振り返った北澤氏。

また、課題となった前半については、「単調な攻撃。どうしても守備にひかれてしまうので、（攻撃に）出ていく距離というのが長くなってしまっているので攻撃に厚みがなかったですね。前半に関して」と語った北澤氏だが、その総評は、「ゲームの流れでいうと引き分けでよかったんじゃないかと思いますけど。まあ、だけど難しい試合にしてみましたよね。アウェーで一回失ったペースを取り戻すのは凄い難しいんですよ。それができたってことは嬉しいなっていう印象は持ってます。その中でザッケローニが負けないサッカーを築いてきている。打つ手が早いと思いましたね」と評価した。

【Sports Watch】小倉智昭氏、番組コメンテーターに“イラッ”

7日放送、フジテレビ「とくダネ!」では、ロンドン五輪予選に挑むなでしこジャパン&ブラジル W 杯予選に挑む男子日本代表、それぞれの奮闘を伝えた。

だが、スタジオには司会・小倉智昭氏の話し相手となるようなサッカーの知識を持ったコメンテーターはおらず、タレント・南野陽子や、かねてからサッカーには否定的な見方をしてるデーブ・スペクター氏に話を振るしかなかった。

「デーブ、相変わらず（サッカーを）球蹴ってるだけだって言ってましたけど」と嫌味交じりに切り出した小倉氏は、番組内で、なでしこジャパンに対するアウェーの洗礼が紹介されると、「ただ球蹴ってるだけじゃなくて、半ば戦争なんですよ。サッカーっていうのは」と力説した。

だが、この意見に対し「嫌がらせばかりですね。でも、夜中にやったウズベキスタンの試合、なんで PK やらないの？おかしいって。やっちゃえばいいのに最後まで」と反論するや、小倉氏は「そこがホーム&アウェーの勝ち点 3 なのか、1 なのか、0 なのか。そこが面白い駆け引きなんだよ、サッカーの。もうデーブには聞かない」とピシャリ。自ら話を振り、コメントを求めておきながら、軽くイラッとした様子で応答した。

挙句の果てには、「ウズベキスタンは強かったね。個人個人の技術。FIFA ランキングだけじゃない。自分達の国でやる時、本当に変わるんですね。あの人達がそのまま日本に来て、あ

の試合ができるかという、そうはいかない。そこが面白いんですけど。デーブには最後まで分からない。そのうち腹立ってきますよ」と語り、代表戦の所感に、デーブ氏に対する苛立ちを付け加えた小倉氏だった。

【Sports Watch】なでしこジャパンの体質 「苦しい時ほど無理くり笑う」

ロンドン五輪最終予選で 3 連勝を飾り、予選突破に王手をかけたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。7 日放送のフジテレビ「とくダネ！」では、なでしこジャパンを 16 年間追いつけてきたカメラマンで、『なでしこの教え あきらめない心を作る 50 の教え』著者・早草紀子さんの談話を放送した。

「テレビとか雑誌とかでは拾えないというか、そうじゃないところに彼女達の頑張りだったり、らしさだったり、ポリシーだったり、想いだったり、がピッチに溢れている」と説明する早草さん。現在行われている予選について、印象深い場面を訊かれると、W 杯決勝のアメリカ戦でチームを救う捨て身のファールで退場した岩清水梓が、出場停止の初戦でピッチに入らず、人知れずボール拾いをしているシーンを挙げるなど、早草さんならではの視線で紹介した。

また、オーストラリア戦のハーフタイム後、円陣組んだ際、チームのメンバーから笑みがこぼれた場面についても、「軽くリラックスするようなことを誰かが言ったんでしょうね。ああ、これ後半スッと入れるなと思いました」と話す早草さんは「世界チャンピオンになったからじゃないと思います。そういう体質です、彼女達。苦しい時ほど無理くり笑う」と語り、その強さの秘訣を明かした。

【Sports Watch】内田篤人、好きな女性芸能人を前に「真っ白なんですけど」

11 日（日）放送、日本テレビ「おしゃれイズム」には、サッカー日本代表・内田篤人が出演するも、内田が好きだという女性芸能人がサプライズで登場するや、大量の脇汗をかき、目を合わせることができないほどの照れようを見せた。

ドイツのブンデスリーガ、シャルケ 04 で活躍する内田は、ドイツ語について「言葉は分からない方が面白い」と豪語。司会の上田晋也が「試合中、イラッときて、ケンカになりそうになったりとか」と尋ねるも、「僕はもう、流しますね。シカトですね。（やり返してやろうとか？）相手チームからはあるんで、売られたら買います」と答えた。

また、大袈裟に倒れてファールを獲得する、いわゆるシミュレーションの話題になり、「相当オーバーにやったりしている？」と訊かれれば、「ドイツのリーグは結構嘘はないんですけど、J リーグとかみるとファールを痛くないのにすごい痛がったりとかは多いです」と指摘しつつ、「（鹿島時代、内田もやっていた？）疲れている時とか。全然痛くないんですけど“審判、ちょっと待って”って」と、自らの“偽ファール”を明かした。

その他にも、ユニフォーム交換の話しになると、内田は「自分から声かけないので、交換してくれって。断られたら嫌じゃないですか。僕が声かけたのは、一人だけ。長谷部さんの時だけ。先輩なんで、俺から行った方がいいかなって。(長谷部のユニフォームは欲しくなかった?) そんなに・・・」とストレートにぶちまける。

だが、番組ゲストの森泉から「今彼女いる?」と訊かれ、「さあー」と受け流した辺から、徐々に女性の話しへ。芸能人では、「YOU さんが好きです。あの雰囲気。落ち着いている。色々ちゃちゃ入れられても、受け流すのが上手なんですよ。そういうところが好きです」と話すと、スタジオにはサプライズ・ゲストとして YOU が登場した。

目の前の YOU に、まともに目を合わせられない内田は、「すげえ、テレビって」、「まさかじゃないですか。言って下さいよ。(進行を) 続けて下さい」、「真っ白なんですけど。マジ、来てよかったっす。(YOU を) 見れないんですよ。テレビ(モニターで YOU) をずっと見てるんです」など、目は泳ぎ、挙動不審な言動に。

さらに、「さっき、一瞬だけ目が合ったんで、大丈夫です」と照れまくる内田。YOU とツーショットで記念写真を撮る場面では、森泉が内田の腕を取り、強引に YOU の肩に回すと、内田は「うわあああああああ」と悲鳴のような声を挙げたのだった。

■内田篤人の魅力は、フモフモコラムでチェック!!

- ・カワイイ男子アジア MVP の内田篤人さんが僕の母性を猛烈に刺激してきた件。
- ・カワイイ男子日本代表・内田篤人さんに学ぶキッパリお断りする生き様の巻。
- ・カワイすぎるサッカー選手・内田篤人さんの邪悪さがチラチラ見えてきた件。

【Sports Watch】期待高まる、澤穂希の“美少女後継者”

北朝鮮と引き分けたものの、ライバルの中国が敗れたことで、なでしこジャパンの五輪出場が決まった。W 杯優勝から続くなでしこ人気は、これで少なくとも来年のロンドン五輪まで続くことになった。

中国で行われている五輪予選では、タイ、オーストラリア、韓国と3連勝し、続く北朝鮮戦では苦しんだが、W 杯王者の面目を保つ結果を残している。しかし、その試合内容に目を向けてみると、一抹の不安は残る。

現なでしこジャパンは W 杯に臨んだメンバーで完璧にレギュラーが固定されており、タイ戦では澤を温存して若手を起用するなどしたが、案の定チーム力は、がくんと落ちた。

選手層が薄く、世代交代がうまくなされていないことは明白で、一過性なのはなでしこ人気ではなく、そのチーム力なのではないかといぶかしむ声もある。

この状況を受けて、佐々木監督は年内に選抜合宿を行うことを示唆。澤や宮間ら主力は呼ばず、50人近い若手を招集し、代表チームの底上げを図るつもりだという。国内には能力の高いアンダーエイジ世代が多くいることから、うまく引き上げることができれば、ロンドン五輪のメンバーに食い込んでくるような、新たな選手が出てくるかもしれない。

中でも注目したいのは、JFA アカデミー福島に所属するMF・田中陽子だ。ボランチを主戦場とする田中は、男子もびっくりの強烈なミドルシュートを武器とし、中盤の底でゲームをコントロールする司令塔。そのポテンシャルから、澤の後継者に推す声も少なくない、ダイヤの原石だ。

そして、何よりそのかわいいルックスから、ネットの中では同世代の仲田歩夢と並んで抜群の人気を誇る。ロンドン五輪、そしてその先を見据え、次世代なでしこたちの台頭に期待がかかる。

■田中陽子 関連ニュース

- ・高校女子サッカーで注目「次世代なでしこ」は17歳色白美少女
- ・まだまだいるぞ！かわいい次世代なでしこ
- ・【U-17 女子 W 杯：日本×北朝鮮】 リトルなでしこが見事に決勝進出!!!

【Sports Watch】西武・涌井と杉崎美香のスピード破局、その原因は？

7月、埼玉西武ライオンズ・涌井秀章と、フリーアナウンサー・杉崎美香の交際が報じられるも、世間を騒がせたビッグカップルは、僅か3ヶ月のスピード破局を迎えたという。13日（火）発売の「週刊アサヒ芸能」（9.22号）では、『ワイド お騒がせ美女の一大決心』という見出しとともに、「家事も料理もできなくて愛想を尽かされた」と、その裏側を伝えた。

同誌にコメントする球団関係者は、「熱愛報道後に涌井は一軍登録を抹消。二軍での再調整を命じられたんですが、涌井は体を作り直して、投げ込みや調整登板に明け暮れていました。周囲も声をかけづらいほどのスランプですよ。とてもゆっくりデートをしている余裕はなかったと思います」と語り、タイミングの悪さを指摘。

さらに、芸能関係者は、「2人は8月中旬に別れたようですが、涌井のほうは早い段階で、気持ちは冷めていたようですね。破局の理由は仕事でのすれ違いが原因のように言われていますが、実際は杉崎が料理や洗濯や家事が超苦手。涌井は栄養管理までしてくれるようなかいがいしい女性を求めているのに勝手に違ったようです。しかも、杉崎は甘えん坊で、メ

ールを 1 日に何度も送ってくるため、涌井は嫌気がさしたらしいと聞いています」と明かしている。

- ・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ
- ・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

【Sports Watch】「文句言うな」 なでしこ批判でブログ炎上

元アメリカンフットボール選手・河口正史氏。日本人初の NFL プレイヤーを目指したアメフト界の第一人者としても知られる河口氏だが、14 日、自身の公式ブログ「@M a s a」上で、なでしこジャパンに関する記述を行ったところ、ファンの反感を買い炎上した。

「文句言うな」というストレートな見出しで更新されたブログの内容は、なでしこジャパンが戦った中国での五輪予選に向けられたもの。5 行で綴られた同ブログでは、『なでしこリーグの選手が中国での環境に不満発言なんてのがニュースになってました。

「食事が毎日同じもの」

「移動のバスのクーラーが効きすぎ」

だからどうした？って感じですねえ。

ほんの少し前まで「サッカーできるだけで幸せです」って言ってたんじゃないんですか？」と厳しく言い放っている。

米国とは異なり、日本国内では、過去の女子サッカー同様、日が当たりにくいアメフト界において、黙々と努力と挑戦を繰り返した河口氏だけに思うところがあったのだろう——。しかし、同ブログに寄せられたコメントは、「批判は結構ですが、批判する所が違う様な気がします 彼女らは今注目されてるからこそ、こういう記事が出るだけで」「インタビューで現地での出来事について問われた。そしてそれに答えた。単にそれだけではないかと思えます」「炎上マーケティングですか」といった批判的なコメントが 900 件近く寄せられる事態となってしまった。

【Sports Watch】茨城 GG・片岡安祐美、監督一年目は「毎日泣きたい」

昨年 12 月、茨城ゴールデンゴールズ監督を勇退した萩本欽一に代わり、監督を務めることになった 24 歳・片岡安祐美。17 日放送、TBS「バース・デイ」では、社会人チーム初の女性監督して、数多の困難に直面しながら、日々成長を続ける片岡に密着した様子を伝えた。

番組のカメラに、「最初信じてなかった。嘘でしょ、みたいな。また、最後の最後にとんでもない冗談を言ってっていう感じ」と、指名を受けた状況を振り返った片岡は、「無理ですって言ったら、チームがなくなると思ったもん。なくすことはできないと思った。みんな野球好きで、地方から茨城に集まって野球やってるのに。チームなくなるって分かったら、そんなことはできないと思った」と、引き受けた理由を明かす。

また、監督としての経験も知識もなく、「選手残ってくれる人いるのかなと思った。監督になって、辞めていく選手ばかりなんじゃないと思う気持ちもあった」、「自分の練習ばかりに気をとられられないし、全体を見なきゃいけないから。となると、全体ばかり見ていたら自分の練習できないし、不安しかないよ。毎日泣きたいくらい」と弱音ばかりが飛び出す上、年上の男子選手ばかりのチームで不安とプレッシャーに押し潰されそうになる毎日。

7月の練習試合では、片岡の意図が選手に説明されず、岩田紀彦は試合中に激怒。「俺の打席、何なんだよ」とベンチを飛び出してしまうと、その試合後「私、無理だわ。一番上に立つ人間じゃないんだっていつも思う」と、投げやりになる場面も。

岩田とはチームの食事会で和解をするも、その後も、体調を崩すなど身体が悲鳴をあげていた片岡。それでも、練習後、チームのメンバーから「みんなついて行くから」という言葉を貰い、北関東予選で2連勝を挙げることに成功。目標とする全日本クラブ野球選手権出場を果たし、監督就任後、初めて涙を見せたのだった。

■関連リンク

・片岡安祐美のハプニング“ノーブラで練習に行ってた”

【Sports Watch】全治6カ月、代表入りが危ぶまれる丸山にかけた澤の言葉とは？

ロンドン五輪予選の最終戦となった、11日の中国戦で途中出場を果たすも、右膝前十字じん帯損傷で全治6カ月というケガを負った、なでしこジャパン・丸山桂里奈。17日放送、日本テレビ「Going! Sports&News」は、試合から一週間後の丸山を直撃した。

「まあ、焦ってないかと言われれば、嘘になるかもしれないですけど、ケガして落ち込んで、前に進めないし、どっかで自分の気持ちを切り替えて前向きにやらないといけない」と語る丸山は、「オリンピックまで、自分が復帰してから期間があるので、そういうところで今まで以上のプレーを見せれば」と、代表メンバー入りに望みを繋ぐ。

だが、代表の要＝澤穂希も、2004年のアテネ五輪アジア最終予選で、右膝の半月板損傷というケガをしながら強行出場を果たしている。

まさに、澤の存在が心の支えだという丸山。「あの時、澤さんと同じ部屋で、膝のケガに対することを凄い聞いてましたし。私にとって、澤さんの存在って大きいし、澤さんがしてくれる一言が頑張れるかなと思いますね。（中国戦で）ケガした時も凄い早く来てくれたりとか、病院から帰ってきてからも、ずっと部屋にいてくれて。でも、“カリのプレースタイルだったら大丈夫じゃない”みたいな。そんな感じでした。軽いですね」という澤とのエ

ピソードを明かすと、「ロンドンに向かう自分の気持ちっていうのが、本当に凄い強いものがあって、それは誰にも負けないっていうふうに思ってやってきたので、ロンドン五輪のメンバーに選ばれるように、自分が今できることを一生懸命頑張ってる」と前を向いた。

【Sports Watch】次世代美女なでしこ田中、代表入りに「気持ち的には絶対メンバーに入る」
17日深夜放送、日本テレビのスポーツ番組「Going! Sports & News」では、ロンドン五輪金メダル獲得を目指すなでしこジャパンの新戦力候補を紹介した。

同番組のカメラにコメントをした佐々木則夫監督は、「アンダー19にも、素材のいい選手がいます。若い選手から経験のある選手達にプレッシャーを掛けるというのも、一つの強化になると思います」と語っており、新戦力の起用については前向きであることをうかがわせた。

そして、今回、同番組が取り上げたのは、田中陽子と横山久美の18歳・U-17女子W杯準優勝メンバーの二人だ。

現在は、東北震災の影響により、静岡県御殿場市に拠点を移しているJFAアカデミーで練習を積む田中。なでしこジャパン入りには、「行ける可能性はないと言い切れないので、気持ち的には絶対メンバーに入るといことはしたいです」と意気込み、この夏にはイングランドへの短期留学も行っている。

また、十文字中学高等学校のエースとして活躍する横山は、「自分はドリブルが得意なので、世界一のドリブラーになることです。誰が見ても凄いなって思う選手になりたいです」とキッパリと断言。昨年のU-17女子W杯で見せたドリブル5人抜きから、女メッシ、女マラドーナと呼ばれる彼女の代名詞＝ドリブルに磨きをかけていくようだ。

- ・高校女子サッカーで注目「次世代なでしこ」は17歳色白美少女
- ・なでしこ、横山久美のイメージなゴールでファイナルへ！！
- ・【U-17女子W杯：日本×北朝鮮】 リトルなでしこが見事に決勝進出!!!

【Sports Watch】ノムさんが暴露「言っちゃいけないことなんだけど」
17日深夜、TBS「S1」番組内で放送された「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーでは、元東北楽天ゴールデンイーグルス監督・野村克也氏が、同球団のCS進出に厳しい見通しを示した。

「残り試合を考えて、数字から見るとしんどいわね。ただ、これから残り試合、そういう数字とか順位とか、一切頭から離して一戦必勝でやるしかない。天は運に任せて……、運は天

に任せて。すいません」と切り出した野村氏。

同日に行われ、エース・田中将大が登板しながら、痛い敗戦を喫した楽天×埼玉西武ライオンズ戦に触れると、野村氏は「目標は3位ですからね。オリックスと直接対決があと4試合かな。全部勝たなきゃいかん。数字からみると、本当に大変苦しいんだけど、しかも、今日負けてはいけない試合でマー君で負けるっちゃうーのはまた堪えるわ」と語り、また、同試合の5回裏に行われた田中×フェルナンデスの対戦で、田中が審判の判定に露骨ないらつきを見せたシーンを指摘した。

「自分はストライクと思ってる。ところが、スローで見るとボールだからね。だから、審判の方が正しいんだ。ああいうところで、ああいう態度とっちゃ損だよ。普段から審判は味方にしておかないと」と苦言を呈した野村氏だったが、ここで話題を変えると、「これは言っちゃいけないことなんだけど、昔から巨人が審判を味方にするじゃない。あれは無意識なんだよ。なんでかって、審判の人もファンの人にサイン頼まれて、巨人の選手のサイン頼まれてるんだよ。そういうところから」と突然の暴露をした。

- ・田中将大も、わが国を代表するイニング・イーター
- ・楽天のCS進出は無理...そんな体感温度になってしまった田中将大での3連敗
- ・サヨナラ勝ちも渡辺監督の采配ミス！ VS 楽天イーグルス

【Sports Watch】試合から半月、対戦した吉田とテセが激闘の裏側を語る

今月2日、サッカーW杯アジア3次予選、対北朝鮮戦では、後半ロスタイムに吉田麻也が劇的なゴールを決め、日本が勝利を挙げた。

戦前から日本テレビ「Going! Sports&News」番組内のトーク企画の場においても、ライバル心を剥き出しにして言い争っていたのが、吉田と北朝鮮代表チョン・テセだったが、試合から約半月が経ち、同番組の企画で再び対面した両者が、今回の試合を振り返った。

「こんなに人と会いたくないと思ったのは、はじめてだよ」と苦笑いを浮かべるテセ。試合中、吉田とのマッチアップで印象に残ったシーンを訊かれると「ずばり空中戦」と答え、「ボールを受けれるシーン自体が、ゴールキックからの空中戦しかなかったし、麻也とのマッチアップを意識してたから、そこで一番身体の当たりが多くなるのが空中戦だった」と説明した。

実際、前半9分の競り合いでは、大きくジャンプしたテセの右足が吉田の脇腹を直撃しており、当の吉田も「最初の競り合いは、本当にアバラが折れたと思った。傷は消えたけど、傷入ってましたからね。初っ端来たなと思いました」と明かし、激闘の裏側を語る。

また、吉田は、前半 31 分、テセの突破を吉田と内田の二人でボールを奪ったシーンを挙げ、「僕がテセさんを押して、ウッチーが足元をすくいに行く。とにかく、テセさんをノーファールで転ばせて、ダメージというか、“今日、やり辛いな”っていう雰囲気を持たせること。テセさんを強く潰すことで、北朝鮮に“今日は難しいな”っていう雰囲気も必要だった」と説明するや、今度はテセが「ウッチーに削られた傷、まだ残ってんすよね」と明かす。

それでも、「試合中にちょっと喋った」というテセ。二人には「埼玉スタ、静かだねって言って」（テセ）、「僕からしたら、“埼玉スタ静かか？”、“何言ってるんだ、この人”って思って」（吉田）、「全然試合に集中できたし、そういう面ではアウェーの利は日本に少ないかなと思って」（テセ）というやり取りがあったようだが、最後に訪れた吉田のゴールについては「教科書通りのヘディングシュート。腹立ちました。吉田麻也がゴールを決めた。それ、俺の仕事って。悔しかったですね」と、悔しさを滲ませるテセであった。

そんな二人の（日本代表×北朝鮮代表）第 2 ラウンドは、11 月。テセが「もうちょっと自分の特徴を活かしたプレーで対戦したい」と意気込むと、吉田は「テセさんがやりたいことをやらせないのが僕の仕事なので。ブルドーザーとか言われていますけど、意外に駆け引きとかしてくるので、気を付けたいです」と語り、ガッチリと握手を交わした。

- ・ W 杯 3 次予選＝日本×北朝鮮戦に向け、代表選手が言い争い!?
- ・ 劇的勝利！ワールドカップ・アジア 3 次予選、全員のチカラで勝点 3 奪取の巻。
- ・ 北朝鮮戦 「絶対に得点は取れる、という自信が生んだ吉田のロスタイム弾」

【Sports Watch】なでしこ 3 選手が苦言“ 佐々木監督に言いたい事”とは？

17 日深夜、TBS のスポーツ番組「S1」では、「なでしこ 7days」として、ロンドン五輪予選から帰国した彼女達の一週間を伝えるとともに、帰国直後の澤穂希、川澄奈穂美、近賀ゆかり、岩清水梓に対し、「佐々木監督に今だから言いたい事」という質問をぶつけた。

まず、「あれ、書いちゃお」と切り出した澤は、「守備の指示の時に、“前がかり”で行けって言わなきゃいけないのに、“前かがみ”で行けと何回間違いを指摘しても日本語を覚ええないところ」というエピソードを披露、周囲の笑いを誘う。

すると、川澄、近賀、岩清水は、なんと 3 人とも同じ回答に——。その“言いたい事”とは、佐々木監督が指示した“キープの早さについて”だった。

北朝鮮戦では、残り 8 分という段階から“ボール・キープ”の指令を出し、選手たちを戸惑わせたという佐々木監督。近賀は「なかなか体験したことがないというか、ボールキープのあ

の長さは。もうちょっと短い方がいいかなという願いです」と苦言を述べ、川澄もまた「さすがに8分間はキープできないんじゃないかな」と苦笑い。

それでも、自由に意見が言い合えるのもなでしこジャパンの特徴だ。岩清水は「選手の見解を聞いてくれる面はあります」とフォローし、最後は澤が「みんなを和ませてくれるというか、そういう雰囲気にしてくれる監督」と、見事にまとめた。

- ・次世代美女なでしこ田中、代表入りに「気持ち的には絶対メンバーに入る」
- ・「文句言うな」 なでしこ批判でブログ炎上
- ・予選で爆発、「やっぱりかわいい」川澄奈穂美

【Sports Watch】元巨人・桑田氏が、試合中ボールに向かって呟いていた事とは？

野球において、絶対的な得点のチャンスといえるのが、「ノーアウト満塁」というシチュエーションだろう。だが、18日深夜放送、TBS「S1」では、プロ野球解説者・桑田真澄氏が「ノーアウト満塁」を切り抜ける独自の理論を解説した。

「3つのポイントがある」という桑田氏が最初に挙げたのは、「相手の心理状態を洞察せよ」というもの。

「特にバッターは大チャンスですから、何やっても点取れるだろうと隙が出る。もう一つは打たなきゃいけない、点取らないといけないでプレッシャーがかかる。一方、ピッチャーは捨て身になって開き直れるケースがある。ピッチャーとバッターでは心理状態が違う」と説明した。

続いては、「どんなことをしても1アウトを取れ」という桑田氏。「アウトの取り方って結構一杯ある。どういう風にアウトを取るかという戦略を練らないといけない。まずはアウトを一つ取るということ」と補足。さらに、3つ目のポイントには「自分が有利と言い聞かせる」と挙げた。

「まだ2つアウトを取らないといけないですから、不利は不利なのですが、野球というのは流れがありますから、ノーアウト満塁で向こうに行っていた流れを、少し引き寄せることができる。打者は、ゲッツーで0点というプレッシャーが更に押し加かってくる」と説きつつ、「野球というのは、相手の心理状態を利用しながら戦っていく、抑えていくということも醍醐味なんですね。持って生まれた身体能力や技術だけでプレーしてはダメですよ」とまとめた。

すると、「自分に言い聞かせる方法」を訊かれた桑田氏は、「僕をご存知のように、ボールに

呟いていたんです。（具体的には）前の打席はカーブでアウトを取ったので、今度はカーブを狙ってくるからインコース、シュートでゲッツーを取ろうとか、言い聞かせるわけですね。結構、長いんですよ」と、桑田氏が現役時代に見られた“名物シーン”の裏側を明かした。

【Sports Watch】 紳助さんの品行にダルビッシュが激怒した事件とは？

先月 23 日、タレント・島田紳助さんが暴力団との付き合いを明らかにし、芸能界引退を発表した。

引退後程なくすると、せき止めていたものが決壊したかの如く、数多のネットメディアや雑誌には、紳助さんに関連するこれまで表に出てこなかったエピソードの数々が活字となって掲載されはじめた。

そんな折、20 日発売「週刊アサヒ芸能」（9/29 号）もまた、『紳助親分の余罪』と題し、紳助さんにまつわる周辺情報を伝えているのだが、その一つに、「ダルビッシュを怒らせたブルペン乱入事件！『迷彩パンツにビーチサンで投球妨害した』」という驚きのエピソードが載っている。

同誌にコメントするスポーツ紙デスクは、「梨田監督は『紳助さんとは近鉄の監督時代から仲がよかった』と、しみじみ話していました。実際、二軍選手のために講演を頼むと紳助さんが快く引き受けるなど、良好な関係が続いていたようです」と語っているほど両者の関係は親密だった様子で、それ故に、紳助さんの引退会見から 4 日後、梨田監督の退団報道が出るや、「首位を争うこんな時期に突然出た退団報道には、『紳助騒動と関係しているのではないか』と笑えない冗談を言うメディア関係者もいた」（スポーツライター）という。

そんな梨田監督と紳助さんの関係から、ダルビッシュが巻き込まれた悶着とは——。それは、昨年 2 月、紳助さんが沖縄・名護で行われたキャンプに招待され、姿を見せた時のこと。当時、現地で取材をしていた記者は、「ダルがブルペンに入るということで、報道陣がブルペンに集まってきた。すると、ダルの球を受けるキャッチャーの後方に、緊張感漂うブルペンとは不釣り合いなでたちの男がいることに気づいたんです。サングラスをかけて、T シャツに迷彩柄のショートパンツ姿で、おまけに足元はビーチサンダルでした。よく見れば、島田紳助じゃないですか」と振り返る。

さらに、同記者は「球道一直線のダルにとって、ブルペンは神聖な場所。それをいい大人が何の配慮もなく、雰囲気을ブチ壊しにしたんです。捕手の真後ろには斜に構えて見学する紳助がいる。投球するダルの視界には、嫌でもその姿が入りますよ。思わぬ“投球妨害”を受けて、ダルは怒りに震えていた。投球を終えると、何もコメントせず、怒りを押し殺すように引き揚げていったようでした。結果的に、紳助を招待したことで顔を潰された形の梨田監督

も困っていましたね。まさか、あんな服装で来るとは思っていなかったでしょうから」と語っている。

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

・週刊アサヒ芸能 [ライト版]

【Sports Watch】超美形の女子大生ボクサーがロンドンを目指す

今月 18 日に行われたキックボクシング「J-GIRLS 2011 ～Born This Way 3rd～」において、大石ゆきのがバンタム級チャンピオンになった。女子高生キックボクサーの台頭が著しい中で、ついに現役女子高生王者の誕生である。

近年、日本の女子格闘技界には、若くて可愛い選手が多数現れている。中でも、とびきり可愛いと話題なのが、女子大生ボクサーの伊藤沙月だ。

年始にテレビで紹介されたことをきっかけにインターネット上で人気急上昇した伊藤は、ボクシングという過酷な競技において、まさに美人過ぎるという表現がぴったりの超美形選手。そのままアイドル事務所にいてもおかしくないルックスに、「これはガチでかわいい」という声が相次いでいる。

今月 10 日には元 WBA 世界ミドル級チャンピオン竹原慎二が原案の映画『タナトス』のトークイベント付き試写会に竹原とともに登壇。黒髪ショートカットの愛くるしい笑顔に、竹原も終止鼻の下を伸ばしっぱなしだった。

宮城県延岡市出身の伊藤は、日章学園 2 年時には全日本王者に輝くなど頭角を表し、現在は拓殖大で汗を流す。女子ボクシングは来年のロンドン五輪から正式種目に採用され、伊藤は日本アマチュアボクシング連盟の強化選手に選ばれている。

「ボクサーとして人よりずば抜けているものがあるとは自分では思えない。ただ自分の持っているものの中ではスピードとタイミングに自信があるので、それを伸ばしていきたい」。地元新聞のインタビューにそう答えた伊藤が、美人過ぎるメダリストとなるか。彼女の挑戦から目が離せない。

・伊藤沙月フォトギャラリー

・ついに女子高生チャンピオンが誕生！大石ゆきのがバンタム級王座奪取

【Sports Watch】ノムさん、落合監督退任発表に「何でこんな時期に・・・」

2004 年から中日ドラゴンズの指揮を執り、これまでの 7 シーズンで、1 位が 3 回、2 位が 3 回という抜群の成績を残している落合博満監督だが、22 日には、今季終了後に退任するこ

とが突然発表された。

東京ヤクルトスワローズとの大事な首位攻防戦を前にして、一体何があったのか——。24日深夜、TBS「S1」番組内の「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーでは、元東北楽天ゴールデンイーグルス監督・野村克也氏が、自らの楽天監督解任劇と重ね合わせ、球界に疑問を投げかけた。

「ちょっと、今日は強烈にボヤいちゃうんだけど、最近のプロ野球って何でこんな時期に解任を発表するの？」と切り出した野村氏は、「これから大事なプレーオフが始まる、日本シリーズが始まる前に、まだ中日は優勝する可能性もあるわけでしょ。僕の解任通告も、明日からソフトバンクとプレーオフが始まる前日に解雇されたの。優勝してもしなくても終わって頂きます。最近のプロ野球って何だろうと思うんだけど、何のために監督が一生懸命やってるかっていうね」と続けた。

また、今年の2月には番組の企画で対談し、常々高い評価を持っていた落合監督について、「落合なんて、8年やったんかな。一回3位になっただけで、あとは1位と2位ばかりなんだよ。実績からみても、選手一杯育ててるじゃん。昔の監督って、十年、二十年やった監督さん一杯いたじゃない。落合なんて永久監督でもいいんだよ。この人は何か持ってる」と絶賛。

その最後には「今、プロ野球は人材難ですよ、監督の。次期監督が育っていない。どのチームも。その一つが、監督が2年、3年って短命でしょ。自分の保身で精一杯なんだよ。後継者を育てるっていう余裕がないから。プロ野球団もこれはじっくり考えてほしい」と訴える野村氏だった。

- ・中日・落合監督「記者連中、野球を理解しようとしなないもん」
- ・中日・落合監督「下手なヤツは練習しなきゃ」
- ・野村克也と長嶋茂雄 “ 今だから明かしましょう ”
- ・落合監督が、ゲームを壊した投手を代えなかったワケ

【Sports Watch】横浜ベイに激怒、団野村氏「ウソを言って選手を悪者にするのか？」

昨季より横浜ベイスターズでプレーをしているターメル・スレッジが、右足付け根を負傷し、母国アメリカへと帰国。21日には、球団より出場選手登録を抹消された。

今季も低迷するチームにおいて、20本塁打を放ち、主力として活躍していた助っ人の離脱。14日、球団公式サイト上では、「2011年8月20日(土) 対阪神タイガース戦において、走塁時に右足付け根を痛め、翌21日出場選手登録抹消。9月6日に登録、順調に回復してい

と思われたが、痛みが再発し9月10日再び登録抹消」と発表され、その最後には「※なお、今シーズン中の再来日予定及び来季の契約については未定です」と付け加えられている。

そんな折、22日の大手スポーツ紙上では、『右足付け根の治療のために16日に米国に帰国した横浜・スレッジについて、球団は見切りをつけている様子だ。球団関係者は「経過報告がない。リハビリしているのかもしれませんが、こちらから連絡を取ることもない」と完全に「お別れモード」だ』と綴り、スレッジと音信不通になっていることを理由に、来季の契約は結ばない見通しであることを伝えた。

だが、この報道に怒ったのが、スポーツ・エージェントの団野村氏だ。22日、自身のツイッター上にて、記事のURLとともに、「何で球団ってこんなウソを言って選手を悪者にするのか？わからない！残念 ちゃんと報告してるし、ツイッターでですか！」と語り、選手に関する誤った情報をマスコミに漏らしているという横浜ベイに激怒。

掲載したスポーツ紙に対しても、「ちゃんとスレッジ側に取材するのが常識だと思う、でも事実書く事ないから！」、「一番の問題点はスポニチの記者!!!!記事乗せたデスクにも！」、「結局マスコミがあやつろうとしている！あげたり、落としたり、その間で記事書いて人に新聞、雑誌を売ってる！」とツイートし、その怒りの度合いが相当な様子であることをうかがわせた。

【Sports Watch】知る人ぞ知る美人アスリート、小麦肌の漕艇選手
去る9月18日にボートの全日本選手権が行われ、女子シングルスカル決勝で若井江利が銀メダルを獲得した。

巷ではそれほど名の知れた存在ではないが、若井は知る人ぞ知る美人アスリート。競技で日焼けした小麦色の肌に、さわやかな笑顔を振りまき、ボート界では随一の美人選手として知られている。

スポーツタレントトップにサンバイザーをかける様は、これぞ健康美人という趣だ。

若井はボートで有名な岐阜県の加茂高校出身。高校在学中に総体ダブルスカルで優勝し、ジュニア選手権日本代表でも活躍。進学した早稲田大でも数々のタイトルを獲得し、2006年のアジア大会では日本代表として銀メダルを手にした。

現在は企業からスポンサードを受けながらフルタイムのボート選手として活動し、2010年アジア選手権では見事優勝を果たすなど、日本の女子ボート界を牽引するアスリートとし

て期待されている。

今回の全日本選手権での 2 位という結果については、自身のブログで「一番嫌いな色のメダルですが、現実をしっかりと受け止めて、次へ進みたいと思います」とコメント。目標とするロンドン五輪での表彰台へ向け、全速力で水面を駆ける。

・若井江利フォトギャラリー

【Sports Watch】ビーチバレー・浅尾、引退後の皮算用とは？

今季より松山紘子と新ペアを結成するも、国内ツアーのシード権を獲るには至らず、ワイルドカード（＝大会推薦枠）で出場を続ける、ビーチバレー・浅尾美和。一時は“ビーチの妖精”として絶大な人気を誇った彼女だが、推薦枠は“同一ペアで年間 4 大会まで”という決まりもあり、9 月末に行われる第 6 戦以降は、楠原千秋とペアを結成するなど、夢のロンドン五輪出場は遠く、もがき続ける日々を送っている。

そんな折、27 日発売「週刊アサヒ芸能」（10/6 号）では、「浅尾美和 五輪『悪あがき挑戦』で渦巻く引退後の皮算用『このままではキャスター転向でも商品価値なし』」との見出しで、浅尾の近況を伝えた。

前述の通り、ロンドン五輪出場は限りなく不可能に近いといわざるを得ない現状。それでも、浅尾が直向に成績にこだわるにはワケがあった。

同誌にコメントするビーチバレー関係者は、「ズバリ、引退後のハク付けですよ。彼女が今後、引退したあとには、民放局のスポーツキャスターへの転身がほぼ内定していますが、正直言って選手としての実績がまったくないに等しい。ルックス的には申し分ないですが、それだけでは、商品価値ありません。そこで、今シーズンにできるだけ成績を残しておきたいというのが、本人はもとより関係者の本音でしょうね」と明かす。

表向きには、五輪出場にこだわりを見せる浅尾だが、その裏側では、引退後を見据えた“実績作り”に躍起となっているようだ。

・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

【Sports Watch】韓国・全北サポーターが卑劣な横断幕、セレッソは悔やまれる敗戦

韓国の全州で行われた、アジア・チャンピオンズリーグ準々決勝第 2 戦では、セレッソ大阪が敵地で全北現代と対戦するも、大量 6 失点を喫して大敗。2 試合合計得点でも、5-9 と悔やまれる準々決勝敗退となった。

だが、その試合で全北のサポーターが卑劣な横断幕を掲げたことから、セレッソの怒りを買うという出来事があった。

その横断幕とは、「日本の大地震をお祝います」というもの。最近では、ベルギー1 部リーグで、リールセの川島永嗣が対戦相手チームのサポーターから「フクシマコール」を浴び、憤慨して涙するということがあったばかり。

今回の一件でも、ネットの掲示板では、「だから韓国人は嫌い」「ボロ負けしとるやないか…情けない。意地見せてくれよ」「俺が日本のサッカー場にて日本人が同じ様な事してたら普通に注意すると思う」といったものから、中には「間違っ『て』お見舞します』を『お祝います』になっただけだろ？」というコメントもあったが、セレッソは試合後、AFC サイドに抗議文を提出している。問題の横断幕自体は、前半途中に撤去されたものの、心ないサポーターの行為は、なんとも業腹な仕打ちだ。

【Sports Watch】ソフトバンク・内川「“お前、早くから泣き過ぎだろ”という指摘がきまして・・・」

1 日、西武ドームで行われた、福岡ソフトバンクホークス×埼玉西武ライオンズの一戦は、3-0 でソフトバンクホークスが勝利を挙げ、2 年連続 17 度目のリーグ優勝を果たした。

同夜、日本テレビ「Going!Sports&News」には、多村仁志、長谷川勇也、そして、昨年横浜ベイスターズより移籍してきた内川聖一の 3 人が出演。喜びの声を語った。

試合中から感極まって、涙を流していた内川は、「メールにも“お前、早くから泣き過ぎだろ”という指摘がきまして、僕の中でも色々思うことがありましたし、移籍して 1 年目ですからね、嬉しさが余ってこみ上げてきてしまった」と照れ笑い。

自分が胴上げされたことについては、「ビックリしましたね。やって貰っている時は、興奮した喜びで嬉しかったんですけど、あとで考えてみると、“俺やって貰ってよかったのかな”って」と振り返り、チームの強さの理由は、「皆が現状に満足しないというか、どうにかして人のいいところを盗んでやろうとか、どうにかして上手くなってやろうというのを感じました」と語った。

また、2007 年、2009 年、2010 年と 3 度のクライマックスシリーズ (CS) 出場を果たすも、日本シリーズには進出していないソフトバンクホークス。

多村は「僕らも悔しかったけど、ファンの皆さんも悔しかったと思う。クライマックスを勝

たないと納得して貰えないと思いますから、また若手も台頭してきましたから、そのチームでベテランと一丸になって、一試合頑張っていくだけ」と意気込み、内川は「僕は初めての経験ですので、怖いものはない。今までやってきたことを全部出すだけだと思っています」と、長谷川は「去年の CS ではヒット一本も打てなかった。それが凄い悔しくて、それが糧となってではないですけど、自主トレをやってきたので、去年の分も打ってやろうと思っています」と力強く語った。

【Sports Watch】あまりにも美しい日本代表キャプテン、照準は世界カーリング女子日本代表の中部電力が、11 月に中国の南京で開催されるパシフィック選手権に向けた強化の一貫として、現在約一ヵ月間にも及ぶカナダ合宿を行なっている。

日本代表を率いるキャプテンは、“あまりにも美しすぎるカー娘”としてお馴染みの市川美余（21 歳）だ。2 月のカーリング日本選手権でチーム青森を破り優勝した際、テレビを中心に大きく取り上げられ、ネット上では「美しすぎる」と騒ぎ立てるスレッドが乱立。「氷上の佐々木希」とまで形容されるほど、その美貌は大絶賛された。

そんな周囲の喧騒をよそに、若くして日本代表を牽引する市川は、「日本代表としてプレッシャーはあるが、そのおかげでモチベーションは高まっている。世界で通用する選手になりたい」ときっぱり。まずはパシフィック選手権で 2 位以内に入り、来年 3 月に行われる世界選手権出場を目指す。

・市川美余フォトギャラリー

なでしこリーグに警鐘「リーグの意味がない」

澤穂希を筆頭に、川澄奈穂美、大野忍、近賀ゆかり、田中明日菜、海堀あゆみら主要なでしこジャパンメンバーを擁する INAC 神戸レオネッサ。

（2 日現在）なでしこリーグでも、9 勝 1 分と無敗で首位をいく神戸の名門クラブだが、2 日、来季の戦力として、常盤木学園高のエースで U-19 女子日本代表でも活躍する京川舞の獲得を発表した。

また、京川と同じ常盤木学園高の MF で“可愛すぎるレフティー”と話題を振りまく仲田歩夢の入団も決定的となっていることから、これが現実のものとなれば、INAC の戦力増強は著しいこととなる。

だが、ネットの大手掲示板では、「1 強すぎてリーグの意味がないな リーグに代表チームが参加してるようなもんだわ」「INAC 一強状態じゃなでしこリーグもすぐ飽きられるぞ」「頼む、せめて 2 強であってくれ」「マスコミ的には INAC だけ取り上げればいいから楽

だろうな」といったコメントが見られ、INAC の独走状態に冷やかな意見が相次ぐ。

先月中旬には、“澤 2 世”JFA アカデミー福島・田中陽子も、INAC の練習に参加し、クラブも獲得に前向きと伝えられている。特に、なでしこリーグでは、上位チームと下位チームの実力&待遇格差も大きいだけに、この流れが今以上に加速をするようだと、リーグの概念すら破綻しかねない問題となりそう。

ダルとサエコの復縁の噂——「結婚願望の強い古閑には相当こたえた」

人気女子プロゴルファー・古閑美保が引退を表明した。左手首の故障や身体的、精神的な限界を理由に、今季をもって現役から退くという。

だが、引退する理由は、これだけではなさそう。

4 日発売「週刊アサヒ芸能」(10/13 号) の「NEWS SHOT!」のコーナーでは、「古閑美保引退は『ダルとサエコ復縁』ショック!? 『情緒不安定で合コンも予選落ち連発』」との見出しで、古閑引退決意の知られざる一面を伝えた。

同誌にコメントする芸能レポーターは、「日本ハム・ダルビッシュとの密会騒動が大きく影響したようです。2 人は昨年 7 月、古閑の誕生パーティで親しくなったのですが、年下の球界エースにメロメロとなった古閑は、その後、離婚協議中のダルに合わせて今年 1 月に宮崎で自主トレを行った。その宿泊先の高層コンドミニアムにダルが連泊する様子を女性誌にスクープされてしまった」と語ると、「その後、一時は情緒不安定の状態にまでなっていたようです。そのため、肉食女子を地で行く古閑もさすがにオフに参加した医者との合コンは連戦連敗。数々の現役プロ野球選手との浮き名を流した肥えた古閑の目にかなう男などなかなか現れないのが現実です。加えて、今年 6 月にダルとサエコが六本木でツーショットを目撃され、復縁説が浮上したことも結婚願望の強い古閑には相当こたえたようです」という。

引退後も、ゴルフの解説からバラエティ番組まで引く手数多となるであろう古閑。その一挙手一投足には、大きな注目が集まるだけに、新たな恋を見つけるにも弊害は多くなりそう。

・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ

・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

スポンサー獲得や CM 出演。澤穂希人気高騰も“ある懸念点”

今や国民的アスリートとなったサッカー女子日本代表・澤穂希。大型スポンサーや CM の話も次々と舞い込み、その市場価値は高騰している様子だ。

そんな折、4日発売「週刊アサヒ芸能」(10/13号)の「NEWS SHOT!」のコーナーでは、「澤穂希『3年1億円契約』でも笑えない 故障者続出『CMの呪い』の不調ジンクス」という見出しで、都市伝説とも言われる“ある懸念点”を伝えている。

同誌にコメントする広告代理店関係者は、「近年の相場では、マラソンの高橋尚子の1億5000万円を筆頭に、水泳の北島康介の日本コカ・コーラとの1億円や石川遼の1億円ですから、トップアスリートたちと肩を並べました。澤の推定年収は600万円ですから、まさにシンデレラストoryですね」と評価する。

しかし、同じく同誌にコメントするサッカーライターは次のようにも語る。

「“アクエリアスの呪い”という都市伝説です。過去、小野伸二がCM出演後に大ケガし、中村俊輔も負傷して代表を外れる憂き目に。オンエア中の本田圭佑も8月29日のリーグ戦で右膝半月板を損傷し、W杯アジア予選の代表から外れています」という。

だが、こうした現象はコカ・コーラに限った話ではないようだ。前出のサッカーライターは、「昨年の南アフリカW杯前にソニーと契約した内田篤人(23)もケガで出場機会を逃しました。08年の北京五輪では、アディダスに起用された平山相太と家長昭博が五輪代表から漏れました。06年ドイツW杯の中村俊輔も、アディダスが全面的に推していましたが、ケガと体調不良に苦しみました」と語っており、前出の広告代理店関係者も「W杯や五輪のビッグイベントに合わせるには、少なくとも2年以上前から仕込む必要がある。ケガは付き物だし、有望選手は相手チームから標的にされる。CM起用は神頼みです」と明かす。

果たして澤は、ジンクスに負けることなく、無事ロンドン五輪の舞台へと辿り着くことができるか――。

- ・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ
- ・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

上原、悪夢のプレーオフ初登板に、ノムさん「自分を見失っているね、完全に」

日本時間4日、MLB プレーオフ地区シリーズでは、レンジャーズがレイズから4-3で勝利。2勝目を挙げ、リーグ優勝決定戦進出に王手をかけた。

だが、第2戦でプレーオフ初登板を経験した上原浩治は、チームこそ勝利したものの、1アウトも取れず、先頭打者をフォアボールで歩かせ、ヒットとホームランを被弾、3失点で降板した。

日本人選手の中でも、抜群の制球力を誇る上原に一体何があったのか——。2 日深夜放送、TBS「S1」では、プロ野球解説者・野村克也氏が自身の人気コーナー「ノムさんのボヤキ部屋」で所感を述べた。

「上原どうしたの？考えられないね。あのピッチャーね、目をつぶっても放れる（くらいコントロールが良い）ピッチャーなんだよ。外角低めの抜群の……。これが彼の一番の特徴だからね。困った時は原点って、原点能力が素晴らしいものがある」と切り出した野村氏は、「人間だねえ、やっぱり。雰囲気のにまれたのか、プレーオフというプレッシャーに負けたのか。自分を見失っているね、完全に。あんな上原見たことない」と驚きを隠せない様子で語った。

また、他の出演者から“ばん回の機会”について訊かれると、「問題は次もちゃんと投げさせてくれるかどうか。選手と監督は信頼関係で出来てるから、ああいうピッチングされると監督は“どうかな”って」と懸念を挙げながらも、「俺は平気で使うけど。失敗は成功のもとじゃないけど、失敗の中から学んでいるものがある筈だから。そういう実績のあるピッチャーはすぐ立ち直りますよ」と太鼓判を押した。

森本、苦悩のカターニア時代 「のけものというか、全く相手にされない状態だった」
今年 7 月、自らの出場機会を求め、カターニアに比べれば格下クラブとなる、セリエ A・ノヴァーラへと移籍を果たした森本貴幸。3 日、深夜放送のフジテレビ「すぽると！」では、新天地に臨む森本にインタビューした様子を放送した。

「何チームか話しが来て、その中で考えている時に、ノヴァーラが一番熱心に誘ってくれた。去年一年間は、のけものというか、全く相手にされない状態だったので、自分を欲してくれるところに行きたいっていうのがあった」と話し、カターニア在籍時の苦悩を垣間見せた森本。

また、「去年一年、全く試合に出れなくて、精神的にも何したらいいか分からない状況だったので、そういう意味では今年やっという環境にこれで、調子のいい選手が出るっていう、しっかりした競争がある。そういうチームなんで。しっかりチャンス掴んでやってきたいという気持ちがあります」と語った森本は、「FW が 5 人いて、それぞれ能力高い奴らっていて、皆ギラギラしているし、試合に出れない時は自分の何かがよくない時」とチーム内のレギュラー争いにも意欲を見せる。

さっそく 2 日には、古巣カターニアとの因縁の一戦で、ヘディングゴールを決めた森本。「ちょっと不思議な気持ちというか、これまで 5 年間練習した奴らが公式戦で対戦するので、不思議な感じはするけど、まあまあ、やっぱり楽しみだし、彼らが嫌なところも分かる」

と試合を振り返るのだった。

世界体操開幕、東京に舞い降りた「床の女王」

世界体操が10月7日から16日まで、東京の東京体育館で行われている。来年のロンドン・オリンピックの予選も兼ねた同大会。7日には早速女子の予選がスタートし、美と技の競演に観衆も酔いしれた。

中でも一際目を引いたのが、床競技で昨年の世界選手権女王となったオーストラリアのローレン・ミッチェルだ。

長い手足に愛くるしい笑顔、モデル並みの美しい身体には気品が溢れ、まさに「床の女王」の名にふさわしい。

日本のエース、鶴見虹子も「いつも感動して見えています」と絶賛する演技は、日本勢にとって最大のライバルとなりそうだ。

日本×ベトナム戦に、イライラ募る福田氏「何だよ、コレ」

7日に行われた国際親善試合＝日本×ベトナム戦は、李忠成のゴールで1-0の勝利を挙げたが、格下相手に11本のシュートを放った上での1得点、更には、ヒヤリとするシーンも多く、課題の残る内容となった。

8日深夜放送、TBS「S1」では、サッカー解説者の福田正博氏が、同一戦を観ながら、イライラを募らせながら解説する様子が放送された。

「ゴールを決めて、ゴールの解説してえな。何だよ、コレ」と不機嫌モードの福田氏は、長谷部、香川の精彩を欠く動きを「(シュートを)打ってほしいよね。キーパーとかやってるから、打てなくなっちゃったんじゃないかな。チームで。んなことないか」、「香川のコントロールミスだな。珍しいね。コンディションだったり、気持ちの部分が出るんだよね。そういう意味では少し迷いがあるのかもしれないね」とバツサリ。

ゴールを奪ったシーンについては、「プレッシャーかけてボール奪って。そして長谷部にボールが入って、ここで李の動きなんですけど、李が中に入ろうとした時に、相手のディフェンダーがつられるんですね。そこにできたスペースを藤本がうまく使うんです。イメージを共有した素晴らしいゴールでした」と高い評価を与えたものの、パフォーマンスの差に開きがあった両サイドの長友&駒野には「一番前半を見てて、躍動しているのは長友だね。攻守両面に渡って。駒野は全く出てこないね。攻撃に関していうとね。やっぱり、チャンス貰っている選手達はもっともっとアピールして貰いたい気がするんだよね」とやっぱり不満気な様子。

試合後も、福田氏は「1対0かぁ。5点くらい入ると思ってたんだよな。こうなってくると、本田と遠藤の存在って大きいね」と振り返ったが、11日には、はやくもW杯3次予選のタジキスタン戦が行われ、期間的余裕のない日本代表。今回の一戦で得た課題をいかに修正して臨むことができるのか――。

■Soccer Journal 関連リンク

- ・キリンチャレンジカップ・日本 vs ベトナム 【侮れないアジアの新興国】
- ・ベトナム戦 「長友と駒野。それから憲剛。しかし『3-4-3』て必要？」
- ・「意外と悪くなかった3-4-3」キリンチャレンジカップ 日本-ベトナム

今野が明かすアジアカップ初戦の夜 「団結させたのは間違いなく長谷部」

11日、W杯3次予選のタジキスタン戦を迎える日本代表。9日深夜放送、TBS「S1」番組内「アスリート達の“ターニングポイント”」のコーナーでは、個性派揃いの代表選手達をまとめる長谷部誠がキャプテン就任時を振り返った。

「小学校、中学校の時もガキ大将で、自分からキャプテンやるって言ってキャプテンやったほうだし、負けたらよく泣いてました」という長谷部。アジアカップ2011の開催前に行われた会見の場で、アルベルト・ザッケローニ監督からキャプテンを任命されることになったが、「(事前に) 任命されていないです、全然。それで俺がやるんだなと思いましたけど」と淡々と明かす。

だが、アジアカップ初戦のヨルダン戦では、格下相手に引き分けに終わった日本代表。不本意な試合内容となったその夜、長谷部は選手だけを集め、ミーティングを行ったという。

同じく日本代表の今野泰幸は、番組のカメラに対し、この時のことを「まず長谷部が前に立って“全然まとまってない”みたいな。“絶対チームが一つにならないと、どの試合も難しくなる。勝てない”ということを話して、そこから凄く練習からの雰囲気も変わったし、団結させたのは間違いなく長谷部」と振り返った。すると第2戦のシリア戦では、長谷部自らゴールを叩き出し、日本代表を先頭に立って牽引する気概を見せたのだった。

楽天退団の山崎、ノムさんは「最後の最後まで僕に似てる」

中日ドラゴンズ、オリックス・ブルーウェーブと渡り歩き、2005年から東北楽天ゴールデンイーグルスの主軸として活躍、今年の8月には400号本塁打を記録した山崎武司が、今季限りで退団することが分かった。若返りを図るチームの構想から外れた格好だ。

山崎は、引退ではなく退団を選択。球団からのコーチ就任要請を受けることなく、現役にこだわり、自由契約から新たなオファーを待つ。

かつては楽天の監督－選手の関係にあった野村克也氏は、そんな山崎の現状をどのように感じているのか――。

8 日深夜放送、TBS「S1」に出演した野村氏は、「貰い泣きしそうだね。僕の最後とよく似てるんだ。僕も南海解任されて行くところなくて、ロッテに一年、西武に二年、拾って貰ってやったんですけど、辞めろ辞めろっていう気配をなかなか感じとれなくて、山崎もそうだと思うんですよ」と切り出すと、「自分で辞めるってことを言い出さないと、球団の方からクビ宣告しにくい立場でしょ」と語る。

また、「彼も中日の頃からずっと苦勞してレギュラー獲ってよく頑張ってきたと思います。なんて言葉をあげていいか、ご苦勞さんでもないし、もっと頑張れと。本人が気持ちがあるだけにね、まだ燃え尽きてないということだから、どっか拾ってくれる球団があればいいなと思って観てるんですけど、最後の最後まで僕に似てる」と続ける野村氏は、山崎がコーチ就任を断ったことにも触れ、「コーチ、指導者になるのはいつでもできますからね。40 過ぎてからの一年一年が凄い大事になる。これから何年できるっていう計算もできないし、本当に自動的に 12 球団、声がかからなくなったところで自動的に引退を決意しなきゃいけない」と語り、後進を気遣った。

“完勝”日本代表にも、北澤氏は「これ普通なんです」

11 日、長居スタジアムで行われた W 杯アジア 3 次予選、日本代表×タジキスタン代表の一戦は、日本が大量 8 ゴールを挙げる完勝劇となった。

7 日の国際親善試合＝ベトナム代表戦では、格下相手に 11 本のシュートを放った上で 1 得点という課題の残る内容だったが、今回の試合は、本田不在の穴を埋めた中村憲剛が、トップ下で攻撃の要となり、1 ゴール 3 アシストの大活躍。代表戦初スタメンのハーフナー・マイクも、高さを活かした豪快なヘディングシュートで 2 得点を挙げるなど、好材料も多い。

同夜、日本テレビ「NEWS ZERO」でも、元日本代表で現サッカー解説者の北澤豪氏が両名を絶賛。完勝劇自体は、「今日の出来は、日本代表これ普通なんですよね。普通なんです」と強調しつつ、今ひとつ波に乗ることのできなかったベトナム戦との違いを、「ただ、本田が不在ということで、どうしても調子が上がらなかった。そういった中で、選手達が自分の持っている力を出して、役割をしっかりとこなした。同時にチームとしての考え方があったから本来の力を取り戻したと思う」と解説した。

また、中村とハーフナーを“（復調の）きっかけを作った選手”と紹介した北澤氏は、ハーフナーを「自分の 194cm ある高さを、入りこんでくることで活かす。自分の特徴を知ってま

すよね。今まで日本はこの高さをやりたかったんですけど、出来なかった。そこには世界基準の高さを持っている素材が少なかった。高さになると足元のことを心配されるんですけど足元もうまい。パスサッカーにも順応している」と、中村には「本田選手は“自分が”という力強いタイプだと思うんですけど、中村の特徴としては“味方を生かす動き”」と評価した。日本代表の要求にタジキスタンが了承も「やりすぎだろ」の声

11日、長居スタジアムで開催されたW杯アジア3次予選＝日本×タジキスタンの一戦は、ハーフナー・マイク、岡崎慎司、香川真司がそれぞれ2得点を挙げるなど、計8ゴールで日本代表が快勝した。

2000年10月、トルシエ監督時代に行われたウズベキスタン戦以来となる大量得点に沸いた一戦から二日――。13日には大手スポーツが、11月にアウェーで行われる同一戦において、日本サッカー協会・小倉純二会長がタジキスタンサッカー連盟サイドに、試合会場の芝を短くするよう異例の要請を行ったところ、これが了承されたと報じた。

12日には、タジキスタン・アリムジョン・ラフィコフ監督が、8得点差にも関わらず、終始クリーンなプレーを続けたことについて、「(日本選手に)ケガをさせては申し訳ない」と語るなど、その姿勢が“謙虚すぎる”と話題になったばかり。

その上、ホームで日本を迎え撃つ立場になっても、パスサッカーを得意とする相手国に対し、ボールスピードが上がることになる“芝刈り”の要求に応じるなど、もはや謙虚を通り越した不可解な対応といってもいい過ぎではないだろう。

この報道に対し、ネットの掲示板でも、「なんだか申し訳ない」「隣に引っ越してきたらいいのに」「ホームだから別に言うこと聞かなくていいのに」「これはやりすぎだろw」といったコメントが多く寄せられた反面、「アウェイくらいきつい試合経験しとけ タジクに甘えんな」という指摘も見られた。

■関連リンク

- ・アウェーのタジク戦、「芝短く」要求あっさり通る
- ・タジク監督の謙虚さが話題に「日本選手をけがさせたら申し訳ない」
- ・恐るべきタジキスタン！1試合を捨てて油断を誘う大三味線に要注意の巻。

フジテレビが“世界の王”を侮辱した!? いまだに残る両者の緊張状態とは？

先月末、「週刊文春」（10月6日号）は、王貞治・福岡ソフトバンクホークス球団会長とフジテレビによるひと悶着を伝えた。これは、先月7日放送「はねるのトびら」番組内で使われた王さんの写真の横に、本来の国籍である台湾国旗ではなく、誤って中国国旗が使われたことに端を発する。

今回の一件こそ、フジテレビ側が王氏に謝罪をしたと伝えられているが、同様の騒動は過去にもあったという。11日発売「週刊アサヒ芸能」（10/20号）の「NEWS SHOT!」のコーナーでは、「『王シュレット』」に続き今度は『国籍』間違い！フジテレビが『世界の王』をまたもや侮辱した」との見出しで、その周辺情報を報じた。

同誌にコメントするフジテレビの番組スタッフが、「バラエティ番組の収録中、あるタレントがトークの途中に『王さん』の名前を出したんです。すると、それを見ていた同僚スタッフが『これはカットだな』とつぶやいた。別に王さんを誹謗中傷する内容ではなく、当たり障りのないトークの中にたまたま名前が出てきただけなのにですよ。理由を聞いたら『最近、ウチの局が再び王さんを刺激するような放送をしてしまって、丁重に謝ったばかりなんだ』と。かなりピリピリしたムードでした」と語るほど、王氏－フジテレビは今も緊張関係にあるようだ。

その要因となる、フジテレビの“前科”とは――。同じく同誌にコメントする芸能記者は、2003年8月の「王シュレット事件」に触れると、「バラエティ番組『水10! ワンナイ R&R』で、洋式便器の中に王会長の顔の模型をはめ込み、口からウォシュレットのように水を噴出させる悪ふざけを放送した。その屈辱的な内容に、当時のダイエー球団が激怒したんです。王監督率いるダイエーは、その年の日本シリーズに出場しましたが、フジと系列局が中継から締め出される事態となりました」と説明する。

スポーツ紙デスクが「日本シリーズの中継は通常の公式戦と違い、出場球団の推薦を受けたテレビ局を日本野球機構が審査したうえで契約を結びます。『王シュレット』の件があった03年には、そもそもホークス側が推薦しなかったようですが、フジの“粗相”には機構側もかなり眉をひそめていました」と語っている通り、今季リーグ優勝を遂げたソフトバンクが日本シリーズへ進出する可能性は最も高い。

フジテレビが、王さんの名前に今も過敏になるには理由があるというわけだ。

- ・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ
- ・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

陸上界に新たな美女アスリート、国内敵なしの木村文子に注目

14日深夜放送、フジテレビ「すぽると!」では、陸上界の美女アスリートの一人で、陸上100mハードル&走り幅跳びを得意種目とする、笑顔のキュートな木村文子を紹介した。

広島県出身で、現在はエディオン女子陸上競技部に所属する木村。社会人一年目の今年は、4月に広島で行われた織田記念陸上、6月に埼玉で行われた日本選手権、そして、9月に徳

島で行われた全日本実業団で、それぞれ優勝を飾るなど、国内では敵なしの状態だ。

「やはりオリンピックという大きな舞台で活躍することが必要なのかなと感じていますし、出場することを目標に頑張っていきたい」と、テレビカメラに語る 23 歳。今月 10 日の山口国体では、成年女子 100m ハードルで自己新記録の 13 秒 19 を出して優勝、五輪 B 標準記録の 13 秒 15 も視野に入ってきた。

「嬉しいですけど、もうちょっと（記録を）出したかったなというのは正直あります」と笑顔を見せた木村。新たな美女アスリートとして一躍注目を集める存在となりそうだ。

・木村文子フォトギャラリー

J 歴代 6 位の年俸から、“見事な右肩下がり”で落ちていった武田修宏

15 日放送、TBS「サタネプベストテン」では、「MAX 月収ベストテン 時代を彩った芸能人」の一人として、元プロサッカー選手・武田修宏氏が登場、全盛期の月収を明かした。

J リーグ元年の 1993 年時、J 歴代年俸ランキングでも 6 位となる 1 億 2000 万円（月収 1000 万円）を貰っていたという武田氏だが、番組 MC の原田泰造に「見事な右肩下がり」と紹介されるほど、その後、93 年の 1 億 2000 万円から、94 年、95 年に 6000 万円、96 年のジュビロ磐田時代に 3000 万円となり、97 年の読売ヴェルディ時代には 1000 万円と、その年俸は下がっていった。

極端に年収が下がれば、その翌年は税金が重く押し掛かってくる。前年度の年収の約 40% が税金となるため、武田氏であれば、97 年は収入が 1000 万だったのに対し、税金が 1200 万という現象が起こったという。

「野球選手とかサッカー選手とかのスポーツ選手は、お金貰った時に色々使っちゃう人は破産しちゃう人が多いんですよ。サッカー選手って、平均 27 歳くらいで引退なんですよ。（現役が）5 年くらいだから、華やかなんだけど本当に厳しいスポーツです」と説明した。

日本を席卷するロシアの天才美少女

東京で開催された体操世界選手権が 16 日に閉幕した。

今大会中、大熱戦となったカテゴリーの一つが、女子個人総合だろう。ともに 16 歳、米国のジョーディン・ウィーバーと、ロシアのビクトリア・コモワが、まさに世界最高峰の演技で競った。

特に、ロシアの団体総合 2 位にも大きく貢献したコモワは、その抜群の演技力と美貌によ

り、天才美少女と呼ばれる次世代のスターだ。

旧ソ連時代の世界選手権優勝メンバーを母に持つサラブレッドで、幼少期からその才能をいかんなく発揮してきた。昨年のユース五輪個人総合では優勝し、体操大国ロシアを引っ張る存在として注目されている。

今大会の活躍により、日本でもネットを中心にコモワ株が急上昇。「可愛いすぎる」と、その美しさを賞賛する声が相次いでいるのだが、そんな折、某巨大掲示板では、「コモワちゃんの股間の膨らみが大変」という主旨のスレッドも出現。どうやらレオタード姿のコモワの股間が不自然に膨らんでいたことを揶揄したもので、「もしや男の子？」というコメントまで見られたのだ。

あらぬ方向から火の粉が飛んできたコモワだが、いずれにしろその演技と美貌は超一級。ロシアの天才美少女から今後も目が離せない。

・ビクトリア・コモワ - フォトギャラリー

・ジョーディン・ウィーバー - フォトギャラリー

釜本氏がゴン中山に苦言 「あなたがいるばかりに・・・」

15日深夜、テレビ東京のサッカー番組「FOOT×BRAIN」では、「今日本に必要なストライカーは？」というテーマで、釜本邦茂氏&福田正博氏をゲストに迎え、トークが行われた。

冒頭、「(ストライカーを一言でいうと) そりゃ、やっぱり点取り屋ですよ。点が獲りたくて獲りたくて仕方ないということを常に思いながら、トレーニングして試合している人のことをいうんじゃないですか」と定義した釜本氏は、国際Aマッチ76試合出場で75得点という大記録を、今夏、澤穂希(現在80得点)によって破られた件には、「それ、僕にいわすの？」と苦笑い。

それでも、「ああ、女の子に抜かれたか。なんで男がこねえんだって。彼女も長い年月やってるわけだから、勝ちたいという気持ち、点を入れたいという気持ち。代表も16、17年やってる訳でしょ。そりゃ、しょうがない」と納得した様子を見せた。

また、釜本のシュート力の話題になると、福田氏が「(釜本の)シュート力は凄いですよ。あのね、今のボールだったらとんでもないですよ。昔のボールはあんま飛ばないですから。重いし。それで、あれだけのシュートしているんですから、今のボールで現役当時の釜本さんが蹴ったらネット破りますよ。そのくらいの威力あります」と絶賛する場面も。

さらに、番組視聴者のアンケートで、釜本を除く日本最高のストライカー・ベスト3が発表されると、2位に選ばれた中山雅史（3位は福田氏、1位は三浦知良）に、「44歳でまだ現役？あなたがいるばかりに下から出てこない。下が試合に出られない」と苦言を述べ、司会者をヒヤリとさせた釜本氏は、中山がW杯フランス大会で日本人初ゴールを挙げたことにも、「身体に当たったんやね」とキッパリ。歯に衣着せぬ批評には、福田氏がフォローに入るほどだった。

その他にも、ストライカー育成について、釜本氏が「とにかくシュートの練習しなきゃ。細かいパスの練習をし過ぎるね。受ける方の側ですから。ボールがきたら、止めて蹴るんだから」といった見解を述べると、日本サッカー界全体の発展には、「世界を知っている人が指導者にならないとダメだと思いますね。世界のサッカーを見て知っているだけで肌で感じてないですね。それがちょっと寂しいと思う節があります」とも。

ちなみに、メキシコ五輪の後には、海外移籍の話もあったという釜本氏。「W杯予選が終わったら、ドイツのチームに行くことになってた。肝臓悪くなったもんだから、それでやめたの」と話し、そのチームは「ミュンヘンですよ」と明かした。

菅野の苦悩 “あの子は原監督の甥だから・・・”

16日深夜、TBSのスポーツ番組「S1」の「ターニングポイント」コーナーでは、今月末に迫ったプロ野球ドラフト会議の最注目選手、東海大・菅野智之を取り上げた。

巨人・原辰徳監督の甥として知られる菅野は、95年10月に行われた原の引退試合に触れると、「もの凄い観客の人があんだだけ涙を流して、野球っていうスポーツはこんなに人を感動させられるものなんだなっていうふうに、その時はじめて思って、それが一番の（野球を）はじめたきっかけ」と話す。

だが、いつしか“原監督の甥”という立場が、菅野を苦しめることになる。「打って当たり前、抑えて当たり前みたいなの。あの子は原監督の甥だから、そういうことができて当たり前なんだ」みたいなの。小さい頃は本当に嫌で何でこんな思いをしなきゃいけないんだろうって」と明かす。

それでも、原監督の妹で母・詠美さんの「こいつはすごいなって思って貰うしかない」という言葉によって前を向いた菅野は、東海大のエースとしてリーグ新記録の14完封、“原監督の甥”から、“大学No.1投手”へと成長を遂げた。

「普通のことじゃ評価して貰えないんだったら、もっとそれ以上のことをやってやろう」、「原監督って、菅野の伯父さんだったんだよなって。そういう風に見て貰えるように」。番

組カメラの前で、菅野は自信を漲らせた。

栗山氏、日本ハム監督就任報道に「本当に正式な話が僕の方にはきていない」

18 日、元ヤクルトスワローズ選手でプロ野球解説者の栗山英樹氏が、北海道日本ハムファイターズの後任監督に浮上、球団サイドはすでに就任を打診しているという報道があった。

同夜、テレビ朝日「報道ステーション」に出演した栗山氏は、「いや、あの、本当に正式な話が僕の方にはきていないので、何もお話しすることはないんですよ」と前置きしつつ、「ただ、もし、じゃあ、仮にもしですよ、本当に話しがくるのであれば、その時は番組できちんとご報告したいと思います」というに留めた。

また、番組司会の古舘伊知郎アナウンサーが、「もし、仮に（正式なオファーが）きたら、シーズン終了後、就任っていう気持ちもある？」と尋ねたが、ここでも栗山氏は「それもきちんと番組の方で、はい、ご報告したいと・・・」と明言を避けた。

K-1 ファイトマネー未払い問題に突然の告白「被害は日本人でナンバー2」

かつて一世を風靡した K-1 も、ここ数年は運営状態の悪化が著しく、ファイトマネーの未払いが表面化。選手に対する支払いが滞っている状況でもイベントは開催するという自転車操業を続けており、痺れを切らした何人かの選手は、メディアのインタビューや会見の場、自身のブログ上から、K-1 イベントプロデューサー・谷川貞治氏への批判や支払いを訴えるなど、異常な事態となっている。

シドニー五輪レスリングフリースタイル 63 キロ級日本代表から、総合格闘技界に転身した宮田和幸もその一人だ。

17 日、自身の公式ブログ上で、「FEG の谷川さんに、メールしたんだけど…。問題が起きて 2 年半我慢した…。面倒だけど、行動起こすしかないか…。とっぷり FEG 契約だったから被害もでかいよ」といった内容のエントリーを行い、2 年半にも渡って、ファイトマネーを受け取っていなかったこと。そして、問題の解決に進展がない状態であることを吐露したのだ。

さらに、18 日には、「続き」というタイトルでブログを更新。「今回ブログに書いたのは、FEG がいつまでたっても約束を守らず、不義理をしているから」と綴った宮田。「多分、被害は日本人でナンバー2 だと思うよ。自分でも、かなりの額だから、NO1 の方は半端ないと思う」というドキッとする発言もあったが、その最後には「いろんな方に心配をさせていただいているが、いまのところは、ビジネスも順調だし、支えてくれるスポンサーさんもいるので、私は大丈夫」と語っている。

宮田といえば、DEEP、DREAM を舞台に活躍を続け、フェザー級に階級を落としてからは、国内で圧倒的な強さを見せ、大塚隆史、リオン武、宇野薫といったトップファイターを3タテ。世界の総合格闘技シーンで、日本勢の苦戦が目立つ中、世界を舞台に戦ってほしい選手の一人でもある。今回のブログ更新では、突然のカミングアウトを行う格好となったが、問題が一日でも早く解決し、足かせを外して次なるステージに進んでほしいというのがファンの願いだろう。

中日・吉見の” インチキ!?” 投手三冠に批判が相次ぐ

中日ドラゴンズの吉見投手が19日、今季本拠地最終戦となったナゴヤドームのヤクルト戦で18勝目を挙げ、勝利数、防御率(1.65)、勝率(8割5分7厘)の3部門でリーグ単独トップに立った。

しかし、先発投手だった川井が勝利投手になる権利を得る5回の前に降板し、吉見にプレゼントしたかのような継投による「投手三冠」は、批判も覚悟の上だ。

吉見自身も「こういう勝ち方をすると、いろいろ言われるかもしれない。川井さんや監督に助けてもらった1勝なので感謝したい」と個人タイトルのために動いてくれたチームメイトに感謝し、落合監督も「取れるチャンスがあるものは、取らせてやらないとな」と“確信犯”であったことを認めている。

ネット上の野球ファンの間では試合中、

「本当にやるんか…」「インチキ野郎www」「2年ぶり2回目のインチキ最多勝」「吉見かっこ悪いわ…」

といった声が挙がった。試合後も

「ちょっと引く」「ああ、マジなんだな・・・って茫然としたわ」「ここまで来ると清々しいレベル」「ちょっとがっかりした」「みちゃいけないものをみた気がした」

と、このような形で投手三冠を確実にした行為に批判が相次いでいる。

ピンチに強い内海を支えた「生命線のボール」とは？

21日深夜放送、フジテレビ「すぽると!」では、「挫折を乗り越えて」とのタイトルで、巨人のエース・内海哲也の今シーズンを振り返った。

開幕投手の座を東野峻に奪われ、失意のスタートとなった内海は、当時、番組のカメラに「開幕投手を狙っていたので、セレモニーとか見ても複雑な気持ちがありました。結果が

全てなんで、オープン戦、練習試合で東野の方が結果出してた。一番いいピッチャーを使うのがチームとしては一番いいことなので、今回の開幕投手に関しては力負け」と語っており、その胸中を吐露している。

それでも、これまでに積み上げた勝ち星は 17。防御率はリーグ 2 位となる 1.74。相手チームが得点圏にある状態での被打率は.178（去年は.356）とピンチの場面にも強い。

「気持ち的にランナーが出ると、スイッチを入れるというか、絶対打たれないという気持ちを更に持った」という内海は、右バッターにも滅法強く、「やっぱり左ピッチャーの右バッターの対するインコースの真っ直ぐはクロスファイヤーで、そこが決まれば他の球種も活きてくる。そこに投げ切れないと投げるボールがなくなってしまうという生命線のボールなんで」と明かす。

10 月 12 日、阪神との最終戦は、負ければ CS の自力進出が消滅するという大切な一戦。今季初の中 4 日で登板し、気迫のピッチングで 10 回を投げ切ると、高橋由伸のサヨナラホームランが飛び出す劇的な結末を生んだ。

この一戦を振り返った内海は、「途中で勝敗も決まっていなくて降りたくもなかったし、なんかランナーズハイ的な感じになっていたので、投げても疲れないうし、まだまだいけるって思ったんで」と語り、CS での戦いには、「一年間、ジャイアンツが苦しいシーズンを送ったので、最後は最高の華を咲かせて。本当に夢じゃないので日本一目指して頑張りたいと思います」と意気込んだ。

巨人が今季主催試合の入場者数を発表、前年比－24 万強減少

22 日、今シーズンの公式戦 144 試合を戦い終えた巨人軍。最終戦の横浜戦こそ、代打・長野のサヨナラ満塁ホームランで劇的な勝利を飾ったが、チームの成績は 71 勝 62 敗 11 分の 3 位となり、2 年ぶりのリーグ優勝には手が届かなかった。

また、同日、巨人は今季主催試合の入場者数を発表した。各地方球場も含む主催試合 72 試合については、前年比－24 万 9652 人で 8.4%減となる 271 万 6974 人で、東京ドームで行われた 63 試合は、計 256 万 8589 人。1 試合あたりの平均入場者数は、4 万 771 人で、前年比－3067 人の 7%減少した。

森麻季アナの結婚発表、上田主導でサラリ

22 日の横浜戦をもって、今シーズンの公式戦 144 試合を戦い終えた巨人軍。最終戦の先発を務めた澤村拓一は、1967 年江夏豊以来、44 年ぶりのセ新人投球回数で 200 イニングに到達した。

同夜、日本テレビ『Going! Sports&News』には、澤村と婚約中の同局・森麻季アナウンサーが生出演。番組の冒頭、司会の上田晋也が巨人－横浜戦における澤村の 200 回到達の話題に触れると、「そのね、澤村投手とご結婚が決まったということで、おめでとうございます」と森アナを祝福した。

この言葉に「ありがとうございます」と笑顔で答えた森アナは、上田から「俺の人生の配球はお前に任せるとかいわれた？」と絡まれると、「そうはいわれてないです」と照れ笑い。続いて「ベタに俺と人生のバッテリーを組まないかくらいか？」と訊かれても、「それも違います」と一言。注目を集めた森アナの番組出演も、結婚発表については、本人からアナウンスはなく、上田主導でサラリと行われる格好となった。

■関連リンク

- ・澤村の交際は“異例中の異例”、森アナは番組降板へ
- ・巨人が“澤村を指名した理由”に、斎藤父が怒りの反論
- ・巨人期待の右腕＝澤村、チームメイトが意外な一面を明かす

吉田沙保里が澤に相談 「好きな人ができてさあ」

22 日深夜、日本テレビ「Going! Sports&News」では、レスリング・吉田沙保里と、サッカー・澤穂希による対談の模様を放送した。

澤の到着を待つ吉田は「私の恋愛の師匠を待っています」と話す。二人は、2004 年のアテネ五輪で出会い、仲良くなったという。

久々の再開が実現すると、澤は「メールとか、電話とかしたりとか。会うのは多分 6 月（以来）。忙しいよね、さおちゃんもね」と話すも、吉田は「澤さんのほうが引っ張りだこで忙しい。テレビ付けたら、何かに出ている」と返す。

また、吉田の愛用する焼肉店で行われた収録にも関わらず、吉田から「澤さん、肉は好き？」と訊かれても、空気を読まず「普通です」と答えた澤。思わず吉田は「そこは好きっていうでしょ」と突っ込んでみせたが、二人の会話は、いつしか恋愛の事になり、下記のやり取りが見られた。

澤「会ったら、言おうとか言ってなかった？」

吉田「テレビの前じゃ言えない」

澤「あ、そういうこと？拾われてるよ、マイクに」

吉田「好きな人ができてさあ」

澤「あっ、今話してる？」

澤「余裕ぶっこいてるでしょ？何とかなと思って」

23 日、一部の報道により、TBS ホールディングスと「モバゲー」を運営するディー・エヌ・エー (DeNA) のプロ野球・横浜ベイスターズ売却契約は、28 日に行われると伝えられた。日本プロフェッショナル野球組織にも、同日中に申請される見通しだ。

しかし、違和感の強い新球団名＝モバゲーベイスターズに、ネット上では冷やかな意見も多く寄せられている。

まだ予断を許さない状況ではあるが、仮に上記球団名に収まるとして、いずれは聞き慣れる日がくるのだろうか――。

・DeNAの横浜買収がほぼ本決まりと報じられた～腑に落ちないことども - 野球の記録で

話したい

・支配からの卒業 - 濱星倶楽部（蘇れベ이스ターズ）

・横浜ベイスターズの身売り先は、やっぱりミツウロコ・京急連合軍がいい件。 - フモフモコラム

ノムさんが監督時代を暴露、「社長に無理をお願いして獲って貰った」

23日放送、TBS「クイズタレント名鑑」では、野球解説者・野村克也氏が登場。「教え子の名前100人中何人覚えてる？」と題し、かつて、野村氏が指揮したヤクルト、阪神、楽天の中からランダムに選んだ100選手の名前を、野村氏が何人覚えているか——というテストを行い、その正解数を番組出演者達に問題として出題した。

トップバッターで出てきたのは、就任期間9年・ヤクルト時代の愛息・野村克則の写真だった。

「あははは、これ忘れたら怒られちゃうよ」と前置きした野村氏は、「我が息子ですよ」といいつつ、ドラフト3位と紹介されるや、「そんな上位で獲って貰ったのかね。12球団、どこも声掛からなかったの。たまたま僕が、ヤクルトの監督やってて、“お前どうすんだ？”って言ったら“プロ行きたい”っていうから、“どっか来てるのか？”って。“どこも来てない”、“それはアカンやないか”って、ヤクルトのオーナー社長に無理をお願いして獲って貰ったんです。こんなこと話していいか。本人が聞いたら、傷つつかどうか」と明かし、冒頭からいきなりの大暴露。

その後も、野村氏は、池山隆寛の写真が出てくると、「こいつは俺に感謝してんのかな。楽天クビになって、挨拶きたかな？」とボヤき、広澤克実には「問題児とっていいかな」、金森栄治には「クビになった選手ばかり」、栗山英樹には「今、モテモテじゃん。どうもね、こういうタイプの選手は嫌いだね」、長嶋一茂には「ヤクルトのお荷物。オヤジも俺が嫌いだから、恐らく家に帰って俺の悪口ばかり言ってた」と言いたい放題ながら、正解を連発。ただし、外国人選手になると「カタカナ駄目よ」と間違える場面も。

また、新庄剛志の写真には、「これも変わってるわ。最後に言葉交わしたの“せっかく年俸一億以上になって安定してきて、これから稼げるっちゅーのに、なんでこんないい時に辞めるんだ？”って言ったら“いや、野球飽きました”って」と苦笑いを見せた野村氏。結果、100選手中90名を覚えていたが、それでも「駄目だ。100%じゃないと監督失格」と語った。

NHKのサッカー中継で放送事故!? ネットユーザー「これはアウト」

10月22日にNHK仙台で放送されたサッカーJリーグディビジョン1第30節 ベガルタ仙台 vs 川崎フロンターレ戦の解説・手倉森浩氏のとんでもない発言で実況アナウンサーが困惑させてしまう一幕があった。

震災によって「サッカーを見ることが出来る日常の大切さに気づいた」という視聴者からの
お便りのレポートを受け、アナウンサーが「手倉森さんは、この試合をどこで(どの場所で)
ご覧になってました？」と手倉森氏に話を振ると、あろうことか「僕はスカパーですね」
と発言。さらにアナウンサーもさらりと流すことができずに「……そうですか、あの、そう
ですね……」と言葉に詰まってしまった。

その後、自分の発言がとんでもない事に気づいた手倉森氏が「失礼しました」と謝罪してし
まったため、話の流れが軌道修正不可能な状態になってしまいアナウンサーも「いえいえい
え」と苦笑するしかなくなってしまった。

この映像を見た掲示板のネットユーザーは

「正直 w w w w w w w w」「NHK の人困ってるな w」「僕はスカパー宣言！」「実況失笑 w
w」「アウトー！これはアウトー！ w w」「これはスカパーの CM にそのまま使えるレベル
w」「彼を NHK で観たのはこれが最後であった…」

と反応。さらにはスカパー！公式 Twitter アカウントまでも

スカパー！ですね RT @fsntweet: NHK のサッカー中継で放送事故発生 -
<http://t.co/OwsYxwHw> これはスカパーの CM にそのまま使えるレベル w

と反応するなど、NHK にはなんともバツの悪い事態になってしまった。

スター性抜群、次代を担う“超美少女スケーター”今井遥に注目

フィギュアスケートのグランプリシリーズ第 1 戦「スケートアメリカ」最終日が先日 23 日
に行われ、18 歳の今井遥がグランプリシリーズ自己最高の 4 位に入った。

女王安藤美姫、浅田真央、村上佳菜子ら実力者が群雄割拠する日本女子スケート界におい
て、次代を背負って立つ逸材として注目されているのがこの今井だ。

スラリと長い手足を優雅に使った抜群の表現力に加え、やや童顔気味のアイドル顔負けの
ルックスにより、男女問わずファンが急増中。実力的にもルックス的にも、次代のエースに
押す声が多い。

今夏に右足甲の疲労骨折をした影響で、今回のグランプリシリーズ第 1 戦に向けては満足
に練習できなかった。逆境をはねのけての 4 位入賞にも、決して満足する素振りは見せない。
愛らしい顔の裏に、アスリートとしての矜持をのぞかせ、次戦ロシア杯での巻き返しを

宣言。

スター性抜群の強烈な才能をたたえる 18 歳は、さらなる高みに向けて加速していく。

星野監督が番記者を恫喝!? 山崎退団の舞台裏とは？

10 日、楽天を今季限りで退団する山崎武司がホームで退団試合に臨んだ。今後は、中日への復帰が決定的とされているが、楽天での功績は大きく、退団試合では、チームメイトから餞別の胴上げも受けた。

だが、楽天・星野仙一監督の温度感は少し違ったようだ。26 日発売「週刊アサヒ芸能」(11.3 特大号)の「NEWS SHOT!」コーナーでは、「星野監督が『山崎武司退団』報道にピリピリ『首脳陣批判』を書いた番記者を恫喝した!」と題し、山崎退団にまつわるチームの周辺情報を伝えた。

同誌にコメントするスポーツ紙デスクは、「首脳陣が去った試合後のグラウンドで選手たちが自主的に胴上げを始めたことが不満だったようで、『何で山崎武司が抜けたぐらいで、みんな泣くんや! 胴上げまでして、何やっとなじゃ!』とご立腹だったそうです」と語っている。

また、山崎の退団会見を報じたスポーツ紙の番記者たちを前に、「何で俺に取材しないで書いとんのや!」と声を荒げたともいわれる星野監督。「不信感」「深い溝」といった文言を用い、山崎寄りの記事を書いたと見なされた番記者には、怒りが頂点に達したのか、「恫喝まがいのどなり声に、その場にいた他の記者たちも静まりかえったといいます。自分に不都合な記事を書いたらこうなる、と周囲も威圧する星野監督のパフォーマンスですよ」(球界関係者)だった様子だ。

さらに、前出の球界関係者が同誌に明かした内容によれば、「試合前に田淵ヘッドコーチがメンバー表を持ってくると、『4 番山崎』と書いてあった。すると星野監督は、『4 番じゃなくていい。1 打席だけでいい。まだ CS 進出の可能性も消えてないんだから』と、楽天での最後の晴れ舞台を奪ったそうです。そうまでして勝ちにこだわったはずが、この試合では若手を積極起用していた。『凄い矛盾してる』と話す関係者もありました」というほど。自分以上に存在感を示していた山崎への嫉妬心という見方もある、星野監督の苛立ち。来年の交流戦では、危険な再開となるであろう両者の激突が、ペナントレースの盛り上げに一役買うか――。

- ・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ
- ・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

横浜ベイ新球団名に疑問の声 「企業名なら売名行為にならないの？」

携帯用ゲームサイト「モバゲー」を運営するディー・イー・エヌ・エー (DeNA) と、TBS ホールディングスが、横浜ベイスターズの売却で大筋合意——。

今月 19 日、横浜ベイスターズの球団売却問題が伝えられてから 1 週間が経った。明日 28 日には、売却契約が交わされ、日本プロフェッショナル野球組織にも申請するものと見られている。

24 日には、早くも新球団名が話題が国内を駆け巡り、「横浜モバゲーベイスターズ」という名称には、ネット上で賛否も沸き起こったが、同社の球界参入を決めるオーナー会議、そのキーマン＝渡邊恒雄巨人球団会長は、26 日「モバゲー」という同社のサービスサイト名を使用するのであれば、「売名行為で、野球協約上も許されない」という見解をマスコミに示した。

また、一部では、「新会社の設立で球団名の問題を解消する」という報道もあったが、渡邊会長は「オーナー会議で反対も出る」とコメントしている。もちろん、新会社の設立が抜けど道になるようなら、企業・球界、どちらにとっても浅墓と言わざるを得ないが、こと球団名については、矛盾を指摘する声もある。

大手掲示板では、今回の報道を受け、「企業名なら売名行為にならないの？なんで？」「で、読売はおっけーなの？」「宣伝にならんのならどこも球団持たないだろ」「なんかすげー時代遅れだよなホリエモンの時も思ったが超保守的」「赤字球団を持つのに売名行為以外に何かあるのかと」「楽天、ソフトバンク、読売、ロッテ 全部売名だろw なぜモバゲーだけ文句言うw」「実際は企業名も売名だけど最低限の矜持は持てよってことだろ」といった書き込みが寄せられている。

過去の歴史を振り返ってみても、何かと弊害を伴い、一筋縄ではいかない球界参入。横浜ベイスターズ売却問題の顛末はいかに。

ドラフト会議の日本ハムに称賛の嵐「これぞドラフトの醍醐味」

プロ野球のドラフト会議が 27 日、東京・港区のグランドプリンスホテル新高輪で行われた。

今年の注目大学生 BIG3 の一人で巨人・原監督の甥でもある東海大・菅野智之は、“巨人以外なら海外”と相思相愛の関係で、昨年も澤村拓一をドラフトで“一本釣り”した実績から巨人の単独指名が予想されていた。しかし、フタを開けてみると予想に反して日本ハムが菅野を強行指名し、抽選の結果、優先交渉権を獲得した。

日本ハムの指名選手に菅野の名前が告げられると、会場内では大きなうめきが起こり、テレビでは原監督の怒りにも似た表情が映し出された。ネットユーザーたちも日本ハムの指名の瞬間から「日本ハムすげええええええええええ」「正義は死んでいなかった」「ハム最高や!」「日ハムかっこよすぎ」「たのむハム行ってくれw」と２年連続で無風のドラフト抽選会になりかけた巨人の１位指名に風穴を開けた日本ハムへの賛辞に沸いた。

さらに津田球団社長が当たりくじを引き、日ハムの交渉権獲得が決まった瞬間「これぞドラフトの醍醐味」「ようやくw」「熱い拍手 何これ巨人嫌われてるの?」「嬉し過ぎて泣けてきたw」「メシウマという言葉が久しぶりに使いたい気分」「原（監督）がリアル涙目やないか」「原監督怒ってる?」と再び、沸き返った。

ダルビッシュもこの結果に「うちはクジ運凄いなー」とツイッターでコメントし、チームの強運ぶりに驚いた様子だった。

斎藤佑樹で沸いた昨年に比べ、小粒で盛り上がり欠けると目されていた今年のドラフトは日本ハムの誰もが驚く決断で大いに盛り上がった。果たして菅野の日本ハムへの入団は決まるのか、今後の動向に注目が集まる。

【関連記事】

- ・長生きはするもんだて！ | 野球史
- ・菅野 日本ハム交渉権にショック 日本生命生入りも
- ・内川、多田野、一場、長野…2000年代ドラフトの事件振り返り

ペレがカズと再会「君は僕の子供みたいなもの」

29日放送、日本テレビ「Going! Sports&News」では、横浜FC所属“キンズ・カズ”三浦知良と“サッカーの王様”ペレが対談した様子を伝えた。

再会するや、抱き合った二人。ペレが「元気かい？」と声をかけると、カズは流暢なポルトガル語で「来てくれてありがとうございます」と返答し、「本当に嬉しい。感動です」と笑顔を見せた。

ペレとは、ブラジルのサントスでプロデビューしたという共通点があるカズ。「サントスの更衣室で一度お会いしました。何かの撮影をしていましたよね?」、「確か、1986年でした。25年も前です」と振り返ると、ペレは「君のお父さんとも会ったよね」と返し、再びガッチリ握手を交わす。

また、「君がブラジルのサントスに来たとき、僕の現役生活は終わっていた。君は僕の子供

みたいなものだ。頑張っしてほしい。幸運を祈っているよ」と語るペレは、最近の注目する選手として、「今、ブラジルにネイマールという素晴らしい選手がいるんだ。メッシもいいけど、足元のテクニックはいいが、高さがない」と絶賛した。

SB・内川、ダルに言及“基準が分からない。何がそんなに違うのか”

29日放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、パ・リーグで優勝を飾った福岡ソフトバンクホークスの主力メンバー＝多村仁志、内川聖一、松田宣浩、本多雄一、福田秀平が行う食事会の模様を放送した。

ホークスは、先月1日に行われた埼玉西武ライオンズ戦でリーグ優勝を決めたが、ゲームセットの直後、メンバーがマウンドへと集まろうとした瞬間、松田が思いきりずっこけるといふシーンがあった。

「誰かコケてた」という多村に、内川も「あのコケ方はひどかった」と同調、当の松田は「最初、ボールを捕った所で胴上げすると思った」と話し、「ライトに向かっていったら、みんなホームに行く。多村さんがベンチからこられたので、わあーってやろうと思って、多村さんの背番号6が見えたんですよ。多村さんに抱きつこうと思ったら、多村さんは前の人に抱きついたんです。マウンドでコケた」と苦笑いをしながら説明した。

また、“プロから見ても凄い選手”というテーマでは、ダルビッシュ有について、内川が言及。「調子がいい、悪いっていうダルの基準が僕らにとっては分からない。正直、試合後のコメントを見てても“今日はこうだった”って言ってることが、何がそんなに違うのか」と語り、多村も「そのレベルが高い」と舌を巻いた。

さらに、本多は「真っ直ぐの軌道で、クイッと曲がってくる。バット出した時には遅いんですよ。ちょっと曲がったり、大きく曲がったり。やめてよって思いました」と話すと、対戦成績が.364の福田も、周囲に「ダルビッシュ・キラー」とおだてられながら、「ダルビッシュさんとの対戦は本当に楽しかったですね。みんなが凄い凄い言っているボールは、どれだけ凄いんだろうっていう感覚で打席に入った。その中で打てたのが自信になりました」と語った。

続いて話題に挙がったのは田中将大だ。「コントロールよくなったでしょ」という多村は、「右の場合は、アウトコースにビッチビチにくるんですよ。真っ直ぐがズドンって。ごめんなさい、みたいな」と語り、本多は「スライダーが2種類あるのが武器。あれが頭にあると、僕はきつかったです。内側に消えるんです」と苦戦した今シーズンの田中の印象を明かした。

また、セ・リーグでは、ヤクルトの館山昌平に触れた面々は、「館山は凄いと思いますね」（多村）、「球がズドンとくるイメージ」（内川）、「スライダーがいい感じでブレーキがかかっていた」（福田）と絶賛したが、本多が「館山さん、これ見て（日本シリーズの）ホークス戦投げる？」と言うと、多村は「マズインじゃないの」と焦り、松田は「秀平のせいだぞ」と責任転嫁。最後は一同「謝れよ」と松田をいじって、和気あいあいとした食事を楽しんだ。三浦皇成&ほしのあき夫婦で出演。三浦はオノロケ「ボクの事が1番好き」

10月31日、フジテレビ「SMAP×SMAP」の人気コーナー＝「ビストロ SMAP」には、9月に結婚した競馬騎手・三浦皇成とほしのあき夫婦が揃って出演した。

現在、21歳の三浦と、34歳のほしの。コーナーの冒頭、中居正広から「姉さん女房だね」といわれると、三浦は「間違いないです」と即答した。

もともとは、ほしのが命名した競走馬・ハシッテホシーノに、三浦が騎乗したことが出会いのきっかけとなった二人。「本当は他のジョッキーが騎乗する予定で、先輩ジョッキーが騎乗停止になって僕が乗ることになった」と三浦が説明すると、ほしのは「それから、彼が100勝を達成したので、みなんでお食事しましょうってことで、木下優樹菜ちゃんとかと一緒に食事して、連絡先を聞かれて」と、三浦からのアプローチであったことを明かす。

また、ほしのに惹かれた理由を訊かれた三浦は「テレビでしか拝見したことなかったんですけど、すごい普通の人だになっていうところに」といい、また、ほしのは「その辺にいる21歳とは違くて、すごいしっかりしていて、平成生まれなんですけど、昭和初期じゃないかっていうくらい」と語ったが、中居から「(ほしのを) 見てるときはどうなの？ グラビアとかやっていると“おおっ”とか」とズバリ質問されると、三浦は「ですね。やっぱ、一応男ですから」と苦笑いを浮かべた。

その後、三浦&ほしの夫婦に関する質問を出し、ほしのと SMAP のメンバーがフリップに回答を書くという形式で番組は進行。

「(三浦が考える) ほしのあきさんの一番好きな所は？」という質問には、木村拓哉が期待を裏切らず「おっばい」と回答し、他のメンバーは、「笑顔」(草なぎ剛)、「スタイル」(稲垣吾郎)、「グラビアのポーズを頼めば家でもホイホイやってくれる」(香取慎吾)と答えたが、三浦の答えは「ボクの事が1番好き」というもの。これには、香取も「おのろけジョッキーか」とツッコまずにはいられなかった。

石川遼、“異例の交際発表”めぐる水面下の攻防とは？

先月24日深夜、プロゴルファー・石川遼が、マネジメント会社「ケーアイ企画」を通し、一般女性との交際を発表した。

異例の発表となった石川の交際。マスコミ各社に送られた FAX には、「限度を超えた取材活動が行われた」といった但し書きも含まれ、取材に対する抗議やけん制の目的もあったのだろう、同 27 日には、石川の交際を報じた「女性セブン」が発売された一件で、石川の父・勝美氏と同誌の間にひと悶着があったとも伝えられている。

そんな折、1 日発売「週刊アサヒ芸能」(11/10 号)の「NEWS SHOT!」のコーナーでは、石川遼交際発表に至る、水面下で行われた石川サイドとマスコミの攻防を伝えている。

石川の地元・埼玉県松伏町で取材活動をしていたという「女性セブン」のカメラマンに対し、怒りの電話をかけてまくしたてたという勝美氏。同誌にコメントしたスポーツ記者は、「勝美さんは意に沿わぬマスコミに圧力をかけることで有名ですが、さすがにセブンの記事を止めることはできなかった。それで、記事が出る前に公表してしまおうということになったようです」と明かす。

また、「夏頃には『石川が女性を妊娠させた』『隠し子がいる』という怪文書がマスコミやゴルフ関係者の間に回った」(同誌より)という石川の周辺事情について、同じく同誌にコメントするゴルフ担当記者は「相手の女性についてはモデル、プロの女性と 2 説ありました。『産んでもらって自分が育てる』と主張する石川に、勝美さんや広告代理店が頭を抱えているという内容。各社ともウラ取りに走ったのですが、今のところ、どこも確証を得られていないようです」と説明する。

今オフには結婚説もあるという石川。前出のゴルフ関係者は「勝美さんは、『時期尚早』と考えているが、公表前には関係各所に挨拶回りもしていたようですから、反対というわけでもない。結婚を機に子離れしてくれると、我々マスコミも助かるんですかね(笑)」と語っている。

- ・アサヒ芸能 [モバイル版] - モバイルからのアクセスのみ
- ・週刊アサヒ芸能 [BookLive!]

CS に向けリハビリ中の松中に中年ファンの心ない暴言

今年、パ・リーグで 2 位日本ハムに 17.5 ゲームの大差をつけ断トツの強さで見事ペナントを連覇した福岡ソフトバンクホークス。しかし、ポストシーズン制導入以降、過去 6 度の全てで日本シリーズ進出に失敗している。昨年に至っては 1 勝アドバンテージ含め 3 勝 1 敗と大手をかけてからの 3 連敗で逃しており、「呪われてるのでは」と言われるほど短期決戦には弱かった。

その象徴が、ポストシーズンで不振に陥ることが多い松中信彦だ。06 年は 4 割近く打って

いるものの、それ以外は毎年のように絶不調で、テレビに映される松中のぼう然とした表情を指して、「秋の風物詩」と揶揄するネットユーザーもいるほどだ。

そんな中、松中のマネージャーが投稿したブログ記事が野球ファンの間で話題となっている。

松中は現在、骨折のリハビリに励んでいるが、病院で中年のファンから「松中は復帰しないでいいよ。いない方が勝つからな」と周囲の人にも聞こえる程、大きな声で言われたというのだ。マネージャーは「常識的に考えてもおかしいと思いませんか？ 必死でリハビリをして、グラウンドに戻ろうとしている人に対して言う言葉ではないと思います」と怒り心頭で綴っている。

だが、この記事に対しネットユーザーからは「可哀想に」「正論を堂々と言っちゃダメだよね」「確かに無神経な発言だとは思いますがそういうこと言われるのも仕事のうちだからね」など、「秋の風物詩」を期待するかのような冷ややかなコメントが目立った。

今シーズンは統一球の影響をもろともせず打率 3 割 8 厘と好成績だった松中。「秋の風物詩」から脱することはできるのだろうか？

【関連リンク】

松中信彦マネージャーによるつぶやき日記

・ <http://ameblo.jp/kkk-ar/entry-11060809481.html>

なでしこ・INAC 神戸の一番で最多観客動員更新なるか

2 日、大手スポーツ紙は、なでしこリーグ・INAC 神戸による「異例のお願い」として、優勝が懸かった一番、今月 6 日にホームズスタジアム神戸で開催される日テレ・ベレーザ戦を目前に「3 万人ほど来てほしい」というチーム関係者のコメントを伝えた。

同報道によると、現在、神戸×日テレの一戦は、前売りチケットで約 4,000 枚を販売し、当日の観客数は 1 万 5 千人ほどと目されているとのこと。これにはネットの掲示板でも「もうブーム終わったの？」「広告代理店の調査ではザックジャパンを超えるブームだったはずじゃ？」といった、なでしこブームに対する懐疑的な声が多く見られた。

なでしこリーグでは、8 月 6 日に行われた神戸×新潟で、2 万 4546 人の観客を動員し、同リーグの最多観客動員数を更新しているものの、この時の試合は、J リーグ第 20 節・新潟×清水戦とダブルヘッターで行われ、J のチケットで入場した観客が、その前座である“なでしこマッチ”を観戦するというものだった。

なでしこジャパンの W 杯制覇に沸き、かつてないほどに同リーグへの注目が集まった今夏～秋。その有終の美として、澤穂希、川澄奈穂美ら人気選手を擁する神戸が、地元で迎える大勝負で、自力の最多観客動員更新を実現することはできるのか――。

日本ハムの菅野強行指名が一転して批判の嵐「これ問題になるんじゃないか」

10 月 27 日に行われたドラフト会議で日本ハムの 1 位指名を受けた東海大・菅野智之投手。

11 月 4 日付け日刊スポーツが「栗山新監督発表その日に 1 年間の浪人を決意した」と報じたが、日本ハムのスカウトに対し「おかしい」とネット上では批判の声が上がっている。

これまで、菅野投手が 1 年間の浪人を決断した背景として、巨人原監督の父でもある原貢氏が、日本ハムが事前に指名の挨拶をしなかったことに立腹したと報じられていた。しかし大阪日刊スポーツの紙面によると、「日本ハム編成トップの山田 GM が事前に巨人側に菅野の指名はしないと申し入れていたが、それでも指名に踏み切ったことに、菅野サイドの不信感は募っていった」と、巨人に対する日本ハムの態度が引き金となったようだ。

これを見たネットユーザーからは「わざわざ（巨人に）指名しませんってあいさつする必要あるのか？」「なんで巨人に申し出なきゃいけないんですかねえ…」「そして（日本ハムは）なぜ指名した？」「これ問題になるんじゃないか」「ハムがおかしすぎる件 巨人もおかしいんだけど上を行き始めたぞ…」など、日本ハムのスカウト方針への批判が殺到した。

ドラフト会議の直後はネット掲示板で強行指名を絶賛された日本ハムだったが、現在は一転し、批判一色の様相を呈している。

【関連記事】

・ドラフト会議の日本ハムに称賛の嵐「これぞドラフトの醍醐味」

売上は月 1900 万円!? 元女子レスラーが経営したキャバクラの全貌とは？

お笑いトリオ・ネプチューンが MC を務める TBS「サタネプベストテン」（5 日放送分）では、「本業より副業に夢中！芸能人のお店 MAX 売り上げベストテン」として、タレントが運営する飲食店における月の売上高をベスト 10 で紹介した。

ここで、1 位の田中義剛（カフェ）、2 位のデビット伊東（ラーメン店）に続く、第 3 位にランクインしたのが、元女子プロレスラーでキャバクラを経営していたジャガー横田だった。

現在は既に閉店しているものの、当時は、1,900 万円を売り上げる月があったというキャバクラ。ゲストで登場した横田は、「ママ、ママ、ママ。（店があった場所は）六本木で一す」と陽気に答えたが、店の名前は「横田基地」で、女子レスラーが働き、コスチュームはドレ

スどころか迷彩服だったことが明かされると、名倉潤は「ホンマ、一発屋のにおいがプンプンする。はじめは興味本位で行くよ。二度とくるかって思う」と視聴者の声を代弁した。

また、当時はさぞ収入があったと思われた横田も、実際には「一緒にやっていた人がいて、私は給料制でした。40 万に税金とられて 36 万円」といい、閉店した理由については「借金はやっぱ作っちゃいけないと思ったので。家賃がやっぱり高いので・・・」と語り、最後には「ドレス着た方がよかったかな」とおどけてみせた。

DeNA 春田真会長、プロ野球参入の理由は「12 個しかないアセットを会社で持つ重みがある」

今月 4 日、TBS ホールディングスとプロ野球球団・横浜ベイスターズ譲渡に合意し、「横浜 DeNA ベイスターズ」という新球団名をもって日本野球機構（NPB）に加盟申請を行ったディー・エヌ・エー（DeNA）。6 日放送、フジテレビ「Mr.サンデー」では、番組司会の宮根誠司が、同社・春田真会長（42）を訪問、単独インタビューを行った様子を伝えた。

訪問前、「なんだったら、そういう中途半端な考え方ではいかんと説教するつもり」と鼻息荒く DeNA 本社を訪ねた宮根だが、腰が低く、人当たりが柔らかい春田会長は、かつて近鉄バファローズのファンクラブに入っているほどの野球ファンだった。

球団買収額については、「オーナー会議の承認を経てですけど、95 億円」と語る春田会長。2010 年には、560 億円の利益を挙げたとされる DeNA だけに、宮根は「安いですね」と尋ねるも、同会長は「安くはないですよ」と苦笑い。

春田会長は、住友銀行に 8 年勤めた後、DeNA に移籍をしている経歴を持つ。「当時はまだ 10 人ちょっと（今は）グループで 1200 人ちょっと」と同社の歩みを振り返ったが、大手銀行から無名の IT ベンチャーへの転職については、「うちは母子家庭で、母親は“なんでやねん”というかわりに泣いてましたね。（給料は）すごい下がりましたよ。“（DeNA 入社時）一番最初にどのくらい（給料を）下げれる？”って訊かれました。やらなければいけないことがあまりにも多かったから、どうしようというよりも、どうやってやるか、そればかりでした。負けず嫌い」と明かした。

また、プロ野球チームを持つことの意味については、「日本に 12 個（12 球団）しかないじゃないですか。12 個しかないアセットを会社で持つ重みみたいなものはあると思うんですよ」と語り、「一番球場行ったのは、日生球場ですね。あと藤井寺。近鉄ファンでしたね。近鉄バファローズ友の会に入っていました」とも。

さらに、一部報道では既に話題となっているチームの監督人事に対し、宮根から新庄剛志、

佐々木主浩らの顔が写されたフリップを見せられるが、春田会長は「(候補が) いたとしても、我々がテレビの前でいうわけにはいかない」と、ここでも苦笑い。

それでも、「4 年ずっと最下位になっているとか、その前もあまり調子がよくなかったって皆さんご存知なので、まずは変わったっていうのをどう出すかがポイント」と、チーム運営に意気込みをみせた。

香川真司、メッシを語る「分かっているけど止められない」

いよいよ後半戦に突入する欧州チャンピオンズリーグ。すでに、連覇を目指すバルセロナや AC ミラン、レアル・マドリードといった名門クラブがグループリーグ突破を決めている。

決勝トーナメントでも、世界中のサッカーファンの注目を集めるのは、いわずもがな、バルセロナのエース＝リオネル・メッシだろう。5 日深夜放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、ボルシア・ドルトムント所属で日本代表・香川真司が、そのメッシについて語った。

番組のカメラに、「次元が違うというか、世界を見渡しても彼は今、ナンバー1 であることは間違いない」と断言する香川。日本代表×アルゼンチン代表の試合を振り返ると、「絶対こっちにくるなと分かっているけど止められない。圧倒的なスピードとボールコントロールの技術はちょっと異次元という感じ」と苦笑いを浮かべた。

また、「ドリブルとか、彼の高速でボールタッチをして、スピードに乗って切り返してって、練習でやったりしますけど難しいですね」と、自身の練習でも試したことを明かすと、「メッシとイニエスタとシャビがいたら、例え 10 人でも（ボールを）取れないんじゃないですか？」と話し、バルセロナの黄金トリオを称えた。

若槻千夏に激似!? 女子バレーのニューヒロイン新鍋理沙

バレーボールの W 杯が開幕し、ロンドン五輪出場権獲得を目指す熱戦の火蓋が切って落とされた。女子代表チームは初戦のイタリア戦に敗れたものの、続くアルゼンチン戦は快勝。悲願の五輪切符獲得を狙うチームに多くの期待と注目が集まっている中、ひととき話題となっているのが、“ニューヒロイン”と目される新鍋理沙の存在だ。

プレミアリーグ・久松製菓スプリングスに所属する 21 歳の新鍋は、昨季プレミアリーグで最優秀新人賞を獲得。今季代表に入ったばかりの超新星だが、鋭いスパイクのみならず、その可愛いルックスで一躍お茶の間の人気者に。赤いヘアバンドをつけて躍動する姿に、インターネット上のスレッドでも「かわいい」が連発され、「デビュー当時の若槻千夏に似ている」との声まで上がっている。

女子バレー日本代表は、これまで数々の人気選手を生み出してきたが、新鍋は実力、ルックスともに並み居る先輩ヒロインたちにまったく引けを取らない。スター性抜群のニューヒロインが、ロンドンへの道を切り開く。

・新鍋理沙の写真ギャラリー

・バレーボールの写真ギャラリー

あどけない笑顔の 23 歳・迫田、強烈バックアタックは全日本の新たな武器に

8 日、ロンドン五輪出場権を懸けたバレーボール女子W杯で、全日本女子は、アルジェリアを 3-0 のストレートで下し、通算成績を 2 勝 2 敗とした。

格下アルジェリアを相手に、大幅にメンバーを入れ替えて臨んだ全日本女子だが、この日は、W杯初スタメンとなった迫田さおり（東レ）が大活躍をみせた。

あどけない笑顔が印象的な鹿児島西高出身の 23 歳・迫田は、スパイクの最高到達点が 3m を超すという恐るべきジャンプ力から、強烈なバックアタックを放つ。大舞台でも躍動した迫田のプレーは、今後の戦いにおいても、全日本の新たなオプション（武器）として組み込まれることになるだろう。

同夜、フジテレビ「すぽると！」に出演した、元全日本女子監督・柳本晶一氏も「迫田が使われているんですけど、練習では（バックアタックを）確認しているのが、試合で監督としても確認しなかった。今日いい活躍してくれましたから。安心したと思いますね」と絶賛。

迫田自身も、アルジェリア戦後、テレビカメラの前では「本当に緊張して、気持ちばかりが前に突っ走ってしまって、タイミングとか、助走のスタートとか早くなってしまった部分があったので、しっかり訂正したい。もっと強いボールを打っていきたい」と反省をしながらも、力強く意気込んだ。

■関連リンク

・迫田さおり フォト

・若槻千夏に激似!? 女子バレーのニューヒロイン新鍋理沙

ハーフナー・マイク、連日の取材に「恥ずかしくて嫌です」

8 日深夜、フジテレビ「すぽると！」では、今月 11 日より、アウエーで再開される W 杯アジア三次予選に臨むハーフナー・マイクに、同局・本田朋子アナウンサーがインタビューを行った模様を放送した。

自身のスパイクに「今年厄年」という文字を入れているハーフナー。インタビューの冒頭、

本田アナから、その理由を訊かれると、「みんなと同じっていうのも嫌なので。たまたま今年厄年だったので、それスパイクに入れちゃおうということで。狙ったわけじゃない、はい」と苦笑い。

今でこそヴァンフォーレ甲府のエースとして活躍するも、横浜F・マリノス、アビスパ福岡、サガン鳥栖時代は、目立った成績を残せず、不安と迷いの日々だったというハーフナー。「4年目までこれといった結果もなく、これから先、プロでやっていけるのかって」と、当時を振り返るも、「ちゃんとした練習場がないっていうのが驚き。シャワーが外にあったり、転々と練習場を移動したり。メンタル的にも絶対やらなきゃ、結果を残さないといけないと思うようになった」と語り、J2の環境下で鍛えられたメンタル面にも触れた。

そんな折、今年の8月には、日本代表にも選出され、タジキスタン戦では2ゴールを挙げた。「(ザッケローニ監督からは)ワントップで出ているので守備はしっかりと。攻撃の面では、味方からボールがきたら、一回簡単に捌いてゴール前に入っていけと。それはできています」と評価しつつ、「気持ちを強くもって戦うことが大事ですし、ミスとかしても、気を落とさずポジティブに教訓にしてどんどん成長していくのはメンタルとかも大事」と語る。

また、インタビューの後半には、本田アナから「以前の自分に声をかけるとしたら？」という質問を受けると、ハーフナーは「慌てるなっていう。マリノスにいた時期から早く試合に出たい。早く結果を残したいという思いが強くて、逆に空回りしたり」と回答。現在の状況については「毎日のように取材とかもきますし、個人的にはちょっと恥ずかしくて嫌です。言葉は出てくるんですけど、カメラ向けられるのが嫌」とシャイな一面をうかがわせた。

・新エース誕生？ハーフナー・マイクの魅力と可能性を探る！

テリー伊藤、菅野強行指名に怒り心頭

タレントで評論家のテリー伊藤氏が、今年のドラフト会議において、東海大・菅野智之の強行指名に踏み切った北海道日本ハムファイターズに怒っている。

これは、「夕刊フジ」の公式サイト・ZAKZAKで同氏が連載するコラム「テリー伊藤のコラム狸の皮算用」の中で綴られたもの。「ドラフト会議から1週間以上たったけど、まだ私の怒りは治まらない」と書き出すと、菅野が見せた怪訝な表情に対しても、「日本ハムは『この春から菅野一本に決めていた』と語っているようだが、だったら、半年前に挨拶に行けよ。」と、ドラフト時の日ハムのやり方に苦言を呈し、その最後には「今は日本ハムの商品は食べないようにしている」とまで言い切った。

だが、今回の一件は、ファンの中でも賛否が分かれるところ。同氏の記事が取り上げられた掲示板でも、「挨拶というか前もって指名すると発表しておけばよかったのに」「もう、菅野のイメージはボロボロ」「ぐだぐだ言ってるが菅野取られて悔しいだけだろ」「挨拶はした方が良かったかもしれん」でも志望届出した時点で他球団に指名されることぐらいは考えておくべき」「血縁を使って単独指名で巨人に入ったら 11 球団のファンは悪いイメージを持つと思うけどな・・・」など、寄せられたコメントはさまざまだった。

- ・日本ハムの菅野強行指名が一転して批判の嵐「これ問題になるんじゃないか」

- ・ドラフト会議の日本ハムに称賛の嵐「これぞドラフトの醍醐味」

まさに才色兼備、187cm の“美白の壁”がロンドンを引き寄せる

ロンドン五輪出場の切符をかけて開催中のバレーボール W 杯。連日連夜、熱戦を繰り広げる全日本女子において、赤いヘアゴムをつけた 21 歳、新鍋理沙がニューヒロインとして話題になっているが、もう一人、同じく 21 歳の岩坂名奈もまたインパクト大の美人バレーボーラーだ。

187cm の身長を武器にミドルブロッカーとして活躍する岩坂は、九州の名門、東九州龍谷高で頭角を現し、インターハイ優勝、国体準優勝などを経験。久光製薬スプリングスに加入後、2009 年に代表候補に選ばれ、今季本格的に代表デビューを果たしたばかりの新星で、今大会でも早速圧巻のブロックで相手国の前に立ちはだかっている。

新鍋とのコンビは「リサ・ナナ」とも呼ばれ、二人で一つのオフィシャルブログを持つほど息もぴったり。美人バレーボーラーとしてもまさに新鍋と双璧をなす。187cm の“美白の壁”で、ロンドンへの切符を手繰り寄せることができるか――。

■女子バレー、注目選手関連リンク

- ・若槻千夏に激似!? 女子バレーのニューヒロイン新鍋理沙

- ・あどけない笑顔の 23 歳・迫田、強烈バックアタックは全日本の新たな武器に

古閑美保、引退にキッパリ 「もったいないとか全然思わない」

今季引退を発表している、女子ゴルフ 2008 年賞金女王・古閑美保。左手首の負傷が引退の一要因となっはいるものの、その早すぎる引退を惜しむ声は多い。

そんな折、9 日、テレビ朝日「報道ステーション」では、同局・宇賀なつみアナウンサーが古閑に行ったインタビューの模様を放送した。

冒頭から、「(引退は) もったいないと思いませんか?」とズバリ尋ねる宇賀アナに対し、古閑は「そのもったいないが全然分からなくて。もったいないって何なんですか? もったいない

とか全然思わないです」とキッパリ。

思い出の試合や一打を訊かれても、「それがないんですよね。思い入れがないっていうか。優勝しました → 嬉しい → 終わり。負けました → 悔しい → 終わり。過去のことになっちゃうんですよ、全部。仕事をしていたって感じ。ゴルフを終わるっていう感覚ではなくて、プロゴルファーっていう仕事を辞める、転職するみたいな」と言い切った。

また、賞金女王になった翌年から、左手首の痛みに悩まされる日々を過ごすようになった古閑は、「自分が一番分かる。一番いい時のショットと違うし、一番いい時のタイミングとか、一番いい時の自分とは全然違うので。それがどうやっても戻せなかった」と引退を決意した思いを明かしつつ、宇賀アナから“また戻ってこれるのでは？”と訊かれても、「私は常にトップにいないと嫌だということ。勝つことを目標にずっとやっていたので。（トップにいられないなら）意味ないですね。だから、もったいないとか思わない」と、ここでも揺るぎない気持ちを述べた。

その他にも、「引退したら、刺激がなくなる？」と訊かれれば、「なくなりますか？例えば、極端な話、好きな人に料理を作ってあげて、おいしいかな、おいしくないかなって思うだけでも刺激じゃないですか？ っていうのをゴルフと一緒にしたら、他のプロゴルファーの人に失礼かもしれないですけど、私としての感覚はそういう感覚」と答えた古閑。第二の人生については、「今からやっていくことは、全部初めてのことだから、楽しみにしてほしいです」と話し、自分の言葉に静かに頷いた。

■古閑美保関連リンク

- ・古閑美保フォトギャラリー
- ・古閑体験談告白 “気持ちよかった”!?
- ・古閑、酔っ払って大暴走
- ・古閑が恋バナをぶっちゃけ「この人の子供が欲しい」

オリックス・バファローズ、戦力外通告選手に無情な対応

先月9日、所属するオリックス・バファローズから戦力外通告を受けた、坪井智哉。阪神タイガース、北海道日本ハムファイターズと渡り歩いた大ベテランで、走攻守、3拍子揃ったバランスのよい選手としても知られていた。

だが、既に戦力外を通告した球団側の対応は極めて無情なもの。なんと、今季坪井が使用しているロッカーの上に、「新入団」（用）という貼り紙を貼ったのだ。

これは、坪井が自身のオフィシャルブログ上で明らかにしたもので、「まあこの世界は(^_-)」

と題し、8日にアップしたエントリーでは、ロッカーの写真とともに「今年、僕が使ってたファームのロッカーはこんな事になってました 切ないねえ」と綴る。

また、同日アップしたもう一本のエントリーでは「さっきのブログでは皆さんをえらいイラつかせてしまったみたいで」と詫びながらも、「よく考えたらムシロその露骨な感じが妙にオモロくなってきた 他の選手が引いてましたよ」と語っている坪井。これには、ネットの掲示板でも「イジメか」「ひでえ」「これは辛いw」「オリックス陰湿だな…」といった声が寄せられていた。

巨人軍のお家騒動に、専門家「コンプライアンスはあまり関係ない」

11日、プロ野球読売巨人軍・清武英利代表は、コーチの人事を巡り、同・渡邊恒雄会長を告発するという衝撃的な記者会見を開いた。

清武代表曰く、チームのコーチ人事について、桃井恒和代表取締役社長や原辰徳監督と協議した結果、岡崎郁氏をヘッドコーチに内定し、渡邊会長にも報告、了承を得ていたという。にも関わらず、渡邊会長は、江川卓氏をヘッドコーチにするという強権を発動し、この決定を覆そうとしたとされる。

その一方、同日に会見を行った桃井社長は、清武代表の独断会見に苦言を呈し、意思統一の取れていない巨人軍トップの内情を改めて露呈する格好に。コンプライアンス、内部統制といった言葉も飛び出した巨人軍のお家騒動だが、専門家はどのように見ているのか？

同夜、一連の模様を伝えた、フジテレビ「ニュース JAPAN」では、危機管理コンサルタント・田中辰巳氏が番組のカメラに見解を述べた。

「コンプライアンスはあまり関係ないと思います。むしろ、ガバナンス、企業統治という視点で一言でいえば、企業を私物化されているのではないかと。コーチの人事について、取締役会長が口を出すというのは犯罪でもなんでもないわけです。ただ、ちょっと、やり方は乱暴で時代錯誤」と語った田中氏は、清武代表の行動にも言及し、「根回しがされない中で、突然上司というか目上の人を批判するというのは、日本の社会では受け入れられがたい。私のはあんまりうまいやり方ではなかった」といった所感を述べている。

■関連リンク

- ・清武代表の声明全文掲載
- ・清武英利さんを支持する | 野球報道
- ・飼い犬に噛まれた球界の盟主

巨人軍内紛、テリー伊藤は清武代表に苦言

プロ野球読売巨人軍・清武英利代表が、コーチの人事を巡って、同・渡邊恒雄会長を告発した“巨人軍内紛”について、13日放送、TBS「サンデー・ジャポン」に出演したゲストのテリー伊藤氏は、清武氏に対して苦言を述べた。

「文部科学省という公的施設で（会見を）やること自体びっくりしたんですよ。で、記者会見聞いていたら、実は人事の問題で“なんのこっちゃ”って。そんなこと、こんなところ言うのかなっていうのはまずありました。GMとして納得できないっていうかもしれないけど、だったら、2年前にGMになった時に、渡邊さんにしろああいう性格って分かっている訳じゃないですか。っていうことは、気合い入れてやるなら、契約書結ぶべきだったと思う」と持論を展開したテリー氏。

その他にも、「今回の件って、これだけじゃなくて、清武さん、この2年くらいで巨人軍に外国の選手が沢山きているけど、一人も活躍していない。実際に初めてアメリカから来たっていう人は全く活躍していないということに対しての不信感があったって」と、清武氏のGMとしての力量に疑問を投げかけると、「2年連続巨人軍が優勝を逃しているってことは、実はヘッドコーチ入れ替えてもおかしくないし、アメリカだったらGMやめますよ。でも、日本って、GMにそんな強い権限ないでしょ。日本シリーズの前日にこれやるって、昨日も今日も新聞は全く一面になってない。日本シリーズのファンに失礼だし、原さんにも失礼。江川さんにも、岡崎さんにも失礼」と怒りの様相でまくしたてた。

■関連リンク

- ・清武続報続論 | 野球報道
- ・清武代表の声明全文掲載
- ・清武英利さんを支持する | 野球報道
- ・飼い犬に噛まれた球界の盟主

なでしこリーグ王者に入団する「かわいすぎるトリオ」

12日になでしこリーグ第17節が行われ、INAC神戸がAS狭山を4-0で下し、創部10年目にして悲願の初優勝を達成した。

澤穂希や川澄奈穂美らW杯を制したなでしこジャパンの面々を多数擁するINAC神戸は、15試合を終えて12勝3分けと圧倒的な強さで首位を突っ走り、20日に行われる最終戦に勝利すれば無敗での優勝となる。

名実ともにまさになでしこリーグの盟主となったINAC神戸だが、次世代に向けての強化にも抜かりはない。U-19代表の主力メンバー、京川舞、仲田歩夢（ともに常盤木学園）、田中陽子（JFAアカデミー福島）の高3トリオの入団を発表したのだ。

このトリオ、将来のなでしこジャパンを背負って立つ実力者であることは間違いないが、同時に、三者三様美人揃いだから恐れ入る。グラビアアイドルにいてもおかしくないルックスの持ち主である仲田のみならず、色黒な肌に爽やかな笑顔をのぞかせる京川は一部ファンから「宮地真緒」に似ていると評判、田中の美人ぶりも相当なもので、ネット上では「かわいすぎる」のスレッドが乱立している。

川澄が anan の表紙を飾るなど、女子アスリート界を席卷している女子サッカー選手たち。第二の川澄は着々と、それもたくさん育っている。

- ・川澄奈穂美
- ・澤穂希
- ・京川舞
- ・仲田歩夢

桑田真澄氏、DeNA ベスターズ監督 & 巨人お家騒動に言及

13 日深夜、TBS「S1」では、プロ野球解説者の野村克也氏、桑田真澄氏が対談形式で日本シリーズ第 2 戦を振り返った。

すると、日本シリーズの解説を終えた野村氏は、巨人のお家騒動を挙げ、桑田氏に「OB としてどうなの？」と切り出した。これに対し、桑田氏は「僕は 21 年間、ジャイアンツでお世話になったし、育てて頂いたので、本当に早く問題解決して貰いたいと思います」と語り、「(詳しいことは) 知らないんです、全く」と強調するように答えた。

また、横浜 DeNA ベイスターズの監督候補に、桑田氏の名前が浮上している件についても、「(正式な話は) 全くないんですよ。僕もビックリしているくらい」と答えつつ、「僕も引退して、スポーツビジネスとか、野球の歴史とか、アマチュアの野球、あんまり分からなかったもんですから、色々勉強させて貰って、そろそろプロ野球に戻ってですね、またプロ野球の指導者として・・・」と意欲をみせた。

ここで番組 MC の魔裟斗から「正式にオファーが来たら？」と訊かれると、「まだね、何もきていないので分からないんですけど、名前が挙がるということは非常に有り難いこと」と話す桑田氏だったが、隣で話を聞いていた野村氏は「ピッチングと一緒にかわしかたが上手い」と笑った。

日本代表敗戦、セルジオ越後氏は「ベストメンバーでなければこの程度」

15 日、北朝鮮の平壤で行われた W 杯 3 次予選第 5 戦は、日本代表が北朝鮮代表に 0-1 で敗れる結果となった。

日本代表監督就任後、初黒星を喫したアルベルト・ザッケローニ監督は、「厳しい環境の中、向こうがフィジカルを前面に押し出してきて、フィジカルサッカーを展開してきた。想像するに、向こうもプレッシャーが掛かっていた。予選敗退が決まっている中、対日本に勝利したいという気持ちでやってきた」と敗戦の弁を語り、長谷部誠は「応援してくれる日本の皆さんに申し訳ない」とコメントした。

この結果には、サッカー解説者・セルジオ越後氏も落胆のご様子。試合後、自身のツイッターでは、「後半も内容的にやられっぱなしだった。パスもつながれていたし。日本は交代枠を使っても、ただ守る選手を増やしているような感じだった。結局ベストメンバーでなければこの程度。それが現実なんだろう。タジキスタン戦が楽すぎて、みんな勘違いしていたただけだよ」とツイートしている。

試合中にも、同氏は「一方的な試合だね。日本は手も足も出ない感じ。精神的に怯えているし、中盤でゲームを作る選手もいない。こんなに押されている日本を見るのは久しぶりだね」、「日本も最終予選進出を決めているとはいえ、ケガを怖がっていたらプロじゃない。公式戦なんだから、ケガをしそうなプレーをしてこそプロ。ファンに失礼じゃないプレーをしてほしいね」と苦言を呈していた。

・アジア最終予選に向け、日本代表の課題は？

日本代表まさかの敗戦に、中西氏は「もの凄い虚無感」

15日、北朝鮮の平壤で行われたW杯3次予選＝日本代表×北朝鮮代表の一戦は、日本代表が0-1でまさかの敗戦を喫した。

この結果に対し、サッカー解説者・中西哲生氏は、自身のツイッターで「自分が戦った訳ではないが、もの凄い虚無感。もの凄く悔しい」と、悔しさを露にした。

試合中から、「人工芝だから跳ねるのではなく、人工芝の硬いので少しボールが跳ねやすい」、「これだけチャンスを作れない日本代表は久しぶりに見た」、「これがアウェーでの怖さ。ただ負けて、良い経験で済ませてはいけない。ここで追いつき、逆転してこそ、良い経験となる」など、リアルタイムレポートとともに所感を述べていた中西氏。

試合直後には、「平壤で勝てない。得点を奪えない。また、その記録を止められなかった。残念」と嘆いていた。

・アジア最終予選に向け、日本代表の課題は？

・日本代表敗戦、セルジオ越後氏は「ベストメンバーでなければこの程度」

北朝鮮観客席の様子を伝えたアナウンサー「統率がとれていました」

15 日、北朝鮮の平壤にある金日成スタジアムで行われた W 杯 3 次予選＝日本代表×北朝鮮代表の一戦は、パク・ナムチョルのゴールにより、日本代表が 0-1 でまさかの敗戦を喫した。

同スタジアムに集まった北朝鮮サポーターは 5 万人ともいわれ、試合前からチャントを繰り返したり、マスゲームと呼ばれる人文字を作るなど、おおよそ事前に練習でもしたかの如く、恐ろしいまでの一体感を見せていた。

同夜、TBS「NEWS23 クロス」にコメントを寄せた、北朝鮮事情に詳しいという山梨学院大学・宮塚利雄教授は、「みんな、動員なんです。北朝鮮っていう国は、大勢集まって勝手な行動をすることができない国なんです。だから、応援も自己流の応援ではダメ」と見解を述べた。

また、北朝鮮国内でも、この試合の様子は放送されたが、同教授は「これは非常に珍しいことです。普通はこういうことはありえない。キム・ジョンイル総書記か、キム・ジョンウンの指示によって急遽放送しているということだと思う」と答えている。

さらに、現地からレポートを寄せた同局・土井敏之アナウンサーは、「統率がとれていました。南米のような歓声は自発的に起こることでありますが、このスタジアムにいる感じは、まさに統率がとれている歓声ですので、他では味わえないアウェイ。アジアでも、それ以外の地域でも感じられないようなアウェイ」と語るなど、日本代表にとっては、まさに完全アウェイとなった異常な雰囲気伝えた。

・アジア最終予選に向け、日本代表の課題は？

・試合を守った審判チームに拍手を

・試合後の駒野「雰囲気にもみ込まれた」、伊野波「攻撃の形はつくれなかった」

・長谷部誠「最後は戦術どうこうっていう感じじゃなかった」

・代表取材できました＆できませんでした

高い身体能力と美貌で魅了するエース・木村沙織の原動力とは？

一部ではデビュー当時の若槻千夏にそっくりと言われる新鍋理沙（21 歳）や、美白美人の岩坂名奈（21 歳）らニューヒロインの誕生に沸く女子バレー界。しかし、なんといっても外せない注目株といえば、全日本の押しも押されもせぬ女王、木村沙織（25 歳）だ。

184cm の長身からスラリと伸びた美脚に、グラビアアイドル級のふくよかなバストと、圧

倒的なスタイルで人気を博す木村。11 月にはフォト・エッセイ『Saori』を上梓するなど、その活躍はコートの外にまで広がっている。

埼玉県八潮市出身の木村は中学時代から頭角を現し、下北沢成徳高時にはアテネ五輪に出場。「スーパー女子高生」として注目を集め、卒業後入団した V・プレミアリーグの東レアローズでは、2009/10 シーズンに女子史上初となる 3 連覇を達成。自身も初の MVP を獲得した。

これまで大きなケガもなく全日本を引っ張ってきた木村の原動力となっているのが、早逝した親友・横山友美佳の存在だ。

かつて木村とともに日本の将来を背負って立つ逸材として注目されていた横山は、横紋筋肉腫という難病のため、2008 年 4 月に 21 歳の若さで亡くなった。親友であり戦友でもあった大切な存在との別れを乗り越えた木村は、コート上の誰よりも熱く戦い、決して諦めない不屈の闘志でチームを勝利に導いている。

幾多の困難を乗り越えていく中で培った精神力とずば抜けた運動能力、そして天性の美貌。今週末の 20 日には、TBS『情熱大陸』にも登場する予定で、エースの素顔と知られざる苦悩がかいま見られる必見の内容と言えそうだ。

■女子バレー注目選手関連ニュース&フォト

- ・木村沙織フォトギャラリー
- ・まさに才色兼備、187cm の“美白の壁”岩坂名奈
- ・若槻千夏に激似!? 女子バレーのニューヒロイン新鍋理沙
- ・あどけない笑顔の 23 歳・迫田さおり

敵サポーター襲来、鳥取市内が異常事態に？

19 日（土）、ガイナレ鳥取のホーム＝とりぎんバードスタジアムでは、J リーグ・ディビジョン 2 第 36 節、FC 東京対鳥取戦が行われる予定となっている。だが、この一戦には、大勢の東京サポーターが鳥取に乗り込んでくることが確実で、鳥取市内は既に“異常事態”になっているという。

第 35 節現在、勝ち点 71 で J2 首位を走る FC 東京にとっては、引き分け以上で J1 復帰が決まる運命の一戦。東京サポーターにとっては、なにがなんでも、その瞬間を見届け、喜びをわかち合いたいのだ。

山陰放送のローカルニュース番組「テレポート山陰」では、「大挙来鳥敵サポーター 鳥取に

異常事態発生」との見出しで、鳥取市内の様子を伝えている。ホテルはもちろん、飛行機や特急列車をはじめとする交通機関は予約で一杯、1800 枚売れているというチケットも、そのほとんどがアウェーチケットとなり、同番組の取材に答えた鳥取ワシントンホテルプラザのスタッフも、「2〜3 週間前から満室だった状態。そんなにないですね。こういったことは」と話した。

現在は、J2・20 クラブ中で 19 位のガイナーレ鳥取にとっては、ホームとは思えないプレッシャーのかかる一戦となりそうだが、鳥取サポーターも負けじとスタジアムへと足を運び、応援合戦となる見通しだ。

コート上とは別人? “天然過ぎる”女子バレー若手コンビ＝江畑&岩坂

18 日、バレーボール W 杯 2011 の最終戦で、世界ランク 2 位のアメリカをストレートで下した全日本女子。今月 12 日から怒涛の 5 連勝を挙げ、ロンドン五輪の切符こそ勝ち獲ることはできなかったが、来年 5 月の最終予選に向け、最高の形で大会を締め括ることができた。

同夜、フジテレビ「すぽると！」には、眞鍋政義監督、キャプテン・荒木絵里香、竹下佳江、木村沙織、岩坂名奈、江畑幸子の 6 名が生出演。大会を振り返ったが、コート上での躍動とはまるで別人のような、“天然過ぎる”江畑&岩坂の若手コンビが、色んな意味で注目をさらっていった。

アメリカ戦でも、江畑はスパイクを決め、岩坂はサーブにブロックにと大活躍。最後はエース・木村のスパイクで試合を決めたが、眞鍋監督は「11 試合中で一番レシーブが良かった。日頃、レシーブをしない江畑と岩坂がレシーブしましたから、非常に良かったですね」と笑いを取ると、前全日本女子監督・柳本晶一氏も「W 杯での収穫」として「若手の台頭」を挙げ、「とくに、今日来てます、江畑、岩坂、新鍋。途中苦しいところもありましたが、諦めずにね、最後までやり続けて結果残しましたよね」と、その活躍を称えた。

だが、当の江畑は「えっと。出来ですか？ よかったと思います」と、おっとりした口調で話したため、スタジオでは笑いが起こり、柳本氏が「(シリーズの) 途中から、手を思いっきり振りだしたように感じた。広島シリーズから比べて」と質問するも、「あんまり意識してなかったです」とアッサリ。これには、柳本氏も苦笑をするしかなかった。

だが、それだけではない。今大会で成長した点を訊かれた岩坂もまた、「今回、試合を出させて貰って、自分にとっても色んなプレーで (VTR の中で、自分の泣く姿を見て) うふうふうふ」とおっとりと話す一方、突然笑い出し、眞鍋監督から「特に岩坂のポジションですよ。まさかここまでやるとは。特にサーブ」と絶賛され、番組内でも「(サーブは) 全体

でも世界の 2 位ですよ」と紹介されるも、見事なノーリアクション。竹下に褒められると「嬉しいです」とニコリして、独自の世界を展開したのだった。

■女子バレー注目選手関連ニュース&フォト

- ・木村沙織フォトギャラリー
- ・まさに才色兼備、187cm の“美白の壁”岩坂名奈
- ・若槻千夏に激似!? 女子バレーのニューヒロイン新鍋理沙
- ・あどけない笑顔の 23 歳・迫田さおり

チョン・テセ、北朝鮮のプレーに「罪悪感が芽生えている時点でプロじゃない」

19 日深夜放送、日本テレビ「Going! Sports&News」では、15 日に北朝鮮で行われた W 杯 3 次予選＝日本×北朝鮮の一戦から、北朝鮮代表チョン・テセのコメントが放送された。

2006 年から 2010 年と、川崎フロンターレでプレーをしたことで、日本にも馴染みのあるテセだけに、北朝鮮サポーターが 5 万人集まり、物々しい雰囲気の中で行われた今回の一戦では、激しく、時に危険なプレーで攻める北朝鮮代表に対し、複雑な心境を垣間見せた。

「(応援は) 想像以上ですね。日本が相手で、皆も合わせてきて、スタジアムの一体感も凄かった。その影響で選手達の一体感も強まったのを見て感じました」と振り返ったテセ。北朝鮮代表のプレーについては、「荒いプレーが今日は多かったですけど、そういうのを見たら罪悪感を感じちゃって、やっぱ、ピッチに立っていた(日本人選手の) 半分以上は友達だし」と寂しそうに語る。

だが、「やっぱ、(北朝鮮代表の) 皆凄くなって正直思いました。皆みたいな力を出さなきゃ、同じテンションでやんなきゃ、朝鮮代表を選んだ僕としてはダメですね。今日は納得していない。全てにおいて。罪悪感が芽生えている時点でプロフェッショナルじゃないなと思いました」と反省の弁を述べたのだった。

楽天・岩隈の禁断不倫愛——、お相手は“妻の義理の妹”!?

21 日発売の「週刊ポスト」は、今日にもメジャー移籍に向けた FA 宣言を行うと目されていた東北楽天ゴールデンイーグルスのエースで、愛妻家としても知られる岩隈久志の不倫スキャンダルを報じた。

同誌は、岩隈と不倫相手の車内キスシーンや、ゴルフ練習場デートの様子を合計 7 ページに渡って掲載、同日、日本テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」でもこの話題に触れると、テロップでは「妻の義妹と抱擁…濃厚キス」と紹介し、岩隈の不倫相手は、妻の親類であると伝えた。

だが、同番組に出演する芸能レポーター・井上公造氏も「禁断の不倫愛発覚」というテロップを持ちながら、「お相手が義理の妹さん。どういう形の義理の妹かは断定できない」と歯切れは悪く、詳細は掴めていない様子で、司会の宮根誠司も「ご家族で話し合っていて」というに留めた。

■岩隈関連リンク

- ・星野監督、開幕投手を決めた経緯を告白「今バラしますが……」
- ・岩隈 “7 年 105 億報道”に「一切ないです」
- ・岩隈の大リーグ移籍に、ノムさん「困ったもんですね」

陸上界のニューヒロイン＝22 歳・西原加純。千葉駅伝では 3 人抜きの快走

23 日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場では、国際千葉駅伝が行われた。

レースは、ケニアが 2 時間 4 分 40 秒の大会新記録で初優勝を果たし、日本代表は惜しくも 2 位となったが、2 区で好走をみせた西原加純は見事な 3 人抜きを果たすなど、その評価を大きく上げる結果を出した。

大会前、22 日放送のフジテレビ「すぽると！」番組内でも、“ニューヒロイン”として紹介されている西原。ネット上では、これまでに何度も“カワイイ”という声が寄せられており、いわば“知る人ぞ知る美女アスリート”だったが、今春より社会人となり、9 月の全日本実業団選手権では、女子 10000m で優勝するなど、一躍ロンドン五輪出場に期待のかかる一人として注目を集めるようになった。

番組のカメラに対し、「社会人になって特に、凄く色々な人に応援されているっていうのを感じるので、自分が走ることで色んな人に笑顔や元気を与えたいと思う。やっぱり結果を出すことで恩返しとか、そういうことをしていきたいなっていう気持ちが前よりは強くなりました」と、愛くるしい笑顔で話す西原。大学の後輩でもある、吉本ひかりと切磋琢磨をしながら、練習に明け暮れる毎日だ。

- ・西原加純フォトギャラリー
- ・吉本ひかりフォトギャラリー

松岡修造、錦織圭のインタビュー中に 2 度謝罪

プロテニスプレーヤー・錦織圭。今月 5 日、スイス室内では、世界ランキング 1 位のノバク・ジョコビッチ（セルビア）を大逆転の末に破り、日本に歓喜をもたらした。

そんな日本テニス界のエースに、テレビ朝日「報道ステーション」（23 日放送）では、大先輩にあたる松岡修造氏がインタビューを行った様子を放送した。

ジョコビッチ戦では、「勝てて嬉しかった」と話す錦織だが、その試合後は、控え目なガッツポーズを見せるに留めていた。

「僕もエドバーグっていう世界 2 位の選手に勝った時なんか、倒れこんで、これ人生で最大のっていう、全然そういうのない。あれはどうして？」と、松岡氏に訊かれた錦織は、「自分の中で決めていた。本心は喜んでるんですけど、そこまで喜んで表現してしまうと、すごい余韻が残ってしまって、次の試合に浮いた感じになるというか、まだ大会終わってないし、優勝したら、そこで喜ぼうと思って」と語る。

去年はケガの影響もあって、898 位までランキングを下げたこともあったが、今年に入ってから見せる目覚ましい活躍について、「戦い方を変えたっていうのが一番あって。今までの自分は攻めて攻めていくスタイルだったので。今は守りが一番最初にある」と明かし、強引なショットで攻める半面、自滅していたこれまでのプレースタイルから脱却したことをアピールした。

また、前述したジョコビッチ戦では、敗戦が決定的になったとあっていい劣勢から、奇跡のばん回を起こした錦織。「まだ、もちろん勝つ望みは残ってましたし、相手がどんな相手であれ、ここを凌げばチャンスはあると思っていた」と振り返ると、松岡氏は「凄い捉え方だね。完全に展開は負けな訳よ。0-30 になった時に『圭、よく頑張った』ってメール書いたもん。負けたことですぐに送ろうって。ごめんね」と詫びた。

さらに、この試合以上に「デビスカップのワールドグループ出場っていうのは、とても大きかった」という錦織は、この国別団体戦で、1986 年以来となる世界上位 16 位入りを果たす。「自分がどうなっても絶対に勝とうと思って。今年は特に震災も 3 月にあって、自分の中でも、もどかしさというか、テニスに対する思いも新たに強くなった」と語るや、これを聞いた松岡は「圭、ありがとね。俺、全然ワールドグループ入りできなくてさ。本当に嬉しかったよ。すごいね。やっぱり。圭凄いね。ごめんね、小さい頃、偉そうにしちゃってたから」と再び謝るのだった。

ソフトバンクのファン感謝祭に“あり得ない”の声

2011 年のプロ野球は、激戦の末、福岡ソフトバンクホークスが日本一に輝き、幕を閉じたが、各球団が催すファン感謝祭は今が真っ盛り。11 月 23 日には 7 球団がファン感謝祭を開催し、DeNA 社への球団売却が進行する横浜ベイスターズは、女子ソフトボールチームと対戦（見事に敗戦）したり、毎年読売ジャイアンツは新入団選手の初ユニフォーム姿を披露するなど、各球団趣向を凝らして 1 年間応援してくれたファンにサービスを行っている。

そんな中、日本一になったソフトバンクのファン感謝祭については、来月 11 日の開催前からネット掲示板に批判が集まっている。

ファン感謝祭は日頃応援してくれたファンに感謝の意を込め、入場料無料、もしくは数百円程度とするチームが多く、中には入場料をチャリティーとすることもある。だが、ソフトバンクのファン感謝祭入場料は、おとな 1200 円、4 歳以上の子供は 1000 円という設定に。この発表がされるや、ネット掲示板では「金額が桁違い」「ファンの皆さんに感謝を込めて集金」「こども 1000 円はないわ」など、批判一色の様相を呈しているのだ。

本来ならファンに感謝し、触れ合い、楽しませることを目的としたイベントであるべきはずが、批判の対象となっては元も子もない。公式サイト上では、すでに「一般チケットは完売」という記載があり、金額がもたらす影響は無さそうだが、ファンの胸中はいかに？

【関連記事】

- ・横浜ソフトボールでも負けた 上野の前に“沈黙”
- ・ドラ 1・松本竜、初ユニホーム姿で決意表明「開幕 1 軍！」
- ・野村カープ新スローガン「破天荒」じゃ！荒武者出て来い！！

浅田を脅かすロシアの天才少女＝トゥクタミシエワ＆ソトニコワとは？

ロシアで開催されたフィギュアスケート GP シリーズ最終戦では、ショートプログラムを 1 位で終えた浅田真央が、フリー演技でトリプルアクセルこそ出さなかったものの、合計 183.25 点で優勝、GP ファイナルへの進出を決めた。

この模様は、日本テレビ「Going! Sports&News」(26 日放送)でも伝えられたが、これと同時に、同番組では新勢力「ロシアの天才少女」として、エリザベータ・トゥクタミシエワ (14) とアデリーナ・ソトニコワ (15) の二人にスポットを当てた。

14 歳ながら、GP シリーズで 2 大会連続優勝を遂げているトゥクタミシエワと、女子史上 3 人目となる「3 回転ルッツと 3 回転ループ」を成功させているソトニコワ。ソトニコワは特に、浅田のショートプログラムの振り付けをしているタラソワコーチが、同様に振り付けを担当しており、今回のロシア大会でも、フリー演技は「愛の夢」という同じ曲を使用している。

アルベールビル五輪メダリスト・伊藤みどり氏も、同番組の取材に対し、「ジュニアからシニアにあがった勢いって、凄い出てきますので。真央ちゃんもそういう時代があった訳ですから、今度は追いかけるから、追いかける方向にいつているので、プレッシャーは掛かってくる」と、今後浅田を脅かす存在になるであろうロシアの新勢力台頭について語った。

- ・浅田真央フォトギャラリー
- ・エリザベータ・トゥクタミシエワ フォトギャラリー
- ・アデリーナ・ソトニコワ フォトギャラリー

浅田真央の姉・舞が明かす、真央の試合前

ロシアで開催されたフィギュアスケート GP シリーズで、復活の優勝を遂げた浅田真央。28 日放送の日本テレビ「スッキリ!!」では、「浅田真央(21)の姉が語る 世界と戦う妹の“強さと素顔”」と題し、真央の姉＝浅田舞のインタビューを放送した。

「“ロシアでいい成績をとってファイナルへ進出する”という貼りが家に貼ってあったり。目標を立てて頑張っていたと思います」と話し、真央が家に貼りを貼って自らを鼓舞させていたと明かした舞。

真央の演技については、「フリーのスピンは3つ入っていて、最高評価はレベル4なんですけど、全てレベル4を貰えたのは、とても大きいと思います。スケートの表現力、基礎であったり、質のよさだったり。ストレートラインステップシークエンスというのが入っているんですけど、それも最高評価のレベル4をフリープログラムで取ることができて、ロシア杯では、女子で唯一取れたのが真央のステップでした」と絶賛した。

また、舞は、ロシア杯に向けた真央に激励のメールを送るや、真央からは「はいよ」という素っ気ない返信があったことを明かしたが、時にはメールの返事自体がないこともあるという。「でも、調子のよい時はいつもそんな感じなので心配いらない。調子の悪い時は“演技見てた?”とか“また失敗した”とか送ってきたけど」と語り、姉ならではのエピソードを紹介した。

■浅田真央の写真ギャラリー

■浅田舞の写真ギャラリー

落合監督が告白、試合中に無表情貫くも、その裏では・・・？

29 日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では、「落合博満“オレ流”の裏側 無表情の真実」と題し、監督生活 8 年でリーグ優勝 4 回&日本一 1 回を成し遂げた名将で、今季をもって中日ドラゴンズを退団した落合博満氏に、長嶋一茂氏がインタビューした様子を放送した。

「ゲームセットという時点で、“ああ解放されたな”っていう。何年ぶりだろう。日曜って、こんなに人出があるの。俺、野球の試合やっているから、その行き来だから、分からないのよ。出てきたっていうのは 8 年ぶりでしょ？こんなに人多いんだ」と、ユニフォームを脱い

だ現在の心境を語る落合氏。

9月に同監督の退任が発表されるや、チームは一気に浮上、大逆転でリーグを制した格好となったが、このことを訊かれると、「頑張ったっていう表現よりも、これが恐らく監督とやる最後なんだから、みっともないことはできないよなって。それと、俺らやってきたんだから一回は監督に認めて貰いたいよなっていうのがあったんじゃないかな。これは俺の推測。誰のためじゃない。監督のためだとか、コーチ、自分のためっていうよりは、一回はこれだけ毎年にもボロクソに言われている監督に、自分ら認めて貰いたいよなっていうのが、あったんじゃないかな」と語る。

また、日本シリーズではソフトバンクホークスの前に敗れはしたが、落合氏は「シーズンはじまる前に“日本シリーズは考えるな”と。要するに、二年連続で優勝すればそれでいいからっていう話はしてたんで、大満足は大満足なんですよ、私は。世の中の人が考えているほど、日本シリーズで負けたから“ああ、悔しい”っていう気はないんです。もう、そこへ第一目標を置いてたから」と晴れ晴れとした様子で話した。

さらに、落合氏といえば、試合中のベンチでは常に無表情となり、一切感情を露わにしないことでも知られているが、「イニング毎に必ずベンチ立つでしょ？裏行って、表情変えているから。監督室帰って、例えばお茶飲んだり、水飲んだり、一人でボソボソ文句いいながら、“あの馬鹿野郎、あんなところで、あの球打ちやがってとか独り言を言ったり。そこで頭切り替えて、ベンチ行って座っていると。この繰り返しですよ」と明かし、大笑いをしたのだった。

[落合監督インタビュー後半はコチラから]

■Baseball Journal オピニオン

・統一球、来年も続けるべきか？

落合監督断言 「他の監督はやりやすくなった。逃げ道なくなったもん」

29日の「報道ステーション」(テレビ朝日)では、同番組で野球解説を務める長嶋一茂氏が聞き手となり、今季をもって中日ドラゴンズを退団した落合博満元監督へのインタビューの様子が伝えられた。

インタビュー前半では、試合中に無表情を貫いたその裏側を明かした落合氏。感情を抑え込んでいた理由については、「うちの選手、俺の本当の性格知ってたら野球になんないと思う。選手はベンチを見てる。怒ってる姿を見せたら、あいつら体動かなくなるから」と語りつつ、「それでなくても、そういう野球を中日はずっとやってきたわけでしょ。過去の政権で。戦う人間はこっちじゃないよ。お前ら何しでかしたって別に怒りゃせんから。そのかわり、勝

ち負けの責任は俺がとる。(個人の)成績良い悪いは、お前らが責任とれよ。そこはフォローしないぞ。だから、グラウンド行って戦ってきなさいって」と、中日歴代監督のスタイルをチクリ。

さらに、12 球団随一の練習量を課した落合氏は、「ケガする奴は、ケガさせても構わないって。ケガをすることで覚えることもある。オーバーワークになるんだったら、なっても構わない。それで1ヵ月、2ヵ月、故障して出遅れるなら、それも構わない。指導者も止めちゃいけない。なんでコーチはストップかけるの？そこから上手くなる可能性があるものを何で止めるの？自分らが早くホテル帰りたいからって、練習きってどうするの？やるからには最後の一人までコーチはグラウンドにいろよ。必ず見といてやれよ。誰も見てないところで一人でやれるだけ、精神力の強い選手ってそうはいないから」と説明しながら、「見られている喜びというのは、おたくのお父さんが一番よく知ってるでしょ？」と、インタビュー・長嶋氏の父・“ミスタージャイアンツ”長嶋茂雄氏を例に挙げた。

すると、落合氏は一茂氏に対して、「お前がもうちょっと(練習を)やっておけばなあ。絶対親父を超えたと思うよ。本当、練習しないもん。お前、嫌いだったもん。でも、プロ野球選手になったから、褒めてやるよ。普通嫌がるよな。俺、その気持ち、よく分かる。自分の息子を持って。はじめて分かる」とも。

また、12 球団最低の打率、一試合平均 2.9 得点という打てないチームであってもリーグ優勝を果たした実績については、「410 何点？144 試合でだよ。1 試合 3 点取ってないんだからね。そら打って点数取ってくれることに越したことはないよ。でも、取ったはいいけど、ざるみたいに取られて、全部吐き出すようだったら、それも困るだろうし。そのバランスだよ。12 球団最低の打率で、一番少ない得点で、優勝するってことを現実に作りあげちゃったわけだから。これから、他の監督、“うちは貧打だ”“点数取れないから勝てない”とか誰も言えなくなったよ、これで。やりやすくなったと思う。いや、やりやすいでしょう。逃げ道なくなったもん。他の球団、やりようによっては、ナンボでも優勝するチャンスはあるでしょ」とキッパリ。

“飛ばないボール”と揶揄される統一球の影響を訊かれても、「関係ない、まるっきり関係ない。統一球、飛ばないというその言葉にやられた。(対策云々について)それは逃げ。みんな、そこへ逃げたんだ。世の中と一緒。何かあると原因はそれなんだよっていう風に。俺らが打てなかったのは、ボールのせいなんだよ、審判のせいなんだよって、逃げちゃったの。振ってるのボールだもん。それは率も下がる、ホームランも落ちる。自分の技術がないから、ボール球を振るんだろ。現に振らない人間だっているわけだから。そこに逃げ込むなよって」と言い切り、今後、他球団で監督に就く可能性には、「話しは聞きます。続けざま、2 球

団、3球団とあるかも分かんないし。このまま一生ないかもしれない。どうやっても、こっちからやらせてくれっていう性格じゃないから。皆そう思ってるでしょ。中には俺みたいな人間もいるって」と話した。

・落合監督が告白、試合中に無表情貫くも、その裏では・・・？

本田モデルのスパイク登場も、「オモチャみたいだな」の声

29日、スポーツメーカー大手・ミズノは、サッカー日本代表・本田圭佑着用モデルのサッカーシューズ「IGNITUS2 KH（イグニタス ツー ケイエイチ）」を発売すると発表した。

同社のリリースによると、本田の意見を取り入れたという「IGNITUS2 KH」は、「斬新なカラー、紫色のアップーに金色のラインのデザインとあらゆる方向への動きに対応するスタッドが特長」とされており、ジュニア向け、スパイク、トレーニングシューズと3タイプで15,000足の販売を目指すとしている。

特徴的なファッションや、両腕に腕時計をはめるなど、独自のスタイルでも知られている本田がデザイン（監修）した紫×金色のスパイクは、ネットの掲示板でもさっそく話題になった。

だが、寄せられたコメントは「紫芋みたい」「こんな感じのミニ四駆あったよね」「オモチャみたいだな」「牛乳かけて舐めたら甘そうだな」「金色主体の方がよくね？」「ネルフのマーク入ってても違和感ない」など、そのカラーリングを揶揄したものばかり。それでも、本田同様、抜群の存在感を出すにはもってこいといえそうな同スパイクは、今月10日から全国のミズノ品取扱店で発売される。

■関連リンク

・本田圭佑選手着用モデル サッカーシューズ「IGNITUS2 KH」発売

和田アキ子、スザンヌから斉藤和巳を紹介されるも・・・

プロ野球・ソフトバンクホークスの斉藤和巳と、タレントのスザンヌが今月1日に結婚を発表した。二人は昨年3月、週刊誌にデート現場を撮られると、交際を宣言し、東京一福岡間で遠距離恋愛を続けながら、愛を育んでいた。

すると、4日にTBS「アッコにおまかせ！」番組内では、芸能界のご意見番・和田アキ子が二人の結婚を祝福。「私ね、知ったかぶりして言うわけじゃないんですけど」と前置きし、「いつもいく寿司屋、こないだの青山の寿司屋。あそこの寿司屋の裏、個室あるじゃん。私が行ったら、お店の人が“スザンヌさんがご挨拶したい”って。で、トイレ行って戻ってきたら、男の人が立ってて、私、野球選手ほとんど知らないから、“アッコさん、紹介します。

彼氏です”って言われたのに“いい男じゃん”って。“おバカキャラで売ってますけど、根はいい子ですから大事にしてやって下さいね”って言ったら、“斉藤と申します”って言われて。うちのマネージャが“超有名な野球選手ですよ”って。それを私、全く知らないもんだから“割といい男じゃん”って」と、スザンヌから既に“彼氏”は紹介されていたが、それが誰とも分からず、斉藤の存在も知らなかったというエピソードを明かした。

また、「(紹介されたのは) 去年の時点ですよ」と話したアッコは、しっかりとした交際期間を経て結婚に至った二人に対し、「(斉藤は) バツイチって言われてますけど、いいじゃん。これからですよ」とエールを送った。

■関連リンク

・斉藤和巳のブログに非難続出

「僕らの年代では一番うまい」 中田英が絶賛する日本人選手の現在とは・・・

日本テレビ「真相報道 バンキシャ！」(4日放送)では、海外で活躍する日本人サッカー選手の中でも、“純粋にサッカーを続けたい”という想いから、タイに活躍の場を求めた、ある選手をクローズアップした。

同番組の調べによると、各国の3部リーグ以上でプレーをする日本人選手は、なんと133人。ヨーロッパ圏ばかりが注目される中、東南アジアでも、実に56人もの日本人選手がいる。

元日本代表・中田英寿氏が「僕らの年代では、多分一番有名な、一番うまい選手」と絶賛し、現在はタイ・プレミアリーグのBECテロ・サーサナで活躍する財前宣之(35)もその一人だ。

かつては、ヴェルディ川崎に在籍し、U-17日本代表時代は10番を背負った。当時を振り返った中田氏は、「僕が走って、ザイ(財前)が裏へ出してくるっていう、本当にコンビのような選手でしたね。財前のような選手がずっといたら、僕はずっと点取り屋のようにいただろうし、パスを出すというよりも貰う選手で居続けたと思う」と語るほど。

しかし、度重なる膝の怪我に悩まされ、2009年にモンテディオ山形から戦力外通告を受けた。番組のカメラに、「左(膝の前十字じん帯断裂)2回やって、右も1回やってる。ネジでじん帯とめている」と話した財前は、「どこいっても不良品扱い。自分の人生でも最も苦しい時期。引退も考えました」と明かす。

それでも、タイに渡った元ジュビロ磐田で現在はTOTの河村崇大、横浜FC、東京ベルデ

ィ等でプレーしたバンコク グラス FC の滝澤邦彦らと、食事会等を通じて励まし合い、切磋琢磨を続けている財前は、「やっぱりサッカーが好きで、どうしてもやりたいし、その中で（プレーできる）環境や状況、やる場所を貰って、タイというところで皆やっている」と現状を説明。「年齢とともに出場する回数が短くなるのは誰にでもあること。契約している限りは、何かをチームに落としていくのが自分の使命」と語った。

また、同特集では、小学校 6 年生にして、2 ヶ月間のアルゼンチン留学を行う熊倉海渡君にもカメラが密着した。アルゼンチン 3 部のユースチームで練習し、将来はバルセロナ入団という夢を持つ熊倉海渡君は、「スポーツはスポーツだけど、個人個人の戦いって感じ。ポジション争いとか、競り合いの厳しさとか」と語り、年齢や国は違えど、ここでもまた戦いの厳しさを垣間見せた。

落合元監督、“内川へのクレーム”に言及 「もし専門家に言わせたら・・・」

1 日、プロ野球 MVP が発表され、パ・リーグでは、福岡ソフトバンクホークス・内川聖一が選ばれた。

その内川——、中日ドラゴンズと対戦した日本シリーズ第 2 戦では、スコアレスで迎えた三回の一死一、二塁のチャンスに登場するも、中日ベンチからは、落合博満元監督が審判のもとへ歩み寄り、内川のバットに巻かれたグリップにクレームをつけた。

これにより、内川は以後の打席で凡打となり、ソフトバンクの流れを見事に断ち切ることに成功した落合氏だったが、両チームのファンを中心に、“なぜ、あのタイミングなのか”“心理戦”“狡猾”など賛否の議論が起こることにもなった。果たして、その真意とはなんだったのだろうか。

先月 27 日、TBS「S1」番組内では、落合監督と野村克也氏が対談を行っている。

落合氏が「(中日退団が発表されると) ある意味、楽になりました。負けたら終わるんだろうな。負けない限りは、11 月になっても、ユニフォームを着ているんだろうと。8 年前、監督になった時に、現場のことは全部やれってことを言われて、来年、それをやらなくていいんだ。野球の勝ち負けだけに集中すればいいんだって、ゲームそのものは楽になりました」と振り返ると、野村氏は「(楽天時代に) 同じような体験してんだけど」と話すが、落合氏は「それ、プレシーズンマッチでしょ。俺はシーズン中だから。まだ 4.5 ゲーム (中略) 監督の契約問題で、あんまり波風立てたくなかったから、選手には一切言ってないんですよ。球団が言うっていうから、“それはやめてくれ”と。現場預かってるのは私だから。勝手に選手の前で、その説明はしないでくれと。野球に集中させたいから」と説明。その後、二人の対談は、当然、日本シリーズのことにも至った。

「内川のところで抗議に行ったじゃない？あれは何なの？じらし？」と尋ねた野村氏に、落合氏は「あれは、俺は知らなかったの。そしたら、前の日から谷繁（元信）が内川のバットに何か入っているってことを言ってたの。あれは選手が先に見つけたの」と明かす。

「本当に入ってたの？何か？」と訊く野村氏に、「えー、まあ、こういう、丸ではないですよ。縦に固めたような・・・」と説明した落合氏。野村氏が「本人は何に利点があんの？」と続けるや、「ノムさん、ゴルフやります？」と切り出し、「俺もゴルフやらないから、よく分からないんだけど、もし専門家に言わせたら、“力の入り具合は違う”っていう。それがこのシリーズに関していえば、審判が OK 出したから問題にならないでしょうけど、来年は問題になる」と言い切った。

■関連リンク

- ・パ MVP は内川でいいのか？
- ・落合監督が告白、試合中に無表情貫くも、その裏では・・・？
- ・落合監督断言 「他の監督はやりやすくなった。逃げ道なくなったもん」

来季に注目、女子ゴルフ界は美女だらけ？

今季をもって 2008 年賞金女王・古閑美保が引退した。天真爛漫な彼女の引退は、多くのゴルフファンに一抹の寂しさを感じさせたことだろう。

だが、来季はそんな寂しさを吹き飛ばす、期待の新人が大挙してプロデビューを果たす。2 日に女子ゴルフツアーの最終予選会最終日が行われ、今年のプロテストに合格した美人三人衆、豊永志帆（21 歳）、斉藤愛璃（21 歳）、香妻琴乃（19 歳）が来季フル出場の権利を勝ち取ったのだ。

女子ゴルフ界ではかねてから話題の美人三人衆。上位 30 名程度が来季のフル出場となる見込みで、豊永は通算 9 アンダーの 4 位、斉藤が通算 3 オーバーの 31 位、香妻が通算 4 オーバーの 34 位に入った。

170cm 近い長身でモデルばりのプロポーションを誇る豊永は、9 歳からゴルフを始め、2005 年、06 年と九州中学校ゴルフ選手権を連覇、さらに 07 年、08 年の九州高等学校ゴルフ選手権も制するなど、地元熊本では若くして注目を集めた逸材だ。プロテストに合格した今年は 8 月のニトリレディースで 6 位に入り、賞金約 292 万円を手に入れている。

また、斉藤と香妻も末恐ろしいスター性を備えている。斉藤はそのアイドル然としたルックスから一部ネット界では熱狂的なファンが存在し、香妻にいたっては女子高校生時代に「美

人すぎる女子高生ゴルファー」として注目されていたほどだ。

三者三様に美人なスーパールーキーたちが、来季の女子ゴルフ界をさらに美しく染めていくことになりそうだ。

■関連リンク

- ・古閑美保、引退にキッパリ 「もったいないとか全然思わない」
- ・豊永志帆フォトギャラリー
- ・斉藤愛璃フォトギャラリー
- ・香妻琴乃フォトギャラリー

“アニキ”金本、新井に厳しいもの言い。ダルにも言及

4日放送、TBS「S1」では、「Weekly ストーブ 猛虎が MLB を語る」と題し、阪神タイガース3選手＝金本知憲、新井貴浩、鳥谷敬の座談会の模様が放送された。

冒頭、「全て新井を中心に世界が回っているんで」と、新井を持ち上げた“アニキ”金本だったが、「(新井の) 通信簿を付けるとしたら？」と訊かれるや一転、「55点。打率も3割1分から2割6分台、最後。4番ですからね」と厳しく言い放つ。

また、海外FA権の取得について、新井は「実際、無理ですね。僕みたいなタイプはまず通じないですね。松井（秀喜）さんでも、ああいう感じですよ。年間50本くらいホームラン打つパワーヒッターですよ」と語り、鳥谷が「自分は何も考えてないですけど」と続けると、「トリ（鳥谷）みたいなタイプは可能性あると思うんですけど、僕なんか行って何するんだっていう」と鳥谷をフォローしつつ、自虐的なコメント。すかさず金本は「(米球場の)グラウンド整備しとけばいい」と、ここでもキツイ一言でツッコミを入れた。

さらに、ダルビッシュ有の話題になると、「ダルビッシュの凄さは、ちょっと違う。150キロでシュートさすとか、148キロでカットさすとか、そういうピッチャー、いままでいなかったから。そういうので、比較しようがない」と絶賛する金本に、新井は「今年のダルビッシュは、もう全然今までより更に凄くなっている。全部のボールがいい。非の打ちどころがない。17年間やってきましたが、今年のダルビッシュは最高に凄い」と褒めたが、対ダルビッシュは4割6分の打率を残している。すると、「それ言ったら、ややこしくなるんと言わなくていいです」という金本は「それは本当に自慢できますね」と笑った。

■Baseball Journal 関連ニュース

- ・阪神ファンが迷走・横浜ベイスターズを憂いてみる
- ・来シーズンは和田監督と、クソ熱いシーズンを過ごそう！

・マー様、ブラゼル、残留！和田監督を男にするで！

ノムさん、ダルビッシュのメジャー挑戦には「はんたーい」

TBS のスポーツ番組「S1」（4 日放送分）では、プロ野球解説者の野村克也氏と桑田真澄氏
が対談を行い、ソフトバンク・和田毅や埼玉西武・中島裕之といった、来季メジャー挑戦を
希望する選手達の展望、そして、その動向が注目されるダルビッシュ有について語った。

野村：誰が活躍する？

桑田：僕が期待したいのは中島君ですね。

野村：（自分は）メジャーの経験ないけど、ピッチャーは通用しやすいんじゃない？

桑田：日本のピッチャーは、変化球でストライク取れますんで。

野村：向こうのピッチャー、フォーク放らないじゃない？コントロールとフォークがあれば、ある程度、通用する気がするんだけど。

桑田：ピッチャーも二人とも十分やれると思います。

野村：そういう意味じゃ、ダルビッシュなんか、悠々と通用しそうな気がするんだけど。

桑田：行けば出来ると思うんですけどね。

野村：野手は難しいんじゃない？

桑田：ボールもホント動いてきますし、見たことないような速いボールも出てくると思いま
すけどね。中島君は、外国人と溶け込んでいけるタイプ。僕は話したことはないですけど、
スッとチームに溶け込んで、自分の力を発揮できる。

野村：彼は広角的に広く打てるからね。

桑田：3 人の中でも、打率、打点、ホームラン。全ての面で中島君が一番成績良いですから
ね。

野村：和田と岩隈はどう？

桑田：十分やれると思います。

野村：和田はいいチェンジアップもって、岩隈はいいフォークボール持ってる。ピッチャーの方が活躍し易い感じはする。

桑田：条件はボールですね。統一球に変わったっていっても、メジャーのボールって全然違うんですよ。一回り大きく感じますし、滑るんですよ。それにうまく順応できたら、日本と同じくらい活躍できる。

魔裟斗：やっぱり気になるのは、ダルビッシュ選手なんですけど、メジャーに行った方がいいんですか？

野村：はんたーい。一流選手は、そう簡単に出るもんじゃない。先週落合と話をしたら、（一流選手は）簡単に出るみたいなことを言うんだよ、彼は。いなくなったって、次出てくるからって。そんなもんかな。

桑田：なかなか彼のクラスは出てこないですね。本当はいて貰いたいですけど、彼が行きたいなら行くべきだと思います。

野村：感謝がないのよ、今の人。球団にもお世話になって、一人で活躍したような気になって、勝手に日本を捨てて、メジャーに行っちゃうなんて。僕ら世代の人間から、そういう発想は出てこない。

桑田：僕は、日本の一流プレーヤーが、最終的にアメリカのいいところを吸収して、日本の野球界に恩返しして貰いたいんですね。MLB という組織も素晴らしい。グラウンドも素晴らしい。待遇も素晴らしい。

（中略）

野村：固定観念か知らんけど、一流が一流を育てるっていう思いがあるわけ。王、長嶋というスーパースターを育てたのは金やんだったり、江夏であり、村山であり。一流同士が切磋琢磨をして、レベルを上げていって、全体的にメジャーと本当のワールドシリーズが戦えるような方向に行って欲しいと思う。メジャーでワールドシリーズと言ってるけど、おかしいと思わない？

■セ・パ両リーグの「ナンバーワンピッチャー」は？

亀田兄弟 W 王座戦開催も、misono や橋下新市長の国歌斉唱に酷評続々

7 日、大阪府立体育会館で開催された、WBA バンタム級タイトルマッチ、亀田興毅 vs マリオ・マシアスの一戦は、興毅がマシアスを 4RKO で下し、3 度目の防衛に成功したものの、弟・大毅は、同スーパーフライ級タイトルマッチでデーパリット・ゴーキャットジムに判定で敗れる結果となった。

兄弟揃っての 2 階級制覇は持ち越しとなったこの日、ネットの掲示板上では、試合以上に話題を集めた出来事があった。タレント・misono や、橋下新市長&松井府知事が行った国歌斉唱である。

興毅試合時、misono が行った斉唱の動画が掲示板に貼り付けられるや、「放送事故だろ」「ひどい君が代」「めっちゃくちゃ酷かったぞ」「歌手であればちょい酷いと思った」などと酷評が集まり、また、歌手ではない橋下新市長&松井府知事コンビの斉唱動画(大毅試合時)には、「いーしーのおほお〜↑で吹いた」「音楽のテストを思い出して辛い」「国歌うた下手選手権になっとる」といったツッコミにも近いコメントが寄せられたのだった。

最近の「国歌斉唱＝酷評」といえば、今夏に行われた日本代表戦において、アクアタイムズの太志さんの斉唱も、ネットユーザの間では「国歌では惨敗だった」などと話題になったことがあった。選手にとっては、試合直前の最も集中力を高めなくてはならない時間帯、一体どのような思いで聞いているのだろうか。その胸中は？

・サッカー『キリンチャレンジカップ 2011』の国歌斉唱が「あまりにもヒドすぎる！」と話題に

他球団のエースが絶賛する、“プロが選んだ”ナンバー1 投手とは？

フジテレビ「すぽると！」(6 日深夜放送分)では、「この選手がすごい！コントロール部門」と題し、同番組ではお馴染みとなっている“プロ野球選手 100 人が選んだプロ野球選手ベスト 5”が放送された。

5 位は、巨人・澤村拓一が「自分の思い描いた通りに投げているなと感じる」と語るなど、計 3 票を集めたヤクルトスワローズ・館山昌平、そして、オリックス・西勇輝が「テレビで見てもすごいなと思いますし、ここっというときのコントロールが凄い」というオリックスの金子千尋。横浜・江尻慎太郎が「我らがエース」と誇り、昨年の同番組、同企画、同部門で 1 位だった三浦大輔が選ばれた。

4 位は、5 票で埼玉西武・牧田和久が「スピード自体は 130 キロ台後半なんですけど、自分の力を知っている」と評価する、12 球団最小・18 与四球の北海道日本ハム・武田勝となっ

た。

3位は、埼玉西武・栗山巧が「厄介ですね。打者有利カウントで強振しにいける時が少ない。内にも外にも高めにも低めにも投げ分ける」と話し、楽天・田中将大を含む16票が入ったソフトバンク・攝津正。

2位は、その攝津が「あれだけのスピードとキレがあって、尚且つコントロールがいい」と語る田中が22票を獲得。田中が6試合を投げ、5勝（2完封）をしている千葉ロッテの選手からは、内9票が入った。

そして、1位は、「構えたところにボールが吸い込まれていくようなコントロールを持っている」（巨人・内海哲也）、「ここっていう時の低めのコントロール。追い込んでからのストライクからボールになる変化球が凄い」（広島・前田健太）と他球団のエースも絶賛する中日・吉見一起（40票）だ。選ばれた吉見は「一番こだわっているところ。そういう部分で選ばれたのは本当に嬉しい。プロに入ってから、ピッチャーをしている限りは、145キロ以上は投げたいという思いはありましたけど、無理だと思いました。その中で自分が生きる道は何かと自問自答すると、低めのストライクゾーンで勝負」と語り、喜びを表した。

■セ・パ両リーグの「ナンバーワンピッチャー」は？

ダルビッシュがメジャー挑戦発表、ファンの「嘘ついたこと変わらない」の声に弁明もその去就が注目されていた、北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有が、遂にメジャー挑戦を発表した。

8日、自身の公式ブログ上で、この度、ダルビッシュ有はポスティングシステムを利用する事を決めました。

一番にファンの皆様へ伝えたかったのでここでの発表になりました。

北海道日本ハムファイターズ球団には本当に感謝してます。

ただ、まだポスティングの手続きをとったばかりなので、今の段階で詳しいことは話せません。

全てが決まってから会見させて頂きたいと思いますと綴ったダルビッシュ。

同発表後、ツイッターから寄せられた「『もしメジャーリーグに行くってなるくらいやったら僕は野球を辞めます。日本の子供たちだって、おもしろくないじゃないですか。子供達を楽しませるためには、そういう(日本に残る)人も必要やと思うし』この言葉を信じてたのですが…残念です」というファンのメッセージにも、ダルビッシュは時が経つにつれて自分の立場、周りの環境も変わります。当時とは求められることが違いますし、当然やることも変

わってきます。確かに発言はしましたが誰しもが時と共に変化するということですと説明。「嘘ついたことには変わらない」という声には、深く見ると嘘ついたってのは違ってきます。表面的に見たならそうしか見えませんがと弁明している。

■ダルビッシュ関連リンク

- ・セ・パ両リーグの「ナンバーワンピッチャー」は？
- ・ノムさん、ダルビッシュのメジャー挑戦には「はんたいい」
- ・ダルビッシュに 10 億円の価値はあるのか
- ・ダルビッシュという爆弾
- ・ダルビッシュだって表彰ものだ！

J トライアウトに元日本代表選手も。過酷な生存競争如実に

13 日、JPFA=日本プロサッカー選手会がトライアウトを開催した。「クラブより翌年以降の契約を更新されなかった選手が、選手獲得を望むクラブに対しプレーを見せる機会」（JPFA 公式サイトより）として、ゲーム形式+キーパーはゴールキーパーテストで選考が行われる。

同日、公式サイト上には参加選手や組み分けが発表されたが、その中には史上最年少となる 17 歳 322 日で国際 A マッチデビューを飾り、2002 年の日韓 W 杯にも出場した市川大祐、ジェフユナイテッド市原千葉で元日本代表でもある村井慎二や、2009 年にもトライアウトを受けている茶野隆行などの名前もあり、過酷な生存競争を改めてうかがわせた。

また、水戸ホーリーホックの常盤聡や、J1 昇格を決めた FC 東京の柳楽智和など、主に J2 クラブ退団が決まっている 20 台半ばの選手も多く、9 日、サッカーメディア「Soccer Journal」に掲載されたサッカージャーナリスト・小澤一郎氏のコラム『「ビニール傘化」する J リーガーをなくすために』がネットを中心に大きな話題となったが、まさに、本コラムの中で綴られた「予算の厳しい J 2 クラブは選手のレベルよりも単年、低年俸で解雇もしやすい条件を優先して大卒選手を大量補強するような傾向」を感じさせるトライアウトとなった。

■関連リンク

- ・【特別寄稿】「ビニール傘化」する J リーガーをなくすために（小澤一郎）

止まぬ紗栄子批判も“養育費月 1000 万円要求”の信憑性は？

今月 8 日、ポスティングによるメジャー挑戦を発表した北海道日本ハムファイターズのエース・ダルビッシュ有。紗栄子夫人との離婚問題が発覚したのは昨秋のことだが、現在も調停は継続中としている。

13 日には、一部のニュースメディアが「遅々として進展していない」という関係者のコメ

ントなどを紹介し、改めてその原因を「養育費で乖離」と伝えている。

今年はじめに一部週刊誌で報じられた内容によると、ダルビッシュ側が提示した諸条件は、慰謝料1億円+子供二人の養育費が月100万円というもの。これに対し、紗栄子側は月1000万円の養育費（慰謝料なし）を求めていることから、現在も両者の離婚協議が平行線をたどっているというわけだ。

だが、このニュースが掲示板上で取り上げられるや、ネット上の論調は紗栄子に対する批判的なコメントが多数を占めた。1000万円という額は一般家庭であれば十分裕福に生活できるだけの“年収”でもあり、これを毎月必要とし、10年間で24億円もの額を要求する妻に、「月1000万円の内訳出すべきだよなw」

「最低な女」

「恥も外聞もねえな」

「どうやったら子供二人の養育費に月1000万も掛かるんだよ」

「お金って人を狂わすなあ」

「こいつはもう金の亡者だな。相手が相手だから搾り取れる限界まで搾ろうってか」といった声が寄せられた。

だが、その一方で、「これだけ強気に出るってサエコに過失が何も無いってことかな」といった推察や、「お前らもスポーツ紙も勝手なことをいってるけど、日本で毎月の養育費が1000万円なんて、裁判やったって勝ち取れるはずないんだから、そんな要求する訳ないだろw サエコについてる弁護士だってそんな無茶は通らないとサエコに言ってるだろうし」という週刊誌の報道を誤りと指摘する意見も。

ダルビッシュにとっては、離婚問題を渡米前に片付けたいというのが本音だろう。では、一体何がネックとなっているのか。離婚問題発覚から一年以上が経過したが、その決着は来年へと持ち越しになりそうだ。

■紗栄子の写真ギャラリー

・紗栄子、夫・ダルビッシュ投手との復縁&新恋人を否定！「正式な離婚が決まったら連絡します」 - 2011年11月24日

・紗栄子が単行本発売、Amazonのレビュー欄に酷評殺到 - 2011年11月29日

・ダルビッシュがメジャー挑戦発表、ファンの「嘘ついたこと変わらない」の声に弁明も - 2011年12月08日

・「離婚協議を有利に!？」ダル妻・紗栄子 週刊誌にスキャンダルをリークか - 2011年12

月 10 日

「まるで中学生」反省文で済ませる浦和フロントに批判殺到

浦和レッズは 11 日、トレーニング中の悪ふざけからチームメートの岡本拓也に蹴りをあびせ、全治 3 週間のけがを負わせた日本代表 MF 原口元気に対し「けん責および一週間の謹慎処分」を発表、岡本に対しても嚴重注意処分とした。これにより、浦和は 17 日の天皇杯に両選手を欠くこととなる。

悪ふざけの代償としてはあまりに大きく、社会的に模範たるべきスポーツ選手として許されない蛮行。SANSPO.COM は、12 日の記事で原口の「冷静さを失った。許してくれるまで謝りたい」というコメントを紹介。スポニチも同日、浦和の山道 GM 代行が「反省文のようなものも書かせる」とコメントしたことを報じた。

しかし、この処分にインターネット上でファンの批判が殺到。「中学生かよ」「もしかしてフロントまで事の重大性が分かってないのかw」「自前のユース出身者だから甘い処分なのか」「反省文で済む出来事じゃないだろ」という批判が殺到している。

ペトロヴィッチを解任した浦和レッズ、新監督はペトロヴィッチ氏

14 日、浦和レッズは前広島監督ミハイロ・ペトロヴィッチ氏と 2012 シーズンの監督として基本合意したことを発表した。

ペトロヴィッチ氏は 1957 年 10 月 18 日生まれの 54 歳。2006 年途中から広島で指揮を執り、柏木陽介(現浦和)、槇野智章(現ケルン/ドイツ)、青山敏弘ら若手を次々と抜擢。攻撃サッカーの伝統を植えつけ、J1 復帰後の 2010 年には ACL 出場、ナビスコカップ準優勝などの成果を残した。

浦和は 10 月 20 日にゼリコ・ペトロヴィッチ前監督を解任、堀孝史監督で残留争いをどうにか乗り越えた。シーズン終了後は後任探しに奔走するも、岡田武史前日本代表監督、G 大阪を退任する西野朗監督などとの交渉では次々とソデにされ、外国人監督に方針を切り替えたばかり。この電撃的な就任発表は、多くのサッカーファンに驚きを与えた。

なお、ネット上での浦和レッズサポの反応はさまざま。「火中の栗を拾ってくれたことに感謝」「再びビッグクラブに戻る日がやってきた」「一人余計なペトロを挟んだ」「今の選手の顔ぶれと合いそう」という好意的なものから、「レッズスタイルとやらはどうなったのかな?」「広島時代の 3-6-1 のシステムには不安あり」「ペトロヴィッチからペトロヴィッチへ」という微妙な反応もあった。

元日本代表監督の岡田武史氏、杭州緑城の監督に決定

日本代表の前監督である岡田武史氏が 15 日、中国スーパーリーグの杭州緑城 (Hangzhou

Greentown FC) 監督に就任することが明らかになった。同チームの公式ページによると、岡田氏の「背番号」は 99 番となる。

岡田氏は日本代表監督として 1998 年フランス W 杯および 2010 年南アフリカ W 杯を率い、南ア W 杯ではチームをベスト 16 に導く手腕を発揮。退任後は日本サッカー協会の理事を務め、監督業からは遠ざかっていた。

スポーツ報知では、岡田氏の「日本だけがアジアで勝っていてもしょうがない。全体のレベルアップはいいこと」というコメントを紹介。岡田氏が、アジア全体のレベルアップへ身を捧げる決意を持っていることを報じた。

だが、ネット上では、このニュースに賛否両論だ。掲示板では、「岡ちゃんの解説面白かったのにな」「ミーティングで中国人達に論語を教えてやれ」「岡ちゃん功夫出来たっけ?」「中国人はあの守備サッカーに我慢できるのか」「中国としては岡ちゃんがそこそこ結果残したら代表監督も視野ってことなのかな」といった感想が寄せられた。

楽天・田中が人身事故、公式ブログには謝罪文を掲載

14 日、東北楽天ゴールデンイーグルス・田中将大が、仙台市宮城野区内で乗用車を運転中、一般女性が運転する自転車と衝突した。相手女性は腰骨にひびが入り、入院している模様。田中は練習に向かう途中だったという。

15 日、球団を通じて「相手の方には大変申し訳なく思っており、反省しています。一日も早い回復をお祈りしています」というコメントを発表した田中。同日 23 時に更新した自身の公式ブログでも「今回の交通事故に関してのご報告」と題し、謝罪文を掲載した。

ケガを負わせた相手女性への謝辞はもちろん、ファン・関係者に対し、「ファンの方々や関係者の皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします」と綴っている。

■関連リンク

- ・東北楽天ゴールデンイーグルス 2012 年度新入団選手発表会見、質疑応答、文字おこし
- ・統一球バブルで NPB 各チームの投手力はどう変化したか？
- ・統一球をうまく使った先発投手は誰か？

ソフトバンク・松田と巨人・長野が不思議な対談!?

フジテレビ「すぽると!」(14 日深夜放送分)では、東都大学リーグの先輩後輩の間柄となるソフトバンクホークス・松田宣浩と巨人・長野久義による対談の模様を放送した。

互いに大学時代の印象を訊かれると、「同じリーグで歳も近い。いや一コ下なので本当に力があるなって常に思っていました」と、よく聞くと意味の分からないコメントを発した松田に対し、長野は「松田さんが打っているところの打球の音を聞いてビックリしました」と語る。

また、今季はそれぞれのチームで4番を経験した両者だが、長野の「いい経験をさせて貰ったと思いますし、まだまだ4番を打てるような実力じゃない」という言葉に、アナウンサーが「だいたい謙虚な感じの人なんですね？」と松田に振るや、松田は「いや、実際謙虚じゃないです。すごい元気でいい後輩です」と即答。ここでも、微妙に意味の伝わらない言い回しで長野を評価した。

徐々に天然キャラが露になってきた松田は、「旅行に行きたい国は？」と訊かれても、ハワイとフリップに書きつつ「書いてちょっと気になったんですけど、これ国ですよね？」と真顔で尋ねる。

この質問に「アメリカ合衆国ですね」と苦笑いを浮かべたアナウンサーだったが、質問が続くと今度は長野が意外な一面を見せた。

「最後の晚餐」を訊かれ、「焼肉」と答えた松田に対し、長野はなんと「パン」と回答。「とにかくパンが好きなんですよ」、「色んなパン食べたいです」と、松田同様、真剣な表情で語るも、アナウンサーが「普段ごはんよりもパンなんですか？」と尋ねると、「ごはん食べます」とアッサリ。

「朝はパン食べたいですね」と無理矢理付け加えたが、松田は「(地球最後の日にパンが用意されていたら) ちょっと泣きそうになりますね」と一蹴。不思議な雰囲気をもった両者の対談は、最後までスイングしたようなしないような——、ただ、そのキャラクターの強さだけはしっかりと伝わった。

“日本の心臓”遠藤保仁の凄すぎるプレー、日本を救った1本のパスとは？

今年11月、W杯アジア3次予選の北朝鮮戦に敗れたものの、16試合無敗の快進撃を続けた、アルベルト・ザッケローニ監督率いるサッカー日本代表。躍進のきっかけとなったのは、同監督就任後、日本代表の公式戦初勝利となった今年1月13日の対シリア戦だ。

15日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では、この試合で“日本の心臓”遠藤保仁が放った勝利を呼び込む1本のパスに迫った。

「ザックジャパンの分岐点 日本を救った1本のパス」と題し、サッカー解説者・澤登正朗

氏が遠藤のプレーを分析すると、シリア戦における、遠藤を経由して行われたパスの本数を数えた同氏。J1 全選手の一試合平均のパス数が約 26 本であることに対し、この試合の遠藤は前半だけで実に 62 本のパスをさばき、そのパスのコースはあらゆる方向へと放たれていた。

だが、後半に入ると、遠藤を徹底してマークするようになったシリアは、遠藤がボールを持つや、すぐさま多人数でプレッシャーを掛けはじめた。すると後半 25 分には、ゴール前でシリアのオフサイドを見逃したレフェリーが、GK・川島永嗣のプレーにレッドカードを提示。守護神を失ったばかりか、相手側の PK で 1-1 の同点に追い付かれてしまった。

前半に比べると、途端にパスの本数が減った遠藤は、攻撃に繋がる前方へのパスも激減する。しかし、澤登氏が「(前方へ) わざとパスを出さなかった？」という仮説を立てると、遠藤は「わざと横パスだったりとか、後ろのパスでワンタッチ、ツータッチでボールをはたいて、動き直して、その動作を繰り返すことによって、相手も結構疲れるので、そういうことを意識しながらマークをはがそうかなと」と語り、意図的に前方へのパスを控えたことを明かした。

ボールをすぐに後ろや横へ出し、相手ディフェンスを走らせて疲労を誘うばかりか、ゴール前を固めるシリアディフェンス陣を徐々に広げることでスペースを作り始めたという遠藤は、「基本的に相手を間延びさせるというか。相手のポジショニングの距離を少しでも離せば離すほどスペースが生まれる」と説明する。

前方へのパスが出なくなり、日本が攻めあぐねているように感じさせながらも、徐々にシリアのディフェンスを広げる作業をしていた遠藤。後半 35 分、遂に彼のマークが外れると、「これ狙ってみようかな」と振り返った遠藤は、ここでゴール前に走り込む岡崎慎司に起死回生のロングパスを放った。

すると、ゴール前で混戦となり、岡崎は倒されるような格好で PK を獲得するも、この PK は、試合後にシリア選手が「なぜ審判が日本に PK を与えたのかわかりません」と不満気に語り、岡崎自身も「ファウルになったのは幸運だった」と苦笑いを浮かべたもの。しかし、ここにも遠藤の狙いがあった。

「(川島が) 退場になった時から、もしかしたらまたあるなど。特にペナルティエリアの中であれば。ギリギリのボールになれば、審判のメンタルも僕らを退場させていたので、もしかしたら (ファウルを) 取ってくれるんじゃないかって思ってた」と語り、審判の心理すら読んでいたという遠藤は、同じような状況を作ることで実際に PK を獲得した。

「敵もレフェリーもうまく操ったっていったら変ないい方ですけど、ストーリー的にうまくいけました」と語る遠藤に、澤登氏が「なぜそんなプレーができるんですか？」と尋ねると、“日本の心臓”たる由縁をいかんなく明かした男は「頭で考えてサッカーを毎試合やっていれば自然と身に付くものなので、頭を使ってサッカーすることが大事」と答えた。

■遠藤保仁 関連リンク

- ・遠藤、11 年間で 3 度しか失敗していない PK の極意語った
 - ・遠藤語るフリーキック「一つの駆け引き」
 - ・アジアカップ 2011 日本代表総括：「いまこそ結果には目を瞑れ」
 - ・サッカー新名言：「ヤット、お前その腹でベスト 4 に行けるのか？」（岡田武史）
- メッシあわやぶち切れ!? テレビの失礼な質問に

18 日に行なわれた FIFA クラブワールドカップ 2011 を、圧倒的な強さで制したバルセロナ。しかし優勝セレモニーのウラでは、その余韻をぶち壊しにしかねないある"事件"が起っていた。

優勝セレモニーで喜びを爆発させる大会 MVP の FW リオネル・メッシが、セレモニーの最中にスタジオに呼び出されてショートインタビューを受けることに。スタジオのタレント陣はスーパースターを目の前に緊張したのか、「老後はどうするのか？」という趣旨の質問を行なったのだ。

メッシは一瞬だけ怪訝な表情をしたものの、すぐに通訳を介し「まだ引退までは時間があるので、（現役生活が）終わったら考えます」とコメント。そのまま踵を返し、セレモニーに戻った。取材後、タレント陣は「あんな不機嫌なメッシさん見たのは初めて、よほど強引に連れてきたのかな」という感想を漏らしていた。

メッシが気分を害したとしたら、その質問だけが理由ではないだろう。メッシはバルセロナの選手全員と輪になって喜ぶパフォーマンスを行なう予定であり、呼び出しはその直前だった。とはいえ、世界の頂点に立った直後の選手に「老後」を聞くことがふさわしいのかどうか、疑問は残る。

映像を見るかぎり、メッシは「にこやか」とはいかないものの大人の対応をした。もし本気で怒っていたら、クラブワールドカップ 2011 は最悪の形で終わっていた可能性もある。メッシの懐の深さに、多くの人が救われたといえるだろう。

■メッシ、インタビュー事件はこちらでも詳しく紹介

・クラブワールドカップ決勝戦でバルセロナのメッシさんがキレキレだった件。

落合氏、大いに語る「来年ユニフォーム着るってなったら、ここまでは喋らない」

17日深夜放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、今季をもって中日ドラゴンズのユニフォームを脱いだ落合博満氏に、野球解説者の江川卓氏がインタビュー。その内容は「来年ユニフォーム着るってなったら、ここまでは喋らない」と落合氏が語るほど、深いものとなった。以下にインタビューの要約を掲載する。

江川：お疲れ様でした。

落合：やると思ってませんでしたね、8年も。最初3年だろうなと思ってたから。ただ、最初受けた時に電話で「2年で」って言われたの。

江川：スクープになりますよ。

落合：皆知ってる。「2年で何をしたいの」って聞いたら「チームを変えたい。改革したい。勝ちたい」っていうから「2年じゃなにもあのチームは変わりませんよと。最低3年かかるから、出す条件は3年契約だったら受けますよと。あとは何も言ってない。

江川：そしたら？

落合：それで結論出るなら電話下さいって。3分いらなかったね。電話かかってきてから。

江川：一回切ったんですね？

落合：3分以内に電話かかってきました。「はい、分かりました」って。何の条件も出してない。

江川：楽しかったことと苦しかったことを聞きます。どっちが答えやすいですか？

落合：楽しかったことって何にもない。ゼロ。

江川：苦しいんですか？監督って。

落合：苦しいとも思ってない。ただね、人間ってやりようによっては上手くもなる、悪くもなる。日々成長はあるけど、これを見られたっていう楽しみはある。それがまた下手になっていく子もいるんだ。反面教師じゃないけども。それを考えると人間って面白い生き物だな

ってというのは別の角度から勉強させられた。そっちの方が楽しかった。

江川：どうしても聞きたいのが、プレーオフみたいな仕組みができて、3位にいた時は越せると思ってたんですか？今年に関して。

落合：思ってた。100%思ってた。

江川：どうして思うんですか？変ですよ。僕らは「もしかしたら」ってというのはありましたけど。

落合：だってヤクルトでしょ。巨人でしょ。阪神、広島が絡んでた。まだ8月。そこにうちと、横浜はどうやっても無理だなんて。広島はバリントンとジオを中4日でまわしてきたよね。どっかでへバリがくるだろうな。そんなに点数を取ることもなかったし、広島の場合はね。いいことにヤクルトが走っている状態で、ある意味マスコミが洗脳しちゃったよね。

（巨人と阪神については）打順の組み合わせが悪いんじゃないか、ローテーションが悪いんじゃないかとか。負けの原因を全部新聞で叩きはじめたよね。絶対ジャイアンツの場合は慌てるだろうと。阪神もそうなるだろうと。そう叩かれないために、絶対早めに仕掛けてくる筈だよな。過去の例をみても、うちが勝つときって競っていたり向こうが先に行ってるんだけど、8月の前半から慌て始める時は大体ひっくり返している。

江川：凄いことが分かったんですけど、落合さんってというのは、中日ドラゴンズだけ考えているんじゃないんですね。

落合：うふふふふ。

江川：分析としては、セ・リーグ6球団分析しながら野球やってたんですね。

落合：だと思います。ヤクルトは10年勝ってない。あんなに早くトップに立ってて、マスコミはこれだけ離しているんだから優勝だ優勝だって絶対浮かれてくるし疲れる。うちは9月から10月にかけて、ヤクルトと名古屋で9試合残っている。9ゲーム離されていても、前後の試合をうまく戦っていけば、この9試合で何とかなる。一番助かったのは上位を走っているチームが最終的に横浜とのゲームを残していた。うちは一試合しかなかった。どの試合が一番嫌だったかって今言われたら、俺は横浜とやるゲームが一番嫌だった。落とせないから。周りはチーム状況考えて、絶対ここには勝てるよなって星勘定するでしょ。そんな甘いもんじゃない。普通に考えたら、横浜は一個（他球団に）勝ってくれたら、それで十分いいよなってヤツを二つ勝ったり三つ勝ったりしてたでしょ。思い通りに事は運ぶんだな。

横浜と試合残さなくて良かったなってずっと思ってた。

江川：意外な話ですね。

落合：強い者が必ず弱い者を倒すっていうことじゃないんですよ。弱い者っていうのは、周りがそう思うんであって、やる方は大変。今回ソフトバンクは大変だったと思う。うちとやる時。データは全て向こうが上でしょ。俺はもっとマスコミ騒いでくれって思ってたもん。騒げば騒ぐほどうちにチャンスがあると思ってた。

江川：そういう風に考えてやるもんですか。

落合：うちのピッチャーが、あの（ソフトバンク）打線がいくら良いっていったって、そんなに点数取られることはない。うちは何点取れるのかな。7 試合で9 点。それで4 勝3 敗いくんだから大したもんといえ大したもんだった。

江川：落合さんの考えていることが、ようやく出ている、発信されている感じがします。

落合：来年ユニフォーム着るってなったら、ここまでは喋らないと思う。

江川：着ないですか？

落合：着ないよ。休みます。

江川：また（オファーが）来たら可能性ありますか？

落合：（その時は）仮面かぶらなきゃいけないかな。

メッシの父が語る、“異例の”バルセロナ入団

FIFA クラブワールドカップ 2011 では、卓越したプレーでチームを優勝へと導いたバルセロナのエース＝リオネル・メッシ。大会前日の 17 日には、日本テレビ「Going! Sports & News」番組内で、メッシの父・ホルヘさんのインタビューが放送された。

「ジョージ・クルーニーです」と初っ端からギャグを飛ばしたホルヘさん。メッシの幼少期を「他の子と同じようにいたずらっ子で誰よりもサッカーが好きだった」と話すと、彼が 13 歳の時にバルセロナの入団テストを受けた時の様子も明かした。

当時は“異例の契約”といわれ、サッカーファンの間では有名なエピソードとして知られるメ

ッシのバルセロナ入団。ホルヘさんは「(当時の監督) レシャックは、息子がドリブルで二人を抜いてゴールを決めるのを見たのです。“あれは誰だ”とレシャックが聞き“アルゼンチンの子です”と答えたのを聞いて“もう決まり、入団だ”と言ったんです」と振り返り、監督の即決で入団が決まったことから契約書の用意がなく、メッシは紙ナプキンにサインをして入団となった経緯を語った。

■関連リンク

- ・メッシあわやぶち切れ!? テレビの失礼な質問に
- ・クラブワールドカップ決勝戦でバルセロナのメッシさんがキレキレだった件。
- インテル長友、チーム内で”いじられ役” ファン「いじめではないのか？」

イタリアのスポーツ紙「ガゼッタ・デロ・スポルト」が16日、インテルのDF長友佑都に関する記事を掲載。ロッカールームでの「いじられ役」として長友が人気者となっており、食事の際にナプキンに大量のバルメザンチーズが仕込まれており、開いた途端にチーズまみれになったエピソードを紹介している。

しかしこの「いじり」の内容に、ネットユーザーからは「いじり、ではなくいじめではないのか？」と話題に。「いじめられてんじゃんw」「俺がやられたらうつむきながら黙ってチーズ拾う」「陽気に笑って返してるけど本当は辛いんだろうな」「結局は本人の心の持ちようなんだなあ」といった反応が書きこまれている。

■関連リンク

・「長友2試合連続ゴール！」イタリア・セリエA第11節 ジェノア-インテル - 2011年12月16日

ネイマール、バルサ移籍を直訴？

スペインのスポーツ紙「アス」などが伝えたところによると、サントスのブラジル代表FWネイマールが、バルセロナのペップ・グアルディオラ監督に移籍を直訴したという。

FIFA クラブワールドカップ 2011 決勝戦終了後、セレモニーが始まる直前にグアルディオラに近づき、「僕を(バルセロナへ)連れて行ってほしい」と話しかけたと報じられている。

ネイマールはサントスの一員として同大会に出場したが、18日に行なわれた決勝でバルセロナに完敗。試合前の予想では、バルサ有利の声が多いながらも「ネイマールがその才能を見せつけ、バルセロナを苦しめるのでは」という予想もあった。

しかし、実際にはボール保持率で70パーセントを超えるなど、バルセロナがサントスを終始圧倒。試合後、ネイマールは「バルセロナにはフットボールのやり方を教わったよ。彼ら

はマシンだ」と涙ながらにコメントしていた。

なおバルセロナのサンドロ・ロセイ会長は、ネイマール獲得の件について「それはペップに聞いてくれ」とかわしている。

■関連リンク

- ・ネイマール フォトギャラリー
- ・バルサ会長：「ネイマール？ペップに聞いてくれ」

スペインからも苦情が出た日本のテレビ中継

セレモニー中のメッシをおかしな質問で呼び止めて大きな批判を浴びるなど、クラブワールドカップ 2011 の放送はネット上であまり評判がよくなかった。しかし、実はバルセロナの本国であるスペインでもこの放送にはブーイングが起きていたようだ。

スペインの事情に詳しいサッカージャーナリストの小澤一郎氏によると、スペインにおける評判は以下のようなものだったという。

小澤一郎氏「スペインでも日本で制作された放送が配信され、かなりの文句が出ていました。特に問題なのは、『引きの画』（俯瞰の映像）が少ないことです。日本での映像はボール保持者とその周辺のアップばかりで全体像を見渡せず、バルセロナの本当にすごい部分であり、サッカーをやる子供にとって本当に必要な『ボールがない所での動き』がほとんど映りません。

ただ、個人的には日本のテレビ局の番組制作やカメラワークに文句を言った所で、なかなか簡単には変わらないと思っています。我々メディアの人間を含め、気づいた人たちが身近なところから変えていくしかないでしょう。

お子さんをお持ちの方、チームを指導する方は、ぜひとも俯瞰的な視野を得られるスタジアムに連れていき、ボールのない所での動きを指摘して指導してほしいと思います」

なお小澤氏によると、柏レイソルが出場した 3 位決定戦では、スペインのメディアのほぼ全員がメディアセンターに引っ込み、会場にしながら記者席にはほとんど座っていなかったという。

関連リンク

- ・「これがアジアの現実」 FIFA クラブワールドカップ 3 位決定戦 柏レイソル-アルサッド 識者が語る「バルセロナを倒す方法」

18日に閉幕したFIFAクラブワールドカップ2011を、圧倒的な成績で制覇したFCバルセロナ。2試合で8得点0失点、決勝でのボール支配率は70パーセント以上。しかも対戦相手は曲がりなりにも各大陸王者である。規格外の強さ、と呼ぶほかない。

そんな無敵ともいえるチームを倒す方法はあるのか？ クラブワールドカップでバルセロナに密着取材を敢行し続けた、サッカージャーナリスト小澤一郎氏に話を聞いた。

小澤一郎氏「どうやったらバルサを倒せるのか？ こちらがどういう戦力を保持しているかを考えねば始まりませんが、その前提をあえて取っ払うと、アルサッドやサントスがやったような引いて守るサッカーでは勝ち目がないと思います。

後ろに引くのではなく前に出ていき、試合開始から強烈なプレッシャーを仕掛けていくことが重要です。あまり良いことではないですが、『ファウル覚悟で行け』『少なくとも前半は、バルサよりもファウル数で上回って戻ってこい』とも伝えるでしょう。

ゴールキックの際も、レアル・マドリーがやったように3人のFWでバルセロナのDFをマークし、GKからショートパスをつながせないようにします。レアル・マドリーでも、先日のエル・クラシコでは後半ガクンとペースダウンしたようにペース配分は非常に難しいです。しかし自分が監督なら、そうやるほかないと考えます」

逆に言えば、レアル・マドリーですら完遂できなかった方法をやり通さねば、バルセロナに勝つ糸口は見いだせないということでもある。「勝つ方法」を考えるほど、よりバルセロナの強さが際立つ皮肉な構図。当面の間、バルセロナの天下は揺らぎそうにない。

■関連リンク

・スペインより心を込めて、メリー・クリスマス！

「あれで全てが狂った」「誰も信用してない」 中日元監督・落合氏が仰天発言連発!?

「あれで全てが狂った」「ピッチャーのことは触ったこともない」「誰も信用してない」など、とにかく衝撃的な言葉が相次ぎ飛び出した中日ドラゴンズ元監督・落合博満氏のインタビュー。日本テレビ「Going! Sports&News」では、野球解説者の江川卓氏が聞き手となり、その模様は二夜（17日、18日）に渡って放送された。

初回放送分では、「来年ユニフォーム着るってなったら、ここまでは喋らない」とまでいい、知られざるエピソードを明かした落合氏だったが、後編の放送は、これを上回るといっていい更に驚くべき内容となった。以下にインタビューの要約を掲載する。

江川：今年は日本一になれると思っていた？思っていなかった？今なら喋れますか？

落合：なれると思っていた。

江川：思っていた？異議あり。

落合：なんで？

江川：僕はね、勝手な思い込みですよ。落合さんの野球は非常にノーマルな野球をやられる方なんで勝てると踏んだのだったら第一戦は吉見（一起が先発）じゃないかと。

<※ソフトバンクと対戦した日本シリーズ初戦、中日の先発は、最多勝投手の吉見ではなくチェン・ウェインだった>

落合：いや、それがね、（日本シリーズが）第7戦までいったらダメだと思っていたの。

江川：僕、逆ですよ。第7戦までなんとかもっていったら勝てると思ってらっしゃるのかと。

落合：第6戦目までなの、勝つなら。あくまでもクライマックスシリーズの最後の一戦（第5戦）が余分だった。

<※ヤクルトと対戦したクライマックスシリーズは、初戦（11月2日）に吉見が先発して勝利を挙げるも、第5戦（11月6日）には中3日で吉見が再び先発している>

落合：吉見、中3日だったでしょ。あれで全てが狂った。疲れ抜けんのかなって。最終的に吉見が無理だっていうことで、無理だったらチェンでいこうって決めたんだと思うけどね。ヤクルト戦で3勝2敗になった時（中日には1勝のアドバンテージ）に、ゲームが2つできるわけだ。やる方に見ればチャンスは2度作っておかなければいけない。万が一、そこで吉見で勝つ可能性も100%ではないと。だったら勝てる順番からいったほうがいいっていう発想なんだろうと思う。ピッチングコーチはね。

江川：ちょっと、すいません。「発想なんだろうと思う」ってことは……。

落合：俺はピッチャー決めてない。

江川：森（繁和ヘッドコーチ）さんに任せている？

落合：全て任せている。

江川：そのくらいコーチを信頼している？

落合：一切、ピッチャーのことは触ったこともない。

江川：えええ。その割によくマウンド行くじゃないですか？

落合：マウンドに行くのと、ローテーションと中継ぎの順番決めるのは俺の仕事じゃないもん。

江川：落合さんは、試合まで「今日、（ピッチャー）誰」って知らない？

落合：知らない。

江川：コーチを信頼しているのは分かります。森さんは絶対的信頼がおけると思います。だけど、バッターとピッチャーと兼ね合いがあるんじゃないですか？

落合：どうせ、うちが点とらないのは分かってるじゃん。

江川：すると落合さんの監督しての野球は、バッターは打てないという感覚。

落合：誰も信用してない。打てるわけないよなって。あとはピッチャー頑張れって。

江川：その中で、どうやって勝っていくかを采配するのが監督だということ？

落合：最終的に簡単だったのは、「ピッチャーが一番何を嫌がるの？」って聞いたら「ランナーをセカンドに背負うのが嫌ですね。ヒット一本で（ランナーが）帰ってきたり、エラー一個で下手したらホームにきますからね。一塁にいるときとは多少違います」っていうからさ。だったら、何が何でもセカンドまで送っちゃえって。それで、その中で5回か6回に一回帰ってくりゃ1点とれるだろうと。俺も長いこと野球やったけど、一試合に8回も9回も送りバントのサイン出す試合、経験するというか、自分でやらせると思ってなかった。でも、それをしなかったら勝てないんだろうな。

・落合氏、大いに語る「来年ユニフォーム着るってなったら、ここまでは喋らない」

長谷部誠、印税を全額被災地に寄付

ボルفسブルクに所属する日本代表 MF 長谷部誠が、東日本大震災で被災した宮城県南三陸町の幼稚園建設のため、著書『心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣』で得た印税 4,500 万円を日本ユニセフ協会に寄付。21 日、同町で贈呈式が行なわれた。

すでに長谷部は 6 月にも 5,000 万円を寄付しており、あわせた印税総額 9,500 万円の全額を寄付したこととなる。同書は 9 月時点で 103 万部以上を売り上げ、現在も売れ続けており、サッカー本としても異例の販売冊数となっている。

このニュースは複数のテレビ局でも報じられ、映像ではウサギのエプロンを付けた長谷部が、園児たちに絵本を読んで聞かせる姿が話題に。インターネット上では「これも長谷部の私服かと思ってしまった」「何かかわいいなw」「服装整えたな」といった反応が挙がっている。

■関連リンク

・長谷部誠さんが彼女ナシな理由は、24 時間面倒臭いからだと判明した件。

「ちょっと意外」?? 香川真司の運動量がドイツ 1 に

ドイツのサッカー専門誌『キッカー』は 22 日、ブンデスリーガ前半戦 17 試合以上に出場した選手の 1 試合平均距離で、日本代表 MF 香川真司（ドルトムント）がリーグ最長であることを発表した。

香川の走行距離は、1 試合平均 12.36 キロ。香川は 17 日のフライブルク戦で見事なアシストを決め、同誌選出の試合 MVP および今節ベストイレブンに選出されたばかり。

運動量といえば、今年のアジアカップ準決勝で長友佑都がチームトップの走行距離（14 キロ）を叩き出している。その長友も、22 日のセリエ A レッチェ戦でチーム最高タイの評点 7.5 をつけられる働きを見せた。香川と長友の活躍は、日本人が欧州で通用するためには運動量とクオリティを合わせ持つことが必要であることを示唆しているといえるだろう。

ネット上では香川について「ちょっと意外」「これはすごいスタミナも含めて評価されてんだろうな」「怪我明けなのに」「日本人選手が活躍するには走力が重要だな」といったコメントが並んでいる。

■関連リンク

・香川真司のパフォーマンスが上がってきた。その理由とは？【フライブルク v s ボルシア・ドルトムント】

甲乙つけがたい！ ほのかな色気を湛える銀盤のスター候補生たち

25 日、フィギュアスケートの全日本選手権最終日が大阪府のなみはやドームで行われ、浅田真央が母・匡子さんの急逝という悲劇を乗り越えて見事に優勝を果たした。

浅田は来年 3 月の世界選手権（フランス・ニース）代表にも決定。会場に詰めかけた観客は気丈に演技きった浅田をスタンディングオベーションで喝采した。

浅田の復活劇に大きな注目が集まる中、次世代の躍動も目立った今大会。18 歳の今井遥は惜しくも表彰台には届かなかったが、4 位入賞。また、15 歳の庄司理紗も、しっとりとした曲調に乗せたミスのない演技で 7 位に入り、スタンディングオベーションを受けている。

今井、庄司ともに純日本人的な美貌に抜群のスタイルでスター性は抜群。可愛らしさに加えてほのかな色気を湛える 2 人に、ネット上では甲乙つけがたいという声上がり、ファンの話題をさらっている。

フィギュアスケート大国日本の、美人スター候補。今後も銀盤の美女たちの競演から目が離せない。

・今井遥フォト

・庄司理紗フォト

ブラジルW杯時、最強の日本代表メンバーとは？

テレビ東京「FOOT×BRAIN」（24 日放送分）では、「日本代表×2011 考察」として、サッカー解説者で元日本代表の小倉隆史氏、前園真聖氏、福田正博氏、秋田豊氏の 4 名が代表の 2011 年を振り返り、討論を行った。

すると、その後半では「2014 年最強の日本代表」と題し、各解説者が考えるブラジル W 杯時（2014 年）における理想のスターティングメンバーを以下の通りに発表していった。

■福田正博氏

FW 森本貴幸

MF 香川真司 本田圭佑 岡崎慎司

遠藤保仁 長谷部誠

DF 長友佑都 今野泰幸 吉田麻也 酒井宏樹

GK 川島永嗣

「大きく変わっているところは、右 DF の酒井。今シーズン成長した選手だと思うんですけど、高さもあるので彼に成長して貰いたい。(2014 年は) ベスト 4 までいきますね。これなら。あとは運ですね。ザッケローニが運を持っているかです」

■秋田豊氏

FW 杉本健勇

MF 岡崎慎司 香川真司 本田圭佑

柴崎岳 長谷部誠

DF 長友佑都 田中マルクス闘莉王 吉田麻也 酒井宏樹

GK 川島永嗣

「(杉本は)大きくて 185cm くらいあって、技術あって、身体も太いんですよ。凄いですよ。日本でやるレベルじゃない。そういう選手がいるんですよ、セレッソには。(2014 年は) ベスト 8 ですね。いけると思いますね」

■小倉隆史氏

FW 大迫勇也(永井謙佑)

MF 宇佐美貴史 香川真司 清武弘嗣

本田圭佑 長谷部誠

DF 長友佑都 今野泰幸 吉田麻也 酒井宏樹

GK 川島永嗣

「(本田を下げましたね?) 要はボランチ・ボランチした中盤じゃないんですよ。前に関わって行って、なんでかっていうと、彼のよさって強さじゃないですか?(本田と) ちょっとこの話したことあるんですけど、“いやです、僕。FW いきたいくらいです”っていいましたから、僕が監督やったら辞めるっていうと思うんですけど。崩壊です(笑)。本当にうまくまわったら、怖いなー、決勝いっちゃうのか」

■前園真聖氏

FW ?

MF 清武弘嗣 香川真司 本田圭佑

遠藤保仁 長谷部誠

DF 長友佑都 今野泰幸 吉田麻也 酒井宏樹

GK 川島永時

「やっぱり中盤にいい選手がいるわけですよ。香川、本田、清武だったり。宮市ももしかしたら入ってくると思うし。現時点でFWが誰か一人っていったら、いない。(FWが誰か出てきたとしたら、2014年W杯は?) 決勝トーナメントですね。そこから上にいくには、これからロンドン含めて、宮市だったり組織を個で突破するような。組織だけでは勝てない」

このように発表&説明した元日本代表解説者メンバー達だったが、3年後のブラジルW杯に向けた2012年のキーワードを訊かれると、それぞれが「トライ」(福田氏)、「選手層を厚くする」(秋田氏)、「3-4-3」(小倉氏)、「ロンドン五輪世代の成長」(前園氏)と答えた。

日本代表新ユニフォーム発表にサポーター騒然

26日、日本サッカー協会とアディダスジャパンは、さいたまスーパーアリーナでサッカー日本代表新ユニフォームを発表した。

JFAの公式ページによると、新デザインのテーマは「結束の1本線」。「我々が誇れるもの、それは逆境にも屈しない魂だ。結束せよ、日本」といった力強いメッセージが掲載され、日本代表の結束の強さを印象づけるデザインとなっている。

しかし、この新デザインにネット上の日本代表サポーターは騒然。掲示板上では、「これはダサいwwwwwwwwwwwwwwwwww」「なにこれw」「うちの近所のスポーツクラブの従業員ユニフォームにそっくり」「審判かよ」「毎年毎年いい加減にしろよ」といった酷評に近いコメントが大勢を占めたのだった。

金本の永久欠番内定に野球ファン「安い永久欠番ですね」

阪神タイガースの金本知憲外野手(43)の背番号6が、永久欠番に内定していると26日付のデイリースポーツが報じた。

故・藤村富美男氏の「10」、故・村山実氏の「11」、吉田義男氏の「23」に続く球団史上4人目の永久欠番で、生え抜き選手以外では初となる。

金本は03年に広島からFAで阪神に移籍し、2度目の優勝を果たした05年には打率.327、本塁打40本、125打点と打撃3部門で自己最高の成績を残してリーグMVPを受賞。9年間で2度のリーグ制覇に大きく貢献した。歴代でも安打、打点、得点、二塁打など、数々の通算成績で阪神球団の最多記録を更新している。

また、同記事によると、複数の球団首脳が「当然、そうなる」と話しており、実績などを考えれば永久欠番の条件としては申し分ないとしている。

しかし、ミスタータイガースと呼ばれる景浦将氏、田淵幸一氏、掛布雅之氏の背番号が永久欠番ではないことや、さらに生え抜きではない金本の内定には疑問の声も広がっている。

ネットの掲示板では、野球ファンから「永久欠番も軽くなったもんだ」「永久欠番でいいから今辞めてくれ」「これで、阪神ファン辞めれるわ」「まだ桧山のほうが良い」「ファンは納得するのかこれ」といったような批判ばかりが目立つ。

昨年体たらくも批判に拍車をかける要因となっている金本。永久欠番「6」をファンに認めてもらうには来期以降の復活した姿しかない。

- ・金本の連続出場ストップ「誰が引導を渡すのかが焦点」だった!?
- ・【10 振り返り】アニキ、無念のフルイニングストップ【3月・4月】
- ・金本の連続試合出場ストップは喜ばしい|野球史
- ・記録途切れた阪神の金本知憲選手が心境告白「正直あの瞬間はびっくり」。

思わずうっとり、癒し系美白美人長距離ランナー

今月18日、33チームが争った全日本実業団女子駅伝2011が仙台で行われ、第一生命の優勝で幕を閉じた。

大会中、女性アスリートたちの熱い火花が飛び散る中で、惜しくも上位進出とはならなかったが、一際目を引く美白美女アスリートがいた。

ヤマダ電機に所属する22歳の西原加純である。アスリートのイメージとは程遠いアイドル的なルックスに、透き通るような白い肌。厳しい冬空の下で行われたレースをほっこり温めるような癒し系の雰囲気、沿道に詰めかけた観客も思わずうっとりだ。

今大会では3区に登場し、並み居る強豪がひしめく中で6つも順位を上げる快走を見せたが、終盤に失速し、チームを上位に導くことはできなかった。

京都生まれの西原は、これまでにネット上で何度も「かわいい」と話題になっており、知る人ぞ知る美人アスリートだったが、今春から社会人となり、9月の全日本実業団選手権では女子10000mで優勝するなど、一躍注目度がアップ。ロンドン五輪出場にも期待がかかるニューヒロインである。癒し系美白美人のさわやかな走りから今後も目が離せない。

・2011 年話題のニュースを一挙振り返り!!

古閑美保と工藤公康の対談で衝撃発言飛び出した!?

「何にもやらないでボケっとしてるから、皆凡人なんですよ」（古閑）、「40 歳まで野球嫌いだったんです」（工藤）。

ドキッとする発言が飛び出したプロ野球選手・工藤公康とプロゴルファー・古閑美保。TBS「S1」（24 日放送分）では今年引退した両者の対談を放送した。

48 歳まで現役を続けた工藤と、惜しまれながら 29 歳で引退した古閑。工藤が引退理由を尋ねると、古閑は「手首も 2 年前くらいにケガしているので心のバランスがちょっと崩れてきて。勝つことしか頭になかったので一番辛かったのは今日ダメだったところを修正できる練習量が自分にないこと。心技体とか言われますけど、私の場合は手首を壊してから心がついていかなかったの。そこそこやってられるようなプロではいたくなかった。極端な話、勝たないと意味がないっていう考えだった」と答え、工藤も「プロですね」と頷いた。

また、「辞めてから厳しい世界にいたんだなって気付いて、どれだけ私生活をゴルフに繋げていけるのかとか。左で御飯食べたりもしますし、飲みながらでもコップ（の重さで）でリスト（を鍛える）みたいに（笑）」と振り返った古閑は、「何にもやらないでボケっとしてるから、皆凡人なんですよ」とも。引退した現在は、「今はノンプレッシャーになって趣味とか充実させたい」と語り、「（趣味は）キックボクシング。ジムいきます。スパーリングします。試合はしないです、しないです。でも空手とかも好きなんです」と充実した様子をうかがわせた。

さらに、工藤の引退に話移ると「まあ、ヒジを 2 回手術して、ヒジは何とかなるんですけど、こっち（左ヒジ）はこのくらい（90 度程度）しか曲がらないんですよ。でも、90 度角度がとれば、まだ投げられるからって。多少スピードは出なくなるかもしれないけど、ちゃんと肩がいい状態だったら投げられるよっていわれたんですけど。まあ、肩があまり良くなかった」と明かした工藤は、「今年一年、ほとんど野球やってないんですよ。ユニフォーム着てなかったの。でも、色んなところに野球教室行ったりとか、被災地にも行ったりしていると、次自分がやるべきことってこういうことかなって見えてきた。家族にも 11 月終わりくらいには結論を出してって言ってたので、丁度いい時期だった。監督の問題とか、ちょっと出てたんですけど」と語り、一時期話題になった DeNA ベ이스ターズ監督就任の噂を自ら切り出した。

「日に日に変わりましたよね、新聞が？」と食いついた古閑に、工藤は「報道されていたのは僕で決定みたいな。決定というよりは、監督候補という中での一人の人間だったので、29

年やってきて一番感じるのは、ケガをすると選手って大変なので、そこをどう防いであげるかっていうのは、自分の中ですごいあったんですね。結果的には信頼関係が得られないっていわれたんですけど。2回や3回で信頼関係は築けないだろうっていうね。もうちょっと勉強してきなさいって、野球の神様がいてくれたんだと捉えています」というに留めた。

「前向きですね」と話す古閑に対し、「40歳まで野球嫌いだったんですよ。40歳過ぎてからなんか、急に朝は目覚ましかけなくても起きれるようになって、球場に行きたくなって走りたいくなって。少しずつ野球が好きになってきた」と驚くべき発言をした工藤。

この返答には、さすがの古閑も「40歳で気付いたんですよ？ 私、10年後に気付くってことですか？ 工藤さんにいわれて何年か後に気付いちゃうんじゃないかなって」と自分のことにも置き換え、驚きの声を挙げると、「気付いたらやってもいいんじゃないですか？」という工藤に、「分かりません。今はじめていいましたよ。分かりませんって。私、ずっと“絶対やらない”って言ってたんですよ」と笑った。

・2011年話題のニュースを一举振り返り!!

・古閑美保の写真ギャラリー

悪質ファンが卑劣なツイート。JRA騎手は怒り心頭

JRA騎手・福永祐一。かつて天才と呼ばれ、70年代に9年連続リーディングジョッキーを獲得するも、落馬により引退を余儀なくされた福永洋一氏の息子である。

今年は全国リーディングジョッキーを獲得する大活躍の一年となり、全レース終了後の25日に、自身のツイッターから2回に分けてファンに感謝のコメントを掲載した。今年の競馬終了しました！おかげさまで16年目にして初めて全国リーディングを取ることができました(^-^v) もちろん全てのレースで満足できる騎乗が出来たわけではなく、取りこぼしたレースはたくさんありました。現状に満足することなく、来年もさらにスキルアップして一頭一頭丁寧に乗っていきたいと考えてます。応援してくれた人達。ほんとに感謝です。これからの福永祐一に期待しててください(^-^)/と綴った。

だが、このツイートに悪質なファンが卑劣で品性のカケラもないリツイート。変な縁故だけでリーディングになる、世界一ド下手な糞騎手、うんこ福永、1日も早く落馬負傷して、再起不能になり、完全引退して競馬界から、完璧に消え去る事を心から願ってますねこのような福永を愚弄するツイートを行ったのだ。

すでにこのユーザのアカウントは消されているものの、福永の怒りはおさまらず、「おまえ俺に本気でけんか売る気だと言ってるのか？」「なんでここまで言われなあかんわけ？ 意味

わからんわ」「俺は自分のこと嫌いな人もいるやろうし、みんなに好きになってもらおうとも思っていない。でも、ほんとに競馬好きな人が、たとえダメな騎手でも命をかけて頑張っている人間にける言葉とは到底思えない」などと続けてツイートし、激高した様子をうかがわせた。

その後、「昨日は一時の感情で恥ずかしいツイートをしてしまいました。相手にするだけ自分が損をするってわかっていたのに…。でも、たくさんの皆さんの言葉に励まされました。ありがとうございます」と改めてツイートした福永だったが、怒るのも当然。この話題に触れたネットの掲示板でも「これはきれていい」「目の前来て言ってみろや」「これは単なる批判を通り越して犯罪レベル」と、その怒りに同調する声が寄せられた。

天皇杯で敗れたチームのファン(?)、チケットを燃やす

29日に行なわれた第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会は、J2のFC東京と京都サンガが決勝に進む結果となった。J2同士の対戦は、史上初めてのことで、FC東京はJ1のC大阪を、京都はJ1の横浜F・マリノスをそれぞれ破ったが、この波乱が意外な方向に波紋を巻き起こしている。

格下であるJ2チームに敗れる波乱に怒ったJ1チームのサポーターと思しき人間が、すでに確保していた天皇杯決勝チケットを燃やす暴挙に出たのだ。燃やした人間自身によってアップロードされた写真はtwitter上で広まり、サッカーファンからのコメントが殺到している。

ネット上では「燃やしたくなる気持ちはわかるがそれをアップするのはなんだかなあ」「お前そのチケットよこせ!」「可哀想な位のクズ」「燃やすのと捨てるのにそんな差はない」「やっぱり根本的に彼とはわかりあえないな」「ふざけてるにもほどがあるわ」「この人だけでなく、関係する会社だか法人だかまでイメージが悪くなるのに」など、多様なコメントが集まった。

チケット自体は購入者の所有物であり、どう処分しようが自由。しかし満員が予想される天皇杯決勝、その貴重なチケットを焼却する様子をネットにアップする行為は、ある種の挑発や話題集めと見られても仕方がないだろう。

余計なファウルをしない、プレー時間を伸ばす、相手を尊重するといったスポーツマンシップは、世界を制したスペイン代表やバルセロナにも共通するもの。仮にこの行為に及んだのが当該チームの応援者なら、サポーターにこそ他者を尊重する態度が求められるのではないだろうか。

■関連リンク

・【戸塚啓コラム】スポーツマンシップとインプレー時間

ノムさんがボヤキおさめ。今年のプロ野球界を漢字一文字で表すと？

野球解説者、野村克也氏が今年の野球界を漢字一文字で表すと？

TBS のスポーツ番組「S1」(25 日深夜放送) も年内最後の放送となり、人気コーナー「ノムさんぼやき部屋」もこの日の放送でボヤキおさめとなった。そんな今年最後のテーマは前述した通り――。

登場するや、TBS 柘田絵理奈アナウンサーに「誕生日おめでとう」と花束を渡したノムさん。12 月 25 日で 26 歳になった柘田アナに「36 歳か？」というボケをかますと、「俺以外の人にも(プレゼント) 貰った？」と絡んでいったが、柘田アナは意に介さず「監督に貰ったお花が一番嬉しいです」と巧みにかわしてみせた。

そして、本題に入ると、色紙に見事な達筆によって書かれた「孫」という字を披露したノムさん。番組 MC の魔裟斗が「“まご”ですか？」と尋ねると、「まご……。とんでもない。ソフトバンク孫(そん) さんよ。これに尽きるでしょ。僕は長い間野球界にいるけども、優勝してオーナーがグラウンドにきて、優勝祝賀会でビールかけに参加したオーナーなんて後にも先にもはじめてだよ。あれにはすごい感動した。ソフトバンクの強さはここにもあるなと思った。ああじゃなきゃね。プライドばかり持ってふんぞり返ってないで降りてきなさいよ、オーナー」と語り、ソフトバンクが優勝した今シーズン、その強さの要因の一つを選手と同じ目線で喜ぶ孫正義オーナーの姿勢を挙げたのだった。

■野村克也氏、関連ニュース

- ・ノムさん、ダルビッシュのメジャー挑戦には「はんたーい」
- ・広島-巨人戦の幕切れに 「どう見たってプロの試合じゃない」
- ・野村氏、プロ野球開幕問題に“セとパはいつもいがみ合う”

国歌斉唱に酷評再び!? アーティストのブログも炎上する事態に

昨年大晦日、大阪府立体育会館では、WBC 世界ミニマム級タイトルマッチ＝王者・井岡一翔×挑戦者・ヨードグン・トーチャルンチャイの一戦が行われた。試合は井岡が 1 ラウンド 1 分 38 秒、打ち合いからトーチャルンチャイを左で打ち抜き、秒殺ノックアウト劇で 2 度目の防衛に成功している。

しかし、そんな劇的な勝利の数分前――、国歌斉唱の場面でハプニングが起こり、ネットを中心に大きな話題となった。昨年 12 月に日本有線大賞を受賞したシンガーソングライター・ふくい舞が「君が代」を斉唱する際、歌い出した矢先に咳払いをし、歌い直したからだ。

「国歌の悪夢が再びw w w w」といったコメントが寄せられた。

・ポーラ・クリーマー フォトギャラリー
底抜けに可愛い国内無敵のチャンピオン

昨年 12 月 26 日放送の TBS「炎の体育会 TV スペシャル」では、陸上界きってのスーパー美女アスリートで、陸上 100m ハードル&走り幅跳びを得意とする木村文子が登場。芸人軍団と 100m ハードルで対決し、ウルトラキュートな笑顔でお茶の間をうっとりさせた。

広島県出身の木村は、現在エディオン女子陸上競技部に所属。社会人 1 年目となった 2011 年、4 月に広島で行われた織田記念陸上に始まり、日本選手権、全日本実業団でそれぞれ優勝を飾るなど、国内では無敵のチャンピオンとなった。

チャンピオンとしての風格と、底抜けにかわいい笑顔。アスリートとアイドルがミックスされたようなスーパークイーンは、ロンドン五輪の行われる 2012 年の陸上界でもっとも注目を集めそうだ。

・木村文子フォトギャラリー

「妖精・浅尾」に引けを取らない美貌の新パートナーとは？

女子ビーチバレーの「妖精」浅尾美和。長年ペアを組んでいた西堀健実と解消した後も、草野歩や松山紘子らとペアを結成するも定着には至らず、ロンドン五輪出場という目標は既に形骸化していた。

それでも、新たなパートナーを求め続けた浅尾だったが、この度、2012 シーズンの新パートナーが浦田景子に決まった。女子ビーチバレー界の「浦田」といえば、浦田聖子が人気だが、一文字違いの浦田景子も浅尾に引けを取らない美人プレーヤーである。

かつて「かおる姫」こと菅山かおるとペアを組んでいた浦田景は、昨シーズン、年間シード選手として J B V ツアーにフル参戦。第 5 戦のふくいカップ J B V グランドスラム美浜大会で 4 位に、第 6 戦ペボニアカップと第 7 戦川崎市長杯では 5 位に入った。

34 歳を迎えたが、その鍛え抜かれたボディとやわらかな笑顔で人気を博す浦田景。妖精浅尾とのペアで、2012 年の海辺を熱くすることはできるのか。

楽天・田中、広島・前田が番組司会者にチクリ

日本テレビ「Going! Sports & News」(7 日放送)では、「新春 SP」として、1988 年生まれのプロ野球黄金世代、東北楽天・田中将大、広島・前田健太、巨人・澤村拓一&坂本勇人の 4 人による、番組企画・新年会の模様を放送した。

会の冒頭、司会役が前田に決まると、ルーレットで選ばれた一人が「理想の結婚観、恋愛観」を語るコーナーが行われた。ここでは、昨年、森麻季アナウンサーと結婚したばかりの新婚・澤村が半強制的に選ばれると「結婚は遅くても早くてもよかったけど、ただ、この人だ

と思うのが早かった」と真面目に語ったかと思えば、新妻に向かって「見てますか〜？」とカメラに手を振り、これには前田も「見せつけるね」と苦笑し、田中は「暖房入った？」と茶化した。

また、「番組にモノ申す」というお題では、田中が「上田（晋也）さんに仙台に来てほしい。お忙しいとは思いますが、それそろ来て頂いてもいいのかな。仙台の方に」と同番組の司会を務める、くりいむしちゅー・上田晋也にチクリ。前田にいたっては、「上田さんは強いチームばかり行きすぎじゃないですか？広島のために協力して下さい。お願いします」とズバリ言い放ち、「投げた時の、勝った時の映像の尺が短すぎる」と付け加えて笑いをとった。

その他にも、互いの印象などを語り合った4人。番組の後半では、シミュレーションゴルフによるドラゴン対決が行われ、敗れた澤村が罰ゲームで森アナに電話をさせられる場面もあった。

ゴン中山&長谷部、2012年に掲げた意外な目標とは？

8日深夜放送、TBSのスポーツ番組「S1」では、様々なアスリートに対し「2012年かなえたい3つの事」というアンケートを実施。サッカー界からは、コンサドーレ札幌・中山雅史とヴォルフスブルク・長谷部誠の両名がそれぞれVTRで登場した。

4年ぶりにJ1復帰を果たしたコンサドーレ札幌に所属し、今年の9月で45歳になるゴン中山は、「ドン、これです」とフリップを出すと、そこに書かれていたのは「1.サッカー上手くなる／2.試合に出場 ゴール／3.軟骨再生」というものだった。

「もっともっと上手くなりたい。もっともっと皆さんの期待に応えたいという気持ちがここに色濃く出ています。これが可能になれば、試合に出場、そしてゴール。そして、これを実現可能にするための一番大事な条件が3番目。軟骨再生。やはり膝の軟骨が再生することによって色んな面で自分にかかる負担が少なくなる」と語り、昨シーズンを棒に振った膝の負傷についても「豚骨を一生懸命食べている状態。なんとか身体にコラーゲンを溜め込んでグランドの上で暴れたい」と持ち前の明るさで陽気に話した。

また、長谷部は「1.W杯最終予選全勝!!／2.もう一度CL出場!!／3.本格的に陶芸をやる!!」とフリップに記すも、陶芸家という意外な目標については、すかさず番組スタッフからも「陶芸家をになりたいんですか？」という質問が——。これに対し、「いや、アハハ。それは違いますけど」と笑顔で否定した長谷部は、「陶芸していたら心を整えられるかなと」と語り、著書本「心を整える。」をさりげなく宣伝してみせた。

「ニッポンの夜明け」澤のバロンドール受賞に賞賛の声

日本時間10日未明に行なわれたFIFAの2011年・年間表彰式において、なでしこジャパ

ン（サッカー女子日本代表）のキャプテンである MF 澤穂希が女子最優秀選手に、同チームの佐々木則夫監督が女子最優秀監督に輝いた。アジアからの受賞は、男女を通じて史上初の快挙となる。

サッカーまとめメディア「Soccer Journal (サッカージャーナル)」内でもこの快挙について多くのブロガーが取り上げており、Blog 版「蹴閑ガゼッタ」の小林遼次氏は「W 杯優勝チーム主将&得点王&MVP の選手が選ばれなければ、いったいこれ以上何をしないとイケないんだと言われながらも、蓋を開けてみるまではドキドキものだった FIFA 女子年間最優秀選手・バロンドールですが、無事に澤穂希選手が受賞しましたね！」とコメント。同選手の快挙を賞賛した。

また、日本時間深夜に行なわれたにも関わらず、同表彰式の中継は多くのサッカーファンが視聴し、澤の名前が読み上げられるとネット掲示板では「ニッポンの夜明けぜよ」「兄貴おめでとう!!!」「当然だけど凄すぎる」「美しすぎる・・・」「すげー鼻血でそうなくらい嬉しい」「2011 は本当にサッカーに勇気をもらった一年だった」といった反応が寄せられた。

■関連リンク

・「澤選手、佐々木監督ダブル受賞おめでとう！」2011 年 FIFA 年間表彰式・バロンドール - Blog 版「蹴閑ガゼッタ」

・「澤穂希、2011 年女子世界最優秀選手賞受賞で涙」と原田さん - ふっとぼうず

・沢選手、着物で「日本人らしさ」堂々とスピーチ - 共同通信

楽天・田中、ダルビッシュの挑戦&自身のメジャー志向を語る

2011 年シーズンは、19 勝で 8 割近い勝率に加え、沢村賞、ゴールデングラブ賞など投手のタイトルを総なめにした東北楽天ゴールデンイーグルス・田中将大。8 日深夜放送、TBS のスポーツ番組「S1」では、野球解説者・槇原寛己氏が聞き手となり、昨年を振り返った。

「2011 年のシーズンというのは、懸ける想いがスゴイあった」と切り出した田中。技術的には「自分の中でアウトローの真っ直ぐというのは一番練習してきた球なので、ピッチングの基本は野村（克也）さんの時から原点といわれていた」と明かし、恩師の教えにより「困ったらそこに投げろって教えられてきたので、そこにピンポイントで投げられるようになってきたから、好不調の波は今までで一番なかった」と語った。

また、「食事でアルコールを口にするのが少なくなってきた」という田中に、槇原氏は「食べ物っていうのは作ってくれる人が上手くなったとか、そういうこと？」と質問。タレント・里田まいと交際中とされる田中の様子について、巧みに聞き出そうと試みる。

「そういう訳ではないです」と苦笑いをする田中に、「精神的にケアをしてくれるような話し相手でもいたんでしょね」と付け加えたが、すかさず田中は「チームメイトだったり」とキッパリ。槇原氏は「その辺の変化球のかわしかたも上手くなりましたね」と笑顔を浮かべた。

さらに、米メジャー挑戦を表明したダルビッシュ有の話になると「1 ファンとして楽しみたいです。“どれくらいやれるか”っていうと上からいってるみたいになっちゃいますけど、楽しんで見たいです」と話した田中。自身のメジャー志向については「うーん、まあ、あの行きたいかどうかじゃないですけど、プロ入った時に比べれば興味というか身近には感じる。以上です」と言うに留めた。

斎藤佑樹&小林麻耶に衝撃スクープも本人は否定

北海道日本ハムファイターズ所属・斎藤佑樹とフリーアナウンサー・小林麻耶。プロ野球選手と人気アナウンサーによる大型カップル誕生か――。

11日発売「週刊文春」(文藝春秋)は、衝撃スクープとして『斎藤佑樹(23)&小林麻耶(32)「伊勢神宮家族ぐるみ「極秘参拝」!」』と題したスクープ記事を掲載することが分かった。

スクープが事実であれば、斎藤と小林アナは9歳差の年の差カップルに。プロ野球選手と人気アナウンサーの交際は、昨年、斎藤と同じ1988年生まれで、楽天・田中将大、巨人・坂本勇人らとともに黄金世代を形成する巨人・澤村拓一が元日本テレビアナウンサー・森麻季さんとの交際&結婚が話題になったばかり。選手、アナとしての知名度は、それぞれ澤村&森さんを上回る二人の交際は、日本中から注目を集めることになりそうだ。

しかし、報道に先手を打つように、10日19時20分、小林アナは自身の公式ブログで「一部週刊誌に、日本ハムの斎藤佑樹投手との記事が出ることを聞きました。記事に対するコメントをブログに書くのは・・・と考えましたが、今回ばかりは、相手の方にご迷惑がかかってしまうと思い、こちらで書かせていただきます」と前置きした上で、「斎藤佑樹投手とは、「ハンカチ王子」と呼ばれる前からの知り合いで、治療院の先生たち、患者さんたち、その仲間やご家族、みんな知り合いです。何年もの間の友人なので、今このような記事が出ることに正直驚いています」と綴り、否定している。

人的補償求めない西武に失望の声が殺到

埼玉西武ライオンズは10日、FAでソフトバンクに移籍した帆足幸投手の補償について、人的補償は行わずに金銭のみを求めると発表した。これでFAの規約によりソフトバンクからは、帆足の今季年俸約1億1000万円の60%にあたる6600万円が西武に支払われることになった。

6 日、ソフトバンクはプロテクトした 28 人から過去に三冠王となった松中信彦外野手を外したことが彼の代理人から明かされたが、チームの功労者で昨季も 3 割以上の打率を残した松中を外したことに對し、ネット上の野球ファンの間では「西武が松中を獲れば面白くなる」「いらなくても取れ」「獲ったら西武は優勝候補の筆頭」などと獲得を期待する声が高まっていた。

しかし、ポストティングでメジャー移籍を目指した中島裕之がヤンキースと交渉決裂、西武に残留することになり、渡辺久信監督はメディアの取材に對し「補強する必要はなくなったかな」と語っていた。

昨年も、FA で細川亨捕手をソフトバンクに放出したが、補償選手を求めなかった西武。今年も同じような展開となったことで野球ファンからは「西武つまんねえ球団だな」「おもねーわ」「松中とらないのはいいとして、中継ぎすらとらないとは思わなかった」などと失望の声が殺到した。

■関連記事

- ・ 帆足の人的補償求めず＝プロ野球・西武
- ・ 松中は西武でもうひと旗上げればいい | 2011-2012 オフシーズン
- ・ S B 松中、プロテクト漏れた！西武移籍の可能性「僕が決めることではない」 -
- ・ 帆足和幸投手の人的補償は、どう考えるべきか

ノムさん、選手の米メジャー挑戦に「おかしいんじゃない？」

TBS のスポーツ番組「S1」(8 日深夜放送) では、人気コーナー「ノムさんぼやき部屋」で野球解説者・野村克也氏の 2012 年初ボヤキが行われた。

「今日はこれについて」と切り出し「一挙米得」と書かれた書き初めを披露した野村氏は、「アメリカばかり得して日本は一つも得していないと。今年あたりから猫も杓子もアメリカ行っちゃうけど、しかも、岩隈なんかは給料三分の一に下げられている。おかしいんじゃない？アメリカのどこがいいのか」と初ボヤキ。

今年は、ダルビッシュ有(テキサス・レンジャーズと交渉中)をはじめ、和田毅、川崎宗則、青木宣親、岩隈久志の 5 人が新たに挑戦することとなったが、トップ選手の米流出にかねてから苦言を続けている野村氏は、「日本は足元見られちゃって、最初はどんどん金を惜しげもなくつぎ込んで日本の選手を獲ったわけね。ところが、今度の岩隈の条件も年俸 3 億以上とっているのが、三分の一になってる。でも、行きたいって言ってるんですよ。その辺が今の選手の考えがよく分からないんだけど、ボチボチコミッショナーの意見も聞きたいね。聞こえてこないもんね」と主張した。

- ・今年最も活躍しそうな日本人MLB挑戦者は誰か？
- ・ノムさん、ダルビッシュのメジャー挑戦には「はんたーい」
- ・ノムさんがボヤキおさめ。今年のプロ野球界を漢字一文字で表すと？

潮田玲子、“イケシオ”結成後の苦難を振り返る

バドミントン混合ダブルスで、ロンドン五輪出場を目指す、潮田玲子&池田信太郎の通称“イケシオ”ペア。潮田と小椋久美子の“オグシオ”人気を引き継ぐ格好で北京五輪の翌年2009年に大きな注目のもと結成が発表されるも、以後、全日本選手権では2年連続で優勝を逃すなど、国内最強ペアと呼ばれながらも結果を残せず苦しい戦いが続いた。

だが、昨年12月の全日本選手権では、3度目の正直となる悲願の優勝。TBSのスポーツ番組「S1」（8日深夜放送）番組内「ターニングポイント」のコーナーでは、そんな二人の転機を伝えた。

番組カメラに向かって「勝負になってないから、やっている意味があんのかなとか。女子ダブルスやっていた方がよかったんじゃないかとか」と当時の心境を語った潮田は「信太郎さんも同じように感じていて、同じように苦しんでいるんだらうなって。そういう話はしてないんですけど、多分同じように苦しんで、同じように感じているから、今は逃げちゃダメだっていうのは思っています」と話す。

また、パートナーの池田が「諦めたら終わりだって思っているし、やるからには一番上を目指したいし、それだけは前を向いて、前を向いてってお互い感じているところだと思う」と語れば、潮田も「とにかく今の実力とか自分の位置とか現実を受け止めて、もう一回やり直すじゃないけど、前向きに捉えるっていうことが大事」と話し、両者とも「前向き」という言葉を使い、これまでの戦いを振り返った。

「信じられない！」 槇野の浦和移籍に非難轟々

11日、J1浦和は1FCケルン（ドイツ）から日本代表DF槇野智章を期限付き移籍で獲得したことを発表した。槇野は2010年末に広島からケルンに移籍したものの出場機会に恵まれず、今シーズンもわずか3試合の出場にとどまっていた。

槇野は浦和移籍の報道が流れ始めた6日、自身のツイッターで「自分を追い込んで挑戦する事も必要だけど自分が輝けるだろう場所に身をおく事も大切」とツイート。自身の境遇に満足しておらず、移籍をほのめかしていた。

しかし、槇野は2010年末に広島を離れる際、「僕はジュニアユースから広島に育ててもらい、たくさんの人に支えてもらい、今の自分があると思っています。（中略）こうやって広

島の皆さんの前でプレーできなくなるのが寂しい」と記者会見で涙ながらにコメント。広島愛を強調していた。

涙の記者会見からわずか 1 年強の日本復帰、それも広島ではないチームへの移籍に、主に広島サポーターからは非難轟々。ネットの掲示板やツイッター上では「サッカー選手以前に、こいつはもはや漢じゃねえな」「貴方の言葉は信じられなくなりました」「槇野は今後の J リーガーの海外移籍をかなり難しくした自覚ねえんだろなあ」「お前なんか二度と広島に帰ってくるなよ」「君のユニホーム買わなくて心底よかったよ」「何がミスターサンフレッチェだよ」「信じられない！なんでたった一年で日本へ帰ってくるの それも浦和だなんて… がっかりです。正直もう応援する気持ちにはなれません！」といった辛辣なコメントが並んでいる。

■関連リンク

- ・浦和レッズ、槇野智章（1.FC ケルン）を期限付き移籍で獲得
- ・ペトロヴィッチを解任した浦和レッズ、新監督はペトロヴィッチ氏
- ・香川に続く日本人選手のドイツ・ブンデスリーガ移籍が決定
- ・ゴール後のパフォーマンスで話題の日本代表・槇野、新ネタ明かす

来月 45 歳のカズ 「サッカー選手は 30 歳までが常識かなと思ってた」

15 日、F リーグ・エスポラーダ北海道の一員として、府中アスレティック FC 戦に出場、自身のゴールこそならなかったものの、超満員の場内を大きく沸かせた三浦知良。試合後には、フットサル日本代表入りの話も飛び出すなど、見るものを魅了するプレー、圧巻の存在感は今年も健在だ。

その前日となる 14 日深夜には、日本テレビ「Going! Sports & News」が、プロ 27 年目のスタートとなるカズのグアム合宿に密着し、来月には 45 歳になるサッカー界の“キング”の始動を伝えている。

心拍数の計測器を体に装着し、数値を確認しながら練習することで適切な練習量を維持するカズ。番組のカメラには「白髪、いい感じでしょ？」と笑って話すも、現役選手としての意欲は人一倍。

「19 歳になる直前にプロになって、サッカー選手は 30 歳までが常識かなと思ってた。やれて 32、33 かなと思って。19 歳の時に 35、36 歳の選手がいたんですけど、なんでサッカーできるのか不思議に思った。その 19 歳だった僕が、もうすぐ 45 歳になるけど、まだ現役でやっている。自分が不思議に思っていた年齢のもう 10 歳年上になってる」と振り返ったカズは、「1 年 1 年って本当に大きいし違うと思うんですね。35 歳、36 歳、37 歳とただ

の一年じゃないと思う。その中での 45 歳ですからね。自分でも気力が続く限り、体が動いてまだ自分の技術も経験も活かせるのであれば続けたい」と意気込んだ。

また、「もちろん、サッカーが好きということ。あと、そこにまだまだ情熱を燃やし続けられる。自分の全てをもっていける。試合に出たい意欲、練習をやりたいという意欲、サッカーがうまくなりたいという意欲。その全てが 10 代の頃と変わってないんです。その気持ちだと思います」というカズに対し、同合宿に同行する横浜 FC 時代のチームメイトで柏レイソルの GK・菅野孝憲は「常にサッカーに対して謙虚というか、本当に少しでも成長したいんだなっていう。そういう意味で全員にアドバイスを求めてくる。何に対しても貪欲。学ぶ姿勢が凄い。それが年下とか年上とか関係なく。僕もそういうところを見習いたい」と語り、その姿勢に惚れ込んでいる様子をうかがわせた。

マリナーズ岩隈 「ピッチングスタイルは特に変える必要はない」

東北楽天からシアトル・マリナーズに移籍した岩隈久志が、14 日深夜放送・日本テレビ「Going! Sports & News」に生出演を果たした。

米メジャーを熱望する理由について、「WBC を経験して、よりプレーしてみたいという気持ちになった。今回仙台に 7 年間お世話になって、ファンとの絆であったり、東北で復興のために頑張っている皆さんと一緒に気持ちでメジャーに挑戦して、戦って、プレーで恩返ししていきたい」と話した岩隈。

移籍先のマリナーズについては「僕のことを必要としてくれて、12 月にシアトルに行ってきたんですけど、その時に GM とも会って話をして、そういうところで一番必要としてくれてっていうのを感じた」と語った。

セーフコ・フィールドを視察している映像が公開されると、岩隈は「天然芝がフカフカして、（試合では）マウンド立つ前にスコアボードを見ながら、野手の人たちがいるのを確認してあがるんですけど、そういうのをしながらここで投げるっていうのを想像してマウンドに立ちましたね。マウンドも高く硬さも・・・（いい感じ？）そうですね。気にはならないと思います」と、日本の球場との違いについても問題ない様子をうかがわせた。

また、実際の登板に向けた対策については、「気持ちで負けないでやりたいなっていうのは一番の思い。ピッチングスタイルは特に変える必要はないんですけども、ボールとかもストライクゾーンが違うので、僕のボールが通用するか。パワーでは通用しないので、コントロールとキレでバッテリーに対する洞察力をしっかりと鍛えたい」という岩隈。司会の上田晋也から「ズバリ何勝するっていう目標をうかがってもいいですか？」と訊かれれば、「いや、考えてなかったの」と苦笑い。それでも「一年間、ケガなくやりたいっていう、それだけ掲

げて。本当にローテーション守っていけば結果も自ずと付いてくると信じてやりたい」と意気込んだ。

米メディア「マン U は本田圭佑を獲得すべき」

移籍マーケットがオープンすると、毎年のように報じられるのが本田圭佑の移籍話だろう。これまで日本のスポーツ紙でも多くのチーム名が報じられてきたが、ここに来て日本や欧州ではなく米メディアのほうからも本田の移籍に関する記事が出てきた。

米スポーツメディア「Bleacherreport.com」は 14 日、ウェブサイト上にて「本田圭佑がオールド・トラッフォードへ行くべき理由」という記事を配信した。記事ではマン U のウィークポイントがセントラルミッドフィルダーにあることや、そのポジションを務めるべきギグスやスコールズ、キャリックら主力の衰えを指摘。一方で本田は「世界で最も優れた若手の 1 人」とし、CSKA モスクワをチャンピオンズリーグベスト 8 に導いたこと、2010 年 W 杯デンマーク戦で決めたフリーキックなどの実績を挙げ、マン U にうってつけの選手であると紹介している。

本田に関する移籍話には“飛ばし”記事が多く、一部では「エアオファー」といった呼称も。イタリアのチームが獲得を検討、という記事に対してネット上では「もう不感症になっちゃた…」 「・・・(^-^;)←みたいな反応しかできなくなりました」「これ本田へのイジメ以外のなんなんだ」「本田は常に玩具にされるなあ」と、総じて信じよう性を疑う反応が多い。

しかし、それらソースとはあまり関係のないと思われる米国サイトからの記事が掲載されたことは、少なくともマーケット上における本田の評価が決して低くないことの裏付けといえるだろう。マーケットが閉鎖する 1 月 31 日まで、本田の動向から目を離さないほうがよさそうだ。

■関連サイト

- ・【蹴日】長友躍動！ | カズのフットサル | 指宿が止まらない#apfn - エアロブレイン
- ・イングランドサッカーに日本人は適合できるのか- Blog 版「蹴閑ガゼッタ」
- ・マンUが本田獲り参戦か英スポーツサイト報じる - スポニチアネックス
- ・本田圭佑さんと本田圭佑さんを掛け合わせると唯一無二の存在となると判明した件。 - スポーツ見るもの語る者〜フモフモコラム

巨人の 18 番を付けた杉内に、桑田氏が注目の発言

15 日深夜放送、TBS「S1」番組内の「ノムさんのボヤキ部屋」コーナーでは、野村克也氏に加え、桑田真澄氏がボヤく側としてゲスト出演。ソフトバンクから巨人に移籍した杉内俊哉に与えられた背番号「18」について、興味深い発言をした。

「このバッテリーでやりたかったね」と笑いをとった野村氏は、球界のエースナンバーといってもいい巨人の背番号「18」について、「巨人というのは 55 年の付き合いがあるんだけど、背番号を凄く大事にしていたチームだと思うんですよ。ケチを付ける訳じゃないんだけど、杉内がソフトバンクから FA で（巨人に）きましたよね。18 番をつけたじゃないですか。18 番っていうのは我々の頃からエースナンバーだった。特に巨人が全てのプロ野球の影響力を持っていますから。18 番っていったらエースってなった。それがいきなり杉内に 18 番やったのは何なんだろう」と疑問を述べた。

また、長らくその「18」を背負ってきた桑田氏は、「僕に訊かれてもよく分からないんですが」と前置きしつつ、「本心からすると、やはり僕は高卒の右ピッチャーにっていう思いがありましたけど。でも、僕が引退してから、育てきれなかったといえますか、育たなかったといえますかね。でも、杉内君に決まりましたので、ジャイアンツの 18 番というのは球界のエースだと思いますので、成績もそうなんですけど、言動も 18 番に相応しい選手になってもらいたい」と胸中を語った。

杉内の「18」については、桑田氏にも伺いの電話があったということも伝えられたが、この件にも桑田氏は「球団が決められた方がいいんじゃないでしょうかと答えた」と明かし、野村氏に至っては「18 番貰った時に、彼の率直な感想はどうなんだろうね」と最後まで納得がいかない様子だった。

三浦友和氏「なでしこの 10 倍、20 倍」発言に批判の声

引き合いに出されたなでしこジャパンにとっては、思わぬ冷水だ。

17 日、東京都内で行われた映画「ALWAYS 三丁目の夕日'64」の 3D プレミア試写会に、出演者として俳優の三浦友和氏らが登場した。同試写会にはサプライズとして、東京オリンピックで金メダルを獲得した“東洋の魔女”の異名をとった女子バレーボールチームの面々も登場した。

当時中学 1 年生だったという三浦氏は、このサプライズに大喜び。それだけならば良いのだが、当時の“東洋の魔女”たちの快挙を振り返って「なでしこ（ジャパン）が優勝したときの感動の 10 倍、20 倍だった」とコメント。悪気はないのだろうが、結果としてなでしこジャパンのワールドカップ優勝の価値を下げるような発言をしてしまった。

これには、ネットユーザーもすぐに反発。「いちいち他の競技を引き合いに出すことないのに」「なでしこ達に失礼だとか考えないのだろうか」「昔は良かったと言いだしたらおしまい」「事実だったとしてももうちょっとぼかして言うべきだろ」といったコメントが並んでいる。

■関連リンク

- ・川澄奈穂美さんの南アフリカへのイメージがギリギリすぎて危機一髪だった件。 - スポーツ見るもの語る者〜フモフモコラム
- ・女子バロンドールを受賞した澤穂希さんが歴史的快挙に歴史的カチコチの巻。 - スポーツ見るもの語る者〜フモフモコラム
- ・「澤穂希、2011 年女子世界最優秀選手賞受賞で涙」と原田さん - ふっとぼうず
- ・なでしこジャパンが 2011 年の日本スポーツ賞を受賞 - わくサカ

オリックス公式アカウント「ヘディング脳」発言が波紋

オリックス・バファローズ公式アカウントが、<「しんじ」を変換して「伸二」が一番最初に出てくる中の人には完全なヘディング脳ですね w w w w>とツイートしたことで、サッカーファンの批判を浴びている。

すでに該当ツイートは削除済みだが、多くのサッカーファンが非公式 RT したことで Twitter 内に拡散。2012 年 01 月 18 日 12:00 時点で、「@Orix_Buffaloes」で検索すれば多くの書き込みを読むことができる。

このツイートのうち「伸二」という単語は小野伸二（清水エスパルス）のことと思われ、特段の問題はない。しかし「ヘディング脳」という単語は、「ヘディングのしすぎで頭が悪くなった」という意味を含意する、サッカーファンへの蔑視をこめたネットスラングだ。そうした言葉を公式アカウントがつぶやくのは、あまりほめられた行為とは言えない。

このツイートはまたたく間に拡散され、主にサッカーファンからの批判が殺到。「公式がつぶやいたらダメじゃん」「球団を代表する立場のアカウントで 2ch のネタ使って他競技批判ですか^^;」「万が一イチローが帰ってきてても絶対応援しない」「どのような意図でこのような発言をするのか、ヘディング脳の人間にも判るように教えていただけませんか?」といった書き込みが並んでいる。

■関連リンク

- ・ヘディング、年 1,000 回以上で脳損傷の恐れと発表される - ネタフル
 - ・外傷性脳損傷と同じ!?サッカーのヘディングをしすぎると脳にダメージを与え、記憶力や問題解決力が低下する - ロケットニュース 24
 - ・第 61 号捉え方一つで、サッカーは変わる - 風間八宏オフィシャルブログ
- マン U 現役選手が本田を名指しでツイート

先日、米サイトが「マン U（マンチェスター・ユナイテッド）は本田圭佑を獲得すべき」と報じていることを伝えたが、今度はマン U の現役選手が本田をツイートで名指しするとい

う出来事があった。

18日、マンUのDFリオ・ファーディナンドが、日本のサッカーファンからの「僕は日本のマンUファンです。日本のサッカー選手についてどう思いますか？」という質問を受け、「素晴らしい。すごい速度で成長しているよ。ホンダ！」と返信したのだ。

もちろん、このコメントだけで何かが決まるわけではない。本田には既報の通り「エアオファー」（オファーがないのにオファーがあるように報じる記事を揶揄するネットスラング）が多く、マンUが本田にアプローチをかけているかどうかすら定かではないのだ。

しかし、ベテランのリオ・ファーディナンドが本田の名を挙げたことで、少なくとも本田はマンUの選手に知られていること、日本人選手のうちで最初に名が挙がる程度の評価はされている、ということはいえる。

ドイツで継続的に活躍を続ける香川真司を差し置いて、負傷中の本田が名指しされたことは、W杯やUEFAチャンピオンズリーグにおける本田の活躍がいかにインパクトが大きかったかの裏返しといえるだろう。1月31日のマーケット終了まで、本田の動向から目が離せない。

■関連リンク

- ・@rioferdy5 - リオ・ファーディナンド twitter
- ・米メディア「マンUは本田圭佑を獲得すべき」 - Sports Watch
- ・マンUが本田獲り参戦か英スポーツサイト報じる - スポニチアネックス
- ・本田圭佑さんと本田圭佑さんを掛け合わせると唯一無二の存在となると判明した件。 - スポーツ見るもの語る者〜フモフモコラム

中田英寿も認めた天才MFが現役引退

19日、前BECテロ・サーサナFC（タイ）のMF財前宣之が現役引退を表明した。1976年10月19日生まれ、35歳の誕生日からちょうど3ヶ月経っての表明となった。

財前は、元日本代表MF中田英寿と1993年のU-17世界大会でU-17代表として共にプレー。中田英からもその類まれなる才能を認められ、「ザイ（財前）とサッカーをやっているときが一番楽しかった」という賛辞を浴びたこともある天才MFだった。

1995年、読売ユースからヴェルディ川崎に昇格。その年にイタリア・ラツィオのプリマベーラにレンタル移籍し、当時若手選手だったイタリア代表DFアレッサンドロ・ネスタを練習で翻弄するなど才能を見せつけた。

さらに 1996 年途中からはログロニェス（スペイン）、1998 年のヴェルディ退団後は NK リエカ（クロアチア）でプレー。奥寺康彦、風間八宏、三浦知良ら限られた選手しか海外でプレーしなかった時代において、財前のキャリアはまさに「海外組」のパイオニアといえた。

しかしログロニェス時代に負った靱帯断裂の大ケガが、輝かしいキャリアを送るはずだった財前に影を落とす。徐々に精彩を欠いていった財前は、リエカ退団後にベガルタ仙台（1999 年～2005 年）、モンテディオ山形（2005 年～2009 年）でプレー。随所に才能の閃きを発揮するも、全盛期の水準を取り戻すには至らず。最終的にいずれのチームでもポジションを失い、戦力外通告を受けてチームを去った。

2009 年末、一度は現役引退も視野に入ったものの、再び海外でのプレーを決断。2010 年にタイ王者ムアントン・ユナイテッド、2011 年に BEC テロ・サーサナ FC に所属した。満足な出場機会を得られたとはいいがたかったが、大きな負傷を乗り越えて現役にこだわる姿勢は、仙台や山形のサポーターを始めとする多くのサッカーファンの心を打った。

サッカー選手の多くは、自ら望んで現役引退を選択することはできない。ほとんどの場合は、戦力外通告を受けての不本意な形だ。大きなケガを乗り越え、35 歳まで現役でプレーした財前の幕引きは、本人のブログから引用するならばまさに「完全燃焼」といえるだろう。

財前引退の報が流れた 19 日深夜、サッカーファンからは「あれだけの怪我にみまわれて 35 才まで現役を続けたのはすごい」「ヴェルディには“不運の天才”が多かったな」「天才過ぎて時代が追いつかなかったって印象」「いつか山形でコーチをしてもらいたい」といった、引退を惜しむコメントがあふれた。

■関連リンク

- ・ご報告 - zai's blog（財前宣之公式ブログ）
- ・「僕らの年代では一番うまい」 中田英が絶賛する日本人選手の現在とは・・・
- ・中田英寿のいた 18 年前の U-17 世界選手権
- ・2012 年 1 月現在の海外リーグ所属日本人サッカー選手(男子)

ダルと離婚成立の紗栄子がコメント 「根も葉もない話が出ていた時にも、沈黙を貫いてきました」

19 日、プロ野球選手・ダルビッシュ有とモデル・紗栄子による離婚成立のニュースが、ダルビッシュのテキサス・レンジャーズ移籍合意の一報と相まってメディアを賑わせた。

同日夜、ダルビッシュの公式ブログでは紗栄子との連名で——、紗栄子も自身のブログで

「今でもその感情に変わりはありませんが、それぞれがお互いの人生を見つめ直し、また、相手の人生を思い合った結果、別々の道を歩んでいくのが最善の道だと考えて決断したものの」と綴っている。

また、翌日 20 日には、紗栄子が改めてブログを更新、ファンのコメントを見て「ただいま息子達を幼稚園に送り、恐る恐るブログを開いたら、たくさんのコメントに感激しました」と語りつつ、離婚協議が長引いた一因とされる養育費や慰謝料に関して、紗栄子に対するネガティブな報道が続いていた現状にも言及した。

ブログの中では「いつも「報告は応援してくださるみなさんに第一に」と思っているのですが、関わる人も多いせいか、いつもその前に歪曲された情報が流れてしまいます。根も葉もない話が出ていた時にも、沈黙を貫いてきましたが、もしかしたらそのことで、応援してくださるみなさまにも戸惑いを与えてしまったのではないかと申し訳なくおもっております」と語った紗栄子。米メジャーに挑む元夫についても「子供達が望む限り、彼と触れ合う機会をなるべく多く設けたいと思いますし、私も彼の 1 ファンとして、世界に羽ばたく彼を精一杯応援したいと思います」としている。

■関連リンク

- ・止まぬ紗栄子批判も“養育費月 1000 万円要求”の信憑性は？
- ・ダルビッシュがメジャー挑戦発表、ファンの「嘘ついたことに変わらない」の声に弁明も
- ・楽天・田中、ダルビッシュの挑戦&自身のメジャー志向を語る

前代未聞の不祥事、スイスのチームがリーグから追放

前代未聞の不祥事だ。スイス・スーパーリーグは 18 日、ヌシャテル・ザマックスのライセンスを剥奪、同リーグから追放すると発表した。シーズン後に不祥事が発覚して降格、といった事例はあるが、シーズン中にリーグから追放されるのは極めて異例といえる。

複数の海外メディアが報じたところによると、ヌシャテルが提出した財務保証の書類について、同リーグ事務局は「適正でない」と判断。ライセンスの即時剥奪を決めた。この処分について、ヌシャテルは 5 日間の抗告期間を与えられるが、処分が確定すれば、2 月から再開する同リーグは 9 チームでの開催となる。

チェチェン共和国人のブラド・チャガエフ氏が所有するこのクラブは、スイスリーグ 3 度の優勝経験を持つ古豪。かつてはスイス代表 DF エンチョズ、同 GK ツベルビューラー、カメルーン代表 DF ヌジャンカなど名選手が所属した。

しかし近年は成績が振るわず、2006 年に 2 部リーグに降格するなど不遇。2011 年 5 月にチ

ヤガエフ氏がオーナーに就任した後は、名監督ホアキン・カパロスなどを招いて強化に乗り出したものの、開幕2戦でコーチ陣が全員解雇されるなどドタバタが続いていた。

すでに社会保障負担の不正や選手の給与未払いなどで、ヌシャーテルは勝ち点8のペナルティを受けていた。ライセンス剥奪は、ドタバタ劇の締めくくりとしてはあまりに残酷なものとなった。

■関連リンク

・放火で逮捕のバイエルンDF、ツイッターでのクラブ批判を謝罪 - SOCCER KING

「結果を残して1%でも近付けたら」 香川真司が夢を語る

19日、テレビ朝日「報道ステーション」では、「けがと挫折 乗り越えて…」"新しい香川真司"と題し、同局アナウンサー・宇賀なつみが先月仙台での復興支援活動に参加をした香川のもとを訪ねた。

中学時代は親元を離れて仙台でサッカー留学をしていた香川。インタビューの冒頭、この頃を振り返ると「小学校6年生でよく決断したのと、今思うところはあるんですけど。Jリーガーになりたい、楽しいところでプレーがしたいってなった時に当時の小学校の監督を通じて、このチーム（FCみやぎバルセロナ）を紹介して頂いて、それが自分のプレイスタイル、考え方にもあった（中略）ドリブルの練習しかなかったですし、個性を伸ばす。それがチームのスタイルであったのでここが原点」と語る。

また、1月のアジアカップ準決勝、右足小指を骨折し苦しい一年となった2011年については、「それが僕にとって一番の誤算というか、後半戦の結果次第では色んな可能性があったと思うんですけど・・・」と話し、「あんなに長く離脱したことはなかった。プレーヤーとして5カ月も6カ月もプレーできないとかなりのブランクがあるなと感じました。そういう意味でも難しい精神状態でした」と当時の様子を明かす。

その上、復帰後も思うような結果を残せなかった香川。昨年10月にはスタメンから外れ、チームも低迷した。「やっぱりマークだったり、ドルトムントに対する相手チームからの厳しさっていうのはすごい変わってきた」と振り返った。

しかし、転機となった11月のヴォルフスブルク戦では、ワンタッチのパスや、針の穴に糸を通すようなスルーパスでアシストを決めるなど新たな引き出しを見せた香川は、「チャンスメイクという意味でアシストが増えることは決して悪いことではないのでプレーの幅が広がっているというのは感じます。ラストパスもスルーパスだったりというのも持てたら更に驚異になるのでは」と手ごたえを掴んだ様子をうかがわせた。

そして、将来の夢を訊かれると、「もちろん、ビッグクラブでプレーすることは常に夢ではあります」と切り出した香川は「バルセロナでプレーしたいという夢はあります。誰もが思うところですし、バルセロナでプレーしたいなんて思わない選手はいないと思うくらい、全てのサッカープレーヤーが憧れている。結果を残して1%でも近付けたら」と前を向いた。

W杯直前でスタメン落ちした俊輔に、松田さんが送ったメールとは？

21日深夜、TBS「S1」では、昨年8月に急逝した元日本代表・松田直樹さんの追悼メモリアルゲームを翌日に控え、日本代表時のチームメイトであり、Jリーグではライバル関係にあった宮本恒靖さんと、横浜F・マリノスで共に戦った中村俊輔の二人にインタビューをした様子を放送した。

「ピッチを離れると自由奔放な、本当に少年の様な人で。時にはライバルであり、時にはチームメイトとして代表の中ではプレーできましたし、マツの持ってる身体能力を活かしたような豪快なプレーなんかは間近で見ててうらやましく思った時もあった。マツのプレーを見てると本当に楽しそうにやる」という宮本さんに、俊輔も「そういうサッカーの話とか、なんでも熱くなる」と語った。

すると俊輔は、2010年南アフリカW杯直前でスタメン落ちした際、松田さんからメールが届いたエピソードを披露。「ワールドカップの本番になって出れない。そういう状況で周りの人は、僕が南アフリカでどういう心境かっていうのは分かってて、なかなか電話もメールも誰もしてこない。マツさんはガンガンメールしてきて、『お前、なんで出ないんだよ』とか『お前が出ないんだったら、つまんないから見ない』とか。あのメールでちょっと自分の今やるべきことは何かっていうのを考えて、南アフリカは辛い時間でしたけど、あのメールは有り難かった」と明かしたのだった。

■関連リンク

- ・「亡き松田直樹にこの勝利を捧げる！」松本山雅、奇跡のJリーグ昇格物語
 - ・元日本代表 DF 松田直樹急死、サッカー界に衝撃
 - ・【Jリーグ】松本山雅 J 昇格。松田直樹がもたらしたものは何か
- 香川、移籍のうわさを完全に否定

どうやら、香川真司にも「エアオファー」が届いていたようだ。

22日に複数の海外メディアが報じたところによると、ボルシア・ドルトムント(ドイツ)に所属する香川は、マンチェスター・ユナイテッド(イングランド)やACミラン(イタリア)へ移籍するという報道について「すべて根拠のないうわさ」と否定。ドルトムントへの愛着を強調し、今後も同チームでプレーする意向を示した。

先日、香川自身がバルセロナでプレーする夢について語ったことを紹介したが、こうしたコメントを見るかぎり、現時点で香川はチームでのプレーに集中したい様子が伺える。

その言葉を裏付けるかのように、香川は22日のハンブルガーSV戦で躍動。前半16分に絶妙のパスを送って先制点をアシストするなど、5-1の快勝に大きく貢献した。

移籍報道に振り回され続けた選手といえば、最近では本田圭佑が「エアオファー」（オファーがないのにあるように報じる記事を揶揄するネットスラング）を受け続けていた。本田はここに来てラツィオ移籍が具体化しつつあるようだが、香川はそうした喧騒に巻き込まれたくないのだろう。少なくとも今冬の移籍市場において、香川への動きはなさそうだ。

■関連リンク

- ・香川、先制アシスト！ドルトムント12戦負けなし - スポーツ報知
- ・「結果を残して1%でも近付けたら」 香川真司が夢を語る - Sports Watch
- ・マンU現役選手が本田を名指しでツイート - Sports Watch

現地メディア、錦織圭の快挙を賞賛

23日に行なわれたテニスの全豪オープン(メルボルン)・男子シングルス4回戦で、第24シードの錦織圭(にしこり・けい)がベスト8に進出した。世界ランキング6位のジョーウィルフリード・ツォンガ(フランス)を破る快挙であり、全豪の日本男子ベスト8は80年ぶり。4大会の日本男子でベスト8に入るのは、1995年のウィンブルドン選手権の松岡修造以来17年ぶりの快挙となる。

現地メディアのTheaustralian.com.auは「Kei Nishikori writes Australian Open history」（錦織圭、全豪オープンに記録を残す）というタイトルでこの快挙を報じ、「彼の名は、日本国外ではそれほど知られていなかった。この番狂わせにより、彼の名前はスポーツ・ヒーローとして国外に知れ渡るだろう」と賞賛した。

インターネット上でも、錦織の話題で沸騰。「すげーwwwwwwww」「すばらしいです。試合みてもないのに涙が出てきました…」「書きこむ手が震える」「実力のないやつを賞賛するのはやめろ、錦織こそ賞賛されるべき」といったコメントで溢れかえっている。

■関連リンク

- ・錦織選手、自身初の8強入り 全豪テニス - 日テレNEWS24
- ・錦織、四大大会初の8強＝日本男子17年ぶり―全豪テニス - 時事通信社

美女カーリング選手・市川美余、縁起のよい初夢とは？

25 日から 29 日まで、長野県はスカップ軽井沢にて軽井沢国際カーリング選手権大会が開催される。

カナダ・ノルウェー・ドイツなど、男女計 10 ヶ国の海外チームを招待し、男女各 8 チームで鎬を削る。注目の女子では、日本から中部電力、チーム青森が日本カーリング協会推薦チームとして、城西大学が長野県カーリング協会推薦チームとして出場する。

中でも注目は近年国内最強の座を不動のものとしている中部電力だろう。「美しすぎるカーリング選手」と一躍話題となったキャプテン・市川美余率いる中部電力は、今月 15 日に第 18 回中部選手権大会でも優勝を果たしたばかり。2 月に青森県で行われる本カーリング選手権大会への切符を手にした。

20 日深夜、フジテレビ「すぽると！」では、「今はもう安心の一言です。日本選手権優勝、2 連覇に向けて練習に励みたいと思います」というコメントを残した市川。同番組から初夢を訊かれると「私、ワンピースが好きなんですけど、ルフィが私の彼氏だったっていう初夢を見ました」と大笑い。縁起のよい(?)初夢で日本選手権連覇はもちろん、その前に迫る世界との戦いに向けても視界は良好といえそうだ。

■関連リンク

- ・市川美余フォトギャラリー
- ・市川美余が涙をこらえて語った「初めての世界」
- ・「美しすぎるカーリング選手」市川美余がネットで人気

錦織圭快挙も、松岡修造氏は「正直言います……」

23 日、オーストラリア・メルボルンで開催中のテニス全豪オープンでは、錦織圭が男子シングルス 4 回戦でフランスのツォンガを破り、4 大会で自身初となるベスト 8 進出、日本男子では松岡修造氏（1995 年／ウィンブルドン）以来 17 年ぶりとなる快挙を成し遂げた。

同夜、テレビ朝日「報道ステーション」では、そんな錦織の試合を松岡氏が解説するや、「本当に圭は心も体も強くなりました。それを象徴するポイントがありました。ハッキリ言います。このポイントを落としていたら今日の圭は負けています」と興奮気味に試合を振り返った。

ここでは、錦織の鋭いリターンを絶賛した松岡氏。「彼の才能とやっぱり体力と心が強くなったから」と説明を加えたが、次戦＝準々決勝で錦織が対戦する世界ランク 4 位のマレーについては「この 8 人の中で一番圭が当たりたくないのは、正直言います、マレーです。マ

レーに対しては隙がない。圭が一番やりにくい相手なんです」との見通しを示した。

■関連リンク

- ・松岡修造、錦織圭のインタビュー中に2度謝罪
- ・錦織圭、松岡修造には“何回も泣かされた”

ダルビッシュの日ハム時代コーチ・吉井の本音“こっちがすごく緊張して…”

ポストティング制度により、テキサス・レンジャーズ移籍を果たしたダルビッシュ有が、入団会見の行われた現地から帰国。24日には北海道で会見を行う予定となっている。

そんな折、現地会見の様子を伝えた日本テレビ「Going! Sports&News」（21日放送分）では、「全米興奮！ダルビッシュ会見を丸秘分析」と題し、伝説の速球投手でテキサス・レンジャーズ球団社長ノーラン・ライアンや、北海道日本ハムファイターズ一軍投手コーチで米メジャーを経験している吉井理人らのコメントを伝えた。

番組のカメラに「日本のプロ野球の特徴は、メジャーよりも落ちる変化球が多いこと。いままでも多くの日本人投手がメジャーでも落ちる球で勝負してきているよ」（同番組の翻訳より）と語ったライアンは、「ストレートに威力があるダルビッシュは特別な存在。最初のうちはストレート勝負で自信をつけた後、落ちる球も使ってほしい。ダルビッシュの野球でのIQを高く評価している」と期待を寄せる。

また、元メジャーリーガーでもある吉井は、「去年の場合は、多分、多分ですよ。ダルはもう次の年、今年ですよ。アメリカに行こうと思っていたので、ふいに質問することが多くて、こっちがすごく緊張して、何質問されるんだろうっていうのはありましたね」と本音をチラリ。

会見では、中5日の登板をダルビッシュが「問題ない」と答えた場面があったが、このことに触れると「最初は使い込むと精神的にカリカリ、イライラすることがあったんですけど、去年は全然不安はなかったです」といい、その活躍については「あの実力をそのまま出せたら沢山勝てると思います。理由としてコントロールですね。もちろん、球を操るコントロールもありますし、自分の精神、気持ちもコントロールするのが凄くうまいので」と太鼓判を押した。

宇佐美嫁の日記が「ラピュタ」すぎると話題に

先日「ほほえましい」と話題になったバイエルン・ミュンヘンに所属する日本代表MF宇佐美貴史の妻・蘭さん(田井中蘭)のブログ。今度はラピュタの話題にかこつけて、2人のアツアツぶりを披露している。

22日のブログでは、朝になかなか目覚めない夫を「パズー!!パズー!!パズー!!って旦那さん
を呼び続けたら……笑 パズーになりきって、トランペットを吹いてくれました。笑」とい
う内容。もちろん、これは「天空の城ラピュタ」が元ネタだ。

さらに23日のブログでは「ダイエット」というタイトルで、ミュンヘンに来てから運動不
足になっていることを明かし、「しかも旦那さんが、一緒に走ってあげるよって言ってくれ
て(´▽`)」と仲睦まじいツーショット写真を掲載している。

新婚ホヤホヤの2人のアツアツぶりにはサッカーファンもすっかり当てられてしまったよ
うで、「壁殴り代行呼んでくれ…」「残業中に見るんじゃない」「宇佐美くっそ」「バルス!!」
といった恨み節から、「宇佐美トランペット吹けるのかよw」「いいからベンチ入りくらいし
ろや」といったもっともなツッコミまでさまざまな反応が挙がっていた。

■関連リンク

- ・ 独サッカー大津と宇佐美出場せず 1部の後半戦開始
- ・ バイエルン、宇佐美の完全移籍での獲得に難色「難しい問題」
- ・ 宇佐美が練習試合で5得点と大爆発「もっと試合に出場したい」

識者語る「スペインで日本人選手が成功できない理由」

サッカージャーナリスト・小澤一郎氏のツイートが、話題を呼んでいる。

24日、小澤氏は滞在先のバレンシアから、スペインのチームに練習参加した選手たちにつ
いて「何かを与えられる、指示されて動くことに慣れている彼らは、突然持て余す時間を前
にどうしていいかわからない」とツイート。同時に、「こういう選手を数多く見ていると、
果たして選手個々の問題で片付けていいものなのか?」とも述べ、日本の育成年代に共通す
る問題であることを示唆している。

実際、日本の育成年代(中学生・高校生)は総じて"サッカー漬け"の毎日を送る。朝練を含む
ハードスケジュールを課され、休日が1年通じてほとんどないケースも。学生生活をサッ
カーに捧げることでタフさを身につける一方、自主性という面で物足りない選手は多い。

事実として、世界トップレベルのリーグであるスペインリーグで成功した日本人選手はい
ない。城彰二、大久保嘉人、西澤明訓、中村俊輔といった日本代表の主力クラスも総じて失
敗に終わり、現在プレーする家長昭博(マジョルカ)もベンチ外の日々が続く。

唯一、3部リーグから叩き上げてきた指宿洋史(セビージャ)が気を吐く状況。指宿は柏ユ

ースからトップに昇格できず、海外での武者修行を選択した、いわば「日本の育成環境を逸脱した」選手だ。

現在、海外でプレーする日本人選手は多いが、そのほとんどはドイツ・ブンデスリーガに集中している。そしてブンデスリーガは、世界トップレベルのリーグとはいえない。小澤氏の指摘するような状況が続く限り、スペインで通用する選手はなかなか出てこないのかもしれない。

■関連リンク

- ・小澤一郎 (Ichiro Ozawa) 氏 twitter
- ・李済華監督 (國學院久我山) 「2時間の練習で十分上手くなる」
- ・セビージャの指宿がリーガ・デビュー「求められる役割を意識している」
- ・識者が語る「バルセロナを倒す方法」

「長谷部放出」は誤訳？ ライターが指摘

スポーツ報知に「ヴォルフスブルクが長谷部を放出か」(※現在は削除している) という記事が掲載され、話題となったが、この記事についてドイツでの取材経験も豊富なライターの木崎伸也氏が「誤訳だと思います」と指摘している。

文中で同紙は「クラブを去るのはジョズエが長谷部だと伝えた」と記述、長谷部の放出が間近であるようなニュアンスを加えた。しかし木崎氏によると、「キッカーの記事はダブルボランチのレギュラー争いについて書いているだけ」であり、「ポラックがリードしたというのはレギュラー争いの話」であるという。

もっとも、実際に記事が誤訳であるかどうかはともかくとしても、長谷部の置かれている状況が厳しいことに変わりはない。長谷部にとっての正念場は、まだまだ続きそうだ。

■関連リンク

- ・木崎伸也氏 twitter
- ・ヴォルフスブルクが長谷部を放出か
- ・ゴン中山&長谷部、2012年に掲げた意外な目標とは？

本田ラツィオ入り報道にファン「会見まで信じない」

日本代表 MF 本田圭佑のラツィオ (イタリア) 入りが、いよいよ間近になっているようだ。スポニチアネックスでは、「C S K A 本田、ラツィオ移籍秒読み…伊紙が報道」という見出しで報道、24日付のコリエレ・デロ・スポーツ紙の「一両日中にも移籍が成立する可

能性が高い」という記事を紹介した。

これまで「エアオファー」の歴史を刻んできた本田だったが、ここ数日の報道は条件面などかなり細部まで詰められている感がある。ネット上でも、この記事への反応は総じて好意的。「やっとロシア刑務所から脱出か」「セリエも面白くなるな」「本田 V S トッティか胸熱だな」「長友とのマッチアップが楽しみだ」といったコメントが相次いだ。

一方で、これまで肩透かしを食らい続けてきたファンからは「ユニフォーム着て入団会見するまで信じないぞ」といった声も挙がっている。移籍市場が閉じるまであと 1 週間、果たして本田の移籍は成立するのか。

■関連リンク

- ・ ラツィオ、本田獲得に 13 億円用意
- ・ マン U 現役選手が本田を名指しでツイート
- ・ 米メディア「マン U は本田圭佑を獲得すべき」

錦織、マレー戦は圧倒的不利の予想

豪メディア「world wide of sports」は 24 日、全豪オープンで日本男子 80 年ぶりのベスト 8 進出を果たした錦織圭(にしこり・けい)のインタビューを掲載した。その中で錦織は、ベスト 8 進出について「初めてのベスト 8 で、ステップアップした気持ちでいる。だけどプレッシャーは感じていない」とコメント。また対戦相手のアンディ・マレーについては、「リスペクトしているが、彼を倒せるよう頑張る」と話している。

ただ、錦織の対戦相手であるマレーは難敵だ。錦織は 22 歳と若い、マレーもまだ 24 歳と若手の部類に入る。そしてマレーは、2008 年から現在まで 4 大会にて 3 度の準優勝、現 ATP マスターズ 1000 にて 7 度の優勝を誇る。厳しい戦いは避けられない。

英国のブックメーカーサイトに投じられたオッズも、この見方を裏付ける。多くのサイトで、マレーは 1 倍に近い数字である一方、錦織へのオッズは 7 倍を超えるもの。数字的には、圧倒的不利が予想される。錦織の快挙が賞賛される一方で、賭け金を投じる側はシビアな見方をしているといえるだろう。

すでに報じられているとおり、NHK は急きょ本日のマレー戦生中継を決定。本日 25 日午後 1 時 5 分から、同局にてこの試合をオンタイムで視聴できる。錦織は、この予想を覆し、歴史にさらなる名を刻むことができるか。

■関連リンク

- ・NHK動いた！錦織—マリー戦、緊急生中継
- ・錦織圭快挙も、松岡修造氏は「正直言います……」
- ・現地メディア、錦織圭の快挙を賞賛

錦織の敗戦に「立派」「力の差あった」など様々な反応

25日、テニス全豪オープン（メルボルン）・男子シングルス準々決勝でアンディ・マレー（英国）と対戦した錦織圭は、3—6、3—6、1—6でストレート負け。1932年の佐藤次郎以来80年ぶり、68年にプロ出場を解禁して以降の四大大会では初のベスト4入りを目指したが、“四天王”の一角マレーの厚い壁に阻まれる格好となった。

ネット上では「ここまで進んだだけでもすごい」「マレーが強すぎた」「ここまで来る日本人が出て来てほんとううれしい」「ベスト8は立派」「次も上位行けるよう頑張れ！」といった、錦織の健闘を労う声が大勢を占めた。

一方で、24日にクルム伊達公子とのダブルス戦に出場した影響を指摘し、「昨日の試合に出るからだよ ナメすぎ」「すべてにおいて負けていた」「かなり力の差があったな」といった反応、さらに対戦相手・マレーへ「全てのスペックが一回り上」「マレーのサーブ速すぎた、あれは返せない」「着地点予測はすごかったな」といった賛辞も並んでいた。

■関連リンク

- ・【速報】錦織圭、マレーに敗れ4強入りならず
- ・錦織、マレー戦は圧倒的不利の予想
- ・【仏国ブログ】ツォンガに勝利した錦織圭「素晴らしいプレーヤー」

日本代表新アウエーユニに「こっちをホームにしろよ」の声

25日、日本サッカー協会は日本代表の新アウエーユニフォームを発表。「結束」をテーマとしたもので、ジャージのフロント部分に三本足のカラスが毛筆タッチで描かれているが、全体としては白を基調としたシンプルなデザインとなっている。

ホーム用の新ユニフォームが発表された際は、拒否感を示す声も多かった。Soccer Journal（サッカージャーナル）参加ブロガーでは、エアロブレイン氏が「ここまで最低のユニデザインははじめて見た」と評するなど、概ね酷評に近い評価だった。

しかしこのシンプルなアウエー用のデザインには、打って変わって好意的な声。「全試合これで行こう」「あれ？おかしいな かっこいい」「こっちをホームにしろよ」「これから全試合アウェイ扱いをお願いします」といった絶賛する反応が並んでいる。

■関連リンク

- ・日本代表新ユニフォーム発表にサポーター騒然
- ・ネットユーザーが考えた、サッカー日本代表ユニフォームがスゴイ

清武弘嗣語る、奥さんとの出会いや怖かった父のこと

22 日深夜放送、テレビ朝日「やべっち F.C.」では、五輪代表&A 代表で活躍する清武弘嗣がゲストで出演。司会の矢部浩之、竹内由恵アナウンサーとトークを繰り広げた。

矢部の質問に“○×”で答えていく清武。「五輪代表は仲がいい？」という質問には、○を挙げ、A 代表についても「結構みんな可愛がってくれる。相当優しいですね」と話す。ここで竹内アナから「本田選手は？」と訊かれると、清武は「圭佑君は一回だけ韓国戦でしかやったことないですけど、あんまりしゃべってないですね」とポツリ。「近付けないですし、凄いいオーラ」と続けた。

また、理想の選手をインiestaとする清武だが、「結婚はいいもの？」という質問には「(奥さんとの) 出会いは小学校が一緒」と汗を拭く。ゴールを決めると左手の薬指にキスをするパフォーマンスにも言及し、「自然とし始めたんですけど。“ (奥さんは) 今日やってなかったな”みたいなことは言ってきますけど。やってるんですけど、たまたま点決めた時に映ってなかったり。やったよって言うのは言うんですけど」と照れ笑いを浮かべた。

さらに、小学校時代のサッカーチームの監督でもある「父・由光さんは怖かった？」という質問には、「(反抗は?) できないですね。やったらバチ回されるんで」と語った清武。小学校の全国大会で試合中、審判に暴言を吐いて退場したエピソードを明かすと、「(その帰り道に) “お前にはサッカーさせん方がよかった” って言われたんですよ。今でも覚えてるんですけど、殴られた記憶より、そっちの方が強いですね。自分のために頑張ってたと思うんですけど、お父さんのためについていうのはありました」と語った。

岩隈、マリナース入団に「一番に必要としてくれた」というのを感じれた」

25 日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では、同局・宇賀なつみアナウンサーが、シアトル・マリナースに入団が決まった岩隈久志にインタビューをした模様を放送した。

2010 年にはポスティング制度を利用するも、交渉が決裂しメジャー移籍が持ち越しとなっていた岩隈。今回、マリナースに決めた経緯を振り返ると、「一番に必要としてくれた」というのを感じれたといえますか。12 月にシアトルの方について、GM と会って話して“どういうピッチングしたい?”と訊かれたりもしたので、そういう中で“ローテーションの一角としてやってもらいたい”っていう言葉を頂いた」と話すと、「前回のアスレックスとの交渉は、GM とは会わなかった。そういうのを考えた時に顔を見て話し合えたことで、やりたい

なっている思いにはなった」と続けた。

また、セーフコ・フィールドを視察した感想を述べた岩隈は「ファンが球場の中まで入らせて貰ったような気持ちになった。マウンド上がる前に、僕スコアボードを見るんですね。スコアボード見て、自分の気持ちを確認めたり、ゲームの状況とかを確認しながら野手を見るんですけど、“ライトにイチローさんがいる”とか、そういうことを考えながらマウンドに上がらせて貰った」という。

さらに、メジャーに興味を持ったきっかけについては、「2004 年の日米野球」とした岩隈。「僕のピッチングとして空振りを沢山にとってというピッチャーじゃないので、コントロールとキレでゴロを打たせてリズムを作ってって。そういう感じのピッチングをしたら抑えるんじゃないかな」という手応えを持ったと明かし、WBC でその思いが更に強くなったと話すと「実際にメジャーで戦うとどうなのかなっているのは考えました。ワクワクする気持ちでいます。まだ、ユニフォームに袖を通していないので、早くユニフォーム着たい」と笑顔を見せた。

日本、フランスとの対戦に「仮想スペインかよ」の声

日本サッカー協会は 27 日、10 月 12 日(日本時間翌 13 日)にフランス代表と対戦することを発表した。日本代表の海外遠征の一環となる。フランスとの対戦は、2003 年 6 月 20 日にサンテティエンヌ(フランス)で行なわれたコンフェデレーションズカップ以来のこと。

2003 年当時、ジーコ監督率いる日本は中田英寿、遠藤保仁、中村俊輔らが出場。中村が GK バルテズの頭上を超えて曲がり落ちる鮮烈な FK を決めるなど、見るものにインパクトを残した。しかし同国との対戦成績は 5 戦して日本の 1 分 4 敗と、未だに勝利がない。

フランスは、日本戦の 4 日後にワールドカップ予選のスペイン戦を控えている。このことから、ネット上では「仮想スペインならかなり光栄」「最高のコンディションの相手と戦えるのか」「しかもアウェーってのが燃えるな」「0-5 の借りを返してやる」(※日本は 2001 年 3 月 24 日の親善試合で、フランスに 0-5 で大敗)といったファンの声が並んでいる。

なお、同国のディジョンに所属する松井大輔にとっては選出のチャンスだが、左足首の負傷により長期離脱した影響でチーム構想から外れている。この状況が続く限り、フランス戦に参加できるかは不透明といえそうだ。

■関連リンク

- ・日本代表、海外遠征でフランス代表と 9 年ぶりの対戦が決定
- ・ポーランドのレギア・ワルシャワが、松井大輔の獲得を断念

ノムさん、結婚報告なきマー君に落胆 「普通来るでしょ。社会常識として」

26日、東北楽天のエース・田中将大(23)とタレント・里田まい(27)が結婚を発表した。

田中は自身のブログで「昨シーズン、数々の賞をいただくことができたのも、日ごろから彼女に温かく見守ってもらい、支えられてきたからこそ得られたものです。

もちろん、まだまだ満足するつもりはありません」と綴り、充実した昨シーズンはすでに“内助の功あり”としているだけに、来季の活躍にも注目が集まりそうだ。

だが、28日、TBS「情報7days ニュースキャスター」では、田中の師であり、東北楽天元監督・野村克也氏が番組の取材に答えた様子が放送されると、「自分から挨拶に来たこともない」とご立腹の野村氏は、田中の結婚を新聞記者から聞いて知ったという。

「その辺が私の教育のなさというか、人間形成はちゃんとしとかなきゃいかんっていうのは、彼を見てて思いましたよ」と落胆する野村氏に、番組スタッフが「報告に来てほしかった?」と尋ねると、「いや、来てほしいとか、ほしくないとかっていう問題じゃなくて黙ってても普通来るでしょ。社会常識として」と一蹴。

それでも自身の経験に重ね、「野球選手は社会に対して無知ですからね。ですから、年上の女性の方がいいんじゃないですか。よい奥さんを貰うと旦那さんも非常に光るし」と祝福した。

ラツィオ移籍へ「もう本田が金出せばいいじゃん」の声

1月30日08:00(日本時間)時点で、CSKA モスクワ(ロシア)に所属する日本代表MF本田圭佑の移籍はまだ確定していない。25日時点でファンの「会見まで信じない」という反響を紹介したが、この声のとおり、本田の移籍は報道ばかりが先行している状態だ。

移籍について「合意」と報じているのは特定の媒体であり、その他のメディアでは様々な見方が目立つ。Soccer Journal編集部は「本田圭佑は1月中に移籍する?」という読者アンケートを募ったが、30日11:00現在で「ラツィオ移籍」という意見は約57%。およそ4割は、ラツィオへの移籍を信じていない。

30日における一部報道では、「破談」というものさえある。ネット上でも、交渉期限である31日ぎりぎりまでもつれている本田移籍について「今までで一番移籍に近づいたエアだったな」「まだ明日まで楽しませてもらえそうだ」「もう本田が金出せばいいじゃん」「冬に怪我人買わないだろ」と、やや冷めた声が目立つ。

どのような結果に終わっても、今回の"本田狂想曲"に踊らされたファンのメディア不信は

さらに深まったといえそうだ。

怒り心頭のノムさん。テレビ出演するたびに“結婚報告なき”愛弟子にボヤク

今月 26 日、東北楽天のエース・田中将大（23）とタレント・里田まい（27）が結婚を発表、婚姻届の提出は 3 月中とした。

だが、田中がプロ入りを果たした 2007 年当時、東北楽天ゴールデンイーグルスの監督を務めていた野村克也氏は、愛弟子から結婚報告がなかったことで怒り心頭の様子。各局の情報 & ニュース番組からコメントを求められるたびに、自身の指導力の欠如を自虐的にボヤいている。

28 日にも、TBS の報道番組に VTR 出演を果たした野村氏は「（報告に）来てほしいとか、ほしくないとかっていう問題じゃなくて黙ってても普通来るでしょ。社会常識として」と語っており、野球界のトッププレイヤーながらも礼節に欠ける 23 歳の若者へ、テレビを通じて指導を行っていた。

すると、29 日にはテレビ朝日「報道ステーション SUNDAY」に生出演。同じく田中 & 里田の結婚の話題になると、「（報告は）なんにもありません。電話一本ありません」と得意のボヤき節で切り出すと、「私の教育が悪かった。礼儀知らずというか」と、またも自虐的に語りつつ、里田が料理を得意とすることについては「それはいいですね。絶対条件です。コンディショニング管理って毎日のテーマですから。よく寝て、よく食べる。バランスのとれた食事は大事」と話した。

美人揃い!? スポーツ選手の 2 世タレントが熱い

2012 年度ミス日本グランプリ決定コンテストが、今月 23 日に東京都内で行われ、大学 3 年生の新井貴子さんがグランプリに輝いた。

大阪出身の新井さんは、プロ野球オリックスの新井宏昌 2 軍監督の三女。姉の寿枝さんも、昨年度の「ミス着物」という美人姉妹である。

新井宏昌 2 軍監督は現役時代、南海ホークス、近鉄バファローズなどで活躍。いぶし銀のプレーで、一部では「近鉄史上最高の 2 番打者」とも称される。ミス日本に輝いた貴子さんは、いぶし銀とは打って変わって、誰もが認めるスタイル抜群の超美女。世界で活躍できるモデルを目指すという目標も決して遠くないルックスなのだ。

この新井親子も含め、スポーツ選手の 2 世には美人タレントが多い。サッカー元日本代表でジュビロ磐田の初代監督でもあった長澤和明の長女である長澤まさみは言わずもがな。女優の吹石一恵も東北楽天ゴールデンイーグルススカウト吹石徳一（元近鉄バファローズ）

を父に持つ。

また、サッカー元日本代表のラモス瑠偉の娘、FABIANA（ファビアナ）もシンガーとして活躍中。同じくサッカー元日本代表の宮澤ミシェル（ミシェル）の娘、成良（せいら）は、乃木坂 46 のメンバーとして活動している。

スポーツ選手の奥さんは美人が多いからか、その娘たちのポテンシャルも相当のもの。今後、スポーツ選手の 2 世タレントに注目だ。

「ダル、古閑美保を専属料理人に」 報道へ驚きの声

テキサス・レンジャーズとの総額 1 億 1000 万ドル（約 85 億円）という超大型契約をまとめ、紗栄子夫人との離婚も決まったダルビッシュ有。身辺整理をつけ、夢のメジャー挑戦へ準備万端といったダルビッシュ有に、一部週刊誌上にてある人物が「専属料理人」として付くという報道がなされた。その人物とは、元プロゴルファーの古閑美保だという。

NEWS ポストセブンが 28 日に報じたように、古閑はダルビッシュ有の自主トレに同行するなど「お互いにアスリートとして尊敬している」（古閑）以上の関係性を感じさせる。加えて同記事上にあるように料理も得意で、アメリカツアーに参戦した経験も豊富。となれば、「専属料理人」報道の信ぴょう性も高まる。

もっとも、ダルビッシュ有の離婚には「7 億円ぶんの「痛み」を紗栄子さんが受け止めた」といった反応もあり、またダルビッシュ有・紗栄子双方のブログでお互いを慮るコメントもあった。少なくとも形の上では、「円満」を強調した離婚といえた。

その離婚からわずか数日で降って湧いたニュースには、ファンも複雑な心境のようだ。「事実なら完全に嫁じゃねえかw」「まじだったのかよ・・・」「古閑が急な引退したのも辻褄があうっちゃ合うな」といった意見から、「また二年くらいしたら、慰謝料取られるのかな」という意地悪な見方まで様々な反応が飛び交っていた。

■関連リンク

- ・ 古閑美保 アメリカへダルビッシュ有追いかけて同居する計画の証言
- ・ ダルビッシュ有とは何者なのか | 2011-2012 オフシーズン
- ・ 高き壁あればこそダルビッシュ有の真価と進化が

長友、チームメートのサラテから“無視”された？

29 日に行なわれたレッツェ戦に敗れ、8 連勝を逃したインテル。日本代表 DF 長友佑都は先発フル出場し幾度も見せ場を作ったが、勝利をお膳立てすることはできなかった。

試合後、インテルファンの矛先は長友へパスを出さなかったマウロ・サラテへ集中。左サイドを何度も駆け上がった長友に対し、サラテはその働きをまるで無視するかのように精度の低いクロスボールを連発。精彩を欠いていたインテル攻撃陣にとって、さらなるブレーキとなっていた。

Blog 版「蹴閑ガゼッタ」の小林遼次氏が「サラテはさらに絶望的で、長友を全く使おうとせずにコネてはボールを奪われるだけ」と指摘するように、このサラテのプレーには、インテルファンもおかんむり。

「酷すぎて逆に笑えてきた」「Jリーグでもハズレ外人に認定されるレベル」「サラテがクロス入れるたびにチームメイトがきれてたw」といった意見から、「サラテは長友にパス出さないね(´・ω・`)」 「ド素人が見ても、長友に出したほうが良い」「長友もサラテ無視し中にパス出せばいいのに」といった長友を擁護するコメントまで飛び交っている。

■関連リンク

- ・「ラニエリ、久々の裏目采配」イタリア・セリエ A 第 20 節 レッチェ-インテル
- ・インテル敗戦するも、長友は及第点「一瞬も止まらなかった」／伊紙
- ・及第点？ 「鈍いパフォーマンス」？ 伊紙の長友评分かれる
- 「石井慧の体調は良好」格闘家が引退説に怒り

ヒョードル戦で KO され病院に直行した石井慧について、30 日に脳障害により引退危機という報道が行なわれた。記事には「一説には『脳浮腫』とも言われています」（格闘技事情通）とあり、石井の容態は深刻なものと思われた。

しかし、この件について元 DEEP ミドル級王者である長南亮（ちょうなん・りょう）は真っ向から否定。自身のツイッターにて「石井慧の体調は良好だそうです。」とコメント、さらに「人の人生や生命に関わることを平気でガセ流す奴は死んだほうが世の為。」と怒りのツイートをしている。

これをもって、石井の体調不良がただちに否定されたわけではない。しかし、石井から近いと思われる人間からの情報であり、信ぴょう性は高いといえるだろう。この件について、格闘技ファンからは「良かった、引退する石井は居なかったんだ…」「とりあえずよかった」といった安堵のコメントが並んでいる。

「本田に賠償金払えよ」 移籍消滅に怒りの声

31 日、CSKA モスクワに所属する日本代表 MF 本田圭佑のラツィオ移籍が破談となった。スポーツ報知によると、「30 日夜からの交渉でラツィオはあらかじめ設定した限度額をはる

かに超えた金額でほぼ合意に達した」ものの、「一括払いを強く求める CSKA と分割を希望するラツィオでまたもめた」のだという。金銭面で大きな隔たりがあり、それを埋めようとしたラツィオ側の努力が結局は実らなかった、という流れにあるようだ。

しかし Soccer Journal 編集部が 26 日に「一貫性なき報道、本田圭佑の移籍は成立するのか？」という記事で報じたとおり、本田の移籍報道はこれまで二転三転してきた。一部では「決定」という文言を用いた報道もあり、多くの本田ファンにとってこの結末は落胆以外の何ものでもないだろう。

ネット上でも、「移籍決定」と報じた一部メディアの報道姿勢について「これで何を書いても良いつて前例ができてしまったな」「移籍決定の飛ばし記事の謝罪しなよ」「本田に賠償金払えよ」「言い逃れ記事書いてんじゃねーよ」といった声が挙がっている。

■関連リンク

- ・霧散した本田のラツィオ移籍
 - ・CSKA、本田圭佑に対するラツィオからのオファーを拒否
 - ・＜サッカー＞口でのみ移籍の本田圭佑、一発でケルンに移った鄭大世
- 静岡市のプロ野球チーム構想に「若い奴らは関心無い」の声

MSN 産経ニュースが 1 日に報じたところによると、静岡市がプロ野球球団創設に向け、4 月に新部署を立ち上げる方針を決めたようだ。田辺信宏市長が、定住人口増加のために企画したもの。市民意識の調査費なども含め、平成 24 年度当初予算案に数千万円を計上するという。

静岡市の人口総数は 714,122 人(2012/1/24 時点)と推計されており、1990 年の 739,300 人をピークに減少傾向に歯止めがかからない。野球チームを創設することで、市外・県外への人口流出を少しでも食い止めたらいがあると思われる。しかし静岡は本来サッカーの街としての特色が強く、野球チームへの反響は未知数。加えて折からの不況の中、数千万もの税金を投じて調査を行なうことに、疑問の声も少なくない。

ネット上では「誘致じゃなくて創設かよ」「ちゃんと NPB というかナベツネと連携取れるのか?」「若い奴らは関心無いぞ」「中日があるからいらねーだろ」「静岡はサッカー一筋にしといた方がいいんじゃないの」「野球好きな人間も既に特定球団のファンだから、創設とか全く意味ねえ」と、この件について概ね冷ややかな見方が広がっている。

本田圭佑のイチロー似作文が話題 「必ず世界一になる」

1 月 31 日、残念ながらラツィオ移籍が消滅し、セリエ A 行きはお預けとなった日本代表 MF 本田圭佑。ネット上では、そんな本田が小学生時代に書いたと思われる作文が話題にな

っている。作文は「将来の夢 本田圭佑」と題されたもので、内容は「W カップで有名になって ぼくは外国から呼ばれて ヨーロッパのセリエ A に入団します」「そしてレギュラーになって 10 番で活躍します」「必ず世界一になる」といったもの。

文体やフォントの質感など、以前話題になったイチローの作文と似ているため真偽は不明だ。しかし本物だとすれば、イチロー同様に本田も幼少期からハッキリと目標を定めていたことが伺える。実際「W カップで有名に」「外国から呼ばれて」という目標はすでに達成した。今回、ラツィオ（セリエ A）入団がかなっていれば、本田の有言実行ぶりがあらためてクローズアップされたことだろう。

ネット上では「イチローと本田、驚くほど似ている」「実際にほぼ計画通りに進んでるんだから凄いやな」「才能があって、しっかりした目標設定があって、ちゃんと努力をする そりゃあ成功するわ」と、本田のキャリアについて改めて賞賛する声が目立った。

■関連リンク

- ・「本田に賠償金払えよ」 移籍消滅に怒りの声
- ・本田移籍の誤報にファン激怒

長友の同僚オビ、豪快な積雪ダイブに「楽しそう」

1 日(日本時間 2 日)、セリエ A 第 21 節でパレルモと対戦したインテルは 4-4 で引き分け。日本代表 DF 長友佑都は先発フル出場し、PK を奪取するなど活躍した。しかしこの試合で、インターネット上のファンの歓心を誘ったのは、インテルの MF ジョエル・オビが積雪にダイブしたシーンだった。

試合前から降雪が続く中で行なわれたため、ピッチ内外には至るところに雪が積もるコンディション。途中出場したオビは 77 分、左タッチライン付近でボールを追いかけると、そのまま勢い余って看板の向こうにジャンプ。しかしそこには新雪が積もっており、オビは勢いよく雪の中に突っ込み、雪煙を派手に舞い上げた。

幸いなことに、本人にケガはなし。しかし雪まみれのまま出てきたオビの姿に、インテルファンは大喜び。「オビ朝から笑わせてくれる www」「MVP オビ」「楽しそうだな www」「インテルの黒人選手は笑いを取らないといけない決まりでもあるのだろうか w」というコメントから、「こいつはすごく運動神経がよくて頭がいいな。絶対に怪我しない流し方してる」という賞賛まで様々なコメントが寄せられていた。

■関連リンク

- ・長友が PK 奪取の活躍…インテルは打ち合いの末に引き分ける

・長友、チームメートのサラテから”無視”された？

エジプトのサッカー場暴動に「世界が日本を見習うべき」

1日、エジプト北部・ポートサイドでアル・アハリと地元チーム・アル・マスリの試合が行なわれた。試合は3-1でアル・アハリが勝利したが、試合後にアル・マスリのサポーターがピッチに乱入し暴動に発展。74人が死亡、248人が負傷する大惨事となった。ロイターによると、きっかけはアル・アハリのファンが地元ポートサイドを侮辱する横断幕を広げたことにあったという。

FIFA（国際サッカー連盟）のゼップ・ブラッター会長が「暗黒の日」と表現したように、これほどの死者・負傷者を出した事件は極めて異例。1985年5月29日にベルギーで発生した「ヘイゼルの悲劇」（リバプールとユベントスの試合前に、サポーター同士の衝突がきっかけで発生した事故。死亡者39人、負傷者400人以上）に匹敵する、サッカー史における暗黒の1日となった。

ネット上ではこの痛ましい事故について「日本じゃ有り得ないな」「世界が日本を見習うべき」「日本ならJリーグ潰れるレベル」「観戦マナーという点ではこれからは日本が世界をリードしていったらいい」と、日本におけるファンのマナーを賞賛する声が目立った。

宇佐美移籍失敗に「2億の価値もないのか」の声

バイエルン・ミュンヘン(ドイツ)は1日、G大阪から1年間の期限付きで獲得している日本代表MF宇佐美貴史(19歳)について、完全移籍の買い取りオプションを行使しないことを明らかにした。すでにG大阪に連絡済みで、宇佐美はレンタル期限の6月以降に新たなチームを探す。宇佐美の完全移籍には2億円の移籍金がかかるが、バイエルンはこの金額に難色を示した形だ。

もっとも、移籍市場における2億円という数字は、相対的にはさして高額ではない。移籍が成立はしなかったが、本田圭佑の移籍金としてCSKAモスクワがラツィオに提示した額は16億円とも言われている。宇佐美は、本田の約8分の1の価格ですら取引されなかったということになる。

この移籍不成立について、ネット上では「2億の価値もないのかよ」「ユニ販売力も含めての評価か」「転売しても2億以上の値はつかないと判断されたのか」「将来性を含めて2億出す価値がないと判断された」と、バイエルンの評価があまりに辛辣なことに驚きの声が挙がっている。

もっとも、宇佐美はまだ19歳の若手に過ぎない。レンタル期限が切れる6月以降、どのようなキャリアを積み上げていくか、これからの活躍が注目される。

■関連リンク

- ・バイエルン、宇佐美の完全移籍での獲得に難色「難しい問題」
- ・宇佐美嫁の日記が「ラピュタ」すぎると話題に
- ・まだまだ足りない!日本人選手はもっと本場欧州を目指せ!!

中日新聞取締役の落合批判に「マジで異常」の声

中日ドラゴンズのファンクラブ（FC）会報に、落合博満前監督への痛烈な批判が掲載されている疑惑が浮上し、ネット掲示板で物議を醸している。書き手は前チーム公式 FC 担当で中日新聞の取締役を務めた経験もある高島良樹氏。

同会報で高島氏が綴った文章は、「ファンに感謝を」というコーナータイトルながら、内容は落合前監督への不満のオンパレード。「前任の監督は、『勝てばファンはついてくる』といい、勝つこと以外でのファンサービスに、はっきり言って熱心ではありませんでした」「私が不満なのは、ファンに対する感謝の心が、普段、まったく感じられなかった点です」など、いかに落合前監督のファンサービスが足りなかったかを糾弾する内容となっている。

ネット上で出回っている記事は会報誌のキャプチャであり、100 パーセント高島氏が書いたものとは言い切れない。しかし高島氏は 2011 年 6 月に行なわれた中日新聞の株主総会で、17 分もの落合批判演説をした人物。記事の論調もその演説の内容とほぼ一致しており、信ぴょう性は高いといえるだろう。

ネット上のファンは、一様に高島氏に批判的だ。『「自分たちはファンサービスができませんでした」って言ってるようなもんじゃん」「他所のファンから見たらマジで異常やで…」』といったコメントから、「観客動員数の減少はフロントの責任だろ」「落合批判してる暇があったらファンクラブの会員特典充実させてくれよ」といったもっともな批判まで、様々な意見が書き込まれている。

■関連リンク

- ・落合「中日のタブー暴露」講演会を実況中継（1）「談志師匠ばりに言ってやる」
- ・落合「中日のタブー暴露」講演会を実況中継（2）「選手の性格で指導を変えた」
- ・落合「中日のタブー暴露」講演会を実況中継（3）立浪派と山崎派が対立している

ボールが顔面を直撃した石井一久&中村剛也、壮絶エピソード語る

2 日放送、日本テレビ系列「ダウンタウン DX」には、埼玉西武ライオンズの石井一久、中村剛也が出演。聞いているだけでも痛みが込み上げてくるようなデッドボールにまつわるエピソードを披露した。

「大丈夫！顔面へのデッドボール！」と題し、2008年5月11日のオリックス・バファローズ戦において、顔面にデッドボールを受け左頬を骨折しながらも、二日後には試合に出場していたという中村は、「そんな時は痛かったんですけど、そんなに、野球するには痛くないなと思ってたんで、医者には“口が開けなくなるから（手術を）やったほうがいいって言われたんですけど、別に開きにくくなくてもいいかなと思って」と涼しい顔で語る。

これには、番組司会の松本人志も「ケセラセラやなあ」と呆れ顔を見せたが、事実、二日後にはもう試合に出ていた中村は「一日休みがあったので」とあっけらかんとしていた。

すると、2002年9月、打たれた打球が顔面の額部分に直撃して大怪我を負った石井は「手術しました、僕は」と切り出し、「鳩時計みたいなのがあるじゃないですか。頭蓋骨を四角く空けてポコって取って、脳みそのチェックをして、もう一回押し込んだ。鳩は入ってませんでしたけど」と壮絶な手術を冗談交じりに笑って振り返った。

長友の苦悩を明かした母に賛否両論の声

2日、インテルの日本代表DF長友佑都の母・りえさんが、「心は、強くなる」（ワニブックス）の刊行に際してデイリースポーツ紙の取材に応じた。その中でりえさんは、クリスマス休暇で帰国していた長友が強いプレッシャーに苦しんでいることを告白、「目標は高く持たなければいけません」とアドバイスしたことを明かしている。

しかし著書の発売にかこつけたとも取れるコメントに、ネット上では賛否両論の声。「金スマとかみたいで台無し」「素人母がでしゃばり過ぎ」「しゃべりすぎ」といった批判がある一方、「選手の母親デイスるとか人間としておかしい」「母親がいなかったら今の長友はいなかった」「今のうち出まくって稼ぎまくれ」という擁護も多く見られた。

■関連リンク

- ・母激白…長友が弱音ポロリ「インテル大変」
- ・長友、本田に熱いエール「彼ならすぐにオファー来る」

元シブガキ隊薬丸の息子に「石川秀美そっくり」の声

スペイン2部のサバデルは2日（現地時間）、フベニールB（ユース）に薬丸隼人が入団したと発表した。薬丸は、元シブガキ隊の薬丸裕英の息子にあたる。サバデルは、FW指宿洋史（セビージャ）が昨年までプレーしていたクラブ。HPには薬丸のインタビュー動画も掲載されており、「彼（指宿）は自分の目標」と流暢なスペイン語で堂々と答える様が印象的なものとなっている。

もっとも、多くのファンにとって薬丸裕英の、そして元アイドル石川秀美の息子である薬丸の姿は初めて目の当たりにするもの。ネット上のサッカーファンのコメントは、もっぱら

薬丸の容姿に集中。

「ダウンタウンの浜田に似てるな」「アジア人っぽくないな」「ジョニー大倉みたいだな」といったものから「秀美そっくり w w w w w w w w w w w w w w w w」「やはり男は母親に似るもんだな」、さらに裕福な両親の元に生まれながら渡西したことで「あえて辛い道を選んでもては素晴らしい」といった賞賛までさまざまなコメントが書きこまれている。

■関連リンク

- ・元「シブがき隊」薬丸氏の息子がサバデルに入団…「指宿が目標」
- ・本木雅弘・薬丸裕英いまだ不仲？見ものだったよそよそしいギクシャクトーク

俊輔が今も書き続ける「サッカーノート」とは？

3日深夜、フジテレビ「すぽると！」では、同局新人・竹内友佳アナウンサーが、横浜 F・マリノス所属・中村俊輔に行ったインタビューの様子が放送された。

冒頭「勝負信条」と訊かれると、俊輔は「小さい頃からですけど、見ている人が驚くようなプレー。そういうプレーをしたいっていうのは昔からありますね。あとは上手いってってもらいたい。一番好きなのはアシストなんで、“そこ見てたの”っていうか、逆突いたり、そういうパスで味方の選手が簡単に決めれる。そういうシーンがあると満足度ありますね」と語る。

だが、最近記憶に残っているアシストを尋ねられると、一瞬固まった後「最近ないな」とポツリ。それでも、同番組曰く、昨年5月28日のベガルタ仙台戦でみせたディフェンスをかわして、右足でフワリと上げたクロスを挙げたという。

また、「勝負アイテム」については「サッカーノートですかね」と答えた俊輔。「最初は高校生の時のメンタルのコーチというか、先生がいらしたんで“こういうの書きなさい”って一試合終わった時の攻撃の良かったところ悪かったところ。守備の良かったところ悪かったところ。全体的な反省と、一番最初のページにその年の短期・中期・長期って目標を書かせられて、将来の夢を書かせられて、こうするためにどうなるかっていう未来に向けての明確なプランを文字に残せっていうような」と説明し、これは俊輔自身、今でも書き続けているという。

ここで竹内アナが「今書いている目標は何ですか？」と訊くと、「短期でいったら。チーム的なことでいったら ACL 圏内に入りたいとか。そうするためにはどうこうどうこうってベラベラ書いている」と明かした俊輔は、続けて「個人的なことは、やっぱり年齢が年齢なので、自分をあんまベテランだと思わない。限界を作らないようにっていうメンタル的なこ

と。あとは技術的、フィジカル的なことをダラダラ書いたり。いま自分が何をしなければいけないかっていうのを自分でしっかりいい聞かせる」と話した。

■関連リンク

- ・W杯直前でスタメン落ちした俊輔に、松田さんが送ったメールとは？
- ・「結果を残して1%でも近付けたら」 香川真司が夢を語る
- ・中田英寿も認めた天才MFが現役引退

香川真司、快勝に貢献も「フィジカル弱すぎ」の声

3日、ドイツ・ブンデスリーガ第20節が行なわれ、日本代表MF香川真司が所属するドルトムントはニュルンベルクとアウエーで対戦し2-0で快勝した。香川は先発フル出場、無得点に終わったものの随所にキレのある動きを披露。82分には2点目につながるシュートを放ったほか、切れ味鋭いターンやヒールキックで観客を湧かせた。

香川は、ドルトムントに加入して2シーズン目。昨年1月のアジアカップで負ったケガの影響で昨シーズン後半を棒に振っているため、フルシーズンを戦うのは今年が実質初めてとなる。

また、いわゆる「2年目のジンクス」(大活躍した選手が2シーズン目に徹底研究され、調子を落とすこと)には今のところ無縁。他チームが香川へのマークを厳しくする中で、昨年同様のパフォーマンスを維持していることに賞賛の声は高い。

ネット上でも、この試合をテレビ観戦した日本のファンから「香川は本物だ」「絶対外せない存在になってる」「香川はワシが育てた」「早晩ビッグクラブへ移籍するだろう」という声が上がっている。

一方で、香川のパフォーマンスについて一定の評価をしつつも、物足りないという声もあるようで、「フィジカル弱すぎ」「DF 激しいチームとやると玉際の弱さがやっぱり目立つ」「相手を背負ってる時に、フィジカル的な弱さで取られることが多々ある」「このままじゃ代表でトップ下はキツイ」といった指摘も挙がっている。

■関連リンク

- ・香川フル出場、ドルトムントが4連勝で暫定首位に浮上
- ・復活の『カガワ・フェスティバル』／ブンデスリーガ@ボルシア・ドルトムント 3-1 TSG1899 ホッフェンハイム
- ・香川真司 ブログへの多数の声読んで「応援感じる」と実感
俊輔、フジ新人アナの視線に「俺、こんなの初めて」

横浜 F・マリノス所属・中村俊輔にフジテレビ新人アナウンサー・竹内友佳がインタビューにトライした3日深夜放送の「すぽると!」。その前半では、自らが持つ勝負信条や今もつけているという“サッカーノート”について明かした俊輔だったが、インタビュー後半では怖い者知らずの新人アナによるまさかの要望に「俺、こんなの初めて」と苦笑いを浮かべる場面も――。

「昔からフィジカルコンディションを保つためにストレッチだったり、筋トレだったり、そういうのはしてますけど。あつつい風呂は好きです。46とか47度とか。(体は)真っ赤ですよ。真っ赤にして頑張るんです。3分とかっす」という俊輔は、その理由を「水風呂一回入ってとか、それくらいにならないと自分の足がほぐれて、ゆるゆるっていうか、外人の人は筋肉がゆるむから入らないっていうけど、僕は逆に筋肉をほぐしたいので、2セットとか3セットで終わらせますけど、熱い風呂入ってそのままストレッチやマッサージをして貰うというのが日課でした」と説明する。

また、体の柔らかさを訊かれると、前屈について「ここ(地面)からマイナス20センチです。こないだ測ったら」といい、竹内アナが「開脚もやっぱりつきますか?」といえど、「開脚はまあまあっす。この辺(腰まわり)が硬くなると自然とプレーの幅が狭まるので」と答えたが、ここで竹内アナの強い視線を感じた俊輔は「やれと?」と驚いた表情。「やれるな目でしたね、今。俺、こんなの初めて」と、カメラの前で渋々前後開脚を披露したのだった。

その他にも、自身の勝負飯は「イタリア行ったこともあって、イタリアンが好きなんで」とマリノスタウン傍にある「PAPA DAVIDE」を紹介。イタリアの濃さに近いチーズリゾットがお気に入りと話せば、ベストゴールについては「フリーキックでしたら、セルティックの時のマンチェスターユナイテッド戦ですね。チャンピオンズリーグの予選です」と、2006年11月22日のマンU戦を挙げ、「その前にアウェーでいった時にフリーキック決めれたんですけど、(壁を作っていた)サハ選手が一人だけ飛んでなかったんで、あれが飛んでたら当たってるんじゃないのって周りからいわれたんで、ホームできっちりサハ選手も飛んだ壁の上から入ったのでリベンジできた」と嬉しそうに振りかえった。

G大阪、新スタジアム建設費はサポーターの募金で!? 批判の声集まる

4日、Jリーグ・ガンバ大阪は、大阪府吹田市内でサポーターミーティングを実施。万博記念公園内で建設予定とする新スタジアムの建設費を140億円と見立てた上で、スポンサー企業やサッカーくじの助成金などから、費用調達できる目途はついたとしながらも、内15億円についてはサポーターの寄付など募金活動でまかないたいとした。

さらに、一部メディアが報じた内容によると、同クラブは、1口5万円で3万人のサポーターから募金を集めたい考えを持っているとされる。

だが、このニュースが伝えられると、ネット掲示板では15億円もの額を寄付でまかなおうとするクラブ側の姿勢を批判。「なんて虫がいい話だ」「5万？頭おかしいんじゃないの」「震災復興もままならないご時世ご立派なこった」「サポーターは貧乏人ばかりだから・・・」「構想を披露？単に土下座してるだけじゃね？」「なんでここまで馬鹿なんだよw」「サポーターの寄付が集まらなかったらどうなの？」といったコメントが相次いだ。

また、140億円といわれる建設費についても「どんなレベルのスタジアム建てようとしてんだよww」といった指摘も見られたが、同クラブはサポーターと意見交換を行うともしており、逸脱したルールの実行には待ったがかけられる見通しもある。2013年度末予定となっている新スタジアム、その全容はいかに？

清武弘嗣の負傷に「協会ふざけるな」

4日、C大阪は日本代表MF清武弘嗣がふくらはぎの挫傷のため全治6週間と診断されたことを発表した。これにより、清武はロンドン五輪アジア予選の残り試合だけでなく、3月10日のJ1開幕戦出場も絶望的。U-23日本代表、C大阪双方にとって非常に痛い負傷離脱となった。

清武の負傷はC大阪のキャンプではなく、U-23日本代表の練習試合で負ったもの。これにより、清武はC大阪のキャンプに合流できないばかりか、開幕前の大事な時期をリハビリに当てることを余儀なくされる。シーズンを通して戦う身体づくりを満足にできず、開幕を迎えることになることは避けられない。

このことに怒ったのが、所属チームであるC大阪のファンだ。「協会、関塚（※）ともどもマジでいい加減にしろよ」（※関塚隆・五輪代表監督のこと）「協会マジでふざけるな」「体作りや練習試合を一切やらずにシーズン突入かよ」「開幕前に清武ぶっ壊すとかマジでどう落とし前付けるつもりだ」など、怒りの声書きこまれている。

■関連リンク

- ・U-23代表離脱の清武が全治6週間…予選残り試合は欠場か
- ・U23痛すぎる清武の離脱 シリア戦に黄色信号が灯る
- ・清武のメンタリティ。 #cerezo #daihyo

美人大国ベラルーシが生んだ新女王

先月行われたテニスの全豪オープン女子シングルス決勝は、ビクトリア・アザレンカが、マリア・シャラポワとの“絶叫対決”を制して四大大会初のタイトルを獲得。新たに世界ランキング1位の座に就いた。

ベラルーシ人として初めて世界ランキング 1 位の女王となったアザレンカは、美人プレーヤーの筆頭として知られるシャラポワに匹敵するほどの美女アスリート。抜群のスタイルに目鼻立ちの整った顔立ちは、スーパーモデル級と言っても過言ではない。

ベラルーシは美人が多い国として有名。骨格と頭の形のバランスが抜群と言われる東スラブ系の血筋がその要因としてあげられており、シャラポワもベラルーシ人の両親の間に生まれている。

美人大国ベラルーシが生んだ新女王アザレンカが、女子テニスの世界をより華やかに、より美しく染めていく。

■関連リンク

- ・ビクトリア・アザレンカ 写真ギャラリー
- ・マリア・シャラポワ 写真ギャラリー

インテル弱体化で、長友の価値も下がる？

5 日に行なわれたセリエ A で、日本代表 DF 長友佑都が所属するインテルはローマと対戦し 0-4 で完敗。長友はフル出場し攻め上がりからチャンスを作ったものの、得点に結びつけることはできなかった。インテルはリーグ 3 試合連続で勝ち星がなく、上位から引き離されることとなった。

この結果に、インテルファンからはチームに対して厳しい視線が注がれている。とりわけ「外様」であり、守備やボール回しに課題を抱える長友への評価は辛辣。「いつも味方がパス出しづらいところで待ってる」「長友きてからインテル弱体化した」「インテルブランド価値が下がるなら長友の価値も下がるな」「クロス精度以上にビルドアップを身につけてほしい」など、厳しい意見が飛び交っている。

もっとも、チーム状態の悪さが長友だけに起因すると考えるファンばかりではなく、「今のインテルの面子で長友より活躍してんのは(ディエゴ・)ミリートと(ハビエル・)サネッティだけ」といった擁護のコメントも少なくない。いずれにせよ、こうした戦犯探しの意見が飛び交うこと自体、インテルが負のスパイラルにあることの証左と言えそうだ。

■関連リンク

- ・長友はフル出場するもインテルはローマに 4 失点で完敗…3 戦勝利なし
- ・母激白…長友が弱音ポロリ「インテル大変」

権田のインタビューに「さらし者かよ」の声

5日に行なわれたシリア戦に敗れ、ロンドン五輪出場に黄色信号がともった U-23 日本代表。ストレートで予選突破を決めるためには残り 2 試合で 2 連勝、しかも大量点を奪いグループ首位のシリアを得失点差で上回るか、シリアが勝ち点を落とすことを期待するしかない。他力本願の側面が強い、厳しい状況といえる。

そんな状況に追い込まれた一つの原因は、シリア戦で GK 権田修一が犯したミスにあった。2 失点目は味方の寄せの甘さが招いた側面があったが、1 失点目に関してはコースが変わったとはいえ処理しなくてはいけないボール。最低でも外に弾けたシーンであり、責められても致し方ない失点といえた。

その権田を、試合直後にテレビのクルーが代表して質問。権田は搾り出すように「ホント申し訳ない。やってはいけないミス」と答えるのがやっと。ネット上では、この質問に対して賛否両論、「欧州リーグであれやったら解雇レベル」「戦犯は権田」「解説がラモスなら放送事故になってるよ」といった手厳しい内容から「さらし者かよ」「キーパーやったことないやつが権田の悪口言う資格はない」「権田よりうまい GK いないんだから仕方ない」と擁護する声まで様々な感想が乱れ飛んでいる。

■関連リンク

・シリア U-23 2-1 日本 U-23 プランと選手の mismatch #daihyo

・「負けるべくして負けた」ロンドン五輪アジア最終予選 シリア-日本

「めんどくせえ」共演者も呆れる松岡修造、錦織圭の話題には「カチンときちゃう」

日本テレビ「おしゃれイズム」(5 日放送)には、松岡修造がゲスト出演。相変わらずの熱血ぶりを披露した。

24 時間、どんな事でも本気で臨むという松岡は「(どんな事にも)とりあえず、本気じゃないんですか?」と言ひ、趣味の映画鑑賞についても「映画、本気で観ないんですか?」と番組レギュラーの藤木直人に絡んでいった。

「今、子供もいて、時間的にもなかなか映画館に行けないと。家で観れる状況で、基本的に妻と観ることが多いんです。僕はこうして(姿勢を正して)観てるんですけど、横で妻の方は寝ながら観ているんです。それはいいよと。でも、サラウンドでいえば右端の音しか聞こえてこない、基本的には」と、妻の映画鑑賞スタイルに苦言を呈す。

さらに「1 番嫌なのが、ちょっと妻のつもりで観ている僕に声かけてみて下さい」と上田晋也に頼んだかと思えば、上田がいわれた通りに話しかけようとすると「シッ!!!」と一括。

「(鑑賞中に話しかけてくるなんて) もう、あり得ないですよ」という松岡に、上田は「この夫婦関係の方があり得ない」と呆れたが、負けじと反論する松岡は「本当に集中しているってことは映画の中に入っている。スターウォーズであればルークになり切っている時がある。ダース・ベイダーと戦ってる時に話しかけられても負けますよこっちは」と力説したが、ここでも森泉が「めんどくせえ」と一蹴したのだった。

また、期待外れの映画に当たった場合などは「そういう時こそ集中します。なぜつまんないのかって、ものすごく観たいんですよ。その中で監督も絶対伝えようとしていることがある。じゃあ何を伝えようとしているのか。最後まで観ないと分からない。途中で僕がやめたっていうと大変なことになる」という松岡。

錦織圭の話題になると「圭はすごいですね」と語った瞬間、「ちょっと怒っていいですか？」と豹変。上田も「今褒めてたでしょ？情緒不安定？」とツッコミを入れたが、「よく松岡さんはグランドスラムでベスト 8 に入ったって比較する人いるじゃないですか。カチンときちゃう。松岡修造と錦織圭を同じにするなって感じですよ、こっちとしては。圭はベスト 8 からどんどん行く選手。僕はまぐれで一回跳ねた人。全然テニスの才能が違う。僕は 11 歳で彼を見た時から、いってみれば才能の師匠。教えたことなんて一回もない」と熱く語った。

■関連リンク

- ・ 錦織圭快挙も、松岡修造氏は「正直言います……」
- ・ 松岡修造、錦織圭のインタビュー中に 2 度謝罪
- ・ 18 歳・八木かなえに、松岡修造「ウエイトリフティングをする人には思えない」

山崎明かす、予告ホームランは「5 回くらいやってます」

日本テレビ「行列のできる法律相談所」(5 日放送分) には、今季より中日ドラゴンズへ移籍を果たした元東北楽天ゴールデンイーグルス・山崎武司がゲスト出演した。

「私の奇跡の瞬間」というテーマのもと、ゲストが自らの“奇跡”を紹介する番組内容となったが、ここで山崎は、2011 年 4 月 30 日、震災後の宮城開幕戦で被害の大きかった歌津中学校野球部を招待し、予告ホームランを打ったエピソードを披露した。

正確には、試合前、星野監督が来場した中学生たちに“今日のゲームで山崎が 3 本ホームランを打つ”と冗談交じりに話していたのだが、第二打席で見事ホームランを打った山崎は、試合後のヒーローインタビュー時、「あの、今日ですね、試合前にですね、南三陸町歌津中学校野球部がね、この大変ななか応援しにきてくれて“ホームラン 3 本打つよ”って嘘だったんですけど、一本打ったから許してくれよ。自分たちも大変だと思うけど家族や近所の皆さんを助けてやってくれ」とエールを送っていた。

VTRが終わると、「約束しましたからね。意外と（予告する）言う就打てる確率高いんですよ。娘の誕生日打つよって言って打って、息子の誕生日打つって5回くらいやってますね。まぐれですけどね」と明かした山崎は、「奥さんとの記念日は？」と訊かれると「それはないですね」と苦笑いをした。

「MLBで日本人の評価が低下」記事に賛否両論

6日に「Number Web」に掲載された、「ダルビッシュ流出はNPBの危機!? MLBスカウトが語る日本球界の病巣。」というタイトルの記事が話題になっている。

同記事ではロサンゼルス・ドジャースのスカウトの声を交え、日本の野球が抱える旧態依然とした指導法を批判。西岡剛、岩隈久志、川崎宗則、青木宣親や中島裕之らに提示された厳しい契約条件が、「長い間日本の野球が変革することを恐れてきた結果の、技術の遅れが原因なのではないかと睨んでいる」としている。

この論調について、ネット上では賛否両論だ。「野球はスポーツと言うより宗教に近くなってる」「いまだに根性論がまかり通ってるからな」「少子化とサッカーに人材取られてるのが響いてる」といった、記事に同調するコメントがある一方、「まずはステロイドに手をださんとな」「何でもかんでもメジャーマンセー、NPBはカスってのはやめろ」と、メジャーが必ずしも健全とはいいがたい現状を踏まえた批判も書きこまれている。

■関連リンク

- ・ダル「超個人主義」は米国で受け入れられるか
- ・見えた？ダルビッシュ快投乱麻 「MLB」コレを知ればマジ面白い
- ルーニーの「NFLよりペンキが乾くのを見てるほうがマシ」発言が波紋

マンチェスター・ユナイテッドのイングランド代表FW ウェイン・ルーニーが、ツイッターでつぶやいた発言が波紋を呼んでいる。ルーニーは自身のツイッターで、5日に行なわれたニューヨーク・ジャイアンツ 21 対ニューイングランド・ペイトリオッツのスーパーボウルを観戦しながら、「なんでこの競技がフットボールと呼ばれるのか理解できないね。ペンキが乾くのを見てるほうがマシだ」とコメント。さらに「ラグビー・リーグのほうがスーパーボウルよりはるかに素晴らしい」とも述べている。

要約するとNFLは退屈だと言いたいわけだが、現役のサッカー選手が他競技を貶める発言をすることにネット上では賛否両論。「誰でもそう思うが黙ってるんだよw」「ルーニーほんとのこと言っちゃたね」「蹴ってねーだからフットボールじゃないわな」といった同調から、「アメリカ人が楽しけりゃいいんだよw」「それ言うならサッカーだってつまんないだろ」といった批判まで書きこまれている。

「もう敗退しやがれ」U-23 代表の前倒し招集に

8 日にスポニチアネックスが報じたところによると、日本サッカー協会は U-23 代表のアジア最終予選最終戦バーレーン戦(3 月 14 日、国立)のための直前合宿を前倒して行なう可能性が高まったようだ。シリア戦に敗れ、残り 2 試合をシリアよりも多い得点差で勝つ必要が出たため。同紙によると、日本サッカー協会は 9 日に J クラブ幹部を集めた会議を開き、協力を要請するという。

ただ、その時期は J クラブにとってリーグ開幕に向けた最終調整の時期。ただでさえキャンプ中の現在に主力を引きぬかれ、清武弘嗣のようにケガをしてクラブへ戻ってくるケースも存在する。U-23 代表の成績不振のツケを J クラブが払わされるような形に、ファンからは大ブーイング。

「五輪はもう敗退しやがれ」「とりあえず一人選出に付き勝ち点 3 くれ」「関塚の元に集まるほど怪我人が増えて弱くなっていくのに」「開幕直前に召集とか舐めやがって」といった、U-23 代表の不甲斐なさに対する怒りの声を書きこまれている。

■関連リンク

・清武弘嗣の負傷に「協会ふざけるな」

・権田のインタビューに「さらし者かよ」の声

ノムさん怒る「プロ野球がどんどん悪い方向へ進んでいく」

5 日深夜放送、TBS の「S1」番組内、野村克也氏による人気コーナー＝「ノムさんのボヤキ部屋」では、セ・リーグが今シーズンから導入を検討しているという予告先発に対し、野村氏が怒りを露にした。

「今日は怒ってます」と切り出した野村氏。「プロ野球がどんどん悪い方向へ進んでいく。予告先発なんてバカなこと考えるな。野球の本質、試合の始まる前から、我々監督は明日はどのピッチャーだって考えてオーダーを考えるわけです。(中略)読みっていうのは勝負事にはつきものなんだ。そんな予告先発、パ・リーグだって観客動員繋がってないじゃない。お客さんもね、試合始まる前から予測、予想っていう楽しみがあるんですよ」と怒りの理由を語気荒く説明した。

また、「(試合に)行く前から今日投げるピッチャーが決まってるなんてバカな。(予告先発がはじまった理由は)観客動員。今、客を呼べるピッチャーっている?」と問いかけ、導入の理由を観客動員とするリーグに苦言を述べると、「勝負ってのは読み合ひだし、戦略、戦術っていうのは色々考えて実行する、これが勝負ですから。(楽天監督時代は?)面白くなかった。やっぱり監督が育たないよ。敵を知り、己を知れば百戦危うからずって最初から教

えてくれてるんだもん。やめてもらいたい」と監督の育成やそのレベルの低下にまで言及した。

■関連リンク

- ・ 予告先発
- ・ 先発ローテーションのあり方について考える
- ・ セも指名打者？

四大陸直前、浅田真央、トリプルアクセルは「ジャンプが上がってちゃんと回れるかも」
今月 10 日に米国で開幕する四大陸フィギュアスケート選手権。最注目はいわずもがな、
2011 年の全日本フィギュア王者・浅田真央だろう。8 日深夜、フジテレビ「すぽると！」
では、浅田に行ったインタビューの模様を放送した。

昨年の世界選手権を最後に跳んでいない彼女の代名詞・トリプルアクセルについて、佐藤信夫コーチは「宝くじを買うようなわけにはいきませんので、間違いないというところにならないといけないと思います」と語っている。

これに対し、浅田は「全日本が終わってから、アクセルを中心に練習はしているんですけど、いい感じでちょっとずつですけど、毎日いい感じでできているとは思うので、まあ、これが続けていけばできそうという感じはします」と手ごたえは掴んでいる様子だ。

また、「今も、まだ完璧ではないので四大陸までには必ず間に合わせるっていう気持ちを持ってやっているの、毎日できる精一杯のことはやっています」と語る浅田。今大会の開催地でもあるコロラドは標高 1800m と空気抵抗が小さく「コロラドはすごく標高が高いところなので、もしかしたらジャンプが上がってちゃんと回れるかもしれない」と笑顔も。

それでも、「一つ一つの試合を、今できる自分のものを出せば次に繋がると思うので、四大陸選手権でも自分のやるべきことがきっちりできれば」と自分に言い聞かせるように話した浅田は「今はどちらかというと、優勝したいとかそういう思いよりも、自分がどれだけできるかっていうのは楽しみっていうか、そういう気持ちを持ってやっている」とその胸中を明かした。

ザック・ジャパンの” 秘密兵器” 報道に賛否

スポニチアネックスが9日に報じたところによると、J2 の東京ヴェルディに所属する FW ジョジマールが日本国籍取得を目指しているようだ。すでに申請書類は提出済みであるという。ジョジマールは 1987 年 8 月 16 日生まれの 24 歳、183 センチの大柄ながら俊敏性に優れ、ブラジル人らしく技術も高い。甲府、愛媛を経て今季から東京 V に加入する、来日 7 年目の選手だ。

日本語も堪能で、自身のツイッターではポルトガル語よりも日本語の書き込みのほうが多いほど。愛媛を退団する際は、「僕は愛媛で3シーズン半プレーをして良いところたくさんありましたのでサポーターと選手とスタッフや本当にありがとうございました。これからヴェルディ戦以外愛媛fcを応援します。僕にも応援お願いします」と流暢な日本語でツイートしている。

ジョジマールが帰化した場合、当然ながら日本代表入りの可否が話題になるだろう。すでにネット上のファンからは「女兒丸で決まり」「いいねえ、応援するよ」「Jで長くやる為にはいい選択なんじゃないの?」といった賛同の声が上がる一方、「実績は数字だけ見ると微妙」「日本国籍を取ったからと言って日本代表になれるとは限らないからな」「J2で5ゴールしかしてないFWってどうなの」(注:昨季は25試合5得点)という厳しい見方もされている。

■関連リンク

- ・【愛媛FC×岡山】 軸はFWジョジマールか？
- ・2011年Jリーグ初ゴールは愛媛のジョジマール
「麻雀必勝法か」 亀田興毅の対戦相手にドッチラケの声

WBA世界バンタム級王者・亀田興毅の4度目の防衛戦が、4月4日に横浜アリーナで行なわれることが決定した。しかしその相手であるノルディー・マナカネは同級12位、現在7連続KO勝利中である一方、戦績は35戦24勝(15KO)10敗1分けとパツとしない。世界タイトルを防衛するにふさわしい相手と言えるか、疑問が浮かぶところだ。

亀田興毅はこれまでダニエル・ディアス(ニカラグア)、デビッド・デラモラ(メキシコ)、マリオ・マシアス(メキシコ)といずれも無名のランキング下位選手相手に防衛戦を戦ってきた。またしても亀田陣営が無名の相手を選んできたことに、ボクシングファンからはドッチラケの声。

「必死にレベル低いの探してきて「レベルの違いを見せる」とか言われてもなあ」「レベルが上かせめて同等の相手とやれや」「せめて世界ランク3位以内の奴限定にして欲しい」「麻雀必勝法みたいだなww格下相手に無双」といった反応が大勢を占めた一方、マナカネという名前の語感が三倉茉莉・佳奈に似ている所から、「おれは全力でマナカナを応援する!!」「二対一とはいえ女ってどうなの?」といった反応も散見された。

2年目の斎藤佑樹、ブームに沸いた昨季に比べ「気持ち的にはすごい楽」

8日放送、フジテレビ「すぽると!」では『2年目の「進化」と「真価』』と題し、北海道日本ハムファイターズ・斎藤佑樹に迫った。

昨年のキャンプは“佑ちゃんフィーバー”に沸き、連日に渡ってマスコミ & ファンの視線を浴び続けた斎藤。昨年に比べれば、今年のキャンプは加熱報道も騒ぎもなく、自身の練習に集中しやすい環境だ。

番組のカメラに「そういう（静かな）状況になればなるほど、練習にも集中しやすくなると思いますし、プレッシャーはもともとないですけど、気持ち的にはすごい楽です」という斎藤は、フォーム改造にも着手。フィニッシュ時に右足をより前へ出すことで、移動した体重をボールに加え、威力がある球を投げることが目的とし、「去年よりもすごくいいです。去年は体重移動の話も色々な方にして頂いて、まあ、そんな中でしっかりと指にかかっているボールが投げれている」と手ごたえを感じている様子だ。

また、「経験と慣れが一番かなと思います。自分の場合は特に、ボール自体で勝負するっていうピッチャーでもないですし、沢山のバッターを見て、試合を投げさせて貰ったことが後半よくなってきた要因」と語る斎藤は、昨シーズンの得点圏被安打が.192 とリーグ 5 位、ピンチに強いという特性も示している。

このことについて、斎藤は、「危ないと思った瞬間に、それをいかにストライクじゃなくて、ボールにすることができる時もあります。ピンチを招いて成長してきたので、ピンチを招いてしまった時の対応はずっとやってきた。自信は多少あります」と語りつつも、「（プロの自覚は）だんだんと湧いてきましたけど、ただ、プロ野球選手がなんなのかっていうのは、まだいまいち実感が湧かないですし、また成績を伸ばして感じるものかなって思っています。去年一年間一軍にいさせて貰った経験を活かさなければ」と意気込んだ。

日ハム・大嶋匠、連日の活躍にも「少年野球以来なので、野球をするのは」

10 日放送、TBS「NEWS23 クロス」では、同局・栢田絵理奈アナウンサーが、北海道日本ハムファイターズのキャンプ地を訪れ、早稲田大学ソフトボール部出身という異色の経歴を持ったプロ野球選手＝大嶋匠にインタビューを行った模様を伝えた。

8 日の紅白戦では、初打席で初ホームランを放ち、その翌日にも安打を打っている大嶋。ホームランについては「狙ってはなかったですけど、真っ直ぐだけ張って、思い切り振ろうしか考えてなかった」といい、打った瞬間は「センターフライかと思って、僕結構必死に一塁に走ってるんですけど」と苦笑い。

栢田アナが「ソフトボールから硬式の野球になって、バッティングしていて違うところは？」と尋ねるも、「あんまり……。僕自身は感じない」とアッサリと答えた大嶋。ボールの見え方についても、「言葉にするのは難しいですね。なんていうんですかね。あるんすよ、やっ

ば違いあるんすよ。ソフトボールってズドンとくるんですけど、野球はビューンってくるんですよ。伝わりますか？」と笑顔で語る。

さらに「少年野球以来なので、野球をするのは。毎日新しい発見ばかりで楽しくキャンプしています」という大嶋は、「バッティングもしっかり継続してアピールしていきたいですし、守備の方でも、大嶋守れるんだって。チームに必要とされる存在になりたい」と意気込んだ。無関係の選手を殴る韓国チームに「この時期の風物詩だな」

11 日に行なわれた J1 サガン鳥栖と K リーグ・水原の試合で、鳥栖の北京五輪代表 FW 豊田陽平(26)が全く無関係にも関わらず相手選手から殴られ、ダウンするという出来事があった。西日本新聞が伝えたところによると、事件は練習試合(45 分×2 本)形式の 30 分ころに発生。鳥栖との接触プレーに怒った水原の選手が、関係ない位置にいた豊田の左肩付近を突然殴ってきた。豊田は倒れこみ、怒りをあらわにしたものの、その後は立ち上がり特に支障なくプレーを続けた。試合は、0-1 で鳥栖が敗れている。

韓国のチームが、J チームとの練習試合でほとんど暴力行為に等しいラフプレーに及ぶのは初めてではない。2007 年 2 月 5 日には、仁川ユナイテッドが大宮アルディージャとの練習試合でラフプレーを繰り返し、3 選手が負傷。主審が試合続行を断念するという事態になった。

毎年繰り返されるこうした蛮行に、サポーターも怒りを隠せず、「FIFA に通報した」「この時期の風物詩だな」「普通に傷害罪だから訴えればいいよ」といった声から、「こんだけ K クラブ絡みの暴力沙汰があっても何も抗議できない日本サッカー協会」という、同協会の対応を批判する声が挙がっている。

金本知憲が復活へ「何だかんだいったヤツを見返してやりたい」

11 日深夜放送、TBS「S1」では「反骨の 43 歳 金本知憲 復活へ知られざる激闘録」と題し、ここ 2 シーズンはケガで不本意な結果が続いていた阪神タイガース・金本知憲に密着した模様を伝えた。

2010 年に右肩腱板部分断裂でギネスに認定された 1492 試合の連続フルイニング出場も途絶え、また、痛みからバットを振ることもできない深刻な症状が続いたこともあり、2010 年、2011 年の成績は急落。常に引退の二文字がチラつきながらも、番組のカメラに金本は「肩壊して 2 年掛かりましたけど、地道に地道に諦めずに前へだけ向いて、途中落ち込みましたけどね。何回も」と語る。

だが、2011 年 8 月 24 日の巨人戦で、内海哲也から放ったホームランが希望を繋げたという金本は、「(力が) 戻ってきてるなっていう感触はありました。今までライトのポール際に

しか打球が飛ばなかったのに、だんだんセンターの方に寄ってきたので、これでオフに 2、3 ヶ月ガツと鍛えればもしかして行けるんじゃないかって希望が出てきましたので、何だかんだいったヤツを見返してやりたいっていう思いは正直あります」と前を向く。

そして、課題は「アウトコースですね。ここでの力の強さですね」と語る金本。打撃がライト方向への打球ばかりになっている現状、レフト方向へのホームランを目指し、「あの広い甲子園の左中間にガンガンね、ホームラン出ればほぼ 100%だと思います」と手ごたえを感じている様子をうかがわせた。

■Baseball Journal 関連リンク

- ・もっと酷い!? オールスター戦の放送権料
- ・ダルの大穴空いたまま
- ・あのMVP が社会人野球に参入

「嘘だと言ってくれ」マイク・ベルナルド死去の報に悲しみの声

14 日、K-1 で活躍した元キックボクサー・元ボクサーのマイク・ベルナルドが母国南アフリカのケープタウンで死去した。トレーナー、生前に親交のあったレイ・セフォー、およびマイクの弟子たちが相次いで WEB 上で公表、「sport24」も同様に死去を報じた。日本時間の 15 日 08 時 00 分時点で死因の確認はできないが、自殺という見方もあるという。

マイク・ベルナルドは 1969 年 7 月 28 日生まれ、享年 42 歳。ボクシング仕込みのテクニック、強烈なローキックを武器に多くの名勝負を繰り広げ、アーネスト・ホーストラと「K-1 四天王」として君臨。「南アフリカの大砲」という異名をとった。日本でも多くの CM やバラエティ番組に出演し、その明るく優しいキャラクターが多くのファンに親しまれた。

ネット上では、マイクの訃報に悲しみの声が相次ぎ、「ご冥福をお祈りします」「頼むから嘘だと言ってくれ」「ショックすぎる」といったコメントが相次いで書きこまれている。

ベルナルド死去——、藤原紀香は悲痛なコメント

90 年代後半から日本でも絶大な人気を誇った K-1 ファイター＝マイク・ベルナルドが、14 日に南アフリカのケープタウンで死去。同じく K-1 で一時代を築いた盟友レイ・セフォーらがツイッターで明かし、そのニュースは一気に伝わった。現在、死因は明らかにされていないが、一部海外メディアの報道によると自殺の可能性もあるという。

この悲報について、長きに渡って K-1 中継の司会を務めた女優・藤原紀香は、自身の公式サイトで「マイケルショーンベルナルド永遠に」と題し、悲痛なコメントを掲載している。

「マイケル ショーン ベルナルド 通称 ベルちゃん。日本でも格闘技ファンだけでなく、あ

のナイスキャラと可愛い笑顔で人気でした そのベルちゃんの悲報。悲しくて、悲しくて、胸が張り裂けそうです」と切り出したダイアリーでは、紀香自身が 2 年前に南アフリカを訪れた際、ベルナルドと入れ違いになりながらも、ケープタウンのおすすめをメールで送ってくれたというエピソードも披露し、その最後には「いまはまだ信じられないけど、心からベルちゃんのご冥福を祈っています、、、」と綴った。

■関連リンク

- ・「嘘だと言ってくれ」マイク・ベルナルド死去の報に悲しみの声
- ・トライアウト合宿がスタート！ ベルナルド、ホーストも絶賛「有望株が数人いた」
- ・ヴァレンタイン、寝技対策なきレイ・セフォー下す

清水退団のユングベリに非難轟々

14 日、J1 清水は公式 HP にて元スウェーデン代表 MF フレドリック・ユングベリとの契約を、双方合意の上で解除したことを発表した。同 HP にはユングベリのコメントが掲載されており、内容は日本への愛を示しつつも「双方違ったビジョン」「ACL（編集部注：アジア・チャンピオンズリーグ）でプレーする機会を失った」というもの。両者の考え方のすれ違いと、ACL 出場権を逃したことが契約解除の原因だったことが示唆されている。

しかし双方合意とはいえ、オフから日本に帰らずファンにあいさつもなしの状態での退団に、サッカーファンからは非難轟々。「しょせん観光気分だったんだろうな」「ただの老害だった」「歴代稀に見るむごさw」「J をナメてたんだろ」「もう二度と来なくていい」「ACL に出たかったのか それなら清水は無理だろ」という批判の声が挙がる一方、清水サポーターからは「上手いのは確かだけど、とにかく怪我がちで稼働率低すぎた」「これで若手の出場機会が増える」というコメントも書きこまれている。

「もう仮病使えよ」香川、長友ら招集に

14 日、日本サッカー協会は 29 日に行なわれる W 杯アジア 3 次予選・ウズベキスタン戦に向けて香川真司(ドルトムント/ドイツ)、長友佑都(インテル/イタリア)ら海外組 14 人の招集を求め、所属クラブに協力を要請する文書を送付したと発表した。負傷中の本田圭佑(CSKA モスクワ/ロシア)は含まれないものの、所属クラブへの完全移籍が見送られた宇佐美貴史(バイエルン/ドイツ)、移籍したばかりの家長昭博(蔚山現代/韓国)らの名前もあるという。

しかし、日本はすでに最終予選進出を決めており、この試合は形としては消化試合となる。海外組を含めたフルメンバーを投入する意図は「試合間隔をあけすぎないこと」などが予想されるが、特に海外で好調を維持する香川、長友の招集にはサッカーファンからさまざまな反応が出た。

「新戦力発掘しないでどうすんだよ」「宇佐美は五輪のほうに呼べよ」「ジーコ解任デモやった奴、出番だぞ」「もう仮病使えよ」「ドルトムントは招集文書破り捨ててOK」といった、海外組の招集に反対する声が高まった一方で、「ここで呼ばなきゃ、6月の最終予選にぶっつけ本番だぞ」「海外組がいるのといないのとじゃスポンサー料が全然違うからな」「いやこれくらいこなせるだろwお前ら過保護w」といった意見も散見された。

■関連リンク

・香川真司の得点で勝利。チームも香川も好調を維持。 【ボルシア・ドルトムント v s レヴァークーゼン】

・伊紙、長友の必要性を力説し指揮官を酷評「早く起用すべきだった」

・【加部究コラム】プロの充実がなければ未来は暗い

五輪目指す山崎静代、芸能との両立には「両方をやってこそ意味がある」

日本テレビ「NEWS ZERO」(13日放送分)では、女子ボクシング全日本選手権で優勝し、ロンドン五輪出場を目指す、お笑いコンビの南海キャンディーズ・山崎静代が生出演。喜びの声を語った。

番組キャスターの嵐・櫻井翔が、「今日はしずちゃんとも呼び辛いので、山崎選手と呼ばせて頂きます」と切り出してはじまったインタビュー。山崎は「まず第一歩なので、今はとにかくホッとしています。ここで負けたら全てが終わりなので絶対に負けられないと思ってプレッシャーもありました」と、安堵の様子を明かす。

また、「前日の夜はすごい調子がよくて、梅津トレーナーにもいいよって言われてたんですけど、当日になって、夜のコンディションをすぐにアップの時にし出せなかったのが焦ったんです。試合前にあの状態に持っていけないかというので焦りはあったんですけど、なんとかギリギリ間に合った」と試合を振り返った山崎は、「オリンピックに出るっていう目標を決めたことと、いつもどんな時も私と一緒に戦ってくれる梅津トレーナーとか、他にも沢山教えてくれる先生方がいるので、それに応えたいと思ってその一心でやっています」とモチベーションの源を語る。

さらに「オリンピックは本当にすごい大会なので、今のままのレベルではまだまだ通用しないので、本当に必死でもっともっと強くなれないといけない」と気を引き締めた山崎は、今後、より困難になってくるであろう芸能活動との両立について「両方をやってこそ意味があると思ったんで、私は芸能界の仕事をさせて貰ってますけど、他のアマチュアボクサーの方とかも仕事を持ちながらやられている方、沢山いるので、そういう意味では全然変わらない」とキッパリ。

五輪出場には、5月9日に中国で行われる世界選手権において、ミドル級でベスト8に入ることが条件（国際ボクシング協会による推薦枠が4枠あり）となり、その戦いまで残り3ヶ月となったが、「本当にやっとスタートラインという感じなので、まだまだ頑張らないと厳しい。本当に必死でギュッて上がるように」と語る山崎は、番組内で母からの手紙が読み上げられると、「いつも母親に一番、私のはけ口というか、色んな事を毎日電話して聞いて貰っているんで、母親のためにも、皆さんのためにも頑張りたいと思います」と喜んだ。

大胆ヌードを披露した美女ストライカーとは

女子サッカーアメリカ代表のFW アレックス・モーガン（22歳）が、米誌『スポーツ・イラストレイテッド』上で、オールヌードに絵の具でビキニを描いた大胆なボディペイント姿を披露し、大きな話題になっている。

昨年の女子W杯決勝の日本戦で後半から途中出場したモーガンは、快速を飛ばして先制点をゲット。さらに延長戦ではなでしこジャパンを地獄に落としたワンバックのヘディングゴールをアシストしたことで知られる。

同大会に出場したアメリカ代表選手の中では最年少でもあり、今後の活躍にも期待が集まるモーガン。スピード溢れるそのプレーもさることながら、目鼻立ちの整った超美形のルックスは、W杯開催期間中、瞬く間に世界中で話題となり、対戦相手の日本のサッカーファンをも虜にした。

そんなモーガンが披露したヌードボディペイントは、超美形アスリートの真骨頂。鍛え抜かれた褐色のボディに映える極小ビキニ（ペイント）は、まさに金メダル級。ロンドン五輪で再びその美貌を拝める日が待ち遠しい。

・アレックス・モーガン フォト

・アメリカ代表モーガンさんが脱いだと聞いて、なでしこヌードに俄然期待が高まった件。

・「2013年のバレンタインにチョコをもらいたいなでしこ選手」アンケート結果の巻。

清水エスパルス、ラフプレー連発の韓国チームとの試合打ち切り

16日に行なわれたJ1清水エスパルスとKリーグ・城南一和の練習試合で、またしても騒動が起こった。試合は45分×2本の形式で行なわれたが、前半で2-0でリードした清水に対し、城南がラフプレーを連発。城南は前半に退場者を出すなど、イエローカード・レッドカードが乱れ飛ぶ試合に。結局、清水公式HPが「開幕前にこれ以上怪我人が出ないように監督同士が話し合い、16分で試合を途中で打ち切った」と報じたとおり、後半途中で異例の打ち切りとなった。

11日にも、J1サガン鳥栖がKリーグ・水原との試合で乱闘騒ぎに巻き込まれた。そもそ

も、練習試合は強化目的で行なうもので、警告はまだしも退場者が出ることはかなり異常な事態。この試合からわずか5日後、またしてもKリーグのチームが問題を起こしたことに、ネット上のサッカーファンからは非難轟々。

「もう韓国と試合すんなよ」「少林サッカーに走ったかw」「どこのスラム街の試合だよw」「いいかげん協会からなんか言えよ」といった怒りの声から「韓国相手に試合組む事自体が判断ミス」「こうなるのがわかってて試合を組む日本のほうが悪い」、さらに試合会場名が「鹿児島ふれあいスポーツランド」だったことから「皮肉な会場名だなw」「大いにふれあいしたんだろう」といった反応が挙がっている。

■関連リンク

- ・韓国のチームと練習試合をしない方がいいんじゃないだろうか
- ・無関係の選手を殴る韓国チームに「この時期の風物詩だな」

亀田大毅が敗れた世界戦に衝撃秘話 「全てアニキが悪い」

昨年12月、大阪府立体育会館で開催された、ボクシング・WBA世界ダブルタイトルマッチにおいて、亀田大毅はホームでの戦いながらも、判定でテーパリット・ゴージャットジムに敗れる結果となった。

だが、その世界戦の裏には、亀田兄弟による衝撃秘話があったという。日本テレビ「ダウンタウンDX」（16日放送分）では、亀田興毅&大毅がゲスト出演し、そのエピソードを明かした。

「大毅が負けた理由」と題し、同一戦を振り返った興毅は、熱くなり過ぎて本来立てていた作戦を守れず、殴り合いに終始した大毅に対し、「ムキになり過ぎですね。試合前から作戦考えて、その通りにやっておけば絶対勝てたのに。相手は得意なスタイル、嫌いなスタイルあるから。何の言うこともきいてくれへん。毎ラウンド、毎ラウンド帰ってくるたびに何回も言うてる」と苦言を述べた。

また、2ラウンドにはゴージャットジムのパンチで大量の鼻血を流した大毅。鼻血は試合中に呼吸がし辛くなるハンディとなるばかりか、判定を行うジャッジへの印象も悪い。ここでも興毅が「一つ、いい勝負やったから、マイナスポイントは鼻血なんですよ」と言いかけるや、番組司会のダウンタウン・浜田雅功は「お前が悪いんやろ」といい、なんと興毅を指差したのだ。

このアクションに周囲のゲストが戸惑いを見せると、浜田は「(小さい頃、興毅が大毅を)イジメ過ぎて鼻血が出やすくなった」という衝撃の事実を明かし、大毅も「昔ね、ボコボコ

にするから、俺を。鼻が弱なってもうてスパーリングとかでもすぐ鼻血出るんですよ」と、ボクサーにとっては致命的といえる体質であることを告白。ゲストの中尾彬も「全てアニキが悪いんだな」と頷いた。

- ・ 亀田兄弟 W 王座戦開催も、misono や橋下新市長の国歌斉唱に酷評続々
- ・ 亀田興に、絢香似の彼女がラブレター “ホンマ自慢の彼氏です”
- ・ 魔娑斗“視聴者の人達も、大穀君変わったなって思ってる”

巨人・村田のブログに不可解なコメントが続々

今季より横浜ベイスターズから読売ジャイアンツに移籍を果たした村田修一。近年はケガや不振に悩まされるシーズンを送ることが多かったが、新天地に移り捲土重来を期する。

そんな折、16 日に更新した村田のオフィシャルブログ『「男・村田は九州男児！」by Ameba』がネットを中心に大きな話題となっている。

「同期！」というタイトルでアップされたエントリーの記事本文が全て文字化けをしているわけだが、もちろん、これだけなら何かしらの対応策を施せばよいもの。だが、ユーザたちが理解に苦しんでいるのは、同ブログのコメント欄において、誰も文字化けを指摘することなく、それどころかファンのコメントが順調に増えている点にある。

さらに、文字化けして読めないはずの日記ながらも、「わかる」「気合が伝わります！」「そうだったんですね(^O^)」 「なるほど 内に秘めた覚悟をかんじました」といった書き込みが寄せられているのも不可解だ。

これには、ネットの掲示板でも「なんで何事も無かったかのようにコメントしてんだよw」「コメント欄怖すぎわろたw w w w w w w」「コメント欄の奴らは読み取れてるんか」「アメブロのコメントはスクリプトってのが丸わかりになるなw」「なんで何事も無かったかのようにコメントしてんだよw」といった書き込みが相次ぎ、中には文字コードを変換して読解を試みたユーザもいたようだ。

アメーバブログでブログを書くタレントに不都合なコメントは、表示に至らぬよう運用サイドで編集しており、このこと自体はすでに公然の事実になっているものの、今回の騒動では、コメント欄にも運用サイドの不自然な手が加わっていることを改めて窺わせる結果となり、ユーザの更なる疑惑や不信を招いている。

スザンヌ、斉藤との夜の夫婦生活に言及

日本テレビ「ダウンタウン DX」（16 日放送分）では、福岡ソフトバンクホークスリハビリ担当コーチ・斉藤和巳と結婚したタレントのスザンヌが出演。夜の夫婦生活に言及し、周囲

を驚かせた。

「視聴者は見た！」のコーナーで、「去年の5月、ディズニーランドでスザンヌさんを見ました」という投稿が紹介されると、スザンヌは斉藤と妹・マーガリンとの3人でディズニーランドへ遊びに赴いたエピソードを紹介。園内では斉藤を中心に3人で手を繋いでいたという。

また、「うちの妹はよく二人で一緒にいる時も、結婚前も結婚してからも、3人で過ごすことが多いんですけど、ディズニーランドに一緒にいって、みんなで手を繋ごうよって話になって手を繋いでたんですけど、その日おうちに帰って寝る時も旦那さんを真ん中にして、私と妹で挟んで寝たんです」と明かしたスザンヌ。「いつも、そういう風な感じで寝てて・・・」と続けるや、番組司会のダウンタウン・浜田雅功は「何にもできんやん。妹おったら、自分ら」とツッコミ、スザンヌは思わず「そうです」と即答しつつ、「仲いいんですけど、旦那さんはたまに妹のことをうざがっている」と語った。

スザンヌとは4月から同居するという斉藤。ただでさえ一緒に夜を過ごす機会が限られているだけに、妹・マーガリンの存在が煩わしいのも納得か――。

- ・和田アキ子、スザンヌから斉藤和巳を紹介されるも・・・
 - ・ギャルファー・金田久美子を励ました“元エース”の言葉
- 「長友以外最悪」インテル大敗にファンも呆れ顔

17日に行なわれたセリエA第24節で、日本代表DF長友佑都が所属するインテルはホームでボローニャに0-3で大敗。長友はフル出場しチャンスに絡んだものの、チームを救うことはできなかった。これでインテルは3連敗で、5試合連続勝ちがない。

このところ大量失点を毎試合のように重ねていたインテルは、この日も3失点と守備が崩壊。2010年5月にジョゼ・モウリーニョ前監督に率いられUEFAチャンピオンズリーグを優勝してから、2年も経たないうちにラファエル・ベニテス、レオナルド、ジャン・ピエロ・ガスパーリーニと3人の監督交代を経験した。この体たらくでは、クラウディオ・ラニエリ現監督の交代も間もなくかもしれない。

日本のファンにとっての救いは、長友が孤軍奮闘したことか。「すげえ距離走ってた」「インテルの中だと長友が一番良かった」「長友以外最悪」「得点の匂いがセットプレーと長友の切り込みだけ」というコメントから、インテルのチーム状態がひどすぎることで「長友が可哀想」「ビッグクラブに必死こいてたどり着いたらまさかの泥船」といった反応もあった。

■関連リンク

・「インテルが大敗した理由」 イタリア・セリエ A 第 22 節 ローマ-インテル

・長友スタメン復帰のインテル、ボローニャに敗れ 3 連敗…5 戦勝利なし

「試合中に携帯ゲーム」岡ちゃん率いる中国チームの呆れた実態

18 日、岡田武史・前日本代表監督率いる中国スーパーリーグ・杭州绿城と韓国の強豪・FC ソウルとの練習試合が鹿児島・霧島市で行なわれた。試合は 45 分×3 本の形式で、杭州绿城はトータルで 0-5 の大敗。しかし試合結果以上に問題となったのが、選手たちのプロ意識のなさだった。

ニッカンスポーツが報じたところによると、選手たちは試合が始まる直前にもかかわらずピッチ外で記念撮影。また、試合に出ていない選手たちが控え室で携帯ゲームに興じていたともいう。当然ながら、こうした行動は J リーグどころか世界のトップリーグではご法度。懲罰対象にすらなりえる、プロ意識の欠けた行為だといえる。

このニュースに、日本のサッカーファンからは「こりゃ結果出せずに解雇だな」「ジーコも日本きたときこんな気分だったんだろなw」「試合中に…」「さすがに公式戦ではしなないと思いたい」「そのチーム偽物なんじゃないか？」と呆れた声が相次いだ。

「なぜ足で止めようと」自分の車に轢かれ今季絶望の選手

スペイン時間の 19 日、バレンシアに所属するアルゼンチン人 MF エベル・バネガがとんだアクシデントに見舞われた。練習を終え、ガソリンスタンドに立ち寄ったバネガは、車から降りる際にサイドブレーキをかけ忘れた。よほどあわてたのか、バネガは進行する車を大事な商売道具である足で止めようとしたのだ。

当然、車の圧力が止まるわけもなく、バネガは腓骨と脛骨を骨折する重傷。20 日にも手術が行なわれる予定で、全治までは 6 カ月かかるとみられる。うっかりしたミスが、今季絶望の悲劇を招いてしまった。

バレンシアの選手には、過去にもこうした「うっかり」ミスで重傷を負ったケースがあった。2002 年 5 月、日韓 W 杯直前にスペイン代表 GK ホセサンティアゴ・カニサレスが、オーデコロンの瓶を誤って足に落とし、右足の腱(けん)を断裂。正 GK として臨むはずの W 杯を、泣く泣く欠場するハメになった。

バネガのケースはカニサレスよりも深刻であり、一歩間違えれば生命の危機もあった。「骨折で済んだ」こともあり、ネット上のファンからは「なぜ足で止めようと」「どこの三流コントだよ」「なんという逸材」「骨折界のファンタジスタやで」「トラップも満足に出来ねえのか」といった軽い反応が多く見られた。

ノムさん、佑ちゃんにズバリ「人気先行だもんな」「いるの、彼女？」

TBS「S1」(18日放送分)では、野球解説者・野村克也氏が、北海道日本ハムファイターズのキャンプ地を訪問、斎藤佑樹と対談を行った様子を放送した。

昨シーズンは6勝6敗という結果に終わった斎藤だが、「去年6勝だっけ？少ないな。6勝じゃ満足しとったらかんで」と、のっけから単刀直入に切り出すノムさん。「ダルビッシュが抜けちゃったから、その後釜に期待しているよ」と続ければ、斎藤は「後釜っていうのは、ちょっとあれですけど、ちょっと頑張ります」と大量の汗をかき、苦笑い。「頑張るんじゃないくてやらなきゃダメよ。失礼だけど、人気先行だもんな」と言えば、斎藤は「まあ、だんだん・・・」としどろもどろになってしまった。

すると、沙知代夫人からのプレゼント(スイーツ)を斎藤に手渡したノムさんは、バレンタインの話題に便乗し、「いるの、彼女？」と、これまたズバリ。「いえ、いないです」と否定する斎藤に「いや嘘ばかり」というと、今度は斎藤が「本当です」と即答。選手名鑑の好きなタイプのところに「キャッチャーのような人」と書いている斎藤は、その理由を「キャッチャーっておおらかな感じで、何でも受け止めてくれる」と説明した。

本題になると、「(ここまでの)手ごたえはすごくあります。去年よりもやりやすい状況にあるので。プロになって初めての自主トレだったので、鍛えたりしていい準備ができました」と自信を口にする斎藤。今シーズン、フォームの改良に着手し、コントロールの精度を上げていることに触れると、ノムさんは「原点能力って言ってるんだけど外角低め。困ったら原点。外角低めのコントロールどう？10球投げて何球ぐらいいく？」と質問。斎藤が「8球くらいいきます」と答えると、拍手をして「勝てる！俺がキャッチャーなら余計勝てる」と絶賛した。

その他にも、決め球がないという課題について、「去年フォーク、自信あって投げたんですけど、西武の中村さんに抜けたのをホームラン打たれたので、そういうのもちょっと怖い」と明かす斎藤。ノムさんは「握りが浅すぎるんじゃないの？怖い？あんまり深く握ると。空振りとれるフォークを身に付けてほしいね。フォークボールをものにして6勝6敗じゃ寂しいで。マー君に負けるよ」と激励。ノムさんから「15勝5敗」と言われると「それできたらスゴイです」と最後まで苦笑する斎藤だった。

韓国代表FWパク・チュヨンが「消えた」？

韓国メディアで、アーセナル(イングランド)に所属する韓国代表FWパク・チュヨンの苦境が報じられている。見出しには「消えた」という文言が使われ、FAカップ、UEFAチャンピオンズリーグ、プレミアリーグとすべての大会においてサブにも入ることができていない状況が伝えられている。

確かに助っ人外国人であり、かつ得点力不足が課題のアーセナルにおいて、フォワードで
ありながらベンチ外という状況は厳しい。アーセン・ベンゲル監督が、パクをチーム構想に
置いているとは言いがたい状態といえる。韓国代表エースストライカーには、耐え難い境遇
だろう。

ネット上のファンは、パクの状況に賛否両論。「J」にあれば活躍できるだろうに」「ベンゲ
ルの言うことは信用できない」とパクの力量を擁護する発言がある一方、「本田1トップの
方が遙かにいい」「さっさと放出しろ」という批判、また「身の丈にあったクラブというか
出れるクラブが最優先だよな」と、そもそものアーセナル移籍を疑問視する声が挙がってい
る。

U-23 日本代表快勝も、セルジオ越後氏「ロンドン五輪に行ったら恥をかくだけ」

22日（水・日本時間）、ロンドン五輪アジア最終予選において、U-23 マレーシア代表と対
戦した U-23 日本代表は、大迫勇也、原口元気らの得点で 4-0 で快勝した。

最終予選 1 位通過に望みをつなぐ大量得点での勝利となったが、サッカー界のご意見番＝
セルジオ越後氏の評価は厳しいものだったようだ。

戦前より自身のツイッターで「今日は勝って当然な試合だね。最低 5・6 点は得点が必要だ
ね。それだけ取れる相手だよ。ただ戦略もなくイケイケとなるのはだめだよ。得点を取るた
めの試合をして欲しいね」というツイートを行っていた同氏は、「中継のハイライトにおさ
まらない位のゴールシーンを期待したいね」とも――。

実際、大量 4 点を挙げ、暫定首位に浮上する結果となるも、その試合後には「数えきれない
ミスパスとミストラップ。あれでは差は開かないよね。マレーシア相手にアウエーで暑い環
境とはいえ、あの内容が良かったとは思わない。僕はもう 2 点位は得点する位相手との差
があると思うけど。4 得点で満足しているのはどうかな？」と呟き、また「この試合内容
でロンドン五輪に行ったら恥をかくだけだよ。今日の試合内容で本当に選手が成長して
ると言えるかな？皆さんはどう見るかな？」と厳しく言い放った。

・【速報】日本、4 対 0 でマレーシアに快勝！

・関塚ジャパン 4 ゴール！ロンドンへ執念見せた…五輪アジア最終予選

秋山成勲「セクシー」発言に批判殺到

今週末 26 日、さいたまスーパーアリーナで開催される世界最高峰の総合格闘技イベント
＝UFC 日本大会に向け、22 日に都内のゴールドジムではオープンワークアウト（公開練習）
が行われたが、その際、出場選手の一人である秋山成勲がオープンワークアウト後、メディ

アに語ったコメントが物議をかもしている。

今大会では、これまで戦ってきたミドル級から階級を下げ、初めてウェルター級で試合を戦う秋山は、海外メディアの質問に対し「海外ではセクシーヤマと言われているのですが、日本では認知されていないので、セクシーな試合をしたいと思います（笑）」とコメントしている。

しかし、2006年12月31日、K-1 PREMIUM 2006 Dynamite!!の桜庭和志戦では、身体中にアメリカ製のスキンクリームを塗っていたことで、FEG 主催大会への無期限出場停止が課された経緯もある秋山。当時は、グラップラーでもある桜庭のタックルや関節技がきまりにくくなるよう、自身の身体を滑りやすくしたのではないかという指摘が多数を占めたこともあり、今も秋山に対する国内ファンの声は厳しい。

上記のコメントがネット掲示板に取り上げられると、「セクシー過ぎてぬるぬる」「テカテカしてたらセクシーだよな」「バカにされてんだよそれ」「っていうかヌル山だろ」「日本では「ヌル山」で認知されてるね」「まだ格闘技やってるのか」など、秋山に対する批判が相次いで書きこまれる事態となった。

・【UFC144】秋山成勲、「セクシーな試合したい」

「なでしこのように優勝できる」韓国女子監督の発言が話題

重慶で行なわれた「女子サッカー4カ国リーグ」の閉幕後に、韓国女子サッカー代表監督が述べた発言が話題になっている。同大会は北朝鮮女子代表の優勝で幕を閉じたが、同代表のパク・ナムヨル監督は大会後「韓国もいつの日か必ず、なでしこジャパンのようにワールドカップ優勝の奇跡を再現することができる」と発言。なでしこジャパンへのリスペクトを込め、今後の飛躍を誓っていた。

しかしこの発言は、日本の一部ネットユーザーにとって、なでしこと自国代表を同列視する発言に映ったようだ。「立ち位置や身の程も理解できないのか」「どの口が言うとなんじゃ」「日本がいないアジアの大会でも優勝できないのに」といった批判が飛び交う一方、「全然日本を嫌ってる訳でも嫉妬してる訳でもない」「この監督は冷静」「まともな意見じゃないか」と擁護する声もあった。

なお、なでしこジャパンは女子W杯通算6度の出場で最高成績は優勝、五輪は出場3回で最高成績は4位。それに対し韓国女子の女子W杯通算出場は1度(グループリーグ敗退)、五輪には出場経験がない。

「格が違う」かわいい子だらけのなでしこ候補たち

18歳の現役女子高生 FW 京川舞が、今月 29 日にポルトガルで開催されるアルガルベ杯に臨むなでしこジャパンに選出され、大きな話題となっている。

女子サッカーの世界では若くしてトップステージに引き上げられるのはさして珍しいことではないが、いまや国民的代表といっても過言ではない、なでしこに現役女子高生が加わったということで、そのインパクトもひとしおだ。

この京川もさることがながら、現在の女子サッカー界はとにかく若手の人材が豊富だ。そして、おしなべて美人系なのだから恐れ入る。筆頭に置かれているのが、京川の同級生であり、すでにその美貌を絶賛されている FW 仲田歩夢だ。白い肌に長い黒髪、そのままアイドルグループにいてもおかしくないようなルックスに、サッカー界だけでなく芸能プロも興味を寄せているという。

さらに、京川、仲田とともに INAC 神戸に入団した田中陽子の美少女っぷりも相当だ。2 人の影に隠れがちだが、健康的な焼けた肌にくりくりとした大きな瞳は、80 年代のスーパーアイドルを思わせる。

さらにさらに、現在人気急上昇中なのが、ポスト澤の呼び声も高い 17 歳の榎本光だ。今季から浦和レッズレディースに所属する榎本光を巡っては、ネット上でも「かわいすぎる」「格が違う」「仲田よりもかわいい」などそのルックスを絶賛する意見が乱立。さらにそのプレーも次世代のなでしこを担うだけのポテンシャルを秘めてるとあって、目下注目の逸材である。

数え上げればキリがない、美少女なでしこ戦士たち。ロンドン行きの椅子に誰が食い込んでくるのか。華やかすぎる女の争いから目が離せない。

「誰かこいつを黙らせろ」榎野智章のオーバーエイジ発言に

浦和に所属する日本代表 DF 榎野智章の発言が、サッカーファンの間で話題だ。東スポの単独インタビューに応じた榎野は、その席で自由な発言を連発。中でも、ロンドン五輪出場に王手をかけた U-23 代表に話題が及んだ際のコメントが注目を集めている。

記者との対話でオーバーエイジ枠(年齢制限より上の選手を招集できる枠)について言及された榎野は、「関塚さんには直接『オレ、OA どうですか。雰囲気作りますよ!』ともう何回も言ってますよ!」とコメント。自身は出場を果たせなかった北京五輪の雪辱を、ロンドンで果たそうという構えだ。

しかしこの発言には、ネット上のファンから賛否両論。「愛すべき馬鹿だな」「ムードメー

カーとしての働きはいい」「最近好きになってきたわ」「FK ならあの中で一番うめえんじゃねーの」という擁護のコメントから、「自分が目立つことだけ」「誰かこいつと権田を黙らせてくれ」「W 杯のサポートメンバー断ったり、結構計算高いタイプよ」という批判まで様々な発言が飛び交っている。

■関連リンク

- ・浦和レッズ・槇野智章、高橋峻希と肩を組み「あれ？兄貴？弟？俺たち兄弟だっけ？」
- ・「槇野」から「槇 n (r y) 昇格の儀、中止
- ・浦和復帰の阿部、タメ口 OK！槇野からパシリ要求される「コーヒー買ってきて」
- ・「信じられない！」 槇野の浦和移籍に非難轟々

代表戦皮肉るセルジオ越後氏、「これこそザ・フレンドリーマッチ」

現在、大阪・長居スタジアムで行なわれているサッカー国際親善試合＝日本代表×アイスランド代表戦では、前半 1 分、左サイドをドリブルで突破した槇野のクロスを前田が頭で押し込み、日本代表がアッサリと先制点を挙げた。

その後も、前半 25 分現在まで日本がボールを支配し優勢に試合を進める展開に。だが、辛口の評論でお馴染み、サッカー解説者のセルジオ越後氏はため息交じりに呟いた。

自身のツイッターで「あまりに早い得点にザッケローニびっくりしてるよ」とツイートするや、「アイスランドはプレスも何も無いな。シニアチームなのかな？」「アイスランドは挟むようなプレスをして来ない。全て 1 対 1 だよ。楽な試合になりそうだな」と、アイスランドが手応えなしと感じたのか、ボヤき節に呟き続けると、前半 15 分過ぎには「こんな相手だと、日本もシラけてくるよ。もっと緊張感が欲しいんだけどね」と語った。

しかし、その後、日本代表に追加点なく、一転攻めあぐねる展開になると「シーズン初めとはいえ、日本代表のサッカーがこんな内容でいいのかな」「全く遅い展開のサッカーで日本は何も打開しようとしな。ザッケローニはこんな展開で何も指示しないんだね。本当にひどい」と、どこまでも厳しい同氏。後半には藤本&槇野がゴールを挙げるも、PK で失点を許し 3-1 という結果に終わると、「シーズン初めとはいえ両チームスリルの無い試合だね。これこそザ・フレンドリーマッチだよ」と皮肉った。

[※21：30 追記]

【速報中】サッカー・日本代表 vs. アイスランド代表

日本代表戦を速報する中西哲生さん、新幹線から粘りのツイート

大阪・長居スタジアムで行なわれているサッカー国際親善試合＝日本代表×アイスランド代表戦は、現在前半が終了。日本代表が前田のゴールで 1-0 とリードをしている。

各スポーツメディアやブロガーたちが、自身のサイト上で試合の模様を速報する中、現役時代は名古屋グランパスエイト、川崎フロンターレで活躍したサッカー解説者・中西哲生さん (@tetsuo14) もまた、毎試合恒例といっても過言ではないツイッター実況を行っている。

試合前から「何度でも言うが、柴崎には期待したい。技術もあるが、遠藤のように試合を読むチカラがある」と見所を語っている中西さんだが、その実況はなんと新幹線の中から行っているという。

「ワンセグ、動きが悪いようです」と呟きながらも、決して諦めることなく粘りの実況ツイート続ける中西さんは、「アカン！ トンネルというディフェンダーに手こずっている（笑）。東海道新幹線の実況 Tweet という、違うものになってきた www」とも。トンネルを通るたびにワンセグで観ている映像が途切れるのだろう、それでも「静岡県内、トンネルという守備の固さでパス（電波）が繋がりませんが、世界的に意志（Twitter）は繋がっている模様（笑）」と呟き、ユーザの笑いを誘った。

【速報中】サッカー・日本代表 vs. アイスランド代表

“内容が入ってこない”代表戦、サポーターの拍手喝采はアイスランド選手に!?

24日、大阪・長居スタジアムで行われたキリンチャンレンジカップ2012、対アイスランド代表戦は、日本代表が前田遼一（前半1分）、藤本淳吾（後半8分）、槇野智章（後半34分）のゴールで3点を獲得するも、ロスタイムにPKを与えて失点。3-1というスコアに終わった。

本田圭佑や長友佑都、内田篤人、香川真司といった主力海外組を欠く日本代表。国内組が踏ん張り、アイスランドに勝利を挙げるも、格下相手に攻めあぐねた前半や不用意な失点などサポーター・関係者の評価は分かれるものとなった。

そんな折、日本代表を上回るインパクトを残したのは、アイスランド代表7番のソルステインソンだろう。ハンドスプリングで勢いをつけて、そのままスローイングを行う、いわゆるハンドスプリングスローを要所で披露し、長居スタジアムに集まったサポーターの拍手喝采を浴びた。

これにはツイッター上でも視聴者&サポーターが絶賛の声を寄せる。「あのスローイン、どうしてもファールじゃないか確認しちゃう。でも足そろってる」とファールスローを心配する声もあったが、「なんか今日の試合、ハンドスプリングスローという独得なスローインの印象が強すぎて内容が入ってこないw」「アイスランドのスローインの印象が強すぎますね。

後半はゴール場面と決定機以外で何か感じたことってありますか？」「あのスローイン見たいばかりに、もうちょっと攻め込まれてライン割らないかなと思ってきている」など、試合内容を上回るスローインの余韻がいつまでも残っているようだった。

【速報中】サッカー・日本代表 vs. アイスランド代表

“異常な時代”の終焉、レーザーレーサーの今とは

23 日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、『レーザーレーサーから 4 年 水着の「今」』と題し、2008 年の北京五輪時には“魔法の水着”と呼ばれた speedo 社の競泳用水着＝レーザーレーサーについて、その現状を、進化する水着とともに伝えた。

身体を締めつけることで水の抵抗を極限まで抑えた、レーザーレーサーが登場するや、北京五輪では世界新記録が 23 個も誕生、当時は大きな賛否をよんだ。だが、2009 年の世界選手権では、レーザーレーサーを上回るといっても過言ではない、水をほとんど通さないラバー水着が登場。なんと約 2 週間で世界新記録が 43 個も塗り替わったのだ。

同番組にコメントを寄せる専門誌編集長は「かなり特異な大会だったと思います。200m バタフライって、すごい体力を要する種目で午前中の予選一発目でアメリカの選手で全然無名の女の子が世界記録を更新（デセンザ）しちゃった」、「割合でいったらレースの半分くらいで世界記録が出た」と振り返っている。

これにより、ラバー素材の禁止と、身体を覆う水着の面積に規定ができ、2010 年の世界記録更新は 0 となった。それでも今回のロンドン五輪では、speedo 社が水着・ゴーグル・キャップを総合的に設計し、全身の受動抵抗を軽減する 3 点セットを打ち出したり、アシックス社は生地の強弱で筋肉のブレを軽減する水着を出すなど、メーカーの創意工夫は続いている。ただし、水着に依存した異常な時代は終わり、いよいよ選手の真の実力が競われる時代に戻りそうだ。

■2008 年水着問題とは？

- ・テリー熱弁！「スピード社製水着を使え」
- ・北島、水着問題と“4WD”泳法語った
- ・傷ついた信頼、国内メーカー 3 社の損失は？／水着問題
- ・北島、レーザー・レーサー着用時間は？
- ・日本にメダルをもたらした“噂の競技スーツ”とは？

本田圭佑、復帰戦に「レアルの連中には名前も覚えて貰えない」

欧州チャンピオンズリーグ決勝トーナメント 1 回戦で、CSKA モスクワの本田圭佑が昨年 11 月ぶりに復帰を果たした。

今月 21 日、ホーム＆アウェー方式の初戦（対レアル・マドリード）で、1 点ビハインドの後半から出場した本田は、後半ロスタイム、同点に追いつくパスの起点となった。

試合後、日本テレビ「Going! Sports & News」（25 日放送分）のカメラにコメントした本田は、名門レアルを相手に 1-1 という結果ながらも「いや結果はね、CSKA にとって誇れるもんだっただんじゃないかと思いますけど、内容はレアルも全然よくなかったし、僕らも全然よくなって、最初ベンチで前半見ていたら、えらい退屈な試合だなと思いながら見てました」と独特の言い回しで所感を述べた。

また、自分のプレーについては「まあ、普通じゃないですか。求められていることはやったと思いますけど、求められている以上のことをしていかないとね。レアルの連中には名前も覚えて貰えないでしょうし、（現時点では）こんなもんかなと思います」と語るのだった。“市民ランナー”川内優輝の母明かす、「今思うとやり過ぎだった」壮絶練習とは
26 日、都内で開催された「東京マラソン」には“最強の市民ランナー”としてすっかり有名になった川内優輝（埼玉県庁）が出場を果たすも、給水を失敗するなど苦しいレースとなり、日本人では 9 番目となる 2 時間 12 分 51 秒の 14 位でフィニッシュした。

昨年 12 月の福岡国際マラソンでは、日本人トップの 3 位となり、五輪選考にも有力とされたが、今回の結果で選考から一步後退。レース後、本人は「選ばれるとは思ってない」と肩を落とした。

それでも、実業団からの誘いを受けることなく、春日部高校定時制で事務を担当しながらトレーニングに明け暮れる日々を過ごす川内。その揺るがない強さは、子供の頃に母・美加さんと二人三脚で作りに上げたトレーニングの賜物、日本テレビ「Going! Sports & News」（25 日放送分）では、川内と母・美加さんの談話を紹介した。

母と子の二人三脚——といわれれば、美しい親子愛を想像しがちになるも、母・美加さんの指導は壮絶を極めたばかりか、毎レースのゴール後は必ずぶっ倒れるほど、川内が全て出し切る全力疾走を続けている礎にもなっている。

「母親と練習していて、毎日タイムトライアルで全力疾走だったので。小学校時代の 6 年間、今同じことをやれと言われたら絶対できない」と苦笑いを浮かべる川内。

その練習とは、中学高校時代は陸上部だったという母・美加さんが、埼玉県久喜市の沼井公園に連れていき、タイムを計って練習させていたというシンプルなものだが、美加さんは

「大会が 1500m だったら、1500m のタイムを計る。ここに立っていると（公園内を）走っている様子が木々の間から見えるんですね。（過去の記録より）タイムが 1 秒でも遅いと罰ゲームがありまして、1500m を走った後なんですけど、少し休ませてからもう 1 周走らせるんです。もう 1 周走らせたのもタイムがよくないとまた追加なんですね。今思うとやり過ぎだったのかなと思ったりもしますが、今も走ってくれてますからね」と嬉しそうに明かす。

6 年間、毎日記録の更新を迫られ、これができないと追加で走らされるという壮絶なトレーニングを続けていた川内は、「全く楽しくなくてイヤイヤで、雨が降ると中止だったので、すごく喜んでいました。よくあの練習に 6 年間耐えてきたと思います」と振り返るのだった。

田中将大が“こいつには負けたくない投手”とは？

東北楽天のエース・田中将大が“こいつには負けたくない”と思うピッチャーは、やはりあの男だった――。

TBS「S1」（26 日深夜放送）では、野球解説者・野村克也氏が、楽天キャンプ地を訪問し、かつての教え子・田中と対談した模様を放送した。「すいませんね、大投手」とお辞儀をしながらも、「お前それ染めてるのか？」といきなり田中に絡んでいったノムさん。田中が「いや、染めてないです。地毛です」と言えば、「茶髪禁止だよ」と懐かしいやり取りも。

また、ノムさんが「婚約か、結婚か知らないけど、おめでとう。うちと一緒にだな。年上の女房。どこで知り合ったんだよ」と言えば、田中は「テレビの収録です」と答えつつ、「お前の方からいったの？」という問いには、しっかりと「いえ、あちらから」と説明した。そんな二人の対談要約は下記の通りとなる。

野村：去年 5 位だっけ？寂しいなあ。今年のキャンプで新しく取り組んでることあるの？

田中：そうですね。投球フォームの面で軸足の使い方っていうのを、ダルビッシュさんと一緒に自主トレをやって頂いたんですけど。キャンプの前半は試していたんですけど、どうも自分にはハマらなかったんで。

野村：ダルビッシュから影響を受けていることは何かある？

田中：全てにあそこまで考えている人は他にいないんじゃないかっていうくらい。

野村：例えば？

田中：栄養、食事のことだったり、ウェイトトレーニングのこととか、本当に色々な話を聞いて今までこんな人は絶対いなかったなって。

野村：ダルビッシュいなくなったんだから、今度はマー君が。

田中：そうですね。無理ですね。

野村：大丈夫だよ。もう田中将大じゃないんだよ。日本のエース。チームのエース、チームの鑑だから。キャプテンどうや？ やっぱり責任感持たせた方がいいと思うんだよな。

田中：キャプテン・・・。

野村：星野（監督）に言っとくか？

田中：いやいやいやいや。

野村：去年何勝だっけ？

田中：19 勝です。

野村：今年に置いといたんか？ もう 1 勝は？

田中：・・・。

野村：20 勝するための条件って自分で考えてる？

田中：もう少し、遊び心とといいますか。対バッターに一生懸命行き過ぎているっていうところがあるんで、もう少し心に余裕をもって投げられるようになれば。

野村：俺、いいこと監督の時に教えている筈だけどな。

田中：はい。

野村：「困ったら原点」って教えなかったっけ？

田中：はい、今でも。

野村：覚えているかどうか知らんけど、2年目、外野で二人で話している時に「今年はどうする？」って聞いたら、「ストレートで空振りの三振獲りたい」って言ったじゃん。「そりゃいいな」って言って賛同して失敗したな。

田中：覚えてます。

野村：2年目、何勝したのかな？

田中：9勝でした。

野村：やっぱり駄目だ。俺の責任だ。

田中：いやいやいやいや、オリンピックで抜けたんで。その次の年、3年目の時にコントロールだって言われて、それは今でもコントロールがよければいい球投げれるっていうのは。

野村：やっぱり外角低め。困った時にそこにコントロールがあればさ。

田中：去年も随分助かりました。僕の野球人生を支えています。

（ここで、斎藤佑樹からビデオレターが紹介されると、表情が陰しくなったマー君）

野村：こいつには負けたくないというピッチャーは？

田中：(即答で) 斎藤です。

野村：やっぱり、どっか頭の片隅にあるんだ？

田中：負けたらもう何言われるか分からないんで、それは負けれないですね。

野村：今年の目標は？

田中：自分の中で一年ローテーション守って、そうすれば沢村賞、今年も狙えてくると思いますし、全部繋がってくると思いますし、しっかり働いて投げていかないと。

野村：楽天のエースは俺だという自覚は？

田中：あります。

中国チームの大乱闘に「悪童」アネルカ呆然

先が思いやられる。チェルシー（イングランド）から上海申花（中国）へ加入した元フランス代表 FW ニコラ・アネルカが、「カンフーサッカー」の洗礼を浴びせられる格好となった。

25 日に行なわれた上海申花と上海申シンの練習試合で、申シンの選手が申花の外国人選手に報復的なファウル。これが発端となり、小競り合いが発生。騒動は次第に大きくなり、最終的には両チームの選手が入り乱れる大乱闘に発展した。

一度は試合再開されたものの、殴られたことに収まらない選手が再び相手を攻撃するなど収束しないことから、審判は試合続行不可能と判断、試合は打ち切りに。アネルカは、騒動を止めようとしたものの殴り合いには参加せず、結果的に中国のメディアからその振る舞いを賞賛されることになった。

しかし、そもそも試合が中止になるほどの大乱闘を練習試合で繰り広げること自体、前代未聞。かつては「悪童」という異名をとったアネルカだが、このチームではどうやら仲裁役に回りそうだ。

インターネット上のサッカーファンからは「まだカンフーサッカーやってんのかw」「アネルカ、2 年契約全うできるのか？」「喧嘩しないことを称賛するって（笑）」といった呆れた声から、「中国人の乱闘は迷いがないな」「なかなかの組織力だな」などと皮肉の声も挙がっている。果たして、アネルカは 2 年契約を無事に終えることができるだろうか？

アーセナルに「忘れられた？」　パク・チュヨンが記載漏れ

リザーブチームに降格させられるなど、アーセナルでほぼ戦力外に近い状態となっている韓国代表 FW パク・チュヨン。先日 22 日に行なわれたリザーブリーグ・ノリッチ戦では 1 ゴール 1 アシストを記録したものの、プレミアリーグでは相変わらずベンチにすら入れない日々が続いている。

そんなパクの、チーム内での存在感のなさを象徴するようなハプニングが起きた。26 日、アーセナルは公式 HP にて「International Watch: Gunners away on duty」という記事を掲載。内容は国際 A マッチに招集された選手たちのリストだが、この中にパク・チュヨンの名前がないのだ。もちろん、パク・チュヨンはクウェート戦に臨む韓国代表のメンバーに選ばれている。

単純な記載漏れの可能性が高いとはいえ、主力選手にこうしたことが起こるとは考えにくい。ネット上のサッカーファンからは「これはまじでひどい」「完全に黒歴史あつかいw」「完全に無かった事にしようとしてるな」といった意見から、「だってアーセナルじゃなくてアーセナル・リザーブじゃん」という意見まで飛び交っている。

ウズベク戦「宮市カメラ」に非難轟々

29日、日本代表はワールドカップアジア3次予選のウズベキスタン戦に臨む。

この試合の注目は、なんといっても初招集となった19歳の宮市亮（ボルトン／イングランド）だろう。昨年、高校卒業を待たずにアーセナル（イングランド）へ加入、すぐにレンタル移籍したフェイエノールト（オランダ）で活躍。今年からやはりレンタル移籍で加入したボルトンでは加入後初ゴールを挙げ、突出したスピードで世界屈指の強豪チェルシーの守備陣を置き去りにするなど、ポテンシャルの高さを見せつけた。日本代表にとって、強力な武器になる可能性を秘めた選手だ。

そんな宮市に、ウズベキスタン戦では「宮市カメラ」がつく。中継局のTBSが用意したもので、スーパースローで宮市を追う主力級の扱いだ。しかし、一方で宮市は代表初招集、国際舞台ではまだ実績のない選手でしかない。こうした特別扱いには、インターネット上のファンから非難轟々の声。

「こういうのやられて活躍した奴を知らない」「こんなんする暇あるなら実況解説の質を上げろ」「スターシステム発動か」「またマスコミが潰そうとしてるな」「相変わらず競技そのものでなく人をクローズアップする事しか出来ないんだな」と、TBSの対応を批判する声が多く挙がっている。

東京マラソンで輝いた遅咲きの美人ランナー

去る2月26日に行われた東京マラソン2012。アジア最大級ともいわれる一大レースは、藤原新の躍進や公務員ランナー・川内優輝が涙をのんだり、奇抜な仮装ランナーが登場したりと今大会も見どころ満載だった。

女子の部では、大久保絵里（セカンドウィンドAC）が自己記録を大幅に更新する2時間26分8秒、日本人最高位の4位でフィニッシュしている。28歳と、ランナーとしては決して若くないが、昨年9月のベルリンで自己記録を7分近く更新、今大会でさらに2分41秒短縮するなど、目下赤丸急上昇中のランナーだ。

さらに、これまでの日本人女子ランナーの系譜を継ぐように、そのルックスもピカイチ。綺麗な二重瞼に透き通るような白い肌は、まさに美人ランナーと呼ぶにふさわしく、美女アス

リート好きの間では密やかな注目を集めている。

目標とするのは、4年後のリオデジャネイロ五輪。リオの表彰台でメダルを掲げるべく、遅咲きの美人ランナーの進化は止まらない。

・大久保絵里フォト

日本代表敗戦、セルジオ越後氏は「海外組みは完全に時差ボケ」

29日、愛知・豊田スタジアムで開催されたW杯アジア3次予選最終戦＝日本×ウズベキスタン戦は、0－1でウズベキスタンが勝利。日本は同予選を2位で通過することになった。

この試合に向け、主力海外組をすべて招集した日本代表は、前半からボールを支配、ゴールの枠こそ捉えきれないものの、岡崎、長友らが惜しいシュートを放つなど攻勢となった。

だが、サッカー解説者・セルジオ越後氏は、自身のツイッター上で「日本はよくないね。海外組はコンディションがいいはずなんだけど、ボールコントロールに苦しんでるね」「ここまでひやひやしたのはあわやの相手のオウンゴールってシーンだね。皮肉だね」「海外組み時差ボケかな?」「ひどいな～」とボヤき節。支配率こそ日本が上回る前半も、「ボール際が全てウズベキスタンに負けてるね」と指摘した。

しかし、後半になると状況が一変。後半9分、ウズベキスタンが先制した。すると、日本代表は後半14分に乾を途中交代で投入したが、その数分前に「ここは中村憲剛が必要だね」とツイートしていた同氏は、この交代に対してのものかは定かではないが、ほぼ同じタイミングで「おいおい（怒）」と続ける。

その後も、ウズベキスタンの守りに突破口を見い出せない日本代表。「遠藤がどこにあるかわからない位消えてるね」「1軍半のウズベキスタンにこれだよ。海外組みは完全に時差ボケだよ」と苦言を続けた同氏は、ウズベキスタンの勝利で試合が終わると、「日本は交代が全く当たらず、何か対策をしていかないとだめだね。もう一度原点に戻ってやっていかないとだめだね」「ザッケローニは固定のメンバーしか使わない。せっかく宮市を召集して使って欲しかったね。何のための召集なのだったのか」と苦言を呈した。

[21:30 追記]

■リアルタイム速報はコチラから

日本代表が痛恨の敗戦、宮市不出場に「何のための召集か」

愛知・豊田スタジアムで29日に開催されたW杯アジア3次予選、対ウズベキスタン戦にお

いて、0－1で痛恨の敗戦を喫した日本代表。予期せぬ失点や長友の負傷交代もあり、戦前大きな期待を集めていた19歳・宮市亮（ボルトン）の出場はなかった。

だが、宮市の出場に期待を寄せていたファンにとってはとんだ肩透かし状態に。試合後のツイッターでは、「宮市見たかったな～ せっかく召集したんだから、ザッケローニ出さなきゃ」「宮市見たさに久々代表戦見ようと思ったのに出ずかい。しかも負けかよ。録画消してなでしこ見よ」「せっかく宮市召集したのに使わなかったら経験値にもならないし意味がない。ザッケローニの交代がことごとく外れた一戦やったな」と、ユーザの落胆する声が続々と呟かれた。

また、著名解説者陣も、前園真聖氏が「今日の試合は戦術的な課題はいろいろあるけど球際の競り合いはほとんど相手に勝てなかった。そして宮市のプレーを見たかった…」と言えば、セルジオ越後氏は「ザッケローニは固定のメンバーしか使わない。せっかく宮市を召集して使って欲しかったね。何のための召集なのだったのか」とツイート。中西哲生氏は、残り15分の状態でフォロワーから「中西「監督」だったらどうしますか？」と訊かれるや、「中村憲剛と宮市をセットで入れます」（その後、「間違えたワールドカップ予選だった。交代枠三人だ（笑）」というツイートも）と答えていた。

- ・ウズベク戦「宮市カメラ」に非難轟々
- ・日本、ウズベキスタンに敗れ2位通過

日本代表ホームで完敗、北澤豪氏は「かなり危険な状態」

29日、愛知・豊田スタジアムで開催されたW杯アジア3次予選最終戦では、日本がホームでウズベキスタンを迎え撃つも、0－1で敗退。同夜、日本テレビ「NEWS ZERO」では、サッカー解説者・北澤豪氏がさっそく試合を振り返った。

「かなり危険な状態だと思ってます」と切り出した北澤氏は、「今の状態で最終予選になったら本当に危ないんじゃないか」とも――。

「今日の試合でいうとザッケローニ監督、選手、両方に危機感が生まれた」と指摘した北澤氏は、『封じられたパスサッカー』、『出場試合の少ない海外組』という二つの課題を挙げた。

前者については、「特にザッケローニ監督は縦パス。スピードアップすることが攻撃のスイッチを入れるところ。今日でいうと、それが封じられてしまう。その時に何もできない状況になってしまうことが生まれてしまう。チャンス数が少なくなる」と説明し、後者については、「所属クラブで試合に出ていないと、日本代表の中でもチームにフィットしないのを実感したと思うんですよ。特に海外組の選手なんですけど、試合に出られていない選手がい

たので、今日もそういった傾向が出ていた。重要になってくるのはゲーム勘。今日のように縦パスが入らなかった時に、次は何で打開すればいいのか。特に今日目立ったのは乾選手。彼は一部ではなくて二部ですけど試合に出ています。その中で何が必要か見極めて、ドリブルを使いはじめた。ゲームに出ないと臨機応変さが出ない」と解説した。

- ・日本代表敗戦、セルジオ越後氏は「海外組みは完全に時差ボケ」
 - ・日本代表が痛恨の敗戦、宮市不出場に「何のための召集か」
- 「他人事すぎる」JFA 会長に怒りの声

日本サッカー協会（JFA）小倉純二会長のコメントが、波紋を呼んでいる。デイリースポーツが報じたところによると、小倉会長はワールドカップ・アジア 3 次予選ウズベキスタン戦の敗戦を振り返り、「相手は準備してきているが、うちは(全員そろったのが)1、2 日前。みんなコンディションもバラバラ。その差が今後、勝負になる」とコメント。アルベルト・ザッケローニ監督と同様、選手のコンディションが試合結果に影響したという認識を示した。

しかし、このコメントにはサッカーファンが反発。「こんなことジーコの時から分かってただろ」「何回同じ失敗をするのか」「他人事すぎる」「疲労を蓄積した選手ばかり呼んだ協会が悪い」といったものから、「じゃあ海外組呼ばなきゃいいだろ」「オーストラリアも韓国も 1 日しかなかったのに勝ったぞ」「コンディションが悪い奴は海外組・国内組かわらず使わないことにしろよ」と、協会の事前準備が不十分だったという批判が広がっている。

「うどん県」ロゴ採用に「罰ゲームか」の声

JFL カマタマーレ讃岐の、今シーズンのユニフォームにおける胸部に話題が集まっている。同クラブは今シーズン、折からの不況もあって胸スポンサーが集まらなかった。一時は決まりかけたが結局流れてしまった経緯があり、開幕までに胸部が空欄となることが濃厚となっていた。その状況を避ける苦肉の策として、香川県が公式観光サイトで採用する「うどん県」というフレーズをデカデカと使用したのだ。

もちろん、この対応は奇をてらったものではなく、県内外から「サッカーを通じて、香川を活性化していく」趣旨への協賛金として支援を募る方針であるという。

しかし、あまりにインパクトの強いロゴ採用にインターネット上のサッカーファンからは賛否両論の声。「絶対笑うだろ w w」「相手選手の集中力が一瞬緩むんじゃない？」「香川県って一体どこに向かっているの？」「罰ゲームか」「ついに開き直ったか」「いくらなんでもふざけすぎだろ w」など、様々な反応があがっている。

【関連情報】

・胸マークに「うどん県」をあしらったカマタマーレ讃岐の新ユニホーム - 四国新聞社
「勘違いしすぎ」片岡安祐美の発言に批判の声

茨城ゴールデンゴールズの選手兼任監督である、片岡安祐美内野手の発言が注目を集めている。

3日、第5回女子W杯で3連覇を狙う女子野球日本代表のトライアウトが埼玉・川越市内で行なわれ、片岡ら54名が一次選考を通過した。約5時間のトライアウトを終えた片岡は報道陣に対し、昨季のサッカー女子W杯で躍進を見せたなでしこジャパンにばかり注目が集まる状況について「悔しかった」と言及。「私が行くことで(女子野球W杯に)興味を持ってもらえたら」とコメントした。

しかし、このコメントにはサッカーファンから「世界的にマイナーすぎるから」「世界的な不人気競技だから仕方ない」「色々勘違いし過ぎじゃね?」「代表をトライアウトで決める時点で……」「なでしこは日本のスポーツ史上最高の偉業を成し遂げたのだから当たり前」といった声が挙がっている。

なお、4日にはトライアウト2日目が行なわれ、24名が代表候補選手に選出。片岡も無事に代表に選ばれている。

「石原軍団っばい」本田圭佑の広告に爆笑の嵐

日本代表MF本田圭佑(CSKA モスクワ/ロシア)が登場するCMの巨大広告が、サッカーファンの間で話題をさらっている。同広告は、アサヒフードアンドヘルスケアのタブレット「ミンティア」の新CM。「俺は持ってる」というコピーを前面に押し出し、同商品を「持ってる」ことと、重要なシーンで結果を出せる実力や運を「持ってる」という言葉をかけ合わせた、インパクトのある作りとなっている。

しかし、とりわけ話題となっているのはJR新宿駅構内に設置された巨大パネルだ。日本代表チームを思わせる青地の背景をバックに、サングラスをかけ白いスーツに身を包んだ本田が「俺は持ってる」とポーズを決めるもの。

その姿があまりにサマになっているところから、サッカーファンの間には「ハリウッド俳優じゃんもう」「爽やかすぎワロタwww」「こいつのスター性は異常だわw」「石原軍団っばいなw」「殺伐とした日本サッカー界に、一服の清涼剤のごとき笑いをもたらしてくれる男」「面白すぎだろww」「だめだ笑いがこみあげてくるwww」といった、絶賛とも失笑ともつかない笑いの渦が巻き起こっている。

横浜・中畑監督を痛烈に批判、「精神面を問題にするようじゃ最下位」

TBS「S1」(4日深夜放送分)番組内における、野村克也氏による人気コーナー＝「ノムさ

んのボヤキ部屋」では、横浜 DeNA ベイスターズ・中畑清監督を痛烈に批判した。

オープン戦では負けなしの3連勝を挙げている“中畑 DeNA”だが、野村氏は「直接インタビューしていないんだけど、テレビで伝わってくるのには、どうもなんか言いたくなるんだね。スポーツは体力、気力、知力。この三大要素が最低限あるじゃない。それを彼は、気力ばかりが問題になっている。元気、熱いぜ。何を言ってるか。セコいか。プロなんだから、そういう精神面を問題にするようじゃ最下位だよ。やっぱり知力というところで、僕は頭のスポーツだと思ってるから」とバッサリ。

また、自身の経験を引き合いに「(中畑監督は)強いチームの監督みたいなの。僕も4球団の監督やったけど、みんな(はじめは)最下位よ。弱者の戦略、戦術は得意中の得意」と続ける野村氏は、その後も「ちょっと焦点がボケてんじゃない。色んな問題が出てくるんだろうけど、野球の本質、チームの特徴。そういうところから何をやるべきか方向を決めていかないと最下位から脱出することは難しい」と厳しく言い放った。

・2012年版・12球団すべてのファンクラブに入る男！

・あれも横浜これも横浜

・いろいろあるDeNAベイスターズだが

なでしこ美人解説者＝大竹さんも絶賛した高瀬のゴール「本当に技術高い」

日本時間5日深夜、アルガルベカップ第3戦でアメリカ代表と対戦した、サッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。前半からアメリカの怒涛の攻めに防戦が続くも、シュートミスにも助けられ、後半38分には宮間のコーナーキックに高瀬がヘディングシュート。これがアメリカゴールのネットを揺らし、1-0でなでしこジャパンが勝利を挙げた。

90分間で初めてアメリカを破る快挙を成し遂げたなでしこジャパンは、同カップ決勝進出。サッカー中継後に放送がはじまったフジテレビ「すぽると！」でも、番組の冒頭から、女子W杯で選手以上の露出を誇り、すっかりお馴染みとなった、なでしこの美人解説者＝大竹七未さんが他の出演者とともに喜びを爆発させると、試合を振り返って「前半は自分達のペースで、後半はあまりよくなかったところで、高瀬選手の難しい、素晴らしいヘディングシュート。本当に技術高いですね」と絶賛した。

なでしこジャパンのアルガルベカップ決勝戦は、日本時間7日(水)の夜キックオフを予定している。

・【速報】なでしこ、アメリカを下し決勝進出！

・大胆ヌードを披露した美女ストライカーとは

・なでしこ達を支えた言葉とは？ 澤は美人解説者に「なんなのこの解説者」

敗れたばかりのアメリカ代表エース&監督、なでしこジャパンを称賛

5 日深夜、アルガルベカップの舞台で、サッカー女子W杯決勝戦以来の激突となる宿敵アメリカ代表を 1-0 で破ったなでしこジャパン。この勝利でグループリーグを 1 位で突破し、7 日夜にはドイツ代表との決勝戦に臨む。

すると試合後には対戦したばかりのアメリカ代表 FW でエースのアビー・ワンバックとピア・スUNDERゲ監督がなでしこジャパンを絶賛。そのコメントが、6 日放送のフジテレビ「めざましテレビ」番組内で紹介された。

ワンバックは「今日の試合内容には誇りを持っているが、チャンスを確実にものにした日本チームが勝ったのは当然だと思う。この 5 年間で最もレベルアップしたのは日本だ。素晴らしいチームに成長した」と語り、スUNDERゲ監督は「日本の技術力や巧みなボールコントロールを考えると（アメリカ代表に）課題はある。日本のプレーは世界のチームにとってまさにお手本というべきものだった」と、悔しさを滲ませながらも称賛した。

・なでしこ美人解説者＝大竹さんも絶賛した高瀬のゴール「本当に技術高い」

・【試合経過詳細】なでしこ、アメリカを下し決勝進出！

宮市絶賛のザッケローニに批判集まる

5 日、サッカー日本代表のアルベルト・ザッケローニ監督が宮市亮（ボルトン）を絶賛。「どんな性格なのか 1 回呼んで確認したかった。いいものを持っているなと思いました」とコメント、6 月から始まるワールドカップ・アジア最終予選に招集する可能性を示唆した。

ザッケローニによると、選手選考で重要視するポイントは幾つかあり、「才能」「コンディション」「チームのためにプレーできること」などが挙げられるという。若くしてボルトンで頭角をあらわした宮市の才能に疑いはなく、長距離移動でのコンディション低下は懸念されるものの、「チームのためにプレーできる」ことは今回の招集で確信できたようだ。

もっとも、ザッケローニは今回の招集では宮市を起用せず、ウズベキスタンに敗れた。このことから、インターネット上のサッカーファンからは「使えよ」「どうせ使わないくせに」「岡ちゃんの遺産を使い果たしてる」「揺らぐザックへの信頼」「使わなかったくせに何様だよ」といったコメントが書きこまれている。

なでしこ美人解説者、支離滅裂な応答に弁明

5 日深夜、アルガルベカップで、宿敵アメリカ代表からはじめて勝利を挙げたサッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。昨年 7 月、女子W杯決勝戦での PK 勝利も公式記録上では引き分けとなるため、その快挙は再び日本に歓喜をもたらすものとなった。

6日早朝、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」では、なでしこの美人解説者として、すっかりお馴染みとなった大竹七未さんをゲスト解説に迎え、この試合を振り返った。

「本当に難しいヘディングシュート。技術が高い」と決勝点を挙げた高瀬のゴールを絶賛した大竹さんは、「W杯のアメリカ戦よりも日本が個の力がすごい伸びたんですね。今までには個の力で勝てない分、組織で戦ってきた日本なんですけど、昨日の試合を見た限り、一人一人がすごい成長して、1対1でも守備がしっかりできたりとか、あと攻撃も一人でキープできるようになっている」と勝因を語る。

すると、みのが「あそこまで押されると、僕らも見ていてハラハラしちゃった」と話したが、大竹さんは「本当ですか？ 私は全然平気って思っていました」とアッサリ。「本当に落ち着いていましたし、優勝した自信ってもの凄いなと感じた」と続けたが、その後、ゲストコメンテーターの宮内正英氏が「後半はずっと押されっぱなしのように見えてましたが、違うんですか？」と尋ねるや、「そうです、その通りです」と苦笑い。

これには、みのも「宮内さんのいったことには“その通り”って。私のいったことには“そんなことないです”って」と詰め寄ったが、大竹さんは「違うんです。それでも勝ったっていうこと。守っていても、セットプレーで点を獲れるのが日本の武器」と弁明したのだった。「全く信頼されていない」韓国代表FWに批判の声

現地時間の6日、UEFAチャンピオンズリーグ決勝トーナメント1回戦2ndレグ・アーセナルvs.ミランの一戦が行なわれた。試合は、1stレグで0-4の敗戦を喫した後がなかったアーセナルが猛攻。前半だけで3点を奪い後半も攻め立てたが、惜しくも同点とはならず3-0のまま試合終了、勝ち抜けはミランとなった。

この試合で、インターネット上のファンの関心を引いたのは後半39分の交代劇だった。アーセナルのアーセン・ベンゲル監督はイングランド代表FWテオ・ウォルコットに代わり、このところベンチにすら入れなかった韓国代表FWパク・チュヨン投入したのだ。

どうしても1点がほしい場面で起用されたパクだったが、フリーで駆け上がったもののパスをもらえないなど存在感を示せず、試合はそのままタイムアップ。試合勘のなさ、連携の悪さ、周囲からの信頼に乏しいことを証明してしまうようなプレーだった。

このパクのプレーには、インターネット上のファンからは「なぜ出てきたwww」「パク見た時の、なんにも期待できなさそうなオーラは異常」「思い出出場」「全く信頼されていないじゃねーか」「人数合わせかよ」「あきらかに味方に信頼されていない」といった厳しい声が飛

んでいる。

なでしこ惜敗も、驚異の粘りに「男子にもあれは見習ってほしい」

7日、ポルトガルのアルガルベ・スタジアムでは、女子サッカー・アルガルベカップ決勝戦が行われ、なでしこジャパンがドイツ代表と激突。試合は序盤からドイツに2点を奪われる苦しい立ち上がりとなるも、川澄&田中のゴールで同点に。後半43分、オコイノダムバビに追加点を許すも、後半45分には永里が値千金の同点ゴール。再び同点に追い付いたが、ロスタイムでオコイノダムバビに決勝点を許し、4-3で惜敗した。

後半数分の間で、追加点&同点&決勝点を入れ合う死闘となった今回の一戦。アルガルベカップ優勝こそならなかったが、その粘り強さを満天下に示し、キャプテン宮間に至っては大会MVPを獲得した。

試合を終え、ネット掲示板でも、試合内容を称える書き込みが数多く寄せられている。中には戦犯を挙げていくユーザもいたが、「後半40分すぎからが怒涛の展開すぎだろwww」「負けは負けたが楽しいから次もみたくなるな」「しかし最後の粘りはすげーわ。男子にもあれは見習ってほしいな」「最後の5分ぐらいすげー面白かったwwwwww」「終盤のバタバタ感が漫画みたいで笑えてきたw」「最高の負けっぷりだろ おもしろすぎ」といったコメントが見られた。

・【試合詳細】なでしこジャパン、2度追いつくもドイツに敗れる！

ダルビッシュ有がオープン戦初登板、みのも上機嫌「すげー。教えた通りに投げているよ」

8日（木）5時30分、ダルビッシュ有初の実戦登板となったパドレスとのオープン戦が、2回裏に差し掛かったところで、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」の生放送が始まった。

番組の冒頭から、「生のダルビッシュ、すげー。生に決まってるでしょ。おお、いいボール投げるね。教えた通りに投げているよ」と興奮気味に語ったみのもんた。

TBS 野球解説者・榎原寛己氏との音声継が繋がると、同氏は「いやー、（1回の投球も）素晴らしかったですよ。前回の登板よりも全然いいですね。落ち着いているから、このイニングも期待出来ると思います。精神状態が前回の紅白戦とは違いますね」と評価した。

また、2回終了間近には、「投げる瞬間に“エイッ”っていう声聞こえます？これ、ダルビッシュが力んで声出してるんですよ。“エイッ”っていいますから。これ、しっかり腕を振って投げている証拠ですから」と語った榎原。次の投球こそ、その声は聞こえなかったが、「今、榎原さんの声じゃないの？」とおどけるみのに対し、「これからダルビッシュを見る時にね、そういうのも聞こえるんだっていうのを覚えて貰えば結構です。それくらい力むんですよ」

と語った矢先、ダルビッシュは8番ペイカーから三振を奪取した。

- ・ダルビッシュ、対パドレス戦 全投球はコチラから
- ・ダル実戦デビューに「あれが本物のダルビッシュだと思ったら大きな間違い」

ダル実戦デビューに「あれが本物のダルビッシュだと思ったら大きな間違い」

8日(木)、ダルビッシュ有が初の実戦登板。パドレスとのオープン戦では、2回を投げ、打者8人を相手に無失点というメジャー実戦デビューを飾った。

フジテレビ「とくダネ!」でも、番組の冒頭から小倉智昭キャスターが興奮気味。オープニングトークでは、「ダルビッシュ投手がオープン戦ではじめて投げたんですが、アメリカのメディアはどう捉えるんでしょうかね?あれが本物のダルビッシュだと思ったら大きな間違い。まだまだこんなもんじゃありません」とどこか誇らしげに言い放つと、「日本じゃ投げないような変化球投げたですよ。楽しんでますよ」とも――。

また、なでしこジャパンのドイツ戦にも話題が及ぶと、「寝不足ですけど、気持ちのいい寝不足」といい笑顔を見せた。

- ・ダルビッシュが2回無失点、3三振でデビュー戦を飾る
 - ・ダルビッシュ有がオープン戦初登板、みのも上機嫌「すげー。教えた通りに投げているよ」
- なでしこ敗戦に解説者指摘 「3点は防げる失点だった」

7日、なでしこジャパンが出場した女子サッカー・アルガルベカップ決勝戦は、ドイツ代表が粘る日本を振り切り、勝利を挙げた。

翌朝8日、日本テレビ「スッキリ!!」番組内では、サッカー解説者・都並敏史氏が試合を振り返ると、ロンドン五輪でなでしこジャパンが金メダルを獲る可能性は60%とした。

「皆さん、80%とかお思いでしょうけど(60%でも)高いですよ。アメリカ戦だってピンチありましたよ。(五輪では)アメリカも準備してくるでしょうから」と語った都並氏。なでしこの課題については「4失点ありましたが、3点は防げる失点だった。ああいうことをしてはオリンピックで金メダルは難しい」と指摘。

また、収穫面には「皆さん、後半がいいとお思いでしょうけど、私が大事にしたいのは前半の残り10分。ここが大事。後半は監督もメンバーを変えて、宮間をサイドに戻して本来の姿に戻しましたから、リズムが生まれるのは当たり前。0-2の状態の中で悪い前半を残り10分、非常にいいカタチが作れた」と語り、川澄のゴール直前、安藤が下がって中盤をサポートするなど、前半の悪いポジショニングを自分達で修正した点を評価した。

・【試合詳細】 なでしこジャパン、2度追いつくもドイツに敗れる！

・なでしこの W 杯優勝はフロックでは無かったことを証明したアルガルベカップ

上々の投球内容も、ダルビッシュが抱える課題とは？

日本時間 8 日、パドレスとのオープン戦で実戦登板を果たしたテキサス・レンジャーズのダルビッシュ有。その投球は、打者 8 人を相手に無失点という上々の内容だった。

だが、そんなダルビッシュの課題とは何だったのだろうか。同日、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」に出演した野球解説者・楨原寛己氏は「無駄球を減らす！」「コミュニケーション」とフリップに書き記した。

前者については、「日本と違うのは、球数制限っていうことがあって、5 回まで 0 点で抑えてても球数がある程度いったら交代されちゃうので。次の登板が中 4 日、日本と違うんです。結局ストライク先行に繋がってくるんです。無駄球減ってきますから。100 球以上投げたくらいでも 7 イニングくらいは投げれば勝ちのチャンスが増える」と説明。

後者については、「今日も投げる前、投げた後ですね。とにかく（キャッチャーと）喋ってた。これが大事」と語りつつ、「15 勝します。できそうです。打線が凄くいいチームなので援護が得られる。野茂さんが 13 勝なんですよ、一年目。だけど、あの時ドジャースは全然打たなかった。ここは打つんで」と予想した。

・ダルビッシュが 2 回無失点、3 三振でデビュー戦を飾る

・速球は上ずっていたがダルビッシュ 2 回 0 点。その結果が重要だ

「やる前から言い訳とは」韓国メディアの日程批判に呆れ声

サッカー韓国代表は 7 日、FIFA（国際サッカー連盟）が発表した 3 月の FIFA ランキングで 33 位の日本より上位となる 30 位を確保。オーストラリア（20 位）に次ぐアジア 2 位となり、ワールドカップアジア最終予選におけるトップシードを確保した。しかし、この結果に韓国メディアが「日本の日程が有利だ」という批判を行なっている。

この批判は、「仮に日本と最終予選で同組になった場合」という仮定におけるもの。日本は 2011 アジアカップを制覇したことで 2013 年に行なわれるコンフェデレーションズカップに出場するが、そのことで日程上の優遇措置が取られる。

仮に日本と韓国が同組になった場合、両国の対戦は 6 月 12 日に行なわれる。しかし日本が 6 月 3 日、8 日にホームで予選 2 試合を行なう一方、韓国は 8 日に中東でアウェー戦を行なった後、4 日後の日本戦に備えて急いで帰国せねばならない。確かに、韓国にとっては

厳しい日程といえる。

しかし、韓国代表のチェ・ガンヒ監督が数日前に「日本との同組を希望する」といった、やや挑発とも取れる発言をしていることから、ネット上のサッカーファンからは「今さら予防線かよ」「言い訳を用意できたな」「だったらコンフェデに出ればいいだけじゃん」「やる前から負けた時の言い訳を考えるなんて」「どんだけ日本のこと好きなんだよw」といった批判が集まっている。

ロンドンを目指す女神たち～“第二の潮田玲子”松友美佐紀（バドミントン）

ロンドン五輪開幕まで4ヶ月強。各競技で熾烈な出場権獲得レースが繰り広げられている。

バドミントン日本代表の松友美佐紀もその一人。バルセロナ五輪が行われた1992年に生まれた松友は、まだ二十歳になったばかりの期待の若手。全国小学生大会、全国中学生大会それぞれでシングルの頂点に立つと、高校に進学してからもインターハイでシングルス、ダブルスを制覇と、まさにエリート街道をまい進してきた。

類稀なバドミントンセンスもさることながら、その美しい容姿で、若手美女アスリートとして注目度も急上昇中。透き通るような白い肌に大きな黒目はさしずめ清純派アイドルのよう。現在は、日本代表のダブルスメンバーで高校の先輩の高橋礼華とペアを組み、ロンドン五輪出場を目指して奮闘している。

ダブルスの国別出場枠は最大2つで、現状、藤井端希&垣岩令佳ペア、末綱聡子&前田美順ペア、松尾静香&内藤真美ペアに次ぐ四番手と道のりは厳しいが、その先のリオデジャネイロ五輪も含め、第二の潮田玲子として今後も女子バドミントン界の注目の的となりそうだ。

・松友美佐紀 フォト

・潮田玲子 フォト

試合中、ピンチの場面でダルビッシュが見せた“ある変化”とは？

日本時間 8 日早朝、テキサス・レンジャーズのダルビッシュ有がオープン戦に初登板を果たし、サンディエゴ・パドレスを相手に2回無失点、3三振でメジャー・デビューを飾った。

同夜、テレビ朝日「報道ステーション」では、野球解説者・工藤公康氏がダルビッシュのピッチングを振り返りつつ、試合中に彼が見せた“ある変化”を指摘した。

「私が注目したのは、ダルビッシュ投手が自分の投げたい球種を投げることができたのかということです。チームに、キャッチャーに、自分の特徴を理解して貰う。いわば、マウンドの上で自己紹介ができたかということです」と戦前にポイントを語っていた工藤氏は、試

合後「全球種を投げることができました。やりたいことは全てできたという風に思います」と評価した。

すると、番組内では、ダルビッシュが1回2アウト2塁のピンチになった場面で、工藤氏がリアルタイムで解説する音声で紹介された。

「セットの入り方が変わったの、分かった？」と切り出した工藤氏は、ピンチを迎えたダルビッシュの構えが変わったことを指摘。「膝を右に少し曲げてるでしょ？ ギアがセカンドにいったのかな」と語り、「ここで打たれたくないから抑えるのにちょっと力を入れるかって、ちゃんと（膝を）はめた状態でいけば力が出るっていうのを確かめたのかもしれない」と説明した。

膝の角度を変えて、より力を込めて投球したというダルビッシュ。工藤氏は“ギアをセカンドに……”と（本人は知ってか知らずか）人気アニメ「ワンピース」のルフィの如く表現したが、具体的には「実はあのピンチの場面、ダルビッシュ投手がどうして膝を曲げてギアが上がった状態で強いボールを投げることができたのか。まず重たいものがあるとします。膝を伸ばした状態で押そうとした時に、どうしても下半身の力が使えず、上体だけで押してしまうので重たいものは押せませんよね。膝を曲げて重心を落とした状態で押そうとすると、下の力がしっかり重たいものに伝わって強くなる。そういった意味でダルビッシュ投手はあの時にそれができたと思うんですけど、実はダルビッシュ投手、日本で投げている時、ピンチの時もそういう投球ができたんです」と詳細を語った。

- ・松井秀喜はどんな決断をすべきか？
- ・ダルビッシュが2回無失点、3三振でデビュー戦を飾る
- ・上々の投球内容も、ダルビッシュが抱える課題とは？
- ・ダル実戦デビューに「あれが本物のダルビッシュだと思ったら大きな間違い」

日本代表のW杯最終予選、澤登氏も警戒「簡単に勝てる相手はいません」

9日、W杯アジア最終予選の組み合わせ抽選発表が行なわれ、グループBに入った日本はオーストラリア、オマーン、ヨルダン、イラクと同グループとなった。

同夜、テレビ朝日「報道ステーション」番組内では、サッカー解説者・澤登正朗氏が解説。「オーストラリアか……。どちらかというと、やはり韓国の方がやり辛かったので、まあ、オーストラリアの方が、どちらも強いですけど、戦いやすいんじゃないかと」と切り出した。

また、「どの国も最終予選まで勝ち上がってきた実力があります。簡単に勝てる相手はいません」と陰しい表情で語る澤登氏は、他国の特徴を挙げる。

過去 6 勝 6 敗 6 分のオーストラリアは、2010 年、2011 年 J リーグ得点王のケネディ（名古屋）、そして、元浦和監督のオジェックが監督を務めており、日本の事情もよく知る二人がキーとなっているが、それだけではない。澤登氏は「僕の古巣、清水エスパルスにいるアレックス選手です」と、昨年アジアカップ時にはいなかったアレックスを要注意選手に挙げ、「これまでのオーストラリアにはいなかったタイプの選手です。はじめて見た時にあまりにテクニックがあったので、ブラジルの選手をとったのかと聞いてしまったくらい。日本だと香川選手のようなタイプ。非常に厄介」と紹介した。

また、過去 2 勝 2 敗 2 分のイラクについては、日本をよく知るジーコが監督を務めるばかりか、1993 年の W 杯最終予選、通称“ドーハの悲劇”以来 19 年ぶりに最終予選で激突する。

同氏が挙げる要注意選手は、2007 年のアジア杯で得点王にもなっている、ユニス・マフムード。「これほどシュートに威力がある選手はなかなかいません。日本はこの選手にシュートを打たせてはいけません」と警戒した。

・ワールドカップアジア最終予選の抽選発表 識者の反応は？

・【速報】日本、オーストラリア、ジーコ率いるイラクなどとグループ B に！ ワールドカップアジア最終予選抽選会（2012 年 03 月 09 日）

「無責任すぎる」元浦和フィンケ辞任に批判

10 日、浦和レッズの元監督であるフォルカー・フィンケ氏が、1FC ケルン（ドイツ）のスポーツディレクターを辞任した。クラブ合意の元の辞職だったが、日本のサッカーファンからは批判の声が高まっている。

フィンケ氏は 2010 年末に浦和の監督を辞任した後、同職に就任。手始めに日本代表 DF 槇野智章（広島、現浦和）を獲得し、2012 年 1 月にはボーフムから北朝鮮代表 FW チョン・テセ（元川崎）を引きぬいた。

しかし両選手はともに満足な出場時間を得られず、槇野は今年 1 月に浦和へレンタル移籍。チョン・テセもほとんど干されている状態だ。両選手はソルバッケン監督と十分な相談をしないままの獲得であり、起用されないのも当然。そこへ来てのフィンケ自身の辞任とあって、槇野とチョン・テセはいわば「ハシゴを外された」格好だ。

両選手は、ともに前所属クラブではレギュラーだった。両選手のキャリアを狂わせる移籍を進めたフィンケに、「フィンケもバカだなあ」「無責任すぎる」「これはテセに同情する」「テセ w あんた騙されたんやで」「もう 2 人もそろって浦和いけよ w」「実は無能だったな」

「しょうがねえじじいだな」といった批判の声が高まっている。

小椋久美子、オグシオ・ペア解消について語る

11日、TBS「ホンネ日和」では、2010年に26歳でバドミントンを引退した小椋久美子さん（現在は28歳）が、アーティスト・高橋優と対談した様子を放送した。

冒頭、「実家が三重県で4人兄弟で、好きでやり始めたというよりは、お姉ちゃん、お兄ちゃんの影響。4年生から中学3年まで東海大会っていう大会でずっと優勝してたの。でも、全国大会は優勝したことは高校まで一回もなかった。ペアの潮田玲（子）ちゃんは中学校（全国で）優勝している」と、競技をはじめたきっかけを説明した小椋さん。

腰に爆弾を抱え、ギリギリの競技生活だったことにも触れると、「腰のヘルニアを持って、ずっと練習できない時とかあって何回も辞めたいって思った。社会人で出来なかったら実家帰ろうかなって思ってた時に、山洋電気の監督から声をかけて貰って。声かけて貰えなかったら多分やめてたと思う。ギリギリだった」と振り返る。

また、オグシオブームのはじまりについて、「オリンピックの前の年の世界選手権で3位になった時、最初に行った時と帰ってきた時の報道陣の数が違い過ぎて、それは本当に自分の中で凄い戸惑ったし、国民全部の応援を背負っている感じはした」と明かした小椋さんは、「本当にこのままだと自分が潰れると思って、本来は多分この自分なんだけど、（当時は）凄い怖い顔してて、怖い人だと思ったってよく言われるんだけど、夜寝れないことも一杯あるし、御飯食べれないこともあるし、うまく自分をコントロールしないと試合に勝てないと思っていた」と、ブームの裏側で抱えていた苦悩を語った。

さらに「プレッシャーを感じてたのって、皆本当に心から応援してくれていたのに、勝手に自分の中でプレッシャーをこの人達のために頑張んなきゃいけないとか、負けられないとか、凄いプレッシャーをかけていたんだなって今は思う」と振り返る小椋さん。オグシオ結成には、「対戦しているの。小学校6年生の時に。そこで私が負けて。この人（潮田）は強い人、強い人って思いこんで、雲の上の存在くらい、小学校の時とか中学校の時にずっと思っていたのね。で、たまたま高校で組ませて貰う機会があって、こんなにもダブルスで合う人っているんだなって思って」と話し、同じ社会人チームに潮田を誘うきっかけになったエピソードを披露した。

そして、2008年のペア解散については、「（北京）オリンピック前は4年間、二人で死ぬ気で頑張ろうって、本当に話し合ってたって行けた。（その後も五輪を目指すかどうかの選択で）私は4年間頑張ることに意味があるって思ってたから、その点で（意見が）違って、玲ちゃんは一年一年見たいって。目指す目標が違ったから別れましようってなって。オリン

ピック終わったら、ちょっと疲れたなってやっぱり思うし、ちょっと休みたいなっていう気持ちになるのも分かる。一年間見たって玲ちゃんが言っていた気持ちも分かるけど、結果、結局私は引退してて、玲ちゃんはロンドンオリンピックに向けて頑張ってるから、ペアをずっと組んでたとして、凄く応援しているし、メダル獲れなかった分、メダル獲って帰ってきてほしい。でも、今の私だったら、ずっと二人でダブルスをやってきたから、例えばシングルスに戻りますっていうのは無理かも。正直怖くて」と語った。

・小椋久美子 フォトギャラリー

・潮田玲子 フォトギャラリー

「広島のせいにするな」浦和・榎野智章のインタビューがひんしゆく

「週プレ NEWS」が掲載した浦和レッズの日本代表 DF 榎野智章のインタビューが、サッカーファンの中で物議をかもしている。榎野は2010年末にゼロ円移籍でケルン(ドイツ)へ移籍したものの、満足に出場機会を得られないことから移籍を模索。その過程で「代理人を通じて広島にも話をしたのですが、残念ながらオファーはいただけませんでした」と、2012年1月の浦和移籍の前に古巣復帰を打診したことを告白している。

榎野は続けて「それでも広島サポーターには申し訳ない気持ちはあります。サポーターからすれば『クソ食らえ』でしょう」「でも、ポジティブすぎる考え方かもしれないけど、非難の声も愛情ととらえたい。成長した姿を見せて、恩返ししたいです」とも語っており、広島サポーターへの謝意を示している。

もっとも、ゼロ円に出ていった榎野に対し、ただでさえ財政難である広島がわずか1年で、それもレンタル料を支払ってまで取り戻す理由はない。すでに榎野のポジションにはDF 水本裕貴などの補強も行なっており、広島にとって榎野が現時点で緊急に必要な戦力でないのは明らか。

また、榎野にとって満足できる内容でなかったとはいえ、ドイツ二部からのオファーがあった。その中で国内移籍を選んだのは、広島が原因ではなく、榎野自身の判断だったといえる。

サッカーファンからは「移籍金なしで移籍して金払ってローン料を支払えとな...?」「国内移籍しないという条件で残ってた契約を解除してドイツ行った選手をたった1年でなぜレンタル料払って獲らないといけないの?」「そうですか、広島が悪いんですね」「いやサッカーファンの大多数からしてもクソ食らえだろ」「成功するまで帰って来るなって意味に取ってドイツ2部行けよ」「榎野本人だけでなく代理人も馬鹿だな」「広島が好きなら0円移籍の分自腹でローン払えばいいんじゃないですかね」といった、ひんしゆくにも似た批判が

飛び交っている。

「何度目の急浮上だよ」松井ドジャース移籍の報道に冷めた声

サンスポが13日に報じたところによると、今季の所属チームが決まっていない松井秀喜外野手の移籍先に名門・ロサンゼルス・ドジャースが浮上したという。すでに松井の代理人を務めるテレム氏と、同チームのGMを務めるコレッティ氏が交渉を持ったという情報もあり、決定すれば松井にとってはメジャー10年目で初のナ・リーグ移籍となる。

もっとも、自主トレを続けながらオファーを待っていた松井だが、開幕直前になっても具体的な進展はなかった。この時期の「急浮上」にはファンも懐疑的な目で見えており、「またエアオファーですか?」「何1つ確かなことが書いてないやんけ」「よく読むとこれ…全部推測だよな?」「移籍に一番詳しいサイトで松井のまの字も出ていないw」など、かなり冷めた意見が飛び交っている。果たして、松井の所属先は決まるのか?

ダルビッシュが2失点、みのもんたは「メジャーじゃ通用しない」

13日(日本時間14日早朝)、テキサス・レンジャースのダルビッシュ有投手が、アリゾナ州グッドイヤーボールパークにて行われたクリーブランド・インディアンス戦でオープン戦2度目の登板を果たすも、のっけからフォアボールを連発し、3回には実戦初の失点、3回61球を投げて3安打2失点という内容だった。

安定感を欠く投球には、みのもんたも渋い表情を見せる。同日放送のTBS「みのもんたの朝ズバッ!」で試合映像が流されると、みのは「ちょっと心配だね」と切り出した。

先週8日のパドレス戦後こそ「教えた通りに投げているよ」と上機嫌だったが、この日は「見てみるとボールが全部高めだもんね」と評した後、「メジャーじゃ通用しないね、これじゃ」とまで言い切った。

次回ダルビッシュの登板は19日(現地時間)のブルワーズ戦を予定している。

・【速報】ダルビッシュ有&上原浩治出場、クリーブランド・インディアンス戦詳細はコチラ

澤穂希を襲った「良性発作性頭位めまい症」とは?

13日、サッカー女子日本代表＝なでしこジャパンの澤穂希が、アルガルベカップから帰国後に行った検査により「良性発作性頭位めまい症」と診断された。

同カップ準決勝のアメリカ戦、決勝のドイツ戦を体調不良により欠場していた澤。ロンドン五輪に向けた大事な準備期間にチーム(代表)の大黒柱を襲ったこの病気とは一体どういうものなのか。14日放送、日本テレビ「スッキリ!!」では肥塚泉医学博士が解説した。

同番組にコメントした博士は、良性発作性頭位めまい症について「頭位を変えるとめまいが起こってしまう。人によってはすごく気分が悪くなったり、実際吐いてしまう方もいます」と切り出す。

具体的には、「三半規管にゴミ（耳石）が落ちていると（三半規管に）移動します。（三半規管に耳石が入ると）じっとしているのに、あたかも回転してるような情報が脳に伝わる。自分自身は仰向けに寝ているんですけど、景色はぐるぐる回る。これはもう大変なこと。それが起こってしまうのが今回の病気」と話す。

また、発症の原因については、「（頭が）ガーンと当たると耳石が飛ぶんです。それで起こることが多いと言われています。サッカーなんかもヘディングもありますし、お互いぶつかりますから、そういうことがたまたまあって」と語った肥塚泉医学博士。何らかの衝撃により、本来は耳石器に納まっている砂粒のような耳石がはがれ、これが蓄積して三半規管に入ることによって発症することがあると解説した。

気になる澤の治療には、「胆石のように溶かす薬は存在しません。この中にある間は絶対消えませんから、何が何でも元（の位置）に戻す。ここに戻れば、いわゆる傷ついた耳石が帰ってくればそれを処理する細胞は待ってます。ここに帰せば治るんです」という。

帰国後「めまいはしますが、身体は元気なので早くサッカーがしたいです」というコメントを発表した澤。15日には日韓チャンピオンシップで所属クラブ・INAC 神戸の試合が予定されている。

ロンドンを目指す女神たち～“正真正銘の美女アスリート”田中理恵（体操）

「美人すぎる〇〇」「美女アスリート」と呼ばれる選手は数多くいれど、誰もが納得する正真正銘の美女といえば体操の田中理恵だろう。

今すぐタレントに転向してもおかしくないほどのルックスに、とびきりキュートな笑顔。その美貌と可憐な演技は世界レベルでも群を抜き、2010年には世界選手権で日本人女子として初めてエレガンス賞を受賞した。

兄、弟ともに体操選手という体操一家で育った田中は、現在24歳と女子体操選手としては決して若くないが、持ち前の負けん気の強さと鍛えあげられた演技でロンドンを目指す。

今月10日には日体大大学院前期課程を修了。爽やかな笑顔で卒業式を迎え、今後は研究生として同大に残り、これまでと変わらぬ環境で練習を続ける。4月には五輪選考会が控えて

おり、「いいコンディションで臨めるように、充実した練習をしたい」と気持ちを引き締めた。

・田中理恵 フォトギャラリー

日本がロンドン五輪出場。澤登正朗がオーバーエイジ枠に推したのは？

14日、U-23 日本代表はロンドン五輪出場を賭け、U-23 バーレーン代表と対戦。試合は扇原貴宏と清武弘嗣の得点により 2-0 で勝利を挙げ、アトランタ五輪から 5 大会連続となるロンドン五輪出場を決めた。

試合中継後に放送が始まった、テレビ朝日「報道ステーション」では、サッカー解説者・澤登正朗氏が試合を振り返りつつ、ロンドン五輪本番に向けて「ロンドンで勝つにはまだまだレベルアップが必要です。もちろん、チーム内で競争がないとチーム力上がらない」と課題を挙げた。

そして、今後大きな議論となるであろう、23 歳以下の選手以外を 3 選手まで起用できるオーバーエイジ枠についても言及した澤登氏は、「やはり縦の軸、これがしっかりしているといいです。本田（圭佑）、遠藤（保仁）、鬨莉王。まあ、鬨莉王はザックジャパンに選ばれていないんですけど、非常にディフェンス力あります。本田選手、まあ非常にシュート力もありますし、ボールキープ。そういう場面でも役に立つ。フリーキックもありますからね。遠藤選手はゲームをコントロールができる選手なので、彼がいることでゲームが落ちつきますよね。まあ、長短のパスもありますし、ゲームを読む力を持っている」といい、この 3 選手をプッシュした。

さらに、鬨莉王に「強さですよ。ボールが入ってきても跳ね返す力を持っています。ディフェンスリーダーとしてのコーチング。まとめ役もできますので、心強い」と付け加えた澤登氏は、香川真司、宮市亮についても「今日いてもおかしくない。彼らがいることで更にチーム力がアップする。彼らが入ることで競争がありますから、チームの底上げになる」と語った。

・【試合詳細はコチラ】日本、バーレーンを下し 5 大会連続で五輪出場を決める！

・追加点の清武、「メダルを獲りにロンドンへ」

U-23 日本代表・大津が生出演をドタキャン。西岡アナ「今どちらにいらっしゃいます？」

14日、U-23 日本代表は、五輪最終予選で U-23 バーレーン代表を破り、ロンドン五輪出場権を獲得。同夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、最終予選で 3 試合に出場して 2 得点を挙げ、この一戦にも先発出場を果たした FW 大津祐樹が生出演するとされていた。

だが、サッカー解説者・山口素弘氏の「教えて！素さん！」というサポーターの質問を受けるミニコーナーで、奇しくも今日の MVP に大津の名前が挙がった矢先、フジテレビ・西岡孝洋アナが「ここで大津選手と電話が繋がっています」と切り出し、電話の向こうにいる大津に「おめでとうございます。ちなみに、我々生出演と銘打ったのですが、今どちらにいらっしゃいます？」と語りかけたのだ。

「今車の中です。行きたかったんですけどね。気持ちだけでも行かせて頂きます。申し訳ないです」と電話越しに詫げる大津は、「率直に嬉しい気持ちが一つと、点を決められなかった悔しさが一つ。(中略) 個人的なところではもっともっと活躍したかった」と試合を振り返った。

また、山口氏が「(スタジオに) こないんだったら、MVP は取り消しでいいですか？」とおどけながらも、「過去 2 試合は点を獲っているので、今日も見なかった」といえば、大津は「なんかゴールしたほうがよかったですね。申し訳ないです。目立ちたかったです」と回答。最後まで「すいません、なんか」、「行けなくて、すいません」と平謝りの大津だった。

・【試合詳細はコチラ】日本、バーレーンを下し 5 大会連続で五輪出場を決める！

・追加点の清武、「メダルを獲りにロンドンへ」

スコア予想が的中した松木安太郎、「僕のいった扇原選手、清武選手がなんと活躍」

14 日、五輪最終予選で U-23 バーレーン代表を破り、ロンドン五輪出場を決めた U-23 日本代表。決戦から一夜、15 日放送、テレビ朝日「モーニングバード！」では、サッカー解説者・松木安太郎氏が戦前のスコア予想を的中させたことから上機嫌で試合を振り返った。

「いやーよかったですね。僕のいった扇原選手、清武選手がなんと活躍ということで・・・」と切り出した松木氏。しかし、昨日の同番組内で扇原を推していたのは、同じくゲストコメンテーターの宇治原史規だったが、ここを突っ込まれると「そうでしたね、そうでしたね」と照れ笑い。他のコメンテーターから、「(予想が当たるのは) 珍しいことですよ」という声が飛ぶと、「ほとんど当てているようなもの」と、まさに“サッカー界の高田純次”といってもいいお調子者ぶりを発揮した。

また、「最初から気合いが入っていて、若い選手ですからガンガン動いていくんですけど、ちょっとフリーの選手を使えなかったり、ここに出したらいいのに、こっちに出しちゃったとか。やっぱり落ち着きじゃないかな。若さで身体も動くし、ガンガンパスも回るんですけど、勢いだけでいったたというのが前半」と振り返った松木は、昨夜の試合解説中、清武の名前を実に 76 回も呼んでいたとも (番組調べ)。

ロンドン五輪については「若さのあるチームですので、勢い＋ベテランの味といいますか。もし使うのであれば、何人かの選手を入れるとすごく安定したチームになるような気がします」とオーバーエイジ枠の起用にも言及した。

- ・【試合詳細はコチラ】日本、バーレーンを下し 5 大会連続で五輪出場を決める！
- ・U-23 日本代表・大津が生出演をドタキャン。西岡アナ「今どちらにいらっしゃいます？」あの中村俊輔すらも「和風メッシだ」と驚く新星、齋藤学あの中村俊輔が「和風メッシでしょ」と呼ぶ男がいる。

2011 年、期限付き移籍で愛媛 FC に移ると、J2 ながら 14 得点を挙げ「愛媛のメッシ」とも呼ばれ、2012 年シーズンから横浜 F・マリノスにカムバックを果たすと、与えられた背番号は 11 番。J1 開幕戦＝柏レイソル戦では、いきなり得点を挙げ、チーム＆サポーターの期待に応えてみせた。

齋藤学、21 歳。ロンドン五輪出場を懸けた最終予選では、シリアに敗れて背水で迎えた第 5 戦のマレーシア戦で初の先発出場、4 点目のゴールも奪っている。15 日放送、フジテレビ「すぽると！」では、「どん底からの復活」と題し、自らレンタル移籍を志願し、成長を求めた齋藤に話を訊いた。

ロンドン五輪出場を決めるも、「嬉しい思いと悔しい思いが半々って感じです。いやー、今日点獲れるところあったな。自分で行けば良かったな」と振り返る齋藤。VTR で齋藤の印象を語った俊輔は、「プレー一つでも迷いなくできているし、いいピースにというか、そういう感じになっている」と、すでにマリノスに欠かせない存在であると評す。

だが、18 歳でトップチームに昇格するも、毎年リーグ戦で出場機会を得ながらゴールは 0。「全然うまくいかなくなって、自分のプレーが出せなくなって、消極的になった。やれるなっている思いが、過信じゃないですけど、高校生のままで上がっちゃった分、壁にぶつかった時に破るだけの力がなかった」と反省した。

「レンタルでいいから一年間（他のチームに）行きたいという話は自分からしました。そう簡単には帰ってこれないような状況に行こうかな。違うチームを知るとというのは人として大きくなれるかなって」と、当時の決意を明かした齋藤。その後の活躍は前述した通りだが、U-23 日本代表でもサイドハーフはタレント揃い。「7 番手くらいじゃないですか。メチャクチャいるじゃないですか」と苦笑いを浮かべる。

それでも、五輪決定後も「自分はラスト 10 分くらいしか出れなかったのと、その 10 分で

も結果を伴えなかったのは悔しかったですね」と決して満足しない 21 歳は、「メディアの方々が取り上げてくれて、世間的には盛り上がっていますが、まず僕達は J リーグで活躍しないと次また選ばれる保証はないので、マリノスで結果残すのが一番」と意気込んだ。

ダルビッシュの不調、原因はマウンドにあった？

テキサス・レンジャースのダルビッシュ有が、13 日（日本時間 14 日）に登板したクリーブランド・インディアンス戦の投球内容は、3 回を投げ抜き 3 安打 4 四球、2 失点というピリっとしないものだった。

試合後、自身のツイッターでも「今日はコントロールが良くなかったですねー。でも粘れたのは大きかったかな」と語っていたダルビッシュだったが、17 日放送、TBS「情報 7days ニュースキャスター」では、「ダルビッシュ不調…原因はピッチャーマウンド」と題し、その要因をマウンドにあると伝えた。

試合中のある投球シーンを挙げた同番組は、ダルビッシュの手からボールがリリースされた瞬間、前に踏み込んだ左足が地に着くと同時に、ホームに向かって右側へ数十 cm ほど横滑りをしている場面に着目。番組に VTR で出演したメジャーリーグ評論家・福島良一氏は「メジャーのマウンドっていうのは、土が固くて極端にいうとコンクリートのような固さなんです。球場によってマウンドの高さが微妙に違いまいて、エースの好みによって裏方が高さを調整したりすることもあるんですよ。レッドソックスに松坂投手が入団しましたけども、あの時もかなり苦労したようです」と解説した。

・ダルビッシュ有、インディアンス戦投球内容詳細はコチラ

楽しそうな川崎宗則「切羽詰まってないです」

18 日深夜放送、TBS「S1」では、プロ野球解説者の榎原寛己氏がシアトル・マリナーズのキャンプ地を訪れ、川崎宗則にインタビューを行った模様を伝えた。

現地時間 15 日に行われたホワイトソックスとの練習試合では、5 打数 2 安打 2 打点で初のホームランを放つなど、アピールを続けている川崎。「僕の場合、恥ずかしがらず本当に喋るから、みんな“あー？”とかっていうんだけど、それでもお構いなし」と語ると、「もちろん、（メジャーに）憧れはあったんですけど、もう違う文化で日本とは全く違うじゃないですか。脳みそが違うところを使っている感じがして」と続け、米メジャーのチームになんとか溶け込もうと必死になっている様子を明かした。

すると、「（自分の頭の一部を指して）ここを使えば……。今まで使ってなかったなオイ、宗則、オイ」とおどけてみせた川崎は、「まあ、凄く脳みそ使って毎日へろへろになっています。一日終わったら 9 時半には寝てます。朝が早い。みんな 6 時から打ってるから」とも一

一。

気になるイチローについて、「イチローさんの家にトレーニング（ルームが）あるんで」と話す川崎に、槇原氏が「一緒住んでるんじゃないんだ？」と冗談交じりに合いの手を入れたが、川崎は「住んでいいっすか？」と逆質問。「そこまでいったら大迷惑じゃないですか」としながらも、「イチローさんの家に機械があるんで勝手に使ってます」と、どちらにしても迷惑そうな感じをうかがわせつつ、「毎日ハッピーなんでね。いつも。そんな切羽詰まってるんですよ」と楽しそうに語るのだった。

「ついにエアオファーか」香川のマン U 移籍報道に

日刊スポーツが報じたところによると、ドイツ大衆紙『ビルト』が 18 日、ドルトムント（ドイツ）に所属する日本代表 MF 香川真司にマンチェスター・ユナイテッド、アーセナル（ともにイングランド）という 2 チームからの正式オファーが届いたという記事を掲載したようだ。

香川については、以前から「プレミアリーグの強豪が興味を示している」といった報道があった。現在首位を走るマン U、日本に縁の深いアーセン・ベンゲル監督率いるアーセナルからのオファーがあったというこの記事は、いよいよ香川の国際的な評価が高まっていることの証左といえそう。

もっとも日本時間 19 日 11:00 時点で、英国の主要メディアや『ビルト』web サイトに香川の移籍に関する記事は掲載されていない。このこともあり、インターネット上のファンからは「まあ話 1/4 で聞いとくわ」「またいつものエア移籍報道じゃん」「ついにエアオファーも真さんの時代になったか」「ビルドってドイツの東スポだろ」といった報道そのものの信ぴょう性を問う意見が多く飛び交っている。

JFA 会長の「韓国と共闘」呼びかけに批判殺到

JFA（日本サッカー協会）の小倉純二会長は 18 日、ロンドン五輪に出場が決まった U23 日本代表の強化に向け、同じアジア代表である韓国代表と連携をとって強化していく意向を示した。韓国のほか、UAE にも親書を出し「共闘」を呼びかけたという。

U23 韓国代表は A 組 1 位でロンドン五輪出場を決め、その内訳も 6 試合で 3 勝 3 分け。五輪最終予選の無敗記録を 29 試合(21 勝 8 分け)に伸ばすなど、五輪予選では足掛け 20 年もの間無敗を誇る。「パートナー」として組むには、実績ともに申し分ないチームだといえる。

もっとも、韓国のチームと日本が対戦した際には、何らかのトラブルがつきもの。今年 2 月 16 日には、J1 清水エスパルスと K リーグ・城南一和の試合が城南側のラフプレーの多

さが原因で打ち切りとなったばかり（参照）。

こういう背景もあり、インターネット上のサッカーファンからはこの件に関して「韓国とやっても怪我させられるだけだ」「けが人が出たら壮行もクソも無いだろ」「近賀がやられたばかりだろ 男子も壊す気か」「これだけ韓国に選手を壊されてるのに・・・」「日本人は誰も望んでいない試合だな」といった批判が殺到している。

「11点取れってことか」斎藤佑樹の開幕投手指名に驚きの声

19日、日本ハムの栗山英樹監督は記者会見を開き、開幕投手としてプロ2年目の斎藤佑樹を指名することを明らかにした。「どうやったらチームに勝ちが多くなるか考えて決めた」という。

同会見で栗山監督は、「10点取られてもいいから勝ってほしい」ともコメント。また斎藤もこの決定について「身の引き締まる思いです」と語り、開幕投手に向けて意欲を燃やしている。

もっとも斎藤佑樹の2011年の成績は19試合6勝6敗、防御率2.69と平凡なもの。絶対的なエース・ダルビッシュ有の穴を埋める活躍は期待しづらい。

実際、この記者会見に対するインターネット上のファンの声は辛辣なもので、「10点ですめばいいねw」「またのりくらりと6回被安打10で3失点か」「野手の気持ちも考えて発言しろよw」「スタートダッシュってのは、大事なんだけどな」「打線に11点とれよ、ってこと?」「こんな事しているとまともなファン減るぞ」といった批判が多く書き込まれている。

“完全に老害になった” ミスターに批判殺到

“ミスター”こと長嶋茂雄・終身名誉監督の発言が物議をかもしている。20日の読売新聞朝刊に掲載されたインタビューで、長嶋氏は朝日新聞による巨人の契約金超過報道に言及。「選手たちの心の傷は相当に大きい。そう簡単には癒えないだろう」とコメント、実名で報道された選手たちのダメージを懸念した。

しかし、名の上がった選手は球界で申し合わせた契約金の上限を超えた額を受け取っているわけで、「被害者」として扱うのは筋が違うといえる。この発言にはファンからも「大金貰っておいて傷ついたwww」「完全に老害になったな」「選手を育てることなく使いつぶした茂雄が何を言うwww」「いい加減隠居しとけ」という批判が多く見られた。

一方で、このタイミングでインタビューをとった読売新聞に対する「困ったら長嶋に頼るのはいい加減に止めろよな」「そんな長いセリフしゃべれるわけないだろ、あの状態で」「こ

の言わされてる感…」という意見もあった。

■関連リンク

- ・読売新聞は恥ずかしい抗議をするな！ | 野球報道
- ・渡邊恒雄氏の周章狼狽ぶりから見えること | 野球史

元日本代表・久保の長女が「かわいい」と評判

17日に「未来のなでしこセレクション」に参加した、元日本代表FW久保竜彦の長女柚季さん（13歳）の写真が話題になっている。同セレクションには小4から中3まで約1000人の応募から45人が選ばれ、ランニングやミニゲームなどで協会スタッフのチェックを受けた。視察したなでしこジャパンの佐々木則夫監督からも「姿勢がいい」と評価されるなど、父親譲りの資質を垣間見せていた。

もっとも、ネット上では柚季さんの写真が掲載されると、その美貌が評判に。「あらかじめ」「お嬢さんをボクに下さい！！」「女ドラゴンの誕生か」「目元が親父そっくり」「サッカーやりながらセブンティーンのモデルやれそう」「眉毛細くしないで欲しい」といったコメントが書きこまれていた。

■関連リンク

- ・【画像】久保柚季／未来のなでしこセレクション

3A 降格の西岡に対する辛辣ジョークが話題

米大リーグ・ツインズは19日、西岡剛内野手に傘下マイナーの3A・ロチェスターへの降格を通告した。西岡はポストティングシステムを利用し、今季が3年契約の2年目。キャンプ施設で通告を受けた西岡は「挑戦しに来ているのだし、これで終わりではない」とコメントしたが、前途は多難といえる。

そんな西岡に対し、地元メディアの記者から辛辣なアメリカンジョークが届いたことが話題になっている。「Star Tribune sports」のコラムニストであるJim Souhan氏は19日、twitterにて「Nishioka to triple-A. Does this mean Double A was full?（西岡は3Aに行ったようだが、2Aが一杯だったということか?）」とコメント。暗に、西岡のレベルは3Aにすら値しないと皮肉っている。

このツイートに対し、インターネット上のファンからは「向こうの記者はセンスあるな・・・」「HAHAHA」「ないすアメリカンジョーク」「さすがメジャーはジョークも辛辣だぜ」「やっぱ向こうのジョークは流石よのう」と、そのセンスを称えるコメントが並んでいる。

■関連リンク

- ・西岡剛は想定内のマイナー落ち | 2011-2012 オフシーズン
- ・離婚慰謝料 6 億円請求報道の徳澤直子 雑誌編集部で就活開始

ノムさんが、松井秀喜の日本球界を願う理由

昨年 10 月、アスレックスからフリーエージェント (FA) となるも、獲得へ具体的に動いた球団はなく、現在も未所属のまま自主トレを続けている松井秀喜——。

18 日深夜放送、TBS「S1」番組内の人気コーナー「ノムさんぼやき部屋」では、野球解説者・野村克也氏が、いまだ去就のハッキリしない松井にエールともとれる“ボヤき”を行った。

「(ボヤく材料が) 一杯あり過ぎて困っているんだけど、この時期ナンバーワンは松井だろう」と切り出した野村氏は、キャリアの晩年を迎えている松井に、「まだ無職だよ。浪人している。日本に帰ってきたほうがいいんじゃない? 野球交流、アメリカと日本の。彼が何年か経験したアメリカの野球を持って帰ってきてほしいんだね。日本の野球もよくなるだろうし、アメリカのいいところをどんどん取り入れたらいいと思うんだけど、今逆でしょ。日本のいいところをアメリカに持って行ってる感じがする」と話し、日本球界の発展をも見据えた松井の復帰 (帰国) を願った。

だが、松井の復帰先となる所属チームについては、意外や意外、巨人推しの野村氏。「焼きついてるもんね。松井の巨人のユニフォームっていうのは」と語り、日本球界復帰が実現した際、活躍は「できるよ。間違いない」と断言した。

- ・松井秀喜はどんな決断をすべきか?
- ・ノムさん怒る「プロ野球がどんどん悪い方向へ進んでいく」
- ・ノムさん、結婚報告なきマー君に落胆 「普通来るでしょ。社会常識として」

G 大阪・呂比須氏の発言に「ダメだこりゃ」の声

20 日の ACL (アジア・チャンピオンズリーグ) 1 次リーグにて、アデレードに 0-2 で完敗した G 大阪。その試合後、敗因を尋ねられた呂比須ワグナー・ヘッドコーチのコメントが物議をかもししている。

呂比須ヘッドコーチは敗因について「簡単には言えないが、私は気持ちの問題だと思っています」とコメント。4 試合で 10 失点という守備の崩壊の理由を、選手のメンタルに求めた。

しかし昨季まで強豪としてリーグの覇を競った G 大阪が開幕から 4 試合未勝利である現状を、「選手の気持ち」だけに原因を求めるのはやや無理がある。

インターネット上では、この発言に対して「ダメだこりゃ」「その気持ちも含めてマネジメントするのがおまえらの役目だろとw」「ブラジル人は気持ちが好きだなw」「根性論最高や!」「何でも精神論で片付けられるのならコーチや監督は要らないだろうが^^;」と、失笑にも似た声が飛び交っている。

「ナベツネいいキャラしてる」清武氏の暴露が逆効果に!?

16日に発売された清武英利氏の著書「巨魁」が、意外な反響を呼んでいるようだ。同著には他球団の契約情報を記した文書のほか、渡邊恒雄・読売巨人軍会長のエピソードが豊富に盛り込まれている。

例えばイチローを20億円で獲得しようとした際には「泥棒でも強盗しても、カネをつくるぞ!」と発言をしたこと、「君らは、俺がもうすぐ死ぬ、と思っているんだろう。しかしだなア、ろうそくは、火が消える直前が一番明るいんだっ!」と叫んだことなど、氏の豪放磊落な面がふんだんに描かれている。

もっとも、渡邊氏のこうした一面を意外な魅力として捉える見方もあるようで、インターネット上には「ナベツネいいキャラしてるわ」「かわいい」「茶目っ気あるやん」「こういう破天荒なキャラはある意味貴重だな」「正直ナベツネは嫌いじゃない」と、好意的な評価をする声も目立った。

同著は「暴露本」的な性格である以上、こうしたエピソードはある意味で「逆効果」になっているかもしれない!?

「直訳かよ」MLB 日本開幕戦の動画が話題に

ESPN アメリカが制作した動画が話題になっている。動画は、MLB 日本開幕戦「マリナーズ vs アスレチックス」のアオリ動画で、以下のように「東京」「野球」という日本語に加え「野球の試合」というロゴが冒頭に出るもの。

確かに MLB は「野球の試合」だが、いかにも直訳風の紹介にインターネット上では「野球の試合ってなんやねん」「可愛い」「BaseballGame を直訳したのかな」「日本っぽさを出そうとして全てを訳してしまったのか」「じゃあ何て書けばいいのかわからなくなった」と、さまざまな感想が飛びかっている。

長谷部やカズよりも上? 「小学生が好きなスポーツ選手」に意外な選手が

学研教育総合研究所は、小学生に対して実施した調査結果＝「好きなスポーツ選手」を小学生白書 Web 版（2011 年 12 月調査）において発表した。

「世界で活躍・メディアに露出が人気の決め手」という見出しを付けて公表した調査結果の中では、「小学生が好きなスポーツ選手 トップ 10」の 1 位に浅田真央、2 位にイチロー、3 位に澤穂希、4 位にメッシ、5 位にダルビッシュ有が名を連ねるなど、各競技のトップアスリートであり、メディアの露出量が多い選手が並ぶ格好となった。

また、浅田については、男女別の調査結果で、男子の 5 位になっているものの、女子では実に 43.7%という高い支持を得ていることから、総合で 1 位になっている。

同調査に見解を添える、埼玉学園大学准教授・布村育子さんは『女子に、より大きくみられる傾向であると言える。「スポーツ選手」というよりは、「アイドル」の要素のある選手に人気が集まっているということであろう』と語っており、その前段では「今年のオリンピック開催時には、他の種目で活躍する選手も上位になる可能性はある」とも述べ、世界の舞台で活躍する選手に人気が集まっているとした。

だが、そんなランキングの中で、意外な名前がネットを賑わせている。

男子の 10 位になり、総合でも内田篤人らと同票で 11 位になっている、阪神タイガース・鳥谷敬だ。

長谷部誠や三浦知良、同じ野球選手であれば坂本勇人よりも高い支持を得た鳥谷。ネット上でも「謎の鳥谷 10 位」「ハンカチとかマーはどうしたんだ」「トリタニ意外すぎw」という声が寄せられたが、前述した通り、上位の人気アスリートに票が集中しており、11 位以上は 10 票にも満たない中での順位。それでも、鳥谷については、今年海外 FA 権を所得し、メジャー挑戦の可能性も多分にあり、将来は「世界で戦う選手」として今回の獲得票に勝る上位進出も考えられる。

サッカー米国女子代表が生出演も、訊くべき話は何一つ訊かず……

4 月 1 日、ユアテックスタジアム仙台では、アルガルベ杯の再戦となるキリンチャレンジカップ＝なでしこジャパン対女子アメリカ代表戦が行われる。

試合を約一週間後に控えた 23 日早朝、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」に、米国代表で歴代 3 位となる 125 得点を叩き出しているエース、アビー・ワンバックと、日本でも“美しすぎる GK”として注目を集めたばかりか、米スポーツ誌の全身ヌードで表紙とグラビアを飾ったことから大きな話題になった GK のホープ・ソロが生出演を果たした。

今週 21 日には、鹿児島で合宿中の INAC 神戸の練習を訪問したワンバック。この日も収録

後は、宮城・被災地支援の一環でサッカー教室を行うため現地に向かうという。

そんなワンバック＆ソロを、「アイム、ソー、グラッ、シーユー」と上機嫌に迎え入れたみのもんだ。同時通訳により、ワンバックは「今日は被災地に行けるということ。そして何らかの心、気持ちを明るくすることに貢献できればと思います」といい、ソロも「もっとできることがあればと思うんですが、インスピレーションを若い人たち、子供たちに与えたいと思います」と語った。

だが、番組はここから必要性があったと思えない微妙な企画に終始。コメントもそこそこに、私服でレザーのカジュアルシューズを履く二人に、固いスタジオ・フロアの上でシュートやドリブルを実演させたのだ。

スタジオに用意されたゴールに、グラウンダーのシュートをしたワンバック。みのは「ノー、ノー、ノー、ダメー。あんなゴロじゃダメー」ともう一度シュートを蹴らせたが、こちらもグラウンダーのシュートになり、特にそのシュート力を見せるには至らなかった。

さらに、ソロにもシュートを打たせた後、みのは「ワンバックさんに一つお願いしてほしいんだけど、ドリブルを見せてほしい」と懇願。「どこにドリブルをするんですか？」と真っ当な返答をみせたワンバックだが、ドリブルをするに適してるとはいえないフロアで、結局、みのをかわす程度にボール・キープを披露。70歳の大台も近付いている、みのがボールを取れるわけもなく、ワンバックに近づこうとする程度に留まったが、それでも、みのは「あああ、すごい。あのね、足技がすごい」と絶賛した。

その後も、サッカー版ストラックアウトのようなシュート・ゲームに付き合った二人は、どこまでもサービス精神旺盛に番組が用意する企画に参加をしたものの、結果最後まで、INACの練習に参加したことや、INAC会長が（ロンドン五輪後）ワンバック獲得に前向きな発言をしたこと、日本と激闘を繰り広げた先のアルガルベ杯のこと、1日の日本戦のことなど、何一つ話を訊くことなく二人の出演コーナーは幕を閉じた。

- ・INAC神戸、五輪後にワンバック獲り？銀河系軍団になる！
- ・米国代表・ワンバックがINAC練習に飛び入り参加
- ・全身ヌードでグラビア撮影！サッカー米女子代表“美すぎる GK”の肉体美

清武弘嗣、過去の五輪サッカーに“意外な発言”

U-23 日本代表は、今月 14 日、五輪最終予選において U-23 バーレーン代表を破り、見事ロンドン五輪出場を決めた。

22日深夜、フジテレビ「すぽると！」では、「五輪への秘めたる闘志」と題し、ロンドン五輪に臨む U-23 日本代表のキーマンとなるであろう清武弘嗣のインタビューを放送した。

五輪予選では、A 代表招集やケガもあり、途中ブランクが空いてしまった清武。それでも「チームを引っ張るという責任が芽生えたというか、長谷部さんとか（川島）永嗣さんとかも、すごくチームを引っ張ってくれていますし、自分も五輪でそういう存在になれた一番いい」と話し、「今年は人の見る目も違いますし、去年より成長した姿を見せないと終わっちゃうのかなと思います。悪い時は叩かれますし、いい時はいわれますし、その中で気持ちも強くなっている」と成長をアピールした。

また、「今までの五輪のイメージ」という質問については「難しいっすね。オリンピックでイメージするもの……、ないな……。本当にあんま覚えてないんですよ」と意外な発言をした清武は、アテネ五輪、北京五輪とグループステージ敗退している過去も、特に気に気負いはないようだ。

さらに五輪本番について、対戦したい国を訊かれた清武は「それが全然ないんですよ。どの国でもいいんですよ。どの国がきても負けたくないです。負けないという自信もある」といしつつ、目指すメダルについては「それは一番上で輝いているメダルがいいですけど、そんなに贅沢はいえないんで、メダルは何色でもいいので獲りたいです」と少し謙虚に意気込んだ。

TBS 人気企画「ガチ相撲」、ヒョードルも参戦した第 3 回大会優勝者は意外な男に・・・
25 日放送、TBS「クイズタレント名鑑」は、過去に曙（第 1 回）、アリスター・オーフレイム（第 2 回）が優勝を飾り、人気を博した番組企画＝「USC～史上最大ガチ相撲トーナメント」第 3 回大会の模様を放送した。

タレント、アスリート、格闘家らが、真剣勝負の相撲トーナメントに挑む同企画。今大会では“皇帝”エメリヤーエンコ・ヒョードルや元 IWGP 王者ビッグバン・ベイダーらが参戦し、番組を盛り上げたが、トーナメントは予想外の結末を迎えることになった。

■予選トーナメント 1 回戦第 1 試合

○：ボビー・オロゴン（38 歳）

×：チャック・ウィルソン（65 歳）

組み合ったチャックが左脇を差し上げようとするも、ボビーがそのまま押し出し。だが、ボビーの足も出ており、競技の結果、取り直しに。再び低い姿勢で前に出たボビーが手前に引き、チャックのバランスを崩すと、回り込んでそのまま押し出し勝利を挙げた。

■予選トーナメント 1 回戦第 2 試合

○：ビリー・ブランクス（56 歳）

×：ギャオス内藤（43 歳）

ビリーズ・ブート・キャンプで一世を風靡したビリー隊長と、元プロ野球投手・内藤。ビリーが投げをうつも、踏ん張った内藤がまわしをとって引き込むように投げを狙う。しかし、これを持ちこたえたビリーがそのまま押し出し。

■予選トーナメント 1 回戦第 3 試合

○：神取忍（47 歳）

×：八木真澄（37 歳）

組み合った両者。神取が八木の前足を掛けにいくと、八木も左上手をとって投げを狙う。だが、神取が見事な下手投げを決めて勝利を挙げた。

■予選トーナメント 1 回戦第 4 試合

○：あかつ（30 歳）

×：HAJIME ロボット 33 号（高さは 210cm）

HAJIME ロボット 33 号は、大型ヒューマノイド・ロボットで、人工知能を持ったサッカーロボットとして開発したという。気合いをいれたあかつ。開始するや自らバランスを崩して倒れそうになる HAJIME ロボット。これを抱きかかえたあかつは、そのまま土俵の外に置き、呆気ない決着。

■予選トーナメント準決勝

○：ボビー・オロゴン（38 歳）

×：ビリー・ブランクス（56 歳）

低く頭を付けたボビーは、ビリーを釣り上げる。だが、ビリーも押し出しを狙い、反撃に転じたが、ここでボビーが華麗なうっちゃりで勝利。

■予選トーナメント準決勝

○：あかつ（30 歳）

×：八木真澄（37 歳）

右足の人差し指を負傷した神取がリタイアし、八木が復活。立合いと同時に、あかつの突進をいなそうとした八木だが、あかつは構わず押し出し。

■予選トーナメント決勝

○：ボビー・オロゴン（38 歳）

×：あかつ（30 歳）

あかつの突進を押し返すように、ボビーが突っ張り。あかつがすくい投げを見せるも、同体で取り直しとなった。取り直しは、激しい立合いになるも、ボビーが押し切る格好で、あかつを押し倒した。

■本戦トーナメント 1 回戦第 1 試合

○：安田忠夫（48 歳）

×：ボブ・サップ（37 歳）

右を差した安田が、サップをあっさりと寄り切り。サップは立合いから顔を歪め、戦意喪失状態になっていた。試合後「ちょっと痛い」とコメントしたサップは、相変わらずのギャラ泥棒ぶりを如何なく発揮した。

■本戦トーナメント 1 回戦第 2 試合

○：所英男（34 歳）

×：HIRO（34 歳）

所は立合いと同時に総合格闘技流といってもいい片足タックルで、安田大サーカス・HIRO の左足を抱えると、そのまま土俵の外へ。勝った所は、HIRO と楽屋が同じで心理戦があったことを明かした。

■本戦トーナメント 1 回戦第 3 試合

○：鈴川真一（28 歳）

×：エメリヤーエンコ・ヒョードル（35 歳）

立合いから突っ張りを出す鈴川が、続けて右の突っ張りを見せると、ヒョードルはバランスを崩し、前方に手を付き、まさかの 1 回戦敗退に――。

アクション女優も顔負けの美女空手家＝宇佐美里香

国内外を問わず、格闘技界には美女格闘家と呼ばれる選手たちが思いのほか多い。

今でこそ第一線から身を引いているも、かつて全米で大きな話題となった女子総合格闘家＝ジナ・カラーノや“女最強 그레이シー”キーラ・ 그레이シー。日本では、藤井恵、石岡沙織、長野美香らが、現在もトップ戦線で活躍している。

だが、中でもレベルの高いジャンルといえば、日本の伝統格闘技「空手」だろう。

これまでならフルコンタクト空手で人気を博した小林由佳や岡田円がその筆頭とされてきたが、最近では「形」を種目とする宇佐美里香が大きな注目を集めている。

まるで戦隊ヒーローもののヒロインのような美しいルックスながら、実力も折り紙つき。先日行なわれた Karate1 プレミアリーグオランダ・オープンで見事優勝、2010 年には広州アジア大会でも金メダルを獲得している。

空手を始めたきっかけは、「テレビで女優さんが男の人相手に闘うアクションシーンを観て、強い女性に憧れを抱くようになったから」と語っている宇佐美。今まさに、当時憧れたアクション女優のごとく、強く、凛々しい技で日本の女子空手界をリードしている。世界一を目指す宇佐美の美技は必見なのだ。

- ・ジナ・カラーノがチラリズム計量でパス
- ・6/18 ジナ・カラーノ正式に復帰決定!!
- ・“女・最強 그레이シー”キーラが日本初ファイト

ダルビッシュ、紅白戦 4 失点も“問題なし”を強調。ファンから挑発的なツイートも!?

25 日（日本時間 26 日）MLB テキサス・レンジャースのダルビッシュ有が、19 日のミルウォーキー・ブルワーズ戦以来の登板となる紅白戦に出場した。

すると、マイナー選手を相手に 5 回 86 球を投げ、手痛い 4 失点。それでも、毎回の 11 奪三振をあげ、自身のツイッターでは「紅白戦に投げて 5 回 6 安打 4 失点。内容は良かったです(^^) ていうかマイナーの選手、オールストレート狙い^^; 投げにくくて仕方なかったです（笑）そのせいか奪三振は 11 でした」と絵文字も織り交ぜ“問題なし”を強調した。

だが、オープン戦は、前述したブルワーズ戦で 3 安打 4 四球 2 失点という安定感を欠く内

容に。13日のインディアンス戦も、3回を投げ3安打4四球2失点と、ファンにとってはスッキリとしない内容が続いている。

「何回も言いますがオープン戦なので^^; まだこっちに来たばかりですしね。ちょっとずつアジャストしていければ」とコメントを続けるダルビッシュ。ファンから「半年後にもその強がり聞けるのを願ってます」という、些か挑発的ともとれるリツイートが寄せられても、「はいはい。」と返答した。

次の登板は、中4日となる30日（日本時間31日）にロッキーズ戦を予定しており、ここでは確固たる結果が求められそうだ。

- ・ダルビッシュの課題は「独り相撲」 | 2011-2012 オフシーズン
- ・アメリカから見た日本の野球ファン
- ・ユウとアオキは調整中

プロ野球開幕、ノムさん&桑田の優勝予想は全く同じに——

プロ野球開幕がいよいよ今週末30日に迫ってきた。

今年のペナントレースは一体どんなドラマが生まれ、どんな結末となるのか——。25日深夜放送、TBS「S1」番組内では、野球解説者の野村克也氏と桑田真澄氏が両リーグの優勝チーム予想を行うも、なんと両者の回答は全く同じものとなった。

「一番苦手な予想。野球は意外性のスポーツっていうでしょ？今日はコッチに任せた」と苦笑いを浮かべて桑田氏を指差した野村氏。桑田氏もまた「僕も予想、大嫌いなんですよ」と切り出す。

すると、そんな二人の優勝予想は、セ・リーグが巨人、パ・リーグが西武という内容に。「別々の部屋で書いたのに一緒かい」と驚く野村氏だが、「補強とかチーム編成みたらダントツでしょ」と、予想の理由をさも当然のように語ると、オープン戦では打撃不振が顕著な巨人について、桑田氏も「選手もコーチも補強してますんでね。オープン戦はあんまりアテにならない」と話し、“問題なし”を強調した。

パ・リーグについては、野村氏が「まあ、去年ソフトバンク日本一なった瞬間に、暫らく天下は続くなって思ったんですけど、主力選手が何人か辞めたじゃない。その辺でだいぶマイナスですから、バランスから考えたら西武」と予想の理由を説明すると、桑田氏も「ソフトバンクは若手が育ってまして、いけるんじゃないかって思ったんですけど、僕は涌井（秀章）君と岸（孝之）君の奮起に期待したい。今年は抑えに外国人投手をもってきてますので、そ

れが機能して。中島君も戻ってきましたし強いんじゃないかな」と期待を込めた。

- ・さらに進化を見せている中島裕之選手の打撃技術
- ・ほぼ陣容がみえた「3.30 本拠地開幕戦」のスタメン
- ・順位予想

ノムさん、佐々木則夫監督に「50、60 はハナタレ小僧」

かつては南海ホークスでプレイングマネージャーに就き、その後も、プロアマ含めた 4 球団で監督を務め、その辣腕をふるった現野球解説者・野村克也氏と、なでしこジャパンを FIFA ランキング世界第 3 位にまで引き上げた、日本サッカー界の“新名将”佐々木則夫監督が対談を行った。

TBS「S1」（25 日深夜）番組内で放送された注目の対談。「お会いしたかったです」という佐々木監督に、野村氏は「試合するときには正攻法ですか？僕はね、最下位のチーム、弱いチームばかりやってきましたからね。奇策を込めていくっていうか、そこで心理的に攻めていくっていう戦法が多かった」と、さっそく質問を投げかけていった。

すると、佐々木監督は「僕の場合は、チーム的には正攻法なんですけど、やっぱり世界で一番小さいチームですから。こないだのドイツ W 杯では 16 チーム中一番身体が小さい。準備ですね。準備して戦わせるということはします」と回答。なでしこジャパンのドイツ W 杯優勝で、団体として初めて国民栄誉賞が授与されたことに言及した野村氏は、「王監督とか衣笠君とか貰ってるんですよ。なんで俺のところこないんだろうって。欲しいわけじゃないんですけど。生活は一変しましたか？」とボヤき節を交じえて尋ねる。

すると、佐々木監督は「終わってからですね。やはり皆さん認知して頂くことには、天と地ですよ」と答えつつも、「2008 年北京（五輪）で 40 年ぶりにベスト 4 になったんですけど、上野さん率いるソフトボールが優勝したんですよ。なでしこジャパンのベスト 4 なんていうのは薄れてきてしまって」と苦笑い。

さらに「まだ若いすし」という野村氏に、佐々木監督が「53 なんですよ」といえば、野村氏は「50、60 はハナタレ小僧」とキッパリ。その後も、「女性を選手にした監督ってやったことないんで、どうですか？違いとか難しさ」と興味津々の野村氏に、佐々木監督は「思ったよりないですよ。結構男子も何考えているのか分からないのがいますからね。逆に女子だとすぐ顔に出たり、一言いってくるのが男性よりも反応が早いので」と説明。女子選手を指導することに対し、特別意識しているという点では「鼻毛は女房に指摘されるんですけど“いくら素晴らしい話をしてても、鼻毛出たらあなた終わりよ”とか。最近は目やにが出るので“あなた目やにを気をつけなさい”っていわれる」という夫人の助言を明かし、

「女性細かいところも気付く」と語った。

- ・果たして今が、ミスターガンバを監督にするタイミングなのか？の巻
- ・「サッカーをやってきた人間だから欲しい」と言われるサッカー界に
- ・女子ワールドカップを日本で

ヤクルト・宮本慎也、巨人・坂本との合同トレに「賛否両論あったみたいですけど……」
いよいよ明日 30 日、プロ野球が開幕する。大型補強に成功し、今季の大本命とされる巨人はヤクルトを東京ドームで迎え撃つことになるも、ヤクルトのチームリーダー・宮本慎也は並々ならぬ決意でシーズン開幕に臨む。

28 日深夜、日本テレビ放送「NEWS ZERO」では、18 年目のシーズンとなる 41 歳の大ベテラン、そして、2000 本安打まであと 25 本に迫った宮本の声を伝えた。

今年 1 月、巨人の坂本勇人を自らの合同自主トレに参加をさせ、宿敵に守備を指南したことで一部のファンから疑問の声も挙がっていた宮本。番組のカメラに「賛否両論あったみたいですけど」と切り出すも、「僕は球界全体がレベルアップして、坂本がレベルアップすれば、うちがレベルアップすればいい話なので。自主トレを一緒にやったからって、じゃあ、グラウンド上で仲良くやるかなんてあり得ないこと。僕らもプロなのでいざ勝負になった遠慮するかって絶対ない話」と、雑音を一蹴する。

また、「42 歳のシーズンですよ。成績残らなければ契約も切られますし、当然辞めないといけない状況になるので、もしかしたら最後になるかもしれないという気持ちでは臨もうと思っています」と決意を述べる宮本は、「若い子たちがいつまでも宮本じゃダメだと。俺らがやるんだという気持ちになってほしい。理想では言ってるんですけど、若い子とポジション争いして、それに敗れて、今年優勝して辞めれたら一番カッコいいなと思ってるんですけどね」と自身の引き際についても言及した。

- ・プロ野球開幕、ノムさん&桑田の優勝予想は全く同じに——
 - ・ダルビッシュ、紅白戦 4 失点も“問題なし”を強調。ファンから挑発的なツイートも!?
 - ・長谷部やカズよりも上？「小学生が好きなスポーツ選手」に意外な選手が
- パ・リーグ 6 球団が「報道ステーション」番組内で開幕スタメンを同時発表！
いよいよ 30 日には、プロ野球ペナントレースが幕を開ける。

決戦前夜となる 29 日、テレビ朝日「報道ステーション」では、パ・リーグ 6 球団の監督が、札幌、仙台、福岡から三元中継により生出演、同番組内で開幕戦のスターティングメンバーを同時に発表した。

日本ハムは栗山監督が事前に予告していた斎藤が先発するほか、4番は中田に。楽天星野監督は、牧田を3番に据え、ガルシア、フェルナンデスら外国人選手3人が先発。大幅な戦力ダウンが心配されるソフトバンクは、攝津が開幕投手を務め、秋山監督は「補強もしてますし、今いる人間で頑張っていきたい」と語っている。

<日本ハム×西武>

■日本ハム

- 1.田中（二）
- 2.稲葉（一）
- 3.糸井（右）
- 4.中田（左）
- 5.スレッジ（DH）
- 6.小谷野（三）
- 7.陽（中）
- 8.金子（遊）
- 9.鶴岡（捕）
- 斎藤（投）

■西武

- 1.ヘルマン（中）
- 2.栗山（左）
- 3.中島（遊）
- 4.中村（三）
- 5.嶋（DH）
- 6.浅村（一）
- 7.高山（右）
- 8.炭谷（捕）
- 9.原（二）
- 涌井（投）

<楽天×ロッテ>

■楽天

- 1.聖澤（中）
- 2.内村（二）
- 3.牧田（右）

- 4.ガルシア (DH)
- 5.フェルナンデス (一)
- 6.高須 (三)
- 7.テレーロ (左)
- 8.嶋 (捕)
- 9.西村 (遊)
- 田中 (投)

■ ロッテ

- 1.清田 (右)
- 2.根元 (遊)
- 3.井口 (二)
- 4.ホワイトセル (DH)
- 5.サブロー (左)
- 6.今江 (三)
- 7.大松 (一)
- 8.里崎 (捕)
- 9.岡田 (中)
- 成瀬 (投)

<ソフトバンク×オリックス>

■ ソフトバンク

- 1.本多 (二)
- 2.明石 (遊)
- 3.内川 (右)
- 4.松中 (左)
- 5.小久保 (一)
- 6.松田 (三)
- 7.ペーニャ (DH)
- 8.長谷川 (中)
- 9.細川 (捕)
- 攝津 (投)

■ オリックス

- 1.坂口 (中)
- 2.大引 (遊)

- 3.後藤（二）
- 4.イ・デホ（一）
- 5.高橋信（DH）
- 6.T 岡田（左）
- 7.バルディリス（三）
- 8.伊藤（捕）
- 9.駿太（右）
- フィガロ（投）

- ・メンバー表交換について
- ・パリーグ戦線、異変あり | 2012NPB プレビュー
- ・セリーグは戦力よりも戦術 | 2012NPB プレビュー

美しすぎる氷上の女海賊＝アリーナ・レオノワ

フランス・ニースで行われた世界フィギュアスケート選手権では、イタリアのカロリーナ・コストナーが優勝、日本の鈴木明子は3位に入り、五輪、世界選手権を通じ、初のメダルを獲得している。

また、大会中、注目を集めたのは、女子シングル・ショートプログラム（SP）時に 64.61 点で首位に立ったロシアのアリーナ・レオノワだ。

映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」のテーマ曲をアレンジした壮大な曲に乗り、海賊をモチーフにした衣装で軽快に演技する様には、会場の観衆のみならず日本のフィギュアスケートファンも思わずうっとり。圧巻の世界観でショートプログラムトップの座についた。

1990 年 11 月 23 日にロシアのサンクトペテルブルクで生を受けたレオノワは、2009 年の世界ジュニア選手権で優勝すると、同年の世界選手権では 7 位に躍進。バンクーバー五輪出場を経て、2011 年 4 月に地元ロシアのモスクワで行われた世界選手権では自己最高の 4 位という好成績を収めた。2011－12 シーズンからは、安藤美姫を世界女王に育て上げたニコライ・モロゾフをコーチに迎え、一層表現力の増した滑りで観客を魅了している。美しすぎる氷上の女海賊の、勇ましくかつ華麗な演技から今後も目が離せない。

- ・アリーナ・レオノワ フォト

新垣、波乱の連続だった野球人生とは？

1 日、ヤフードームで行われたソフトバンク対オリックスの一戦は、5-1 でソフトバンクが開幕 3 連勝。シーズン前こそ杉内俊哉、和田毅、ホルトンの主力 3 投手に加え、野手では攻守の要＝川崎宗則が抜けたことで、大幅な戦力ダウンが不安視されたが、蓋を開けてみれば

ば、ディフェンディングチャンピオンとして磐石の開幕ダッシュをみせつけている。

また、1日は先発した新垣渚が無四球完投で、2008年10月6日以来、1273日ぶりの白星を挙げたが、これもまたファンにとっては吉報といえる復活劇だった。

杉内とは義理の兄弟としても知られる新垣。2007年にはシーズン25暴投、2008年には1試合5暴投という不名誉な日本記録を作るなど、荒々しいピッチングもファンにとってはお馴染みの投手だったが、その野球人生はピッチング以上に波乱の連続だった。

松坂大輔と並ぶ有望選手の一人として沖縄水産から春・夏甲子園出場を果たすも、どちらも初戦で敗れ、結果を残せなかった新垣。それでも、98年のドラフトでオリックス・ブルーウェーブと福岡ダイエーホークスから1位指名を受けた。

だが、交渉権を獲得したオリックスに対し、ダイエー入りを希望していた新垣は入団を拒否。イチローを発掘した三輪田勝利スカウトが、獲得を厳命する球団と、門前払いをする新垣の間に立ち、精神的に追い込まれる形で、1998年11月、那覇市内で投身自殺するという事態に発展したのだ。

その後、九州共立大学へ進学した新垣は、2002年のドラフト会議において、自由獲得枠で福岡ダイエーホークスに入団したものの、8月にくるぶしを痛めて戦線離脱。球場では「新垣ドラフト事件」から、心ない悪質な野次が浴びせられることも少なくなかった。

2004年から3年連続2桁勝利を記録するも、2006年には虫垂炎からの急性腸炎により入院。翌年には前述した通り、暴投が目立って、当時監督だった王貞治氏から「暴投王」と揶揄される始末。その後も、度重なる故障と付き合いながら、1軍と2軍をいったりきたりの野球生活をおくった。

昨季に至っては1軍登板すらなかった苦労人だが、蓄積した経験と制球力は、戦力ダウンによるチームの窮地を救う勝利を呼び込むだけの力量に——。今ようやく“遅れてきたエース”新垣のプロ野球人生・第2章が幕を開けたのだった。

- ・新垣、見事な復活完投！
- ・「契約金問題の研究」どうすべきか？
- ・岩崎粘投に本多報いる

「酷すぎる」選抜高校野球に誤審続出

1日、第84回選抜高校野球大会・準々決勝で対戦した関東一×横浜の試合で希有なプレー

が起こった。

5 回裏、1 点を返した横浜が、ワンアウト 1、3 塁でスクイズ。3 塁走者の尾関がホームに生還した——と思ったのも束の間、関東一の捕手が窪田球審に対し、ホームベースを踏んでいないとアピールすると、窪田球審はベースの踏み忘れとしてアウトを宣告。横浜は同点となるチャンスを逸し、横浜・渡辺監督が抗議をするも判定は覆らなかった。

さらに、高校野球の規則で、審判への疑義申し出については、「主将、伝令または当該選手に限る」とされていることから、抗議を行った渡辺監督にも、大会本部の総務委員から口頭注意が与えられた。

しかし、同日「日刊スポーツ」に、尾関のホーム生還時の写真が掲載されると、尾関の右足の踵は間違いなくホームを踏んでいるのだ。

この写真がネット掲示板で紹介されると、「これは完全に踏んでますなあ」「抗議文提出待ったなし」「酷すぎる」といった呆れたコメントに加え、同じく準々決勝の愛工大名電×光星戦でも、スクイズ失敗（三振）を主審は死球と判定し、その後のランニング本塁打に繋がるという場面があり、「誤審で試合決まる率高すぎだよなあ」「おいおい今日は誤審だらけか」という皮肉った声も。

審判員の質はもちろん、監督の抗議禁止の是非など、幾つかの課題が浮き彫りになる“選抜準々決勝”となった。

- ・ Nikkan Sports News. フォトより＜問題の写真＞

- ・ 信じられない判定～少し後味の悪い、光星学院高の勝利。

- ・ 光星学院高が決勝進出、史上初の白河越えを目指す（但し津軽海峡以南）～過去、東北各校が挑んだ

「ザスパ草津」が新チーム名発表も“異議あり”の声

3 日、J2・ザスパ草津が、群馬県庁で記者会見を行い、チーム名称の変更を発表した。

リエゾン草津フットボールクラブが前身となる同チームは、所属選手が草津にある温泉施設で働きながらサッカーに打ち込めるという環境を構築、2002 年には、ラテン語の「癒す」を語源とし「温泉施設」という言葉として用いられる「スパ (Spa)」をとって、「ザ・スパー (The spa)」→「ザスパ草津」をチーム名とした。

そんなザスパ草津にとって、2002 年 4 月 3 日——、発足から丁度 10 年目となる記念日で

の発表となった今回。会見には、GM・植木繁晴氏、草津温泉フットボールクラブ取締役会長・武尾誠氏が登場し、2013年シーズンから用いられる新チーム名を「ザスパクサツ群馬」とした。

また、記者会見では、『我々は群馬県のチームだとの思いでやって来ましたが、群馬で活動することをより強く群馬県民に知ってほしいし、「草津町・前橋市を中心とする全県」でホームタウンは変わりはないが、草津町で働きながらサッカーをやっていた過去のイメージが強すぎる部分もあり、現在も草津温泉にいる・草津のチームと思われている。そこから脱却したく、「群馬の地域の中で生きている」ということを明確にしたいと思って名前を変えました』（ザスパ草津公式サイトより）と語っており、これまで温泉街や草津を前面に打ち出してはきたものの、そのイメージばかりが強かったか、『群馬県民で我々を是非支援してほしい』と訴えた。

だが、この新チーム名には、ネット掲示板でもユーザの微妙なりアクションが相次いだ。

「ザスパ草津群馬でいいのに。クサツってなんか」

「普通に↓でよかったんじゃないの？」

正式名称：ザスパ草津・群馬

呼称：ザスパ群馬」

「なんでカタカナにしたかなあザスパ草津群馬で問題ないじゃんよー」といった「ザスパクサツ群馬」のカタカナ表記に“異議あり”とする者から、

「普通は名前を変えることを事前に発表し、公募の形をとってから変えることが多いだろうねそれでサポの反応を見ながら決めるのが無難　あまりにも一方的すぎるわ」

「ロゴマークだけ一般公募だよ」

「むしろネーミングから公募しない意味がわからん」と新チーム名に伴うロゴデザインのみを募集する同クラブの姿勢に異を唱える声まで、様々な書き込みがみられた。その上、中にはクラブサイドへ抗議の電話を入れたというユーザもあり、今回の新チーム名を受け入れるには、暫く時間が必要になりそうだ。

斎藤佑を認めないノムさん 「まだ持っていない」

本日6日、QVCマリンで行われる千葉ロッテマリーンズ×北海道日本ハムファイターズ戦では、開幕戦で周囲の心配を嘲笑うかのごとく見事な完投勝利を挙げた斎藤佑樹が今季2度目の登板を予定している。

初戦の試合後には、「今は“持ってる”ではなくて背負ってます」というセリフも飛び出した斎藤。ダルビッシュ有を欠く日本ハムの新エース襲名に気合い十分だが、それでも野球解説者・野村克也氏を認めさせるには、まだまだ説得材料が足りないようだ。

TBS「S1」（1日放送）では、今春より爆笑問題・田中裕二がMCとなり番組がリニューアル。名物コーナーとなっていた野村氏の「ぼやき部屋」も「ノムラ田中のぼやき部屋」となった。

ここで斎藤の話題になると、「背負ってる？何を背負ってるの？ダルビッシュの後を背負う？ちょっと佑ちゃん早いんじゃないの？意気込みはかうけど、まず実績を残してから。実力の世界だから。言いたいことはまずやってから」とのっけから厳しい意見を言い放った野村氏。

田中が「凄くないですか？開幕戦で1点しかとられていない。完投ですもん」と反論すると「そうですね、それは認めましょう」とすんなり認めたものの、改めて「持ってるんですか？」と訊かれれば「まだ持っていない」とキッパリ。「持っていると断言できるほどのピッチャーじゃ、まだまだ。専門家として認めにくい。これから期待はできますけどね」と説明した。

その一方で、東北楽天・田中将大の話題になると、「彼は心配ない。今年もやります」と太鼓判を押す野村氏。さらに、自身が監督を務めた田中のプロデビューを振り返ると、「18歳で入ってきて、1年目から1軍でスタートさせるか、2軍で下積みをさせるか迷いました。ところが彼はいいチームに入ってきて、指折り数えてピッチャーがいなかった。それじゃ、俺のそばで1軍で育てようという結論に達して、最初はノックアウト、ノックアウトで2軍に落とそうかと色々迷ったんですけど、ところが負け星がつかない、敗戦投手にならない。何か持ってるなど。佑ちゃんじゃないけど」と話し、2007年8月に飛びだした「マー君、神の子、不思議な子」という明言について、当時の様子を語った。

甲子園ではライバル関係にあった二人も、プロの舞台においては今や田中が圧倒的大差でリードしている現状、野村氏が言う通り、斎藤は地道に実績を積み上げ続ける他に周囲の信頼を勝ち得る術はない。注目となる2度目の登板、彼を待ち受ける結果はいかに――。

- ・斎藤佑樹、110球完投勝利！ほんまか！？ | 2012NPB ペナントレース
- ・斎藤佑は1失点の完投勝利！ 冴え渡るスライダー！自信を持ったストレート！
- ・ノムさん、佑ちゃんにズバリ 「人気先行だもんな」「いるの、彼女？」
- ・田中将大が“こいつには負けたくない投手”とは？

新記録でロンドンに乗り込む“バタフライの女王”加藤ゆか

3日に行われた競泳の日本選手権で、女子100メートルバタフライの加藤ゆか（25歳）が2大会連続の五輪出場を決めた。57秒77と、自身が持つ日本新記録を更新しての五輪切符ゲットだ。

前回大会の北京五輪選考ではガチガチに緊張していたという加藤は、幾多の経験を得て、強い精神力を培った。記録更新での五輪出場権獲得に、爽やかな笑顔で喜びを爆発させた。

百花繚乱の日本女子競泳界の中でも、加藤は美女スイマーの筆頭に数えられる。目鼻立ちの整った顔に、白く透き通るような肌、そして鍛えあげられたアスリートの肉体に、ネット上での人気も上々だ。

前回の北京五輪では予選敗退で悔し涙を吞んだ加藤。4年間の濃密な時間を経て、速く、より美しくなった「バタフライの女王」が、ロンドンのプールを沸かす。

・加藤ゆか フォト

元メジャー最多勝投手、突然の帰国に「グリーンウェルよりひどいぞこれ」開幕から9試合を戦い7勝と、見事なスタートダッシュをきったソフトバンクホークス。昨季のディフェンディングチャンピオンながら、杉内俊哉、和田毅、ホールトンという主力3投手の離脱が不安視されるも、新エースの攝津正や、完全復活を遂げた新垣渚らが踏ん張り、王者の意地を見せている。

そんな折、4日の楽天戦では、ソフトバンクの秘密兵器であり、大型補強の目玉＝2006年のメジャー最多勝投手ブラッド・ペニーが遂に来日初登板。マーリンズ、ドジャース、レッドソックス、ジャイアンツ、カーディナルス、タイガースと名門チームを渡り歩き、昨季も31試合に先発して11勝を挙げている超大物外国人投手の登場に、Kスタ宮城に集結したファンも熱い視線を注いだ。

しかし、その初登板は、3回で被安打7、失点6という散々なもの。まだ日本の雰囲気や、球場なりマウンドに慣れていなかったか、メジャーの豪腕披露は次回の登板に持ち越しとなった。

だが、その試合後、右肩の痛みを訴えたペニーは、翌日に出場選手登録を抹消されることに。また、福岡市内の病院で検査を受け、異常なしとされたにも関わらず、7日には帰国をってしまった。

高山郁夫一軍投手コーチは、一部のメディアに「戻ってくることを願っている」とコメントし、僅か64球を投げただけの年俸約2億2800万円とされるメジャー戦士の再来日を信じたが、この残念な帰国に、掲示板へコメントを寄せるネットのユーザからは「これは連絡がつかなくなるパターンですねえ」「異常なかったんじゃないの？w」「一試合で2億8千万

wwwww」「久しぶりの糞外人だな」「逃げたらまじで許さんわ」「1球あたりコスト=356万2500円」といった辛らつな発言が並ぶ。

さらに、コメントの中には「グリーンウェルよりひどいぞこれ」という書き込みもあり、1997年に球団史上最高額の年俸3億円強で阪神タイガースに来日するも、春季キャンプ時に一時帰国するわ、再来日後の5月に自打球を右足甲に当てて骨折するとアッサリ引退宣言するわ、その後も阪神球団と契約不履行で揉めるわと、プロ野球史上最低の外国人選手と揶揄されたグリーンウェルを引き合いに出す声も見られた。

今回のペニーはグリーンウェルを超えるか——、色んな意味で、その再来日に注目が集まりそうだ。

- ・右肩痛のペニーが帰国＝プロ野球・ソフトバンク
- ・聖沢にかき回された？ ペニー
- ・S B新垣、波乱の連続だった野球人生とは？

「自分で言っちゃった」川澄が明かす、遅咲きのサッカー人生

日本テレビ「アナザースカイ」(6日放送分)に、なでしこジャパン・川澄奈穂美が出演した。

川澄のブログにも高い頻度で登場し、INAC神戸のチームメイト&ルームメイトでもある田中明日菜との生活について、「いつも料理は私がします」という川澄。「二人で3万円(月)。毎日。いつも明日菜に(献立を)決めて貰うんですけど。“何食べたい？”って言ってそれを作る」と献身的なルームメイトぶりを披露。番組MCの今田耕司からは「絶対彼氏できへん」とさっそく突っ込まれてしまった。

さらに、「週に一回くらいは麻婆豆腐って言うんですよ。麻婆豆腐って言った次の日に、麻婆茄子って言ったりする」と、田中の偏った献立リクエストを明かした川澄だが、「豆板醤は先に入れておいた方が美味しくできるみたい」と料理のコツも紹介した。

また、姉の影響でサッカーをはじめたという川澄は、「サッカーは自分で思うんですけど、センスないんですよ」「高校あがると大体なでしこリーグに行くっていうのが流れなので、巧い選手は。自分は高校時代、声も掛からなかったですっていうような選手でした」と遅咲きの選手であると言う。

しかも、日本体育大学女子サッカー部に入った後、川澄は代表入りのチャンスを掴みかけながらも、「大学4年の時に前十字じん帯切ったんですけど。今年1年はリハビリになるなっ

という感じで」と語るほどの大ケガを負い、当時の様子を「その病院行った日にサッカー協会の上田委員長から連絡きて、次の合宿に練習生みたいな感じで参加して貰おうと思うんだけどって言われて。勿体ないじゃないですけど、せっかくきたチャンスなのにケガで行けないというのは、悔しいというか、悲しいというか」と振り返った。

しかし、「“それでサッカー辞めようと思いませんでした？”って訊かれるんですけど、意味分らないですよ。絶対復帰してやろうと思って。ポジティブなんです、私。自分で言っちゃった」と笑顔で語った川澄は、「下手くそだし、センスないから、一生懸命頑張ってやらないとあの場に立てないと思ってやってたから、きっとああいう場に立てたと思います」と、その信念の強さをうかがわせた。

■川澄奈穂美の写真ギャラリー

■Sports Watch 川澄関連リンク

- ・ なでしこ3選手が苦言“佐々木監督に言いたい事”とは？
- ・ 予選で爆発、「やっぱりかわいい」川澄奈穂美
- ・ 逆境の連続、なでしこジャパンの優勝に川澄・父「信じてあげるのが親」

■大人気!!「スポーツ見るもの語る者〜フモフモコラム」川澄関連リンク

- ・ 川澄ちゃんの新CMを見ながら、やはり「ちゃん」付け禁止は無理だと思った件。
- ・ 川澄奈穂美さんの頼れる荷物番・田中明日菜さんが、ひっそりドイツ旅行していた件。
- ・ 川澄ちゃんが「ウザくてデブ専な女」であることが仲間から暴露された件。

ファンは複雑!? DeNA ベイ、大胆ながらも軽率な企画を発表

10日、神宮球場で行われた、プロ野球＝ヤクルトスワローズ×DeNA ベイスターズの一戦では、DeNA・山口俊が好投を見せるも、味方打線の援護はなく延長10回にサヨナラ負けを喫した。

この敗戦で、戦績は9戦して1勝7敗1分という目も当てられないものに。セ・リーグでは断トツの最下位となり、5位には巨人がいるものの、その戦力を考えればいずれは投打の歯車が噛み合い、巻き返す可能性は高く、DeNA ベイの“ひとり負け”は避けられない状態となりそうだ。

そんな折、11日には、DeNA ベイから我が目を疑う驚愕の発表が成された。

同公式サイト上で、『『全額返金!?アツいぜ!チケット』など企画チケットが続々登場!』と

いう見出しとともに公開された新企画は、「お客様がアツくなった度合いによってチケット代金を自己申告いただき、横浜 DeNA ベイスターズが勝った場合はチケット代の半額まで、負けた場合はチケット代全額までを返金の上限として、その範囲内でキャッシュバックいたします」（同サイトより）というものだ。

この発表には、ネット掲示板でも「おいおい金払わないでいい試合のが多いじゃねえか」「客複雑やん」「ロッテリアのハンバーガーじゃないんだから」「モバゲー専用マネーとかじゃないやろな」「勝っても返金するのかよ w w」「無料で人をたくさん集めてその中で金儲けするのはモバゲーさんの十八番やからな 本領発揮って所だな」「六日間で 300 枚とかただの話題作りやん」「あかんモバゲー倒産してまう」といった様々な反響が寄せられている。

5 月 1 日（火）から行われる本拠地 6 連戦で実施されるという同企画。自軍の応援であったとしても、全額キャッシュバックがチラつけば「負けてもいい」「負けてほしい」という心境に至るファンも居るだろう。（負けた場合は）全額返金とは大胆ながらも、ファンの心理を考えれば軽率といわざるを得ない DeNA の新企画だ。

■関連リンク

- ・ DeNA は今年のひどい成績よりもさらに悪化～収縮が止まらないセリーグ打撃
- ・ 中畑株は 4 8 5 円安の 1 9 9 1 円～やらかし啓二朗の春
- ・ 一塁を踏み忘れてノーヒッター完成

“史上最低の外国人選手”が母国でツイッター更新、ファンの怒りは増幅

杉内俊哉、和田毅、ホルトンという主力 3 投手のチーム移籍により、ソフトバンクホークスが大型補強として期待を寄せたのが、2006 年のメジャー最多勝投手ブラッド・ペニーだった。年俸約 2 億 2800 万円とされる豪腕は、メジャー通算 100 勝を超え、MLB オールスターゲームにも 2 度選出されている。

だが、注目の日本初登場となった今月 4 日の楽天戦では、4 回を持たずに 6 失点という散々な内容に。試合後に右肩の痛みを訴え、翌日には出場選手登録を抹消されると、福岡市内の病院で検査を受け、異常なしとされたにも関わらず、7 日にはそそくさとアメリカへ帰国をしてしまった。

「これは連絡がつかなくなるパターンですねえ」「一試合で 2 億 8 千万 wwwww」など、掲示板でもユーザから呆れた声が噴出し、“プロ野球史上最低の外国人選手”とも揶揄された元メジャー戦士は、色んな意味で、その去就が注目を集めていた。

すると、11 日、Brad Penny (@BradPenny) の名で更新中のツイッター上に、子馬を連れた

ペニーの写真がアップされた。これまでも、ほぼ毎日フォロワーにコメントを返していたペニー。日本のファンからも、「次の試合に期待されているよ」（編集部意識）と言われれば「テニスの試合はしないよ」ととぼけ、「F**k you」と言われれば「ノーサンキュー」と答えている。子馬との写真がいつ撮影されたものなのかは定かではないが、自覚に欠けるその姿勢には日本ファンの怒りもひとしお。

掲示板でも「ジャパマンデーで子馬を買ったのか」「完全に遊んでるwww」「金返せや」「完全なる給料泥棒やん」「腰を痛めたわーってモンゴルに帰ってサッカーやってた朝青龍かよ」「ここまで清々しいクソ外人は久しぶりだな」「帰って来る気0やないかこれ」「これまじで許せねーわ」「以前撮った写真をあげただけだろ(震え声)」といった怒りの声が相次いだ。

現在は、ペニーのツイッターが日本のファンにも浸透したことから、「@BradPenny」に対して、「クズ」「働けクソ外人」など日本語で罵るツイートも増えてきた。果たしてペニーの再来日はあるのか。しばらくは、ペニーのツイッターが怒りをぶつける矛先となりそうだ。

■関連リンク

・元メジャー最多勝投手、突然の帰国に「グリーンウェルよりひどいぞこれ」

香川真司、自身の移籍報道を語る

12日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、「ドイツ香川を独占直撃 移籍報道の真相は」と題し、ボルシア・ドルトムント所属の香川真司に単独インタビューを行った様子を伝えた。

ここまで日本人選手の欧州最多得点となる12点を挙げている香川は、「この舞台で、得点をとることは本当に難しいことだって感じてますけど、それと同時に得点をとることによって自信を得ているし、逆にもっと点をとれるんじゃないかって自信に繋がっているんで。もっともっとゴールを量産して、限界は決めないで。ヨーロッパ的に見て12点なんて特別な数字じゃないと思っているし」と自分に言い聞かせるように語る。

また、チームとの契約は来年まで残るも、ドルトムントからの移籍の噂が絶えない現状には、「まあ、自分の将来ですから、自分でしっかり決めて。まだオファーがないことには何も始まらないですし。でも、ドルトムントはそのオファーに対して延長したいって常々言ってくれているので感謝の気持ちで一杯ですし。あとは自分がそれに対してハッキリと答えを出すことは必要だと思うし。自分の夢だったり、またそういうのがある分、そこに一番近いポジションはどこだと常々考えながら自分のサッカー人生を送ってきたので、それに向けてしっかり判断したい」と具体的な返答はなく、早口でまくしたてるように話した。

そして、インタビューの最後に、同番組スタッフから「何で 23 歳でそんなに冷静なのか？」と尋ねられた香川は「カメラが回ってるからです」と冗談を言いながらも、「みんな冷静ですよ、そんなの。そんなこと言ったら石川遼君だって僕より年下なのに」と笑った。

・香川は後半 29 分までプレー。ドルトムントが勝利して優勝に大きく前進。【ボルシア・ドルトムント v s バイエレン・ミュンヘン】

・ヴォルフスブルグ対ドルトムント 〜トラウマ〜

「平成のマーメイド」は 15 歳、最年少の美少女スイマー

各種目で続々とロンドン五輪代表が決まる中、一際輝きを放つのが競泳女子 200 メートル平泳ぎの渡部香生子だ。

東京・武蔵野高 1 年生の 15 歳。今大会の競泳陣でも最年少となる渡部は、1992 年のバルセロナ五輪で金メダルを獲得した岩崎恭子さんを彷彿とさせる美少女スイマーなのだ。

「岩崎恭子 2 世」「平成のマーメイド」とも呼ばれる彼女は、荒川区出身で 4 歳のときに水泳をはじめ、中学 1 年生で平泳ぎに専念。2010 年の全国中学総体で 100 メートル、200 メートルの 2 種目で優勝し、代表入りを期待される存在となった。翌 2011 年 5 月にはジャパン・オープンで日本中学新記録を樹立。まさに「美少女」と呼ぶにふさわしいルックスもあって、一躍スターダムにのし上がっている。

そして今月 7 日に行われた競泳日本選手権において、2 分 23 秒 56 で 2 位に入り、見事ロンドン五輪への切符を獲得。爽やかすぎる笑顔にほんのり瞳をうるませながら代表入りを喜ぶ姿に、お茶の間のファンもうっとりだ。

まだ 15 歳、正真正銘の美少女スイマーが、ロンドンの表彰台で可憐な笑顔を咲かせる瞬間に期待したい。

■フォトギャラリー リンク

- ・渡部香生子フォト一覧へ
- ・岩崎恭子フォト一覧へ
- ・女性アスリート写真特集

■関連記事リンク

- ・岩崎恭子が語る“バルセロナの真実とアトランタの転機” - 2008 年 6 月インタビュー前編
- ・岩崎恭子「オリンピックに対して、初めて前向きに考えられた」 - 2008 年 6 月インタビ

ユー後編

猫ひろしの五輪出場暗転、為末は「陸上選手の大半の反応は、え、それをアウトにしちゃうの？」

タレント・猫ひろし（本名：滝崎邦明）が、カンボジア国籍を取得し、同国のロンドン五輪男子マラソン代表に選ばれたと思われた矢先、状況が一転。五輪出場が認められない可能性が出てきた。

IAAF（国際陸上競技連盟）が、出場資格に疑問を投げかけ、カンボジアの陸上競技連盟などに説明を求めているというのだ。

今年から、選手の国籍変更に関して新たな規定を設けた IAAF は、国籍取得後 1 年が経過していない場合について、「連続した 1 年の居住実績」もしくは「国際陸連理事会による特例承認」が必要としている。

さらに、カンボジア陸連による「特例承認」にも、IAAF サイドは「重大かつ意義深い理由がなければならない」と述べており、承認のハードルは限りなく高いと言えそうだ。

カンボジア陸連の対応に注目が集まる中、14 日、日本を代表する陸上選手の一人・為末大は自身のツイッター（@daijapan）で興味深い発言を行っている。

「猫さんの五輪出場が危ぶまれている。国際陸連がルールを今年から厳格化させてそれに抵触する可能性があるそうだ。猫さんが国籍を変えて五輪出場しようとしている事自体についての、倫理的な是非論はさておいて、たぶん国際的な陸上選手の大半の反応は、え、それをアウトにしちゃうの？ だと思う。」

「国籍を売る行為というのはここ 10 年で増えてきた。主にはアフリカ等の貧困国のトップアスリートが、中東の国から金銭を受け取り、国籍を変えるパターンが多い。100m のアジア記録は日本人が持っていたけど、ナイジェリアからカタールに国籍を変えた選手が今は記録を持っている。」

「国際 GP で選手と話していると、いくらでオファーされたとか、10 年間毎月いくら入る契約とか、そういう話がごろごろしている。具体的な数字を聞いて、さすがオイルマネーだと仰天した事もある。だから倫理的な是非はともかく、陸上選手はこの手の話にはもう慣れてしまっている。」

「猫さんに関して国際的な陸上界からの意見は、どうでもいいがほとんどだろう。猫さんがいてもいなくてもほとんどの選手の順位は変わらないから。そんな事より、国際陸連が動い

た事で他の世界トップランカーの出場が認められるのかどうか焦点。やっぱりこの辺りはみんな倫理よりも現実を見てる」

「猫さんの場合の特殊性は1、先進国から途上国へ 2、トップ選手ではない の二点だと思う。先進国のタレントが途上国の枠を取り五輪を売名行為に使っている。国際的に問題があるのはこの辺りじゃないか。他にも実力的に並ぶ選手がいるし。あからさまな金の匂いがしないから余計に倫理的な問題に見える」

「日本でこれだけ騒がれるのは、日本人をやめて五輪に出場しようとしている人がいるという事、がかなり刺激的なんだと思う。日本では、特に五輪が近くなると殺気立った人達が出てきて、なんだか出兵する一等兵の気分になる。正直危ないなと感じる事もある。」立て続けにツイートした為末。一部では、猫ひろしの五輪代表辞退を求める声もあるが、国政に絡んだ報酬や、政治的な理由のため、帰化をする選手は増加の一途をたどり、もはや一元的に語れる問題ではなくなっている現状、選手の視点から率直な見解を述べた。

巨人の拙劣な采配に批判殺到、ノムさんも「根拠がサッパリわからない」

15日、ハードオフ新潟で行われたプロ野球＝巨人×DeNAの一戦は、11回裏、中村紀洋のサヨナラ2ランホームランが飛び出し、DeNAが劇的な逆転勝利を挙げている。

だが、巨人の度重なるお粗末なプレー、拙劣な采配にファンも怒り心頭だ。坂本の2度に渡るエラーがいずれも失点に直結した他、8回には先頭の長野が出塁すると、4番・阿部にまさかの送りバント。この犠打自体は成功するも、続く村田が敬遠されると、高橋由はまんと二ゴロ併殺に倒れる顛末となった。

挙句の果てには、サヨナラホームランを打たれた延長11回の場面。その前の10回には巨人バッテリーが敬遠で満塁策を取り、西村が後続の荒波をサードゴロに打ち取って、策が功を奏しているにも関わらず、11回になると、ワンアウト三塁で中村を迎えたが、ここでは敬遠することなく中村と勝負し、尚且つ、その2球目でサヨナラホームランを打たれている。

坂本のエラーはさておき、拙劣な采配を繰り返す原巨人。これにはネットの野球ファンも「意味がわからんわ」「敬遠しない理由ってなんや ゲッツーも狙えんし」「流石に中村勝負は理解不能、外野フライが怖いのに」「原は本当に何がやりたいんや」「おまけに(中村は)得点圏打率.750 だったのに 勝負させる理由はないわな」「敬遠をしておけば、次は0割打者梶谷 1割石川 代打もつかいきってた どう考えたら敬遠以外の選択肢ができるのか」といった批判のコメントを相次ぎ寄せている。

また、この采配については、TBS「S1」（15日深夜）でもプロ野球解説者・野村克也氏が呆れ顔。「やっぱり一番最後の巨人バッテリーの攻め。言いたくなりますよ。（満塁策は）誰でも考えることで。塁が二つ空いてる。そうすると、3人で勝負できる。一人に5球を費やす、それくらいの気持ちじゃないと。2球目に打たれているわけでしょ。中村の打者分析は出来てと思うんですよ。変化球をどう対応するか。中村あたりは早打ちで最初から山をはりませんよ。1球目真っ直ぐから入りましたよね。中村は何の反応も示していない。例えば、バッターの反応を見る、考えていることを見抜くには、スライダーが一番いいですよ。こう（スライダーが）きたのに対して、バッターがこう（打ちにいく構えを見せる）するのか、ギョッと見るのか。それによって2球目が決まることが多いんですよ。早すぎる。根拠がサッパリわからない」と、しっかりとプロの解説を入れながらも、巨人の采配は“理解不能”とした。

長澤まさみ似の美少女ダイバー・馬淵優佳が日本一に【画像アリ】

飛び込みの日本選手権最終日が、15日に東京辰巳国際水泳場で行われ、17歳の馬淵優佳が女子1メートル板飛び込みで初優勝した。

ロンドン五輪予選を兼ねた2月のW杯3メートル板飛び込みで予選落ちしたものの、すぐに気持ちを切り替え、素晴らしい演技を披露した馬淵。重圧から開放され、爽やかな笑顔で表彰台の一番上に立った。

中国人の両親のもとに生まれた馬淵は、その美貌から、「長澤まさみに似ている」「可愛すぎる」とネット上でもスレッドが乱立するほどの注目度。白く透き通るような肌に、本家長澤まさみに勝るとも劣らない屈託のないスマイルで、じわりと人気を集めはじめているブレイク秒読みの美少女アスリートというわけだ。

ロンドン五輪の出場枠獲得こそならなかったが、「伸びるところはあると思う。それを少しずつ伸ばして4年後に日本の代表として飛び込みをできればいい」と前を向いている。

・馬淵優佳フォトギャラリー

・「平成のマーメイド」は15歳、最年少の美女スイマー

・新記録でロンドンに乗り込む“バタフライの女王”加藤ゆか

・元日本代表・久保の長女が「かわいい」と評判

原監督の采配皮肉る落合氏にファンも同調

先週15日、DeNA・中村紀洋のサヨナラ2ランホームランで逆転負けした巨人は、今週からナゴヤドームに場所を移して行われた中日との3連戦でも負け越し。勝率は.375で5位。その要因には、原監督のチグハグ采配が指摘されている。

前述した DeNA 戦では、4 番・阿部の送りバントや、サヨナラのピンチで誰もが敬遠するであろう場面も、得点圏打率の高い中村と真っ向勝負し、被弾。18 日にも、5 回 2 失点で我慢のピッチングを続けていたホルトンに代打を送り、これが裏目に出るなど、ファンのストレスも日増しに増えている。

そんな折、19 日の「女性自身」は、元中日監督・落合博満氏による講演の発言を紹介する記事を掲載。原監督の采配を皮肉って、「(原監督が) 寝ていれば勝つ」と嫌味を述べつつ、「選手のプライドをズタズタにしてる」という指摘も行ったという。

この記事が掲示板で取り上げられると、ファン（ユーザ）は原采配の問題点を列挙。とりわけ、落合氏が“そのプライドをズタズタにしている”と指摘する選手起用については、「阿部にバントはねえよ、ねえ」「東野はマジで可哀想やと思うわ」「亀井の使い方がおかしくなったあたりからおかしなことしだしたな」「打てないのに、なぜか内野起用して本来の売りの外野守備まで殺したからな」「もっとコーチを大切にしたいと思った」など、具体的な選手の名前を挙げ、嘆いた。

19 日は、先発のゴンザレスが脇腹痛により 1 回で降板するなど、運にも見放されている巨人。20 日からのヤクルト 3 連戦では、どのような采配が見られるか、注目が集まる。乃木坂 46 に向けられた“大人気ない”ブーイング。サポーター & 企画した運営サイド双方に非難の声

今年 2 月にスカパー！J リーグのオフィシャルサポーター就任が発表された、AKB48 のライバルグループ＝乃木坂 46 は、21 日の J1 第 7 節、NACK5 スタジアム大宮で行われた大宮アルディージャ×浦和レッズ戦前にゲスト出演を果たした。

サッカー日本代表としてメキシコ五輪に出場した鈴木良三さんを大伯父に持つ斎藤ちはるや、元プロサッカー選手・宮澤ミシェルさんを父に持つ宮澤成良など、サッカーに所縁のあるメンバーも属する同グループは、左胸に「46」という番号が入ったユニフォーム姿でピッチに姿を表すと、公式応援ソング「左胸の勇気」を披露した。

だが“さいたまダービー”という両軍サポーターがいつも以上に猛り立つ試合前——、乃木坂 46 は登場時から主に浦和レッズサポーターから大ブーイングを浴びたばかりか、中には 14 歳のメンバーもいる乃木坂 46 が公式応援ソングを歌い始めると、同サポーターはチャントや鳴り物で妨害をはじめた。

今回の一件がネット掲示板上で取り上げられると、「レッズはダメだな w」「ブーイングがどうこうよりも、鳴り物まで使って必死にブーイングしてる自分を振り返ってだな 恥ずかし

くないのかな?」「中学生相手には可哀想だなw」「相変わらずレッズサポはJリーグのイメージを悪くすることしかしねえなw」といった大人気ないサポーターへの苦言と、「まあサッカーファンも試合前にこんな見たくない気持ちもわかるな」「フットボールにかこつけて変な名前の女が宣伝に出てきたらそりゃ叩かれるわ」「スポーツファンってこういうヲタっぽい嫌悪してるだろ マジでこれ企画したの誰だよ」といった企画自体に対する非難まで様々なコメントが寄せられた。

それでも、一部メディアにコメントした斎藤ちはるは「何も反応がないよりは、反応をもらえただけでうれしかったです」と健気に語り、また、他のメンバーもブログでこの日の日記をアップするも、ブーイングの“ブ”の字にも触れず。若月佑美に至っては「・乃木坂ファミリー以外の人達にどうしたら受け入れてもらえるか。・サッカーファンの方にどうしたら盛り上がり上がってもらえるのか。沢山考えさせられました。沢山学びました」と前向きかつ気丈に綴っており、観戦側と運営側、配慮が足りなかったといわざるを得ない双方の姿ばかりが浮き彫りとなった。

江川氏、DeNA 中畑監督に「僕は中畑さんが詰まっていくのがすごい怖い」

横浜 DeNA ベイスターズ・中畑清監督と、プロ野球解説者として活躍する江川卓。長きに渡って巨人を支えてきた、盟友といえる二人の対談の様子が、日本テレビ「Going! Sports&News」(22日分)で放送された。

開幕から一ヶ月が経とうとしている現在、中畑監督は「野球をやれる喜びみたいなものを感じる。スグー緊張感。現役の時は自分の世界だけでいい。監督の立場でやる緊張感は別世界だね」と興奮気味に話す。

ただし、蓋を開けてみると、ベイの定位置ともいえる下位に甘んじている現状に、「ある程度、オープン戦とかも内容は悪くなかったじゃない。ちょっとした自信みたいなものがあって……」と切り出すと、江川氏は「すぐ調子にのるからね。すぐに自信持ちちゃうからね」と冷やかしたが、中畑監督は「そのお陰であの開幕戦はうまくいった気がするのよ」と苦笑い。

また、3戦目で挙げた初勝利について「もう一年間の戦い方みたいなものが分かっちゃったみたいな」という中畑監督に、江川氏も「分かっちゃうんだ。1回勝つと」と呆れ顔で尋ねたが、案の定、中畑監督は「ああ、これだみたいな。流れが読めちゃって。それがドツボのハマりだよな」と自虐的に笑う。

その後、今月6日に訪れた広島戦(ノーヒットノーランで敗戦)に言及すると、「マエケン、いいピッチャーだね。パワーピッチャーに対して手も足も出ないっていう。本当にスイマセ

ンって謝るしかない。だってしょうがないじゃん、もう。チームとして最高責任者の私の中に無策。与作と言ってもいいんだけど」とオヤジギャクを絡めつつ、「元気じゃ打てないね」と反省の弁を述べた中畑監督。打てない DeNA 打線については「例えばね、自分が現役時代にバットを短く持ったり、打席の位置を変えたり、工夫するんだけど、そういう工夫をうちの選手たち、案外少ないな」と苦言を呈す場面も。

その最後に、江川氏は「僕は中畑さんが詰まっていくのがすごい怖い。負けた回数が増えていくと、詰まっていくのが嫌だな」と心配そうに声をかけると、中畑監督も「本当に苦しい」と返し、かつての盟友に本音をチラリ。江川氏は「月に一度、訪問させて頂く」と提案すると、「卓の顔見ると落ち着く」と嬉しそうに語った。

統一球問題、NPB コミッショナーに対するファンの批判も、ダルビッシュの意見で一変！？
今月 24 日、日本プロ野球選手会会長を務める阪神タイガース・新井貴浩は、日本野球機構との事務折衝を行い、昨シーズンより公式使用ボールとして導入された統一球について見直しを訴えた。

“飛ばないボール”と揶揄される Mizuno 製のボール導入により、昨シーズンのホームラン数は、さらに前年となる 2010 年シーズンから両リーグ合計で 666 本も減少、今シーズンも「投高打低」といわれる状態が続いている。

だが、翌 25 日、日本野球機構（NPB）加藤良三コミッショナーは、一部のメディアに対し「大リーグのボールより日本の統一球の方が飛ばないという認識はない」「選手にはプライドを持ってやってほしい」などとコメントするや、ネットの掲示板上では「統一球が間違っていないというプライドは捨てろ」「間違いを認める勇気が足りない」「サッカースコアはもういらんのか！」といったコメントが相次ぎ寄せられ、中には、ストライクゾーンやバット、審判について言及するファンも見られたが、加藤コミッショナーの発言を支持する者はほとんどいなかった。

すると、26 日には、テキサス・レンジャースのダルビッシュ有が自身のツイッターで『統一球の問題、選手会から見直して欲しいと NPB にあったみたいだけど自分も見直すべきだと思いますね。日本の野球の中で選手が正当に評価されない。ただ「統一球よりもメジャーの球の方が飛ぶ」みたいな意見は違うと思う。確実に統一球の方が飛びます。』と発言し、状況が一変する。

“飛ぶ飛ばない”という点について、奇しくも加藤コミッショナーと同じ見解を示したダルビッシュ。同コミッショナーの発言に批判一辺倒となっていた掲示板上は、別のスレッドが立ち上がり「ダルが言うならダルの言う事が正しいな」「ダルだってキャンプでバッティング

してたしどっちが飛ぶかは分かるでしょ」「体感した選手が言うならそうなんだろう」「バッターの方に聞きたい」「メーカーのデータ的には統一球の方が飛ぶ」など、明らかに論調は変わり、その影響力の大きさを感じさせるものとなった。

これ以降、“飛ぶ飛ばない”の点については、ファンの間で様々な検証方法が意見交換された統一球問題。“（MLB 公式球と比べ）確実に飛ぶ”としながらも“見直すべき”とするダルビッシュの新たなツイートでは「2010 年までの物に戻せばいいかと」とも述べており、その理由も気になるところだ。

「泣いてんのかこれ」、「熱すぎる」アナウンサーが劇的結末に大興奮

26 日、Yahoo! JAPAN ドームで開催されたプロ野球・ソフトバンク×西武の一戦は、2 点を追いかける西武が 9 回 2 死満塁の場面、米野智人が SB の守護神ファルケンボーグから逆転満塁ホームランを放ち、劇的な幕切れとなった。

福岡ソフトバンクホークス（公式）ツイッター（@HAWKS_official）では『最終回はもちろん、B.ファルケンボーグ大先生。ここまで、8 試合登板で 8 セーブなんだぜえ？ 防御率は 0.00 だぜえ。ワイルドだろ〜？』と呟き、絶対的な信頼を寄せられた元メジャーの剛腕を打ち砕いた米野。昨季よりヤクルトから移籍をするも、これという結果を残せず、今季より捕手から外野手にコンバートもした苦労人の一発だった。

すると、「文化放送ライオンズナイター」において、この試合の実況を担当した、大の西武ファンとしても知られる斉藤一美アナウンサーは大興奮。何度も絶叫し、また、号泣しているような声で実況を行い、ネットの掲示板上では「熱すぎる」と話題になった。

米野のホームランが飛び出すや、「入ったーーーーー！ 米野ガッツポーズ！ 移籍後初アーチだ。ファルケンボーグ相手の満塁ホームラン！ 米野ホームイーヒイーン。逆転ライオンズ、五対サアアアン」と叫び、その途中から泣いているようにも聞こえる斉藤アナ。「移籍後初アーチが、Yahoo! JAPAN ドームで。繰り返してすいません、ファルケンボーグ相手の満塁ホームラン。パリーグの内規では、ベンチの中にみんなが下がってハイタッチしなければいけないんですが、全員そのルールを破ってベンチの外。ハイタッチの嵐。米野一号満塁ホームラン。ライオンズとうとう逆転です。みたか、これが決意のコンバート。プロ野球生命を賭しての一振りだ」と続けた。

これには掲示板上でも「泣いてんのかこれ」「泣いてるじゃねーか
wwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwww」「ワロタ」「西武愛に溢れているからな」「さすが日本一やんちゃんな野球中継」など、隠さず感情を露わにした斉藤アナに好意的なコメントが多く寄せられ、斉藤アナ自身も試合後のツイッターで「興奮冷めやらず 2 時間半の睡眠で起床で

きてしまい驚いています。僕でこれですから米野選手はギンギンで眠れなかったかもしれませんね」と感想を述べた。

・youtube 動画はコチラ

・2012 年 04 月 26 日 福岡ソフトバンク vs 埼玉西武 6 回戦

12

「これは可愛い」 佐々木希の後継、ブレイク必至の新 EURO ガール

今夏 6 月 8 日からポーランドとウクライナで共催される『UEFA EURO 2012 サッカー欧州選手権』を生中継する WOWOW が、4 年に一度のサッカーの祭典を盛り上げるために、モデルの日南響子を“EURO ガール”として起用すると発表した。

26 日には前回大会の EURO ガールで、現在大ブレイクを果たした佐々木希から EURO ガール継承式も行われ、日南は「サッカーのことはまだ分からないので、これから勉強していきたいです。私は前回覇者のスペインが優勝すると思います」と応えている。

日南は、雑誌「ニコラ」のモデルを経て、現在は「non-no」専属モデルとして人気を博す 18 歳。大手芸能事務所スターダストプロモーションが放つ超期待の若手だ。清純なイメージでありながら、初の水着写真集「デジタル写真集 日南響子」ではバニーガールの際どいコスプレでスタイル抜群のボディも披露するなど、セクシー路線もいける。

ネット掲示板でも、硬派なサッカーファンによる辛らつなコメントも見受けられたが、「これは可愛い」「のぞみんより可愛い」「おいおい、日本の 2 トップの揃い踏みじゃねえか。。。」「といった意見も多く、概ね好評の様子。先輩佐々木希のようにブレイクすること間違いなしの新 EURO ガールが、夏の祭典を盛り上げる。

・日南響子 フォト一覧

・佐々木希 フォト一覧

丸山桂里奈、なでしこジャパンのゴールに笑顔なく「すごく複雑な気持ち」

ロンドン五輪では、カナダ、スウェーデン、南アフリカと同じグループ F に入ったサッカー女子日本代表＝なでしこジャパン。ドイツ W 杯の覇者として、メダル獲得を至上命令とされているが、同 W 杯では 21 人だった代表メンバーも、ロンドン五輪では 18 人になるため、本戦を前に、その代表争いにも大きな注目が集まっている。

なでしこリーグも開幕し、3 試合を消化。選手によるアピール合戦はすでにはじまっており、

とりわけ選考ライン上にいる選手にとってはなんとしても、佐々木則夫代表監督の目に留まりたいところ。

そんな折、ドイツ W 杯ではシンデレラガールの一人になり、一躍その名を日本国内に轟かせるも、現在は当確ラインのギリギリで焦りを感じている選手がいる。丸山桂里奈だ。

ドイツ W 杯における準々決勝のドイツ戦では決勝ゴールを決め、優勝後は天真爛漫なキャラクターもあってか、メディアに引っ張りだこ。CD デビューや水着姿を披露するなど、タレントばりの活動で人気（時に賛否）を呼ぶも、昨年 9 月のロンドン五輪アジア最終予選で右膝前十字じん帯損傷し、全治 6 カ月という過酷なりハビリ生活を余儀なくされた。

28 日深夜、日本テレビ「Going! Sports & News」では、そんな丸山にカメラが密着。彼女の“今”を伝えた。

トレーニング中、「筋力が弱い。右と左、全然違うんですよ、太さ。結構、ビックリする。2cm くらい違う」と右膝を見せた丸山。今季からスペランツァ FC 大阪高槻へ移籍し、引越しもしたが、その夜、丸山の新居に置かれたテレビでは、なでしこジャパン×ブラジル代表の親善試合が流れていた。

試合では永里優季が勝ち越しゴールを決めると、これを観ていた丸山は「決めた。永里。オーナイス」と呟くも、表情に笑顔はなく、どこか寂しそう。番組のカメラには「ここで勝たなきゃいけないというのもあるし、でも、フォワードの選手がゴールを決めたら焦る気持ちもあるから。すごく複雑な気持ち」と胸中を明かす。

また、気になる代表選考については、「ノリさんもあんまり戻ってないと思ったり、不安があるんだなって思ったらメンバーに選ばないと思うし。そこは自分がすごい不安だったり、怖い部分もあるけど、やるって決めたら本当に頑張りたいと思います」と前向きに意気込んだ。

■関連リンク

- ・全治 6 カ月、代表入りが危ぶまれる丸山にかけた澤の言葉とは？
- ・なでしこ・丸山の母が語る、子育ての秘訣

■好評フモフモコラム 丸山桂里奈関連エントリー

- ・カリーナ VS ロリータ！丸山桂里奈さんが新ジャンル「ゴツロリ」を生み出した件。
- ・丸山桂里奈さんが歌手デビューするまで放置していた自分を反省するの巻。

・なでしこ JAPAN・丸山桂里奈さんがテレビで全力 AKB コスプレ披露の巻。

“テコンドー界のエリカ様”平成生まれの美少女アスリート＝笠原江梨香に注目集まる
ロンドン五輪開催まで 100 日を切り、日本国内でも各競技で次々と代表選手が決まっている。そんな中、サッカーやマラソンといった花形競技に比べれば、些か注目度は落ちるものの、可愛いルックス＋確かな実力でテコンドーを一躍注目競技に押し上げているのが、女子 49 キロ級を牽引する大東文化大学女子テコンドー部のエース＝笠原江梨香だろう。

多彩な蹴り技を駆使して、有効打撃によるポイントを競うテコンドー。女子では、シドニー五輪の銅メダリスト（女子 67 キロ級）岡本依子が、後のアテネ五輪でテコンドー国内競技団体の分裂騒動に巻き込まれ、出場が危ぶまれる事態となり、当時大きく報道された。

現在、女子テコンドー界最注目選手である笠原は、今年 2 月 26 日に駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で行われた第 5 回全日本テコンドー選手権大会で堂々の優勝。すでにロンドン五輪代表の座は決まっていたが、プレッシャーに負けることなく圧倒的な実力を誇示、改めて勝負強さを見せ付けた。

切れ長の目とモデルのような整った顔立ちから、一部スポーツ紙などでは“テコンドー界のエリカ様”といったキャッチが付けられるほど。試合中鋭く刺さるような迫力を醸し出すも、時折見せる笑顔はあどけなく、その辺にいる年頃の女の子のそれとなんら変わりはない。平成生まれの 22 歳＝現役女子大生美少女格闘家が、ロンドンの地で花開くか。

・笠原江梨香フォトギャラリー

・「これは可愛い」 佐々木希の後継、ブレイク必至の新 EURO ガール

・長澤まさみ似の美少女ダイバー・馬淵優佳が日本一に

・「平成のマーメイド」は 15 歳、最年少の美少女スイマー

結束空しく一敗地に塗れた男子柔道、五輪代表は不本意な選出に？

日本武道館で開催された柔道全日本選手権（29 日）は、鈴木桂治、上川大樹、高橋和彦ら 100 キロ超級代表候補が次々と敗れ、本来なら 90 キロ級選手である加藤博剛が優勝するという、かつては日本のお家芸といわれた重量級勢にとって屈辱の結果が待ち受けていた。

そんな大会前夜となる 28 日には、日本テレビ「Going! Sports & News」で番組恒例企画＝食事会の模様が放送された男子柔道（重量級）勢。出演したのは篠原信一監督、井上康生コーチ、窪田和則コーチに加え、上川大樹、鈴木桂治、高橋和彦、立山広喜の選手 4 名だ。

北京五輪の惨敗で責任を取る格好となった斉藤仁氏の後任として男子日本代表監督に就いた篠原監督。厳しい指導風景ばかりが強く印象に残るも、井上コーチは「厳しい中に愛があ

るってことじゃないですかね」と語り、選手らに「監督に言われて一番嬉しかった言葉は？」と尋ねた。

すると上川は「世界選手権で優勝して握手した時はすごい嬉しかった」と、立山は「去年の合宿中に三人打ち込みで払い腰がピタッと決まった時に“それ試合で掛けれたら強いぞ”って言われた。あまり褒められたことなかったの」と、それぞれ語り、これには篠原監督も「すいません、特上ローズ」とご機嫌の様子。

また、2004年アテネ五輪の金メダリスト・鈴木は「現役ちょっと被っているんで、色々と技を教えて貰った時もあった」と話すと、篠原監督は「負けて怒れへんから。内容が悪いと怒るねん。だから、桂治の場合は怒り辛い。何かしたろっていうのが見えるやろ」と語り、ここで食事会はお開きとなっていた。

だが、そんな男子柔道勢の結束も空しく、厳しい結果となった今回。代表は5月12日&13日に福岡で行われる全日本選抜体重別選手権後に決まるが、北京五輪後、ポイントによる世界ランキング制が導入され、その資格を有していなければ代表に選ばれることはできない。

ゆえに、今回優勝した加藤は（90キロ級の世界ランキングで規定となる22位以内には入っておらず）ロンドン五輪代表の選考外となり、大会後「3人から選ぶしかない」と苦渋の決断を迫られる篠原監督が語っている通り、（結果を残せなかったにも関わらず）代表に選ばれた選手にとっても不本意な選出となる可能性が高い。

今大会で右肩鎖関節脱臼の重傷を負った鈴木の世界別選手権出場は絶望的だが、周囲を納得させる結果をもって代表を選出し、重量級復活へと導くことはできるのか。まさに正念場を迎えた。

多田野、山なりの超スローボールで話題も風当たりは今も厳しく・・・

1日（火）、札幌ドームで行われたプロ野球公式戦＝ソフトバンク×日本ハムの一戦は、松田宣浩のタイムリーツーベースで2点を先制したソフトバンクが、7回に逆転を許すも、9回に日ハムの守護神・武田久を打ち崩し、5-3で勝利を挙げた。

注目は、今季3試合目の登板となった日ハム・多田野数人だ。変則的なフォームから打者にかく乱する投球術が特徴の元メジャー戦士は、6回に松田を打席に迎えるや、その2球目に山なりの超スローボールを投じた。

一部では40キロ台とも言われる超スローボールを投げたかと思えば、次の投球では変化球でアッサリとストライクを奪う。完全にタイミングを外された松田は、結局中途半端なバッ

ティングでフライを打ち上げ、解説者も「一回（超スローボールで）目線を上げられている松田選手はスイングさせて貰えませんでしたね」と語る。

この「ただのボール」と呼ばれる超スローボールが飛び出すと、ネット掲示板でも「汚い球だなあ・・・」「出た！」「球速表示は出ません（驚き）」「たまげたなあ」など、表現こそ違えど“待ってました”とばかりにユーザのコメントが寄せられた。

かつては六大学野球屈指の投手という評価で、ドラフトの目玉になるはずだった多田野。だが、当時卑猥なビデオに出演したことが発覚し、球団が指名を取り下げる格好で日本のプロ野球界入りは叶わず。米国へ移ることを余儀なくされるほどのスキャンダルを起こしたことから、今もネット掲示板では彼に対する風当たりは厳しい。それでも類稀なる投球術は必見の一言。防御率も1点台と安定し、好調日ハムを支えており、斎藤佑樹とはタイプの異なる“魅せる実力派投手”としてファンの期待も高い。

挫折とスランプに苦しんだかつての天才少女ウィー「スポーツ選手は誰もがジェットコースター」

3日より、茨城ゴルフ倶楽部で開幕するワールドレディス・サロンパスカップには、宮里藍、有村智恵、横峯さくらといった日本勢に加え、かつて女子ゴルフ界の超新星として一躍人気となった韓国系アメリカ人＝ミシェル・ウィーが出場する。

2005年に15歳でプロ転向を果たすと、翌年には世界ランキングで2位にまで上り詰めた天才少女も、2007年に手首を負傷するや、以後の大会では結果を残せず、世界ランキングは大きく後退。はじめて味わう挫折とスランプで、苦しい2年間を過ごす結果となった。

大会前日となる2日、日本テレビ「NEWS ZERO」では、ミッシェル・ウィー「波乱のゴルフ人生」として、ホラン千秋キャスターが彼女に行ったインタビューの模様を伝えた。

「さっきまで銀座にいた」というウィー。インタビューの冒頭では「高校時代に4年間、大学時代に2年間、日本語を勉強した」といい、「寿司。私はアジが大好き。ウニと」と日本語を披露する。

また、本題に入ると、スランプ脱出のきっかけを、「高校を卒業して大学に入る時でした。スタンフォード大学1年の時にその状態から抜け出しました。友人たちは私が立ち直れるように応援してくれたんです。友人たちは私がゴルフをしていても、していなくても、別に気にしないんです。私自身のことを気にかけてくれるので、とても感謝しています」と振り返り、2009年にロレーナ・オチョア招待で復活の優勝を遂げた一戦についても、友人たちによるサポートのお陰とし、「とにかく嬉しかったです。それ以外の感情はありません。優

勝できて幸せでした。とにかくホッとして嬉しかったです」と話す。

「スポーツ選手は誰もがジェットコースターに乗っているようなもの」というウィーは「とても高揚している時ととても落ち込んでいる時があって平坦なところを歩んでいる時がありません。怪我をした時、とても悲しみましたが、それでは良くないと気付きました。一番大事なことは今を楽しむこと」と語る。3日の茨城はあいにくの空模様だが、どんなプレーを見せてくれるのか期待が集まる。

・ミシェル・ウィー フォトギャラリー

中村俊輔が明かす、W杯最終予選「一番アウェーらしいアウェー」とは？

来月3日より、W杯アジア最終予選に挑むサッカー日本代表。いよいよ迎える決戦を前に、テレビ朝日「Get Sports」（29日深夜）では「蒼きサムライたちの証言」として、中村俊輔のインタビューを放送した。

サッカー解説者・中西哲生氏が聞き手となった行われたインタビュー。アジア最終予選の印象について、「まあ、単純に厳しい」と切り出した中村は「プレッシャー、色んな。アジアの中では勝たなきゃいけないっていうか、勝って当たり前っていう風になってきているんで。そのプレッシャーが一番やってる方としてはやり辛い」と彼独特の口調で説明した。

また、長きに渡って日本代表の「10番」を背負ってきた男は、「10番」に求められる資質を「存在感があってゲームを決めれる人じゃないですか。点を獲るでも、ゲームを作るでもいいんですけど」と語り、ドイツW杯時にはじめて経験した“最終予選”を振り返ると、（開催国ドイツを除き）世界で最もはやくW杯出場を決めるも、最終予選第二戦ではアウェーのイラン戦で敗れており、「（一番難しかったゲームは）イランのアウェーかな。今までのなかで一番アウェーらしいアウェー」と明かす。

その理由について「声援が凄すぎてアップしてても、ここ（隣）の声が聞こえないんですよ。プレッシャーもありましたし、ファンからの圧力もありましたし、やり辛かったです」と話した中村は、「アウェーのなんていうんですか、圧力っていうかプレッシャーに負けないで普段通りのプレーをするのは多分無理」と言い切り、「焦って判断が鈍って、来てないのに来たと思って蹴っちゃったり。絶対ミスはするんですよ、アウェー行くと。それをすぐに修正できるチーム力は大事」と見解を述べた。

また、南アフリカW杯では、日本を4大会連続出場に導くも、本大会ではスタメンから外されている中村。「単純に一選手として悔しいっすよね。自分も出れなかったし、今までのサッカーでダメだから自分が出して貰えないっていうのは。自分の能力がない。でも合って

と思いました。W杯で勝つんだったらこれしかない。この方がいいサッカーだと思った。いいサッカーって何だろう。勝ちに近い、かな」と悔しさを滲ませながらも、チームにとっては良い選択だと割り切っていたことを明かし、「受け入れなかったら帰ってた。これもまた修行だと思って。今まで逆に僕を信頼してくれたんで。その分、外されても応えなきゃと思って」とも。これから“最終予選”に臨む現代表には、「レベルは上げれるチャンスかもしれない。緊迫した試合が続くんで。W杯にも繋がるし。チームが一丸となるチャンス。戦術とかより濃くなる。それができるメンバーだと思う」と期待を寄せた。

なでしこに続くか。和田アキ子も注目する「さくらジャパン」が五輪切符を獲得

5日、岐阜県グリーンスタジアムでは、ホッケーのロンドン五輪最終予選第11日が行われ、日本女子代表「さくらジャパン」が3大会連続となる五輪出場を決めた。女子決勝では、世界ランク15位のアゼルバイジャン代表に5-1で勝利し、快勝での切符獲得となった。

バルセロナ五輪から予選に参加し始めた女子ホッケー代表は、2004年のアテネ大会で初めて出場権を獲得。いわゆるマイナー競技の部類に入るが、アテネへの出場を機に知名度が高まり、芸能界の大御所和田アキ子らのサポートも受けて着実に力をつけてきた。

2007年に、北京五輪に向けて愛称を募集。全国から寄せられた多数の応募の中から、「親しまれ、愛され、気品と優しさを持つチームになれ」という願いを込め、日本を代表する花「さくら」の名にちなみ「さくらジャパン」となった。

中川未由希や林なぎさら、美人選手たちが鮮やかな赤のユニフォームをまとって戦う姿は、まさに麗しき「さくら」の愛称に相応しい。サッカーで一大旋風を巻き起こした「なでしこ」に続き、「さくら」が世界の舞台で咲き誇る瞬間に期待だ。

・さくらジャパン フォトギャラリー

・中川未由希 フォトギャラリー

・林なぎさ フォトギャラリー

日本代表専属料理人、美人料理研究家・森崎にダメ出しされるも・・・

人気サッカー番組＝テレビ東京「FOOT×BRAIN」（5日放送分）では、日本代表の専属料理人＝西芳照氏、美人すぎる料理研究家＝森崎友紀がゲスト出演。日本代表を「食」の観点から支える西氏がその裏側を語った。

1999年にJヴィレッジ総料理長に就くと、2004年のアテネ五輪最終予選におけるU-23集団腹痛・下痢事件をきっかけに、専属料理人を必須と考えたサッカー協会から要請を受けた西氏は、ドイツ＆南アフリカW杯にも帯同している。

「(日本代表の専属料理人となる前は) 監督によって付けるか付けないか、監督判断ですね」という西氏。世界各国で行われる代表戦出場選手達の食事については、サラダ一つをとっても「国や地域にもよりますけど、水には一番気を遣いますね。最初、泥とか砂、土とかを洗い流して、その後、塩素で消毒して、水道水で流してミネラルウォーターで洗って出す」という手間のかけっぷりだ。

また、メニューについて、「サッカー協会のほうから、こういう感じでいってくれと。例えば、昼なら肉 2 品、魚 1 品、あと温野菜、パスタと御飯、味噌汁とかオーソドックなものですね。基本はビュッフェになってまして、選手が自分の体調とか嗜好にあわせて考えながら摂って貰う」と説明すると、ここで森崎が「身体を作るってことを柱とするなら、栄養士的な観点からいうと、一人これだけ食べましょうっていうカロリー計算。栄養バランスを確立したものを出すのが私達の仕事なので、こういう風には出さないかな」とダメ出しする。

だが、「これですね」と両腕でバツェンを作った西氏は、「選手は自分の身体を自分で管理している。何百試合という試合をこなしてきているわけで、そこは自分で管理するのが一番いい。極端なことをいえば、嫌いなものを出されて食べられないがためにパフォーマンスを発揮できないということにもなりかねない。明日試合がありテンションが上がっている状態で無理やり食べろと言われるよりは、リラックスできる、安心できる状態を作っていたほうがいいんじゃないか」と反論した。

さらに、適時適温で料理を提供するため、食事を摂るスペースの一角で、その場で調理をする「ライブクッキング」も行っている西氏。これが好評で、W 杯ドイツ大会の宿舎を決める際、ジーコ監督（当時）から唯一出た条件が“ライブクッキングができるホテル”だったという。その他にも、ザッケローニ監督から、「試合直後に選手たちがパスタを食べれるようにしてほしい」といった要望があったことを明かし、「炭水化物の摂取ですね。30 分以内に摂ることによって疲労を残さないっていうのがありますから。ロッカールームにパスタを運んでくれと（現在はおにぎりを提供）。海外では普通ですね」と語った。

「自分でいうのもなんですけど・・・」体操・田中理恵、急成長の理由明かす
今月 5 日に開催された体操 NHK 杯で、田中和仁（26）、田中理恵（24）、田中佑典（22）が揃ってロンドン五輪出場を決め、大きな話題となった。

すると、7 日放送のテレビ朝日「報道ステーション」では、スポーツキャスター・松岡修造氏が理恵を直撃。「圧勝で決めた初の五輪 田中理恵 24 歳の急成長」として、彼女のインタビューの模様を伝えた。

「兄と弟は金メダルを日本団体に獲るのが目標で、私個人としては団体にできるだけメダ

ルに近い色を獲りにいけるように皆で頑張りたい」と意気込んだ理恵は、「すごい注目度だと思いませんか？」という松岡氏に、「思いました。皆の期待に負けないように頑張りたいから。皆と勝負する感じで今は突っ走ってます」と返答するも、すぐさま「誰と(勝負する)?」と突っ込まれながらも、「応援してくれている方々が期待している気持ち」と笑顔で説明した。

NHK 杯の得点では、昨年の成績と比べてみても、実に 4 種目中 3 種目で得点を伸ばしている理恵。「自分でいうのもなんですけど、この年になって技は増やせないなって思ったんです。小さい子たちがガンガン技をするのは若いし元気もある。自分も 24 歳ですけど、体操界でしたら、大技をするとかここから技を増やすのはリスクが高い。ケガにも繋がる。勝つためについて考えた時に E スコアを上げるしかない」といい、技の難度を評価する D スコアよりも、完成度や表現力を評価した E スコアで、完璧な着地を目指すなど努力を重ねていると語る。

また、「オリンピックの選考会というのはまた違う緊張感があって、怖さもあって。常に平常心になるトレーニングをいつもやってきた。しゃべってます、自分と」と明かす理恵は、演技の直前にブツブツと独り言を呟き、「やってきたからいける」などと自分に言い聞かせているという。

・田中理恵 フォトギャラリー

わざとアウトになる楽天に怒りの声が噴出

10 日、K スタ宮城では、プロ野球公式戦＝埼玉西武ライオンズ×東北楽天ゴールデンイーグルスの一戦が行われた。

試合は、3 回までに 6 点を積み上げた楽天が 4 回まで 6-2 と大量リードをするも、この辺りからいつノーゲームになってもおかしくほどに雨脚が強まった。すると、一刻も早く試合成立となる 5 回表までゲームを進めたい楽天は、4 回裏に聖澤諒が振り逃げにも関わらず早々にベンチに引き上げる。さらに、高須洋介がヒットで出塁をするも、怠慢な走塁でタッチアウトに。にもかかわらず、ベンチでハイタッチを受ける。続く松井稼頭央は 2 ストライクから明らかに無気力なスイングで自ら三振し、チェンジとなった。

勝利のためとはいえ、悪天候の中、球場に足を運んでくれたファンの前で、自らアウトになり回を進めた楽天。これにはネットの掲示板や、該当するプレーを編集して公開した YouTube のコメント欄でも「せめてフルスイングぐらいして三振しろよ w」「無気力野球」「露骨すぎ」「ヒット打つといて牽制死とは」「やるにしてももうちょっと上手くやれよ w w 露骨すぎる w」「これは後で痛い目にあう」「大雨の中観ていたファンのこと考えてますか」

「松井始球式かよ ww」といった怒りや呆れた声が噴出した。

結局試合は、天候が徐々に回復し 9 回まで行われ、一時は逆転を許した楽天がガルシアの本塁打で競り勝つ格好となった。仮にそのまま西武に逆転負けを喫していたなら、間違いなく大炎上となっていたであろう楽天の怠慢プレー。理由はどうあれ、ファンの前では常に全力プレーを願いたいものだが――。

・問題の 4 回裏ダイジェスト動画 - YouTube

12

「チャンスはある」 ベッカムがロンドン五輪で代表復帰か
メジャーリーグサッカーのロサンゼルス・ギャラクシーに所属するイングランドのスーパースター＝デビッド・ベッカムがロンドン五輪で代表復帰か――？

12 日（土）深夜放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、「貴公子ベッカム（37）ロンドン出場の可能性を直撃」と題し、ロンドン五輪の OA（オーバーエイジ）枠でベッカムの代表復帰の可能性を伝えている。

というのも、ロンドン五輪では、4 つのナショナルチームに分かれている、北アイルランド、ウェールズ、スコットランド、イングランドが 52 年ぶりに統一チームとして出場することになり、そのまとめ役として白羽の矢が立ったのが、豊富な経験と強いリーダーシップを持つベッカムだという。

「自分にとっては全ての試合が大切だし、全力でプレーしないといけない。その中で五輪代表に選ばれたら素晴らしいことだ」と話すベッカム。

現地時間 5 日に行われたギャラクシー×レッドブルズ戦では、イギリス代表・ピアース五輪監督も視察に訪れ、ベッカムもフル出場でアピール。その試合後には「監督がこの試合を観にきたのは五輪代表の選考のためだと思う。監督は今後もヨーロッパに何人かの選手を観にいくと思うけど、アメリカまで観に来てくれたのは僕にとっては有り難い」と語っており、また、五輪出場のためには「これからも一生懸命プレーして、コンディションを整えていくことが必要。良い状態を保ち続けていけば五輪代表のチャンスはある」（同番組翻訳より）と前向きに捉えているようだ。

中澤佑二、中東勢との対戦振り返り「すごい恐怖心が出てくる」

来月3日より、オーストラリア、イラクなど強豪国を相手に幕を開ける W 杯アジア最終予選に臨むサッカー日本代表。テレビ朝日「Get Sports」（13 日深夜）では「蒼きサムライたちの証言」として、横浜 F・マリノスに所属し、南アフリカ W 杯最終予選時にはキャプテンを務めた中澤佑二のインタビューを放送した。

2006 年のドイツ、2010 年の南アフリカと、2 度の W 杯最終予選を経験している中澤。「ドイツの時は自分よりも経験のあるプレーヤーが沢山いましたし、僕よりも年齢が上の選手達が多かったので、ある意味任せてた。2010 年に関しては、僕はもう年齢が上のほうですし、逆に若い選手達を引っ張るというよりは、支えていかないといけないのかなと」と振り返る。

自身がチームを牽引する立場となった前回最終予選について、中澤は「若い選手達も大なり小なり、色んなプレッシャーを感じていたと思います。僕らがピリピリしちゃうと、下もピリピリしちゃうので。とにかく練習を楽しくやろうと。どんなゲームが待ってても、練習の雰囲気だけは良くしていこうということしか頭になかった」と明かし、事実同最終予選では、若いメンバーが活躍して世界最速で W 杯出場を決めている。

また、最終予選で警戒すべき点を、「中東の選手とはやる機会が少ないので、ブラジル人とかヨーロッパの選手はちょいちょい J リーグに来ますけど。やっぱり日本人とはプレイスタイルが違いますし、身体能力がものすごく高い。（中略）とにかくカウンターのケアで頭が一杯ですよ。繋いでくるっていうよりは、ドカンと蹴って足速いやつとか身体の強いやつが競りにくるというのが面倒くさかった」という中澤は、DF の最終ラインと GK の間にロングボールを落としてくる中東勢のカウンターを挙げ、「（日本は）ハーフウェイラインくらいまで上がっている。それをキーパーが（前に）出れないところにボールを落とされて、追いかけては嫌ですよ。あとはキーパーしかいなくなっちゃうので。その一つのミスから失点に繋がる、すごい恐怖心が出てくる」と自身の体験も交えて語った。

だが、現在のザックジャパンについては、「今の日本の代表は、オフェンスがものすごく力がありますので、必要以上に（DF が）後ろから上がっていかなくても大丈夫。ドリブルで突破できるプレーヤーが沢山います」と太鼓判。豊富な攻撃陣を擁してることから、明るい見通しと示した中澤は「困ったらマイクが居たりしますんでね。サイドからしっかりと良いボール上げれば、アジアでマイクになかなか勝てるっていうプレーヤーはいないと思うので」とも話した。

「プライベートでも炎上」西武・涌井に女性スキャンダル発覚

18 日（金）発売の写真週刊誌「フライデー」に、埼玉西武ライオンズ・涌井秀章投手のス

クープが掲載されることが分かった。

同誌の広告には『涌井秀章「ベッドで撮られた無防備な姿」』という見出しが躍り、『一日 30 通もメールを送り札幌旅行に呼び出した美女が、"沢村賞投手の下半身"を激白！』との補足説明が添えられていることから、女性絡みのスキャンダルとされる。

昨年、杉崎美香アナウンサーとの熱愛が報じられるも、僅か 3 ヶ月のスピード破局となった涌井。本業の野球面でも、肘の負傷に悩まされた昨季に続き、今季も開幕から 3 連敗。最近ではプロ入り初のリリーフとして起用されるなど、最多勝 2 回を獲得した西武不動のエースにしてみれば不本意な状態から抜け出せずにいる。

低迷するエースを襲った久々のスキャンダル。この記事がネット掲示板で紹介されると、ユーザからは「プライベートでも炎上」「はめられたか」といった嘲笑するようなコメントも見られたが、一体どのような内容となっているのか。同誌の発売が待たれる。

- ・西武・涌井と杉崎美香のスピード破局、その原因は？

- ・涌井秀章投手を復調させるための具体的方法

亀田興毅が愛を叫ぶ。結婚式は「なんか夢見てたみたいな感じ」

日本時間 17 日（木）、ボクシング WBA 世界バンタム級王者・亀田興毅は、ハワイのコオリナ・リゾートの教会で、中学時代の同級生＝伊東美香さんと結婚式を挙げた。

中学 2 年生の頃から 11 年間付き合い、一途な愛を育んできた二人。その名前が出るまで、美香さんは「絢香似の彼女」として紹介されることも多く、去年は番組の企画で興毅にラブレターを書き「ホンマ自慢の彼氏です」と綴り、興毅が照れて真っ赤になる場面もあった。

結婚式を終えると何度もブログを更新しては、ファン＆関係者へ感謝の意を述べつつ、美香さんへの深い愛情を伝えている興毅。「(美香さんと) 今まで 12 年間ここまで一緒に来て、こんなに幸せそうな顔を見たのは初めてで、その顔を見た瞬間、俺も今日が一番幸せな日になった」と“彼女の幸せ＝自分の幸せ”と喜んだ。

また、18 日には結婚式から 4 回目となるブログを更新。「結婚式から一夜明け、なんか夢見てたみたいな感じ」と切り出すと、「あんなに嬉しそうな、幸せそうな顔を見てこっちまで、ほんまに幸せな気持ちになり、めっちゃ嬉しかった」、「12 年間ここまでずっと俺は世話になりっ放しで、ほんまに色々と苦勞もかけてるから、ハワイで結婚式が出来てほんまに良かった」と、美香さんへの愛を繰り返し綴るのだった。

- ・ 亀田興に、絢香似の彼女がラブレター “ホンマ自慢の彼氏です”
- ・ 亀田大毅が敗れた世界戦に衝撃秘話 「全てアニキが悪い」
- ・ 興毅、彼女にサプライズした過去を告白

岡崎慎司、本田圭佑との再会にも「あいつも 8 点獲って、僕は 7 点なんで」

W 杯アジア最終予選が来月 3 日より幕を開ける。18 日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、日本代表 FW として活躍が期待される、シュトゥットガルト所属・岡崎慎司が生出演を果たした。

ドイツでの生活を「最初よりは慣れたと思いますし、会話とか。コミュニケーションの取り方とかも掴んできた」と話す岡崎だが、シュトゥットガルトのチーム内では“キレキャラ”だという。

その理由を「あんまり日本で怒ったことなかったんですけど、ドイツ人と話すときすごい怒ってしまうんですよ。それがなんか“また怒った”みたいな感じで（チームメイトが）盛り上がるという」と説明した岡崎。2 年目のシーズンを振り返ると「自分としても、チームがどうやったらうまくいっていいのを考えてながらサッカーやってたし、それが最後の連勝に繋がった。そういう意味では自分がやれてるなっていうのを感じましたが、目標の 10 点に届かなかったんで、ストライカーとしては納得いかない」と成果と課題を口にした。

また、現在は 9 名の日本人選手が活躍するドイツについて、「北のほうにいる（香川）真司とかウッチー（内田篤人）とか辺りは、あんまり行けないですけど、（細貝）萌あたりは同級生なんで話しますし、遊びに行ったりもしました。（酒井）高德はチームメイトなんで話しのできるのでもやりやすい」と話しつつ、今季のドイツ・ブンデスリーガにおいて大活躍だった香川には「同じ日本人として優勝することが素晴らしい。自分はストライカーとしてドイツにきたので、あいつもより点獲りたいと思っていたので悔しい気持ちもある」とも――。

さらに、9 カ月ぶりに代表復帰を果たした本田圭佑との再会では、「久しぶりに会ったので色んな話もしました」という岡崎は「あいつも 8 点獲って、僕は 7 点なんで負けてるっていう。復帰できていることは同じチームメイトとして嬉しく思う」と話し、W 杯最終予選に臨むにあたっては、「本当に大事な試合。自分としてチームとしても、ゴールが必要になる。ゴール獲ることでチームとして安心感が出る。自分の役割としては大きい」と気を引き締めた。

渦中の香川真司にインタビュー、「ズバリ次のチーム、話を伺いたい」

20 日放送、NHK「サンデースポーツ」では、山岸舞彩キャスターが日本代表・香川真司に行ったインタビューの模様を放送した。

ドルトムントでは、シーズン 13 得点を挙げ、チームの 2 連覇に貢献した香川。現在は移籍に関する報道が連日伝えられており、その去就に大きな注目が集まっている。「すごい充実したなと感じるので。代表戦もあるんで、代表終わってから余韻に浸りたいなと思います」。ブンデスリーガ連覇も、W 杯最終予選が続くため、息つく暇もない様子の香川だが、山岸キャスターは「ズバリ次のチーム、話を伺いたいと思うんですけど」と単刀直入に話を切り出した。

すると香川は「いやー、まだ正式発表もないですし、してないですし。僕自身まだ決まっていないので、まだ何とも言えないです——けど、チャレンジしたいなって気持ちは強いんで、何らかの発表があるまで待って貰えたら嬉しい」と回答する。

また、ドルトムントでの戦いについては「勝負所で点が獲れるというのは、自分自身こだわっていたところでもあったので、自分一人で勝敗が変わるくらいの気持ちで毎試合臨んでいたんで、そういう意味では、責任感っていう意味では、今年は特にあったんじゃないかなと思う」と振り返りつつ、愛着の生まれたチームを去ることには「サッカー選手としてももっともっと上手くなってレベルアップできているので、ただそれだけです」と語った。

さらに、プレミアリーグのマンチェスター・ユナイテッドを率いるアレックス・ファーガソン監督と 2 時間話したという香川。「すごい気さくで優しい。雰囲気はすごいオーラを感じましたし、70 歳っていう年齢には見えない大人の人でしたね。（一緒にやりたい？）まあ、そうですね。もちろん、チャレンジできたらいいんですけど、本当に大事な次へのステップという意味で決断はしっかりと下さないと」と言うに留め、プレミアリーグについては「プレミアっていうのは一番のリーグなのかなって感じるんで、チームを見ても上位はすごいチームが多い」と話した。

インタビューの後半では、「本当に大事な時であると思っているので、その分、しっかり悩んで決めたい」と念を押すように繰り返す香川。「まあ、若ければ若いほど僕はいいのかなって思ってるし、その分、成長するスピードもありますから。そういう意味では自分の年齢を考えると、若くはないと思ってるし、ただ、ここで失敗は出来ないと思っているので、大きなチャレンジになるとは思うんですけど、それをさらにいいキャリアにするためには結果を残していくしかないんで、自分を信じてやるだけなのかなと思います」と意気込んだ。

- ・「ついにエアオファーか」香川のマン U 移籍報道に
- ・「結果を残して 1%でも近付けたら」香川真司が夢を語る
- ・ミニスカ姿に苦情？ 山岸舞彩アナに「肩さんもいよいよメジャー」

斎藤佑樹、自己評価は厳しく——

19日、マツダスタジアムでは、プロ野球交流戦＝広島×日本ハムが行われた。斎藤佑樹は、6回4安打1失点と好投するも、対する野村祐輔は7回を5安打無失点という見事なピッチング、大学時代にも対戦している両者の投げ合いは野村に軍配が挙がった。

それでも、12日の登板では自責点9と大きく崩れたものの、エースの自覚か、しっかりと立て直してきた斎藤。19日深夜放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、試合前の斎藤をプロ野球解説者・黒木知宏氏が訪ねた。

取材相手となるプロ野球選手には、ボディタッチをして筋肉の付き具合などを確認する黒木氏。この日も斎藤の指先をチェックするや「いいと思います」といい、「ちゃんとマメが出来ているから」とその理由を話した。

この日の取材は、黒木氏が4項目を5段階評価で採点する自己採点表を持参し、斎藤に記入をさせるというもの。項目は「投球術」「球威」「コントロール」「精神力」となっている。

これを「投球術＝3」「球威＝2」「コントロール＝2」「精神力＝3」と、控え目に書き込んだ斎藤は、「まず何を基準にして5（段階）にしたらいのかって考えたんですけど、その基準がなかったんで、自分のMAXのいい状況を5だとした時の今の状況」と前置きしつつ、「（コントロールについて）もっといい時は5の筈なんですけど、フォアボールが圧倒的に多いので。（球威は）変化球も含めての球威なので変化球をもう少しグイッと」と自己評価は厳しく——。

また、球威については「ファウルとか空振りが取りたいですね。真っ直ぐで」と語った斎藤は、「見逃し三振はたまにありますけど、空振り三振が真っ直ぐでっていうのはあまりないので取ってみたいです」と意気込んだ。

■関連リンク

- ・斎藤佑樹、野村祐輔と投げ合うも、好投報われず | 2012NPB ペナントレース
- ・達川光男、田尾安志は解説でどんなことを話しているか | 野球報道
- ・「うちのゆうちゃん」

澤穂希が不安を吐露、めまい症から復帰も「まだ20～30%くらい」

19日深夜放送、日本テレビ「Going! Sports & News」では、良性発作性頭位めまい症の発症から2ヶ月あまり——、現在は復帰を果たし、ロンドン五輪でのメダル獲得を目指す澤穂希が当時の様子を番組カメラに語った。

「もう靴の紐を結んでただけでクラッときて、ちょっと気のせいかなって感じだったんですけど、それが続くようになって。夜に寝ようかなと思ったら立ち上がれなくなって、すぐにドクター呼んで貰って。寝るは寝れるんですけど、寝る角度、上向いたり横向いたりすると、ずっと高速回転で普通に歩けないっていう感じでした」という澤は「いつ治るか、はっきり分からないですし、再発する可能性もあるっていう不安との戦いでもありました。ちゃんとサッカーができるのかなっていう不安がすごいあった」と、この時の心境を吐露した。

その後、なでしこリーグ開幕 2 戦目で途中出場ながら試合復帰、ヘディングも見せ回復をアピールしつつ、20 日の新潟レディース戦では、3 試合連続でフル出場するに至っている。

それでも、「自分が 100%ベストを出せる状態からって言ったら、まだ 20~30%くらいですかね」と不安を口にする澤。日々の予防策については、「耳からなんですよ。耳の気圧の変化とかで変わるので、特別な耳栓があるので。新幹線とか飛行機に乗る時には必ずそれを付けるとか。息を止めないとか、力まないとか。鼻をかむときとか気を付けて下さいってめまいの先生に。耳栓付けるんですけど、その耳栓が一回の旅行で一回しか使えないんで。しかも高いんですよ。1 個 1000 円くらいなんです。毎回買わなきゃいけないっていう」と苦笑い。

改めて、この 2 ヶ月間を振り返った澤。「自分がサッカーが好きで早くやりたいという気持ちになりましたし、外から見て色んな選手のプレーだったり、チームの状況とか。外から見て学ぶことも沢山あった。マイナスに考えれば、その 2 ヶ月はしんどかったですけど、ポジティブに考えれば、色んなことを考えられて、色々見直せた。いい意味ではいい 2 ヶ月間。休息もできたので、よかったかなと“今は”思います」と「今」を強調することで、逆に当時の不安な様子をうかがわせた。

■関連リンク

・澤穂希を襲った「良性発作性頭位めまい症」とは？

宮市亮、ボルトンで活躍も「本当に毎日が憂鬱」

6 月 3 日、埼玉スタジアム 2002 で開幕するサッカーW 杯アジア最終予選。今月 23 日には、静岡スタジアムでアゼルバイジャンとの国際親善試合を行うが、タレント揃いの現日本代表メンバーの中でも特に注目を集める存在が、19 歳・宮市亮だろう。

21 日深夜、フジテレビ「すぽると！」では「宮市亮 独占インタビュー 真のワンダーボーイへ!!」と題し、ボルトンで活躍する宮市に行ったインタビューの模様を放送した。

ボルトンでの活躍を予測できたかと訊かれ、「正直、予測してなかった出来事ですし、自分自身活躍しているとは思ってない」と答える宮市は、「まあ、本当に毎日が憂鬱というか、自分のプレーが出せないとやっぱり憂鬱な時がありました」とも――。

それでも、ティエリ・アンリがアーセナルに期限付きで復帰を果たすと、「丁度、ケガをした時期に、ティエリ・アンリ選手が（アーセナルに）入ってきたのが、自分にとって大きなことだった。大事なところで、瞬時のスピードでキュッと動いて点を獲る。自分もお手本としている選手なので、あの人たちと練習できて、自分にとって大きなものとなりました」といい、自身の転機になったと明かす。

また、今年1月31日からレンタル移籍先のボルトンで試合経験を積み重ねている現状、FAカップでは衝撃的な初ゴールを奪い、大きな話題になったが、「スピードっていう単純な面でいくと自分は劣ってないかなっていう、むしろ上回っているんじゃないかって感じます」と話す宮市。代表での戦いについても、「トッププレーヤーたちとやってきた自信というのは、日本代表に帰っても、どこの国とやっても自信というものは失われたいと思います。自信を持ち続けてプレーしていく方がいい方向に向かっていく」と静かに話した。

“東洋の美女”軍団が東京の空に舞う

女子バレーボールのロンドン五輪世界最終予選が東京体育館で行われている。

23日、宿敵＝韓国と対戦した全日本女子は、韓国のエース＝キム・ヨンギョン一人に34点を獲られた上、1セットを奪うに留まり今大会初黒星。3勝1敗とし、勝ち点では2位に後退した。

だが、あと1勝で五輪切符獲得に王手がかかる全日本女子は、この日の反省を糧に、残り3戦に全力を尽くすことだろう。次戦はキューバが待ち構えるなど、厳しい戦いは続くも、彼女達の不屈の精神に望みを懸けたい。

それにしても、今大会の全日本女子チームはまさに美女選手の百花繚乱状態だ。女王・木村沙織を筆頭に、デビュー当時の若槻千夏に似ていると評判の新鍋理沙、狩野舞子に迫田さおりと、新世代の旗手たちが美しい容姿とさわやかなプレーで観衆を沸かせている。

全日本女子チームは、かつて「東洋の魔女」の異名を取り、1964年の東京五輪で金メダルを獲得。圧倒的な強さで世界のバレーボール界にその名を轟かせた。彼女たちの遺伝子を受け継ぐ現在の全日本女子チームは、さしずめ「東洋の美女軍団」か。逆境をはね返す、華麗なプレーで東京の空を舞い、ロンドン行きの切符を掴み取る。

- ・ ロンドン五輪世界最終予選 大会フォトギャラリー
- ・ まさに才色兼備、187cm の“美白の壁”がロンドンを引き寄せる
- ・ 若槻千夏に激似!? 女子バレーのニューヒロイン新鍋理沙
- ・ 木村沙織の恥ずかしいエピソードをチームメイトが暴露

大麻密輸容疑で NOSAWA 論外と紫雷イオが逮捕。イオ姉は絶縁状態を告白

千葉県警は 24 日、メキシコから乾燥大麻約 75 グラムを密輸しようとしたプロレスラー・NOSAWA 論外（本名：野沢一茂容疑者）と、女子レスラー・紫雷イオ（本名：大館昌美容疑者）を大麻取締法違反などの現行犯で逮捕していたことが分かった。

両者は、自画像の絵と台紙の間に大麻を隠して成田空港へと持ち込んだが、自画像については「ファンから貰った」などと容疑を否認しているという。

NOSAWA 論外は、昨年 2 月にも仙台市内で泥酔し、無免許でタクシーを乗り逃げして逮捕されるなど、当時主戦場としていた新日本プロレスからは無期限の出場停止の処分を受けていた。

また、美人姉妹レスラーとして活躍する紫雷イオは、実姉・紫雷美央とのコンビ＝紫雷姉妹として多くのプロモーションに参戦するも、一年ほど前に姉妹コンビは解散。紫雷イオは、愛川ゆず季らが属するスターダムに参戦するようになった。

今回の逮捕を受け、姉の美央は自身のブログを更新。

「妹がこのような事になってしまい大変動揺しております」と切り出すと、

「妹と行動を別々にして一年弱。その間、彼女との会話は無いに等しい状態で、彼女は自分の活動を教えてはくれませんでしたし、私がマスコミさんのコメントで妹の事を語るのを嫌がり、私との関係を全て断ち切りたいと行動を別々にするときに言われ、彼女ももう子供では無かったので彼女の自主性を尊重していました」

「別行動をとるようになってから、プロレスに対する考えかたや性格の違いから姉妹としての関係にも亀裂が走り、家族としての会話もほとんど無くなってしまいました」などと姉妹コンビ休止後は、絶縁状態だった関係を告白。

「今考えると、この時に突き放すのではなく、彼女に歩み寄ったり彼女の行動を理解してあげてたらよかったと後悔しています」と後悔の弁を綴った。

- ・ ポスト風香の一番手 紫雷姉妹
- ・ あの「華麗なる転職美女」23 人の今 (3) 愛川ゆず季 グラドル→女子プロレスラー
- ・ 愛川ゆず季 フォトギャラリー

大麻所持で逮捕されたプロレスラー、レスラー仲間は擁護

24日、千葉県警はプロレスラー・NOSAWA 論外（本名：野沢一茂容疑者）と、女子レスラー・紫雷イオ（本名：大館昌美容疑者）を大麻取締法違反などの現行犯で逮捕していたことが分かった。

両レスラーは、自画像の絵と台紙の間に大麻を隠し、メキシコから乾燥大麻約75グラムを密輸しようとしたとされるが、「（自画像は）ファンから貰った」などと容疑を否認しているという。

NOSAWA 論外については、昨年2月にも仙台市内で泥酔し、無免許でタクシーを乗り逃げして逮捕される前科もあるだけに、ファンや関係者の目も厳しいものに。だが、レスラー仲間は、そんな彼を擁護するコメントを発表している。

鈴木みのるは、自身のブログで「今はまだ何も分からない状況だ」として、「この場で、これだけは言いたい。勝手に落ち込むな。勝手に悲観的になるな。勝手に怒るな。勝手に決めつけるな。勝手に悪にするな。今はまだ何も分からないんだから」と綴りつつ、「アイツが「やってない」というんだから…やってね〜だろ…」と締めた。

また、TAKA みちのくも同様、自身のブログで「否認してるならそれを信じるしかないよな何があろうと相棒は相棒だから」というコメントを残しており、今後の取り調べの成り行きにも注目が集まる。

- ・大麻密輸容疑で NOSAWA 論外と紫雷イオが逮捕。イオ姉は絶縁状態を告白
- ・ポスト風香の一番手 紫雷姉妹
- ・あの「華麗なる転職美女」23人の今（3）愛川ゆず季 グラドル→女子プロレスラー
- ・愛川ゆず季 フォトギャラリー

南キャン・山里、しずちゃんの挑戦にあった過度な重圧や卑劣な取材行為を明かすアマチュアボクシング女子でロンドン五輪出場を目指すも、その夢は叶わなかった、お笑いコンビ・南海キャンディーズの“しずちゃん”こと山崎静代。2008年よりボクシングをはじめ、五輪を目指すアスリートとしては、異例ともいえる短い競技経験ながら、重量級選手が極めて少ない現状もあり、五輪出場挑戦は大きく前進していた。

だが、競技人口や背景はどうあれ、しずちゃんの努力は紛れもなく本物だ。過度なプレッシャーや、中には卑劣な取材行為もあったという、その過程について、27日放送、TBS「さんまのスーパーからくりTV」で相方・山里亮太が語った。

「（周囲から）“少ないからチャンピオンになったんだろ”、“試合しないで優勝してるんだろ”

って（言われ）。だからそのプレッシャーから逃げるために、あの子はどんな空き時間でも練習してないと、そのプレッシャーに押し潰されちゃうんですって。だから舞台と舞台の間がたった 30 分しかなくても、15 分間走りに行っちゃったり」と、重圧と戦うしずちゃんの様子を話した山里。

4 月には、週刊誌上で「MRI 検査で脳に『影』」と報じられるなど、一部ではバッシングに近い報道も増えるようになったが、この時を振り返った山里は、「はじめてなんですけど、あの時期にあの子から“ちょっと話があるんだけど”って言われて、“ちょっと今記事で色んなことを書かれて辛い状況にある”と」と切り出した。

「例えば、家をロードワークで出ようと思ったら、バッって急に人が寄ってきて、携帯のカメラで顔の 10cm くらいのところまでカメラ近付けて“いやーよかったですね。これで辞める言い訳が出来ましたね”とか。（記者の人が？）そう。それを（しずちゃんが）“辞めて下さい”って、こうやって（払うように）やったら、こっちの方からカメラで撮るんですって。携帯電話をこうやって、眉間にしわを寄せている顔を撮る。こういうのに慣れてないから、どうしたらいいんだって」

「僕はもうシンプルな方法なんですけど、とりあえず全部笑っとけばいいんじゃないって。人が怒ってる顔や、嫌がっている顔は、みんなグワッと気持ちをかきたてられて、嫌なこと書けるけど、笑顔に対しては嫌なことは書けないから。“何がきてもずっと笑ってたら？”って。（しずちゃんは）“うん、分かった”って言って、次の記者会見の時にずっと笑ってたんですよ。で、ボケたんです」

こう語り、上記の報道によって開かれた病状報告会見でしずちゃんが笑顔を見せた理由を明かした山里。「怖いんだと思う。みんな敵だと思っちゃってる。一人でも多く味方がいることを知ることが、しずちゃんが一番リラックスに繋がると思う」と続け、普段は芸人として笑いをとる立場ながらも、この時ばかりは相方への愛情を感じさせるような真剣な表情で彼女の五輪挑戦を振り返った。

「自分から好きとは言う子じゃなかった」 浅田真央の幼少時代を知る番組 AD とは？
日本テレビ「おしゃれイズム」（27 日放送分）では、フィギュアスケートの浅田真央がゲストで出演した様子が放送された。

競技中の陰しい表情とは異なり、トーク中は笑顔の絶えない浅田。大好きなカラオケについては「小塚（崇彦）選手と自分とお姉ちゃん（浅田舞）とよく行きますね。3 人で」と明かし、その楽しみ方は「みんな結構、個々それぞれ自由な感じで歌って。自分のことばかりで聴いてないみたいな」と大笑い。

その他にも、目を二重（ふたえ）にしておどけてみせたり、ウインクが出来ないことを嬉しそうに明かすなど、トークを楽しんでいる様子の浅田は、自分の趣味を「よく買ってしまうものなんですけど。スイーツの本とかグルメの本とかを買っちゃうんですよね。沢山」と説明しながら、「実際、これ（本）買って行ったところないんですよね」と自らオチを付ける場面も。

また、着物姿の写真を公開すると「前髪を下ろそうと思っても、5歳の頃からスケートで（前髪を）上げてるじゃないですか。だから、前髪作っても下りてこないんですよね。ちょっと悩みなんですけど。イメージチェンジしようと思って美容院行くんですけど、行った二日くらいはいいんですけど、もう頭洗ったら全部（前髪が）後ろに行っちゃう」と意外な悩みも告白した。

さらに番組の後半では、16年前、初めて出場したスケート大会後、姉・舞と安藤美姫と友人との4人で撮影された写真が紹介された浅田。番組レギュラーの藤木直人が「彼女（友人）が今何をしているかご存知ですか？」と尋ねると、「分かんないです」と呟く浅田に、藤木は「テレビ番組でアシスタントディレクターをして。今日、実はこのスタジオも手伝いにきてくれてるんです」と話すや、あるADの姿が目にとまった浅田は「いたっ！」と大きな声を挙げた。

ここでADの松村早葵さんが紹介され、浅田と対面、「久しぶりー」と手を振り、両手で何度も高速タッチを繰り返す幼馴染の二人。「（スタジオに）ずっといた？ずっといた？」と驚く浅田に、松村さんは「でかくなったよね」と一言。ADには絡みやすいのか、上田から「君がちょっと太り過ぎたんじゃないかな？」とさっそくツッコミが入るも、松村さんは「2年目なんですけど、その前は『さんま&くりいむの個人情報グランプリ』を（担当していた）」と話すと、覚えていない上田は「お、おう」と苦笑い。

また、幼少時代の浅田について、「いつも舞とケンカしてた。お互い練習をさぼってると“ママに言いつけるよ”ってケンカしているイメージ」と話した松村が「小さい頃から上手いなーとは思ってた」と続けると、案の定、上田から「偉そうに言うな」とツッコミも――。

それでも上田は松村さんに「真央ちゃんは人気あったでしょ？」と尋ねると「（真央は）自分から好きとは言う子じゃなかったの」と返答。上田が改めて浅田に「自分から好きと言ったりは？」という話を振ると「あんまり出会わないですね。ないです、ないです。（小塚選手は恋愛対象ではない？）そうですね」とキッパリ。その最後、松村さんが彼氏とラブラブであることが明かされると、松村さんは浅田に「ちょっと後で聞いてよー」と話しかけ笑

いを誘った。

■関連リンク

・アイスショーに姉妹で参加【写真ギャラリー】 -2005 年 6 月

・特注ドレスで登場、21 歳の浅田真央【写真ギャラリー】 -2012 年 4 月

女子バレー・眞鍋監督 「女性の集団は疲れます」

バレーボール・ロンドン五輪世界最終予選が、27 日に東京体育館で行われ、全日本女子はセルビアを相手に試合こそ敗れたものの、2 セットをとり勝ち点 1 を得たことで、3 大会連続の五輪出場を決めた。

同日深夜、TBS「S1」には、ロンドン五輪出場を決めたばかりのバレーボール全日本女子メンバーが出演を果たした。すると、同番組の名物でもある、野球解説者・野村克也氏の「ノムラ・田中のボヤキ部屋」に、全日本女子・眞鍋政義監督が飛び入り参加をすることとなった。

司会の爆笑問題・田中裕二から「少しは不満というか、普段言えないことがあるんじゃないですか？」と訊かれるや、眞鍋監督は「今日は言っているいいですか？」と断りを入れる。

すると、「女性の集団は疲れますね。疲れますね。いや、もう男子と違って本当に疲れます。全てが疲れます」と、具体的な説明こそなかったものの、「疲れる」という言葉を連発。男子チームの監督経験もある眞鍋監督に、野村氏が「どこが違うのかね？男子チームと。(野村氏が女子監督はやるのは?) いや、お手あげ。自信がない。色気が出ちゃうから。(恋をすると) 女性の間で揉めるでしょ。監督もこんだけいたら、好きなタイプの子いるでしょ？」と、自分に対する質問に答えつつ、巧みに話題をすり替え、眞鍋監督にズバリ――。

これには、選手の目前ということもあり、両手を広げ「(好きなタイプの子は) 全くいないですよ。いませんよ」と強く否定した眞鍋監督。それでも野村氏は「そんな筈ないね。男だもん」とおどけたが、結局、眞鍋監督が“疲れる理由”は分からず終い。最後は「本大会、ロンドンではメダルに挑戦します」と意気込みを語った。

金本知憲、怒りおさまらず「僕が一番腹が立ったのは・・・」

28 日、甲子園で行われたプロ野球公式戦＝阪神×埼玉西武の一戦で、阪神・金本知憲が代打で出場するも、見送ったボールをストライクとされ見逃し三振に。言い争いになり、飯塚富司球審に詰め寄るという場面があった。

報道では、金本が「低いでしょ」とコースの確認をしたところ、飯塚球審からは「偉そうに何を言うんだ」という返答があり、この言葉が金本の怒りに火をつけたという。

言った言わないの議論になっている今回の一件だが、29 日、金本は自身のブログにおいて「あり得ない。」と題し、日記を更新をすると、あり得ない。

あり得ません、昨日の審判。はっきりと「お前、何を偉そうに言うとりんや」僕、「そんな言い方ないでしょ？」

みんなが集まってくると審判、「そんなこと言ってない」

僕 「は？はあ？ 今、言ったじゃないですか？」

審判「俺は言ってない」

ってな感じ。

と綴り、その後半部分は、

僕が一番腹が立ったのは「お前、何を偉そうに言うとりんや」ではなく今、たった今自分が言った事を言ってない！ って惚けたことです。

ましてや、マスコミの取材に対しても言ってない、覚えてない！ とは何事なんだろう？

ってことは僕が審判に言われてもない事を捏造した嘘つきになります。

もし審判の口がテレビカメラに写ってたら口の動きで何を言ったか専門家に分析してもらいたいものですね。

僕はジャッジではよっぽどでない限り怒ったり食い下がったりはしません。

と怒りの理由を明かした。今日 30 日のロッテ戦では、3 試合ぶりにスタメン出場が濃厚とされる金本だが、今回の怒りをバットにぶつけることはできるか。

■関連リンク

- ・上から目線にキレた金本 球審は「威嚇するようなことは言ってない」

・「そう、言われたよ」金本 一夜明けても球審への怒り収まらず

ペナルティ・ワッキー、W杯で遠藤が決めたフリーキックの裏話明かす

31日放送、テレビ朝日「アメトーーク」では、「サッカー日本代表応援芸人」として、土田晃之やペナルティら人気芸人が登場、代表選手たちに対するそれぞれの想いや、3日から開幕するW杯アジア最終予選の見所などを熱く語った。

番組中、ペナルティ・ワッキーは、友人でもあるガンバ大阪・遠藤保仁から、2010年6月のW杯南アフリカ大会におけるデンマーク戦で決めたフリーキックの裏話を直接本人から聞いたというエピソードを話した。

「実は僕、昨日大阪だったんですけど、遠藤選手と二人で飲みに行ってるんです」と切り出したワッキーは、「ワールドカップのデンマーク戦でフリーキック決めたじゃないですか。あん時の裏話があって、あれ、今野（泰幸）選手が前の日にヤットさん（遠藤の愛称）がシュートを決める夢を見たらしいんですよ。それをデンマーク戦の前に、遠藤選手に伝えにいった“実は昨日ヤットさんが決める夢を見たんだよね”って言って、フリーキック決めたじゃないですか。で、決めた後に（遠藤が）ベンチの方に行くんですよ。その時に今野選手が“ほら、ほら見たことか”みたいな、そういうのがちょっとだけ映ってるんですよ」と明かした。

すると、番組では改めてVTRを検証、遠藤の得点後、一瞬だがドヤ顔で遠藤を向かい合う今野が確認され、これには、司会の宮迫博之も「完全に顔が皆と違ったな。（他の選手は）“やったー”なのに、（今野は）ほら（って顔をする）」と驚いた様子で話した。

ロンドンで騎乗する美人お嬢様ライダー＝武田麗子とは

日本馬術連盟が30日にロンドン五輪代表8人を発表した。

馬術といえば、1964年に開催された東京五輪に出場を果たし、今後のロンドン五輪で自らが持つ日本人選手史上最高齢記録を塗り替える71歳での出場となる法華津寛の名が広く知られているが、今回のロンドンでは紅一点、27歳の武田麗子が代表に選ばれ大きな話題となっている。

武田薬品元会長の愛娘という“超”のつくお嬢様である武田は、甲南女子高1年のときから大阪の杉谷乗馬クラブに通い、騎乗技術を磨いた。その颯爽たる騎乗もさることながら、注目はその美貌だ。

今回の代表入りで大きく露出されると、一部ネット上では「美人すぎる馬術選手」「美女ライダー」とその美しさを絶賛するコメントが乱立。“美人すぎる”というフレーズも月並みとなったが、決して言い過ぎではない、正真正銘の美女アスリートがそこにいる。

ロンドン五輪代表入りに、「言葉にできないくらいうれしかった。涙が止まりませんでした」とコメントした武田。愛馬アリとともに、ロンドンの地で金メダルを目指す。

・武田麗子フォトギャラリー

日本代表、W 杯最終予選初戦は 50 点!? 「あまりにもオマーンが弱かった」

3 日、埼玉スタジアムでは、サッカーW 杯アジア最終予選が行われ、日本代表が本田圭佑、前田遼一、岡崎慎司のゴールでオマーン代表に 3-0 で快勝した。

同日深夜、テレビ朝日「やべっち F.C.」では、サッカー解説者のセルジオ越後氏、松木安太郎氏、名波浩氏が、日本ーオマーン戦を振り返り、3 項目で試合評を述べている。“100 点満点での採点”“評価ポイント”“Man of the Match”をフリップに書き出した 3 解説者。その評価&コメントは下記の内容となった。

■名波氏

採点：90 点

評価：攻守の連動

Man of the Match：本田

「今日のゲームは、日本代表強いなっていう印象を強く受けたので。素直な点数ですね。(攻撃は) 非常に連動性と流動性がありましたよね。守備に関して、特に両ボランチとセンターバック、この 4 枚がスライドも早くて、スライドしたカバーのあと、前にアタックできる。前にチャレンジできるので、カバーリングの人間も判断しやすかった。ボールを取りにいく取りどころも徐々に確定しだして、選手の中で合致したんじゃないか。(本田は) 先制点をきっちり仕留めてくれた。非常に簡単そうにやったボレーですけど、実は難しい。得点後のパフォーマンスも含めてリラックスした 90 分だったなと感じましたね」

■松木氏

採点：70 点

評価：2 点目の時間

Man of the Match：岡崎

「今日の相手、点差を考えると、70 点満点の 70 点かなと。2 点目の時間帯。今後厳しいゲームになってきますと、1 点目とか 2 点目の追加点が時間帯によっては流れがガラッと変わってしまう可能性がある。もっと早めに。この相手であれば、早めに 2 点目が欲しかった。(Man of the Match は) 前線からのディフェンスだとか、色んな選手たちにいい影響を与える岡崎選手のプレーぶりがチームを引っ張った。攻守に渡って彼の献身的な動きという部分では、今後、本田選手や他の選手の名前が出てくるけど、岡崎選手にあげたい」

■セルジオ氏

採点：50 点

評価：勝ち点 3

Man of the Match：本田

「辛口という看板ですけど、50 点というのは、日本がダメじゃなくて、あまりにもオマーンが弱かったと僕は思います。ここに、あれくらい弱い相手、シュート 0 の相手に高得点をあげるといえるのは、これからの予選のためにもよくない。前半 1 点獲ってから、かなりペースダウンした。もっと点獲れた。本田が常にスポットライト浴びれば、中継の時のインタビューもよく答えてくれるし、これは大事じゃないかな。やっぱり意識が高い。点獲りたいといいながら点を獲るんだから、今の日本代表としてすごく大事じゃないかな」

■関連リンク

- ・日本代表戦評～“勝てばいいのか？ザック流”
- ・川島、長友、遠藤ら主要選手の声。吉田は「長谷部が～、嬉しさのあまり～」
- ・清武「残念です」、細貝「自分の実力がこれだということ」 途中出場メンバー、試合直後のコメント

「香川と本田はどちらがエース？」 サッカー解説者・松木氏の答えは？

3 日、埼玉スタジアムで行われた、サッカーW 杯アジア最終予選で、日本代表はオマーン代表を相手に 3-0 で完勝。翌朝のフジテレビ「めざましテレビ」には、サッカー解説者・松木安太郎氏がゲスト出演を果たし、試合を振り返った。

コーナーの冒頭より、松木氏は「一戦目にしては本当に 3 ポイント取れたことが大きい。なんといっても得点の時間帯がよかった」「あのチームだったら、あと 2 点はイケた」などと興奮気味に語ると、ここでサポーターからの質問が VTR で紹介された。

まずは、「香川と本田はどちらがエース？」という問いに、「二人いることで分散するんですよ、向こうのディフェンスが。どちらがエースというよりも、お互いが連動し合う。昨日のゲームでも二人の連動がすごく光ってた。どちらといわず、二人がいなきゃダメというのが僕の答え」と回答した松木氏。

続いて、「宮市（亮）の起用法」を訊かれると、「スピードのある選手。途中から出てリズムを変えられる選手ということで、今後、厳しい予選を考えると絶対出番がある」とコメントするが、ここでフジテレビ・生野陽子アナが「女子的にみても、宮市選手は注目なんですけど、性格とかっていいんですか？」と唐突に質問を加えた。

これには「僕はあんまりよく知らないんですけど、いいでしょ？」と苦笑いを浮かべる松木氏、フジのスポーツ番組ではお馴染み三宅正治アナも、「どこに視点を持とうとしているんだ？」とツッコミを入れた。

ハーフナー・マイク、番組のはからいに「変な汗出るわ」

今月3日、埼玉スタジアムでは、サッカーW杯アジア最終予選が行われ、日本代表が本田圭佑、前田遼一、岡崎慎司のゴールでオマーン代表に3-0で快勝。幸先よい滑り出しとなった。

次戦は8日のヨルダン戦となる。今回のオマーン戦では出番こそなかったが、この先に待ち受ける厳しい戦いにおいて、日本代表のピンチを打破できる力を持った一人が、ハーフナー・マイクだろう。

6日放送、テレビ朝日「報道ステーション」では「ザック JAPAN の"切り札"194cm ハーフナーマイク」と題し、同局・宇賀なつみアナウンサーが、マイクに行ったインタビューの様子を伝えた。

昨年10月のタジキスタン戦では打点の高いヘディングシュートでインパクトのあるゴールを挙げているマイク。フィテッセでも途中出場で得点を決める場面が多く、宇賀アナから「時間が単純に少ない中で点を決めるっていうのは、難しいんじゃないかな」と訊かれるや、マイクは「時間が短かったから点が獲れなかった。そういう言い訳はあんまり好きじゃないですけど、なるべく出た時間帯でもしっかりと結果を残せるように」と語る。

また、1993年のアジア最終予選（ドーハの悲劇）では、日本代表の GK コーチとして帯同した父ハーフナー・ディドにとっても、マイクの W 杯出場は悲願。「(父は) ワールドカップには行けなかったですけど、自分が行ければ親父も嬉しいと思う」と話すマイクに番組はディドのビデオレターを用意した。

「本当に良い選手に成長したね。常にナショナルチームのためにベストを尽くしてほしい。いつも君を信じている。選手として必ず成功する。みんなでブラジル W 杯に行けたらいいね。ガンバツテクダサイ」というメッセージが伝えられると、マイクは「変な汗出るわ」と苦笑いを見せつつ、番組のはからいには「涙は期待しないで下さい」と笑った。

注目度急上昇、可憐で知的な美女拳士＝栗田佳織とは

“美しすぎる拳士”栗田佳織。昨今メディアの露出も増え、その名前を一度は耳にした方も多いのではないだろうか。

武道家・格闘家とは思えぬ可憐で知的なルックスながら、ひとたび道衣を身に纏うや、鋭い

視線から鞭の様にしなる廻蹴を放ち、力強い突きを繰り出す、1988 年 1 月 29 日生まれの 24 歳だ。

少林寺拳法四段を有し、2008 年 & 2009 年に全日本学生少林寺拳法大会女子三段以上の部で連覇を成し遂げている彼女は、一昨年、日本体育大学を卒業、現在は少林寺拳法を続ける傍ら、タレントやキャスターとしても活動している。

2011 シーズンからは、F1 と並ぶ人気モータースポーツで、J SPORTS でも放送中の WRC 世界ラリー選手権のナビゲーターを務めているほか、人気ドラマ「ATARU」には記者役で出演するなど、徐々に活躍の場を広げているのだ。

また、本業となる少林寺拳法では、6 月 24 日（日）に横浜文化体育館で開催される少林寺拳法神奈川県大会に出場予定の栗田。様々なメディアのインタビューでは、「人づくりの行」と言われる少林寺拳法の存在が己の成長になったと語ることも多く、その分、競技の普及には並々ならぬ意欲を持っている。

五輪アスリートに目がいきがちな今夏、栗田の活躍にも目を向けてみてはいかがだろうか。その美しき容姿と、芸術的な技の数々、さらには武道が持つ激しさのギャップに驚かされることは間違いないだろう。

- ・栗田佳織 フォト一覧へ
- ・栗田佳織 公式ブログ「くりらいふ」

欧州選手権開幕、ストイコビッチ監督の優勝国予想は？

現地時間 8 日、ポーランドのワルシャワ国立競技場におけるポーランド×ギリシャの一戦で幕を開ける欧州選手権を前に、自身も同大会に 2 度出場している名古屋グランパス、ドラガン・ストイコビッチ監督が優勝国を予想した。

6 日の「NEWS23 X（クロス）」（TBS）で放送されたインタビューでは、「ユーロは W 杯よりもレベルが高い。世界のトップ選手が一つの場所に集結するからね」と話したストイコビッチ監督は、1984 年のフランス大会で挙げた 19 歳 3 ヶ月 16 日の最年少ゴール記録について「最年少ゴールを決めたことは一生忘れないよ。とても長い間、記録を持っていたんだ。20 年間、私は記録を持っていた」と振り返った。

また、注目選手を「素晴らしい選手の条件が全て揃っている。パス、アシスト。フィジカルは強くないが、非常に頭のいい選手」という理由からダビド・シルバを挙げると、気になる優勝国は「優勝：ドイツ／2 位：スペイン／3 位：オランダ」と予想。

「ドイツは若いチームだが、安定したプレーをする。メンタルも非常に強い。しかも若い世代には面白い選手が沢山いるね。期待に応えてくれる。王者はドイツで間違いない」と、その理由を語った。

健介の一番弟子＝中嶋勝彦が婚約発表。北斗は“あるエピソード”を明かす

11日、佐々木健介の一番弟子としても知られているプロレスラー・中嶋勝彦（24）が、元新体操選手でシドニー五輪日本代表候補にも入った飯作あゆり（30）との婚約を発表した。

幼少より鍛えられた空手と、抜群の跳躍力&柔軟性を駆使した華麗な技の数々で、健介オフィス（現・ダイヤモンド・リング）のエースとして活躍する中嶋。新弟子時代から面倒を見ている健介&北斗晶は、二人の男の子を授かったが、この中嶋を“佐々木家の長男”と呼び、彼が16歳の頃から手塩にかけて育ててきた。

ゆえに喜びもひとしおだろう。自身の公式ブログで、中嶋の婚約を発表した北斗は、「いや～我が家の長男坊に嫁が来る」と綴り、ダイヤモンド・リング興行時には売店で売り子の手伝いもしている飯作について「本当に一生懸命な子で、なりふりかまわず働く姿にあたしも…本当にいい子だな～と、常日頃から思ってたのよ」と絶賛した。

また、飯作とは“友達の友達”だったという北斗は、ひとつのエピソードとして「あゆりちゃんがね。あたしに言った言葉で、凄く印象的な言葉があって。『私が勝彦君のプロレス人生に邪魔な存在なら、自分がどんなに辛くても苦しくても、私は彼にスターになって欲しいので、いつでも去ります』』という言葉を紹介。「本当に勝彦の事を心から思ってくれてるんだな～と思って感動したのよ」と明かしている。

さらに、（中嶋の）父と師を兼任する佐々木は、なんと中嶋の報告よりも12分はやくブログを更新。「俺もチャコちゃんのサポートで助けられてるし『鬼に金棒』…………いやいや…………『鬼に木刀』』と喜んだ。（※ブログ中の絵文字は割愛）

日本×オーストラリア戦、レフェリーの不可解判定に言及

12日、サッカーW杯アジア最終予選＝日本対オーストラリア戦がオーストラリア・クイーンズランド州ブリスベンで行われ、試合は1-1の引き分けに終わった。

日本は本田圭佑の絶妙なパスから栗原勇蔵のゴールで先制するも、内田篤人がレフェリーに不可解なファールを取られ、オーストラリアにPKを与える格好となったばかりか、試合終了間際には、日本がフリーキックを獲得するも、本田が蹴る前に試合終了のホイッスルを吹くなど、疑問の残る場面が何度か見られた。

同日、テレビ朝日「報道ステーション」では、サッカー解説者・澤登正朗氏が試合を振り返りつつ、内田が取られたファール、そして、ロスタイムでフリーキックを蹴る直前で試合終了としたレフェリングについて言及した。

「僕もちょっとおかしい判定が多いなと思ったんですけど、レフェリーはスタジアムの雰囲気にもまれて、少し冷静さを失っていた部分があったのかもしれない」と語る澤登氏は、内田が与えたとされるファールについて「僕も見えて、これはファールではないんじゃないかと思うんですけど、ただレフェリーの判定というのは絶対ですので、これは受け入れなければいけないのかもしれないですね」と続けた。

また、「恐らく内田としても手で掴んだということではないと思うんですけど、その辺り、レフェリーが見ていたのかもしれないですね」とフォローした澤登氏は、フリーキック前の試合終了に、「本当はですね、もちろんフリーキックを蹴った後に、ホイッスルが鳴る筈なんですけど、この辺りもレフェリーが冷静さを欠いていて、試合を終えてしまったのかなという感じ」と話し、いずれも“レフェリーが冷静さを欠いてた”と指摘した。

加藤浩次、不可解レフェリーに怒り心頭 「あんな笛見たことない」

サッカーW杯アジア最終予選・日本対オーストラリア戦が、12日にオーストラリア・ブリズベンで開催され、試合は1-1の引き分けに終わった。

だが、この試合では疑問の残るレフェリングが連発。内田篤人が不可解なファールを取られ、オーストラリアにPKを与えた他、ロスタイムにフリーキックを獲得した本田が、蹴る直前に試合終了とされるなど、首を捻らざるを得ないシーンが幾度もあった。

翌13日、日本テレビ「スッキリ!!」では、番組MC・加藤浩次が「アウェーでドローは十分でしょう!」と切り出すと、サッカー解説者・都並敏史氏も「勝てたゲームですけど恩の字ですね」と同調する。

そして、日本対オーストラリア戦のレフェリングについては、「あんな見せ場ないですよ。ロスタイムギリで自分でファール貰って、フリーキックセットして、蹴ろうと思ったら笛吹かれた。長年サッカー見てますが、あんな笛見たことない」と怒り心頭の加藤に対し、都並氏は「一応、私は3回くらい見たことあるんですよ」と苦笑い。

しかし、内田のファールについて「内田選手、手をかけていますけど、これを取られたらたまらない。帳尻合わせをされた感じがします。どういうことかっていうと、この主審は後半10分、オーストラリアの選手に2枚目のイエローカードを提示して退場にしたんです。この時に2枚目のイエローを出した時に、普通だったらすぐレッドカード出すのが遅れて、

気が付いてなかった。“退場にしちゃったな”っていう思いがあったと思うんです」と見解を述べた都並氏。「それをどっかで帳尻合わせをしたいという、アウェーですから。その中で粗探しをしていくわけです。今、FIFA の通達でペナルティエリアの時に手をかけたシーンには一番厳しく取りましょうと。J リーグでも一番厳しく取られているんです」と説明を加えた。

また、本田のフリーキックでは、「蹴らして終わらせるのが普通の空気読める審判なんですけど、長くなってしまいましたよね。レフェリーっていうのは、試合を自分も査定されているんですよ。自分を評価する、その人のことを気にした部分もあるし、ドローで終わらしといた方がいいんじゃないかっていう思いもあって止めた。まあ、10 人中 2 人いないでしょうね。蹴らせて終わります、普通はね」と話した都並氏は、「そういうことが普通に起こるのがアウェー。その中で勝ち点 1 を取ってきたのが十分評価できる」とも述べた。

“陸上版 大島優子”!? 日本を代表する美女選手=前田愛純が日本一に

今月 10 日、大阪の長居陸上競技場で行われた陸上日本選手権、女子走高跳で、順天堂大の前田愛純が自己ベストを更新する 1 メートル 80 を跳び、初優勝を飾った。

走高跳といえば、ロシアのスベトラナ・シェコリナ、クロアチアのブランカ・ブラシッチなど、美女アスリートが多いことでも知られ、跳躍という競技の性質上、足の長いモデルばりのスタイルを持った選手がひしめている。

同じ跳躍系競技では、2004 年アテネ五輪、2008 年北京五輪で女子棒高跳で金メダリストを獲得。北京五輪時には、日本テレビ番組内で明石家さんまと対談し、さんまからセクハラ攻撃を受けたこともある、日本でもお馴染みの同世界記録保持者エレナ・イシンバエワも有名だ。

だが、前田愛純も世界の美女アスリートたちにひけをとらない、日本を代表する美女アスリート。新聞メディアも「大島優子似」と持ち上げ、表彰台の上で初めての優勝にはにかむ姿は、大袈裟ではないほど。加えてモデルのようなスタイルを持つため、言ってみれば大島のモデルにしたような“陸上版 大島優子”がそこにいるのだ。

大学を卒業後は競技者ではなく教員志望という前田。こんなにかわいい体育の先生がいたら、体育をサボる生徒がいなくなることは間違いなしだ。

■フォトギャラリー&ニュース関連リンク

- ・さんま、金メダリスト美女アスリートにセクハラ!? - 2008 年 08 月 21 日
- ・[画像] 前田愛純

・〔画像〕 スベトラーナ・シェコリナ

・〔画像〕 ブランカ・ブラシッチ

・〔画像〕 エレーナ・イシンバエワ

先輩・桑田、松井秀喜にズバリ「引退とかは考えなかった？」

今月 12 日に 38 歳の誕生日を迎えたばかりのタンパベイ・レイズ・松井秀喜のもとを、巨人軍時代の先輩で現野球解説者・桑田真澄氏が訪れ、話を訊いた。14 日放送「NEWS23 X (クロス)」(TBS) では『桑田真澄×松井秀喜 初めて語る 20 年目の「今」』と題し、その模様を伝えた。

「日本で全然ゴジ (松井) が出てこないから心配してたのよ」という桑田氏は「引退とかは考えなかった？」とズバリ。対する松井も「今年に関しては、そういうことはなかったですね」とキッパリを否定をした。

また、桑田氏が松井の年齢に対し、35 歳を超えると感覚が鈍ってくるという身体的な観点から指摘を行うと、「走ることに、振ること。その二つ。(自分が) どういう野球選手だったか。どういうカタチで自分を作り上げてきたかっていうのを再確認しながらやってかなくちゃいけない」と話した松井は、「いかにいい準備をして、いい体調で、いい技術的な状態にして、常に毎日打席に立つかっていう、これができないと現時点の僕がいいバッティングをするのは難しい」と打ち明けた。

また、レイズでは、ファーストの守備練習も行っている松井は、「ファーストの練習やらされているんですよ」など、“やらされている”という言葉を連発。「ジャイアンツ時代なかった？」と尋ねる桑田氏に、「ないっすよ」と苦笑いすると「怖くてしょうがない」と付け加えた。

女子陸上界の総選挙!? 大島優子似はどっちだ？

今月 10 日に行われた陸上の日本選手権、女子走高跳で自己ベストを更新する 1 メートル 80 を跳び、初優勝をとげた順天堂大の前田愛純 (21 歳) が「可愛い」とネット上で大きな話題となった。

大手スポーツ新聞は、「AKB48 の大島優子似の“あっちゃん”が最初で最後のセンター取りに成功」などと報道。大島優子に激似とはいえないかもしれないが、初優勝の初々しさを残しながら表彰台に昇る姿は、そう言いたくなるほどキュートなものだった。

だが、その数日後の 13 日、別の手スポーツ紙は「ロンドンの大島優子だ」と題し、前田とは異なる選手を紹介した。それは、女子 100 メートルハードルでロンドン五輪代表となった木村文子 (24 歳／エディオン) だ。

この報道を受け、ネット掲示板でも、「スッピンでこれはメチャクチャ可愛いぞ」「大島なんかよりも凄く可愛いんですけど」といった声が寄せられた木村。これまでも美女アスリートの筆頭として数えられてきたが、いよいよ 7 月に迫ったロンドン五輪を前にテレビや新聞での露出も増え、注目度が急上昇。12 日に行った代表決定の記者会見で、「驚きましたが、うれしい気持ちでいっぱい」と爽やかに答えている。

女子陸上界にいる二人の大島優子。投票券があったら、あなたはどっちに投票する？

■関連フォト

- ・前田愛純
- ・木村文子

「これはひどすぎる」テニスの決勝戦で前代未聞の失格劇

17 日、英国ロンドンでは、男子テニスのエイゴン選手権が開催され、その決勝では、第 6 シードのマリン・チリッチ（クロアチア）とアルゼンチンのダビッド・ナルバンディアンが対戦した。

だが、この試合中、前代未聞の失格劇が起こり、ナルバンディアンは失格に——。チリッチが通算 7 勝目となる今季ツアー初勝利を挙げた。

問題は第 2 セットの途中に起こった。第 7 ゲームでブレークされたナルバンディアンは、怒りに任せて線審の前に立てられたナイキの看板を右足で蹴り上げたのだ。

すると、破壊された看板がそのまま線審の左脛を直撃。線審がズボンの裾をまくりあげると、痛々しい傷口があらわになった。

「けがさせるつもりはなかった」と語っているナルバンディアンだが、失格は変わらず。芝の大会では 10 年ぶりの決勝進出となり、第 1 セットを終え、7-6 とリードしていただけに悔やまれる敗戦だ。

このニュースが伝えられると、ネット掲示板では「動画ひでえ そりゃ失格になるわ」「ちょっとした傷害罪じゃねーか」「決勝がこんな結末とか」「ラケット破壊とかで我慢すれば良かったのに」「これはひどすぎる」「看板蹴ったというより、看板越しに審判蹴ったと言う方が正しいな」など、テニス史上類を見ない結末に驚嘆の声が寄せられた。

■問題のシーンはコチラ（動画）

元日本代表・本田泰人、テレビ番組で衝撃の告白

19日放送、日本テレビ「踊る！さんま御殿!!」には、かつて所属した鹿島アントラーズを長きに渡って支え続けた、元サッカー日本代表・本田泰人が出演。番組内では衝撃の告白を行った。

「新婚さん&バツありさん SP」というテーマで放送された同番組。2000年に高岡早紀の妹で、モデルの高岡由美子と結婚するも、その冷え切った夫婦生活から、2009年11月に離婚した本田は、現在再婚をしているものの、こちらの夫婦生活も前途多難の様子だ。

「最初の奥さんのことなんですけど、12時を過ぎると、連絡しないと内鍵を閉められる」というエピソードを明かした本田は、「今の奥さんは、ちゃんとマメに（連絡を）するようになっているんですけど、それでもケンカが絶えないんです」と続ける。

また、本田は「僕が浮気してるっていうふうに疑ってるんですね。だからツイッターで“九州のほうに行く”って言うじゃないですか？（奥さんが）ツイッターで見てて、（別のツイッターユーザから）“大分の繁華街で本田発見”（というツイートを発見する）みたいな。食事に出てから、そりゃ発見されますよね」と愚痴をこぼすや、「前の奥さんは我慢してたんです。今の奥さんは我慢せずに言いたいことをいうからケンカが絶えないんです。なので、報告あるんですよ」と突然切り出した。

すると、「ちょっと離婚を考えてるんです」という本田は、「今の流れでは軽く思われますけど、もうすぐ一年ですから。知り合ってから2年以上経ちますから、このまま続けて大丈夫かなって思うんですよ。お互い早いほうがいいのかなって思うし。（奥さんに）話はしているんで」と言い切った。

なでしこ美人解説者・大竹七未さんが突然しどろもどろに!?

日本時間21日、サッカー女子日本代表＝なでしこジャパンは、ロンドン五輪代表メンバー決定前最後の試合となるスウェーデン招待において、五輪のグループリーグでも対戦するスウェーデン代表を1-0で破った。

日本テレビ「スッキリ!!」番組内でも、この一戦の模様を速報すると、女子サッカーの解説ではすっかりお馴染みとなった、なでしこの美人解説者・大竹七未さんがゲストで登場、生放送で試合を解説した。

「失点ゼロに抑えたっていうことは、非常に自信になったと思いますし、勝ったという事実が素晴らしいと思います」と切り出し、スウェーデン戦を総括した大竹さん。

「サバイバル」と書かれたフリップを出し、「私とするともっともっとアピールしてほしい。佐々木監督の頭の中で13人は確定していると思って、プラス5人の枠で、守備とMFできる選手を並べていると思う。私の中でFW、切り札になるタイプっていうのを探していると思っていたので。45分、大滝選手、丸山選手、永里選手、ツートップで試されていたので、もっともっとアピールしてほしい」と語り、“アピール不足”を指摘した。

すると、ここで番組MCの加藤浩次から「注目のプレーってなると、どうなりますか？」と尋ねられた大竹さんは、事前の予定になかった質問だったのか、さっきまでの弁舌に優れた解説はどこへやら。「注目のプレー？え、なんですか？注目のプレーですか。注目のプレーは、えっと、私の注目プレーでいいってことですか？」と手前に置かれた資料をあさり、突然しどろもどろになってしまった。

これには、加藤も「七未さん以外、誰もいないでしょ」とツッコミを入れたが、その後、ロンドン五輪におけるメダル獲得の可能性に話が及ぶと、加藤とテリー伊藤は「これから、(メダル獲得の) 可能性のあることを訊きますか？七未さんに訊いておきますか？」と、大竹さんのリアクションを楽しむかのように、十分にタメを作ってから質問を投げると、心なしか、大竹さんは自信を喪失したかのように、小さい声で「私50%なんですけど」と切り出し、加藤が「高いじゃないですか？」と声を挙げると、「あ、本当ですか。はい。そ、そ、そうです。2分の1、もうアメリカに勝つか負けるかっていうふうに思ってます」とさらに震えるような声で説明を続けた。

- ・なでしこ美人解説者、支離滅裂な応答に弁明
- ・なでしこ以上に露出した美人解説者、臨時収入は「怖い金額」
- ・なでしこ達を支えた言葉とは？ 澤は美人解説者に「なんなのこの解説者」

もう一つのユーロ2012 美女ばかりの観客席には選手の彼女も!?

連日連夜熱戦が展開されているサッカーのユーロ2012。サッカーの最新のトレンドはもちろん、世界最高峰のプレーの数々を目に焼き付けようと、日本のファンも毎晩(毎朝)時差と格闘していることだろう。

ユーロといえばW杯をしのぐともいわれるそのレベルの高さが見ものだが、レベルが高いのはなにもピッチ上だけではない。

今大会は特にウクライナとポーランドという東欧系美女の総本山で行われていることもあ

り、観客席には美女、美女、美女の嵐。テレビ画面でたまに抜かれる美女サポーターの存在に、眠気が吹っ飛ぶ日本のファンも少なくはないはずだ。

そんな中でも、一際目を引くのが選手の「ガールフレンド」たち。ベッカムにおけるビクトリア・ベッカムのように、イングランド代表の「WAGS (Wives And Girlfriends)」が特に有名だが、世界のトッププレーヤーの彼女となれば基本的にはモデルのように美しく華やかだ。

今回も、ばっちりカメラに抜かれているドイツ代表のマリオ・ゴメスのガールフレンド、シルビア・メルケルさんをはじめ、シュヴァインシュタイガーのガールフレンド、サラ・ブランドナーさんらがスタジアムを訪れ、声援を送っている。大会もいよいよクライマックス。ピッチ上のみならず、観客席での美女の競演にも注目したい。

■ユーロ 2012 女性サポーターフォトギャラリー

「アメトーク!」“カープ芸人”の回に、広島・石井は「少し考えてほしかった」
今月 21 日 (木)、テレビ朝日の人気バラエティ番組「アメトーク!」では、「広島カープ芸人」というテーマで、プロ野球チーム・広島カープのファンを自称するお笑い芸人＝チュートリアル徳井、有吉弘行、アンガールズ、ロザン宇治原、ザ・ギース尾関らがトークを繰り広げた。

最多勝 2 回を誇る広島の元エース・北別府学さんも、自身のブログで「アメトーク放送後に頂いた 600 件を越すコメントを全て読みました。(中略) アメトークさんのおかげで野球に興味を持ってくれた人が増えて本当に有難いです」と喜びを綴るなど、同番組が持つ強い影響力を感じさせた。

だが、同球団で野手コーチを兼任する内野手・石井琢朗は、番組の一部内容に苦言を呈している。22 日、「富山へ」と題した石井のブログにおいて、「昨日の『アメトーク』(テレ朝系) みなさん、見ました? よね、カープファンなら当然。全国ネットですものね。広島以外で、あれだけカープのことを取り上げてくれるということは、嬉しいことですよ」と切り出すと、「ただ、ひとこと言わせてもらえば偉大な先輩でもある衣笠さんのことを『ゴリラ』呼ばわりしたのはあれは、ちょっとマズイんじゃないかなと思います。いくら、そういう番組であったとしてもです。僕ら野球人にとっては、考えられないことですからね。あそこは、少し考えてほしかったです」とも――。

番組内では、番組司会の宮迫博之が、国民栄誉賞&野球殿堂入りを果たしている広島 OB の鉄人・衣笠祥雄さんを「ゴリラ」と呼んで茶化すと、他の芸人がツッコミを入れるというや

り取りが行われていた。

長友明かす。代表戦前にカラオケに行った本田『これを歌わなきゃ、俺は戦えない』
25日、日本テレビ「NEWS ZERO」番組内では、「長友佑都×櫻井翔 代表の強さと素顔語る」と題し、日本代表・長友と番組キャスターを務める嵐・櫻井の対談の様子を伝えた。

6月の日本代表3連戦を振り返り、「もちろん、3連勝したかったですけど、オーストラリアとかのアウェーとかも考えれば、まあ最低限の結果は得られたかなと思います。まだまだ僕らは世界のトップレベルまでいかなければならないという使命がありますし、まだまだ2勝1分っていうのは満足はできない数字」と振り返った長友。

代表チームの雰囲気については、「今、すごいいいですね。4年前もよかったですけど、今はみんな仲が良くて、良いだけじゃなくて、ピッチに入ると緊張感を持って、ライバルとして意識し合っているし、あとは個人個人、Jリーグだったり、ヨーロッパでプレーして自信を得てきているので、今の代表を見て、ミスを恐れてプレーしているような選手はいないって僕自身思う」と語る。

また、長友は、代表メンバーの素顔について番組が用意した質問カードに答えることに。「一番〇〇なのはオレ」という質問には、「一番体幹マスターなのはオレ」と答えて、周囲の笑いを誘うも、「体幹はかなり自信があるんで。あーでも、(川島)永嗣さんもいるのか」と頭を抱えた。

さらに、「一番歌が上手いのは〇〇選手」という質問には「長友選手」と答えつつ、櫻井が「チームでカラオケ行ったりするんですか?」と尋ねると、「行きますよ。チームもそうだし、代表でも行きますね。(歌が上手い次点は)香川」と話し、「今回の合宿中も、丁度午後にオフをくれた一日があって、86年組。俺と岡崎(慎司)と本田(圭佑)と西川周作と4人で埼玉のカラオケに行ったんですけど、みんな熱唱して、最後『ガッツだぜ!!』で締めて、そしてヨルダン戦に行ったという。圭佑なんかは気合い入ってて、圭佑が(曲を)入れたんですけど『これを歌わなきゃ、俺は戦えない』って言いだして」と笑顔で明かす。

その後も、「一番面白いのは〇〇選手」という質問には、「あーでも、僕の中では本田かな」と答えた長友。「なんか圭佑は面白いですよ。なんかちょっと変わってるというか。オーストラリア戦とかの見た？審判に対してのゼスチャーみたいなやつ。あれとかもおかしいでしょ？日本人がやるようなことじゃない。僕も日本帰ってきてニュースで見た時にビックリしました」と嬉しそうに話した。

・日本代表、最終予選ツイート順位は本田が1位…解説の松木氏も8位に

- ・サッカー「本田△」ツイッターでもごぼう抜き AKB 総選挙を超えた
- ・本田圭佑、試合後に語る 「ハッキリ言えるのは……」

WBC 監督選考問題、ノムさんが推す人物は？

2013 年に開催される WBC「ワールド・ベースボール・クラシック」における監督選考の話題が盛り上がる中、TBS「S1」（24 日放送）では、プロ野球解説者・野村克也氏が見解を述べた。

ここ数日、ソフトバンク・秋山幸二監督、元中日監督・落合博満氏、元日本ハム監督・梨田昌孝氏らの名前が候補に挙がり、巨人・原辰徳監督は一連のスキャンダルで一歩後退と伝えられている中、野村氏は「当然オレでしょ？そんなもん、選択の余地ない」と切り出した。

だが、同番組の司会を担当する爆笑問題・田中裕二がツッコミを入れると、「オレないの、どうしても？」と確認したうえで、「まあ、それだったら落合でしょ」と、かねてから監督として高い評価を与えていた落合氏を推した。

さらに、田中が「もし、ノムさんがやるとしたら、監督を。この選手を連れてきたいとか、4 番はこの選手に任せたいとか？」と尋ねると、「これはやっぱり松井でしょ。彼は外国のピッチャーに慣れているから。やっぱり日本人あんまりメジャーの外人投手対戦してないからね。（投手は）ダルビッシュは当然エースでしょ。コントロールがよくて、フォークボールのいいのを持っている。（現役だと）マー君がいいでしょ」と語った。

ユーロでも大胆不敵、“悪童” バロテッリとは何者なのか

ポーランドとウクライナで開催中のユーロ 2012。欧州王者を決めるビッグトーナメントは毎夜熱戦が繰り広げられ、サッカーファンのみならず世界中の注目を集めている。

ベスト 4 にはスペイン、ポルトガル、ドイツ、イタリアが進出。いずれ劣らぬ強国が順当に勝ち進み、大会はいよいよクライマックスを迎える。

この至高の舞台で、一際異彩を放っているのがイタリア代表のマリオ・バロテッリだ。バロテッリといえば、そのずば抜けた能力の高さから将来を嘱望されつつも、度重なるトラブルや振る舞いで騒動を巻き起こす、泣く子も黙る「悪童」だ。

その悪童っぷりは、昨シーズンを少し振り返るだけでも枚挙にいとまがない。ダービーマッチを前に友人と自宅で花火をして火事を起こしてみたり、ベンチに iPad を持ち込んでみたり、練習中に殴りあってみたり、火を見るよりも明らかなラフプレーで対戦相手を踏んづけてみたりと、まさにやりたい放題。

今大会のグループリーグ最終戦対アイルランド戦でも、スタメンを外され、途中出場でゴールを決めた際に、おそらくは監督批判であろう何事かを叫ぶ素振りを見せたり、PK 戦にまでなった準々決勝の対イングランド戦では、相手 GK のジョー・ハートに対し思いっきりガン飛ばして一触即発の空気を作り出したりもした。

稀代の天才プレーヤーか、はたまたただの悪童か。いずれにしろ、いろんな意味で観る者を楽しませてくれるプレーヤーであることは間違いない。ユーロ 2012 も残すところあとわずか。眠気に困った方は、バロテッリに注目して乗り切るのも悪くない!?

■バロテッリ フォトギャラリー

まだまだある“キングカズ”の知られざるエピソード

TBS「タカトシの時間ですよ」（27 日深夜放送）では、「ぶっちゃけ症候群 SP」として、ゲストにサッカー解説者でタレントの武田修宏や元光 GENJI・諸星和己が出演。“キングカズ”三浦知良と親交のある諸星は、キングの知られざるエピソードを紹介した。

「カズは人間として大好きな人。僕の地元の隣の隣町なんです。で、タケチンは僕の隣町なんです。すごい仲いいんです。僕はカズから可愛がって貰って。で、僕が丁度（光 GENJI を）解散して、事務所を辞める辞めないという時に（カズは）セリエ A に行ったんです」と話し始めた諸星は、「電話かかってきたんです。“お前、悩んでるんだろ。ちょっと来い”って言って全部チケットも手配されて、当時ジェノバ所属の時。僕を一人イタリアに呼んでくれて。で、色々メッセージをくれるんですよ」と続けた。

すると、諸星は「車でモナコとか連れてってくれる。色んなところに連れてって来てモナコの王子様に会わせてくれる」「ミラノに連れていかれて（カズが愛用するホテル）フォーシーズンズってホテル行ったら、テーマが流れるんですよ。ゴットファーザーの。“カズが来た”って。そのくらい有名なんです」と、カズのキングたる所以とでもいい、イタリアでの思い出を明かす。

また、悩みを抱える諸星に対して「お前はこれからどうしていくのか。やって後悔することと、やらなくて後悔することがある。お前はどっち取る」と投げかけたというカズ。諸星は、そんなカズから送られた一連の激励に「やって後悔した方がいいと思って、色んなことにチャレンジした。それは全部カズ、キングカズのお陰」と語った。

阿部も頭を抱える原采配、ノムさんは「何にもするな、選手に任せておけ」

1 日、東京ドームで行われたプロ野球公式戦＝巨人－中日の一戦は、巨人が 7－5 で逃げ切り、同一カード 3 連勝で首位に立った。

「同一カードで3連勝するというのは大変なこと」。試合後に語った原辰徳監督だが、この試合では、2回無死満塁のチャンスで打順が回ってきたプロ初先発の新人・田原誠次を早々に諦め、矢野謙次を代打に送るという采配を見せた。

これにはベンチにいたキャッチャー・阿部慎之助もベンチからずっこけ、頭を抱えて“参った”といわんばかりのリアクションを見せたが、結果的には代打の矢野が2点二塁打を放ち、功を奏している。

すると、同夜、TBS「S1」では、プロ野球解説者・野村克也氏が、この原采配にコメントした。

「ノーアウトだから、そのままピッチャーを打席に送ってもよかったと思うんだけど、普通は代えないですよ。確かに信頼のないピッチャーですけど、最初から継投ではしるつもりなんだろうけど」と疑問を呈すと、「信頼はされてない筈ですから、そういうところがそういう決断になったんでしょうけど、田原は気の毒ですね」と続けた。

また、「結果が出たからいいようなもののね。巨人の今の戦力なら慌てる必要ないですよ。作戦采配っていうのは決まりはないですけど、もし裏目だったら大変ですよ」と語った野村氏は、番組の終盤にも、巨人の対抗馬として「由規が元気になれば、ヤクルトが面白い」という見解を示しつつ、そんな巨人の課題を訊かれると、「何にもないでしょ。贅沢な悩みですけど、7回以降のピッチャー。(マシソンは)バッターからすれば嫌なピッチャーじゃないでしょ」と指摘をしながら、原監督については「何にもするな、選手に任せておけ」と直球で言い放った。

12

キム・ヨナ、復帰宣言は“IOC選手委員になりたいという彼女の夢”!?

今月2日、バンクーバー冬季五輪・フィギュアスケート金メダリストのキム・ヨナが、ソウルの泰陵選手村国際スケート場で記者会見を行い、2014年のソチ五輪出場をもって現役を引退する意向を正式に表明した。

キム・ヨナは、昨年の世界選手権以降、競技大会に出場しておらず、タレント的な活動が増えたこともあり、その去就が韓国内でも取り沙汰されていた。

韓国の国民的アスリートによる突然の復帰宣言となったが、なぜこのタイミングだったのか。3日放送、日本テレビ「スッキリ!!」では、韓国のスポーツ事情に詳しいスポーツジ

ジャーナリスト・大島裕史氏のコメントを紹介した。

「イメージ低下があるということで立場をハッキリさせなきゃいけなくなった」という大島氏は、「IOC 選手委員になりたいという彼女の夢と、それから韓国オリンピック委員会の期待ですね」とも語る。

五輪開催地や競技種目の決定において投票権を持つなどの権限が与えられている IOC 選手委員。現在韓国では、元テコンドー選手のムン・デスンが就いており、その任期が 2016 年までとなることから、IOC 選手委員を目指すキム・ヨナが立候補できるのは、早くても同年以降となる。

しかし、立候補には現役選手か直前の五輪に出場していなければならないという条件があるため、これを目指す以上、キム・ヨナはソチ五輪に出場しておきたいというのが本音のようだ。それでも、ブランクに加え、コーチも決まっていないという現状、果たしてキム・ヨナは、五輪に間に合わせることができるのか。

“スーパー女子高生”土井、陸上界の美女アスリート市川&木村らが意気込み語る

ロンドン五輪の陸上=4×100m リレーで、日本女子チームが 1964 年の東京大会以来となる五輪出場を決めた。

3 日、日本陸連から女子代表選手として、市川華菜（中京大）、高橋萌木子（富士通）、佐野夢加（都留文科大職）とともに、埼玉栄高の 16 歳・土井杏南の出場が発表されると、翌日のスポーツ紙には“スーパー女子高生”の文字が躍り、陸上競技では戦後最年少五輪出場となる土井に大きな期待を寄せた。

すると、4 日深夜放送、フジテレビ「すぽると！」では、「強く美しき女性たち For ロンドン」として、前述した土井に加え、陸上界美女アスリートの筆頭といわれる市川、そして 100m ハードルに出場し、一部スポーツ紙では“AKB48 大島優子似”と伝えられ話題になった木村文子、15 歳で「平成のマーメイド」と呼ばれる競泳の渡部香生子による最新のコメントを伝えた。

16 歳で五輪出場を決めた土井は、番組のカメラに「夢だったんですけど、それが目標に変わって、まずはオリンピックの舞台で自分の走りをするを考えている」と語り、その先輩格＝市川は「バトンをしっかり繋いで、決勝の舞台に立つっていうのを目標にしているので、しっかりそれを実現できるように頑張りたいと思います」と意気込んだ。

また、木村は「自分の今持っている力を精一杯出すことができれば、記録や結果もついてく

るかなと信じているので、それをしっかり信じて精一杯頑張りたい」と話し、現在はロンドンで調整を続けている渡部は「あまり焦らないで。自分の目標としているベストタイム更新というのを、ちゃんと落ち着いて目標達成できるように頑張りたい」と語った。

■「ロンドン五輪×美女アスリート」関連リンク

- ・女子陸上界の総選挙!? 大島優子似はどっちだ？
- ・陸上界に新たな美女アスリート、国内敵なしの木村文子に注目
- ・ガチでかわいい東海の爆走娘
- ・「平成のマーメイド」は 15 歳、最年少の美少女スイマー
- ・取材お断りの天才美少女スイマー

「跳躍系の選手に美形が多い」徳光アナ一押しの女子アスリートとは

「女子アスリートの真剣な表情がたまらない!」。フリーアナウンサー・徳光和夫が今一押しの女子アスリートを紹介した。

「ダウンタウン DX」(5 日放送／読売テレビ) にゲスト出演した徳光は、「テレビを観てて思うんですけど、特に跳躍系の選手に美形が多い。棒高跳が最近多いんですよ」と前置きし、「アリソン・ストーカーっていうアメリカの 23 歳。跳ぶ前の表情と、跳んだ後の表情がまたいいんですよ」と、ネットの掲示板などでも美女選手としてたびたび話題になるストーカーの名を挙げた。

また、「一瞬に懸ける彼女たちは一緒にフェロモンが出るらしい」と続ける徳光は、日本人選手でも「(棒高跳で) 3m、4m ジャスト跳んでる今野美穂っていう選手がいるんですけど、この選手もいい顔している」と嬉しそうに語った。

- ・今野美穂フォトギャラリー
- ・アリソン・ストーカー NAVER まとめ

しずちゃん、五輪挑戦を終えた現在「夜な夜なテキーラを」

女子ボクシングでロンドン五輪出場を目指すも、実現には至らなかった、お笑いコンビ・南海キャンディーズの山崎静代。「ダウンタウン DX」(5 日放送／読売テレビ) において、五輪挑戦を終えた現在の生活を明かした。

「男にドツかれると興奮する」と題し、自分の好みを語り始めたしずちゃん。「ギャップがある人が好きなんですけど、ボクシングをやっていて、スパーリングパートナーがすごい優しく、宜しくお願ひしますって。テレビに出ている女性なんで、顔は大切だから気を付けてって(と、スパーリングがはじまる)。でもゴング鳴った瞬間、その人思い切りドツいてきたんですよ。さっきとのギャップがあり過ぎて、ドキドキして練習終わって帰る時に、甘い

お菓子くれたりとかして」と笑顔で明かす。。

また、しずちゃんは「世界を目指して刺激的な毎日だったのか、それがなくなった瞬間に、どうやって刺激を自分に与えるのか分かんなくなっちゃって」とも。すると、相方の山里亮太は、「聞いたんですけど、しずちゃん、夜な夜な森三中さんと一緒にテキーラを飲んで歩いている」とも。しずちゃんは、「平和過ぎてどうしたらいいか分からないんですよ。90度くらいあるお酒をガツとショットで」と話した。

競泳用水着の秘密に、体操のレオタードがハイレグの訳——、選手を支える用具のあれこれ
London Olympic Watch

ロンドン五輪開幕まで、いよいよ 20 日間をきった。今大会では、一体どんなドラマが生まれるのか。日本勢の活躍は。スポーツファンの期待は日に日に高まっているだろう。

そんな折、7 日放送、TBS「情報 7days ニュースキャスター」では、「五輪を 100 倍楽しく見る方法 ハイテク技術で金メダル」と題し、五輪アスリートを支える競技用具メーカーの最先端技術や担当者の想いを伝えた。

北京五輪時に登場したスピード社の競泳用水着＝レーザーレーサーを覚えている方は多いだろう。身体を締めつけることで水の抵抗を極限まで抑えた同社の水着が登場するや、明らかにその効果といえる 23 という異常な数の世界新記録が五輪開催中に飛び出すなど、当時は大きな騒動になった。

同番組のカメラに語るアシックス担当者は「非常に悔しかったですし、非常に辛かった」と切り出すと、その後、国際水泳連盟がラバー素材の禁止や身体を覆う水着の面積といった規定を設けたことに「一気に勝ち上がれるチャンス」と意気込んだ。

水の抵抗を減らすため、どう水着の縫い目をなくすかという点に着目した同社が開発したのは、糸を使わずに生地を縫い合わせるといったものだ。超音波ミシンにより、生地を溶かして繋ぎ合せるという。

また、水中でキックをした際に生まれる筋肉が揺れる点も、伸縮性の異なる生地を繋ぎ合せるなどして、その揺れを吸収するといった工夫を織り込み、五輪の舞台で勝負をかける。

また、体操では、ファッションデザイナー・コシノヒロコさんがデザインしたユニフォームが話題になった。ここではミズノ担当者が、「黒いラインが入ってるんですけど、黒を使うことでより引き締まって見える。採点競技になりますので、審判が見て、この演技は素晴らしいと見て頂けるように工夫しています」とデザインのコンセプトを語り、田中理恵ら女子

選手のレオタードがハイレグ仕様になっている点も、足を長く見せる工夫だとしている。

マラソンでは、アシックスの担当者が「今回ほどシビアなコースはない」と語る。ロンドン市内を走る今大会のコースについて、「(場所によっては)ゴツゴツした石畳なんですよ。雨が降ったら絶対滑るだろうと」と懸念を示し、天然皮革のリサイクル品を用い、革の粉をゴムに混ぜることで「吸盤のようなグリップ、プラス、軽量性を出す」という。その他にも、ソールには6角形の凹凸をいれ、開発に2年を要するなど、開発者の努力と苦悩が明かされたのだった。

- ・“異常な時代”の終焉、レーザーレーサーの今とは
- ・オグシオ“ミニスカウェア”&体操“超ハイレグレオタード”の秘密？
- ・傷ついた信頼、国内メーカー3社の損失は？／水着問題

「説教ですよ」なでしこ丸山、北京五輪時における澤の助言とは

London Olympic Watch

8日放送、TBS「S1」では、今月2日に行われたロンドン五輪代表メンバー発表後のなでしこジャパン・丸山桂里奈に密着した様子を放送した。

番組のカメラに対し、「本当にオリンピックは最後になると思うし、澤（穂希）さんがいない代表ってというのは、なんか自分の中で違うという感覚があったりとか。澤さんと一緒に代表でやりたくて代表に入りたいと思ったから」と胸中を語る丸山は、澤が“最後の五輪になるかも”と話していることについて、「そういう意味では、アテネ、北京とはちょっと違う」とも。

また、LINEを使ってメッセージのやり取りをしている澤と丸山。発表後に澤から「一緒に金メダル目指して頑張ろうね」という言葉が送られてくると、丸山は「はい 澤さんのパスからゴール決められるように頑張ります」と返したが、さらに澤からは「逆だろ（笑）」というツッコミも。「澤さんもオリンピックで（3ゴール）決めてるからいいじゃんね。私が決めたいよ」と笑った。

4年前の北京五輪における3位決定戦では、後半途中から出場を果たしている丸山。この時は、ドイツを相手に0-2で敗れたが、この試合が終わった直後、真っ先に丸山のもとへと向かっている澤。「途中から出てくる選手は、元気だし走らなくちゃいけないし、そういうのは気づいた点で話をしないと、彼女のレベルも上がらない。すぐに思ったことを伝えました」と振り返ったが、当の丸山は「説教ですよ」と苦笑い。

「説教っていうか、その時、自分の心に響くものがあって、しっかりアドバイスをしてくれ

たんで、もっとやらないといけないと思って、1日20キロ走るようになりました」と、丸山はその後のレベルアップにつながる糧になる助言であったことを明かした。

長友が語る本田圭佑の面白さ「分かってないんです、周りの反応が」

10日放送、TBS「SUPER SOCCER」では、「新たなる旅立ち SP！長友佑都・加藤浩次ビッグ対談」として、インテル・長友と番組MC・加藤による対談の様態を放送した。

インテルにおける、これまでの活躍を「本当に色んな経験をさせて貰って、メンタル的にまず成長できたかな。そのメンタルで成長したのが、サッカーの成長に繋がった」と振り返った長友は、「イタリアだと特に負けると叩かれるじゃないですか。メディアからファンから、すごい叩かれるんです。なぜイタリアに来たんだとか、腹切りしろとかも書かれたりするし、新聞に。最初見たときは“どんなこと書くんや”っていう感じで思いますけど、捉え方でポジティブに考えるとどんどん成長していく。心的に余裕ができたのかな」と続けた。

また、ナショナルチームではライバル国同士の選手が一つのクラブにいるのもトップクラブならではの。ブラジル人選手とアルゼンチン人選手を多く抱えるインテルのチーム事情について、「(アルゼンチンは)固まってますね。ブラジルもマイコン、ルシオが固まってますね。ご飯のときに縦に並んで食事するじゃないですか。アルゼンチン組は一番端の左。ブラジル組は右の端。日本とかイタリアが真ん中に散らばる。全然仲いいんですけど、お互い意識するんじゃないですか。サッカーでは負けられないって。僕は間にとって笑わせて。みんなと盛り上がる」と話し、長友が率先してチームの調和を保っていることをうかがわせた。

さらに、日本代表については「前は俊輔さんとか、中澤佑二さんとかにいじって貰って。今は歳もとってきて、宮市とか若い選手も入ってきて。いじる側にもなってきましたね。ちょっとだけ。“一発芸やれ”とか。僕が俊さんに言われてたみたいに」と“いじる側”に回るようになったと明かす長友。

加藤から「本田選手をいじれる人っているんですか？」と尋ねられると、「圭佑もいじれるっていうか、面白いんですよ。代表で一番面白いかなって思うぐらい。カラオケ行ったんですよ。合宿中に圭佑と岡崎と西川周作と、86年組って行って。ボーイズIIメンの曲を圭佑が英語で歌ってて、立って熱唱していたんですよ。全くボーイズIIメンの曲が(頭に)入ってこなくて、本田圭佑しか入ってこない。僕らクスクス笑ってるのに、あいつは“ええやろ、お前らええやろ”って。分かってないんです、周りの反応が。自己満入って終わるといふ」と嬉しそうに語った。

- ・長友明かす。代表戦前にカラオケに行った本田『これを歌わなきゃ、俺は戦えない』
- ・加藤浩次、不可解レフェリーに怒り心頭「あんな笛見たことない」

U-23 日本代表、まさかのドロー。セルジオ氏は「まるで高校サッカーの決勝」

ロンドン五輪壮行試合となった男子サッカー＝キリンチャレンジカップ 2012、U-23 日本代表×U-23 ニュージーランド代表の一戦は、後半 26 分、徳永悠平が放ったミドルシュートのこぼれ球を杉本健勇が押し込み、先制点を挙げるも、後半ロスタイムも残り 1 分、日本はパスミスからまさかの失点。勝利を目前に痛いドローに終わった。

この試合中、自身の公式ツイッターを更新し続けたサッカー解説者・セルジオ越後氏 (@sergio_echigo) は、前半から「ボランチにボールが取まらない。全くゲームを作れてないよね。壮行試合らしからぬ内容がおそまつだよ。」「ロスタイムのいない前半だね。内容もプアだね。内容云々よりも急ぎすぎた展開で、遊び心の無いまるで高校サッカーの決勝だね。」と苦言を呈していた。

そして、試合が後半に入ると「今日の試合は体勢的に貰いにくいパスが多すぎだね。」と指摘し、その他にも「こんな暗い壮行試合は初めてだね。」「時間の無い中でベストメンバーで望めず、現段階のごたごたが現れた試合だった。本当に良いところなく試合を締めくくった。なでしこに助けられた壮行試合だったね。」と呟き、同氏のスタッフが「本日の結果に激怒中」と最後に付け足した一戦を締めた。

宮本恒靖氏、U-23 日本代表に「リスクを冒さないとダメ」

11 日、国立競技場では、ロンドン五輪壮行試合＝キリンチャレンジカップ 2012・U-23 日本代表×U-23 ニュージーランド代表の一戦が行われた。

試合は、後半 26 分、徳永悠平が放ったミドルシュートを相手キーパー・グリーンソンが弾いたところで杉本健勇がこぼれ球をゴールに蹴り込み、先制点を挙げる。だが、後半もロスタイムに入ると、日本はイーギーミスからボールを奪われ、ルーカスに同点ゴールを許した。

勝利を目前にしながら、厳しい内容で引き分けに終わった U-23 日本代表。試合後、フジテレビで放送された試合中継のゲスト解説を担当した元日本代表・宮本恒靖氏が試合を総括した。

「守ってる方としては、リズムの変化がないので守りやすかったのかなと思いますね。相手の嫌がる場所になかなか入っていけない」と切り出した宮本氏。「ディフェンス面ではやられるシーンはなかったですし、CB 二人ともチャレンジ&カバーできていましたから、そこはよかった」と評価しつつ、五輪に向けては「リスクを冒さないとダメだと思いますね。ボランチがゴール前まで攻め込む。サイドでドリブル突破に行く。そういったものが」と指摘した。

・U-23 日本代表、まさかのドロー。セルジオ氏は「まるで高校サッカーの決勝」

”ご立腹”の松木氏、関塚監督の采配について苦言呈す

11 日、国立競技場で行われた、キリンチャレンジカップ 2012・U-23 日本代表×U-23 ニュージーランド代表の一戦は、日本代表が 1 点を先制し、終始優勢に試合を進めながらも、後半ロスタイムにイーギーミスからボールを奪われ、まさかの失点。試合は 1-1 のドローに終わった。

12 日、フジテレビで放送された「めざましテレビ」では、サッカー解説者の松木安太郎氏が昨夜の一戦を振り返った。「かなりご立腹」と紹介された松木氏。「まず若さが目立ちましたね。せっかくいいカタチでボールを取って、いいカタチで攻めるんですけど、最後のもう一工夫がなかったり、シュートが遅れたり。バランスがすごくよくなかった」と語る。

すると、松木氏は、関塚監督の采配についても言及。バックアップ・メンバーである、山崎亮平（磐田）や米本拓司（FC 東京）が起用されたことに触れると、「ちょっと気になったのが、昨日、バックアップ・メンバーがもともと 18 名を使う前に出てきたんですね。彼らがいけないということではなくて、必勝態勢のゲームでありながら、本大会のシミュレーションもしたいということを考えると、まずはバックアップメンバーでない選手から使うのが普通じゃないかな。その辺が最後の失点というか、心の緩みに繋がっていったような気がします」と苦言を呈した。

・宮本恒靖氏、U-23 日本代表に「リスクを冒さないとダメ」

・U-23 日本代表、まさかのドロー。セルジオ氏は「まるで高校サッカーの決勝」

サヨナラ負けで審判批判。高校野球部員に飲酒・喫煙疑惑も

12 日、神奈川新聞スタジアムで行われた高校野球神奈川大会＝日大藤沢×武相の一戦で、前代未聞のサヨナラゲームが飛び出した。

2-2 の同点で迎えた 9 回裏 1 アウト満塁の場面、打者がショートフライを打ち上げると、インフィールドフライが宣告されてアウトになったが、試合はインプレーのまま。ホッと一息ついた武相内野陣の間をついた 3 塁ランナーがホームに生還し、日大藤沢の勝利となった。

武相は「タイムを取った」などと抗議をするも裁定は覆らず、スタンドの武相応援団は呆然とし、野球部のメンバーには泣き崩れる者もいた。

だが、事態はここから急変する。試合後、武相野球部員の一部が、自身のツイッターで「審判がまじくそだった」「審判キモかったわ」など、審判を批判するツイートを投稿したのだ（現在は削除されている）。

すると、これがネット掲示板などで取り上げられるや、同野球部員のツイッター・プロフィール欄に「酒」という言葉があることが指摘された他、過去のツイッターやブログに掲載された野球部員たちの写真から、タバコが写っているものも散見された。

これにはネット掲示板でも、「審判批判する前に自分たちのプレーへの反省が先だ」「審判は普通の判断をただけだな」と審判批判を行った選手たちに呆れる声や、「問題はその後に出てきた喫煙・飲酒画像だわ 出場停止もんだぞこれ」「手に持ってんじゃん アウトだわ」「飲酒喫煙はおわっとるな、最低だろ。礼儀もなってないし、自分がルール知らないの棚に上げているだけw」と飲酒・喫煙疑惑に対し、厳しい意見も見られた。

■関連リンク

- ・「酷すぎる」選抜高校野球に誤審続出
- ・自らの悪事を堂々とブログに掲載する高校球児達
- ・甲子園でのラブシーン、その悲しい結末は？
- 「笑わない女王」女子柔道・中村美里の笑わないワケ

London Olympic Watch

女子柔道ロンドン五輪日本代表・中村美里。北京五輪では銅メダルを獲得するも、その顔に一切の笑顔はなく、それどころか「金メダルを目指していたので悔しい。金メダル以外は同じです」などと、19歳（当時）とは思えない発言をしたことから一躍話題となった。

あれから4年。ロンドン五輪では金メダル獲得に期待が高まる一人となった中村を、TBS「NEWS23X」（13日放送）がフィーチャー。『「笑わない女王」の父との絆』と題し、彼女が「笑わない」理由に迫った。

負けず嫌いの性格について「お父さん譲りだと思います」と話す中村。その根底には、中学2年で全国大会優勝を成し遂げた際、父・一夫さんから「金メダルを目指すなら簡単に笑って喜ぶんじゃない」と言われたことにあるという。

番組のカメラに対し「中学2年で全国大会優勝してるけど、中学生の大会で優勝したくらいで喜んでるなよ」と語る一夫さん。中村も「そういう風に言われてきたので、それが当たり前というか、金メダルを獲得ということが目標なので、その目標を達成するまでは、本気で喜べない」と話しつつ、「大人げないお父さん」と少しはにかみ、「金メダル獲って、みんなで喜べたらいいなと思います」と意気込んだ。

ディーン元気、やり投げの秘密 「あり得ないところまでいく」

London Olympic Watch

男子陸上のやり投げでロンドン五輪に出場するディーン元気（早稲田大学）。14日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、『やり投げ ディーン元気(20)飛距離を生む体の秘密』と題し、その投てきに隠された秘密に迫った。

競技で使うやりについて、「安いのだと、練習の本当に安いやつだと3千円というのもあるんですけど、一番高いこれとかは20万円」と説明した元気は、今年4月に広島で開催された織田記念陸上では、やり投げで日本歴代2位となる84m28をマーク。この記録は、昨年の世界陸上やり投げ記録でいうところの4位に相当し、3位まではあと2cmとなっている。

「肩甲骨のあたりがすごい動かせる」といい、左右で波打つように肩甲骨を動かしてみせた元気。「可動域というか自由に動くんで、投げる瞬間にあり得ないところまでいく。ぐうーっと」と明かし、投てきの瞬間は「腕で投げるっていうところは最後の瞬間だけ。こっちの左足で地面を止めて踏ん張る。自分を止めて槍を投げる」といい、助走の勢いを左足一本で受け止め、その反動で生まれる力を一瞬で投てきに繋げるという。

また、英国人の父、日本人の母を持つ元気は、父の母国で行われるロンドン五輪出場に並々ならぬ意欲を持っている。「里帰りというのはあれですけど、とにかく絶対帰るぞという気持ちでいたんで。やるだけのこと、やるべきことをやってきたつもりでいたので、それが実ってよかった。注目してくれている人が今まで以上に増えたので、その人たちに元気を与える投てきができたらなと」と意気込みを語った。

マラソン・藤原新、躍進のきっかけは“カリスマ美女”との出会い

London Olympic Watch

日本テレビ「2012年上半期の立役者 おカゲさま HERO」（14日放送）では、『どん底からオリンピックへ！"無職のランナー"藤原新選手を变身させた踊る美女！』と題し、男子マラソン・ロンドン五輪日本代表＝藤原新に躍進するきっかけを与えたという一人の美女を紹介した。

今年の東京マラソンでブレイクした藤原だが、それまでのレースは苦戦続き。昨年の東京マラソンでは、57位という成績で終えている。

そんな藤原の転機は、いまやモデルや女性タレントが揃って実践しているカーヴィダンスの考案者でカリスマトレーナーとして知られる榎木裕美さんとの出会い。昨年12月、友人の紹介で榎木さんを訪ねたという藤原。榎木さんは「不安な感じにいるなということはずぐに感じました。カーヴィダンスの先生だよってという紹介で来てくれたので、ウネウネやられるのかなって」と振り返ったが、事実、藤原はこの時のことを「そういう不安の中で、やっぱり本番まで3ヶ月しかなくて、焦りがありました」と語った。

すると、「これ言っていいいんでしょうか。これじゃケガするな。オリンピック選手の候補者とは思えないようなフォームでした」「前モモでロックした感じ。ものすごく（走り方に）ダメージが多い」と明かした榎木さんは、無駄のない身体作りと効率のよい身体の動かし方を指南したという。

すると数回の練習で藤原の足音に変化が生まれ、東京マラソンでの快挙に至る。改めて、番組のカメラに語った藤原は「フォームに関しては全部、よいか悪いか榎木さんにお任せしています。今の僕があるのは、榎木さんのお陰」とまで言い切るのだった。

澤穂希、代表ユニフォームに強い想い 「最初に着替えるのは短パンから」

London Olympic Watch

16日放送、日本テレビ「NEWS ZERO」では、嵐・櫻井翔が聞き手となり、ロンドン五輪に出場する女子サッカー・澤穂希に行ったインタビューの模様を放送した。

現在は33歳で、4度目の五輪出場となる澤。今回の五輪について「どのチームも日本を分析してくると思いますし、警戒してくると思う。でも、うちら、まだオリンピックで結果残していないんで、正直。オリンピックではメダルも獲ってないし、チャンピオンにもなっていないので。たまたま去年W杯優勝して・・・」と語るも、ここでは櫻井が「たまたまではないと思う」と苦笑い。

澤自身も表現が正しくないと思ったのか「おかしいか」といいつつ、「自分自身はチャレンジャーとして戦うつもり」と意気込んだ。

また、ロンドン五輪では、カナダ、スウェーデン、南アフリカとグループリーグを戦う日本代表。「3日に1試合ですもんね。結構ハードなんですよ」という澤は「先に2連勝したチームが絶対に有利なので。カナダがアメリカといい試合したりとか、久しくカナダとやってないので、怖い相手だなと思います。自分の中ではスウェーデンに苦手意識がなくて、ヨーロッパの中でも。最近負けてないですし。南アフリカも、アフリカ勢とやったことないので、身体能力、どうやって戦ってくるのか」と警戒した。

さらに、質問が日本代表のユニフォームに及ぶと、「不思議なことに、この青いユニフォーム、日の丸をつけるとスイッチが入る。戦うモードに入るんです。国を背負って戦うから適当な気持ちで戦えない。着ると自分の中で引き締まる。気持ちがキュってなる瞬間なんですよ。だから、最初に着替えるのは短パンからなんです。短パンから着替えて、中にインナーを着て、最後にシャキッと（ユニフォームのシャツを着る）」と明かした。

フジ・平井理央アナが「すぽると！」番組内で入籍&退社を発表

18日、メディア各社は、フジテレビ・平井理央アナウンサーの入籍、そして、9月末の同局退社を報じた。お相手は、同社社員の男性ディレクターとされる。

同日深夜、キャスターを務める「すぽると！」の生放送に登場した平井アナ。番組のオープニングで、山口素弘氏、立浪和義氏らゲスト解説陣による拍手で迎え入れられると、その冒頭、「私事で大変恐縮ですが、昨日7月17日に入籍しました。そして、9月末で『すぽると！』を卒業し、退社することを決意致しました。ご報告させて頂きました」と神妙な表情で語った。

また、ここで同局・西岡孝洋アナから「珍しく若干緊張を・・・」とツッコミを入れられると、緊張から解放されたのか、平井アナは「何て言っているかわからなくて。すいません」と照れ笑いをみせた。

- ・すぽると!の平井理央アナが突如涙し「あざとい」と話題
- ・「すぽると！」番組中、平井アナに大きな違和感
- ・さんまが絶賛する美女アスリートとは？

川澄奈穂美が絶賛する美女選手＝「女ジダン」とは？

ロンドン五輪開幕まであとわずか。メダル獲得数は北京五輪以上という専門家も多く、様々な競技で日本勢の活躍に期待がかかる中、先陣を切ってお茶の間の注目を集めることになるのが、女子サッカー＝なでしこジャパンだ。

金メダル獲得への期待はもちろん、優勝した昨年女子サッカーW杯の感動をもう一度と、日本中が願っている。

そんな、なでしこジャパンを支える主力メンバーの一人、川澄奈穂美は、7月に初の自著「夢をかなえるチカラ なでしこ☆川澄奈穂美の笑顔の秘密」を刊行するなど、大会前から話題を振りまいている。

しかもそのカバー写真は、これぞ美女アスリート、いや女性誌のモデルかと思ふほど、可憐に美しく撮れているのだから恐れ入る。さすがなでしこジャパンのおしゃれ番長といえるものだ。

しかし、世界の女子サッカー界には川澄に劣らぬ美女がいる。川澄本人も、インタビューの中で「スゴい美人」と認めるのが、フランス代表のMFルイザ・ネシブだ。強豪リヨンに所属する25歳。168cmと抜群のスタイルに、健康的な肉体美を備えるネシブは、アルジェリア系の血を引くというルーツと、その天才的なサッカーセンスから「女ジダン」との異名

を取る。

なでしこジャパンがF組を1位突破し、フランスが下馬評どおりG組2位となれば、決勝トーナメントでは川澄との美女対決も実現する。どちらの美女フットボーラーが勝利するか。女子サッカーは見どころ満載である。

・川澄奈穂美フォトギャラリー

・ルイザ・ネシブ フォトギャラリー

北京五輪でまさかの失策、G.G.佐藤の妻「一言“死にたい”って」

TBS「女の波乱万丈人生 SP プロ野球選手の妻たち」（19日放送）では、長きに渡り埼玉西武ライオンズの主軸として活躍しながらも、昨年戦力外通告を受け、現在はイタリアの野球リーグに身を置く、G.G.佐藤と、その妻・真由子さんの特集した。

見た目が「爺くさい」という理由から、G.G.（ジージー）という愛称がついた佐藤は、日本球界でも屈指の人気選手として知られた。しかし、2008年の北京五輪で日本代表として出場すると、その野球人生が大きく狂い始めてしまう。

2008年8月22日に行われた韓国との準決勝に臨んだ日本代表は、2-0とリードをするも、佐藤のエラーから逆転を許し、続く8回裏にはレフトフライを落球。韓国に追加点を与え、そのまま敗れた。

ダルビッシュ有、田中将大を擁し、金メダル獲得の期待が高かった分、日本中からバッシングを浴びることとなった佐藤。当時を振り返ると、「これはとんでもないことをやっちゃった、現実なんだこれがっていうのを突きつけられた」「覚えてない。本当に記憶がないですね。真っ白になってたんですかね。どうやってベンチに帰ったかも、どこに座ったかも全く覚えていないですね」「自分のエラーで、僕のせいで負けたって思ったんで。なんでだって自分を責めていたと思います」と語り、妻・真由子さんも「ただ一言“死にたい”っていうメールがきて、自殺しちゃうんじゃないかと思って」と明かした。

さらに、韓国戦でのエラーが尾を引く佐藤は、銅メダルを懸けたアメリカ戦でも、レフトフライを落球。日本代表は逆転負けで、4位で五輪を終える結果となった。

帰国後も、精神的ショックを引きずった佐藤。すると、真由子さんは「彼の受けたショックに、返す言葉がないなんて、私は野球選手の妻だっていえないなって。彼の精神的なものの心配でしたし、せめて元の状態に戻してあげるために、自分はいらと思った。そのためのサポートはできる限りはなんでもしようと思っていました」と思うようになったという。

その後、2010 年以降、度重なるケガにより出場機会が減ると、昨年戦力外通告を受けた佐藤だったが、今年 7 月からは、イタリアのフォルティチュード・ボローニャ 1953 と契約に至る。

野球の栄えていない異国の地で迎えた新たな挑戦となったが、佐藤は番組のカメラに対し、「戦力外になって、今後の野球人生も考えたんですけど、ここまで長く続けてきた野球に嫌いなまま終わるのは失礼だと。野球ありがとう、最高だったよっていうふうに区切りをつけたかった」と前向きに語った。

妹は AKB48!? 美しすぎる新体操選手＝サイド横田仁奈

間もなく始まるロンドン五輪。大会後半の 8 月 9 日からは、マットに咲く可憐な花、新体操にも注目だ。

団体に出場する日本代表 6 名はいずれ劣らぬ美人揃い。中でもパキスタン人の父を持つハーフ、サイド横田仁奈のルックスは抜群である。「美しすぎる」という使い古された形容詞にもまったく違和感がないほどの美人だ。

1994 年 3 月 2 日生まれの 18 歳。2009 年 12 月にフェアリージャパンオーディションに合格し、新体操日本ナショナル選抜団体チーム入りすると、その後は 2010 年～2011 年まで世界新体操選手権代表として活躍。美しく可憐な演技で観る者を唸らせ、ついにロンドン五輪代表の椅子を勝ち取った。

また、そんなサイド横田仁奈の妹・サイド横田絵玲奈は、AKB48 研究生として活動し、「えれちゃん」の愛称で親しまれる。まさに正真正銘の美人姉妹なのだ。

「(五輪は) 小さい頃からの夢だったので、凄くうれしい。いろんな方に感謝の気持ちでいっぱい」と笑顔で決意を語った美しすぎる新体操選手＝サイド横田仁奈が、ロンドンのマットに可憐な花を咲かせる。

■関連リンク

- ・サイド横田仁奈 フォト
- ・サイド横田絵玲奈 フォト

北島康介、3 度目の五輪は「大運動会みたいなもの」

ロンドン五輪において、3 大会連続の 2 冠(金メダル)を目指すのが、競泳・北島康介だ。

過去、同一個人種目で 2 大会連続金メダルを獲得したのは、カール・ルイスら 16 人。3 大

会連続となれば、1908 年のロンドン五輪で達成(立ち高跳び&立ち幅跳び)したレイ・ユリーただ一人という、まさに偉業である。

「報道ステーション」(23 日放送)では、スポーツキャスター・松岡修造氏が、日本中の期待を背負う北島に行ったインタビューの模様を放送した。

「周りは 3 大会連続 2 冠をどんどん押してくると思うんですけど」と切り出した松岡氏に対し、「まあ、でも、オリンピックだけで評価されるのはちょっと。僕的にはそんなに嬉しくないですね。やはり、この 4 年間の動きであったり、そういうものを見て評価して貰えるなら嬉しい」と返した北島。

3 度目の五輪挑戦については、「自分がここでまだ勝負できるっていうふうには、北京終わった時点で思ってたし、全く違ったオリンピックになると思うし。3 大会連続っていうことにも興味はあるけど、違った意味で戦わなければいけないオリンピック」と語った。

また、2011 年の世界選手権では 4 位に終わるなど、一時は思うような泳ぎができず「ちょっと真っ暗になりましたよね」という北島は、「絶対まだ勝負できるっていう気持ちがどっかにあった。オリンピックに行きたいし、勝負したいっていう先の目標がきちんとあった」と、それでもアメリカでのトレーニングを続けた。その結果、今年 4 月のロンドン五輪代表選考会では、北京五輪を上回る自己ベストを叩き出し、晴れて五輪代表へ。

この結果について、北島は「日本選手権で自分の記録を超えたっていう意味では、成長できることを証明できたと思う」と話すと、過去に行われた松岡氏のインタビュー内で“戦争”と表現したこともある五輪を「なんなんでしょうね。まあ大運動会みたいなもんじゃないですかね」と改めて表現した。

さらに、「興奮して気持ちが入って行って、生きてるって思える瞬間を少しでも楽しみたい。オリンピックって凄いなって思います。こんな感情になったり、辛いなとか嬉しいなって思うことはたぶんなかったと思うから。オリンピックって特別な場所だなって思うし、一回水から離れてもう一回オリンピックに出て勝負ができるっていうのも夢のような話だし、生きてる半分はオリンピックの中で生きてる訳ですから、そこで色々考えて、思って、成長できているし、環境の変化だったりとか、試練も乗り越えてきたと思うから」と一気にまくしたてた北島は、新たな境地のもとロンドン五輪に臨む。

なでしこ初戦のスタジアムに意外な事実、みのもんたは「なんで？なんでないの？」

日本時間 26 日、ロンドン五輪・女子サッカーの 1 次リーグ初戦がシティ・オブ・コベントリー・スタジアムで行われ、なでしこジャパンがカナダ代表を相手に 2-1 で勝利し、幸先よ

いスタートを切った。

この模様は、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」でも伝えられたが、この中で、同番組はコベントリーのスタジアムに時計が設置されていないことを指摘。

現地に赴いた TBS 高畑百合子アナウンサーが「今日の会場なんですけども、次の試合でも日本はここを使うんですね。この会場で私たち、ひとつ気づいたことがありますて、よそにはないことですよ」と切り出すや、「時計が設置されていないんです、今日の会場」と意外な事実を口にした。

すると、サッカー解説者の福田正博氏も「選手たちは今どのくらいの時間やっているのか、あとどのくらいあるのかを確認することができないので、結構選手としては不便だなと思うんですね。ベンチには時間を聞いていると思う」と話し、これを聞いた番組司会のみのもんたは「なんで？なんでないの？なんでないの？」と不思議がった。

・ロンドン五輪特集ページへ

なでしこジャパンに“意外な共通点” 18 人中 17 人が……

26 日、ロンドン五輪・女子サッカーは、なでしこジャパンがカナダ代表を 2-1 で下し、幸先よいスタートをきった。

同日、フジテレビ「とくダネ！」では、「なでしこに意外な共通点」として、なでしこジャパン 18 人中 17 人に兄か姉がおり、第 2 子以降の子であることを伝えた。

また、ロンドン五輪・日本選手団全体では、293 選手中 189 名、実に 73% が第 2 子以降であるという。同番組によると、これは第 2 子以降の子どものほうが親に十分甘えられることから、自己肯定的な性格に育ち、自分を貫き通せるようになる傾向があるようだ。

また、その他にも、母親の妊娠時、第 2 子以降のほうが体内で栄養を吸収しやすく、生まれてきたときの体重が重いというデータも紹介された。

ちなみに、レスリング・吉田沙保里は兄が二人おり、テニス・錦織圭は姉がいるが、北島康介は第 1 子だという。

・ロンドン五輪特集ページへ

U-23 日本代表が大金星、加藤浩次は「選手たちに謝らないといけません」

ロンドン五輪・男子サッカー予選リーグ初戦、U-23 日本代表が金メダルの大本命・スペイ

ン代表を 1-0 で破る大金星を挙げた。

27 日、日本テレビ「スッキリ!!」では、加藤浩次やテリー伊藤も番組冒頭から大興奮。加藤は「日本男子サッカー、1-0 でスペインを破りました。引き分けでも御の字だと思ってました。すごいわ。そこまで僕も考えてなかったので選手たちに謝らないといけませんね。すいません、本当に。申し訳ございません」と謝罪した。

また、1996 年アトランタ五輪でブラジルを破った“マイアミの奇跡”を経験している、サッカー解説者・城彰二氏は「みなさん、奇跡っていいですけど、実力ですよ」と切り出す。

さらに、城氏はスペイン代表についても言及すると、「スペインは決勝トーナメント、優勝、ファイナルまで計算して考えてくるので逆算をしてくる。そうすると予選の最初のスタートは、大体 80%、70%で力を出して勝てるんじゃないかと。日本のことはあまり実は知らない。研究はしていなかったの。ちょっと油断してたんじゃないかと。コメントもありましたけど（日本を）かなり舐めてましたよね。それが逆に誤算だった」と語った。

・livedoor ロンドン五輪特集ページへ

開会式は「五輪のマークが出てきて、それがとんでもないことになる」!?

いよいよ日本時間 28 日（土）早朝 4 時 30 分から執り行われる、ロンドン五輪開会式。エリザベス女王即位 60 周年という記念すべき年の五輪開催は、映画監督＝ダニー・ボイルが演出を手がける。

一体どのような開会式になるのか。27 日放送、フジテレビ「とくダネ!」では、現地に赴いた番組司会・小倉智昭キャスターが五輪の開会式について語った。

U-23 日本代表の歴史的勝利を「私の予想通り」と笑顔で話した小倉キャスター。開会式については、「二日間、後ろのスタジアムでリハーサルが行われていて、当日高くて入れない人、あるいは、チケットが入手できなかった人がリハーサルに相当駆けつけて、リハーサル見た人が写真を撮って、それをスタジアムから出てきて、スタッフに見せたりしている」と話す。

また、「見所は幾つかあるようなんですが、たとえば、日本は聖火ランナーが誰かなんて気になるじゃないですか？現地の新聞では、聖火ランナーでベッカムっていう声があるんですよ。どうだろうか。僕はベッカムじゃない気がする」と続けた小倉キャスターは、「開会式のショーのほうなんですが、リハーサル見た人に聞くと、産業革命のシーンがあるらしい。全体的にダニー・ボイルの演出っていうのは、イギリスの文化だとか、歴史だとか、音

樂を中心に繰り広げていくんで、当然イギリスの産業革命っていうのはあるんですよ。産業革命のあとに何か五輪のマークが出てきて、それがとんでもないことになるっていう話は聞いたんですが、それがどういうふうになるのかは分かりません」と、リハーサル参加者に取材した内容を説明した。

また、小倉キャスターは「もちろん、私、開会式行きます」と前置きし、「現地では 1600 ポンド。20 万弱のチケットなんですけど、これにかなりのプレミアがつきまして、私たちはこれ 25 万ほどで入手しました。そのチケットで私はすいません、見させて貰います」と、開会式のチケットが驚くべき値段で取引されていることも明かした。

・livedoor ロンドン五輪特集ページへ

内村航平ら選手が見せる競技前のしぐさの秘密

27 日放送、フジテレビ「とくダネ！」は、「メダル獲得のキーポイント 競技直前の"しぐさ"に秘密」と題し、アスリートが競技直前に見せる、お決まりの"しぐさ"を考察した。

中村美里、松本薫ら柔道選手が試合前に見せるその場跳びジャンプ。今も多くの柔道家が行うしぐさだが、そこにはちゃんとした理由があるという。

同番組にコメントを寄せたメディカルトレーナー・土屋潤二氏は「前傾したりとか右に寄ったりとかっていう、重心が真下にないと一方には強いんですけど、反対の方向にはうまく動けない。ジャンプすることで重力を感じますので、背骨がいい位置に入るんですね。そうすることで柔道のプレーに安定さが出てきます」と語る。

また、東海大学・高妻容一教授は「私たちは"プレ・パフォーマンス・ルーティン"という言葉を使います。プレー前の一連の動作パターン、成功する前のパターン。試合でベストパフォーマンスを出すために必ず選手がやってる、科学的にげんかつぎをトレーニング化したもの」と説明した。

他の競技でも、バレーボールの木村沙織は、相手サーブの直前にレシーブの動作を繰り返すことで、レシーブ・ミスを減らし、弓を引くパフォーマンスでお馴染み、陸上ウサイン・ボルトは、今月行われたジャマイカ選手権で敗れているが、この大会を取材した記者は「ボルトは敗れたレースの前、ダンスもおどけたしぐさも見せませんでした。彼がダンスを披露するときは、調子がよく、自信があるとき」と明かす。

さらに、内村航平が見せる跳馬の直前に腕を前に伸ばして狙いを定めるようなしぐさについても、アテネ五輪に出場した塚原直也さんは「跳馬を跳躍する前にロンダートっていう技

を最初にするんですけど、その時の手のつき方をイメージトレーニングでやってるんじゃないかと。まっすぐに付かないと体が曲がってしまう。曲がった状態で跳躍すると着地までまっすぐ入ってこない」と説明した。

銀メダル・三宅宏実、試合後、同じ言葉が 32 回飛び出した!?

日本時間 29 日、ロンドン五輪・女子重量挙げで日本人初のメダルを獲得した三宅宏実が、コーチである父・義行さんとともにテレビ朝日の五輪中継に登場した。

「メダル獲るってはじめたもんですから、12 年。約束したことが守れて、達成できて嬉しく思います」と語る義行さんに続き、三宅は獲得した銀メダルを「すごく重たいです」と話した。

競技を振り返って「一本一本が緊張でドキドキして、絶対成功させたかったの。とにかく必死でした。(挙げたときは) やったーっていう感じ」と語った三宅。試合前には、父に「最高の状況ができるサポートを宜しくお願いします」という手紙を渡したことを明かした。「(手紙を渡したのは) 2 回目ですね。去年の日本選手権で日本記録出したときも、このときも自然に感謝の気持ちと意気込みを書いて、今回もここまできた想いを書きました」と照れながら話した。

また、「あの時、本当に実感がなくて、こんな大きな舞台でメダルが獲れたことが夢のように、時間が経つてくるとメダルが獲れたんだなーって。たくさんの日本の方々に見守られて、一緒に今日は挙げれたんじゃないかな」という三宅に、五輪キャスターを務める松岡修造氏も「ミックスゾーンで、あまりに嬉しかったのか、頭が真っ白だったのか“本当に本当に本当に”っていうのを 32 回言ってるんですよ」と嬉しそうに話した。

競泳“銅”高校生・萩野に、松岡氏「なんでいきなり出てきた？」

日本時間 29 日、競泳男子 400m 個人メドレーで高校生・萩野公介が銅メダルを獲得した。

テレビ朝日の五輪特設スタジオを訪れた萩野。五輪キャスターを務める松岡修造氏から「なんでいきなり出てきた？」と訊かれるや、「なんでですかね。若いからですかね？」と苦笑い。

今回の結果について「すごい不思議な感じ。夢のオリンピックの舞台に出ることができて、しかもメダルを獲ることができるなんて、限られた人にしかできないこと。幸せです」と話す。

すると、松岡氏は「ちょっとまって下さい。何歳ですか？(17 歳と聞くや) なんでそんなに落ち着いているんですか？」とツッコミを入れつつ、「これはハッキリ言います、金メダ

ルに等しい。だって、水泳の初日ですよ。個人メドレーですよ」と大興奮。

それでも、落ち着きを見せる萩野は「スタートが遅くて、周りがスタートのうまい選手だったので、余計に遅く見えちゃいました。得意の背泳ぎを生かすしかないと思って。300m ターンしたときに（フェルプスが）見えて、これは行くしかない」と、「最後は見えてなかったので、キックを一生懸命打って、最後いけるところまでいこうと頑張って泳ぎました。（メダルの意識は）なかったです。フェルプスがもっと前に行ってるもんだと思っていたので、ビックリしました」と冷静に振り返る。

メダル獲得を決めた瞬間は、「電光掲示板見て、3 番っていう数字見て日本チームの応援して下さった皆さんのほう見て、喜んで下さっていたので“あっメダル獲ったんだな”って思って」と語る萩野。今回の五輪には、教科書なども持参しているようで、松岡氏からこの点を訊かれると「学生だからですか？」と話し、スタジオを爆笑させた。

■関連リンク

・萩野公介／写真ギャラリー

柔道・平岡拓晃「みんなに申し訳ないって頭を下げた」

ロンドン五輪・柔道男子 60kg 級で銀メダルを獲得した平岡拓晃が、テレビ朝日の五輪特別番組に出演した。

「メダルは金ではなかったんですが、4 年間頑張ってきた色なのかなと思います」と切り出した平岡。準々決勝では、フランスのミルを相手に大接戦を繰り広げたが、「ポイントを取られていたので、前に出るしかないと思ってですね、抱きついてでもポイントを取ろうと思った。オリンピック前の練習でポイントを取られた時の練習も少しやっていたので、それが出たと思います」と振り返った。

また、「冷静だった？」という問いには、「慌ててもいたんですが、やることはひとつだなと腹は決まっていた」と語る平岡は、一本勝ちを決めた準決勝についても、「ここ（準々決勝）で一回自分は死んだんだと。負けてる試合だったんで、なんとか勝ちを拾ってそのときに、僕は死んだんだと思って、準決勝も決勝も開き直った」と話す。

さらに、ガルスチャンに敗れた決勝は「掬い投げにしようとしたんですけど、掬っていく方向を間違えてしまった。もう少し真上に引き上げてから掬えばよかったんですけど、はさまれてしまって。自分は前に出ているわけだから勢いで回ってしまって。判断ミスでした」と反省の弁を語った。

そして、母や妻への感謝を口にした平岡は「自分の中では金メダル獲りたかったです」と改めて話しながらも、「とりあえず男子柔道は全員が金メダルを獲ることを目標にやってきて、僕が流れを作るべきだったんですけど、それができなくて。すぐ選手村に帰って、みんなに申し訳ないって頭を下げて。明日からは選手のサポートに回ることだけを考えています」と続けた。

ロンドン五輪は、競泳・女子大生美人スイマー＝高野綾に注目

ロンドン五輪の開幕式が 27 日に盛大に行われ、ついにアスリートたちの 17 日間におよぶ熱戦の火蓋が切って落とされた。

28 日からスタートする競泳では、初日から男子 400m 個人メドレーに出場した萩野公介が銅メダルを獲得するなど大きな話題に。本日 29 日には男子 100m 平泳ぎ決勝に北島康介が登場するが、女子 400m 自由形予選に登場する美女スイマー・高野綾も忘れてはならない。

同志社大 1 年の高野は、2012 年 4 月の日本選手権 200m 自由形で、1 分 59 秒 46 のタイムで 4 位に入賞、ロンドン五輪の女子 800m リレーのメンバーにも選出されている。

幼稚園の頃から水泳を始め、近大附属高校を経て同志社大に進んだ。所属するイトマンからは近大に進む選手が多いというが、彼女はあえて、自分の勉強したい分野と照らし合わせ、通学距離も長い同志社大に進んだという。

その芯の強さと、オリンピック代表選手という肩書きから、超ストイックなアスリートを想像するところだが、素顔は普通的女子大生だ。彼女の twitter (@ayachan314) はまさに女子大生という感じで、そのギャップが微笑ましい。

大舞台で泳いだ感想をどんなふうにツイートしてくれるのか。女子大生スイマーの泳ぎとつぶやきに注目だ。

アーチェリー・3 人娘、銅メダル獲得に喜びの声

日本時間 30 日、ロンドン五輪で行われたアーチェリー女子団体では、日本代表＝早川漣、蟹江美貴、川中香緒里が 3 位決定戦でロシアを破り、日本女子初となるメダル（銅）を獲得した。

その後、TBS 特設スタジオを訪れた 3 人は「楽しんでできました」（早川）と語り、リラックスをして試合に臨んだことを伝えると、早川は続けて、「あまり集中しないようにしました。モノマネしながら」と、川中にカラスのモノマネを振り、「緊張が解ける」と笑った。

また、みのもんたからアーチェリーをはじめた理由を訊かれると、蟹江は「中学からはじめ

たんですけど、運動が苦手。あまり激しそうなスポーツじゃないので、かっこいいし面白そうだし」と語り、川中は「弓道やってみたいかなって思ったんですけど、練習場が遠くて。アーチェリーは近かったの、まあいいかなと」と嬉しそうに話した。

柔道・海老沼、旗判定やり直しに「会場の皆さんが後押ししてくれた」

ロンドン五輪では、柔道男子 66kg 級で海老沼匡が銅メダルを獲得した。

だが、その準々決勝＝韓国チョ・ジュンホ戦では、一度は有効が取り消され、そのアドバンテージがあるにも関わらず、旗判定になると審判の 3 人は揃って青旗を掲げた。

その瞬間、会場内には大きなブーイングが起こり、審判団は協議へ。一度は出た判定が覆る結果となった。

競技後、TBS 番組に登場した海老沼は、「金メダルを目標にやっていたので、すごく悔しいです」と改めて大会を振り返ると、「金メダルには何かが足りなかったと思うんですけど、それは今わかることはないの、これから突き詰めていく」と準決勝の敗因を述べた。

そして、気になる有効取り消しや旗判定のやり直しといった審判陣の裁定については、「(有効取り消しは) 審判団の人のことなので、また (一本を) 取りにいくしかない。(旗判定には) やっぱり自分の中では勝ったと思ったので、それで負けてしまっていたので。でも会場の皆さんが後押ししてくれた」と、再判定に少なからず影響があったとみられる場内のブーイングに感謝をした。

裁定が覆った柔道、加藤浩次は「会場はそれで納得したという感じ」

ロンドン五輪・柔道男子 66kg 級では、海老沼匡が銅メダルを獲得するも、その準々決勝戦(チョ・ジュンホ戦)では、旗判定がやり直されるなど、今も物議を醸している。

日本テレビ番組内では、現地取材を行っている加藤浩次が「現場でも一切説明なく、審判が座って旗を持ち直したので、"えっ、もう一回"っていう空気が実際流れました。ただ、海老沼選手に判定が変わったときに、会場はそれで納得したという感じでしたね。柔道に詳しいお客さんが来ていたので、"そういうことだ"っていうのがわかったんじゃないですかね」とレポートした。

すると、今回の問題について、シドニー五輪金メダリスト・瀧本誠さんは「本来だと畳の上にいる審判がしっかりと判定することが望ましいと僕は思います」という見解を述べたが、場内の雰囲気(ブーイング)により審判団が協議をするきっかけになったという説には、「もちろん、それは違います。試合の流れ、技の効果を見て、海老沼選手の勝ちじゃないかというのが審判委員のほうから挙がったと思う。そこで集まって協議の結果が覆った」と説明し

た。

“岩崎恭子の再来”、天才美少女スイマーが本日登場！

連日各競技で熱戦が繰り広げられているロンドン五輪。8月1日には競泳女子の平泳ぎ予選が行われ、天才美少女スイマー・渡部香生子がついに世界の舞台でお目見えする。

荒川区出身の弱冠15歳。武蔵野高校に通うピカピカの女子高生は、中学生時代から各レースで驚異的な結果を残し、若くから天才スイマーとして注目されてきた逸材だ。

2011年5月に出場したジャパン・オープンでは、50m、100m、200m平泳ぎの3種目全てで優勝。100m平泳ぎは日本歴代2位（1分07秒10）、200m平泳ぎは日本歴代7位（2分23秒90は）の記録で日本中学新記録を樹立した。その若さと天才的な泳ぎから、1992年のバルセロナ五輪において当時14歳で優勝した岩崎恭子の再来と呼ばれる。

一方で、アイドルグループにいてもおかしくないほどの可愛らしいルックスも出色だ。ネット上では応援スレッドや画像まとめサイトが乱立。彗星のように現れたスター候補生に色めき立っている。可愛くて、天才的な美少女スイマー。ロンドン五輪という大舞台でどんな泳ぎを見せてくれるのか、要注目だ。

柔道・西山、準々決勝で“幻の一本”に「僕はしゃべらないです」

1日、ロンドン五輪・柔道男子90kg級で銅メダルを獲得した西山将士が、日本テレビ「スッキリ!!」に出演した。

冒頭から「（銅メダルには）あんまり興味ないです」と切り出した西山は、「金メダルっていうか、負けたくなかったの。負けたのが悔しい。メダルの色っていうよりも、昨日一日で全部勝ちたかった」と続けた。

「納得できない？」と訊かれれば、西山は「柔道界的にも、柔道は金だろって言ってくれて、ありがたいんですけど。僕は個人的に、どの試合もサボることなく、どうせ出るなら全部勝ちたい。まあ難しいことなんですけど全部勝ちたい。わがままですけど悔しいです」と悔しさを滲ませた。

準々決勝では、韓国の宋大男に大外刈りを決め、一度は一本となったが、副審二人が技有りを主張、逆転とはならなかった西山だが、この裁定について、篠原信一監督の「一本だった」というコメントが紹介されると、「そのときは、うわーと思ってもしょうがないので、次、次、なんとかチャンスをとる感じでした。（あれは一本だと思うか？）僕は、そうですね。しゃべらないです、なにも」とノーコメントで通した。

また、井上康生コーチからは、「準々決勝前までは、今までやってきたこととか、技術的なことの確認なんですけど、負けてからの試合は、精神的にも肉体的にもきついところだったので、“お前、ここで踏ん張らないと、お前に今日託された困難なんだから、乗り越えないとダメだ。俺はアテネのときに準決勝で負けて、3位決定戦で気持ちが切れて、後悔したんだ”って言われて、それでなんとか。あとは精神面、執念だぞって言われて」というアドバイスを受けていたことを明かした西山。「この悔しさ、何にぶつけましょう？」と訊かれると、「試合の悔しさは試合でしか返せないと思うんですけど、ちょっと今まで周りにも迷惑かけて、自分も柔道にエネルギーをかけたので、負けたのは悔しいですけど、まだぶつけるところを考えてないです」と語った。

北島に勝った立石、隣のコースは「あんま見ないようにしていました」

ロンドン五輪・競泳男子200m平泳ぎで、銅メダルを獲得した立石諒が、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」の現地特設スタジオにゲスト出演。喜びを語った。

「正直、応援してくれる方々、金期待されてたと思うんですけど、まあ、今できる最高のレースをできたと思うので、自分の中に気持ちを秘めてこれからやりたいと思います」と語った立石。

決勝レースでは、立石が1コース、北島康介が2コースと隣で泳ぐこととなったが、「(北島のほうは)あんま見ないようにしていました。康介さん絶対前半行くってわかっていたんで。自分のレースは後半、粘り強い泳ぎだったから。できるだけ見ないで泳ぎました。自分のレースだけを心がけました」と明かした。

また、憧れの存在でもある北島を破ったことについて訊かれると、「勝っちゃいましたね」と笑顔を見せた立石は、「最後は死んでもいいと思って泳いでたから、全く周りは見えていなかったですね。本当に真っ白の中で泳いでました。タッチしても順位わからなくて、電光掲示板見たんですけど、全然わかんなくて、スタート台見てわかりました」と語った。

体操・内村の金メダルに「これほど6種目を完璧にやる選手はいない」

日本時間2日、ロンドン五輪・体操男子個人総合で日本の内村航平が見事金メダルを獲得した。

同日フジテレビ「とくダネ！」では、アテネ五輪・体操団体総合で金メダルを獲得した塚原直也氏が出演、内村の演技を絶賛した。

「やっぱり強いですね。いつ見ても」と切り出した塚原氏は、「体操の種目の中、個人総合ってというのが一番強さをアピールできる。相当強いんだなと」と改めて、その強さを語った。

また、団体総合で中国の選手が出場していないことについて訊かれると、塚原氏は「やはり6種目完璧にできる選手っていうのが世界をみても少なくなっている。さすがの中国も、6種目全て強い選手が少なくなってきた。それでできない。世界を見ても、これほど6種目を完璧にやる選手はそうそういない」と、見解を述べた。

小倉智昭キャスター、柔道に苦言「試合がつまらない」

2日、フジテレビ「とくダネ!」では、イギリスの地でロンドン五輪の現地取材を行ってる小倉智昭キャスターが、ここまで行われてた柔道の試合について苦言を述べた。

解説を務める、アテネ五輪柔道金メダリスト・鈴木桂治氏に対し、「アテネの頃と比べて、柔道場に朝から晩までいると試合がつまらないんですよ。本当に一本が数えるほどしかないんだよね。あれって、そのままでいいんだろうか、講道館柔道は?」と訴えかけた小倉キャスター。

鈴木氏は「海外の選手が日本人に対して、マークが厳しくなったり、柔道スタイルを変えてでも勝ちにこだわるっていうスタイルが増えていますので、日本は日本のスタイルを貫くのと同時に勝つことも考えなきゃいけないと思います」と返答したが、小倉キャスターは「指導2本で有効で、それだけで勝ち負けが決まっちゃうというのも解せないですよ」と続け、不満を抱いている様子をうかがわせた。

柔道界の現状に、古賀氏「日本の場合は先生の圧力が強い」

ロンドン五輪における柔道男子は、ここまで金メダルを獲得できずにいる。2日も男子100kg級に穴井陸将が出場したが、2回戦敗退を喫している。

3日、TBS「みのもんたの朝ズバッ!」では、バルセロナ五輪柔道金メダリストの古賀稔彦氏が出演。柔道界の現状について語った。

「穴井選手は初戦を見たときから、足が地についていないような雰囲気でした。私も88年、ソウルで金メダル候補でありながらも、3回戦で負けてしまった経験があるんですけど、この時と穴井選手似ているなって思って」と切り出した古賀氏は、「金メダルを獲りたい、獲らなきゃいけない選手っていうのは、オリンピックの試合場にあがるまでの準備期間を目一杯走っていきますから、気持ちに余裕がないんですね。試合場にあがったときから、自分の心のエネルギーがガス欠になっている。見たときに、集中力が感じられませんでしたし、やってやろうっていう気迫が表に出てきていないと感じた」と所感を述べた。

しかし、昨今“JUDO”とも呼ばれるように、戦い方が大きく変わってきている柔道には、「今回、海外選手から一つ学ばなければいけないのは、海外選手は、自分の試合で自分をプロデュースしている。この選手であれば、こういう戦い方をして。今自分がポイントを取ってい

るから、柔道の質としては悪いですけど、ちょっと（技を）かけているふりして時間を稼ごうとか。時間があと何秒しかなければ、守っても時間を使っていこうとか、勝つための準備を自分でできる。日本は一本にこだわってやってきてましたから、ポイントを取っていても、一本取ろうとする」と語る古賀氏は、“海外選手に学ぶべき”と見解を示す。

また、「柔道界全体が変わっていかなければいけない？」と訊かれると、「日本の場合は先生の圧力が強いんですよ。こうしろ、ああしろっていうのが。指示通りに選手が動いていくというような仕組みがあった。今回のルールから、コーチが“待て”がかかったときだけ指示を出していいと。それ以外は声を出しちゃいけないというルールに変わりましたから。そうすると自主的に考えて戦える選手を作っていくと。コーチからの指示待ち人間では勝てない」と力説した。

藤井&垣岩ペア、準決勝がアウェーだった意外なワケ？

2日、バドミントン女子ダブルスでは、藤井瑞希&垣岩令佳ペアが、アレックス・ブルース、ミシェル・リー組を下し、決勝進出。日本人選手初となる同競技のメダル獲得を決めた。

だが、準決勝が行われたウェンブリーアリーナで藤井&垣岩ペアは、“アウェーの状態”だったという。3日、日本テレビ「スッカリ!!」番組内で現地取材中の加藤浩次がその様子を明かした。

「会場で藤井選手、垣岩選手のお父さん、お母さんにも話をきいて、本当に喜んでましたね。歴史的な瞬間を目撃できたっていうことをお母さんもおっしゃってました。ただ、最終的には金メダルを獲ってほしいって言ってました」と切り出した加藤。

すると、加藤は「相手がカナダのブルース選手とリー選手だったんですよ。ブルース・リーなんですよ」と話し、日本スタジオの出演者を笑わせたが、実際の会場でも「カナダの応援団が“ブルース・リー、ブルース・リー”っていうんですよ。それで外国人の人たちが面白がって“ブルース・リー”っていい出して、スタジアムがアウェーの空気だったんです」と続けて説明した。

そんな状況下でも、キッチリと勝利を挙げた藤井&垣岩ペア。注目の決勝戦は、4日に行われる。

北島康介、獲得した銀メダルに「重さは確かに一番重い」

5日、TBSのロンドン五輪特別番組には、競泳種目の全日程を終え、そのラストを飾る「男子400mメドレーリレー」で銀メダルを獲得した入江陵介、北島康介、松田丈志、藤井拓郎、そして「女子400mメドレーリレー」で銅メダルを獲得した寺川綾、鈴木聡美、加藤ゆか、上田春佳の8選手が出演した。

キャプテンを務めた松田が「有終の美を飾れたので、嬉しくてホッとしています」と語ると、北島には「この銀メダルは違った重みがあるのでは？」といった質問が。北島は「重さは確かに一番重いかもしれない」と周囲を笑わせた。

また、今大会で大活躍を果たした入江は、「男子は4年前、銅メダルだったので、今回は銀メダルでいこうって話していましたが、試合直前も目で見合って“うん”っていう感じでしたね」と語り、鈴木は「個人個人の目標とともに、チーム一丸となって頑張ろうってレース前に気合を入れました」と振り返っている。

さらに「今一番何がしたいですか？」という質問には、「とりあえず寝たいっすかね」(松田)、「なんですかね。ないっす(笑)」(北島)、「私は2ヶ月間、ヨーロッパに合宿に出ていて、まだ日本に帰れていないので、まずは何も考えなくていい時間と、帰ったらお寿司が食べたいなと思います」(寺川)、「私は大学4年生なので、最後のインカレということで、はやく大学のほうに帰って水泳部のみんなに会いたいです」(鈴木)、「僕は焼肉が食べたいです」(入江)、「ゆっくりしたいのと、おいしいものをいっぱい食べたいなと思います」(藤井)、「私もゆっくりすることと、おいしいものを食べたい」(上田)、「私もおいしいものを沢山食べたいんですけど、2ヶ月間海外で痛んでしまった髪の毛を綺麗にしたいです」(加藤)と、それぞれが語った。

体操・内村航平の大技に「ウチムラ」の名前がつく!?

5日、ロンドン五輪・種目別決勝の床では、内村航平が銀メダルを獲得した。すると、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」(6日放送分)では、ロサンゼルス五輪金メダリスト・森末慎二氏が出演、内村航平の華麗な演技を振り返った。

「中国の選手(鄒凱)は最後の2回宙返り・2回捻りで着地が動いただけで、後は全部決まっているんですよね。内村選手は1本目と最後だけ決まったんですけど、真ん中の技で少しずつ足が動いている」と、惜敗の要因を語った森末氏だが、個人総合で金メダルを獲得した、その美しい演技を世界に見せ付けた内村のすごさについては「(跳躍中に)床を見ているから、自分の高さで回転がわかるので、彼の場合は着地がすごいというのはここ。指はこう(伸ばす)なってなくてもいいんですけど、一番はこの状態でも足の指、つま先を伸ばそうとしていますよね。普通はここまではこないです。大技をすると。自分の中でつま先を常にキレイにしようという意識があり、最後まで(全身が)槍のようになってますよね」と絶賛した。

また、内村の大技でもお馴染みとなった「リ・ジョンソン」をはじめ、体操では国際大会の舞台上で最初に決めた選手の名前がオリジナル技の名前になっている。森末氏は、内村が見せ

た床と跳馬についても「今やってるのは、跳馬で3回捻りをやると、名前がウチムラってつく。床で2回宙返り・4回捻りをやってるということで、これもウチムラっていう技になります。次の世界選手権で、もしそれを発表すると、僕の平行棒（モリスエ）みたいに、床と跳馬でウチムラ、ウチムラっていう名前が出てくる」と喜んだ。

フェンシング・太田の無茶ぶりに三宅がギャグを披露するも――

ロンドン五輪・フェンシング男子フルーレ団体で、日本代表が銀メダルを獲得した。

準決勝では、世界3位のドイツと対戦、太田雄貴が残り1秒で追いつくと、延長戦の末に競り勝つという大逆転劇をみせた。決勝では世界ランク1位・イタリアの前に敗れたが、6日、TBSの現地特設スタジオには、太田、三宅諒、千田健太、淡路卓の4選手が笑顔で出演を果たした。

ドイツとの死闘について、「自分で自作自演してすいませんでした」と苦笑いを浮かべた太田は、「個人戦と違って、一つの想いを繋いでいく。9試合繋いでいくのが団体戦だと思う。今回は中国、ドイツと強豪に勝つことができたので嬉しく思っています」と喜んだ。

そして、千田が「自分の全てを出し切れたのでスッキリしています」と現在の心境を述べると、ウケを狙った三宅に、太田が「得意の一発芸を」と無茶ぶり。三宅は、頭の後ろで手のひらを広げ、「うーん、パイナップル」というギャグを披露したが、スタジオでは失笑がもれる程度に。三宅はすかさず「朝からすいませんでした」と詫びた。

また、4年後のリオ五輪について訊かれた太田は、「聞こえません」とはぐらかしつつ、改めて「プレッシャーもありましたけど、この4人だから耐えることができましたし、ナショナルチームのメンバーが個を殺してサポートしてくれたので、それが何よりも勝因」と、チームの絆をアピール。さらには、「銀メダル祝いということで、森永製菓のチョコレートでも、ウイダーinゼリーでも、宜しくお願いします」と所属先の森永製菓のPRも忘れなかった。

崖っぷちから這い上がった復活のマーメイド

戦後最多、ロス五輪に次ぐ2位タイとなるメダル総数11個（銀3、銅8）という結果を残したロンドン五輪競泳日本代表。男子のエース北島康介に期待の金メダルが生まれなかったのは残念だが、今大会は女子勢の健闘も目立った。

中でも、シドニー五輪以来12年ぶりとなる銅メダルを獲得した女子400メートルメドレーリレーは、日本新記録のおまけつきで、お茶の間を興奮の坩堝に誘った。第一泳者を務めたのは、27歳の寺川綾だ。

言わずと知れた美女スイマーである寺川は、高校生の頃から「美人女子高生スイマー」などと注目され、その動向は常にマスコミの注目の的だった。

しかしアテネ五輪で8位入賞以降、伸び悩む時期が続き、2006年にはついに日本代表から漏れてしまう。一時は表舞台から姿を消したが、北島康介らを指導した平井伯昌に師事すると、徐々に復活の兆しを見せ始め、2011年の世界選手権では銀メダル獲得。翌4月の日本選手権では日本新記録で優勝し、ロンドン五輪代表の座を射止めた。

精神的にも肉体的にも辛く苦しい時を経て、復活したマーメイド。流した汗と涙は、「これを目指していたので、これ以上のものではありません。本当にうれしいです」と語る銅メダルをより一層輝かせている。

U-23 日本代表、準決勝に散る。釜本氏は「メキシコは試合巧者」

ロンドン五輪・男子サッカー準決勝＝日本×メキシコの一戦は、大津祐樹が先制点を挙げると、前半31分に同点ゴールを許し、後半には2点の追加点をメキシコに与え、1-3で敗れた。

8日、1968年のメキシコ五輪で銅メダルを獲得し、大会の得点王に輝いた釜本邦茂氏が、TBS「みのもんたの朝ズバッ！」に電話出演を果たした。

試合を振り返って、「いや、残念だったですね。惜しかったですよ。立ち上がりの点取るところまではよかったよ。よかったんですよ。だけど、1点取られてから焦りが出たっていうか、途中でミスが。くだらないっていったらアレですけど、イージーミスが出たり、2点目もそういうところで取られた」と語った釜本氏は、「やっぱりメキシコは試合巧者ですね」とも。

また、選手交代などの采配については、「入れ替えた意図が選手に伝わってなかったというように思う。杉本君が出て高さを生かすのであれば、最後の10分くらいはそれを狙っていくようなことをしなければいけないと思う」と指摘。それでも、初戦から4試合を無失点に抑えた守りには、「守備を固くして速攻で攻める、一つの日本のカタチが出ていた」と評価し、「今大会、まだ一試合残ってますからね。勝ってくれなかったら、ここまで残った意味がないですから」と期待を寄せた。

また、1968年のメキシコ五輪において予選で戦っている韓国との3位決定戦について、みのもんたから「日本となると韓国は必死になってぶつかってきますからね」と言われると、釜本氏は「それは気持ち、フィジカルでは負けないようにしないと。（当時は）アジアで日本に先んじられたっていうことで韓国のサッカー界も地団駄を踏んだんじゃないかと思う。

そういう意味では彼らにしてみたら、44 年前の雪辱ですね」と語った。

柔道・松本薫 「男性が近寄ってこない」

8 日、テレビ朝日「モーニングバード!」には、ロンドン五輪の柔道女子 57kg 級金メダリスト・松本薫が出演した。

悲願の金メダル獲得となった松本。帰国後は、「部屋の掃除ができました。ずっと合宿もあって家に帰っていなかったのでホコリがすごかった」と、慌しい様子をうかがわせたが、理想の人と挙げていた小泉孝太郎との対面を振り返って「キラキラしてました」といい、「将来の夢は、パティシエ?」という問いには「最近気付いたんですけど、作るより食べるほうが好きだなんて」と話すなど、独特なキャラクターは変わらず。

また、松本の代名詞となった闘志溢れる表情については、「小さい頃は、顔には出なかった」と語りつつ、試合後半、相手選手の苦しそうな顔に比べ、平然としていることには「体力の差です」とアッサリ。

さらに、番組が街頭で尋ねた“松本への質問”で、「彼はいるんですか?」という質問には「野生とか野獣とかって言われているので、男性が近寄ってこないです。(告白は)されるほうがいいです。見て、キラキラしている人がいいです」、「野生児のエピソードは?」の問いには「昔、下り坂をどこまで漕げるかってやって、電信柱にぶつかってそのまま気絶した」など、驚くべきエピソードを明かした。

■関連リンク

写真ギャラリー・松本薫 (2010 年、世界選手権の写真も)

体操・田中佑、兄・和仁に「予選の時はもうちょっとしっかりしてくれよって」

8 日、フジテレビ「とくダネ!」には、体操日本代表メンバー＝内村航平、田中和仁、田中佑典、加藤凌平が出演。ロンドン五輪の演技を振り返った。

首から 3 つのメダルをさげる内村は、「全部金にしたかったし、もう少し個数も獲りたかった」と悔しさを滲ませた。初日の予選では、ミスも見られたが、その要因を訊かれると、「なんなんでしょうね。今考えても、そんなにハッキリした答えは出てないんですけど、一種目目の鉄棒で失敗しているので、それで流れに乗れなかったのかなってというのはあります」と答えた。

また、五輪では緊張しなかったという田中兄弟の弟・佑典は、その理由を「兄がいるから?」と訊かれたが、「予選の時はもうちょっとしっかりしてくれよってというのはありました」とバッサリ。さらに、加藤に至っては、「内村が頼りになるか」と訊かるや、「体操面に関して

は」と話す。

それでも互いに、「(今回の五輪で) 仲良くなれましたね」(加藤)、「だいぶな」(内村) とい
い、仲がよいのか悪いのかわからないやり取りを見せると、加藤が中国で(イケメン選手と)
話題になっていることには「全然知らなかったです」と答えた。

吉田沙保里、旗手のジンクス破る金メダル「何もいうことはない」

ロンドン五輪、レスリング女子フリースタイル 55 キロ級決勝では、吉田沙保里がカナダの
トーニャ・バービークを下し、3 連覇を達成。トーナメントでは 1 ポイントも取られること
なく、圧倒的な強さを誇示した。

そんな女王が、大会後となる日本時間 10 日、テレビ朝日の情報番組に生出演を果たした。
「昨日の夜が一番寝れなかったですね。緊張しすぎて」と、かつてない緊張状態だったこと
を明かした吉田は、「負けも経験しましたし、ロンドン五輪の前にも負けてます。私に勝っ
ている相手も出ていますし、研究もされて勝ち辛くなってきているっていうのもあったの
で、そこが緊張の原因」 と、その理由を語った。

それでも、勝因を「経験です」と言い切った吉田。開会式では旗手を務め、ジンクス(旗手
を務めると金メダルが獲れない)との戦いもあったが、「私はジンクスを破るということを
心に決めて、旗手もしっかり堂々と胸を張って歩いて。試合では絶対勝つという気持ちでロ
ンドン入りして。試合まで長かったですけど、うまく調整もできて、金メダル獲ることがで
きて、何もいうことはないですね」とキッパリ。

五輪・世界選手権 12 連覇を記録した伝説のレスラー、アレキサンダー・カレリンと記録が
並んだことについては、「超えたっていう気持ちはあります」と意気込んだ。

柔道・松本薫 「みんな、目を合わせてくれない」

11 日放送、テレビ朝日「あさナビ」には、ロンドン五輪・柔道女子 57kg 級金メダリスト・
松本薫が出演した。

五輪の重圧について、「プレッシャーはあったんですけど、48kg 級と 52kg 級の選手が試合
の後、すぐに声をかけてくれて、プレッシャーは全部吹き飛びました」と切り出した松本は、
「福見選手は頑張れと。で、中村選手は“最初の金メダルは松本さんだね”と声をかけて頂き
ました」と明かす。

また、彼女の代名詞となった“闘志剥き出しの目”については、「気づいたら、こうなってま
した」と苦笑い。「第三者的にどう思うか？」と訊かれると、「ちょっと、いかれてるなとは思
います」と語り、スタジオに笑いを誘った。

さらに、スポーツジャーナリスト・二宮清純氏から「相手も松本選手だった場合。自分の目を相手も持っていたら、どう戦いますか？ 怖いのでは？」と尋ねられると、「嬉しいです、逆に。同じ目を持っている人と戦えるのは」と答え、「過去の対戦相手にいたか？」と訊かれれば、「みんな、目を合わせてくれないので……」と呟いた。

イギリス中が熱狂したキュートすぎる陸上界の女王

17 日間に渡るロンドン五輪もいよいよ競技最終日。閉幕のときが近づき、地元イギリスは 8 月 11 日終了時点で金 28 個、銀 15 個、銅 19 個と計 62 個のメダルを獲得し、アメリカ、中国について（金メダル獲得数で）3 位につけている。

中でもイギリス国民のハートをわしづかみにしているのが、陸上女子 7 種競技で金メダルを獲得したジェシカ・エニスだろう。7 種競技といえば、キング・オブ・アスリートと呼ばれるデカスロン（10 種競技）と比肩し、アスリートとしての超絶的な能力がなければ全うできない、走って、跳んで、投げる、そのすべてをこなすスーパーな競技だ。

愛らしく、26 歳ながらもまるでティーン・アイドルのようなキュートなルックスのエニスが、そんな過酷な競技の中で次々に高記録を出していく様に、イギリス中が熱狂。表彰された瞬間のはじける笑顔には世界中がノックアウトされた。

短距離選手である父と走高跳選手である母の間に生まれ、出自からしてまさに陸上競技をやるために生まれてきたようなエニス。「最大の目標」と公言してはばからなかった自国大会での金メダルを自己ベストで獲得し、ついに念願のオリンピックメダリストとなった。

61 万人を超えるフォロワーを持つ彼女の twitter では、「私がオリンピックの金メダリストだなんて信じられない！」と歓びのツイート。かわいくて、親しみやすく、それでいて 7 種競技をこなすスーパーなアスリート。女王エニスの伝説はまだ始まったばかりだ。

・ジェシカ・エニス フォトギャラリー

帰国翌日には湯郷 Belle の練習に参加していた宮間あや

ロンドン五輪・サッカー女子決勝戦では、宿敵アメリカに惜敗し、悲願の金メダル獲得とはならなかった女子日本代表＝なでしこジャパン。だが、世界最高峰の舞台で、体格に勝る他国と真っ向から戦う凛としたその姿勢は、日本列島に勇気と感動を与えたことだろう。

そんな、なでしこジャパンを引っ張ってきた一人が、キャプテンの宮間あやだ。五輪が閉幕した日本時間 13 日放送、テレビ朝日「モーニングバード！」は、ロンドンから帰国し、その足で所属先である岡山湯郷 Belle がある岡山県に帰った宮間の様子を伝えた。

会見では、「目を配って、チームのために戦ってくれた」と宮間を絶賛していた澤穂希だが、宮間は代表のみならず、所属チームへの配慮も忘れず。なんと、帰国した翌日には、GK 福元美穂とともに、チームの練習に参加している。

番組の取材に答えた、岡山湯郷 Belle・種田佳織監督は、帰国した宮間の様子について「チームメイトに対しての愛情が非常に高いので、疲れている中でも気を遣って選手たちに声をかけていた」と話したが、当の宮間は何一つ気取ることなく、同番組の「チームメイトにメダルを見せたか」という質問には、「まあ、色々」と素っ気無く答えた。

垣岩令佳&藤井瑞希ペア、垣岩が先輩・藤井に直してほしいこと

ロンドン五輪で大活躍をみせたアスリートの一人（二人？）が、バドミントン女子ダブルスで銀メダルを獲得した垣岩令佳&藤井瑞希の先輩後輩ペアだろう。

14 日には、日本テレビ「スッキリ！！」に生出演を果たすと、過酷な戦いとなった決勝トーナメントを振り返ると、その後半では、練習やツアーなど 1 年のうちほぼ一緒にいるという二人の関係にクローズアップした。

「1 年のうち、286 日間一緒にいる」と紹介された藤井は、「やな負け方をした後は、ちょっと嫌な雰囲気になることもあったんですよ、最初は。それが嫌で、体育館で全部話し合いをして、戻ってくるようにした」と、二人の関係を良好に維持する秘訣を明かした。

すると、後輩・垣岩は、藤井に直してほしいこととして「すぐバシらせる!!」というフリップを出し、「嫌じゃないんですけど。“立ってるついでにお風呂沸かして”とか。“〇〇食べたい”とか。買ってきてとは言わないんですけど、“買ってきて”みたいな」と話し、スタジオに笑いを誘った。

「日本の応援団、からきし意気地がない」 小倉アナ、五輪を振り返る

15 日放送、フジテレビ「とくダネ！」では、番組の冒頭、ロンドン五輪の取材から帰国した小倉智昭アナウンサーが現地の様子を語った。

「(帰りの飛行機は) 選手団 174 人お乗りになってて、アテネのときはメダル執ったチームは買い物してっていう雰囲気だったんですけど、ロンドンの空港では免税店がグレーのジャケットを着た日本選手団でゴったがえしていましたね」と切り出した小倉アナ。

話題が応援のことになるや、「イギリスが最初の二日間くらいメダルがなくて、ボートの女子でメダルを獲得はじめてから急激に伸びはじめた。それと同時に会場内のイギリスの応援がすごくて、体操の内村君が困惑したっていうくらい、ホームタウンディシジョンみたい

な。グレートブリテンで GB、GB っていう応援なんです。それが足で床を踏み鳴らしながらいうんで」と語り、開催地イギリスの異様な盛り上がり伝えた。

すると、日本人の応援についても話し始めた小倉アナ。「日本でワールドカップのバレーをやると、“ニッポン、チャチャチャ”ってやるでしょ。日本人ってイギリスに行くじゃないですか。サッカーのように集団で応援席に入っている人たちは、声を出せるんですよ。バラバラに入っていると、からきし意気地がないですね。バドミントンの決勝あったでしょ。ダブルスの。(応援を) リードしていたの、僕と三宅(正治アナ) 君ですからね。記者席がみんな静かなんですよ。三宅君と僕で“ニッポン、ニッポン”って。中国がすごい応援するわけですよ。こっちは二人で」と話し、自ら率先して日本選手団を応援したエピソードを明かした。澤穂希イチオシの“ヤングなでしこ”2 選手とは？

今月 19 日より日本を舞台に開幕する第 6 回 U-20 女子 W 杯を前に、フジテレビ「すぽると！」では、「なでしこイチオシ！ヤングなでしこの注目選手」として、現なでしこジャパンメンバーが、U-20 女子日本代表メンバーを日替わりで紹介している。

16 日深夜放送分では、澤穂希が、INAC 神戸の後輩でもある仲田歩夢と田中陽子をイチオシ選手としてピックアップ。

仲田を「左利きで独特の緩急をつけたドリブルができる。スピードもある」と、田中を「結構ポジションが似ているんですけど、守備的なポジション、ボランチもできますし、攻撃の特徴としてロングシュートも上手なので、遠目からシュートを打つ意識や入る確率も高い」と紹介した。

また、当の本人は、番組のカメラに対し、「注目が集まるので、少しプレッシャーもあるんですけど、プレッシャーもよく受け止めて楽しめればいいかなと思ってます」(仲田)、「目標は絶対優勝です。それとあとみんなで優勝している姿を想像しています」(田中) と意気込んだ。

実力と美貌で、ヤングなでしこを支える 3 人のスター候補

19 日に、女子サッカー・U-20W 杯が開幕した。

広島、神戸、埼玉、宮城、東京の 5 都市 5 スタジアムで、全 16 カ国が参加。開催国の日本は、メキシコ、スイス、ニュージーランドとともにグループ A に入り、決勝トーナメント進出を争う。

ロンドン五輪では、なでしこジャパンが銀メダルを獲得するなど、昨年の W 杯優勝に続き女子サッカー人気は高まるばかり。その妹分に当たる U-20 日本代表にも、当然大きな注目

が集まっている。

だが、注目されるのは“なでしこジャパンの妹分だから——”というような薄っぺらい理由によるものでは決してない。現 U-20 女子日本代表には、なでしこジャパンの次代を担うにふさわしいポテンシャルを秘めた選手が多数いるばかりか、ルックス面でもかなりの高レベルといえるスター候補生が何人もいるからだ。

なかでも、アイドル顔負けのルックスを誇る、INAC 神戸の仲田歩夢 & 田中陽子、一部のメディアでは“長澤まさみ似”と紹介され、“ポスト澤穂希”の呼び声高い、浦和レッズレディース・猶本光らは、その筆頭といえるだろう。

これまでも、その実力と美貌から何度もメディアやネットで取り上げられてきた彼女たちだが、事実、かつてない注目が集まる中で迎えた初戦＝メキシコ戦では、プレッシャーをものともせず、MF・柴田華絵が先制ゴールを挙げると、後半には、猶本が見事なミドルシュートを、田中が PK でゴールを挙げるなど、圧巻の勝負強さを見せて 4-1 と快勝した。

自国開催ということも手伝い、今大会の結果如何では、一躍全国区になるであろう、ヤングなでしこたち。次戦は 22 日のニュージーランド戦となる。

■ヤングなでしこ フォトギャラリーはコチラ

プロレスラー・小橋建太が骨折しても病院に行かないワケ

「Oh! どや顔サミット」(17 日放送) では、「アスリートの奥様大集合!」として、プロサッカー選手、宇佐美貴史の妻でタレントの宇佐美蘭や、プロゴルファー谷原秀人の妻で元ハロー!プロジェクトのメンバーでもある谷原絢香らが出演した。

なかでも異彩を放っていたのは、プロレスラー・小橋建太の妻で演歌歌手・みずき舞の出演だろう。旦那の一風変わったところを「夫の怪我は日常茶飯事! いつも元気でいて欲しい」と紹介するや、怪我の絶えない小橋が、骨折をしても「骨折しているだけだよ」と病院に寄ることなく帰宅してくることや、痛みに鈍感になってしまったのか、家中の物にぶつかりまくるエピソードを明かした。

みずきは、「この間も、夜トイレに行って戻ってきたら、(小橋の) ここ (額) がパッキリ割って、すごい血が出ていたので“どうしたの?”っていったら、トイレのドアにぶつけたみたいで」で苦笑い。

骨折しても病院に行かない点については、「この間も、骨折両膝したときも、そのまま帰っ

てきて玄関でバンって転んだんですけど、そこまでは自力で一生懸命帰ってきた。(小橋は) 病院に行かないほうがいいという思いがあって、若手のころ、ジャイアント馬場さんに“プロレスラーは怪物であれ。病院には行くな”と教えられた」と説明。他の出演者から、「病院で(ファンに) 見られると夢壊すってことですか?」と訊かれると、「そうですね。(プロレスラーは) 怪物でないといけない」と話した。

また、みずき曰く、小橋はデート中であっても、ファンの人たちが集まってくるや、その胸に得意の逆水平チョップをしてあげるといふ。そのため、いつの間にか二人の前に行列ができてきていることも。「やってもらうと泣いて喜ばれる方も」と話したみずきに、司会の浜田雅功は「猪木さんのビンタみたいなもんか」と返したが、行列ができるまで一人一人に逆水平チョップをするというのも、ファン想いの小橋ならではのエピソードといえるだろう。

柔道・平岡拓晃、試合直前に失格の危機だった!?

ロンドン五輪・柔道男子 60kg 級で銀メダルを獲得した平岡拓晃が、日本テレビ「スッカリ!!」(23 日放送分) に生出演を果たした。

一回戦負けを喫した北京五輪時と比べ、「4 年前、負けてメダルなかったんですけど、その時と全然違うな一って」と話しはじめた平岡は、「北京の時は帰って引きこもってましたね」と振り返った。

すると、司会の加藤浩次から「(周囲が) 手のひら返った感じありますか?」と訊かれるや、「ちょっとあります」と苦笑い。

決勝戦でロシアのガルスチャンに敗れたことについては、「金メダル目指してやってきたし、僕がチームのみんなに流れ作っていったもんで、負けてしまったもんだから、それだけが悔しい」と語った。

また、試合直前の計量では、ハプニングもあったという平岡。「朝の 6 時半から本計量があるんですね。そのときに一発で(体重を) 切ってないと失格なんです。その 30 分前に仮計量があって、何回量ってもいいよっていうのがあるんです。体重計って一個一個違うじゃないですか。誤差があるんですけど。僕らは 100g、50g の世界を計算してて、計量で量る体重計を乗らせてくれなくて」と切り出すと、「(同じ機種 of 体重計で) 量って、自分たちが持っている体重計との誤差を調べて、こんくらいだなと思って、実際 15 分前に量ったら、100g オーバーで。全然違いましたね。重さが」と明かした。

試合開始 15 分前、まさかの計量失格の危機を迎えていた平岡には、テリー伊藤も思わず「(これで出れなかったら) 北京よりも恥ずかしいですね」と大笑い。

結局、平岡は「他の選手にオーバーしていることを悟られないように（部屋を）出て、コーチに“100g オーバーです”っていったら、“落ち着け、慌てるな”と。ガムでツバを出せと。歩けと。汗を出せと。最後におしっこ行けと言われて、その通りにやったら、10 分くらいで落ちた」と語った。

小原と伊調、2 人の金メダリストを生み出した青森県八戸市の魅力とは
ロンドン五輪・女子レスリングで金メダルを獲得した小原日登美と伊調馨。2 人には、青森県八戸市出身という共通点がある。

23 日放送、フジテレビ「めざましテレビ」の「ココ調」では、今回のロンドン五輪で誕生した 7 人の金メダリストのうち、2 人を輩出した同市を訪れ、その魅力を紹介した。

青森という土地柄、「冬でもできる（屋内）スポーツ」として盛んになったことや、「我慢強さ」といった市民性が影響していると紹介しつつ、現地の「サバ、イカを食べる」といった声にも着目。スルメイカ全国 1 位の水揚げ量を誇る同地の食文化を挙げ、イカは心臓の機能を高め、サバは集中力、疲労回復によいと伝えるなどした。

だが、その最たるは、八戸工業高校でレスリング部の監督を務めたという塚原良一さんが番組のカメラに対し、「戦後日本チャンピオンになった方（川守田順一郎）が八戸出身。東京から故郷に帰ってきて、レスリングを普及したいと広めた」と語り、また、伊調姉妹が通っていた八戸クラブや、小原が通っていた八戸キッズなど、名門レスリング教室も多いと紹介。

実際、番組カメラが八戸クラブに入ると、ここで練習する子供たちはみな、「オリンピックで金メダルを獲る」「オリンピックで 3 連覇をする」といった夢を語り、同地では、幼少よりレスリングで強くなる環境があると伝えた。

曙の恐るべき飲みっぷり。一晩で使った飲み代は「1000 万くらい」
プロレスラーの恐るべき酒豪ぶりが語られた！

朝日放送「Oh! どや顔サミット」（24 日放送分）では、「人気プロレスラーが大集合！ こんなイカつい俺たちだけど意外とおちゃめなんですよ SP」と題し、天龍源一郎、武藤敬司、佐々木健介、曙、浜亮太らトップレスラーが集結。レスラーの破天荒なエピソードを語った。

「プロレスラー ウソのような本当の話」では、「なんでも 10 人前ずつ注文するので、お会計の後には巻物ようなレシートがくる」といった飲食に関する話が飛び出すと、第 64 代横綱・曙は「4 人くらいでビアガーデンのビールがなくなった」という酒豪トークを披露。一

晩で使った飲み代の最高額を訊かれれば、「1000 万くらい」とサラッと答えた。

ここで、過去に曙の付き人をしていたこともある浜が、「1000 万払われた時の財布は、僕が持っていたんですよ。付き人をさせて頂いて」と切り出す。スタジオから“1000 万が入る財布なんてあるのか?”という声が飛ぶと、「僕も見ることなかったんです」と苦笑い。酒の飲み方は「ドンペリでそのまま瓶ごと乾杯していき飲み」というものだった。

すると、武藤も「台湾に毎年行くんですよ。曙と浜とあと二人くらい。台湾までフライト 3 時間なんですけど、その 3 時間で機内のアルコール全部飲みやがって。最初ビールからはじまって、血をサラサラにしようってワイン飲んで。3 時間以内で」と語ったが、自身も若手の頃を振り返って、「UWF っていう主義主張が違うプロレス団体とやり合っている時に、現場があまりに殺伐とし過ぎているからって、上層部と一緒にちゃんこパーティをしようってことで、巡業中ホテルを借り切って。(すると、酔ったレスラーたちが暴走し) 引かなきゃ開かないドアを押して倒したり。後ほど聞いたんですけど、ホテルの損害賠償 1000 万かった」といったエピソードを明かした。

フジテレビのヤングなでしこ・ポスターに呆れた声

女子サッカー日本代表・なでしこジャパンの妹分、ヤングなでしこが奮闘中の U-20 女子 W 杯。26 日には、A 組予選リーグ最終試合＝スイス戦を 4-0 で快勝し、圧倒的な強さでベスト 8 入りを決めた。

決勝トーナメント準々決勝では、ロンドン五輪の男子サッカーでも 3 位決定戦で敗れた上、国家同士も緊張状態が続いている宿敵・韓国と対戦することになった。

そんな折、同大会を中継するフジテレビのポスターが、ネット掲示板で大きな話題になっている。一目見れば、理由は明白。「ヤングなでしこは、さらに強く美しく」というキャッチとともに、ポスター中央には、美女選手とさせる仲田歩夢、田中陽子、猶本光の顔写真が大きく写り、その周囲には、10 番を背負う横山久美や、初戦のメキシコ戦で先制点を挙げた柴田華絵らが小さく載る構成となっているからだ。

スター選手のみをプッシュする、いかにもテレビ的な見せ方が施される格好となったポスターだが、ネット上では「顔で選んでるだろ w」「容姿至上主義 w w w」「女子スポーツで視聴率を手っ取り早く稼ぐ一番簡単な方法だからな」「フジテレビがやりそうな事だな」といった呆れたコメントが相次ぎ、また、ポスターに主将・藤田のぞみの顔はなく、写っている選手も 8 名しかいないことから「サッカーって 8 人でやるスポーツかよ w」、「小さくてもいいからキャプテンの藤田は載せてやれよ w」といったツッコミも。

30 日の韓国戦では、前述した様々な要因から、より注目度が増すヤングなでしこ。実際、仲田、田中、猶本は期待通りの活躍を見せてはいるが、商業的判断とはいえ、他のメンバーがあまりに気の毒なポスターであった。

仲田歩夢と似ていると話題、ベンチで一際可愛いヤングなでしこ

U-20 女子ワールドカップも後半に入り、「ヤングなでしこ」こと日本の U-20 女子代表チームの人気は全国的なものに成長している。大量得点による痛快な快進撃とともに、テレビ的にも申し分ないルックスが人気の原動力だ。

特にスイス戦で左右両足で FK を沈めるという離れ業をやった田中陽子、長澤まさみ似と話題の猶本光、左利きのドリブラー・仲田歩夢の 3 人は、もはや知らない人はいないのではないかというほど知名度が急上昇中。試合翌日のオフィストークは、「オレは〇〇派」のオンパレードだろう。

しかし、ヤングなでしこで可愛いのは前述した 3 人だけでは決してない。ベンチに目を向ければ、DF 和田奈央子もかなりの美人だ。

チーム内では仲田と似ていると評判で、田中、猶本とはタイプが違い、ややギャル系のルックス。東京都出身で、JFA アカデミー福島を経て、現在は浦和レッズレディースでプレー。チームメートである猶本とともに、浦和では抜群の人気を誇る。

今大会はここまで（グループリーグ終了時）まだ出番がないが、準優勝した U-17 女子ワールドカップでは主力としてプレー。延長 PK の末敗れた決勝戦の韓国戦にもフル出場している。30 日に行われる対韓国戦で、雪辱に燃える和田のプレーに期待したい。

元巨人・槇原が完全試合を達成した理由を告白、マツコは「むしろ、聞きたくなかった」
27 日放送、日本テレビ「人生が変わる 1 分間の深イイ話」では、野球スペシャルとして、江川卓氏、定岡正二氏、槇原寛己氏ら元プロ野球選手が出演、現役時代の知られざるエピソードを語った。

1994 年 5 月 18 日の広島戦でプロ野球史上 15 人目となる完全試合を達成したのは、元巨人のエース・槇原氏だ。完全試合は、その後 18 年経った現在も達成した選手が出てこないほどの偉業である。

当時のインタビューで「3 回から完全試合を狙っていた」という槇原氏だが、そのモチベーションとなったのは、驚くべき理由だった。

完全試合の二日前、遠征先で門限を過ぎた槇原氏は、当時、巨人のマネージャを務める菊池

幸男氏から叱られ、「罰金 5 万円と一ヵ月の外出禁止」を言い渡されたという。

その菊池氏が巨人に尽くした生涯を綴る、『不滅 元巨人軍マネージャー回顧録』（長谷川晶一著）でも詳しく書かれているエピソードだが、外出禁止がなによりも耐えられなかった槇原氏は、処分の軽減を菊池氏に直訴、菊地氏は「プロだったら、試合で結果を出せ」と伝えたという。

なんと、外出禁止の撤回をモチベーションに、完全試合を達成した槇原氏。当時を振り返って、「門限破って捕まっちゃったっていうのがあるんで、それで頑張っちゃったんですけど。明日から外出できると思いました」とニッコリ。すると、同じゲストのマツコ・デラックスや伊集院光は、「むしろ、このエピソード聞きたくなかったな」と不満を口にした。

■関連リンク

- ・巨人軍を影で支えた男の人生とは？
- ・『不滅 元巨人軍マネージャー回顧録』

石川遼が語る「大きな進化」とは？

30 日から 4 日間、山梨県・富士桜カントリー倶楽部を舞台に開催されているフジサンケイクラシック。注目は、過去に 2 度、同大会を制している石川遼だ。

30 日「すばると！」では、フジテレビ・平井理央アナが石川を直撃。2010 年 11 月以来、優勝から遠ざかっているものの、コース相性のよい富士桜でタイトル奪還を目指す石川の“進化”に迫った。

「肩、がっちりしました？」と切り出した平井アナは、60 キロ台後半から、現在は 75 キロにまで体重を上げ、肉体改造を施した石川の変化を指摘。さらに、石川も海外ツアーで得たものについて、「やっぱ球筋。球を操ることの重要性。ストレートボール一辺倒じゃ、なかなかスムーズにやらせて貰えない。ドローボールやフェードボールの打ち分けが、ホールとかコースによって全然できなかったんですけど、つい最近になって色んな攻め方ができるようになって、それは一つ大きな進化だと思います」と明かし、自身の成長に手ごたえを掴んだ様子をうかがわせた。

また、フジサンケイクラシックに対し、「優勝も 2 度したことがあって、色んな経験ができたんですけど、今年の富士桜の見え方というのは違うと思う」という石川は、「ここ何年、勝ってないんですけど、ゴルフやってて楽しいです。楽しけりゃいいって問題じゃないんですけど、追求する気持ちは今一番強い」と語り、結果が出ていない現状にも、焦りや不安を感じさせることなく、確かな自信をのぞかせた。

吉田麻也、サウサンプトン FC 移籍が決定

サッカー日本代表・吉田麻也のサウサンプトン FC 移籍が正式に決定した。

同クラブは、公式サイトで「セインツ (サウサンプトン FC の愛称) にとって喜ばしい発表」として、吉田の入団を発表。オフィシャルツイッター (@officialsaints) 上でも、「Japanese international Maya Yoshida is set to join #SaintsFC on a three-year deal from VVV-Venlo.」と呟いている。

また、同ツイッターでは、「プレミアリーグに行くことは、子供の頃からの大きな夢の一つ」という吉田のコメントも掲載。オランダ・VVV フェンローからの移籍となった吉田の契約期間は3年となる。

一部には、吉田のサウサンプトン FC 入団が決まれば、9月2日のマン U 戦でのプレミアデビュー&香川真司との日本人対決実現という報道もあったが、その可能性も限りなく高まったといえるだろう。日本のファンからすれば、また大きな楽しみが増える吉田のプレミア入りだ。

移籍直前の吉田麻也、李忠成に「ベタ褒めしといて」

テレビ朝日「報道ステーション」(31日放送)では、サウサンプトン FC 移籍が決まる直前の吉田麻也に、サッカー解説者・澤登正朗氏が行ったインタビューの様子が放送された。

まだオランダに住む吉田の自宅を訪れた澤登氏。ここで偶然にも吉田の電話が鳴ると、吉田は「このタイミングで代理人です」と苦笑い。

プレミアリーグについては、「もちろん、行きたいですよ」とキッパリ。「(VVV フェンローは) 試合で攻められる回数が異常に多いので、そういう意味では、守備のトレーニングというか、場数は踏めるんですけど、丸2年、それをやってきたので、もうその段階ではないかなと。次のステップの時じゃないかと思う」と、その理由を述べた。

また、「僕、ユースの時から、コーチにずっとチェルシーとカリバプールの試合の DVD を貰って見せられて、ずっとプレミアに憧れがあって。プレミアに行くチャンスがあるなら是非行きたい」と語る吉田。現在、サウサンプトン FC には、李忠成が在籍しているが、「忠君も行ってるので、この間も電話しましたけど。どんな感じなのって訊いたら、好印象の話ばかりだったので。街並みが綺麗で治安もよくて。人も優しい。クラブも CB、去年ずっとチャンピオンシップ (2部リーグ) でやっていた二人は固定されているけど、そこに入っていけるだろうっていう話もあったので」というエピソードも明かす。

さらに、「忠君には“もし僕のことを訊かれたら、すごいベタ褒めしといて”って言っときました」とおどける吉田は、将来のビジョンについて、「プレミアの移籍って国内の移籍が多くて、中堅のクラブからビッグクラブに行ったりする回数がよくあるので、次のステップのためのアピールにはもってこい。プレミアに移籍して、上位のチームでやってみたいです」といい、「真司が行けたんだからね。僕、同じ年なんです。こう見えて。負けたくないです」と意気込んだ。

DeNA・中畑監督の“みんながノリがよくなった”改革とは？

日本テレビ「Going! Sports&News」(2日分)では、3日現在セ・リーグ最下位をいく横浜DeNAベイスターズ・中畑清監督と、プロ野球解説者・江川卓氏による対談の模様を放送した。

中畑監督が行った改革について触れた江川氏。その一つが、試合前の打撃練習で、一昨年前まで使っていたプロ野球公式球、いわゆる“飛ぶボール”の導入だった。

この点について、「気分的に試合で打てないし、練習でもボールが飛ばないって、一番嫌だったの。ラミちゃんが。もうノリが悪い。それで練習ボールを変えてほしいっていう要望があって、従来の飛ぶボールを練習に取り入れた。そしたら、みんながノリがよくなって。メンタルというか、アスリートの一番いいものってノリじゃない」と話した中畑監督。実際、この改革が影響したのか、チーム打率は4月の.184から、8月には.238まで上昇しているという。

また、これまでの巨人戦では、主にベテラン投手を先発にぶつけてきたDeNAベイだったが、8月3日の試合では3年目の国吉佑樹を先発に起用している。

試合は、7つの四球を投げて3失点となったが、それでも中畑監督は国吉を7回まで続投させたほか、今月2日の巨人戦では、23歳の田中健二郎、3日の同カードでも24歳の加賀美希昇を先発させた。

いずれも敗れる結果となったが、中畑監督にとって、思い入れの強い古巣・巨人との対戦で若いピッチャーを先発におくる理由とは何なのか。

「ピッチャーは(巨人戦が)怖いんですか？」と尋ねた江川氏に、中畑監督は「存在の大きさとか、名前とか。戦う前に存在感に恐れを感じている部分はマウンドであるね。その意識を改革しない限りは、結果は伴わない。向かっていってくれるピッチャーが出てきてほしいのよ。そのために若手をぶつけている。巨人戦に若手をぶつけて、そのイメージを払拭してほしい。そういうピッチャーを作っていきたい」と、胸のうちを明かした。

■関連リンク

- ・キヨシの方舟
- ・キヨシの使い道

ジーコ、本田圭佑について「私が CSKA の監督だった時・・・」

2 日深夜放送、テレビ朝日「やべっち F.C.」では、今月 11 日に、W 杯アジア最終予選で日本が対戦するイラク代表を率いるジーコ監督に行ったインタビューを伝えた。

2002 年～2006 年と日本代表監督を務めた後、イラク代表の監督に就任したジーコは、日本戦に向け、「日本戦は、私にとって感慨深い試合だ。日本は 15 年過ごした第二の祖国。つまり自分が応援するチームを倒さないといけない」と複雑な心境をのぞかせつつ、「日本と同じグループにはなりたくなかったが、そうなってしまっただけは仕方がない。昔、日本がブラジルを倒すために仕事をしたように、今度はイラクが日本を倒せるように仕事をするだけ」と決意を述べた。

また自軍について、「彼らには“W 杯に出場できる力を持っている”といい続けてきた。今はみんな自信を持っている」というジーコは、さらにエースのユニス・マフムードの名を挙げ、「日本が少しでも気を抜くとゴールするよ。彼はワンチャンスで決められるから」と自信をみせる。

気になる日本代表について、ジーコは「キーマンは遠藤だ。遠藤はチームの心臓だ。彼がボールを動かすことで日本の攻撃が展開される。試合中、歩いているようにも見えるが、彼が試合の流れをコントロールしている。まるで足に磁石がついているかのようにボールも彼を求める」と語ったほか、本田圭佑にも言及。

「本田が名古屋でデビューした頃、代表に招集したいと考えていた。私が日本代表の監督の時に、名古屋グランパスを訪ねた。当時、監督だったネルシーニョと話をし、代表に呼べる良い選手はいるかな？」と訊くと、「推薦するなら一人だけいる。トップチームに上がってきたばかりの選手だ」と答えた。それが本田だ。でも、ネルシーニョには、「いい選手だが、できればオリンピック代表など段階を踏んで成長させていきたいと言われた」。それ以来、ずっと彼の成長を見守った」と話したジーコは、「私が CSKA モスクワの監督だった時、会長に“VVV にいる本田を獲得すれば間違いない”と助言した。彼は、CSKA ですぐに素晴らしいプレーをみせた。代表でも自信をもってプレーするようになり、決定的な選手として成長した」といったエピソードも披露した。

なお、ジーコはイラク代表監督を引き受けた理由を「イラクの国内情勢を考えて、戦争で苦

しんでいる国民に協力できるということで、イラクのためにやろうと監督を引き受けた。これは私のサッカー人生で与えられた使命。サッカーを通じて争いをなくし、国を復興することができると思っています」と語っている。